

西表島世界遺産センター整備実施設計

実施設計

令和6年10月31日

株式会社プレック研究所・福原信一建築設計事務所・株式会社丹青社 共同企業体

図面リスト

| | | | | | | | | | |
|------|--------------|------|-----------|------|-----------------|------|----------------|------|----------|
| A-01 | 図面リスト | A-40 | 建具表キープラン | L-01 | 現況図 | S-01 | 構造特記・標準図01 | S-40 | 外構基礎図 |
| A-02 | 建築物概要書・敷地案内図 | A-41 | 建具表1 | L-02 | 赤土流出防止対策計画図 | S-02 | 構造特記・標準図02 | | |
| A-03 | 特記仕様書1 | A-42 | 建具表2 | L-03 | 外構全体配置図 | S-03 | 構造特記・標準図03 | S-50 | ブリッジ伏図 |
| A-04 | 特記仕様書2 | A-43 | 建具表3 | L-04 | 屋外施設平面図 | S-04 | 構造特記・標準図04 | S-51 | ブリッジ詳細図1 |
| A-05 | 特記仕様書3 | A-44 | 建具表4 | L-05 | 舗装平面図 | S-05 | 構造特記・標準図05 | S-52 | ブリッジ詳細図2 |
| A-06 | 特記仕様書4 | A-45 | 開口部詳細図 | L-06 | 造成平面図 | S-06 | 構造特記・標準図06 | | |
| A-07 | 仮設計画図 | A-46 | 屋根・軒先詳細図 | L-07 | 造成断面図 | S-07 | 構造特記・標準図07 | | |
| A-08 | 仕上表1 | A-47 | 金物詳細図 | L-08 | 雨水排水計画図 | S-08 | 構造特記・標準図08 | | |
| A-09 | 仕上表2 | A-48 | 内部詳細図 | L-09 | 雨水排水縦断面図1 | S-09 | 構造特記・標準図09 | | |
| A-10 | 断熱範囲図 | A-49 | 移動間仕切詳細図 | L-10 | 雨水排水縦断面図2 | S-10 | 地盤概要・柱状図 | | |
| A-11 | 敷地求積図・求積表 | A-50 | トイレ詳細図 | L-11 | 植栽平面図 | S-11 | 伏図1 | | |
| A-12 | 建物求積図・求積表 | A-51 | サインキープラン | L-12 | 舗装、屋外施設詳細図 | S-12 | 伏図2 | | |
| A-13 | 法規チェックリスト | A-52 | サイン図 | L-13 | 雨水排水詳細図1 | S-13 | 伏図3 | | |
| A-14 | 地盤面算定図 | A-53 | 室外機置場詳細図1 | L-14 | 雨水排水詳細図2 | S-14 | 伏図4 | | |
| A-15 | 配置図 | A-54 | 室外機置場詳細図2 | L-15 | 植栽詳細図 | S-15 | 軸組図1 | | |
| A-16 | 屋根伏図 | A-55 | キャノピー詳細図 | L-16 | 中庭詳細図 | S-16 | 軸組図2 | | |
| A-17 | 一階平面図 | A-56 | 足洗い場詳細図 | L-17 | 外構平面詳細図1 | S-17 | 軸組図3 | | |
| A-18 | 一階天井伏図 | A-57 | ガスボンベ庫詳細図 | L-18 | 外構平面詳細図2 | S-18 | 軸組図4 | | |
| A-19 | 立面図1 | A-58 | 造作家具詳細図 | L-19 | 外構断面詳細図1 | S-19 | 軸組図5 | | |
| A-20 | 立面図2 | A-59 | 購入家具リスト | L-20 | 外構断面詳細図2 | S-20 | 軸組図6 | | |
| A-21 | 断面図1 | | | L-21 | ブリッジ平面詳細図 | S-21 | 軸組図7 | | |
| A-22 | 断面図2 | | | L-22 | ブリッジ手摺詳細図 | S-22 | 軸組図8 | | |
| A-23 | 矩計図1 | | | L-23 | ブリッジ断面詳細図 | S-23 | 軸組図9 | | |
| A-24 | 矩計図2 | | | L-24 | 羅針盤モニュメント詳細図1 | S-24 | 断面リスト1 | | |
| A-25 | 展開図1 | | | L-25 | 羅針盤モニュメント詳細図2 | S-25 | 断面リスト2 | | |
| A-26 | 展開図2 | | | L-26 | 立入防止柵配置図 | S-26 | 架構詳細図1 | | |
| A-27 | 展開図3 | | | L-27 | 立入防止柵詳細図 | S-27 | 架構詳細図2 | | |
| A-28 | 展開図4 | | | L-28 | サイン詳細図 | S-28 | カフェ屋詳細図 | | |
| A-29 | 展開図5 | | | L-29 | 道路側撤去平面図 | S-29 | カフェ木架構伏図1 | | |
| A-30 | 展開図6 | | | L-30 | 伐採樹木図 | S-30 | カフェ木架構伏図2 | | |
| A-31 | 展開図7 | | | L-31 | 伐採樹木リスト | S-31 | カフェ木架構詳細図 | | |
| A-32 | 展開図8 | | | L-32 | 国有林地貸付地内排水計画図 | S-32 | キャノピー伏図1 | | |
| A-33 | 展開図9 | | | L-33 | 羅針盤モニュメント地形参考図1 | S-33 | キャノピー伏図2 | | |
| A-34 | 展開図10 | | | L-34 | 羅針盤モニュメント地形参考図2 | S-34 | キャノピー伏図3 | | |
| A-35 | 展開図11 | | | | | S-35 | キャノピー軸組図・断面リスト | | |
| A-36 | 展開図12 | | | | | S-36 | キャノピー詳細図 | | |
| A-37 | 平面詳細図1 | | | | | S-37 | 足洗い場伏図・軸組図 | | |
| A-38 | 平面詳細図2 | | | | | S-38 | ガスボンベ庫架構図 | | |
| A-39 | 平面詳細図3 | | | | | S-39 | 室外機置場目隠し架構図 | | |

| | | | | | | | | | | | |
|--|--|---|---|---------|-------------------|-------|----|------|----------|----|------|
| | 株式会社 プレック研究所 | 福原信一 一級建築士事務所 | 株式会社 丹青社 | TITLE | 図面リスト | SCALE | - | DATE | 24.10.31 | NO | A-01 |
| | 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | PROJECT | 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | 福原 | | | | |

■敷地概要

- 住所:八重山郡竹富町字南風見地内
- 地名地番:八重山郡竹富町字南風見地内
- 敷地面積:12,528.81㎡
- 用途地域:指定なし
- 建蔽率:指定なし
- 容積率:指定なし
- 防火地域:指定なし
- 高さ制限:指定なし※竹富町景観条例に拠る高さ制限有り
- 日影規制:指定なし
- 前面道路:県道215号線 白浜南風見線 (法第42条1項1号道路) 道路幅員12.1m
- その他地域地区:なし
- バリアフリー法・条例:適合義務対象外
- 建築基準条例:沖縄県建築基準法施行条例
- 屋外広告物条例:対象建築物※県道から300mの範囲
- 省エネ法:適合判定対象建築物
- 景観条例:竹富町景観条例対象地※集落景観保存地区
- 構造規定:粗度区分:Ⅲ 高さ13m以下のため
 風速:46m/s
 積雪量:0cm

■建築概要

- 構造・規模:鉄筋コンクリート造 地上1階建て
- 建築面積:申請部分969.20㎡ 申請以外の部分69.17㎡ 合計1,038.37㎡
 (建屋969.20㎡、キャノピー55.72㎡、足洗い場7.20㎡、ガスボンベ庫6.25㎡)
- 延べ床面積:申請部分926.00㎡ 申請以外の部分6.25㎡ 合計932.25㎡
 (建屋926.00㎡、ガスボンベ庫6.25㎡)
- 容積率算定用延べ床面積:926.00㎡
- 建蔽率:8.28%
 $1,038.37 / 12,528.81 \times 100 = 8.28785\dots$
- 容積率:7.44%
 $932.25 / 12,528.81 \times 100 = 7.44085\dots$
- 建築用途:建築基準法 展示場、飲食店
 消防法 令別表8項



| | | | | | | | |
|--|--|---|---|------------------------------|------------------------------------|------------------|------------|
| | 株式会社 ブラック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | TITLE 建築物概要書・敷地案内図 | SCALE 1/70000(A3) 1/3000(A3) | DATE 24.10.31 | NO A-02 |
| | | | | PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | | CHECK 福原 | |

| 建築工事特記仕様書〔建築工事編〕沖縄県土木建築部 | | | | |
|--|-----------------------|----------------------|---------------------|---------------------|
| 令和5年7月改定版 | | | | |
| 1 工事概要 | | | | |
| (1) 工事名 : (仮称) 西表島世界遺産センター建築工事 | | | | |
| (2) 工事場所 : 沖縄県八重山郡竹富町字南風見地(地域地区等:指定なし) | | | | |
| (3) 敷地面積 : 12,528.53 m ² | | | | |
| (4) 工事種目 : | | | | |
| ア 建築物 | | | | |
| 建築物の名称 (仮称) 西表島世界遺産センター建築工事 | | | | |
| 主要用途 | 展示場 | キャンピー | 足洗い場 | ガスボンベ庫 |
| 構造及び階数 | 鉄筋コンクリート平 | 鉄骨造 | 鉄骨造 | 筋コンクリート |
| 工事種別 | 新築 | 新築 | 新築 | 新築 |
| 建築面積 | 969.20 m ² | 55.72 m ² | 7.20 m ² | 6.25 m ² |
| 延べ面積 | 926.00 m ² | - m ² | - m ² | 6.25 m ² |
| イ 工作物及び立木 | | | | |
| 工作物等の名称 | | | | |
| 数量 | 1棟 | 1棟 | 1棟 | 1棟 |
| 2 本工事の設計時期 | | | | |
| 本工事の設計書は、令和6年9月時点での沖縄県土木建築部建築工事積算基準及び公共工事設計労務単価等に基づいて作成している。 | | | | |
| 3 建築工事仕様 | | | | |
| (1) 標準仕様 | | | | |
| 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」〔令和4年版〕(以下「標準仕様書」という。)による。 | | | | |
| (2) 特記仕様 | | | | |
| ア 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 | | | | |
| イ 特記事項は、「・」に○印の付いたものを適用する。 | | | | |
| 「・」に○印がつかない場合は「※」の付いたものを適用する。 | | | | |
| 「・」と「※」に○印がついた場合は共に適用する。 | | | | |
| ウ 項目及び特記事項に記載の(. . .)内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 | | | | |
| エ 特記事項に記載の(参 . . .)は、標準仕様書の参考資料4各部配筋参考図の当該項目を示す。 | | | | |
| 4 その他 | | | | |
| (1) 公共事業労務費調査に対する調査 | | | | |
| ア 本工事が公共事業労務費調査の対象工事となった場合、調査票等に必要事項を正確に記入し、必要な協力を行わなければならない。また、本工事の完成後においても、同様とする。 | | | | |
| イ 調査票等を提出した事業所を事後に訪問して行う調査・指導等の対象になった場合、その実施に協力しなければならない。また、本工事の完成後においても、同様とする。 | | | | |
| ウ 公共事業労務費調査の対象工事となった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従って就業規則を作成するとともに、賃金台帳を調製・保存する等、日頃より雇用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行っておかななければならない。 | | | | |
| エ 本工事の一部について下請契約を締結する場合には、当該下請工事の受注者(当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。)がアからウまでと同様の義務を負う旨を定めなければならない。 | | | | |
| (2) 暴力団員等による不当介入の排除対策 | | | | |
| 受注者は、当該工事の施工に当たって「沖縄県土木建築部発注工事における暴力団員等による不当介入の排除手続きに関する合意書(平成19年7月24日)に基づき、次に関する事項を遵守しなければならない。なお、違反したことが判明した場合は、指名停止等の措置を行なうなど、厳正に対処するものとする。 | | | | |
| ア 暴力団員等から不当要求を受けた場合は、毅然として拒否し、その旨を速やかに監督員に報告するとともに、所轄の警察署等に被害の届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。 | | | | |
| イ 暴力団員等から不当要求による被害又は工事妨害を受けた場合は、速やかに監督員に報告するとともに所轄の警察署等に被害の届出を行うこと。 | | | | |
| ウ 暴力団員等に対する排除対策を講じたにもかかわらず、工事に遅れが生じるおそれがある場合は、速やかに監督員と工程に関する協議を行うこと。 | | | | |
| (3) ワンデーレスポンスの実施 | | | | |
| ア この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。 | | | | |
| 「ワンデーレスポンス」とは、監督員が、受注者からの質問、協議の回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議の上、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることである。 | | | | |
| イ 受注者は計画工程表の提出に当たって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督員と協議を行うこと。 | | | | |
| ウ 受注者は工事施工において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督員へ報告すること。 | | | | |
| エ 効果・課題等を把握するためアンケート調査等のフォローアップ調査を実施する場合は、そのため、協力すること。 | | | | |
| (4) 工事監理業務への協力等 | | | | |
| ア 本工事の工事監理業務(建築工事監理業務委託契約に基づき、建築士法第2条第8項並びに同法第18条第3項に掲げる工事監理を行う業務をいう。以下同じ。)は、別途委託契約を締結することとしており、本工事の現場代理人等は、当該工事監理業務の履行に協力すること。 | | | | |

| | |
|---|---|
| (4) 工事監理業務への協力等 | イ 工事監理業務の受注者が配置した管理技術者、主任担当技術者並びに担当技術者(以下「管理技術者等」という。)の氏名等は、発注者から通知する。なお、管理技術者等は本工事に関する指示・承諾・協議の権限は有しない。 |
| ウ 設計図書において監督員に提出することとなっている書類は、原則として管理技術者等に提出すること。 | エ 建設業法第23条の2の規程に基づく工事監理に対する報告の書類は、監督員に提出すること。 |
| (5) 本工事の請負代金額の変更協議をする場合及び本工事と関連する工事を本工事受注者と随意契約する場合の取扱いについて | 本工事の請負代金額の変更協議をする場合又は本工事と関連する工事を本工事受注者と随意契約する場合にあつては、変更協議または関連する工事の予定価格の算定は、本工事の請負比率(元契約額÷元設計額)を変更設計額または関連工事の設計額に乗じた額で行う。 |
| (6) 県産資材の優先使用 | 本工事に使用する資材等のうち、沖縄県内で生産、製造され、かつ、規格、品質、価格等が適正である場合はこれを優先して使用するよう努めなければならない。なお、主要建設資材の使用状況を「県産建設資材使用状況報告書」にて報告すること。 |
| (7) 下請業者の県内企業優先活用 | 請負業者は、下請契約の相手方を県内企業(主たる営業所を沖縄県内に有する者。)から選定するように努めなければならない。 |
| (8) 不発弾等発見時の処理について | 本工事において、不発弾等が発見された場合には、警察署(交番、駐在所)に報告すると共に、監督員を通して関連市町村(防災主管課)、沖縄県知事公室防災危機管理課及び沖縄県土木建築部技術・建設業課に報告すること。 また、発見された不発弾等については、警察署または自衛隊より指示等があるまでは、触れずにそのままの状態で保存すること。 なお、これについては、下請業者へも周知すること。 |
| (9) ダンプトラック等の過積載等の防止について | ア 工事中資機材等の積載超過がないようにするとともに交通安全管理を十分に行うこと。 イ 過積載を行っている資材納入者から資材購入をしないこと。 ウ 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することのないようにすること。 エ さし枠の装置または物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが工事現場に入ることがないようにすること。 オ 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法(以下「法」という。)の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等の加入者の使用を促進すること。 カ 下請契約の相手方又は資材納入者を選定するにあつては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。 キ アからカの事につき、下請契約における受注者を指導すること。 |
| (10) 不正軽油の使用の禁止等について | ア 受注者は、工事の施工に当たり、工事現場で使用し、若しくは使用させる車両(資機材等の搬出入車両を含む。)又は建設機械等の燃料として、不正軽油(地方税法第144条の32の規定に違反する燃料をいう。)を使用し、又は使用させてはならない。 イ 受注者は、県の税務当局が実施する使用燃料の採取調査に協力しなければならない。 |
| (11) 設計図書における資材等の取扱いについて | ア 本工事の設計図書及び参考図に示す資材等については、特定企業の製品又は工法を指定するものではない。 イ 本工事で使用する資材等については、設計図書及び参考図のとりの品質規格・仕様等で積算しており、その品質規格・仕様等と同等品以上の資材を使用すること。なお、使用にあつては監督職員の承諾を得るものとする。 ウ 「参考図」は建設工事請負契約約款第1条に定める設計図書ではなく、発注者の積算の透明性を確保し入札者の積算、工事費内訳書作成の効率化を図ることを目的に「参考資料」として提示するものである。 |
| (12) ガイドライン等の遵守について | 設計変更等については、契約書18条から24条に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「工事請負契約における設計変更ガイドライン(営繕工事編)」(沖縄県土木建築部)によるものとする。 |
| (13) 本工事の予定価格に占める法定福利費概算額について | ア 受注者は、契約締結後15日以内に、監督員を経由して請負代金内訳書を提出し、請負代金内訳書には、工事現場に従事する現場労働者に係る社会保険料(健康保険、厚生年金保険及び雇用保険をいう。)の内の事業主が納付義務を負う保険料(以降「法定福利費」という。)を明示すること。 また、明示する法定福利費の算出に当たっては、各専門工事業体団体が作成した標準見積書に沿って作成された法定福利費を内訳明示した下請企業の見積りの活用等の方法により適正に見積もることが必要であり、「法定福利費を内訳明示した見積書の作成手順」に準拠する等により適切に算出すること。 イ 発注者は、受注者から提出された請負代金内訳書に明示された法定福利費と予定価格に占める法定福利費概算額について確認を行い、「一定以上の乖離がある場合」は、受注者に対して説明を求め、場合によっては、建設業法第19条の3に違反するおそれがないか確認します。 【法定福利費を内訳明示した見積書の作成手順(国土交通省HP)】 https://www.mlit.go.jp/common/001090440.pdf 【法定福利費を内訳明示した見積書の作成手順(簡易版)(国土交通省HP)】 https://www.mlit.go.jp/common/001203247.pdf 【各団体が作成した標準見積書(国土交通省HP)】 ホームページ>政策・仕事>土地・建設産業>建設産業・不動産業>各団体が作成した標準見積書 https://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/totikensangyo_const_tk2_000082.html |

| 章 | 項目 | 特記事項 |
|----------|------------------------|---|
| 1 一般共通事項 | ① 適用基準等 | <ul style="list-style-type: none"> 建築工事監理指針(令和4年版)国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 建築工事標準詳細図(令和4年版)国土交通省大臣官房官庁営繕部 敷地調査共通仕様書(令和4年版)国土交通省大臣官房官庁営繕部 建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿(令和4年版)(一社)公共建築協会 営繕工事写真撮影要領(令和5年版) 磁気探査実施要領(令和2年1月)沖縄県土木建築部 沖縄県土木建築部における公共建設工事の分別解体・再資源化および再生資源活用に関する実施要領(平成25年12月)沖縄県土木建築部 構造計画・施工計画・建築設備計画の留意事項(令和4年4月)沖縄県土木建築部 |
| | ② 工事実績情報の登録(1.1.4) | 登録する。ただし、工事請負代金額が500万円未満の工事については、登録を要しない。 |
| | ③ 工事の一時中止に関する事項(1.1.9) | 工事の一時中止に係る計画の作成 (1) 契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画(以下「基本計画書」という。)を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。 なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労働者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。 (2) 工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。 |
| | 4 工事の余裕期間 | <ul style="list-style-type: none"> 余裕期間を設定する工事【 方式】 【以下から選択:発注者指定方式/任意着方式/フレックス方式】 (1) 本工事は余裕期間として【 日間】を設定した工事である。 なお、余裕期間の設定にかかる積算上の割増は考慮しない。 (2) 余裕期間制度のうち、任意着方式、フレックス方式において、受注者は、余裕期間内の任意の日を工事の始期と定めることができる。 このため、受注者は、落札結果通知を受けた日の翌日までに「工期通知書(様式-1)」を作成し、発注者(契約担当者)に通知(提出)すること。 (3) その他事項は、「余裕期間を設定する工事実施要領」による。 |
| | 5 概成工期(1.2.1) | 図示された範囲は【令和 年 月 日】までに完了すること。 |
| | ⑥ 品質計画等(1.2.2) | <ul style="list-style-type: none"> 建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。 (1) 風速:V0= 46 m/s (平12建告第1454号第2) (2) 地表面粗度区分:Ⅲ(8.4.3)(8.5.3)(9.4.4)(10.5.3)(13.2.3)(13.3.3)(13.4.3)(14.7.3)(16.14.5)(23.5.4) |
| | ⑦ 施工図等(1.2.3) | <ul style="list-style-type: none"> (1) 施工図等の著作権に関わる当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。 (2) 現場代理人等は、施工に先立ち、各工事間の施工計画を調整、検討するため、各室の平面図、展開図、天井伏図(各1/50程度)及び必要な部位の断面図を作成の上、各工事の必要な内容を記載した総合図を作成する。なお、総合図は監督員に提出し、確認を受ける。 (3) 施工計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。 |
| | ⑧ 工事の記録(1.2.4) | 沖縄県土木建築部工事関係標準様式を用いる。 |
| | 9 電気保安技術者(1.3.3) | 電気工作物の工事を行う場合、その工事期間において電気保安技術者を配置し、保安業務を行うこと。 |
| | ⑩ 施工条件(1.3.5) | <ul style="list-style-type: none"> 施工順序等の制約 無し ・有り【・現場説明書による・図示・】 工事車両の駐車場所 : 図示・現場説明書による・ 資材、機材置場 : 図示・現場説明書による・ 建設発生土の仮置場 : 図示・現場説明書による・ その他の施工条件 : 図示・現場説明書による・ |

| 11 施工中の安全確保及び環境保全等(1.3.7)(1.3.10) | 12 交通安全管理(1.3.8) | 国道6路線及び県道7路線における警備業者が交通誘導警備業務を行う場合は、一級又は二級検定合格警備員を配置すること。(令和3年2月19日 沖縄県公安委員会告示第38号) | | | | | | | | |
|-----------------------------------|--------------------|---|--------|----------------|------------|--|--------------------|--|----------------|--|
| | 13 発生材の処理等(1.3.11) | <ul style="list-style-type: none"> (1) マニフェストシステムを採用し、適正な収集、運搬及び処分を行う。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>発生材の種類</th> <th>発生材の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>発注者に引き渡すもの</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特別管理産業廃棄物の有無及び処理方法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>現場において再利用を図るもの</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> (2) 本工事により発生する建設廃棄物のうち、県内の最終処分場に搬入する産業廃棄物は、産業廃棄物に係る税(沖縄県産業廃棄物税)が課税されるので、適正に処理すること。 (3) 受注者は、工事着手前に「建設副産物情報交換システム」(GOBRIS)により作成した、「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を監督員に提出しなければならない。また、受注者は、その計画書に従い建設廃棄物が適切に処理されたことを確認し、工事完成時に「建設副産物情報交換システム」(GOBRIS)により作成した、「再資源化報告書」、「再生資源利用実施書」、「再生資源利用促進実施書」を監督員に提出しなければならない。 (4) 受注者は、工事で発生した建設廃棄物について、ゆくゆく材の認定を受けた施設又はゆくゆく材の認定を受けていないが、再資源化後にゆくゆく材製造業者へ出荷している施設へ搬出すること。ただし、島内に当該施設がない場合はこの限りではない。 (5) 本工事における再資源化に要する費用(運搬費を含む処分費)は、前に掲げる施設のうち、受入条件のうちから運搬費と処分費(平日受入費用)の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、再資源化に要する費用の変更は行わない。 (6) アスファルト舗装版切断に伴い発生する濁水及び粉体の取扱基準について ア 舗装切断作業に伴い、切断機械から発生する濁水及び粉体(以下、廃棄物という。)については、廃棄物吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。回収された廃棄物については、関係機関等と協議の上、適正に処理するものとし、必要と認められる経費については変更契約できるものとする。 「適正に処理」とは、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者(請負業者)が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報(成分性状等)を処理業者に提供することが必要である。なお、工事に際して特別な混入物が無ければ、下記HPに掲載されている「濁水及び粉体の分析結果」を用いても差し支えない。 http://www.pref.okinawa.lg.jp/site/kankyo/seibi/sangyo/asufaruto.html なお、受注者は、廃棄物の処理に係る産業廃棄物管理票(マニフェスト)については、監督員から請求があった場合は提示しなければならない。 イ 発生する濁水(汚濁)に関しては「アスファルト舗装版切断に伴い発生する濁水の取扱基準について(通知)(平成24年3月28日付け土技第1257号)」に基づき、適正に処理すること。 ウ 発生する粉体に関しては「アスファルト舗装版切断に伴い発生する廃棄物の取扱いについて(通知)(平成25年1月17日付け土技第942号)」に基づき、適正に処理すること。 | 発生材の種類 | 発生材の種類 | 発注者に引き渡すもの | | 特別管理産業廃棄物の有無及び処理方法 | | 現場において再利用を図るもの | |
| | 発生材の種類 | 発生材の種類 | | | | | | | | |
| | 発注者に引き渡すもの | | | | | | | | | |
| | 特別管理産業廃棄物の有無及び処理方法 | | | | | | | | | |
| | 現場において再利用を図るもの | | | | | | | | | |
| | 工事名称 | 西表島世界遺産センター整備実施設計 | 工事年度 | 令和 年度 | | | | | | |
| | 発注機関 | 竹富町自然観光課 | 図面名称 | 建築工事特記仕様書(その1) | | | | | | |
| | 縮尺 | | 図面番号 | A-03 | | | | | | |
| | 摘要 | 管理建築士 | 設計 | 製図 | | | | | | |
| 検印 | | 設計者 | 資格者氏名 | | | | | | | |
| | | | 登録番号 | | | | | | | |
| | | | 所在地 | | | | | | | |

| 1 一般共通事項へ続き | 14 主任技術者・監理技術者 | <p>(1) 工事請負代金額が4,000万円以上(建築一式工事の場合8,000万円以上)の工事については、主任技術者又は監理技術者を現場ごとに専任で配置する。なお、専任を要しない期間は、次のとおりとする。</p> <p>ア 現場施工に着手するまでの期間 【現場施工に着手する日が確定している場合】 請負契約の締結の日の翌日から令和 年 月 日までの期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。 【現場施工に着手する日が確定していない場合】 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間)については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、工事施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督員との打合せにおいて定める。</p> <p>イ 検査終了後の期間 工事完成後、検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。)、事務手続、後片付け等のみが残っている契約工期中の期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。</p> <p>(2) 主任技術者及び監理技術者の雇用関係について ア 建設業法第26条の規定により、工事現場に専任で配置する主任技術者又は監理技術者は、受注者と入札執行日より前に3か月以上の雇用関係が成立していなければならない。 イ 受注者は、着手届と共に工事現場に専任で配置する主任技術者又は監理技術者の雇用関係を証明する書類(健康保険被保険者証等の写し)を提出しなければならない。</p> | 19 技能士(1.5.2) | <table border="1"> <tr> <th>適用工事種別</th> <th>技能検定作業</th> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>・鉄筋施工(鉄筋組立作業)</td> </tr> <tr> <td>コンクリート工事</td> <td>・型枠施工 ・コンクリート圧送施工</td> </tr> <tr> <td>防水工事</td> <td>・ウレタン塗膜防水 ・シーリング防水</td> </tr> <tr> <td>屋根及びとい工事</td> <td>・瓦 ・建築板金</td> </tr> <tr> <td>金属工事</td> <td>・内装仕上げ施工(鋼製下地工事)</td> </tr> <tr> <td>左官工事</td> <td>・左官</td> </tr> <tr> <td>建具工事</td> <td>・サッシ施工 ・ガラス施工 ・自動ドア</td> </tr> <tr> <td>塗装工事</td> <td>・建築塗装 ・木部塗装 ・金属塗装</td> </tr> <tr> <td>内装工事</td> <td>・床仕上げ ・ボード仕上</td> </tr> </table> | 適用工事種別 | 技能検定作業 | 鉄筋工事 | ・鉄筋施工(鉄筋組立作業) | コンクリート工事 | ・型枠施工 ・コンクリート圧送施工 | 防水工事 | ・ウレタン塗膜防水 ・シーリング防水 | 屋根及びとい工事 | ・瓦 ・建築板金 | 金属工事 | ・内装仕上げ施工(鋼製下地工事) | 左官工事 | ・左官 | 建具工事 | ・サッシ施工 ・ガラス施工 ・自動ドア | 塗装工事 | ・建築塗装 ・木部塗装 ・金属塗装 | 内装工事 | ・床仕上げ ・ボード仕上 | 2 仮設工事 | <p>1 工事用水</p> <p>2 工事用電力</p> <p>3 環境対策について</p> <p>4 足場その他(2.2.4)</p> <p>5 監督員事務所(2.3.1)</p> | <p>5 鉄筋工事</p> <p>1 鉄筋(5.2.1)</p> <p>2 溶接金網(5.2.2)</p> <p>3 継手及び定着(5.3.4)</p> <p>4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(5.3.5)</p> <p>5 各部配筋(5.3.7)</p> <p>6 機械式継手</p> | <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び名(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>構造標準図</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>網目の形状</th> <th>寸法</th> <th>鉄線の経</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(1) 継手の種類等</p> <table border="1"> <tr> <th>施工部位</th> <th>継手の種類</th> <th>備考(重ね継手の長さ等)</th> </tr> <tr> <td>構造標準図</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) 柱、梁の主筋の継手を同一箇所(箇所)に設ける場合は、応力集中やコンクリートの充填性等について十分検討し、監督員の承諾を受けて施工すること。</p> <p>(3) 鉄筋の定着長さ【※図示による。】</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>配筋の方法</th> <th>その他特記すべき事項</th> </tr> <tr> <td></td> <td>【・(参一.)による。】</td> <td>【・(参一.)による。】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>【・(参一.)による。】</td> <td>【・(参一.)による。】</td> </tr> </table> <p>機械式継手の種類：・図示</p> | 種類の記号 | 呼び名(mm) | 備考 | 構造標準図 | | | 網目の形状 | 寸法 | 鉄線の経 | 備考 | | | | | 施工部位 | 継手の種類 | 備考(重ね継手の長さ等) | 構造標準図 | | | 施工箇所 | 配筋の方法 | その他特記すべき事項 | | 【・(参一.)による。】 | 【・(参一.)による。】 | | 【・(参一.)による。】 | 【・(参一.)による。】 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|--|--|---|--|--|---------------|-------------------|---------------|----------|-------------------|-------------------|--------------------|----------------|-----------|------|------------------|------|-----------|------|---------------------|------|-------------------|------|--------------|--------|---|---|---|-------|-----------|-----|-------|----------|--------|------------|-----------|------|--------|--|--|--|------|------|---|---|--|------|-------------------|------|-------|------------|----------|--------------|----------------|----|--------------|--------------|------|-------|--|----|--|----|--|------|--|-----|--|-------|--|------|--|-----|--|
| | 適用工事種別 | 技能検定作業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 鉄筋工事 | ・鉄筋施工(鉄筋組立作業) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| コンクリート工事 | ・型枠施工 ・コンクリート圧送施工 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 防水工事 | ・ウレタン塗膜防水 ・シーリング防水 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 屋根及びとい工事 | ・瓦 ・建築板金 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 金属工事 | ・内装仕上げ施工(鋼製下地工事) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 左官工事 | ・左官 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 建具工事 | ・サッシ施工 ・ガラス施工 ・自動ドア | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 塗装工事 | ・建築塗装 ・木部塗装 ・金属塗装 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内装工事 | ・床仕上げ ・ボード仕上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 種類の記号 | 呼び名(mm) | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 構造標準図 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 網目の形状 | 寸法 | 鉄線の経 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施工部位 | 継手の種類 | 備考(重ね継手の長さ等) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 構造標準図 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施工箇所 | 配筋の方法 | その他特記すべき事項 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 【・(参一.)による。】 | 【・(参一.)による。】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 【・(参一.)による。】 | 【・(参一.)による。】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 15 主任技術者等の資格 | <p>(1) 主任技術者及び監理技術者の資格については、入札公告、現場説明資料等による。なお、入札公告、現場説明資料等で示されていない場合、主任技術者等の資格は、以下による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1級建築士、又は1級建築施工管理技士のいずれかの資格を有するもの ・1級建築士、2級建築士、1級建築施工管理技士、又は2級建築施工管理技士のいずれかの資格を有するもの <p>ア 監理技術者にあつては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者であること。</p> <p>イ 配置予定技術者にあつては、入札開始日前に3か月以上の直接的かつ恒常的な雇用関係があること。</p> <p>ウ 配置予定技術者の専任を要しない期間については、設計図書等で確認すること。</p> <p>(2) 発注者へ資格を証明する資料を提出すること。</p> | 21 完成時の提出図書(1.7.1)(1.7.2)(1.7.3) | <p>3 土工事</p> <p>1 埋戻し及び盛土(3.2.3)(表3.2.1)</p> <p>2 建設発生土の処理(3.2.5)</p> | 6 コンクリート工事 <p>1 コンクリートの強度</p> <p>2 コンクリートの材料</p> <p>3 コンクリートの強度試験</p> <p>4 コンクリート打放し仕上げ(6.2.5)(6.8.1)</p> <p>5 コンクリートの品質管理</p> <p>6 打継ぎ(6.6.4)</p> <p>7 型枠(6.8.1)(6.8.2)</p> <p>8 軽量コンクリート(6.10.1)(6.10.2)</p> <p>9 暑中コンクリート</p> <p>10 品質確保</p> | <table border="1"> <tr> <th>気乾単位容積質量による種類</th> <th>類別等</th> <th>設計基準強度(Fc)</th> <th>施工部位</th> </tr> <tr> <td>・普通コンクリート</td> <td>※Ⅰ類</td> <td>Fc36 S15</td> <td>基礎</td> </tr> <tr> <td>・軽量コンクリート</td> <td>・Ⅱ類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・普通コンクリート</td> <td>※Ⅰ類</td> <td>Fc36 S18</td> <td>地上</td> </tr> <tr> <td>・軽量コンクリート</td> <td>・Ⅱ類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・普通コンクリート</td> <td>※Ⅰ類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・軽量コンクリート</td> <td>・Ⅱ類</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(6.2.1)(6.2.2)(6.2.3)(6.10.1)(6.13.1)(6.14.1)(6.15.1)</p> <p>(1) セメントの種類 【※普通ホルムラットセメント・フライアッシュセメントB種・フライアッシュセメントB種の適用箇所：【・図示】】</p> <p>(2) 骨材のアルカリシリカ反応性による区分：※A・B (6.3.1)</p> <p>材齢28日圧縮強度の推定に用いる供試体は現場における「水中養生」とする。</p> <table border="1"> <tr> <th>仕上げの種別</th> <th>打増し厚さ</th> <th>施工部位</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>意匠図による</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>工事に使用するコンクリートは事前に試し練りを行い、その品質等が設計図書の規定に適合していることを確認し、監督職員に報告する。</p> <p>打継ぎ目地の寸法は、図示による。</p> <p>(1) 外部に面する打放し仕上げの打増し厚さ【・(2)mm ・()mm】</p> <p>(2) ひび割れ誘発目地の位置、形状及び寸法は、図示による。</p> <p>(3) MCR工法の適用：・有り【 使用箇所：・図示 ・】</p> <table border="1"> <tr> <th>施工部位</th> <th>種類</th> <th>気乾単位容積質量</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・1種 ・2種</td> <td></td> </tr> </table> <p>水又は土に接する軽量コンクリートの使用・有り【使用箇所：・図示 ・】</p> <p>暑中コンクリートの適用は【西表島】の日平均気温の年平均値が25℃を超える【5月9日】から【10月22日】までとする。(注)適用する場合は、気象庁HPより日平均気温の年平均値を確認し、【 】を記載すること。</p> <p>レディーミストコンクリートの品質確保については、「レディーミストコンクリートの品質確保について」(平成15年11月10日付け国営建第95号)及び「レディーミストコンクリートの品質確保について」の運用について」(平成15年11月10日付け国営技第71号)を適用する。</p> | 気乾単位容積質量による種類 | 類別等 | 設計基準強度(Fc) | 施工部位 | ・普通コンクリート | ※Ⅰ類 | Fc36 S15 | 基礎 | ・軽量コンクリート | ・Ⅱ類 | | | ・普通コンクリート | ※Ⅰ類 | Fc36 S18 | 地上 | ・軽量コンクリート | ・Ⅱ類 | | | ・普通コンクリート | ※Ⅰ類 | | | ・軽量コンクリート | ・Ⅱ類 | | | 仕上げの種別 | 打増し厚さ | 施工部位 | 備考 | 意匠図による | | | | 施工部位 | 種類 | 気乾単位容積質量 | | ・1種 ・2種 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 気乾単位容積質量による種類 | 類別等 | 設計基準強度(Fc) | 施工部位 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・普通コンクリート | ※Ⅰ類 | Fc36 S15 | 基礎 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・軽量コンクリート | ・Ⅱ類 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・普通コンクリート | ※Ⅰ類 | Fc36 S18 | 地上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・軽量コンクリート | ・Ⅱ類 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・普通コンクリート | ※Ⅰ類 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・軽量コンクリート | ・Ⅱ類 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 仕上げの種別 | 打増し厚さ | 施工部位 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 意匠図による | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施工部位 | 種類 | 気乾単位容積質量 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・1種 ・2種 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 16 監理技術者の兼務(特例監理技術者の配置) | <p>※ 本工事は、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者(特例監理技術者)の配置を認める。この場合の要件は、現場説明書による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本工事は、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者(特例監理技術者)の配置を認めない。 | 22 設計図CADデータの貸与 | 4 地業工事 | <p>1 載荷試験(4.2.3)(4.2.4)</p> <p>2 杭地業</p> <p>(1) 杭地業の種類と工法(4.3.1)(4.4.4)(4.5.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>載荷試験の種類</th> <th>試験の方法</th> <th>試験の位置</th> <th>載荷荷重</th> <th>報告書の記載事項</th> </tr> <tr> <td>杭</td> <td>・水平試験・図示 ・鉛直試験</td> <td>・図示</td> <td>・図示</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>地盤</td> <td>・平板載荷試験</td> <td>・図示</td> <td>・図示</td> <td>・図示</td> </tr> </table> <p>(2) 杭の寸法等(4.2.2)(4.3.3)(4.4.3)(4.5.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>試験杭</th> <th>杭径</th> <th>杭長(m)</th> <th>種類</th> <th>継手数</th> <th>先端部の形状</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>本杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>位置は図示による</td> </tr> </table> <p>(3) 杭の品質等(4.3.4)~(4.3.8)(4.4.4)~(4.4.6)</p> <table border="1"> <tr> <th>設計支持力</th> <th>推定支持力の算定方法</th> <th>水平方向のずれ精度</th> <th>継手工法</th> <th>杭頭の処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 載荷試験の種類 | 試験の方法 | 試験の位置 | 載荷荷重 | 報告書の記載事項 | 杭 | ・水平試験・図示 ・鉛直試験 | ・図示 | ・図示 | ・図示 | 地盤 | ・平板載荷試験 | ・図示 | ・図示 | ・図示 | 試験杭 | 杭径 | 杭長(m) | 種類 | 継手数 | 先端部の形状 | 備考 | 本杭 | | | | | | 位置は図示による | 設計支持力 | 推定支持力の算定方法 | 水平方向のずれ精度 | 継手工法 | 杭頭の処理 | | | | | | <p>5 柱状改良</p> <p>6 床下防湿層(4.6.5)</p> <p>7 磁気探査</p> | <p>5 鉄筋工事</p> <p>6 コンクリート工事</p> <p>7 暑中コンクリート</p> <p>8 品質確保</p> | <table border="1"> <tr> <th>工事名称</th> <td>西表島世界遺産センター整備実施設計</td> <th>工事年度</th> <td>令和 年度</td> </tr> <tr> <th>発注機関</th> <td>竹富町自然観光課</td> <th>図面名称</th> <td>建築工事特記仕様書(その2)</td> </tr> <tr> <th>縮尺</th> <td></td> <th>図面番号</th> <td>A-04</td> </tr> <tr> <th>管理建築士</th> <td></td> <th>設計</th> <td></td> </tr> <tr> <th>製図</th> <td></td> <th>図面名称</th> <td></td> </tr> <tr> <th>設計者</th> <td></td> <th>資格者氏名</th> <td></td> </tr> <tr> <th>登録番号</th> <td></td> <th>所在地</th> <td></td> </tr> </table> | 工事名称 | 西表島世界遺産センター整備実施設計 | 工事年度 | 令和 年度 | 発注機関 | 竹富町自然観光課 | 図面名称 | 建築工事特記仕様書(その2) | 縮尺 | | 図面番号 | A-04 | 管理建築士 | | 設計 | | 製図 | | 図面名称 | | 設計者 | | 資格者氏名 | | 登録番号 | | 所在地 | |
| 載荷試験の種類 | 試験の方法 | 試験の位置 | 載荷荷重 | 報告書の記載事項 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 杭 | ・水平試験・図示 ・鉛直試験 | ・図示 | ・図示 | ・図示 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地盤 | ・平板載荷試験 | ・図示 | ・図示 | ・図示 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 試験杭 | 杭径 | 杭長(m) | 種類 | 継手数 | 先端部の形状 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 本杭 | | | | | | 位置は図示による | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 設計支持力 | 推定支持力の算定方法 | 水平方向のずれ精度 | 継手工法 | 杭頭の処理 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 工事名称 | 西表島世界遺産センター整備実施設計 | 工事年度 | 令和 年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 発注機関 | 竹富町自然観光課 | 図面名称 | 建築工事特記仕様書(その2) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 縮尺 | | 図面番号 | A-04 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 管理建築士 | | 設計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 製図 | | 図面名称 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 設計者 | | 資格者氏名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 登録番号 | | 所在地 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 17 工事の保険等 | <p>(1) 次の工事関係保険に加入すること。なお、保険の加入期間は、原則として工事着工日から工事完成期日後14日以上とする。</p> <p>①火災保険 ②建設工事保険・組立(6) ③請負業者賠償責任保険</p> <p>(2) 建設労災補償共済又はこれに準ずる共済、保険に加入し、契約後1月以内に加入を証明する書類を発注者に提出する。</p> <p>(3) 建設業退職金共済制度に加入し、次の項目を遵守すること。</p> <p>ア 掛金収納書を契約後原則1ヶ月以内(電子申請方式による場合にあっては契約後原則40日以内)に発注者に提出する。</p> <p>イ 当該建設現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」標識を掲示する。</p> <p>ウ 未加入下請事業者に対する加入を指導する。</p> <p>エ 工事完成後、速やかに掛金充当実績総括表を作成し、検査職員に提示しなければならない。</p> | 23 情報共有システム | <p>1 載荷試験(4.2.3)(4.2.4)</p> <p>2 杭地業</p> | <p>5 鉄筋工事</p> <p>6 コンクリート工事</p> <p>7 暑中コンクリート</p> <p>8 品質確保</p> | <table border="1"> <tr> <th>工事名称</th> <td>西表島世界遺産センター整備実施設計</td> <th>工事年度</th> <td>令和 年度</td> </tr> <tr> <th>発注機関</th> <td>竹富町自然観光課</td> <th>図面名称</th> <td>建築工事特記仕様書(その2)</td> </tr> <tr> <th>縮尺</th> <td></td> <th>図面番号</th> <td>A-04</td> </tr> <tr> <th>管理建築士</th> <td></td> <th>設計</th> <td></td> </tr> <tr> <th>製図</th> <td></td> <th>図面名称</th> <td></td> </tr> <tr> <th>設計者</th> <td></td> <th>資格者氏名</th> <td></td> </tr> <tr> <th>登録番号</th> <td></td> <th>所在地</th> <td></td> </tr> </table> | 工事名称 | 西表島世界遺産センター整備実施設計 | 工事年度 | 令和 年度 | 発注機関 | 竹富町自然観光課 | 図面名称 | 建築工事特記仕様書(その2) | 縮尺 | | 図面番号 | A-04 | 管理建築士 | | 設計 | | 製図 | | 図面名称 | | 設計者 | | 資格者氏名 | | 登録番号 | | 所在地 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 工事名称 | 西表島世界遺産センター整備実施設計 | 工事年度 | 令和 年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 発注機関 | 竹富町自然観光課 | 図面名称 | 建築工事特記仕様書(その2) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 縮尺 | | 図面番号 | A-04 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 管理建築士 | | 設計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 製図 | | 図面名称 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 設計者 | | 資格者氏名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 登録番号 | | 所在地 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 18 ゆいぐる材について | <p>(1) 本工事で使用するリサイクル資材は、特定建設資材廃棄物を原材料とするゆいぐる材に限り、原則「ゆいぐる材」とする。それ以外を原材料とするゆいぐる材は率先して使用することとする。ただし、ゆいぐる材がない離島等での工事の場合は、ゆいぐる材以外の再生資材を使用できる。なお、ゆいぐる材以外の再生資材を使用する場合も「ゆいぐる材品質管理要領」に準じて品質管理を実施すること。また、ゆいぐる材の在庫がない等により使用することができない場合は、新材を使用すること。</p> <p>(2) ゆいぐる材の品質管理 ア ゆいぐる材の品質管理にあつては、「標準仕様書」等のほかに「ゆいぐる材品質管理要領」に基づいて行うこと。 イ 受注者は、工事請負代金額が500万円以上でゆいぐる材を使用する場合、着手後に一般財団法人沖縄県建設技術センターあてに「ゆいぐる材品質管理依頼」を行い、必要書類の交付を受けなければならない。 ウ 受注者は、路盤材のサンプル送付試験のサンプル採取及び現場への資材初回搬入時と敷き均し転圧完了後の現場簡易試験を監督員の立会の下、実施しなければならない。 エ 受注者は、路盤材の現場簡易試験が終了した場合、速やかに監督員に試験結果を報告しなければならない。</p> | 24 墜落制止用器具 | <p>1 載荷試験(4.2.3)(4.2.4)</p> <p>2 杭地業</p> | <p>5 鉄筋工事</p> <p>6 コンクリート工事</p> <p>7 暑中コンクリート</p> <p>8 品質確保</p> | <table border="1"> <tr> <th>工事名称</th> <td>西表島世界遺産センター整備実施設計</td> <th>工事年度</th> <td>令和 年度</td> </tr> <tr> <th>発注機関</th> <td>竹富町自然観光課</td> <th>図面名称</th> <td>建築工事特記仕様書(その2)</td> </tr> <tr> <th>縮尺</th> <td></td> <th>図面番号</th> <td>A-04</td> </tr> <tr> <th>管理建築士</th> <td></td> <th>設計</th> <td></td> </tr> <tr> <th>製図</th> <td></td> <th>図面名称</th> <td></td> </tr> <tr> <th>設計者</th> <td></td> <th>資格者氏名</th> <td></td> </tr> <tr> <th>登録番号</th> <td></td> <th>所在地</th> <td></td> </tr> </table> | 工事名称 | 西表島世界遺産センター整備実施設計 | 工事年度 | 令和 年度 | 発注機関 | 竹富町自然観光課 | 図面名称 | 建築工事特記仕様書(その2) | 縮尺 | | 図面番号 | A-04 | 管理建築士 | | 設計 | | 製図 | | 図面名称 | | 設計者 | | 資格者氏名 | | 登録番号 | | 所在地 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 工事名称 | 西表島世界遺産センター整備実施設計 | 工事年度 | 令和 年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 発注機関 | 竹富町自然観光課 | 図面名称 | 建築工事特記仕様書(その2) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 縮尺 | | 図面番号 | A-04 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 管理建築士 | | 設計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 製図 | | 図面名称 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 設計者 | | 資格者氏名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 登録番号 | | 所在地 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|--|--|--|--|--|--|--|---|---|--------------------------|---|--|--|--|
| 19 左官工事 へ続き | 4 仕上塗材仕上げ(15.6.2) (表15.6.1) | 種類 呼び名 仕上げの形状・工法等 | 10 鍵 (16.8.4) | (1) マスターキー()・製作する ・製作しない】 (2) 関連工事がある場合は、受注者間で協議し1つの鍵箱にまとめて納品する。 | 5 フローリングボ ードの特殊張り | 体育館、武道場等の床の強度、弾力性を特に要求される広い床は、日本体育床下地工業会編「体育館床工事標準施工要領書」による。 | 21 側塊、排水枡等 (21.2.1) | (3) グレーチング 材質 用途 適用荷重 メインバーピッチ 備考 SUS 歩行、横断 図示 6mm | | | | | | | |
| | 5 マスチック塗料 塗り(表15.7.2) | 工程 種別 塗料その他 | | 11 自動ドア開閉装 置(16.9.3) | | (1) 戸の開閉方法()・引戸 ・開き戸 ・折戸】 (2) センサーの種類: 外外線センサー(無目内蔵型) | | | 6 畳敷き (19.6.2) | (1) 畳の種類【・A種 ・B種 ・C種 ・D種(種別:)】 (2) 畳表に使用する材料は沖縄県産とする。 | 3 基床(21.2.2) | (4) 地業の材料: 【再生クラックシャランRC-40】 基床の厚さ及び種類: 図示による。 | | | |
| | 6 せっこうプラス ター塗り (15.8.2)(15.8.3) | (1) 下塗り及び中塗りに用いるせっこうプラスター ・既調合プラスター(下塗り用)・現場調合プラスター(下塗り用) (2) 上塗り: ・既調合プラスター(上塗り用) ・しっくい塗り | | 12 シャッター | | (1) シャッターの種類:【・重量() ・軽量】 (2) 耐風圧強度: (3) 開閉機能:【・手動式 ・電動式】 (4) 重量シャッターの場合のシャッターケース: 【・設ける ・設けない】 (5) スラットの形式: 【・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形】 | | | 7 せっこうボード、 その他ボード及 び合板張り (19.7.2) (19.7.3) (表19.7.5) | (1) せっこうボード 規格名称 種類の記号 厚さ 施工箇所 目地工法の種類 仕上表による | 4 街きよ、縁石及 び側溝(21.3.1) | コンクリート縁石及び側溝 ※図示による 名称 規格名称 形状 寸法等 備考 図示 図示 図示 図示 | | | |
| | 7 しっくい塗り (15.10.2) | (1) しっくい: ・現場調合材料 ・既調合材料() | | 13 オーバーヘッド ドア(16.13.2) | | (1) 耐風圧性能の区分: (2) 開閉機能:【※バランス式 ・チェーン式 ・電動式】 (3) 収納形式による区分: (4) ガラスの種類及び厚さ等 | | | 8 壁紙張り (19.8.2) | (2) 合板の種類 合板の名称 施工箇所 その他の仕様 仕上表による ※合板の木材処理(防虫・防蟻)については、本特記仕様書第12章第3項及び第4項を適用する。 (3) 軽量鉄骨壁下地ボード遮音壁に用いる遮音シール材: 【・] | 22 舗装工 事 | 1 路床(22.2.2) (22.2.3)(22.2.5) (表22.2.1) | (1) 路床の種類等 層の種類 厚さ 盛土の材料 路床安定処理 試験 現地発生土 | | |
| | 8 ロックウール吹 付け(15.12.3) | 仕上げ厚さ: | | 14 ガラス (16.14.2) (16.14.4) (16.14.5) | | (1) ガラスの種類及び厚さ等 ガラスの種類 厚さ等 備考 図示 図示 アルミ建具部 強化ガラス t=8.0 自動ドア部 | | | 9 断熱及び防露 (19.9.3)(19.9.4) | (3) 断熱材の種類及び厚さ: 断熱材の種類及び厚さ:【仕上表・断熱範囲図による】 | | 2 路盤 (22.3.2)(22.3.5) | (1) 路盤の厚さ:【図示による】 (2) 締固め度試験:【] | | |
| | 1 防火戸等 (16.1.3)(16.1.6) | (1) 防火戸の指定及び機構等は、図示による。 (2) 防犯建物部品の適用は、図示による。 | | 17 カー テンウ ォール工 事 | | (2) ガラス留め材 建具の種類 材種 自動ドア シリコン留め アルミ製建具・SUS製建具 シーリング | | | 20 ユニ ット及 びそ の他工 事 | 1 フリーアクセス フロア(20.2.2) | | 施工箇所 寸法 高さ 耐震性能 所定荷重 帯電防 止性能 漏れい抵 抗 | 3 アスファルト舗 装 (22.4.2) (22.4.4) (22.4.5) | (1) 構成及び厚さ:【※ 図示による(L-12) ・] (2) 加熱アスファルト混合物等の種類: 【・ 密粒度アスファルト混合物(13) ・ 再粒度アスファルト混合物(13)] | |
| | 2 見本の製作等 (16.1.4) | (1) 建具見本の製作:【・ 行う ・行わない】 (2) 特殊な建具の仮組:【・ 実施する ・ 実施しない】 | | | | 1 カーテンウ ォール (17.2.2) (17.2.3) (17.2.6) (17.3.2) (17.3.3) (17.3.6) | | | (3) 熱線反射ガラスの映像調整: (4) ガラスブロックの材料及び工法 表面形状呼び寸法 厚さ 壁用金属枠 補強材 色 金属製化粧カバー | 2 可動間仕切 (20.2.3) | | 施工箇所 構造形式 構成基材 遮音性 表面仕上げ 建具寸法等 | 4 カラー舗装 (22.6.2) | (1) 構成及び厚さ:【・ 図示による(L-) ・] (2) 種類:【・ 加熱系() ・ 常温系()] (3) 添加する着色骨材又は自然石 【・ 図示による(L-) ・] | |
| | 3 アルミニウム製 建具 (16.2.2) (16.2.4) (16.2.5) (表14.2.1) (表16.2.1) | (1) 建具の性能等 種別 耐風圧性 気密性 水密性 枠見込み寸法 施工箇所 B種 3220Pa A-4 1000Pa×3H 70 図示 C種 3000Pa A-4 W-5 100.120 図示 | | | | (3) 材料の種類 金属材料 シーリング材 耐火目地材 断熱材 構造ガスケット | | | (4) 先付け材料:【・ 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・] 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: | 3 移動間仕切 (20.2.4) | | 施工箇所 種類 表面材 操作方法 遮音性 備考 多目的スベ 間仕切り詳細図による あと施工アンカーの使用:【・ 有り ・無し】 材質、寸法等は図示に よる。 | 5 ブロック系舗装 (22.8.1) | (1) ブロック系舗装の適用()・コンクリート平板舗装 ・イン ターロッキングブロック舗装 ・ 舗石舗装】 (2) 種類及び寸法等()・図示による(L-12) ・] (3) ジオテキスタイルの適用及び品質:【] | |
| | 4 樹脂製建具 (16.3.2) (16.3.3) (16.3.4) (16.3.5) (表16.3.1) (表16.3.2) (表16.3.3) (表16.3.4) | (2) 特殊なドアセット等の適用及び等級 ドアセット等の種類 施工箇所 等級 備考 ・ 防音ドアセット ・ 断熱ドアセット ・ 耐震ドアセット | | | | (4) 性能 耐風圧 耐震 水密 気密性 耐火性 耐温度 遮音性 断熱性 性能 性 性 性 性 性 性 性 | | | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | 4 トイレブ ース (20.2.5) | | 表面材の材質 脚部の形状及び寸法 ドアエッジの形状及び材質 OSB 同材 | 6 透水性アス ファ ルト舗 装 (22.7.2) | (1) 植栽地の確認 (23.1.3) (23.2.2) (23.2.3) | (1) 植栽地の土壌試験:しない (2) 暗きよ、開きよ及び排水層等の設置は、図示による。 (3) 土壌改良材:※図示による (4) 植込み用土:※図示による |
| | 5 鋼製建具 (16.4.1)(16.4.2) | (3) 外部に面する建具の表面処理の種類及び複合皮膜の種類 種別: B-1 複合皮膜の種類()・A1 ・A2】(JIS H 8602) (4) 結露水の処理方法: (5) 水切り及びびせん板等の加工及び組立は、図示による。 | | | | (5) 材料の種類 金属材料 シーリング材 耐火目地材 断熱材 構造ガスケット | | | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | 5 手すり (20.2.6) | | (1) 手すり 【・ SUS304 (表面処理 ・ ※HL程度) ・ 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表14.2.2による種別(・ 種)) ・] | 7 植栽及び 屋上 緑化工 事 | 1 植栽地の確認 (23.1.3) (23.2.2) (23.2.3) | (1) 植栽地の土壌試験:しない (2) 暗きよ、開きよ及び排水層等の設置は、図示による。 (3) 土壌改良材:※図示による (4) 植込み用土:※図示による |
| 6 鋼製軽量建具 (16.5.2) (16.5.3) (表16.2.1) | (2) 特殊なドアセット等の適用及び等級 ドアセット等の種類 施工箇所 等級 備考 ・ 簡易気密型ドアセット | (6) 先付け材料:【・ 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・] 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | | 6 階段滑り止 め (20.2.6) | 材種 形状 寸法 備考 | 2 植樹 (23.3.2) (23.3.4) (23.3.6) | (1) 種類等 樹木の種類 樹高(m) 有効土層の 厚さ(cm) 支柱の形 備考 図示 図示 図示 二脚鳥居 整備範囲は図 示による | | | | | | | |
| 7 ステンレス製建 具 (16.6.2)(16.6.3) | (3) 表面色: (4) 水切り及びびせん板等の加工及び組立は、図示による。 (5) ガラス: ※複層ガラス・単板ガラス ・三重ガラス ・ (6) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級:【・] | (6) 先付け材料:【・ 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・] 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | | 7 ブラインド (20.2.14) | 形式 種類 スラットの材質 スラットの幅 施工箇所 | 3 芝張り等 (23.4.2) | (2) 新植樹木の枯損補償の期間:【※1年 ・ ()年】 (3) 移植樹木の枯損処理を行う期間:【※1年 ・ ()年】 (1) 芝の種類:コウシュンシバ(ベタ張り) (2) 種子の種類及び質量: (3) 地被類 樹種 芽立数 コンテナ径 単位面積当りの コンテナ数 図示 図示 図示 図示 | | | | | | | |
| 8 木製建具 (16.7.2) (16.7.4) | (4) 特殊なドアセット等の適用及び等級 ドアセット等の種類 施工箇所 等級 備考 ・ 簡易気密型ドアセット | (6) 先付け材料:【・ 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・] 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | | 8 ロールスク リーン (20.2.15) | 操作方式 幅及び高さ 材種 品質等 施工箇所 | 4 屋上緑化 (23.5.2)(23.5.3) (23.5.4) | 土壌層の厚さ 排水層の厚さ 樹木の樹種、寸 法、数量 支柱の形式 かん水装置 ※見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等は、図示による。 ※樹木の固定方法については、施工計画書に明記し、監督職 員と協議すること。 | | | | | | | |
| 9 建具用金物 (16.8.2)(16.8.3) (表16.8.1) | (5) 鋼板の種類:【・ JIS G 3302 ・ JIS G 3317】 (6) 重量がある扉等 ・ 24 その他 1重量がある扉等 による。 | (6) 先付け材料:【・ 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・] 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | | 9 カーテン (20.2.16) | 形式 開閉操作 きれ地の種別等 施工箇所 備考 | 24 そ の 他 | 1 重量がある扉等 ・ 図示による【・ (A-) ・] ・ 施工図及び施工計画書(工場製作要領書・工事現場施工要領 書を含む)の記載事項は、標準仕様書16章建具工事に加え、 標準仕様書7章鉄骨工事に準じることとし、扉の取り付け方 法、溶接、塗装計画、ボルト等接合作業手順等を考慮しながら 品質計画を作成する。施工図及び施工計画書を工事の施工に 先立ち作成し、監督員に提出し承諾を得るものとする。 | | | | | | | |
| | (6) 鋼板の種類:【・ JIS G 3302 ・ JIS G 3317】 (6) 重量がある扉等 ・ 24 その他 1重量がある扉等 による。 | (6) 先付け材料:【・ 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・] 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | | 10 間知石及びコン クリート間知 ブロック積み (20.4.2) (20.4.3) | (1) 間知石 材種 目塗り 目地の材種・厚さ等 施工箇所 図示【A-] | | | | | | | | | |
| | (6) 鋼板の種類:【・ JIS G 3302 ・ JIS G 3317】 (6) 重量がある扉等 ・ 24 その他 1重量がある扉等 による。 | (6) 先付け材料:【・ 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・] 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | 11 くつふきマ ット (20.4.3) | (1) くつふきマットの材種:【・ 塩化ビニル又はゴム製 ・ 硬質アルミニウム合金製()・ ステンレス鋼(SUS304)製】 (2) 受け枠の材種: 【・ 硬質アルミニウム合金製()・ ステンレス鋼(SUS304)製】 | | | | | | | | | | |
| | (6) 鋼板の種類:【・ JIS G 3302 ・ JIS G 3317】 (6) 重量がある扉等 ・ 24 その他 1重量がある扉等 による。 | (6) 先付け材料:【・ 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・] 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | 12 流し台ユニ ット (20.4.3) | 名称 寸法 適用内容 規格・品質 備考 流し台 コンロ台 ミニキッチン幅1200 仕上表によ | | | | | | | | | | |
| | (6) 鋼板の種類:【・ JIS G 3302 ・ JIS G 3317】 (6) 重量がある扉等 ・ 24 その他 1重量がある扉等 による。 | (6) 先付け材料:【・ 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・] 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | 2 排水工 事 | 材種 管の種類 呼び径 備考 図示 図示 図示 | | | | | | | | | | |
| | (6) 鋼板の種類:【・ JIS G 3302 ・ JIS G 3317】 (6) 重量がある扉等 ・ 24 その他 1重量がある扉等 による。 | (6) 先付け材料:【・ 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・] 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | 1 排水管 (21.2.1) | 形状 寸法 備考 図示 図示 | | | | | | | | | | |
| | (6) 鋼板の種類:【・ JIS G 3302 ・ JIS G 3317】 (6) 重量がある扉等 ・ 24 その他 1重量がある扉等 による。 | (6) 先付け材料:【・ 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・] 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | 2 側塊、排水枡等 (21.2.1) | 種類 適用荷重 備考 図示 図示 | | | | | | | | | | |
| | (6) 鋼板の種類:【・ JIS G 3302 ・ JIS G 3317】 (6) 重量がある扉等 ・ 24 その他 1重量がある扉等 による。 | (6) 先付け材料:【・ 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・] 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | | 側塊 形状 寸法 備考 図示 図示 | | | | | | | | | | |
| | (6) 鋼板の種類:【・ JIS G 3302 ・ JIS G 3317】 (6) 重量がある扉等 ・ 24 その他 1重量がある扉等 による。 | (6) 先付け材料:【・ 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・] 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | | 排水枡 種類 適用荷重 備考 図示 図示 | | | | | | | | | | |
| | (6) 鋼板の種類:【・ JIS G 3302 ・ JIS G 3317】 (6) 重量がある扉等 ・ 24 その他 1重量がある扉等 による。 | (6) 先付け材料:【・ 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・] 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | | | | | | | | | | | | |
| | (6) 鋼板の種類:【・ JIS G 3302 ・ JIS G 3317】 (6) 重量がある扉等 ・ 24 その他 1重量がある扉等 による。 | (6) 先付け材料:【・ 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・] 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | | | | | | | | | | | | |
| | (6) 鋼板の種類:【・ JIS G 3302 ・ JIS G 3317】 (6) 重量がある扉等 ・ 24 その他 1重量がある扉等 による。 | (6) 先付け材料:【・ 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・] 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | | | | | | | | | | | | |
| | (6) 鋼板の種類:【・ JIS G 3302 ・ JIS G 3317】 (6) 重量がある扉等 ・ 24 その他 1重量がある扉等 による。 | (6) 先付け材料:【・ 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・] 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | | | | | | | | | | | | |
| | (6) 鋼板の種類:【・ JIS G 3302 ・ JIS G 3317】 (6) 重量がある扉等 ・ 24 その他 1重量がある扉等 による。 | (6) 先付け材料:【・ 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・] 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | | | | | | | | | | | | |
| | (6) 鋼板の種類:【・ JIS G 3302 ・ JIS G 3317】 (6) 重量がある扉等 ・ 24 その他 1重量がある扉等 による。 | (6) 先付け材料:【・ 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・] 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | | | | | | | | | | | | |
| | (6) 鋼板の種類:【・ JIS G 3302 ・ JIS G 3317】 (6) 重量がある扉等 ・ 24 その他 1重量がある扉等 による。 | (6) 先付け材料:【・ 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・] 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | | | | | | | | | | | | |
| | (6) 鋼板の種類:【・ JIS G 3302 ・ JIS G 3317】 (6) 重量がある扉等 ・ 24 その他 1重量がある扉等 による。 | (6) 先付け材料:【・ 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・] 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | | | | | | | | | | | | |
| | (6) 鋼板の種類:【・ JIS G 3302 ・ JIS G 3317】 (6) 重量がある扉等 ・ 24 その他 1重量がある扉等 による。 | (6) 先付け材料:【・ 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・] 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | | | | | | | | | | | | |
| | (6) 鋼板の種類:【・ JIS G 3302 ・ JIS G 3317】 (6) 重量がある扉等 ・ 24 その他 1重量がある扉等 による。 | (6) 先付け材料:【・ 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・] 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | | | | | | | | | | | | |
| | (6) 鋼板の種類:【・ JIS G 3302 ・ JIS G 3317】 (6) 重量がある扉等 ・ 24 その他 1重量がある扉等 による。 | (6) 先付け材料:【・ 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・] 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | | | | | | | | | | | | |
| | (6) 鋼板の種類:【・ JIS G 3302 ・ JIS G 3317】 (6) 重量がある扉等 ・ 24 その他 1重量がある扉等 による。 | (6) 先付け材料:【・ 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・] 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | | | | | | | | | | | | |
| | (6) 鋼板の種類:【・ JIS G 3302 ・ JIS G 3317】 (6) 重量がある扉等 ・ 24 その他 1重量がある扉等 による。 | (6) 先付け材料:【・ 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・] 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | | | | | | | | | | | | |
| | (6) 鋼板の種類:【・ JIS G 3302 ・ JIS G 3317】 (6) 重量がある扉等 ・ 24 その他 1重量がある扉等 による。 | (6) 先付け材料:【・ 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・] 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | | | | | | | | | | | | |
| | (6) 鋼板の種類:【・ JIS G 3302 ・ JIS G 3317】 (6) 重量がある扉等 ・ 24 その他 1重量がある扉等 による。 | (6) 先付け材料:【・ 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・] 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | | | | | | | | | | | | |
| | (6) 鋼板の種類:【・ JIS G 3302 ・ JIS G 3317】 (6) 重量がある扉等 ・ 24 その他 1重量がある扉等 による。 | (6) 先付け材料:【・ 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・] 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | | | | | | | | | | | | |
| | (6) 鋼板の種類:【・ JIS G 3302 ・ JIS G 3317】 (6) 重量がある扉等 ・ 24 その他 1重量がある扉等 による。 | (6) 先付け材料:【・ 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・] 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | | | | | | | | | | | | |
| | (6) 鋼板の種類:【・ JIS G 3302 ・ JIS G 3317】 (6) 重量がある扉等 ・ 24 その他 1重量がある扉等 による。 | (6) 先付け材料:【・ 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・] 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | | | | | | | | | | | | |
| | (6) 鋼板の種類:【・ JIS G 3302 ・ JIS G 3317】 (6) 重量がある扉等 ・ 24 その他 1重量がある扉等 による。 | (6) 先付け材料:【・ 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・] 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | | | | | | | | | | | | |
| | (6) 鋼板の種類:【・ JIS G 3302 ・ JIS G 3317】 (6) 重量がある扉等 ・ 24 その他 1重量がある扉等 による。 | (6) 先付け材料:【・ 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・] 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | | | | | | | | | | | | |
| | (6) 鋼板の種類:【・ JIS G 3302 ・ JIS G 3317】 (6) 重量がある扉等 ・ 24 その他 1重量がある扉等 による。 | (6) 先付け材料:【・ 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・] 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | | | | | | | | | | | | |
| | (6) 鋼板の種類:【・ JIS G 3302 ・ JIS G 3317】 (6) 重量がある扉等 ・ 24 その他 1重量がある扉等 による。 | (6) 先付け材料:【・ 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・] 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | | | | | | | | | | | | |
| | (6) 鋼板の種類:【・ JIS G 3302 ・ JIS G 3317】 (6) 重量がある扉等 ・ 24 その他 1重量がある扉等 による。 | (6) 先付け材料:【・ 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・] 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | | | | | | | | | | | | |
| | (6) 鋼板の種類:【・ JIS G 3302 ・ JIS G 3317】 (6) 重量がある扉等 ・ 24 その他 1重量がある扉等 による。 | (6) 先付け材料:【・ 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・] 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | | | | | | | | | | | | |
| | (6) 鋼板の種類:【・ JIS G 3302 ・ JIS G 3317】 (6) 重量がある扉等 ・ 24 その他 1重量がある扉等 による。 | (6) 先付け材料:【・ 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・] 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | | | | | | | | | | | | |
| | (6) 鋼板の種類:【・ JIS G 3302 ・ JIS G 3317】 (6) 重量がある扉等 ・ 24 その他 1重量がある扉等 による。 | (6) 先付け材料:【・ 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・] 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | | | | | | | | | | | | |
| | (6) 鋼板の種類:【・ JIS G 3302 ・ JIS G 3317】 (6) 重量がある扉等 ・ 24 その他 1重量がある扉等 による。 | (6) 先付け材料:【・ 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・] 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | | | | | | | | | | | | |
| | (6) 鋼板の種類:【・ JIS G 3302 ・ JIS G 3317】 (6) 重量がある扉等 ・ 24 その他 1重量がある扉等 による。 | (6) 先付け材料:【・ 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・] 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | | | | | | | | | | | | |
| | (6) 鋼板の種類:【・ JIS G 3302 ・ JIS G 3317】 (6) 重量がある扉等 ・ 24 その他 1重量がある扉等 による。 | (6) 先付け材料:【・ 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・] 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | | | | | | | | | | | | |
| | (6) 鋼板の種類:【・ JIS G 3302 ・ JIS G 3317】 (6) 重量がある扉等 ・ 24 その他 1重量がある扉等 による。 | (6) 先付け材料:【・ 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・] 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | | | | | | | | | | | | |
| | (6) 鋼板の種類:【・ JIS G 3302 ・ JIS G 3317】 (6) 重量がある扉等 ・ 24 その他 1重量がある扉等 による。 | (6) 先付け材料:【・ 建具枠 ・ゴンドラ用ガイドレール ・] 仕様等については、図示による。 (5) メタルカーテンウォール製品の見え掛り部分の仕上げ: | (6) PCカーテンウォールの仕上げ: (7) 構造ガスケットを用いるガラスの取付け: | | | | | | | | | | | | |



KBM1 (金属鉄)
X=-19121.603
Y=-12122.922
EL=10.021

仮囲い：成型鋼板H2.0m




敷き鉄板 t22
(1.524 x 3.048m)

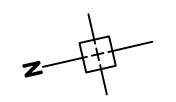
パネルゲート
W6.3m x H4.5m

工事車両
出入口
a点 (木杭)
X=-191195.191
Y=-12185.984

仮囲い：成型鋼板H2.0m

b点 (木杭)
X=-191066.702
Y=-12156.629

-  △敷地境界線
-  建物底ライン
-  建物躯体範囲



| | | | | | | | |
|--|--|--|---|----------------|-----------------------|------|----|
| | 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 建二 | TITLE 仮設計画図 | SCALE S=1/800 (A3) | DATE | NO |
| | PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | | | | CHECK | A-07 | |

| 外部仕上表 | | | |
|-------|--|--------------|--|
| 部位・場所 | 仕様 | 部位・場所 | 仕様 ※アンダーラインのついた項目は別途工事とする |
| 屋根 | 仕上:断熱赤瓦 下地:団子モルタル t=20 コンクリートスラブ t=155 硬質発泡ウレタン吹付断熱材 t=30(内断熱)※梁部現し 範囲は断熱範囲図による | 土間スラブ下 | ポリエチレンフィルム敷き |
| | | 地下ピット・窯場 | なし |
| 陸屋根部 | 仕上:保護コンクリート t=80 アスファルトルーフィング(改質アスファルト常温複合法 AI-1) 立上り露出砂付き仕上 断熱材 t=30 勾配スラブ | 犬走 | 赤瓦砕石敷き ※幅は図示による |
| | | 駐車スペース・敷地内通路 | カラーアスファルト敷き |
| 外壁 | OSB型枠コンクリート打放し仕上 色付き撥水材塗布 硬質発泡ウレタン吹付断熱材 t=30(内断熱)※範囲は断熱範囲図による | 広場・通路 | 平板舗装:PC平板 300角 t=80(車両対応) |
| | | 足洗い場 | 壁:コンクリート打放の上撥水材塗布、床面:防水モルタル金ゴテ押え、SUSグレーチング・枠付き |
| 軒天 | OSB型枠コンクリート打放し仕上 色付き撥水材塗布 | 足洗い場屋根 | 鉄骨フレーム(柱・梁):HDZの上DP塗装、ポリカ折板 W88、押え金物 St L-50×50×5 HDZ |
| | | デッキ | 赤瓦タイル敷き+人工木デッキ |
| トプライト | アルミ製排煙タイプ | 室外機置場 | 花ブロック |
| 開口部 | アルミ複層サッシ(二次電解着色 カラー)+SUS金網製防風スクリーン、SUSワイヤー防風スクリーン(位置は図示) | キャノピー | 鉄骨フレーム(柱・梁):HDZの上DP塗装、フッ素樹脂塗装ガルバリウム鋼板 接着工法、縦樋・軒樋:ガルバリウム鋼板製 |
| 軒樋、縦樋 | ガルバリウム製 | 中庭 | 良質土+植栽 |
| | | 非常口前 | RC踊り場、階段、転落防止柵 |
| | | グレーチング蓋 | 鋳鉄製 |
| | | ガスボンベ庫 | 屋根:フッ素樹脂塗装ガルバリウム鋼板 接着工法、内外壁:RC打放しの上撥水材塗布、床:コンクリート金ゴテ押え、天井:木毛セメント板現し、ステンレス製両開き扉 |

内部仕上表 ※居室の仕上・下地はすべてF☆☆☆☆とする。

| 階 | 室名 | 内装制限 排煙 | 床 | | 巾木 | 壁 ※断熱材箇所については断熱範囲図を参照 | | 天井 ※断熱材箇所については断熱範囲図を参照 | | 廻縁 | 天井高 | 備考 ※アンダーラインのついた項目は別途工事とする |
|----|------------------|------------|--|---|---------------|--|--|--------------------------------------|---|------------|--------------------|---|
| | | | 仕上 | 下地 | | 仕上 | 下地 | 仕上 | 下地 | | | |
| 1F | 風除室 | | 全面足ふきマット敷き | 防水モルタル金ゴテ押え t=50 | - | SUS製建具 アクリル樹脂施付塗装 一部、OSB型枠コンクリート打放し仕上 色付き撥水材塗布 | | 木化粧パネル(イヌマキ) t=5.5 | 構造用合板 t=12 LGS 野縁受:St L-50×50×6 ブラケット:St L-60×60×6 | 目透かし W=15 | 2300 | 誘導灯・警告灯:SUS製、傘立て、自動ドア防護柵、 <u>防犯カメラ</u> (電気設備工事) |
| | ロビー | | 木製複合フローリング t=14 W=127 UV-MAT塗装 | 構造用合板 t=15 耐水合板 t=15 鋼製二重床下地 H456 コンクリート表面強化剤塗布 | ナラ材 H=50+CL塗装 | 柱:OSB型枠コンクリート打放し仕上 色付き撥水材塗布 壁面:木製ルーバー30×60@60CL塗装 木製見切:15×60 CL塗装 | 壁面:木毛セメント板 t=15 EP塗装 木製下地75×75 ブラケット:St L-75×75×6 @900 | 木化粧パネル(イヌマキ) t=5.5 | 構造用合板 t=12 LGS 野縁受:St L-50×50×6 ブラケット:St L-60×60×6 | 目透かし W=15 | 2300 | 誘導灯・警告灯:SUS製、掲示スペース:リリウムボード、掲示物カウンター:木製、防煙スクリーン |
| | 物販スペース | | 木製複合フローリング t=14 W=127 UV-MAT塗装 | 構造用合板 t=15 耐水合板 t=15 鋼製二重床下地 H456 コンクリート表面強化剤塗布 | ナラ材 H=50+CL塗装 | EP塗装 | GB-R t=12.5×2 LGS | 岩綿吸音板(平) t=9 EP塗装 | GB-R t=9.5 LGS 高性能グラスウール断熱材t=50 24K | 塩ビ製目透タイプ | 2300 | |
| | 受付カウンター | | 木製複合フローリング t=14 W=127 UV-MAT塗装 | 構造用合板 t=15 耐水合板 t=15 鋼製二重床下地 H456 コンクリート表面強化剤塗布 | ナラ材 H=50+CL塗装 | 柱:OSB型枠コンクリート打放し仕上 色付き撥水材塗布 壁面:EP塗装 | 壁面:GB-R t=12.5×2, LGS | EP塗装 | GB-R t=9.5 構造用合板 t=12 LGS 野縁受:St L-50×50×6 ブラケット:St L-60×60×6 | 目透かし W=15 | 2300 | 受付カウンター:木製、ウエスタン扉、収納棚:木製、レジカウンター:木製 |
| | 展示室1 | | 木製複合フローリング t=14 W=127 UV-MAT塗装 一部互タイル | 構造用合板 t=15 耐水合板 t=15 鋼製二重床下地 H456 コンクリート表面強化剤塗布 | ナラ材 H=50+CL塗装 | 柱:OSB型枠コンクリート打放し 色付き撥水材塗布 壁面:木製ルーバー30×60@60CL塗装 木製見切:15×60 CL塗装 | 壁面:木毛セメント板 t=15 EP塗装 木製下地75×75 ブラケット:St L-75×75×6 @900 | EP塗装 RC梁架構現し 撥水材塗布 | GB-R t=9.5 構造用合板 t=12 LGS 野縁受:St L-50×50×6 ブラケット:St L-60×60×6 | 目透かし W=15 | 平均CH=6160 | ベンチ5台 |
| | 展示室2 | | 木製複合フローリング t=14 W=127 UV-MAT塗装 | 構造用合板 t=15 耐水合板 t=15 鋼製二重床下地 H456 コンクリート表面強化剤塗布 | ソフト巾木 H=60 | EP塗装 | 壁面:GB-R t=12.5×2, LGS | 岩綿吸音板(平) t=9 EP塗装 | GB-R t=9.5 LGS | 塩ビ製目透タイプ | 2500 | |
| | 展示室3 | | ※展示工事 | 構造用合板 t=15 耐水合板 t=15 鋼製二重床下地 H456 ~ 1214 コンクリート表面強化剤塗布 | ソフト巾木 H=60 | コンクリート打放し | - | コンクリート打放し 一部、岩綿吸音板(平) t=9 EP塗装 | - | 目透かし W=15 | 2700 | |
| | 展示室4 | | ビニル床タイル 303×303 t=2.0 | 構造用合板 t=15 耐水合板 t=15 二重床下地 H1214 コンクリート表面強化剤塗布 | ソフト巾木 H=60 | コンクリート打放し | - | EP塗装 RC梁架構現し 撥水材塗布 | GB-R t=9.5 構造用合板 t=12 LGS 野縁受:St L-50×50×6 ブラケット:St L-60×60×6 | 目透かし W=15 | 平均CH=4910 | |
| | 眺望スペース (展示室4) | | タイルカーペット t=6.5 | RC金ゴテ押え | ナラ材 H=50+CL塗装 | 壁面:内装用塗装木毛セメント板 t=14 | 壁面:構造用合板 t=12, LGS | 岩綿吸音板(ストライプ)t=15 EP塗装 | GB-R t=9.5 LGS | 塩ビ製目透 EP塗装 | 2300 | |
| | 展示室5 | | 木製複合フローリング t=14 W=127 UV-MAT塗装 | 構造用合板 t=15 耐水合板 t=15 鋼製二重床下地 H456 コンクリート表面強化剤塗布 | ソフト巾木 H=60 | コンクリート打放し | - | 岩綿吸音板(平) t=9 EP塗装 ※傾斜天井 | GB-R t=9.5 LGS | 目透かし W=15 | 2500、 平均CH=4180 | |
| | 事務室 | | 長尺塩ビシート t=2.5(ノンスリップ) | 構造用合板 t=15 耐水合板 t=15 二重床下地 H467.5 コンクリート表面強化剤塗布 | ソフト巾木 H=60 | ビニルクロス張り(不燃)B | GB-R t=12.5×2 LGS | 岩綿吸音板(平) t=9 | GB-R t=9.5 LGS 高性能グラスウール断熱材t=50 24K | 塩ビ製目透タイプ | 2500 | 電気温水器・IH200V・シングルレバー水栓・換気扇・扉付ミニキッチン W=1200、 ベネシアンブラインド:アルミ製・スラット幅25、ブラインドボックス、消火器ケース、テーブル・椅子、収納棚 |
| | 会議室 | | 長尺塩ビシート t=2.5(ノンスリップ) | 構造用合板 t=15 耐水合板 t=15 二重床下地 H467.5 コンクリート表面強化剤塗布 | ソフト巾木 H=60 | ビニルクロス張り(不燃)B | GB-R t=12.5×2 LGS | 岩綿吸音板(平) t=9 | GB-R t=9.5 LGS 高性能グラスウール断熱材t=50 24K | 塩ビ製目透タイプ | 2500 | ベネシアンブラインド:アルミ製・スラット幅25、ブラインドボックス、テーブル・椅子 |
| | 更衣室 | | 長尺塩ビシート t=2.5(ノンスリップ) | 構造用合板 t=15 耐水合板 t=15 二重床下地 H467.5 コンクリート表面強化剤塗布 | ソフト巾木 H=60 | ビニルクロス張り(不燃)B | GB-R t=12.5×2 LGS | 岩綿吸音板(平) t=9 | GB-R t=9.5 LGS 高性能グラスウール断熱材t=50 24K | 塩ビ製目透タイプ | 2500 | |
| | 倉庫1 | | 長尺塩ビシート t=2.5(ノンスリップ) | 耐水合板 t=15 モルタル金ゴテ押え t=32.5 | - | EP塗装 | GB-R t=12.5×2 LGS | 岩綿吸音板(平) t=9 | GB-R t=9.5 LGS 高性能グラスウール断熱材t=50 24K | 塩ビ製目透タイプ | 2500 | |
| | 外部倉庫 | | コンクリート金ゴテ押えの上、 防塵塗装 | - | - | コンクリート打放し | - | コンクリート打放し | - | - | 4000 | |
| | 機械室 | | コンクリート金ゴテ押えの上、 防塵塗装 | - | - | コンクリート打放し | - | コンクリート打放し | - | - | 平均CH=4020 | 設備基礎 |

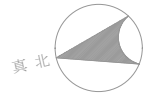
| | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|---|--|---|--|---------------------------|--|----------|---------------|----|
| | | | 株式会社 ブレック研究所 | | 福原信一 一級建築士事務所 | | 株式会社 丹青社 | | TITLE 仕上表1 | | SCALE - | DATE 24.10.31 | NO |
| | | | 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | | 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | | 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | | PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | | CHECK 福原 | A-08 | |

| 内部仕上表 ※居室の仕上・下地はすべてF☆☆☆☆とする。 | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|---------|---------------------------|--------------------------------------|--|---------------------------------------|--|----------------------------------|----------------------------------|---|-----------|-----------|---|
| 階 | 室名 | 内装制限 排煙 | 床 | | 巾木 | 壁 ※断熱材箇所については断熱範囲図を参照。 | | 天井 ※断熱材箇所については断熱範囲図を参照。 | | 廻縁 | 天井高 | 備考 ※アンダーラインのついた項目は別途工事とする |
| | | | 仕上 | 下地 | | 仕上 | 下地 | 仕上 | 下地 | | | |
| 1F | 多目的スペース | | 木製複合フローリング t=14 W=127 UV-MAT塗装 | 構造用合板 t=15 耐水合板 t=15 鋼製二重床下地 H456 コンクリート表面強化剤塗布 | RC入巾木 H30×D15 一部、ナラ材 H=50 +CL塗装 | 東西面:OSB型枠コンクリート打放し 色付き撥水材塗布 南北面:EP塗装 | 南北面:GB-S t=12.5×2, LGS | EP塗装 RC梁架構現し 撥水材塗布 | GB-R t=9.5 構造用合板 t=12 LGS 野縁受:St L-50×50×6 ブラケット:St L-60×60×6 | 目透かし W=15 | 平均CH=4620 | 移動間仕切り、手動ロールスクリーン、木製ロールスクリーンボックス、埋込式消火器ボックス テーブル・椅子、天吊りプロジェクター、プロジェクタースクリーン、時計 |
| | 倉庫2 | | 長尺塩ビシート t=2.5(ノンスリップ) | 構造用合板 t=15 耐水合板 t=15 二重床下地 H467.5 コンクリート表面強化剤塗布 | - | コンクリート打放し | - | コンクリート打放し | - | - | 3150 | |
| | 倉庫3 | | 長尺塩ビシート t=2.5(ノンスリップ) | 構造用合板 t=15 耐水合板 t=15 二重床下地 H467.5 コンクリート表面強化剤塗布 | - | コンクリート打放し | - | コンクリート打放し | - | - | 3150 | |
| | 廊下 | | 木製複合フローリング t=14 W=127 UV-MAT塗装 | 構造用合板 t=15 耐水合板 t=15 鋼製二重床下地 H456 コンクリート表面強化剤塗布 | RC入巾木 H30×D15 一部、ナラ材 H=50 +CL塗装 | OSB型枠コンクリート打放し仕上 色付き撥水材塗布 一部:EP塗装 | GB-R t=12.5×2 LGS | 木化粧パネル(イヌマキ) t=5.5 | 構造用合板 t=12 LGS 野縁受:St L-50×50×6 ブラケット:St L-60×60×6 | 目透かし W=15 | 2300 | 木製間仕切り戸 |
| | 男子トイレ | | 長尺塩ビシート t=2.5(ノンスリップ) | 構造用合板 t=15 耐水合板 t=15 二重床下地 H467.5 コンクリート表面強化剤塗布 | ソフト幅木 H=60 | 磁器質タイル | ケイ酸カルシウム板 t=6 GB-S t=12.5 LGS | 岩綿吸音板(平) t=9 | GB-R t=9.5 LGS | 塩ビ製目透 | 2500 | トイレブース、カウンター、化粧鏡、隔て板、補助手摺(ブース内・小便器・カウンター各1か所)、 衛生機器一式(機械設備工事) |
| | 女子トイレ | | 長尺塩ビシート t=2.5(ノンスリップ) | 構造用合板 t=15 耐水合板 t=15 二重床下地 H467.5 コンクリート表面強化剤塗布 | ソフト幅木 H=60 | 磁器質タイル | ケイ酸カルシウム板 t=6 GB-S t=12.5 LGS | 岩綿吸音板(平) t=9 | GB-R t=9.5 LGS | 塩ビ製目透 | 2500 | トイレブース、SKブース、カウンター、化粧鏡、補助手摺(ブース内・カウンター各1か所)、 衛生機器一式(機械設備工事) |
| | 多機能トイレ | | 長尺塩ビシート t=2.5(ノンスリップ) | 構造用合板 t=15 耐水合板 t=15 二重床下地 H467.5 コンクリート表面強化剤塗布 | ソフト幅木 H=60 | 磁器質タイル | ケイ酸カルシウム板 t=6 GB-S t=12.5 LGS | 岩綿吸音板(平) t=9 | GB-R t=9.5 LGS | 塩ビ製目透 | 2500 | 多目的トイレ衛生機器一式(オストメイト・ベビーチェア含む/機械設備工事) |
| | 授乳室 | | 長尺塩ビシート t=2.5(ノンスリップ) | 構造用合板 t=15 耐水合板 t=15 二重床下地 H467.5 コンクリート表面強化剤塗布 | ソフト幅木 H=60 | ビニルクロス張り(不燃) | GB-R t=12.5×2 LGS | 岩綿吸音板(平) t=9 | GB-R t=9.5 LGS 高性能グラスウール断熱材t=50 24K | 塩ビ製目透タイプ | 2500 | 木製カウンター W250、授乳ソファ、ベビーベッド |
| | カフェ | 告示1436号 4-ニ(2) 防煙区画 | 長尺塩ビシート t=2.5(ノンスリップ) | 構造用合板 t=15 耐水合板 t=15 二重床下地 H467.5 コンクリート表面強化剤塗布 | ソフト幅木 H=60 | OSB型枠コンクリート打放し仕上 色付き撥水材塗布 | - | 木化粧パネル(イヌマキ) t=5.5 木梁部現し、WP塗装 | 構造用合板 t=12 LGS 野縁受:St L-50×50×6 ブラケット:St L-60×60×6 高圧木毛セメント板(打込) | - | 平均CH=3090 | テーブル・椅子、木製カウンター |
| | 厨房 | 告示1436号 4-ニ(2) 防煙区画 | 乾式厨房用防滑性ビニルシート t=2.0 | 構造用合板 t=15 耐水合板 t=15 二重床下地 H468 コンクリート表面強化剤塗布 | 床材巻上げ H150 SUS見切り | 普通型枠コンクリート打放し 撥水材塗布 | - | 岩綿吸音板(平) t=9 | GB-R t=9.5 LGS | 塩ビ製目透 | 2500 | 厨房機器一式 |

■仕上り製品リスト

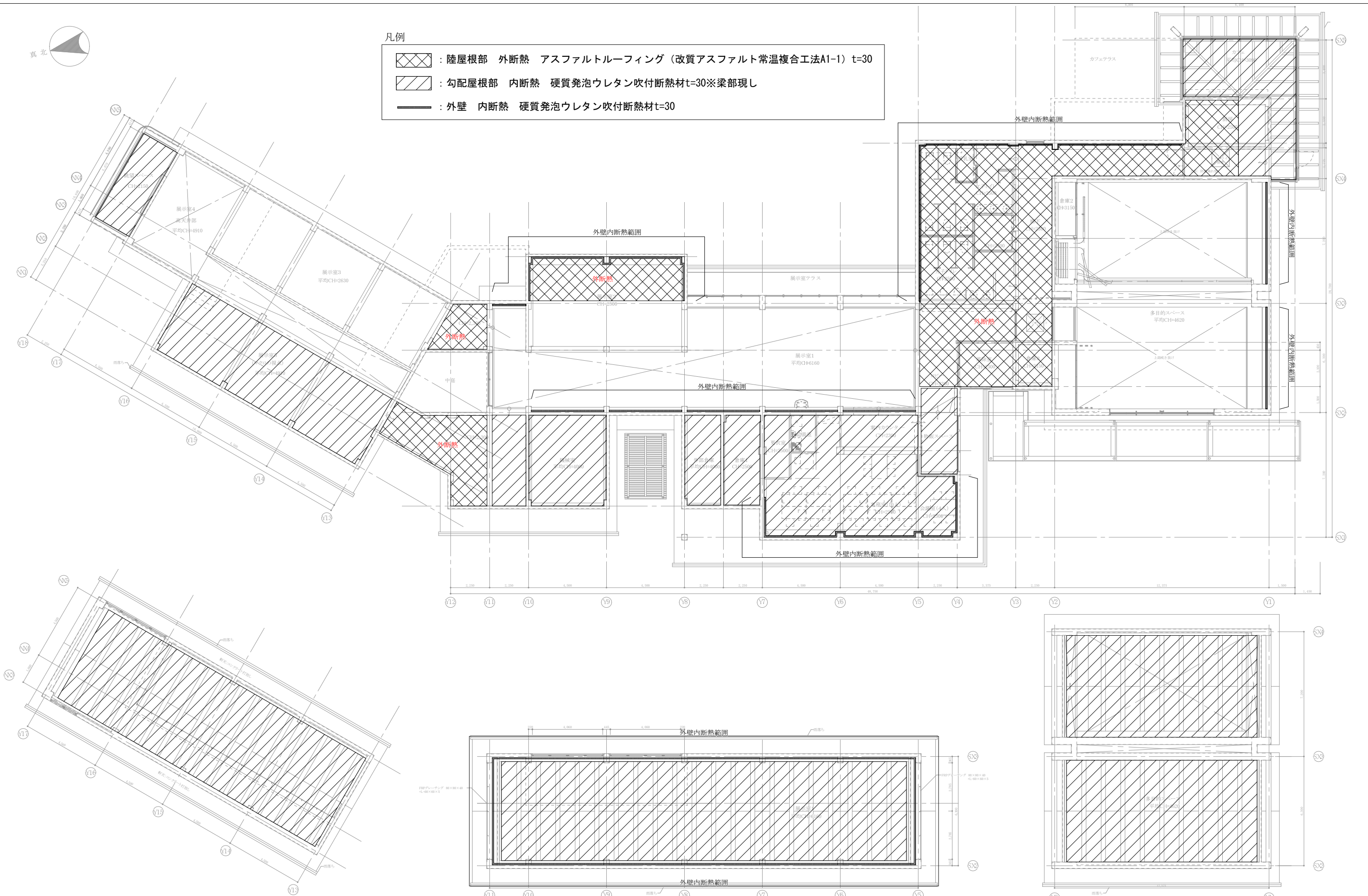
- 断熱赤瓦/ニュー八幡瓦(八幡瓦工場)同等品以上
- 瓦タイル/HT-11(八幡瓦工場)同等品以上
- 花形ブロック/YB-2-3(山内コンクリートブロック)同等品以上
- アルミサッシ/EXIMA31wb・SYSTEM521・大開口窓(YKK)同等品以上
- 色付き撥水材/RCカラーレイヤーS(菊水化学工業株式会社)同等品以上
- SUS金網製防風スクリーン/TYPE-B-15.0-22.0-2.0-2.0 SUS304(原金網)同等品以上
- SUSワイヤー防風スクリーン/Jakob webnet 2φW50*H90 SUS316(大網)同等品以上
- 木製複合フローリング/HIS Oak 127(望造)同等品以上
- 全面足ふきマット敷き/Clic-19(ミツシマ工業)同等品以上
- ビニル床タイル/マチコV(東リ)同等品以上
- 鋼製床下地/GTダイレクト高耐食仕様 耐荷重500kg/㎡以上(桐井製作所)同等品以上
- 内装用塗装木毛セメント板/レノウッド(竹村工業)同等品以上
- 磁器質タイル50角/ビビオ45-101N(ニッタイ工業)同等品以上
- キャノピー軒樋、縦樋/HACO 6号(タニタ)同等品以上
- ビニルクロスA(不燃)/RF8254(ルノン)同等品以上
- ビニルクロスB(不燃)/ES6567(サンゲツ)同等品以上
- リリウムボード/ブルテンボード(forbo)同等品以上
- 移動間仕切り/RW-100D,100SW(小松ウオール工業)同等品以上
- トイレ洗面カウンター/マーブライトカウンターMC50(TOTO)同等品以上
- トイレブース/mokumo(小松ウオール工業)同等品以上
- 自動ドア防護柵/フィックスサイドガードZero(フルテック)同等品以上
- 傘立て/USH88-4(ユニオン)同等品以上
- 消火器ボックス/UFB-3F-2401-PWH(ユニオン)同等品以上
- 埋込式消火器ボックス/UFB-1F-2811N-PWH(ユニオン)同等品以上
- 補助手摺/OAS-HB-201-SMB-L、OAS-HB-401-UF2MB、OAS-HB-301-SMB(ユニオン)同等品以上
- ミニキッチン/スタンダード扉タイプ(LIXIL)同等品以上
- 防煙スクリーン/SEロールII(鈴木シャッター)同等品以上

| | | | | | | | |
|--|--|---|---|------------------------------|------------|------------------|------------|
| | | | | TITLE 仕上表2 | SCALE - | DATE 24.10.31 | NO A-09 |
| | 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | | CHECK 福原 | |



凡例

- : 陸屋根部 外断熱 アスファルトルーフィング (改質アスファルト常温複合法A1-1) t=30
- : 勾配屋根部 内断熱 硬質発泡ウレタン吹付断熱材t=30※梁部現し
- : 外壁 内断熱 硬質発泡ウレタン吹付断熱材t=30

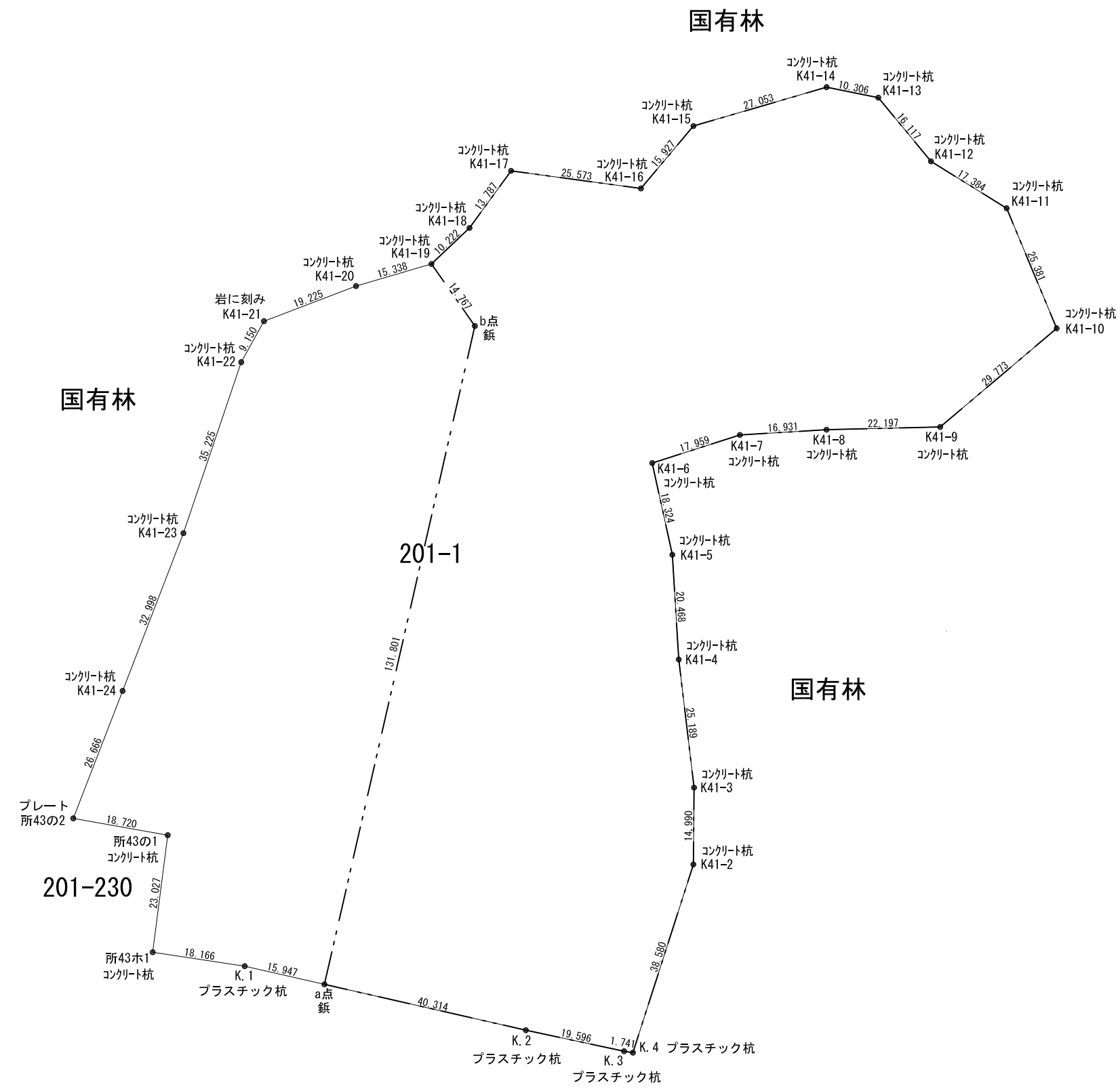


株式会社 ブレック研究所
 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号
 一級建築士 233817号 福岡 薫

福原信一 一級建築士事務所
 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号
 一級建築士 364177号 福原 信一

株式会社 丹青社
 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号
 一級建築士 254337号 関根 雄二

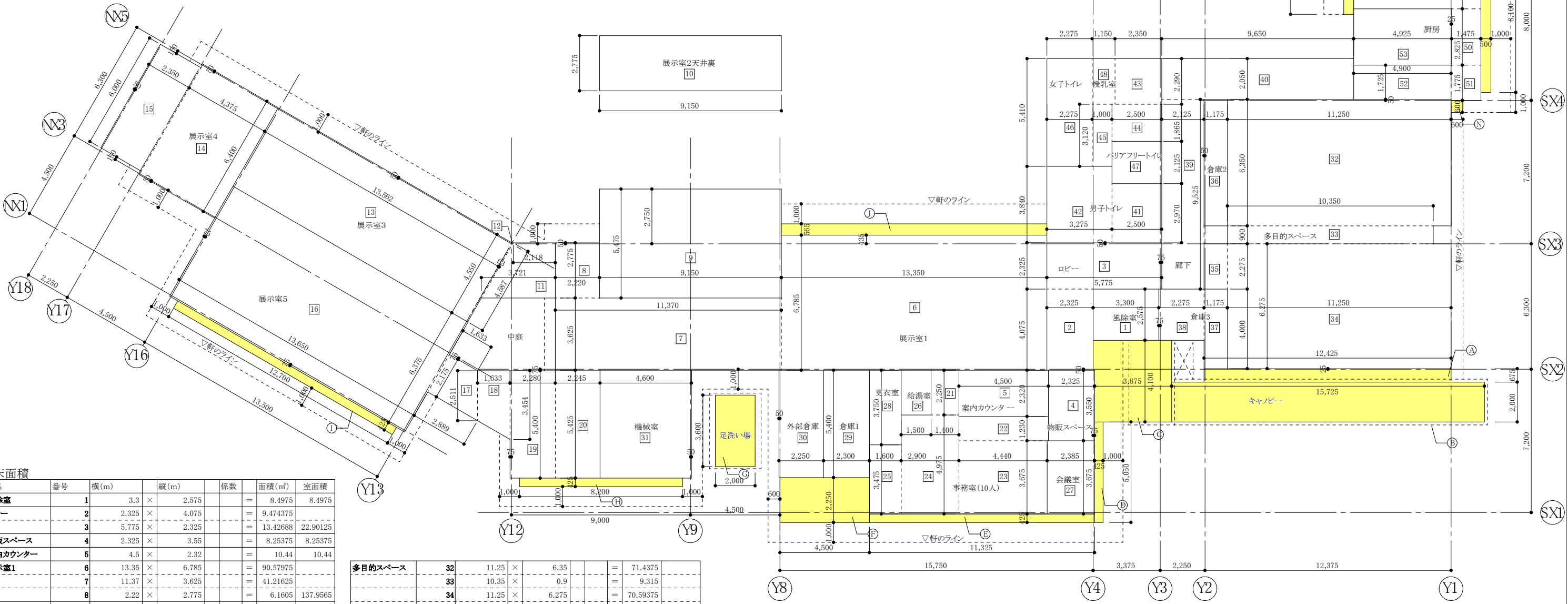
| | | | |
|------------------------------|----------------|--------------------|------------|
| TITLE 断熱範囲図 | SCALE 1/200 | DATE 24. 10. 31 | NO A-10 |
| PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK 福原 | | |



| No. | 標識 | Xn | Yn | Xn+1-Xn-1 | Yn · (Xn+1-Xn-1) |
|--------|-----|-------------|------------|-----------|------------------|
| a点 | 木杭 | -191195.191 | -12185.984 | -137.433 | 1674756.339 |
| K.2 | プラ杭 | -191204.135 | -12146.675 | -13.055 | 158574.8421 |
| K.3 | プラ杭 | -191208.246 | -12127.515 | -4.381 | 53130.64321 |
| K.4 | プラ杭 | -191208.516 | -12125.795 | 36.46 | -442106.4857 |
| K41-2 | 石杭 | -191171.786 | -12113.993 | 51.719 | -626523.604 |
| K41-3 | 石杭 | -191156.797 | -12113.863 | 40 | -484554.52 |
| K41-4 | 石杭 | -191131.786 | -12116.852 | 45.441 | -550601.8717 |
| K41-5 | 石杭 | -191111.356 | -12118.101 | 38.33 | -464486.8113 |
| K41-6 | 石杭 | -191093.456 | -12122.02 | 23.389 | -283521.9258 |
| K41-7 | 石杭 | -191087.967 | -12104.92 | 6.508 | -78778.81936 |
| K41-8 | 石杭 | -191086.948 | -12088.02 | 1.558 | -18833.13516 |
| K41-9 | 石杭 | -191086.409 | -12065.83 | 19.779 | -238650.0516 |
| K41-10 | 石杭 | -191067.169 | -12043.109 | 42.67 | -513879.461 |
| K41-11 | 石杭 | -191043.739 | -12052.868 | 32.6 | -392923.4968 |
| K41-12 | 石杭 | -191034.569 | -12067.637 | 21.591 | -260552.3505 |
| K41-13 | 石杭 | -191022.148 | -12077.907 | 14.471 | -174779.3922 |
| K41-14 | 石杭 | -191020.098 | -12088.007 | -5.529 | 66834.5907 |
| K41-15 | 石杭 | -191027.677 | -12113.977 | -19.768 | 239469.0973 |
| K41-16 | 石杭 | -191039.866 | -12124.228 | -8.748 | 106062.7465 |
| K41-17 | 石杭 | -191036.425 | -12149.568 | -7.709 | 93661.01971 |
| K41-18 | 石杭 | -191047.575 | -12157.678 | -18.18 | 221026.586 |
| K41-19 | 石杭 | -191054.605 | -12165.099 | -19.127 | 232681.8486 |
| b点 | 木杭 | -191066.702 | -12156.629 | -140.586 | 1709051.845 |
| 倍面積 | | | | | 25057.63282 |
| 面積 (㎡) | | | | | 12528.81641 |
| | | | | | 12,528.81 |

敷地範囲
敷地求積図

□ 求積図



A床面積

| 室名 | 番号 | 横(m) | 縦(m) | 係数 | 面積(m ²) | 室面積 |
|---------|----|-------------|-------------|-------|---------------------|----------|
| 風除室 | 1 | 3.3 | 2.575 | = | 8.4975 | 8.4975 |
| ロビー | 2 | 2.325 | 4.075 | = | 9.474375 | |
| 物販スペース | 3 | 5.775 | 2.325 | = | 13.42688 | 22.90125 |
| 案内カウンター | 4 | 2.325 | 3.55 | = | 8.25375 | 8.25375 |
| 展示室1 | 6 | 13.35 | 6.785 | = | 90.57975 | |
| | 7 | 11.37 | 3.625 | = | 41.21625 | |
| | 8 | 2.22 | 2.775 | = | 6.1605 | 137.9565 |
| 展示室2 | 9 | 9.15 | 5.475 | = | 50.09625 | 50.09625 |
| 展示室2天井裏 | 10 | 9.15 | 2.775 | = | 25.39125 | 25.39125 |
| 展示室3 | 11 | 2.118+3.721 | 2.775 | × 0.5 | 8.101613 | |
| | 12 | 0.063 | 4.55+4.587 | × 0.5 | 0.287816 | |
| | 13 | 13.562 | 4.55 | = | 61.7071 | 70.09653 |
| 展示室4 | 14 | 4.375 | 6.4 | = | 28 | 28 |
| 眺望スペース | 15 | 2.35 | 6 | = | 14.1 | 14.1 |
| 展示室5 | 16 | 13.65 | 6.375 | = | 87.01875 | |
| | 17 | 2.889+1.633 | 2.175 | × 0.5 | 4.917675 | |
| | 18 | 1.633 | 2.511+3.454 | × 0.5 | 4.870423 | |
| | 19 | 2.28 | 5.4 | = | 12.312 | |
| | 20 | 2.245 | 5.425 | = | 12.17913 | 121.298 |
| 事務室 | 21 | 1.4 | 2.25 | = | 3.15 | |
| | 22 | 4.44 | 1.23 | = | 5.4612 | |
| | 23 | 4.44 | 3.675 | = | 16.317 | |
| | 24 | 2.9 | 4.975 | = | 14.4275 | |
| | 25 | 1.6 | 3.475 | = | 5.56 | 44.9157 |
| 給湯室 | 26 | 1.5 | 2.25 | = | 3.375 | 3.375 |
| 会議室 | 27 | 2.385 | 3.675 | = | 8.764875 | 8.764875 |
| 更衣室 | 28 | 1.6 | 3.75 | = | 6 | 6 |
| 倉庫1 | 29 | 2.3 | 5.4 | = | 12.42 | 12.42 |
| 外部倉庫 | 30 | 2.25 | 5.4 | = | 12.15 | 12.15 |
| 機械室 | 31 | 4.6 | 5.425 | = | 24.955 | 24.955 |

| | | | | | | |
|-----------|----|-------|-------|---|----------|----------|
| 多目的スペース | 32 | 11.25 | 6.35 | = | 71.4375 | |
| | 33 | 10.35 | 0.9 | = | 9.315 | |
| | 34 | 11.25 | 6.275 | = | 70.59375 | |
| | 35 | 1.175 | 2.275 | = | 2.673125 | 154.0194 |
| 倉庫2 | 36 | 1.175 | 6.35 | = | 7.46125 | 7.46125 |
| 倉庫3 | 37 | 1.175 | 4 | = | 4.7 | |
| | 38 | 2.275 | 2.575 | = | 5.858125 | 10.55813 |
| 廊下 | 39 | 2.125 | 9.525 | = | 20.24063 | |
| 男子トイレ | 41 | 2.5 | 2.97 | = | 7.425 | |
| | 42 | 3.275 | 3.84 | = | 12.576 | 20.001 |
| 女子トイレ | 43 | 2.35 | 2.29 | = | 5.3815 | |
| | 44 | 2.5 | 1.865 | = | 4.6625 | |
| | 45 | 1 | 3.12 | = | 3.12 | |
| | 46 | 2.275 | 5.41 | = | 12.30775 | 25.47175 |
| ハリアフリートイレ | 47 | 2.5 | 2.125 | = | 5.3125 | 5.3125 |
| 授乳室 | 48 | 1.15 | 2.29 | = | 2.6335 | 2.6335 |

| | | | | | | |
|-----|----|-------|-------|---|----------|----------|
| カフェ | 49 | 6.4 | 3.4 | = | 21.76 | |
| | 50 | 1.475 | 2.825 | = | 4.166875 | |
| | 51 | 1.475 | 1.775 | = | 2.618125 | |
| | 52 | 4.9 | 1.725 | = | 8.4525 | 36.9975 |
| 厨房 | 53 | 4.925 | 2.825 | = | 13.91313 | 13.91313 |

計 (A-1)+(A-2) = 926.0028 (A)
 延床面積 926.00m²
 計 (A-1)+(A-2)+ガスボンベ庫 = 932.2528 (A)
 延床面積(4号建築含む) 932.25m²

B建築面積に含まれる庇下等の床面積

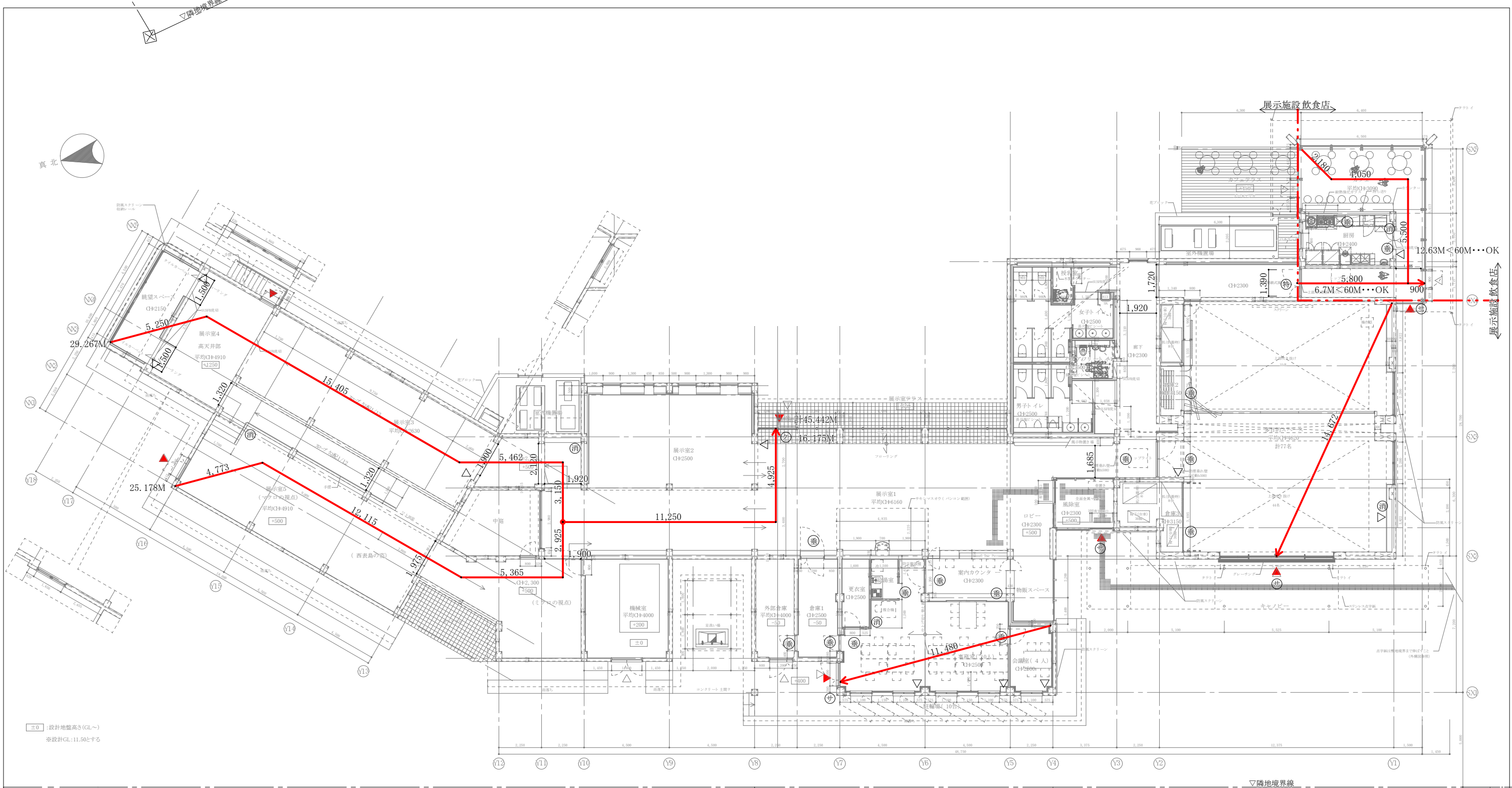
| 番号 | 横(m) | 縦(m) | 面積(m ²) |
|----|--------|-------|---------------------|
| A | | | |
| B | | | |
| C | | | |
| D | 0.425 | 5.05 | 2.14625 |
| E | 11.325 | 0.425 | 4.813125 |
| F | 4.5 | 2.25 | 10.125 |
| G | | | |
| H | 8.2 | 0.425 | 3.485 |
| I | 12.7 | 0.425 | 5.3975 |
| J | 13.35 | 0.565 | 7.54275 |
| K | 0.5 | 3.675 | 1.8375 |
| L | 6.9 | 0.5 | 3.45 |
| M | 0.5 | 8.1 | 4.05 |
| N | 0.6 | 0.6 | 0.36 |

計 43.20713 (B)
 建築面積 = (A)+(B) = 969.2099505
 建築面積 969.20m²

C4号建築の為、確認申請対象外となる床面積

| 室名 | 番号 | 横(m) | 縦(m) | 面積(m ²) |
|--------|----|--------|-------|---------------------|
| キャンピー | A | 12.425 | 0.675 | 8.386875 |
| | B | 15.725 | 2 | 31.45 |
| | C | 3.875 | 4.1 | 15.8875 |
| 足洗い場 | G | 2 | 3.6 | 7.2 |
| ガスボンベ庫 | 54 | 2.5 | 2.5 | 6.25 |

計 69.17438 (C)
 申請以外の面積 69.17m²
 計 建築面積+(C) = 1038.37
 建築面積(4号建築含む) 1038.37m²

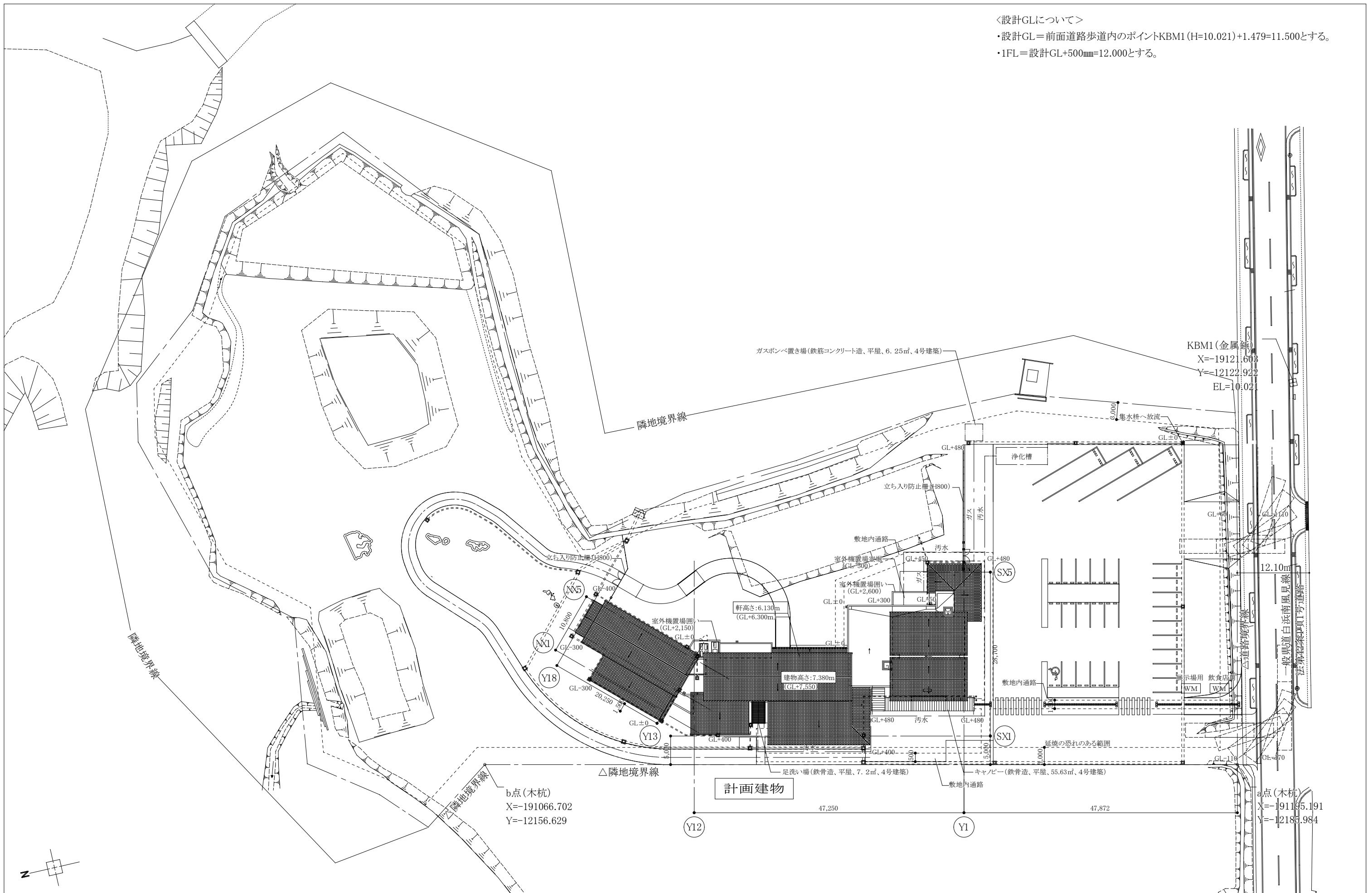


| | | | | |
|---|--|---|---|--|
| <p>■用途 建築基準法: 展示場(法別表第一(イ)欄(四)項)と飲食店 消防法: 令別表1-(8)項 博物館・美術館その他これらに類する施設 ※一部にカ、物販スペースを有するが従属的用途部分として、単体用途(8)項とする。</p> | <p>■排煙設備 ・別紙参照(建具表・ケーブラン及び排煙計画図) ・排煙口までの距離≦30M ・手動開放装置 FL→800~1500 【凡例】 垂・・・防煙垂れ壁(不燃) 防・・・防火設備(告示1436号第42(3)) △・・・手動開放装置</p> | <p>■敷地内通路(基準法128条) ・1.5m以上の通路を設けなければならない。(配置図参照) ■廊下の幅(基準法119条) ・両側居室の廊下 1.6m以上 ・その他の廊下 1.2m以上 ■屋外への出口(基準法125条-1) ・各居室から屋外出口までの歩行距離≦30m×2 【凡例】 →・・・居室から出口までの経路 ▲・・・屋外への出口</p> | <p>*福祉のまちづくり条例 ■出入口 ・各室の出入口: W800以上 ■廊下等 ・廊下の幅 W=1200以上 ・車いすの転回場所 W=1500以上@50m 【凡例】 ○1500</p> | <p>■駐車場 ・車いす利用者駐車場≧全駐車台数×1/50以上 ・配置図参照のこと ■敷地内の通路 ・表面 防滑仕様 ・幅 1200以上 ・配置図参照のこと ■消火器 【凡例】 消・・・消火器</p> |
| <p>■異種用途区画 【凡例】 --- 区画壁(準耐火性能以上) 特 特定防火設備(遮煙性能付き)</p> | <p>■内装制限 ・排煙上無窓の居室・・・対象の室は、別紙参照</p> | <p>■屋外への出口等の施設装置の構造等(基準法125条の2) ・避難の用に供する出入口の内側の施設装置はサムターン錠又は、クレセント錠とする。 【凡例】 サ・・・サムターン錠 ク・・・クレセント錠</p> | <p>■便所 ・車いす対応便所: 1カ所 ・出入口の幅 W≧800</p> | |
| <p>■居室の採光・換気 ・採光、換気面積の検討(別紙参照) ・化学物質発散のための換気面積の検討 「その他の居室」換気回数0.3回/時以上の確認(別紙参照) ・適用の室は仕上げ表参照 ・使用する材料はF☆☆☆☆を使用 ・火気使用室の換気計算(別紙参照)</p> | <p>■無窓階判定 ・必要開口面積≧延床面積/30 ・2以上の大型開口(W750×H200又は1000φ以上の開口部)を有する事</p> | | | |

<設計GLについて>

・設計GL=前面道路歩道内のポイントKBM1 (H=10.021)+1.479=11.500とする。

・1FL=設計GL+500mm=12.000とする。

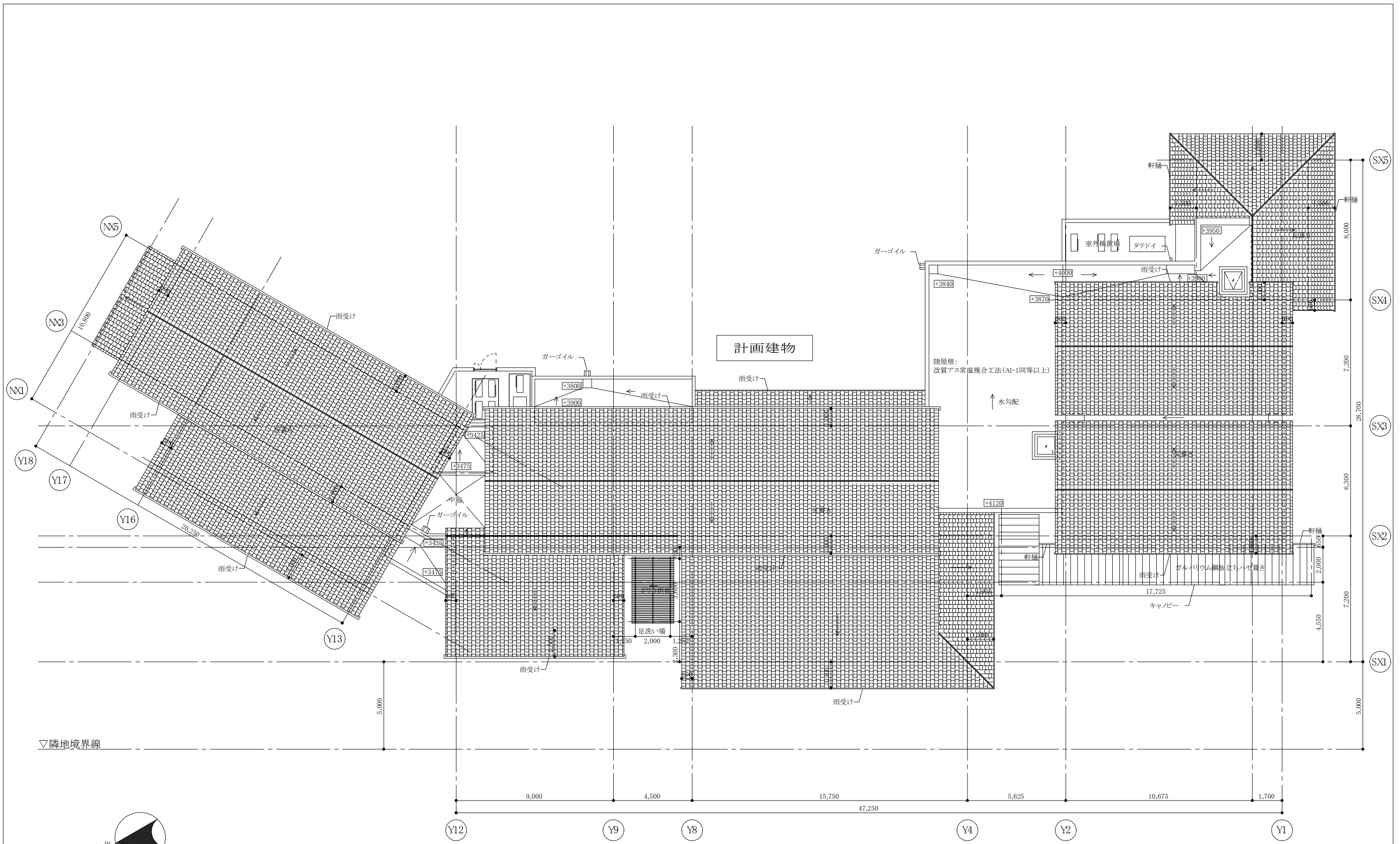


KBM1 (金属鏡)
X=-19121.603
Y=-12122.922
EL=10.021

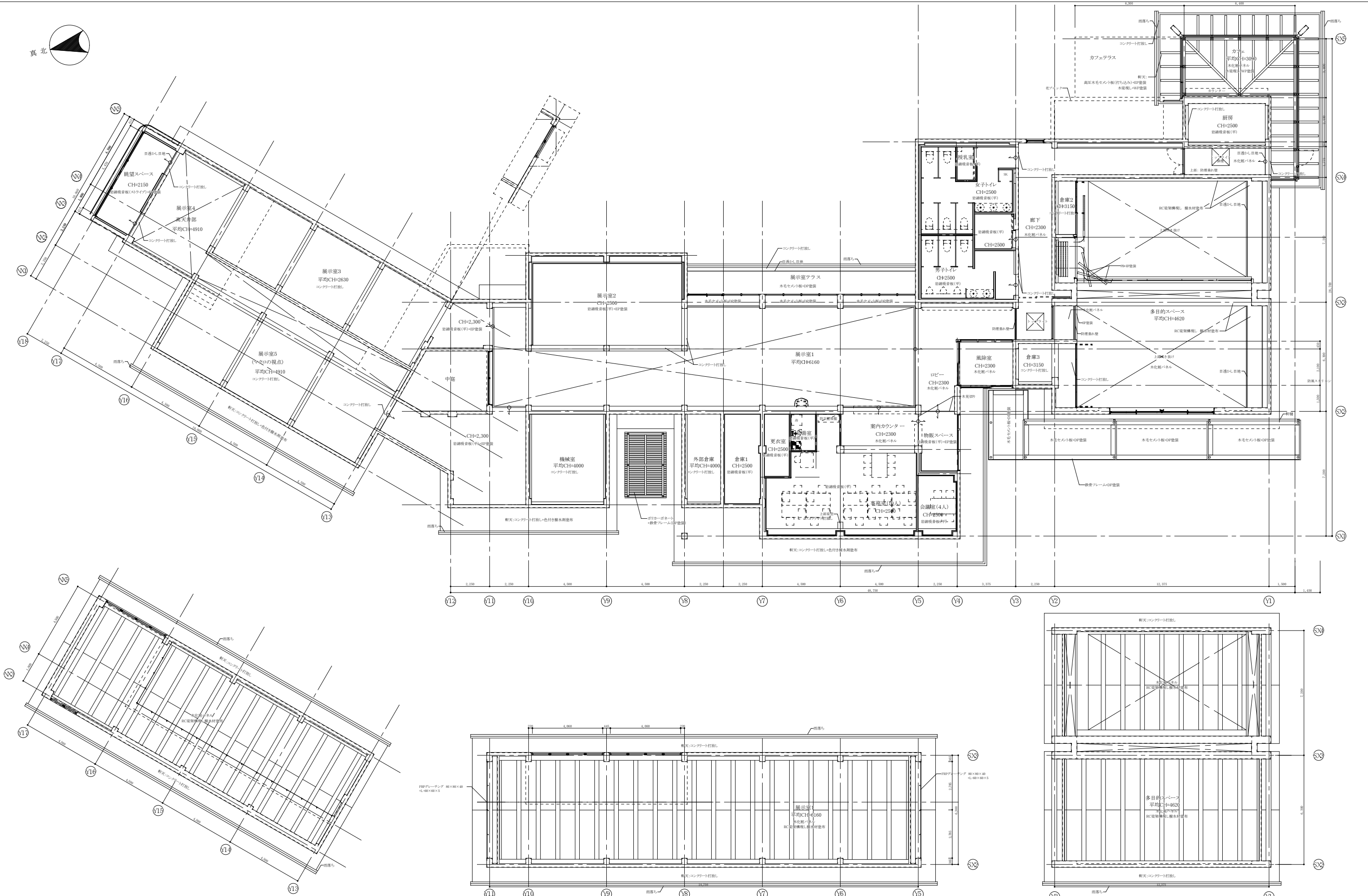
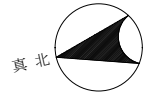
b点 (木杭)
X=-191066.702
Y=-12156.629

a点 (木杭)
X=-191195.191
Y=-12185.984

| | | | | | | | | | | |
|--|--|---|---------|-------------------|-------|------------|------|----------|----|------|
| 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第16257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | TITLE | 配置図 | SCALE | 1/600 (A3) | DATE | 24.10.31 | NO | A-15 |
| | | | PROJECT | 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | 福原 | | | | |



| | | | | | | | | | | |
|--|--|---|---------|-------------------|-------|------------|------|----------|----|------|
| 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | TITLE | 屋根伏図 | SCALE | 1/200 (A3) | DATE | 24.10.31 | NO | A-16 |
| | | | PROJECT | 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | 福原 | | | | |



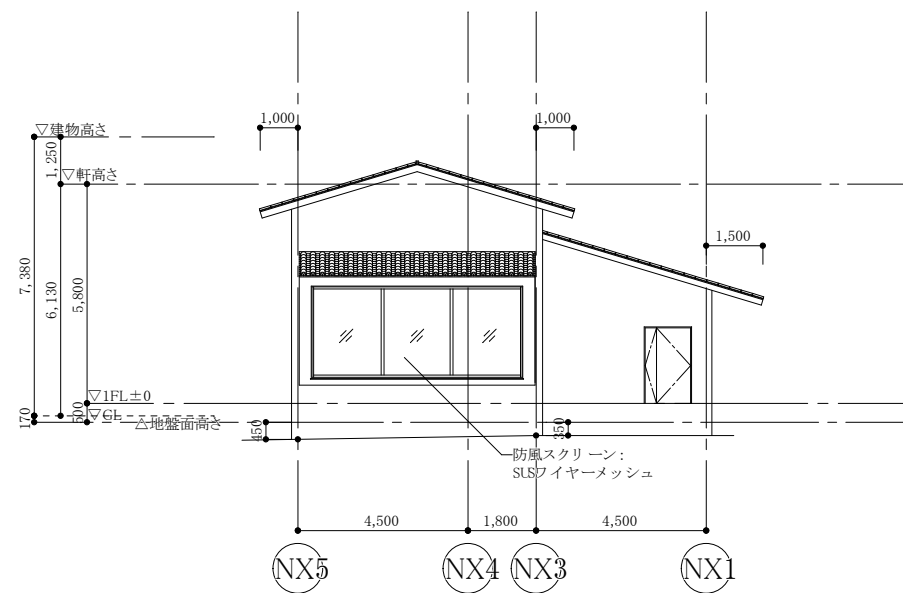
株式会社 ブラック研究所
 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号
 一級建築士 233817号 福岡 薫

福原信一 一級建築士事務所
 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号
 一級建築士 364177号 福原 信一

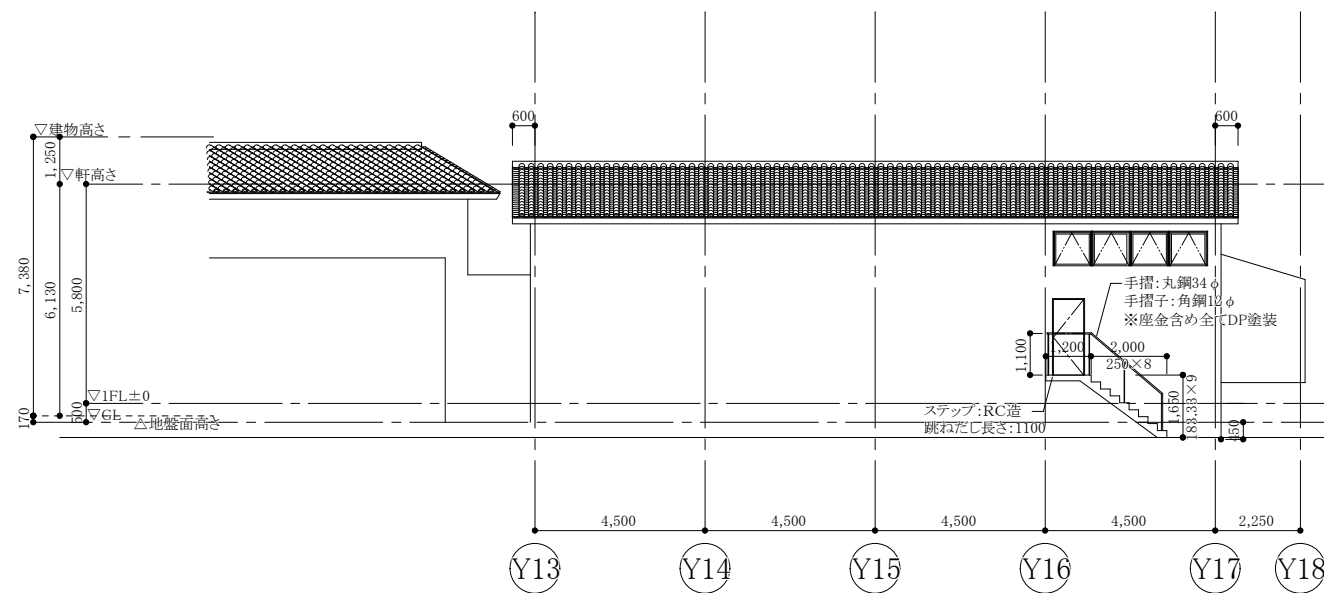
株式会社 丹青社
 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号
 一級建築士 254337号 関根 雄二

TILE
 天井伏図
 西表島世界遺産センター整備実施設計

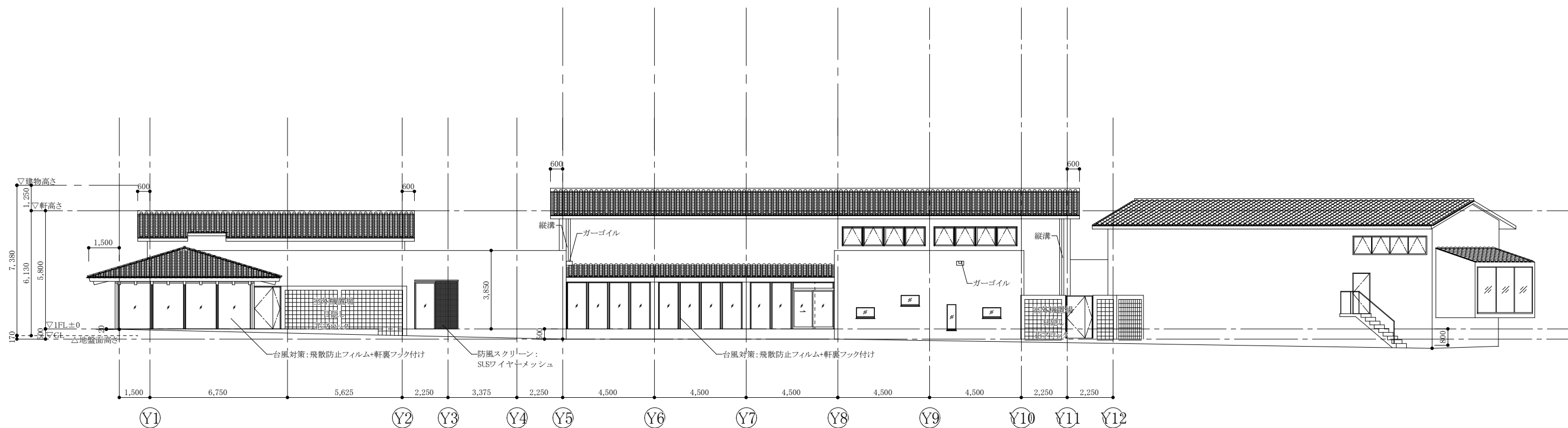
SCALE
 1/200 (A3)
 DATE
 24. 10. 31
 ND
 福原
 A-18



北立面図 S=1/200

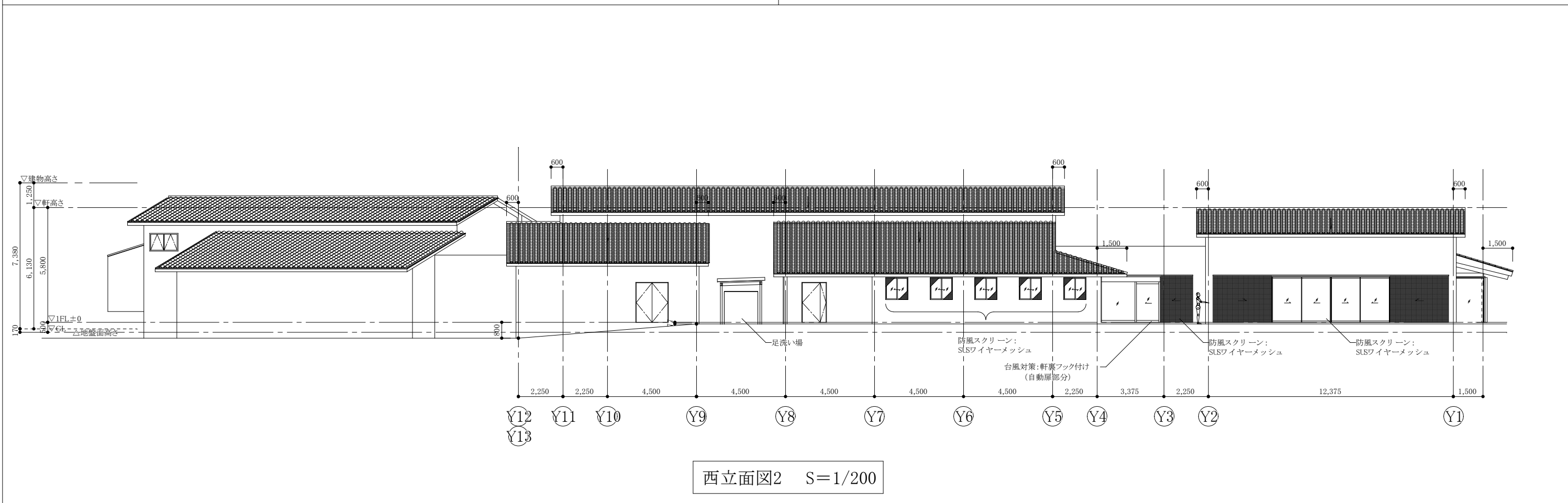
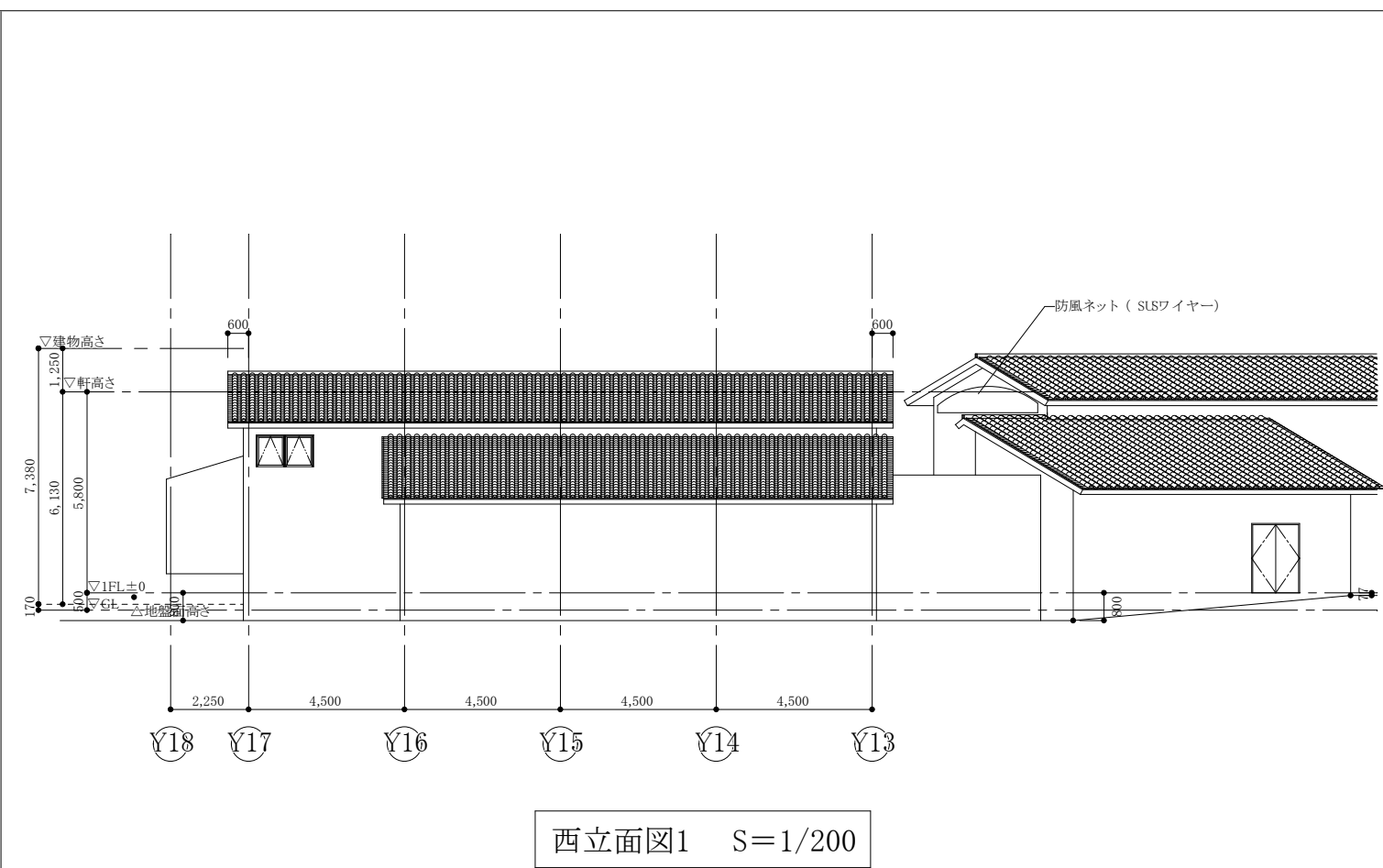
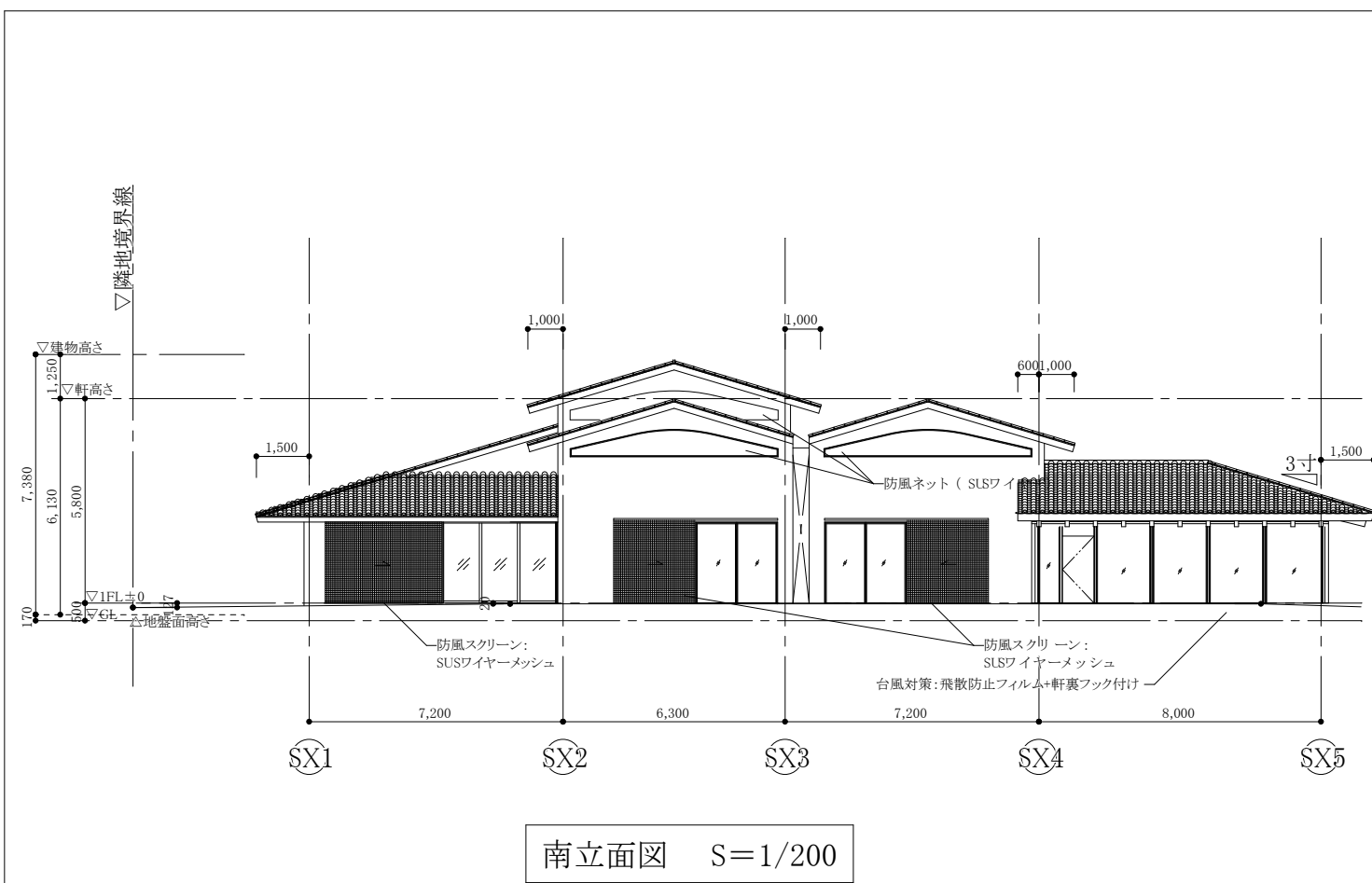


東立面図1 S=1/200

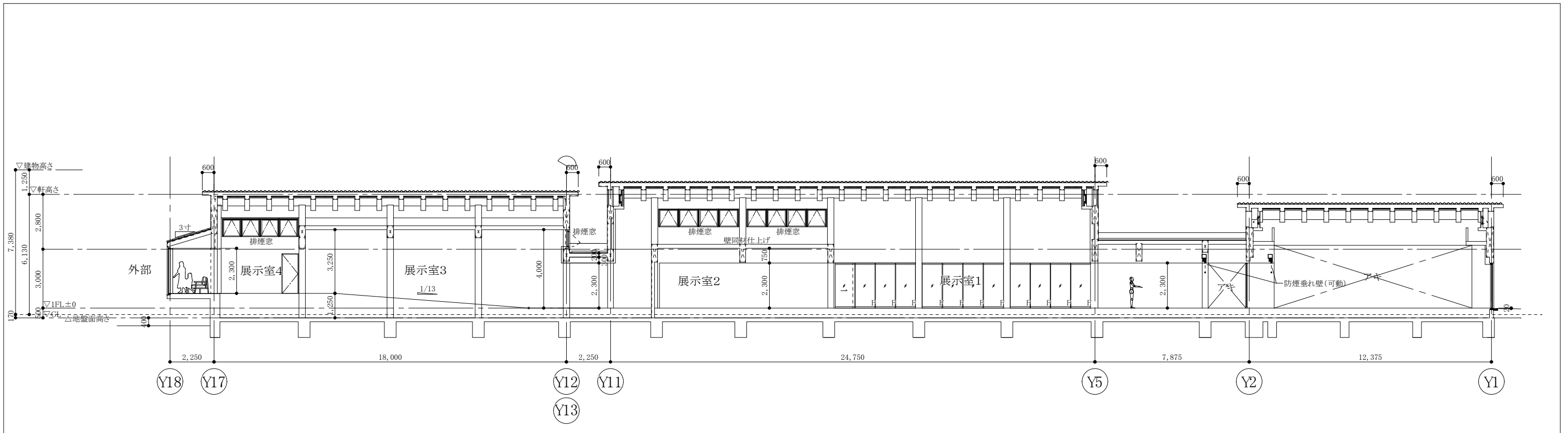


東立面図2 S=1/200

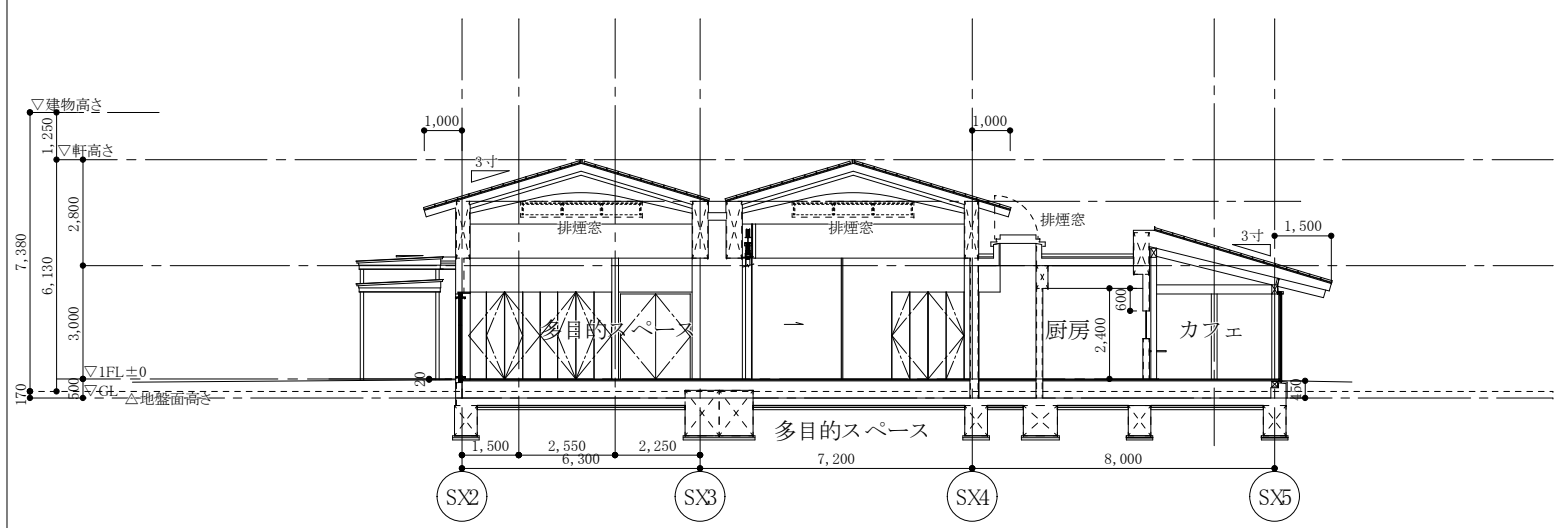
| | | | | | | | |
|--|--|--|---|------------------------------|---------------------|------------------|------------|
| | 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第16257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | TITLE 立面図1 | SCALE 1/200 (A3) | DATE 24.10.31 | NO A-19 |
| | | | | PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK 福原 | | |



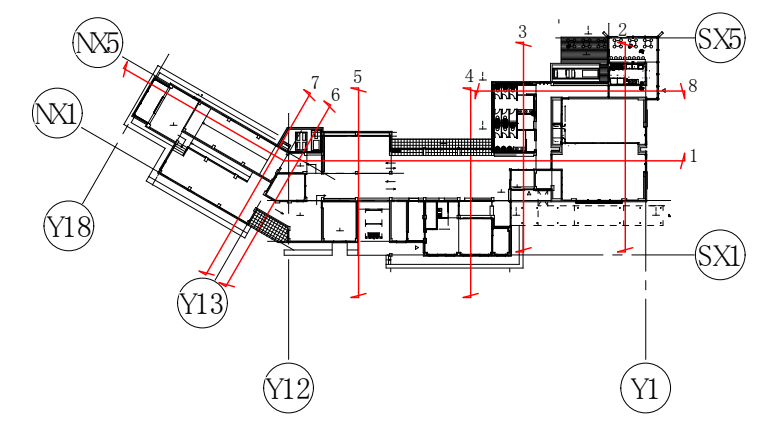
| | | | | | | |
|--|--|---|------------------------------|---------------------|------------------|------------|
| 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福田 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | TITLE 立面図2 | SCALE 1/200 (A3) | DATE 24.10.31 | NO A-20 |
| | | | PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK 福原 | | |



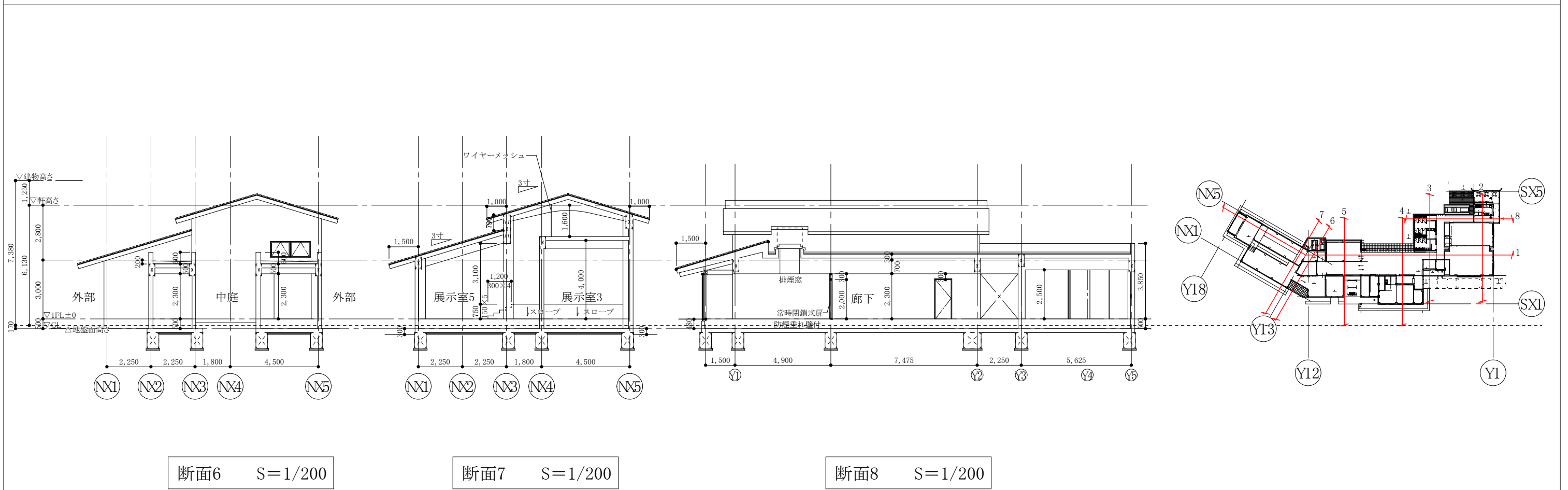
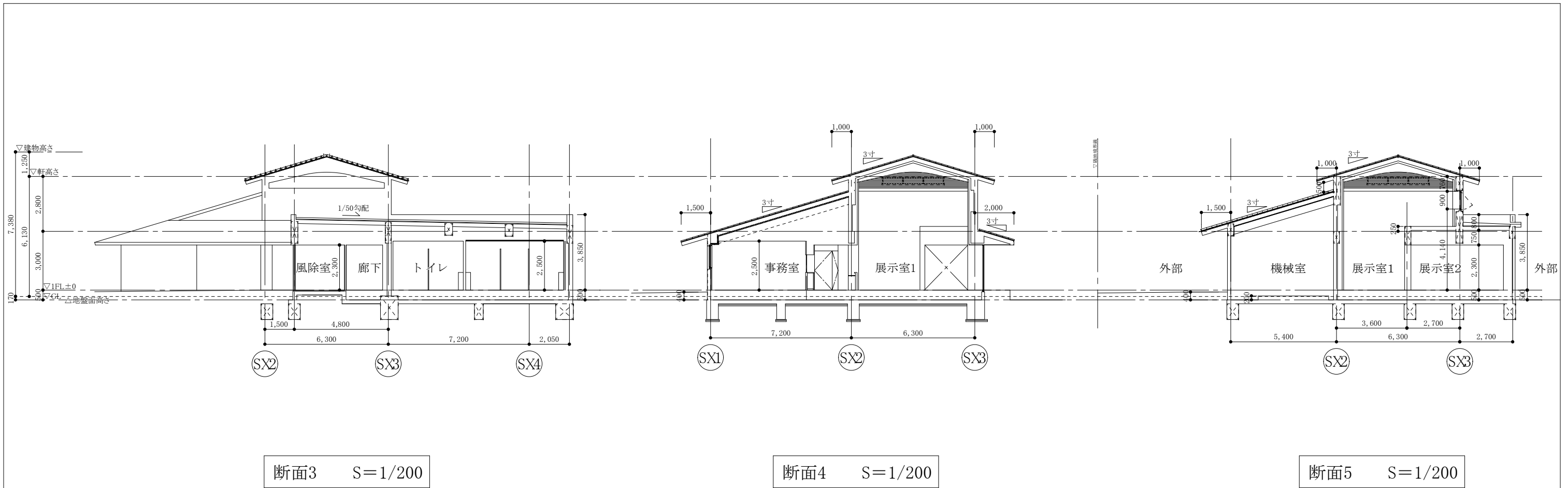
断面1 S=1/200



断面2 S=1/200

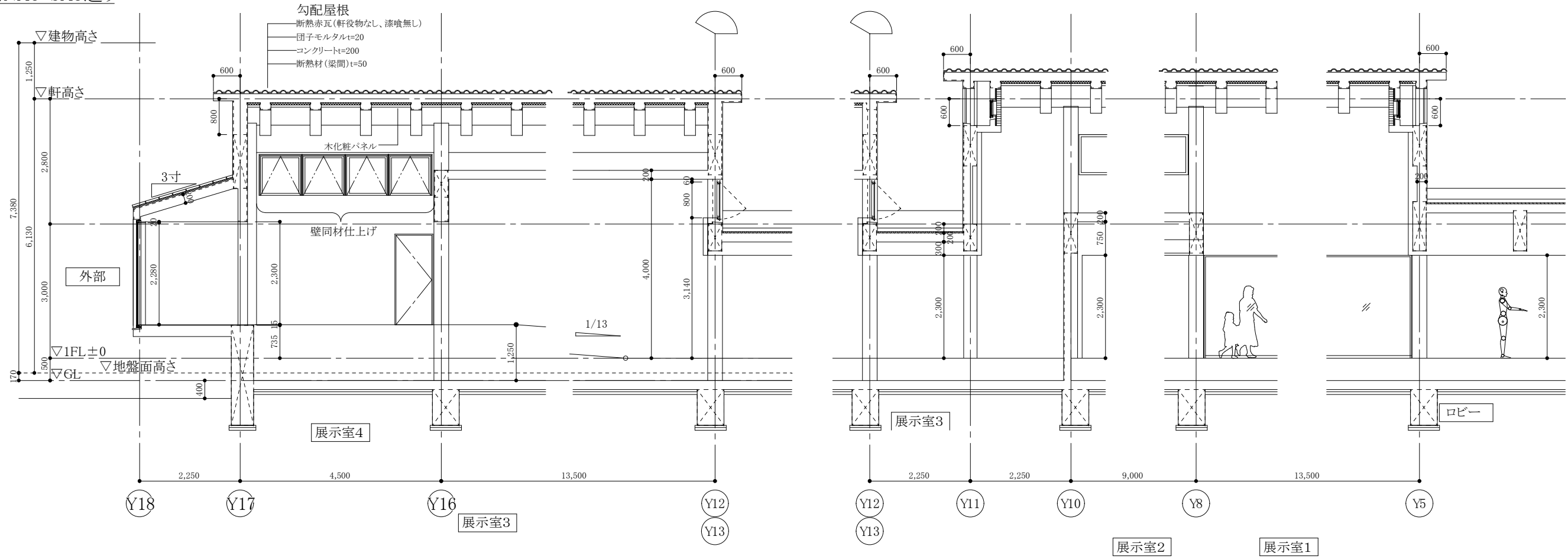


| | | | | | | | | | | |
|--|--|---|---------|-------------------|-------|-------|------|----------|----|------|
| 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第16257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | TITLE | 断面図1 | SCALE | 1/200 | DATE | 24.10.31 | NO | A-21 |
| | | | PROJECT | 西表島世界遺産センター整備実施設計 | | CHECK | 福原 | | | |

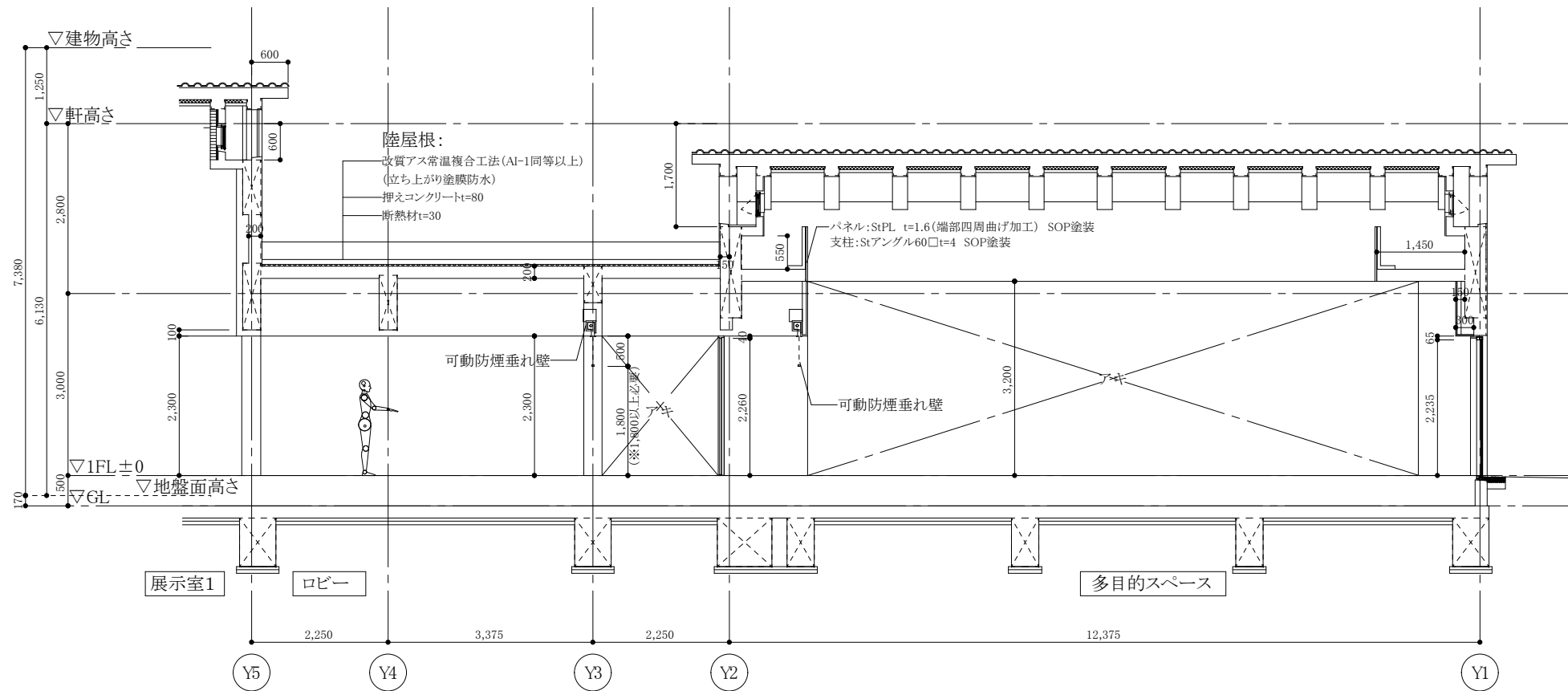


| | | | | | | | | | | |
|--|--|---|---------|-------------------|-------|-------|------|----------|----|------|
| 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第16257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | TITLE | 断面図2 | SCALE | 1/200 | DATE | 24.10.31 | NO | A-22 |
| | | | PROJECT | 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | 福原 | | | | |

□NX5-SX3通り



□SX3通り



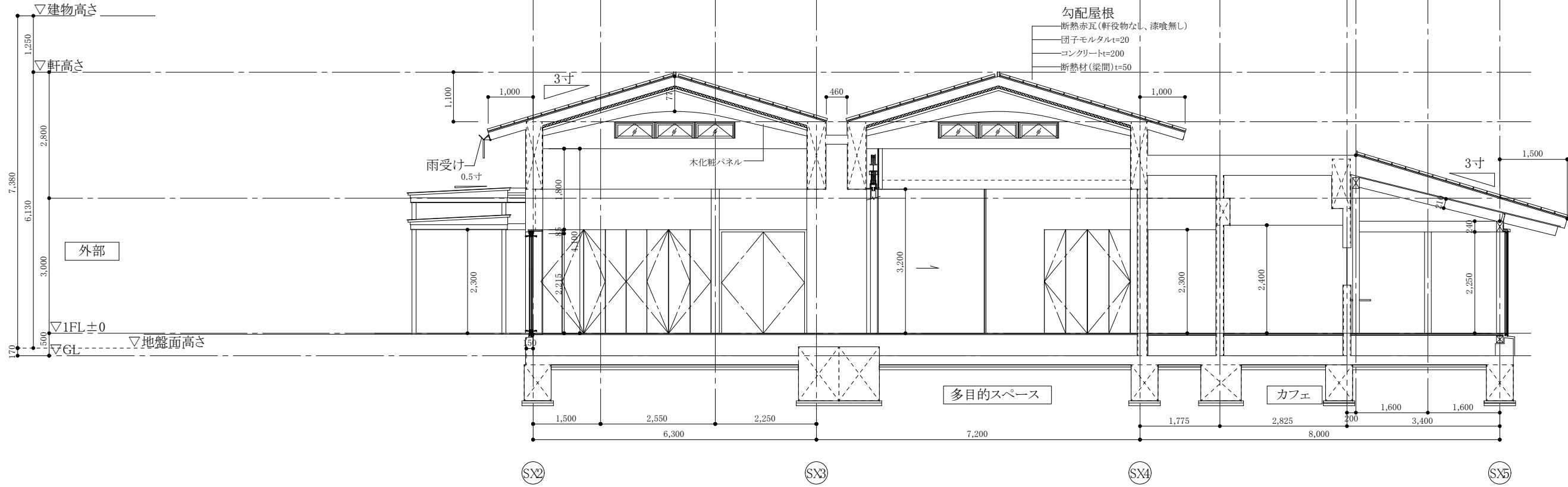
株式会社 ブレック研究所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号
一級建築士 233817号 福岡 薫

福原信一 一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号
一級建築士 364177号 福原 信一

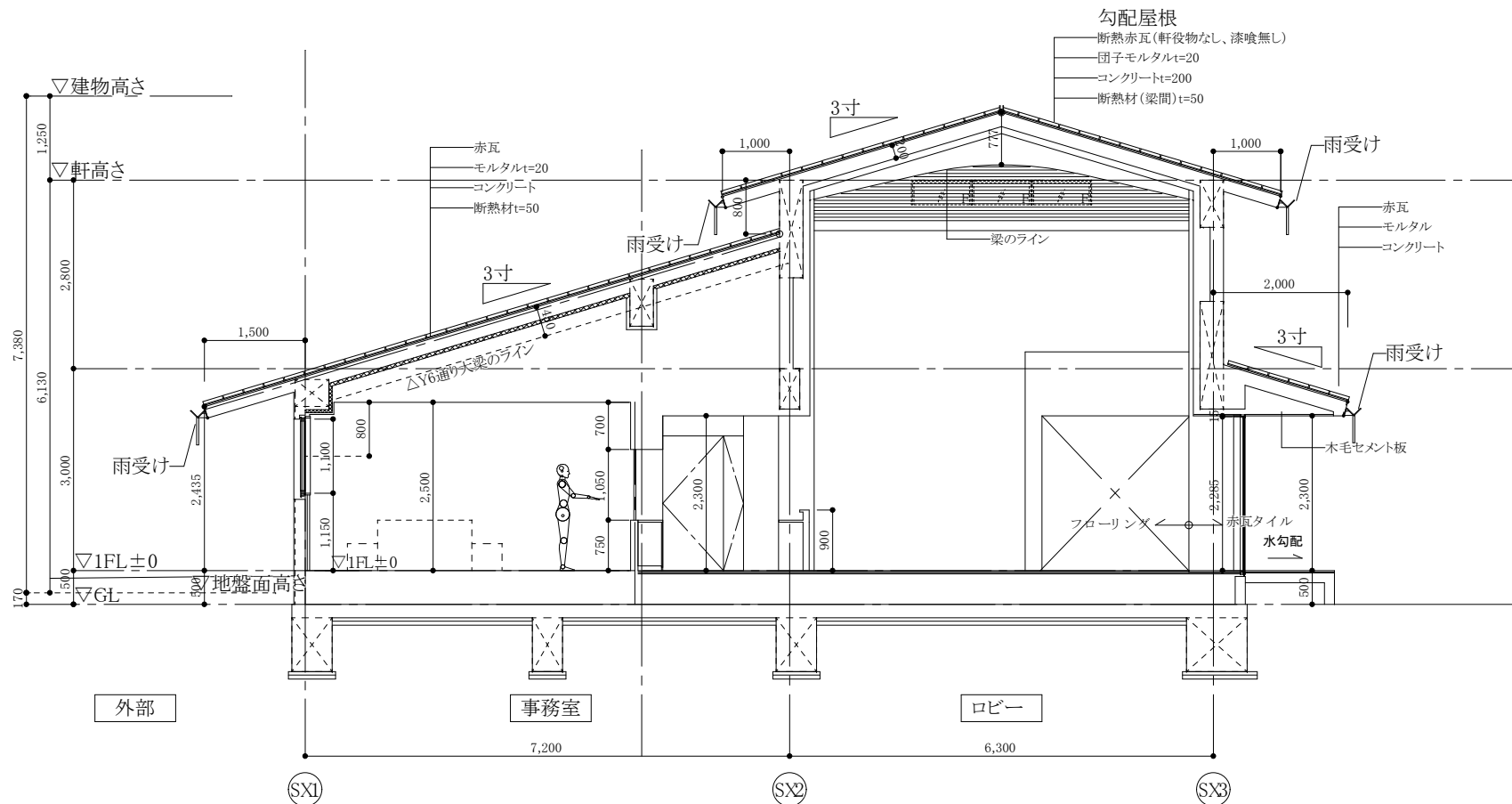
株式会社 丹青社
一級建築士事務所 東京都知事登録 第16257号
一級建築士 254337号 関根 雄二

| | | | | | | | |
|---------|-------------------|-------|------------|------|----------|----|------|
| TITLE | 矩計図1 | SCALE | 1/100 (A3) | DATE | 24.10.31 | NO | A-23 |
| PROJECT | 西表島世界遺産センター整備実施設計 | | CHECK | 福原 | | | |

□Y1又Y2通り



□Y5通り

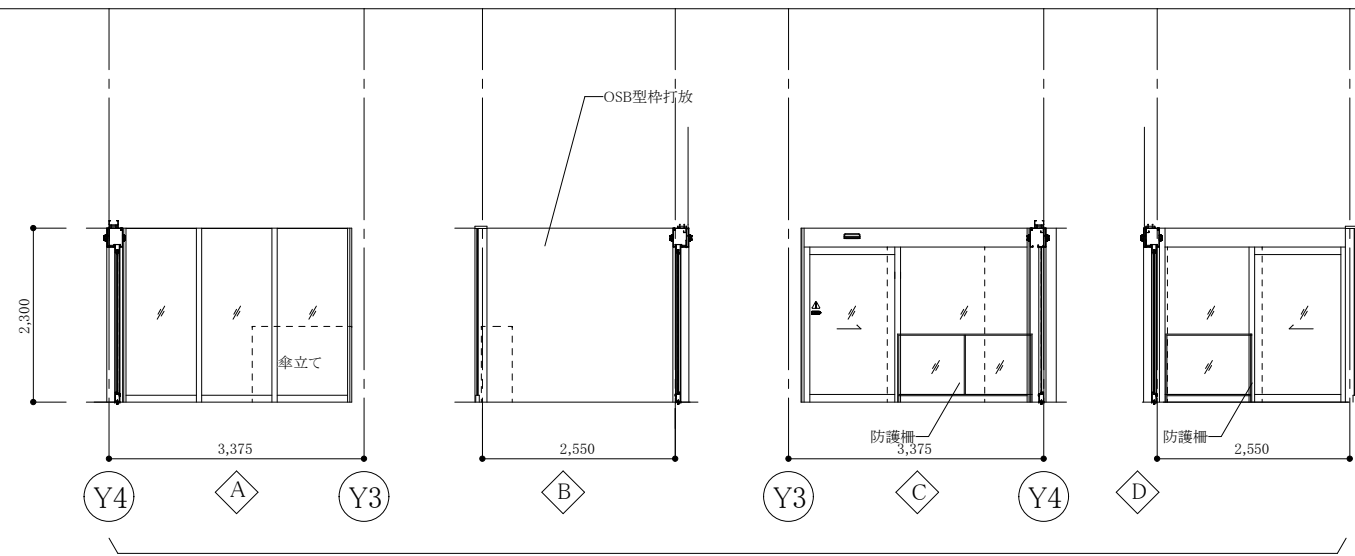


株式会社 ブレック研究所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号
一級建築士 233817号 福岡 薫

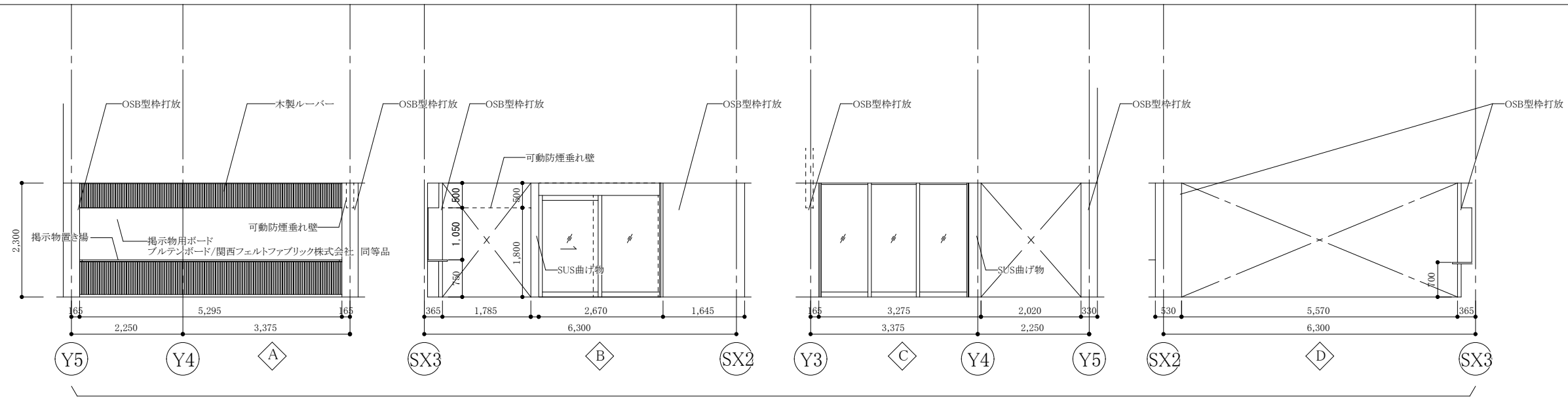
福原信一 一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号
一級建築士 364177号 福原 信一

株式会社 丹青社
一級建築士事務所 東京都知事登録 第16257号
一級建築士 254337号 関根 雄二

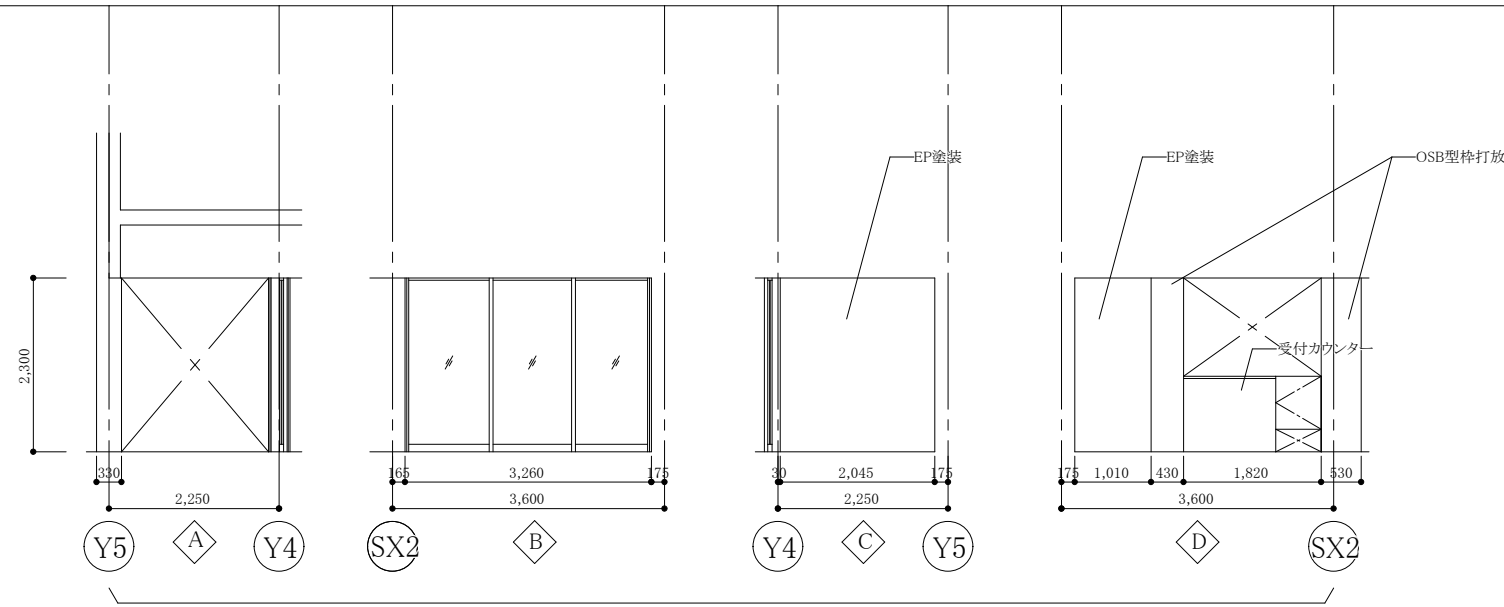
| | | | | | | | |
|---------|-------------------|-------|------------|------|----------|----|------|
| TITLE | 矩計図2 | SCALE | 1/100 (A3) | DATE | 24.10.31 | NO | A-24 |
| PROJECT | 西表島世界遺産センター整備実施設計 | | CHECK | 福原 | | | |



風除室



ロビー



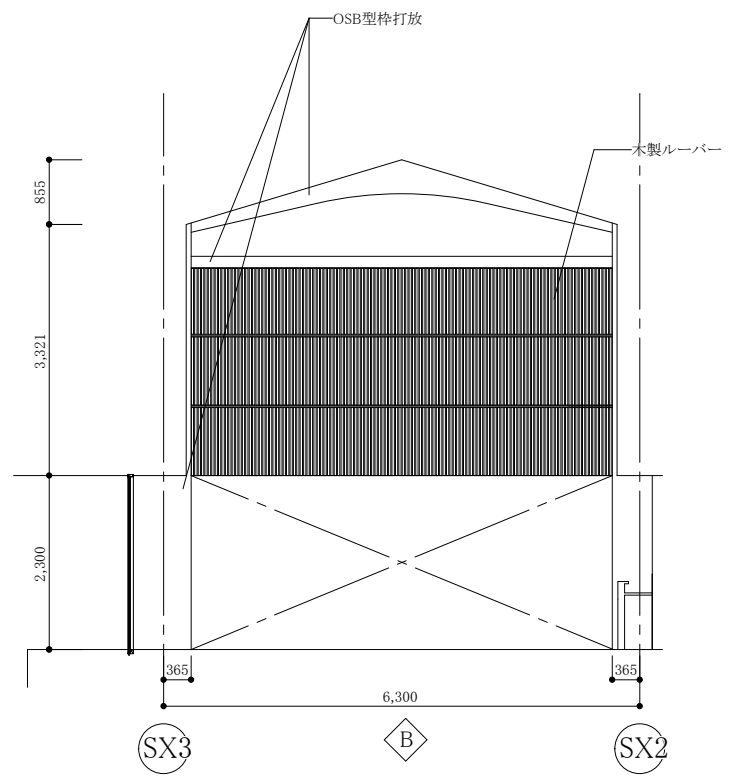
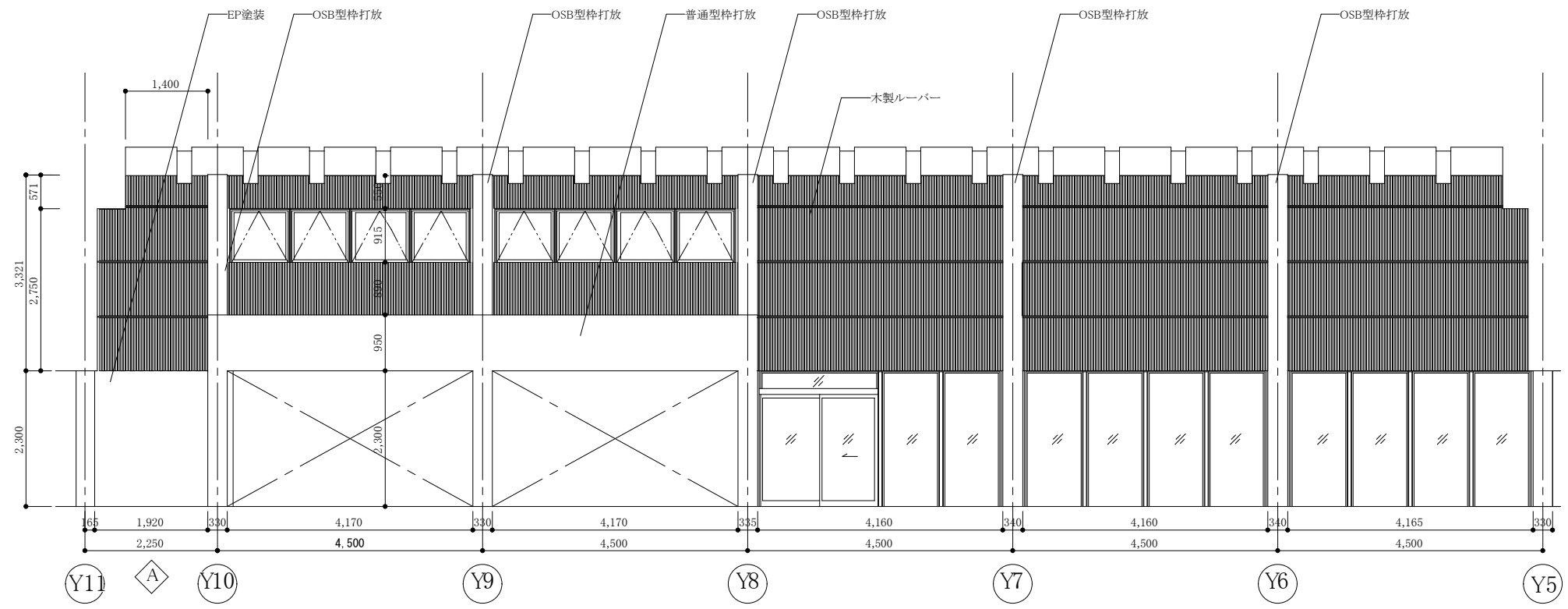
物販スペース

株式会社 ブレック研究所
 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号
 一級建築士 233817号 福田 薫

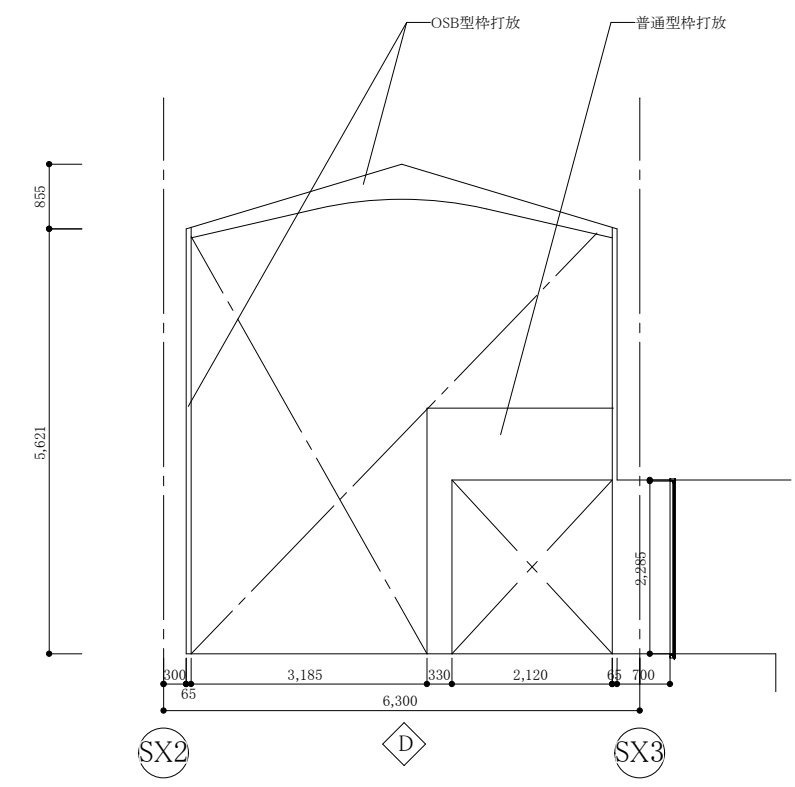
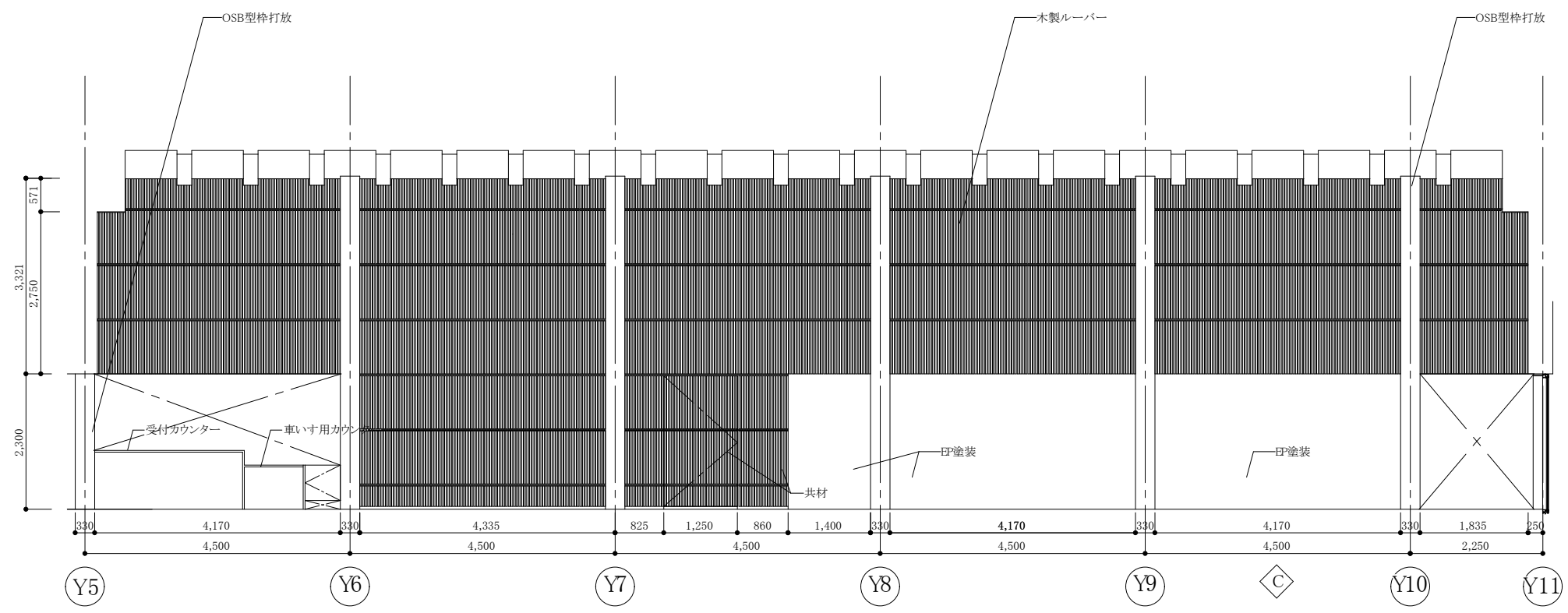
福原信一 一級建築士事務所
 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号
 一級建築士 364177号 福原 信一

株式会社 丹青社
 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号
 一級建築士 254337号 関根 雄二

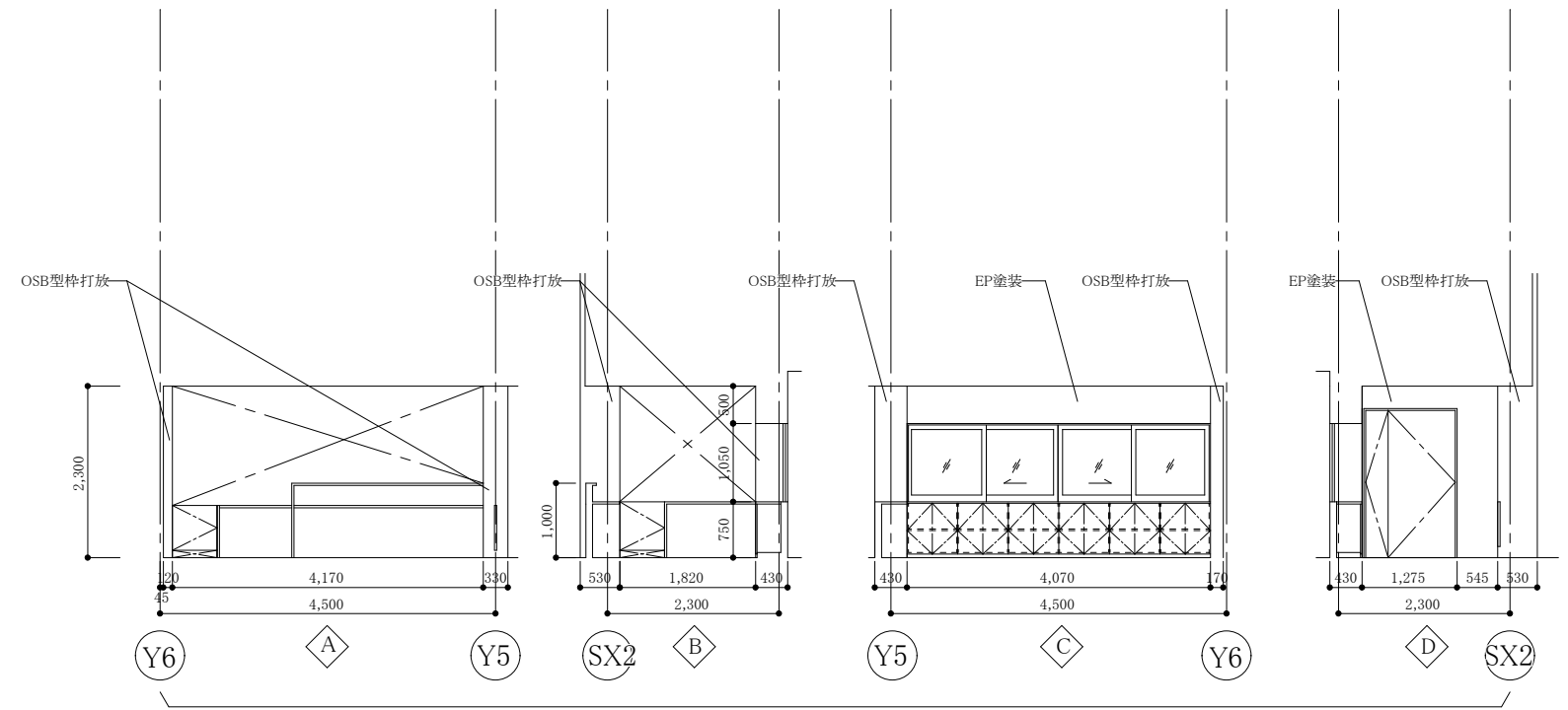
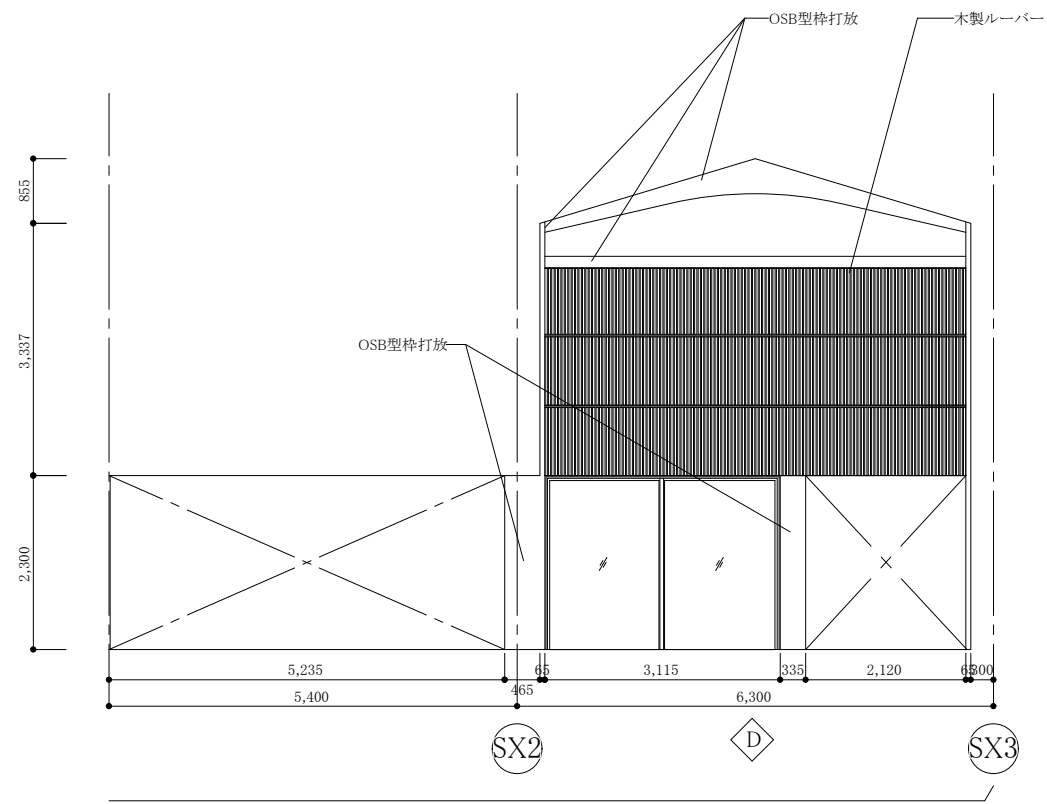
| | | | | | | | |
|---------|-------------------|-------|------------|------|----------|----|------|
| TITLE | 展開図 1 | SCALE | 1/200 (A3) | DATE | 24.10.31 | NO | A-25 |
| PROJECT | 西表島世界遺産センター整備実施設計 | | CHECK | 福原 | | | |



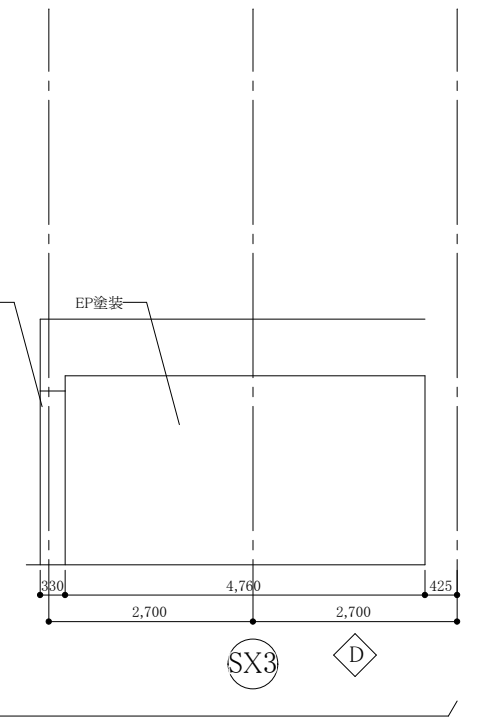
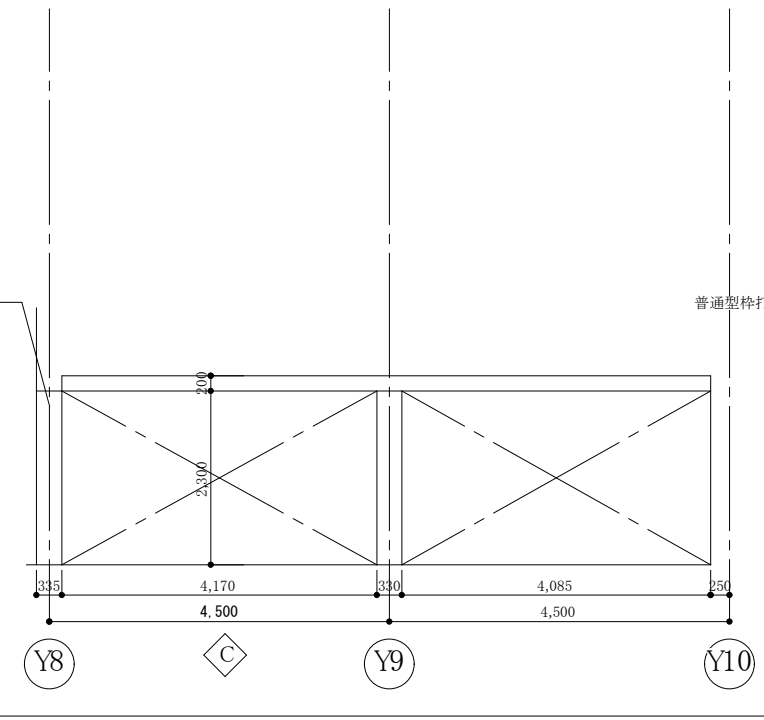
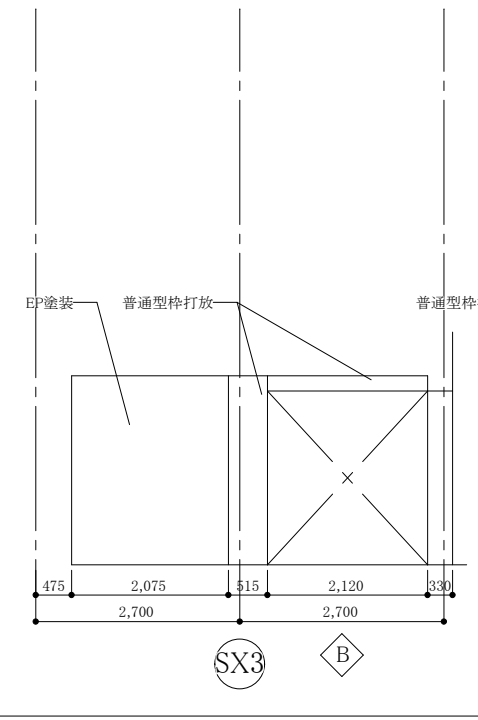
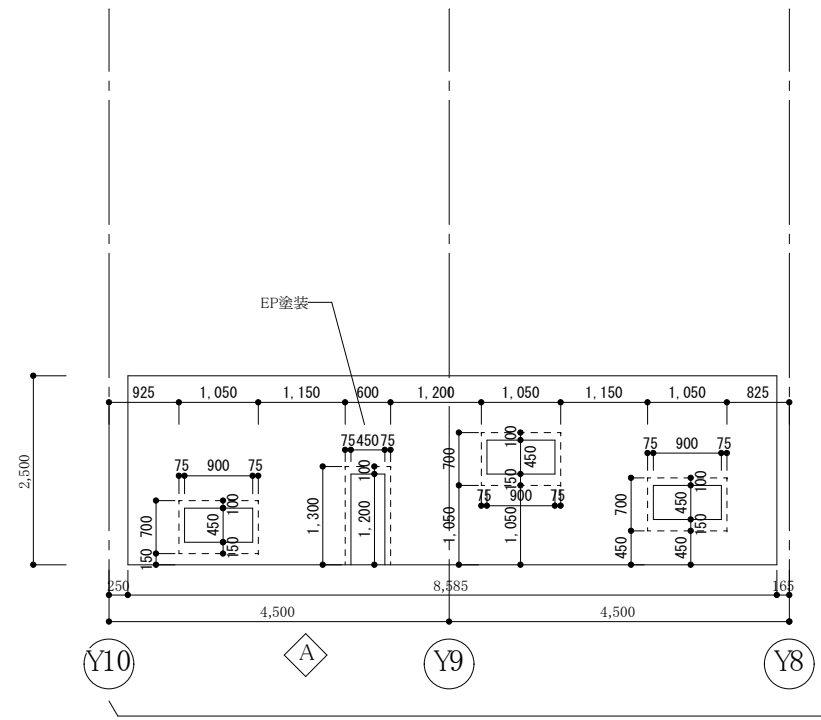
展示室1



| | | | | | | | | | | |
|--|--|--|---|---------|-------------------|-------|------------|------|----------|------------|
| | 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17616号 一級建築士 233817号 福田 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | TITLE | 展開図 2 | SCALE | 1/200 (A3) | DATE | 24.10.31 | NO A-26 |
| | | | | PROJECT | 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | 福原 | | | |

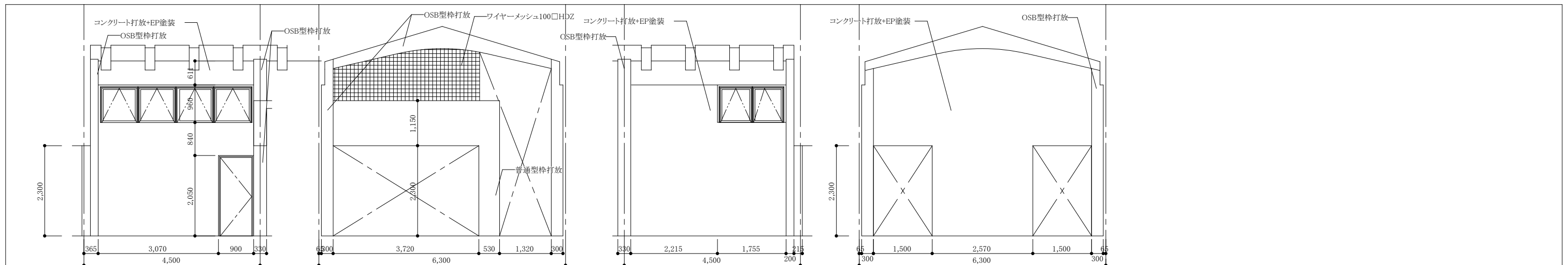


案内カウンター

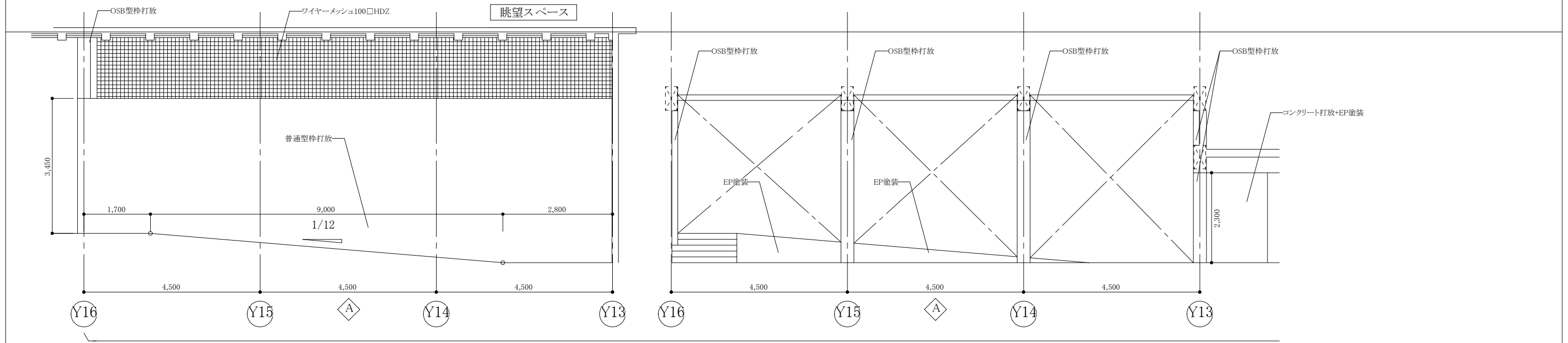
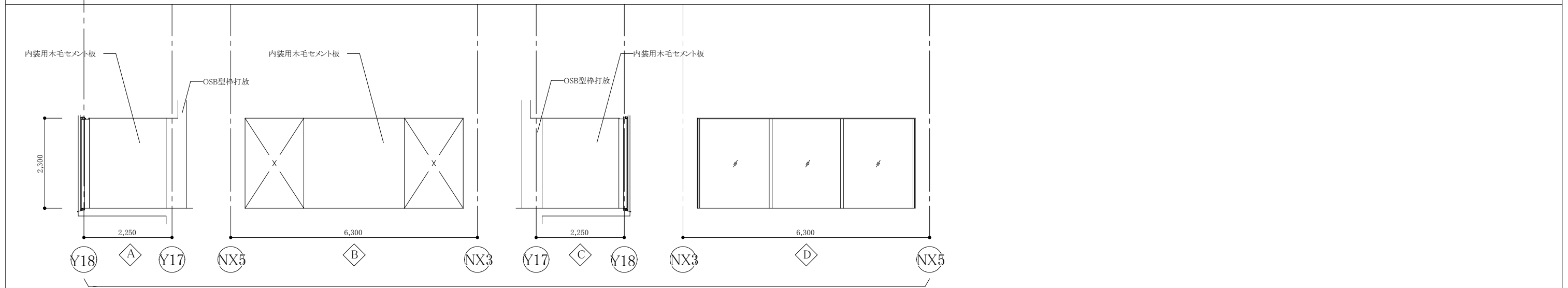


展示室2

| | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|---|---------|-------------------|-------|------------|------|----------|----|------|
| | 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福田 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | TITLE | 展開図 3 | SCALE | 1/200 (A3) | DATE | 24.10.31 | NO | A-27 |
| | | | | PROJECT | 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | 福原 | | | | |

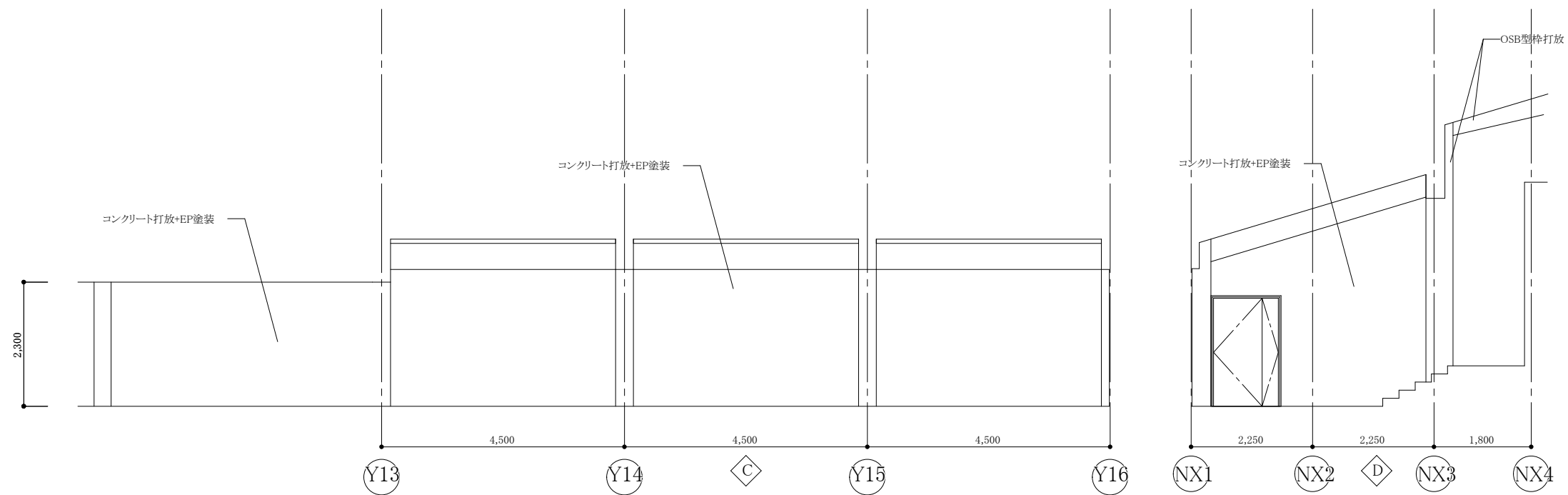
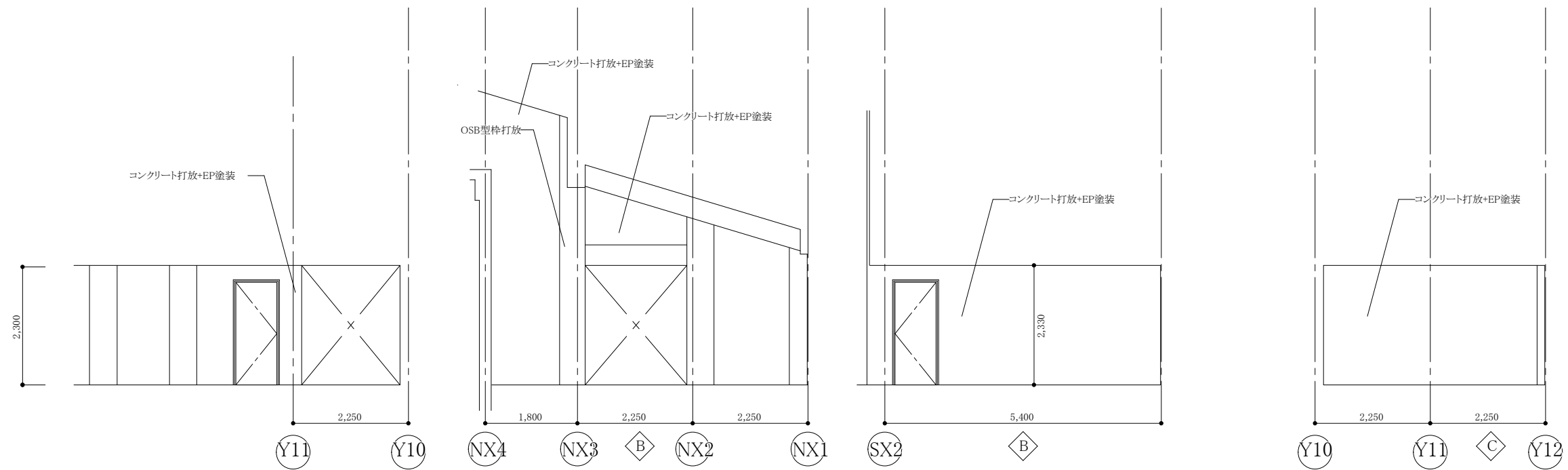


展示室4

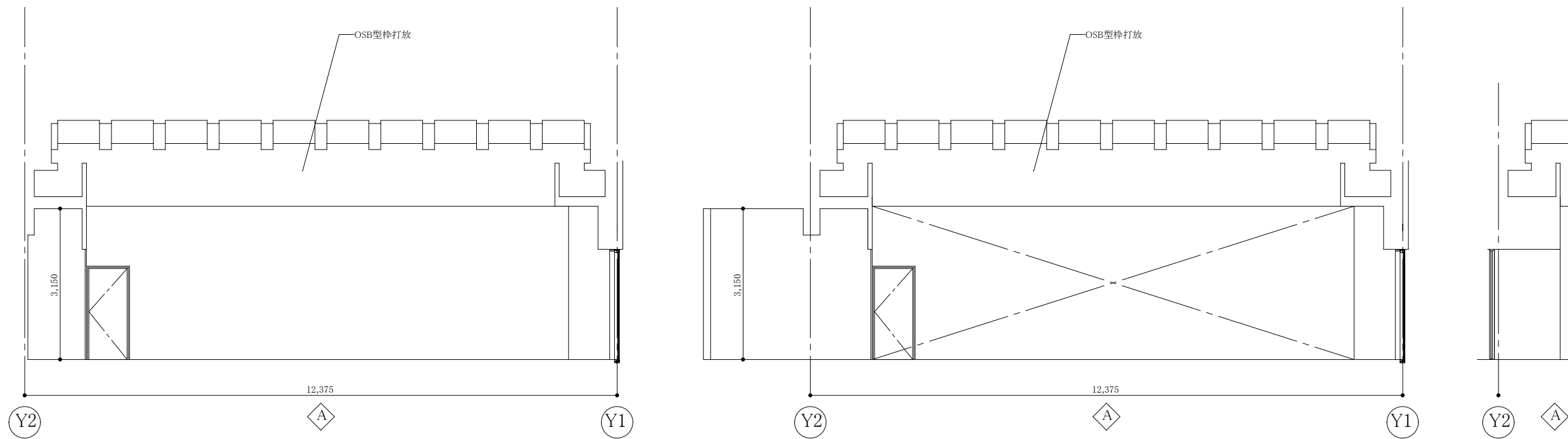


展示室5

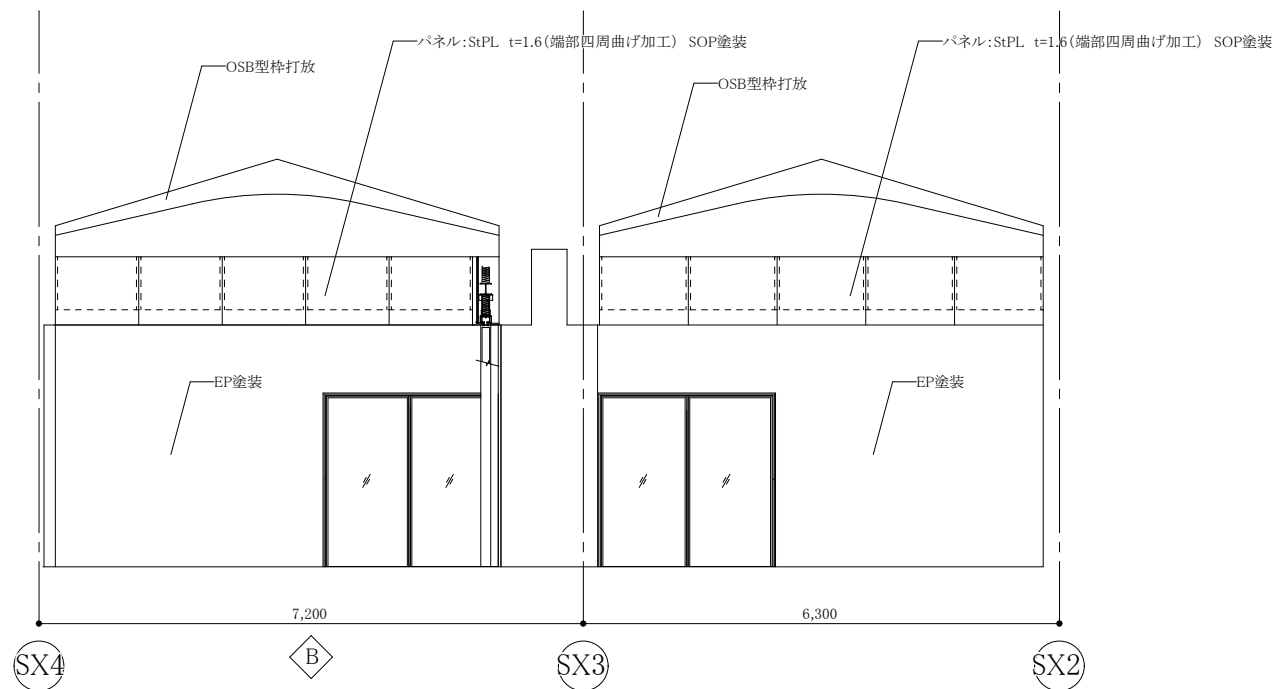
| | | | | | | | | | |
|--|--|---|---------|-------------------|-------|------------|------|----------|------------|
| 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福田 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | TITLE | 展開図 5 | SCALE | 1/200 (A3) | DATE | 24.10.31 | NO A-29 |
| | | | PROJECT | 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | 福原 | | | |



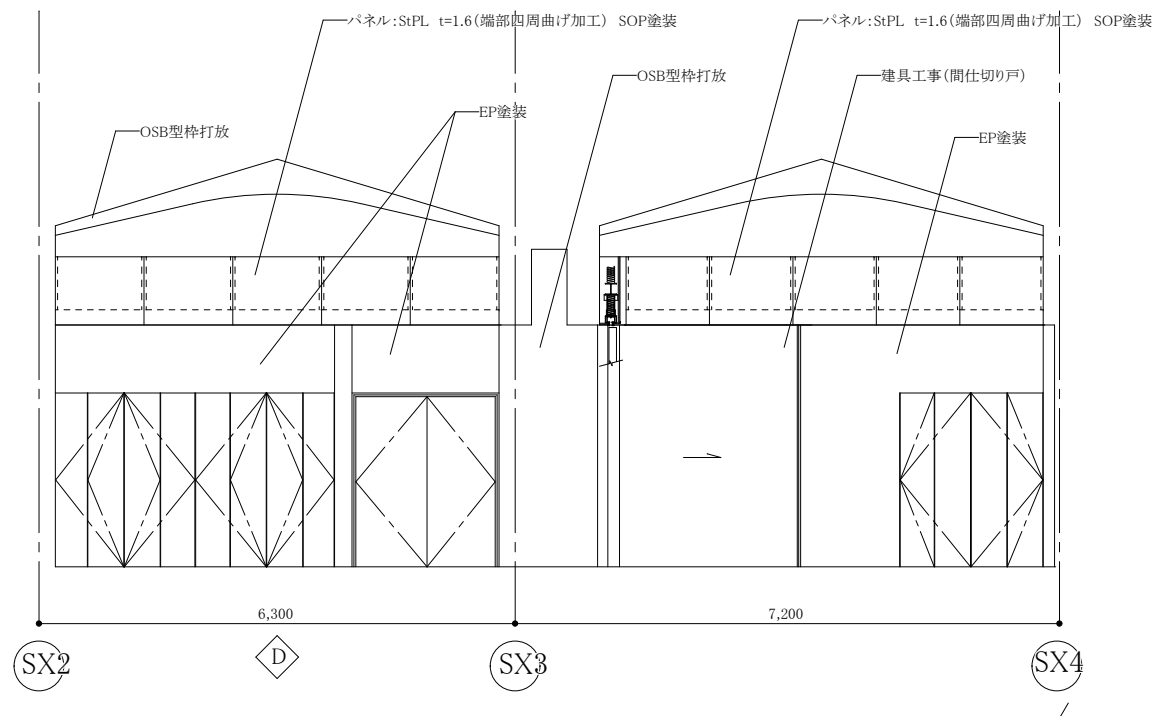
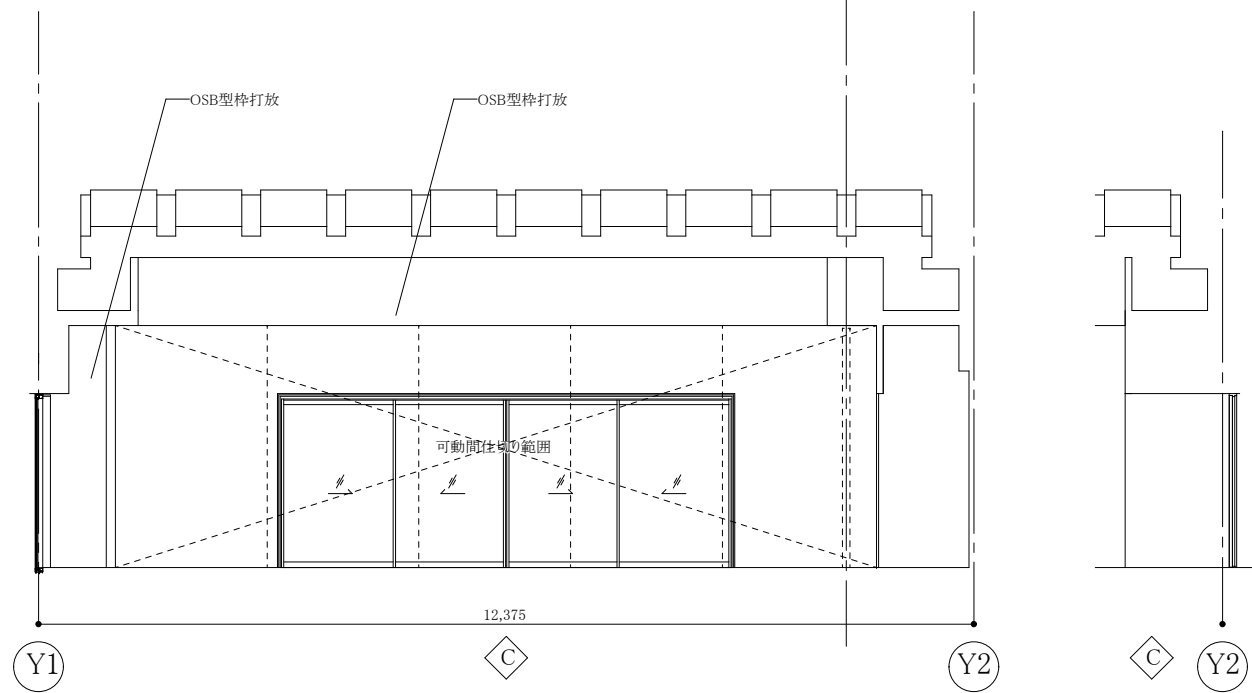
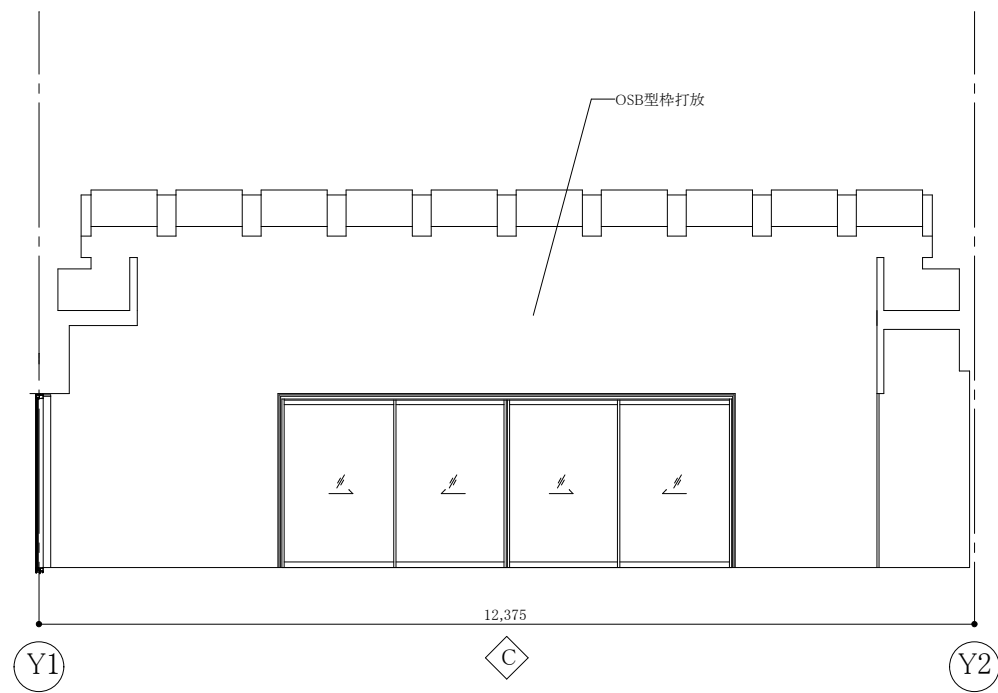
| | | | | | | | |
|--|--|---|---|------------------------------|---------------------|------------------|------------|
| | 株式会社 ブレック研究所 | 福原信一 一級建築士事務所 | 株式会社 丹青社 | TITLE 展開図 6 | SCALE 1/200 (A3) | DATE 24.10.31 | NO A-30 |
| | 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17616号 一級建築士 233817号 福田 薫 | 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | | CHECK 福原 | |



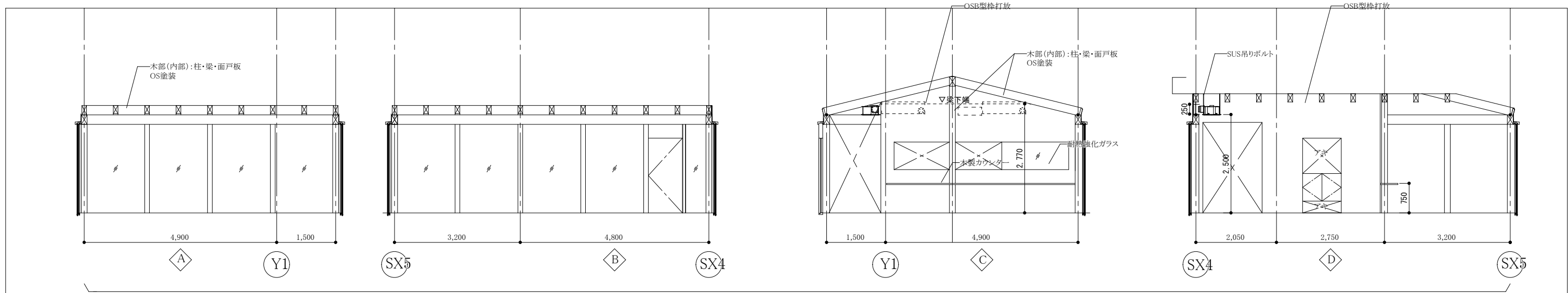
多目的スペース



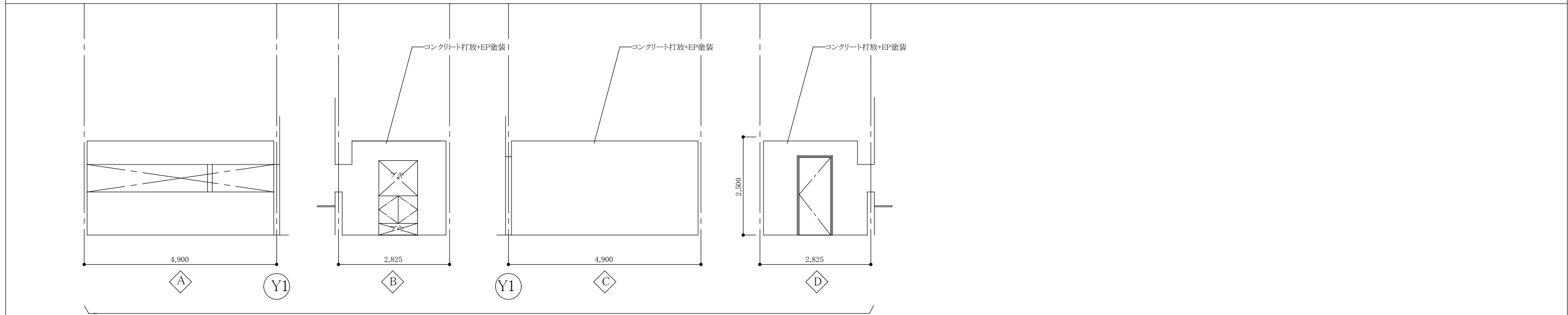
| | | | | | | | |
|--|--|--|---|------------------------------|---------------------|------------------|------------|
| | 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17616号 一級建築士 233817号 福田 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | TITLE 展開図 7 | SCALE 1/200 (A3) | DATE 24.10.31 | NO A-31 |
| | | | | PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | | CHECK 福原 | |



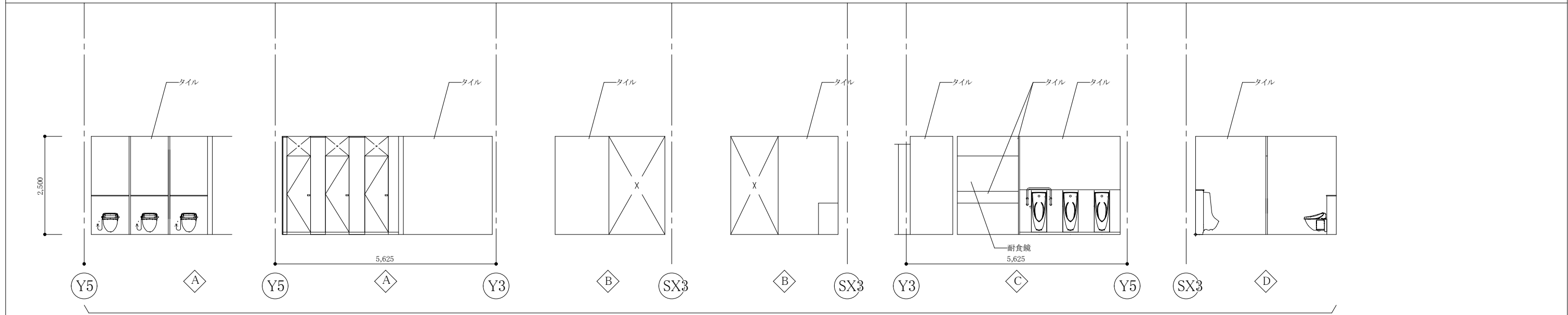
| | | | | | | | |
|--|--|--|---|-------------------|------------|----------|------|
| | 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17616号 一級建築士 233817号 福田 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | TITLE | SCALE | DATE | NO |
| | | | | 展開図 8 | 1/200 (A3) | 24.10.31 | A-32 |
| | | | | PROJECT | CHECK | | |
| | | | | 西表島世界遺産センター整備実施設計 | 福原 | | |



カフェ

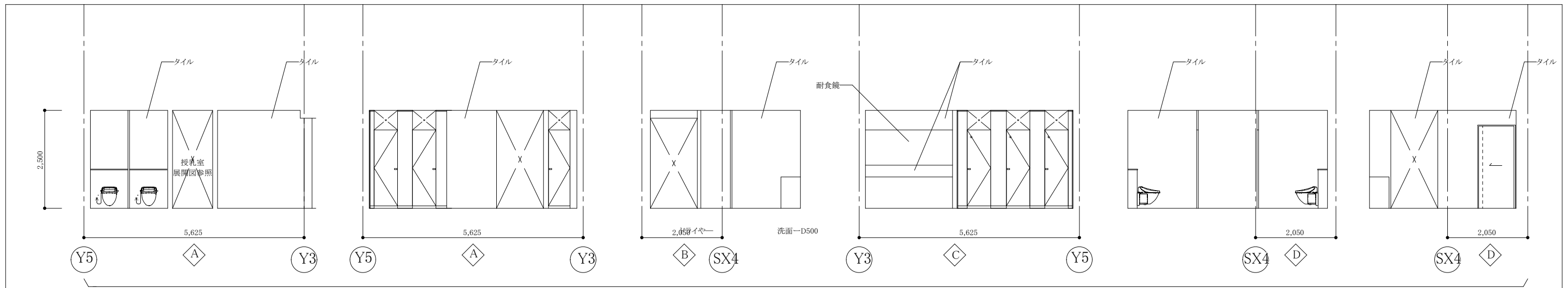


厨房

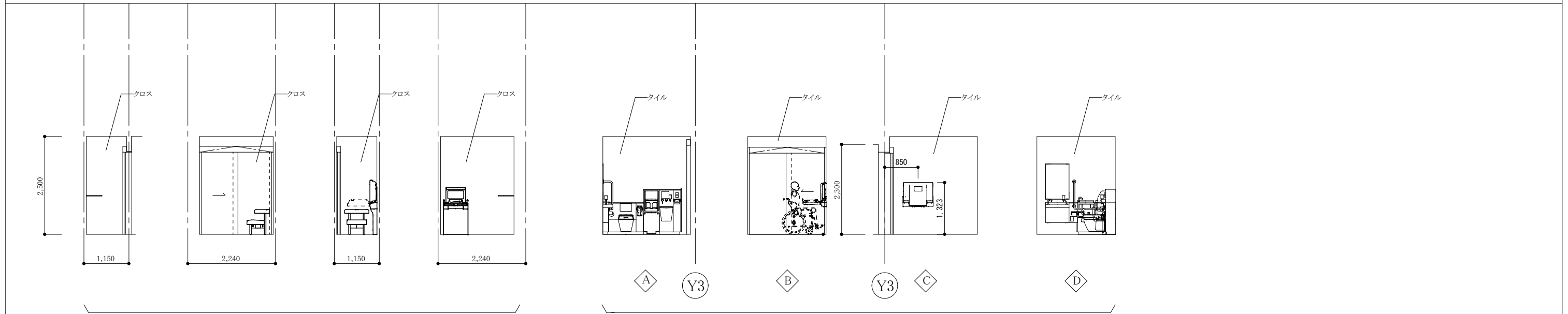


男子トイレ

| | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|---|---------|-------------------|-------|------------|------|----------|----|------|
| | 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福田 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | TITLE | 展開図 9 | SCALE | 1/200 (A3) | DATE | 24.10.31 | NO | A-33 |
| | | | | PROJECT | 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | 福原 | | | | |

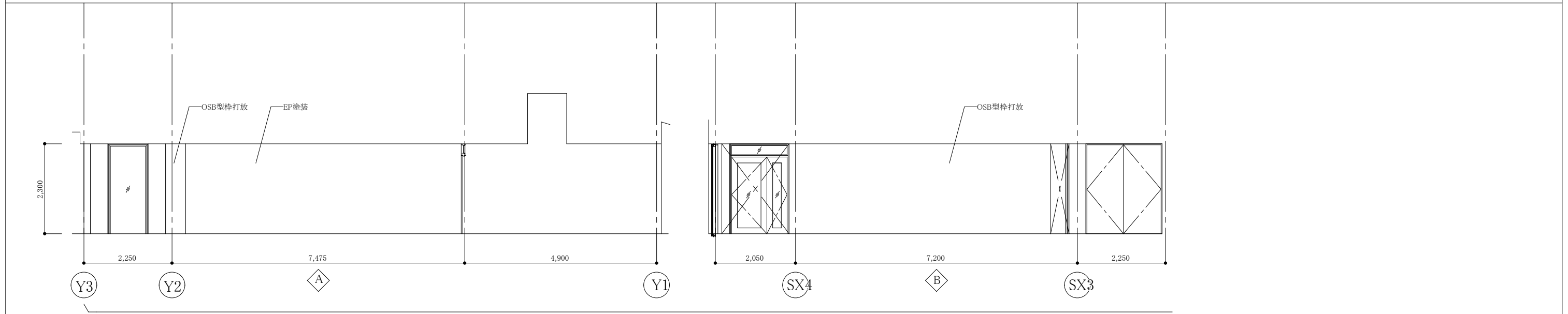


女子トイレ



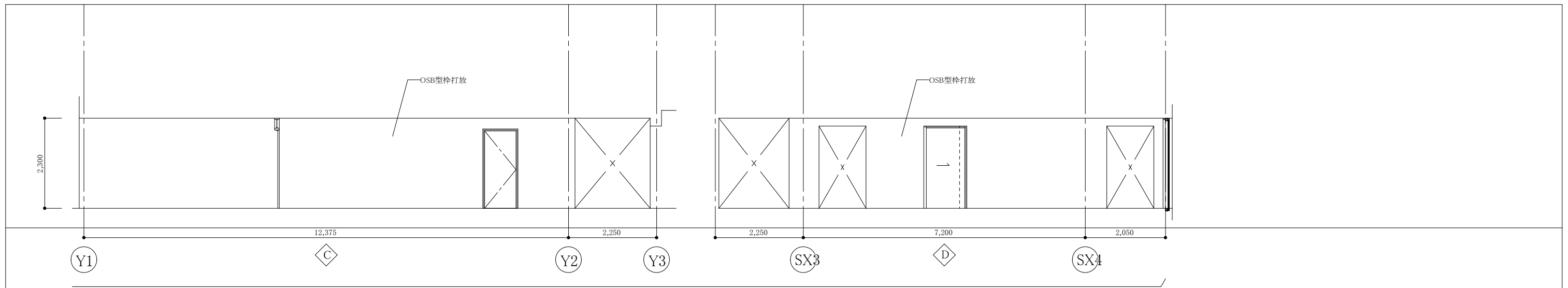
授乳室

多目的トイレ

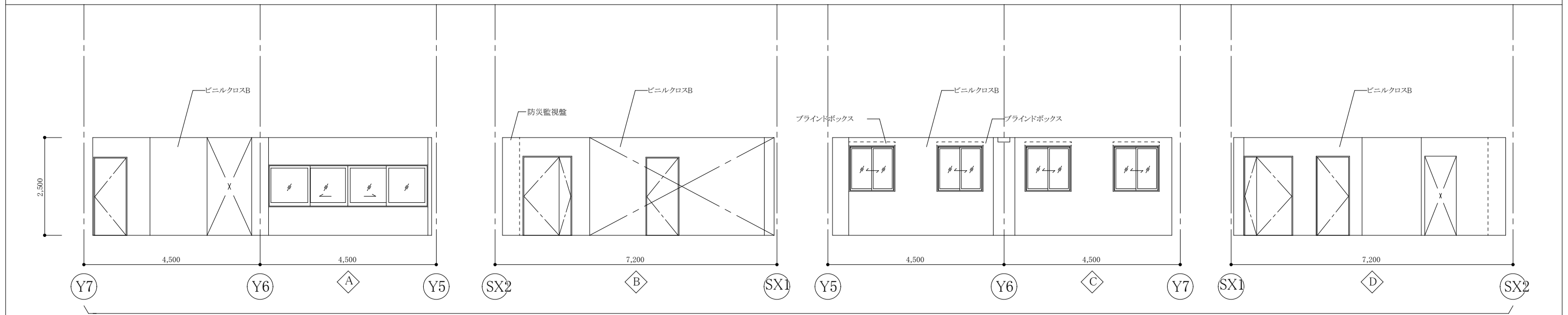


廊下

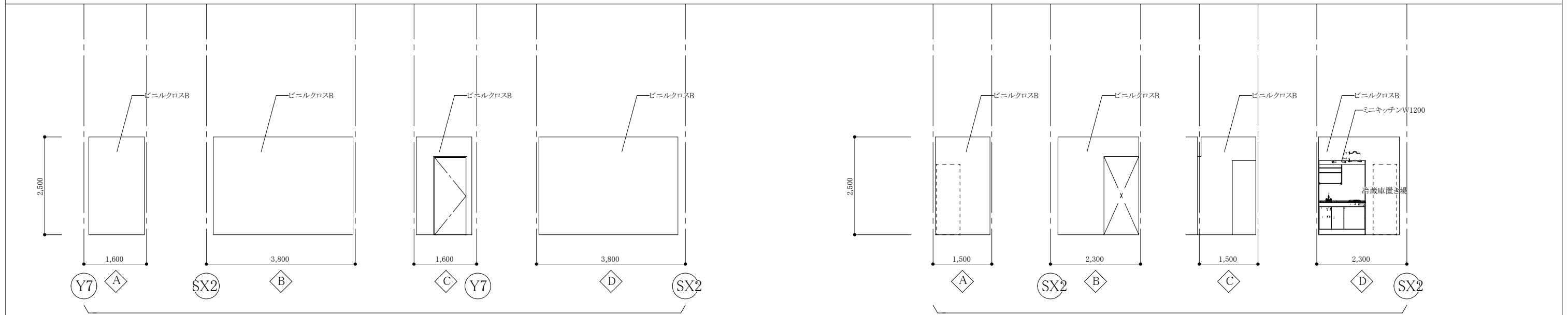
| | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|---|---------|-------------------|-------|------------|------|----------|----|------|
| | 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17616号 一級建築士 233817号 福田 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | TITLE | 展開図 1 O | SCALE | 1/200 (A3) | DATE | 24.10.31 | NO | A-34 |
| | | | | PROJECT | 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | 福原 | | | | |



廊下



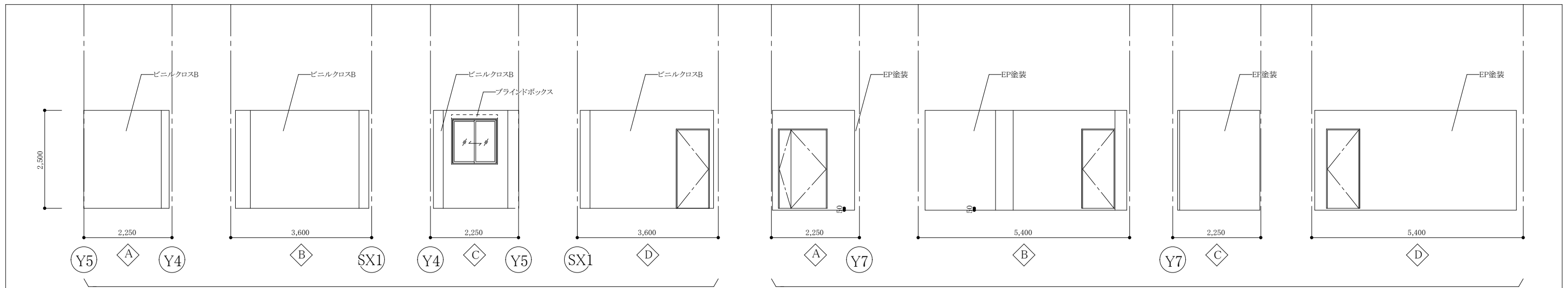
事務室



更衣室

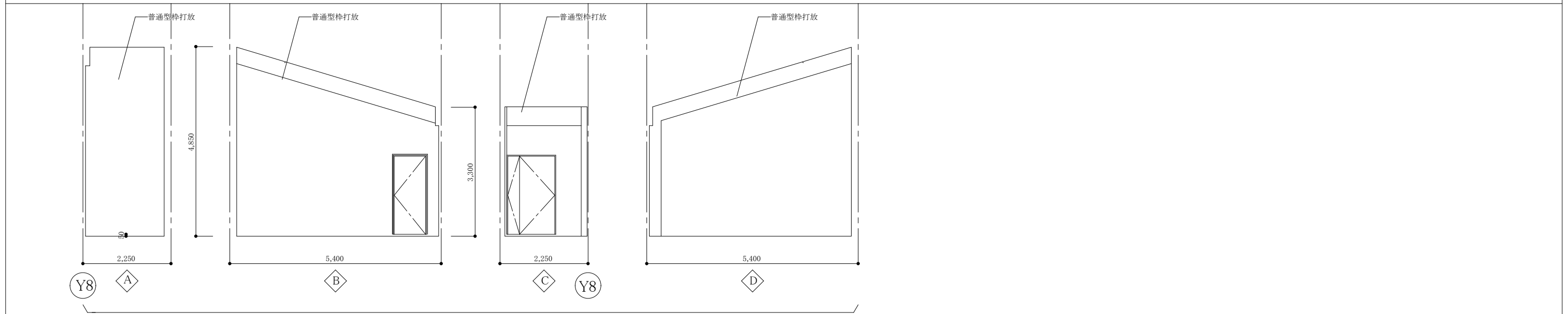
給湯室

| | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|---|---------|-------------------|-------|------------|------|----------|----|------|
| | 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福田 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | TITLE | 展開図 1 1 | SCALE | 1/200 (A3) | DATE | 24.10.31 | NO | A-35 |
| | | | | PROJECT | 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | 福原 | | | | |

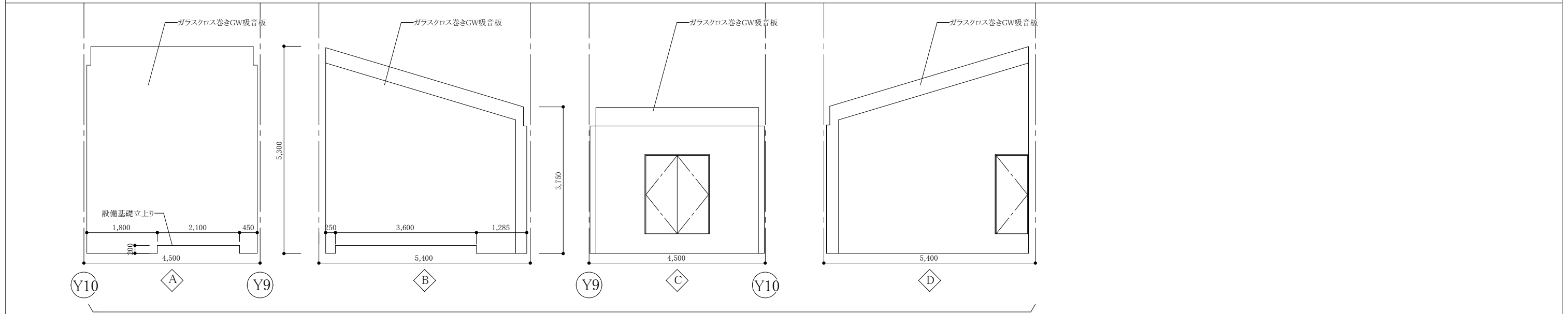


会議室

倉庫1

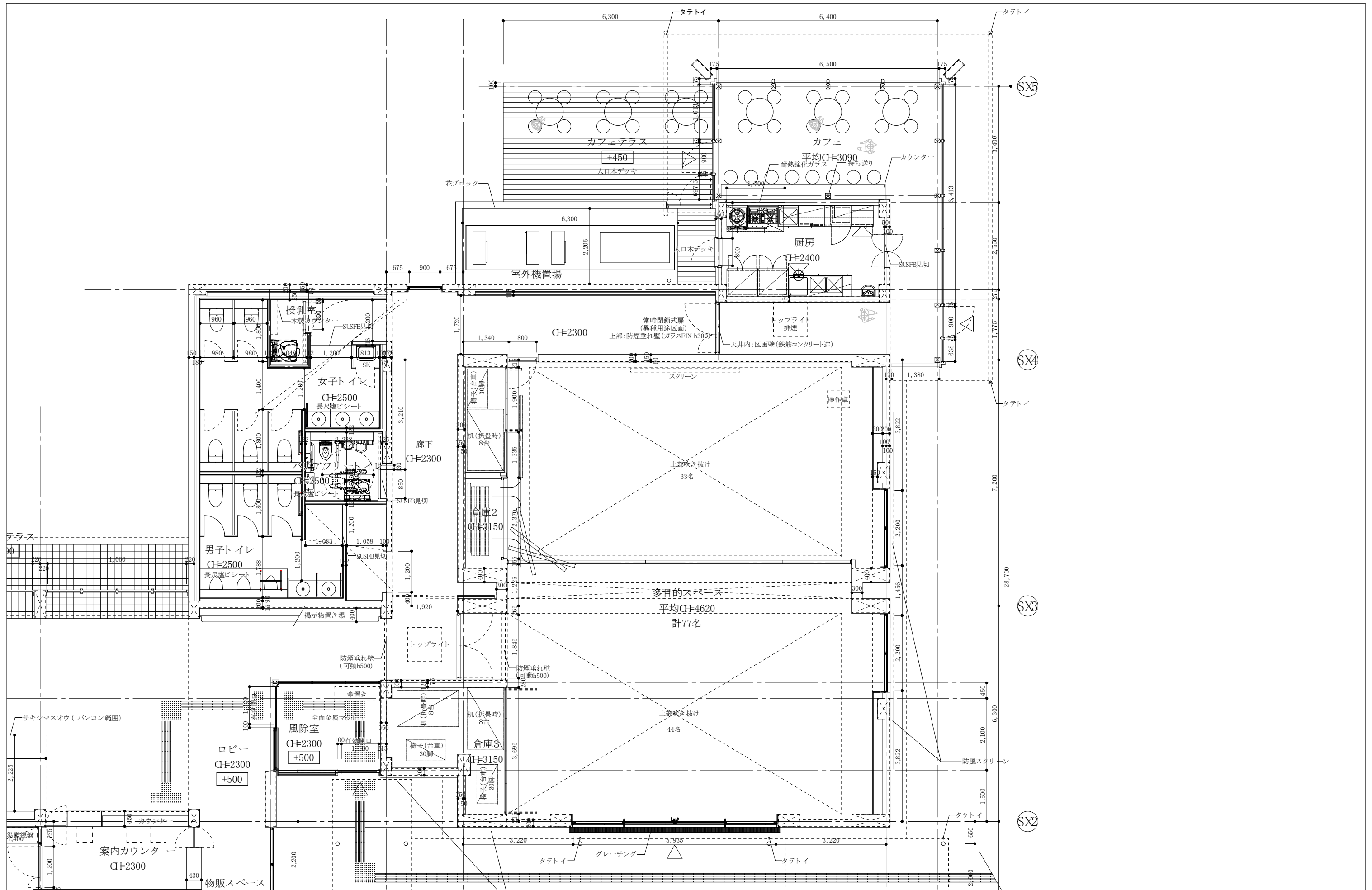


外部倉庫

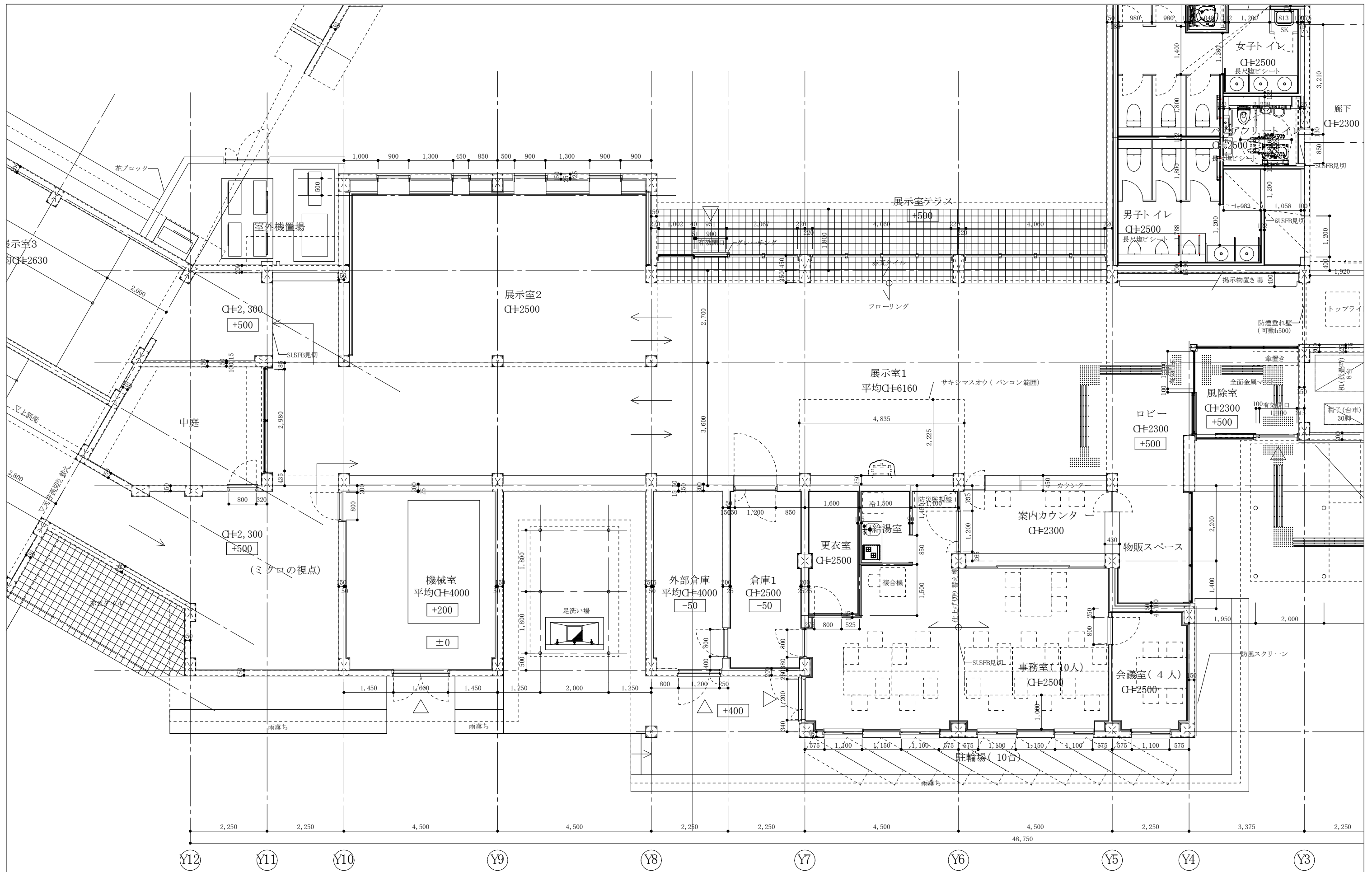


機械室

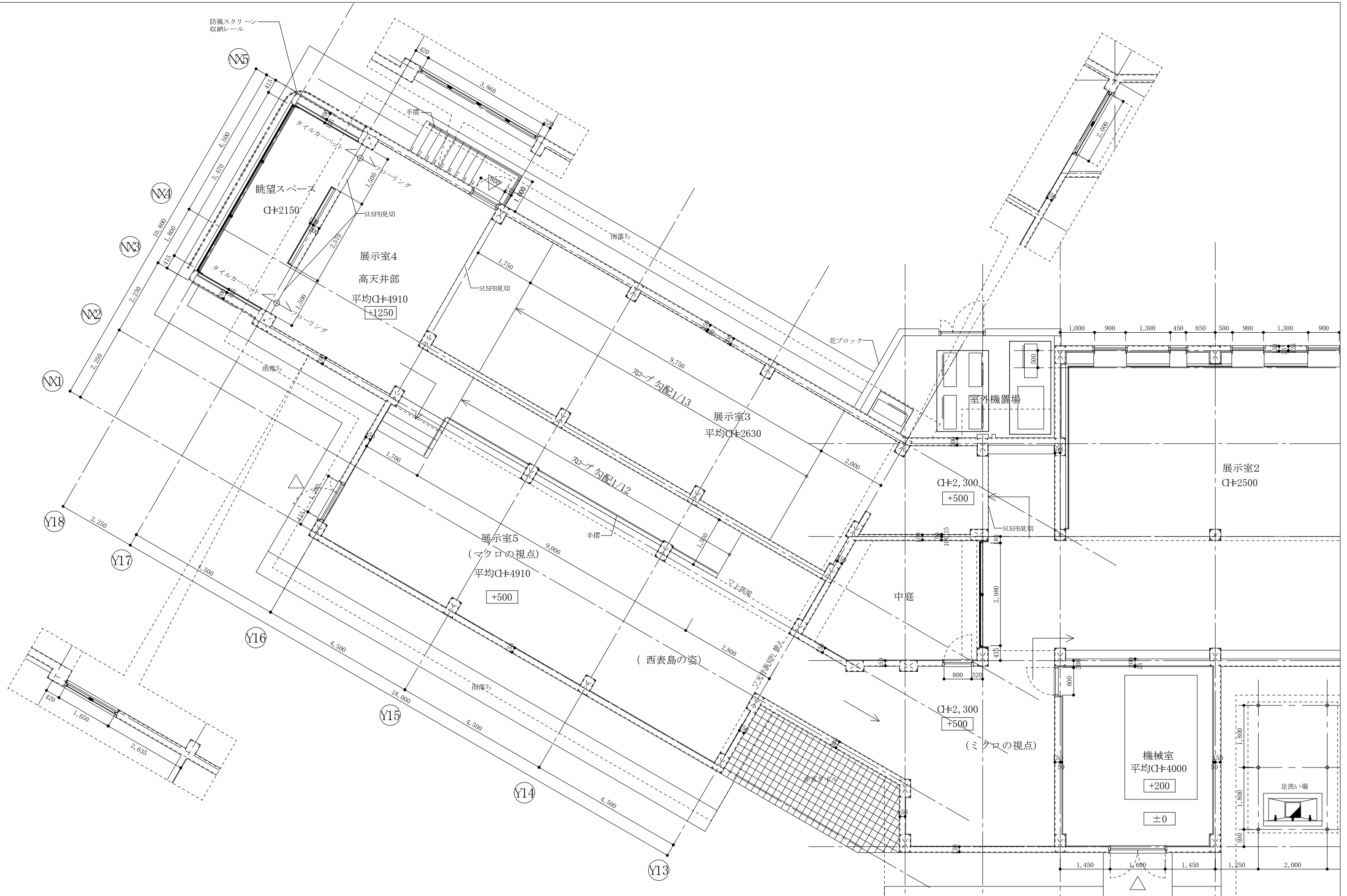
| | | | | | | | |
|--|--|--|---|------------------------------|---------------------|------------------|------------|
| | 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福田 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | TITLE 展開図 1 2 | SCALE 1/200 (A3) | DATE 24.10.31 | NO A-36 |
| | | | | PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK 福原 | | |



| | | | | | | | | | | |
|--|--|---|---------|-------------------|-------|------------|------|----------|----|------|
| 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | TITLE | 平面詳細図 1 | SCALE | 1/100 (A3) | DATE | 24.10.31 | NO | A-37 |
| | | | PROJECT | 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | 福原 | | | | |



| | | | | | | | | | | |
|--|--|---|---------|-------------------|-------|------------|------|----------|----|------|
| 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | TITLE | 平面詳細図 2 | SCALE | 1/100 (A3) | DATE | 24.10.31 | NO | A-38 |
| | | | PROJECT | 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | 福原 | | | | |



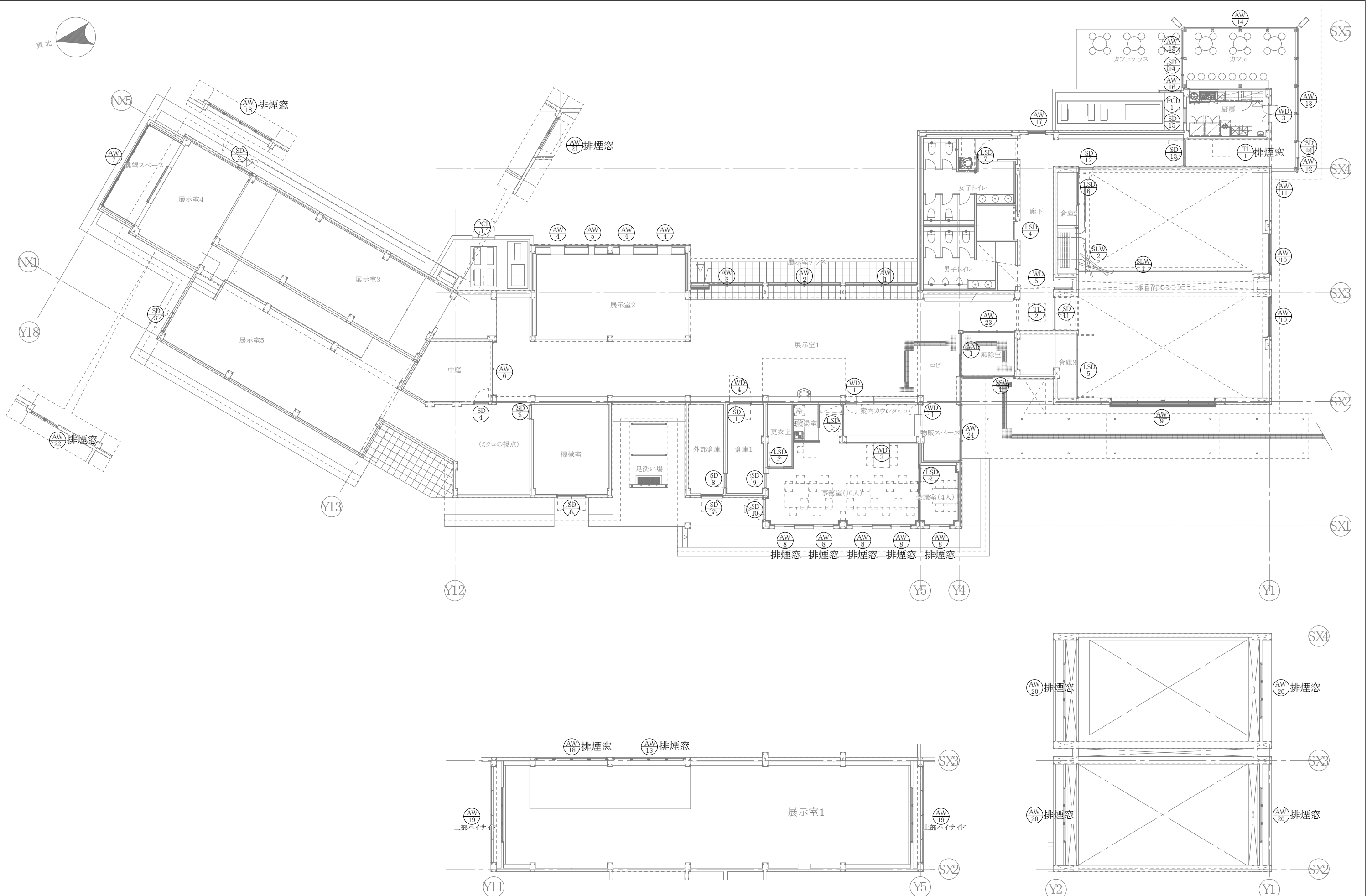
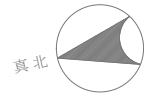
株式会社 ブレック研究所
 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号
 一級建築士 233817号 福岡 薫

福原信一 一級建築士事務所
 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号
 一級建築士 364177号 福原 信一

株式会社 丹青社
 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号
 一級建築士 254337号 関根 雄二

TITLE 平面詳細図 3
 PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計
 SCALE 1/100 (A3)
 DATE 24.10.31
 CHECK 福原

NO A-39



株式会社 ブレック研究所
 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号
 一級建築士 233817号 福岡 薫

福原信一 一級建築士事務所
 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号
 一級建築士 364177号 福原 信一

株式会社 丹青社
 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号
 一級建築士 254337号 関根 雄二

TITLE 建具表キープラン
 PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計

SCALE -
 DATE 24.10.31
 CHECK 福原
 NO A-40

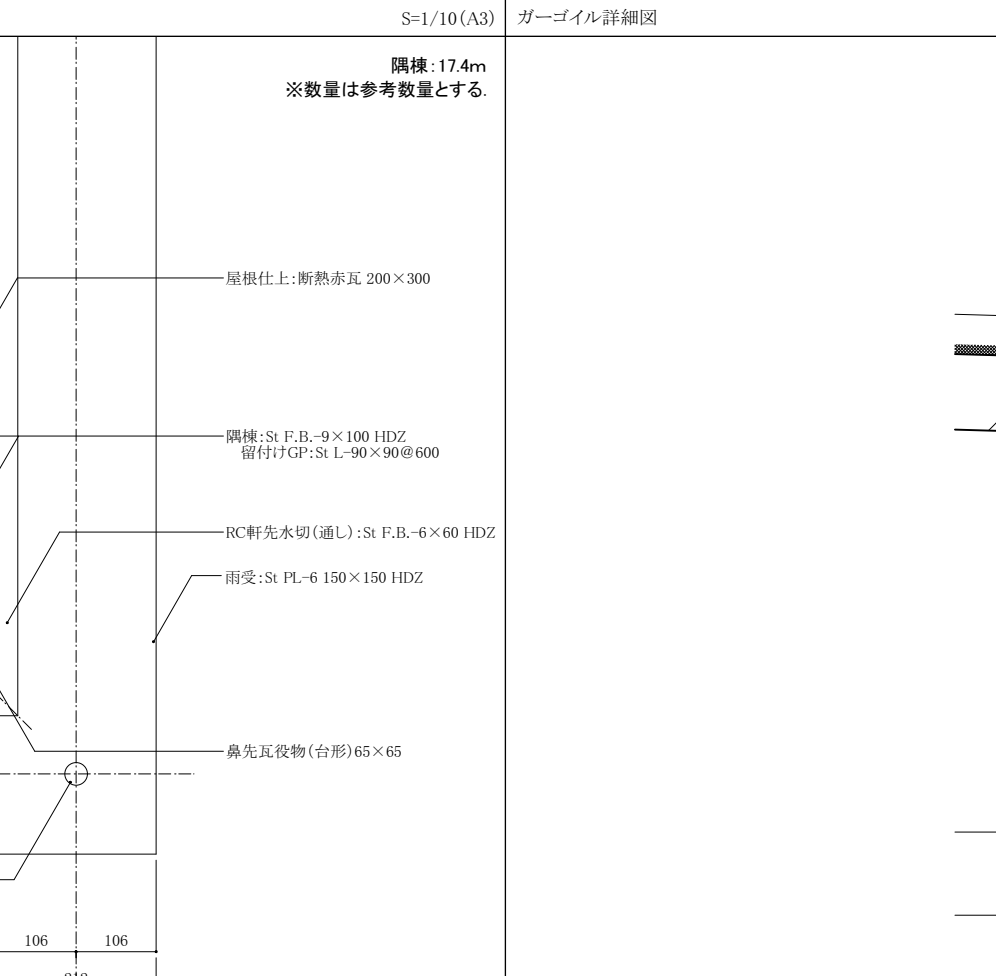
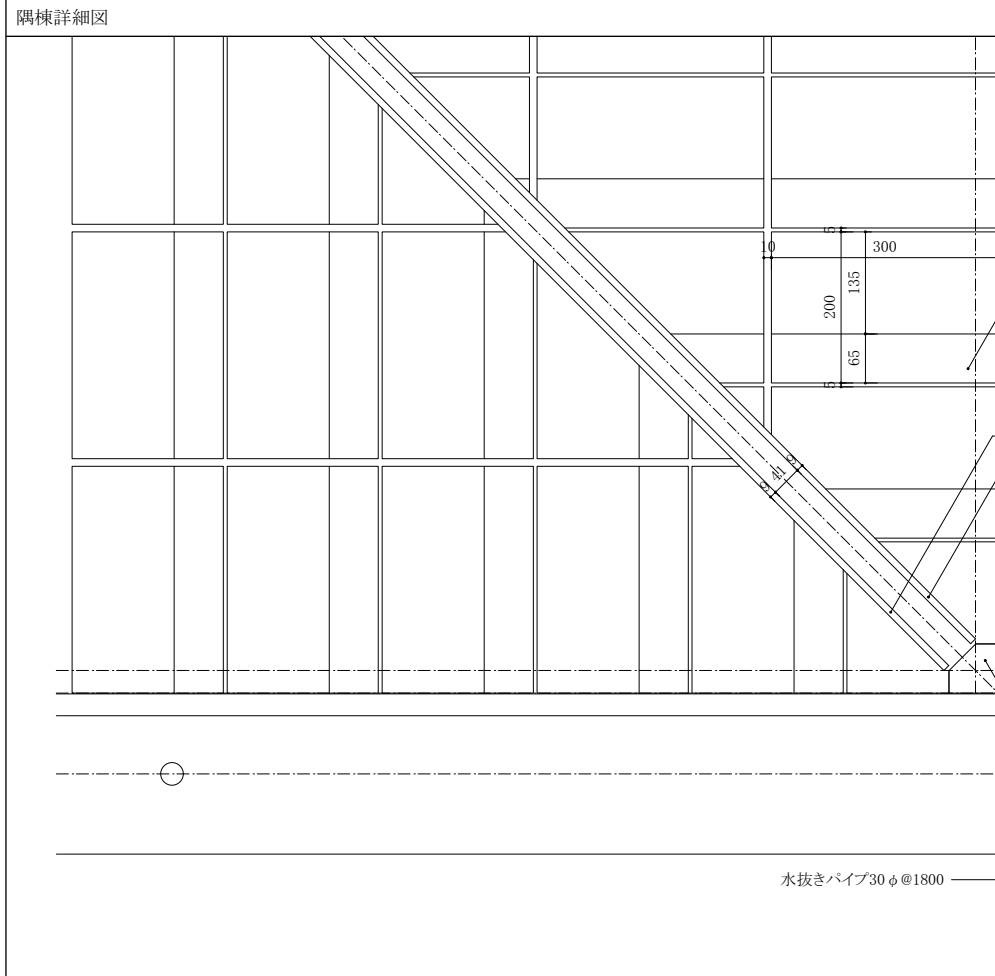
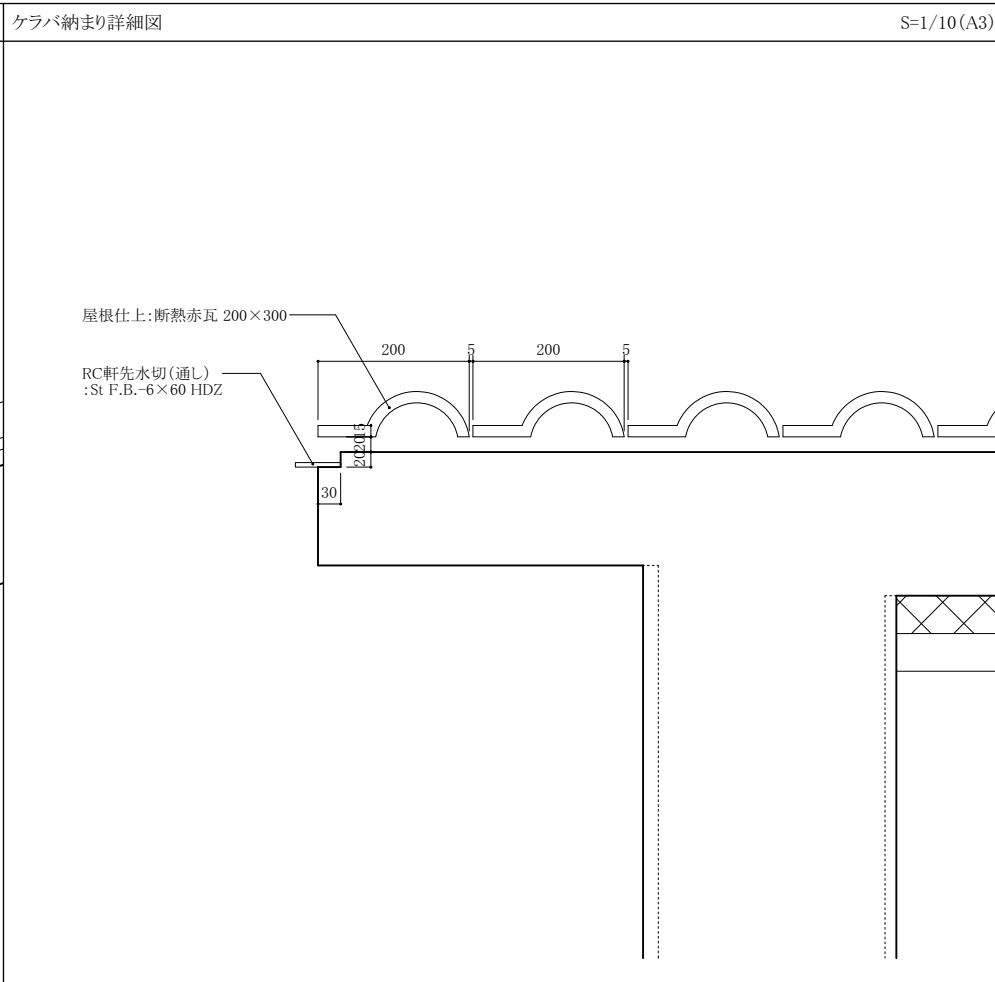
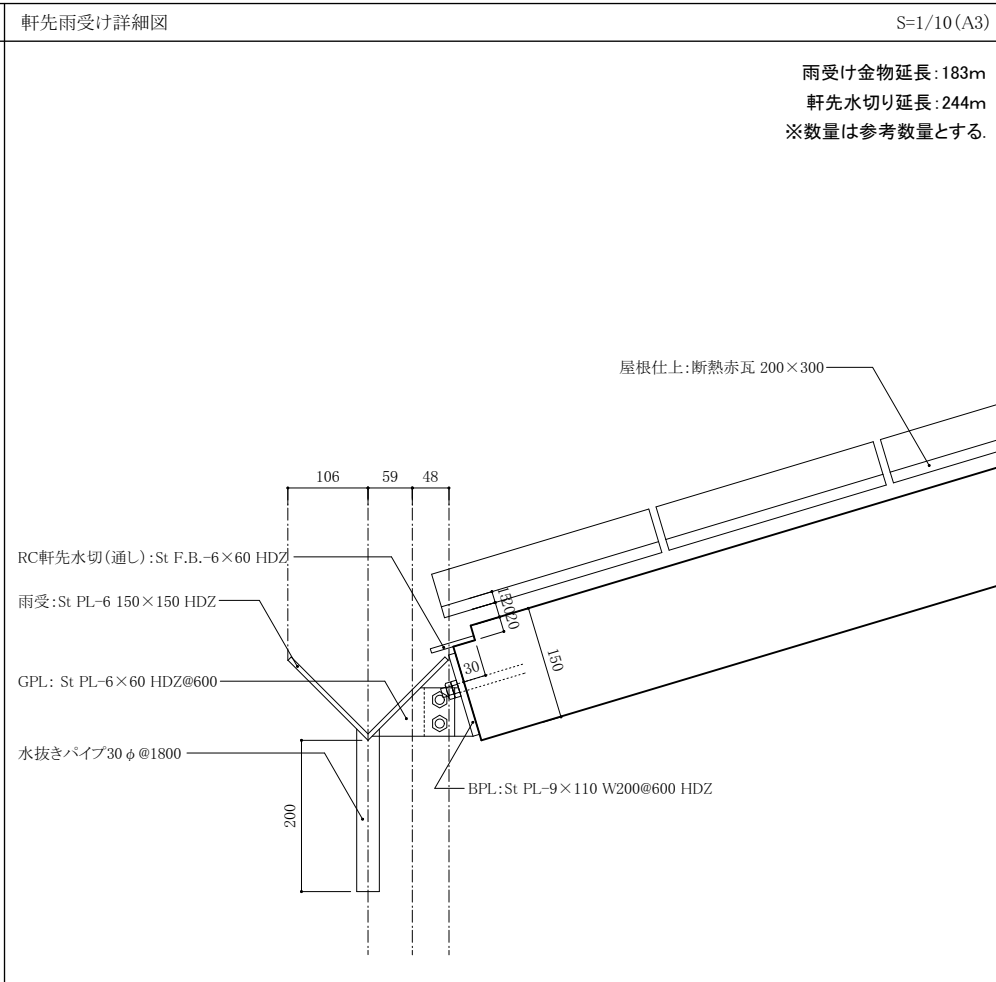
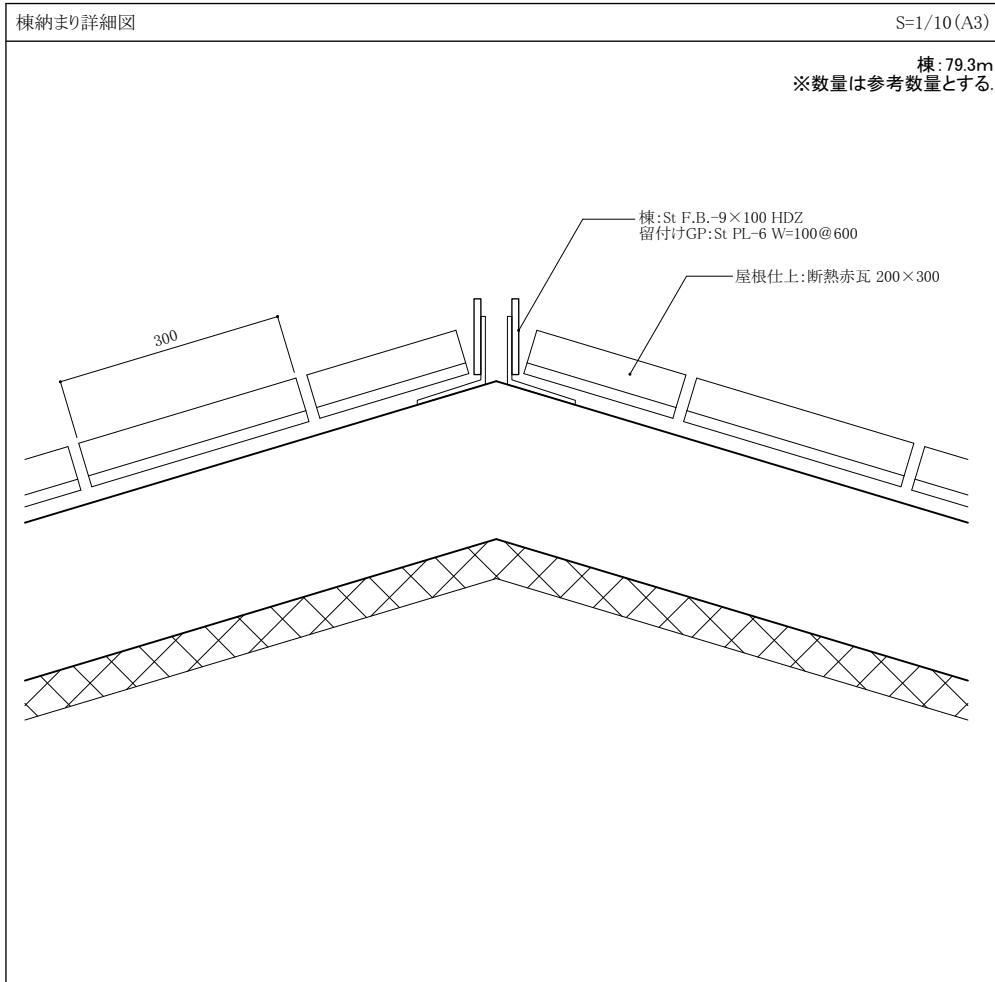
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|----------------------------------|------|---|---|------|---|---|------|---|----------------------------------|------|---|----------------------------------|------|---|---|----|---|----------------------------------|--|--|---|--|--|----------------------------------|--|--|---|--|--|----------------------------------|--|--|
| 建具番号 | AW-1 | 展示室1 | 1 | AW-2 | 展示室1 | 1 | AW-3 | 展示室1 | 1 | AW-4 | 展示室2 | 3 | AW-5 | 展示室2 | 1 | AW-6 | 中庭 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 姿図(外観図) | <p>※採光有効面積:4.06×2.285=9.27㎡</p> | | | <p>※採光有効面積:4.06×2.285=9.27㎡</p> | | | <p>※採光有効面積:5.935×2.015=11.95㎡</p> <p>※取付高さは展開図参照のこと</p> | | | <p>※採光有効面積:6.5×2.25=14.62㎡</p> | | | <p>※採光有効面積:5.47×2.235=12.22㎡</p> | | | <p>※採光有効面積:1.1×1.1=1.21㎡</p> <p>排煙窓</p> <p>※排煙有効面積:0.55×(1.1/2-0.0485)=0.275㎡</p> | | | <p>※採光有効面積:1.995×2.235=4.46㎡</p> | | | <p>※採光有効面積:5.935×2.015=11.95㎡</p> <p>※取付高さは展開図参照のこと</p> | | | <p>※採光有効面積:1.995×2.235=4.46㎡</p> | | | <p>※採光有効面積:1.1×1.1=1.21㎡</p> <p>排煙窓</p> <p>※排煙有効面積:0.55×(1.1/2-0.0485)=0.275㎡</p> | | | <p>※採光有効面積:5.47×2.235=12.22㎡</p> | | |
| 形式 | アルミ製FIX連窓 | | | アルミ製FIX連窓 | | | アルミ製片引き戸(内動タイプ・フラット下枠)+FIX連窓・段窓 | | | アルミ製FIX窓 | | | アルミ製FIX窓 | | | アルミ製FIX連窓 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 建具 | 仕上 見込 | | | 仕上 見込 | | | 仕上 見込 | | | 仕上 見込 | | | 仕上 見込 | | | 仕上 見込 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 仕上 | マット二次電解着色 | | | マット二次電解着色 | | | マット二次電解着色 | | | マット二次電解着色 | | | マット二次電解着色 | | | マット二次電解着色 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 見込 | 42 | | | 42 | | | 障子部:35 FIX部:42 | | | 35 | | | 35 | | | 48 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 枠/額縁 | 仕上 見込・見付 | | | 仕上 見込・見付 | | | 仕上 見込・見付 | | | 仕上 見込・見付 | | | 仕上 見込・見付 | | | 仕上 見込・見付 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 仕上 | マット二次電解着色/StPL t=1.6 アクリル樹脂焼付塗装 | | | マット二次電解着色/StPL t=1.6 アクリル樹脂焼付塗装 | | | マット二次電解着色/StPL t=1.6 アクリル樹脂焼付塗装 | | | マット二次電解着色/木 SOP塗装 | | | マット二次電解着色/木 SOP塗装 | | | マット二次電解着色/StPL t=1.6 アクリル樹脂焼付塗装 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 見込・見付 | 70・25/100・20 | | | 70・25/100・20 | | | 70・25/100・20 | | | 70・25/100・20 | | | 70・25/100・20 | | | 100・45/160・20 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ガラス | Low-E10+A6+FL10 | | | Low-E10+A6+FL10 | | | 片引き部:Low-E強化6+A6+強化6 FIX部:Low-E10+A6+FL10 | | | Low-E5+A6+FL5 | | | Low-E5+A6+FL5 | | | Low-E10+A12+FL10 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 金物 | 標準金物一式 | | | 標準金物一式 | | | 標準金物一式、戸先錠(法令第125条の2適合要) | | | 標準金物一式、アルミ水切り、額縁 | | | 標準金物一式、アルミ水切り、額縁 | | | 標準金物一式、たて骨、アルミ水切り、額縁 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 備考 | 衝突防止シール、飛散防止フィルム | | | 衝突防止シール、飛散防止フィルム | | | 衝突防止シール、飛散防止フィルム | | | 飛散防止フィルム | | | 飛散防止フィルム | | | 衝突防止シール、飛散防止フィルム | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 耐風圧性能 | 3220Pa、水密性能 1000Pa×3H、気密性能 A-4 | | | 3220Pa、水密性能 1000Pa×3H、気密性能 A-4 | | | 3220Pa、水密性能 W-5、気密性能 A-4 | | | 3220Pa、水密性能 1000Pa×3H、気密性能 A-4 | | | 3220Pa、水密性能 1000Pa×3H、気密性能 A-4 | | | 3220Pa、水密性能 1000Pa、気密性能 A-4 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 建具番号 | AW-7 眺望スペース | | | AW-8 事務室 | | | AW-9 多目的スペース | | | AW-10 多目的スペース | | | AW-11 カフェ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 姿図(外観図) | <p>※採光有効面積:5.47×2.235=12.22㎡</p> | | | <p>※採光有効面積:5.935×2.015=11.95㎡</p> <p>※取付高さは展開図参照のこと</p> | | | <p>※採光有効面積:6.5×2.25=14.62㎡</p> | | | <p>※採光有効面積:5.47×2.235=12.22㎡</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 形式 | アルミ製FIX連窓 | | | アルミ製FIX連窓 | | | アルミ製FIX連窓 | | | アルミ製FIX連窓 | | | アルミ製FIX | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 建具 | 仕上 見込 | | | 仕上 見込 | | | 仕上 見込 | | | 仕上 見込 | | | 仕上 見込 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 仕上 | マット二次電解着色 | | | マット二次電解着色 | | | マット二次電解着色 | | | マット二次電解着色 | | | マット二次電解着色 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 見込 | 48 | | | 36 | | | 34 | | | 48 | | | 35 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 枠/額縁 | 仕上 見込・見付 | | | 仕上 見込・見付 | | | 仕上 見込・見付 | | | 仕上 見込・見付 | | | 仕上 見込・見付 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 仕上 | マット二次電解着色/StPL t=1.6 アクリル樹脂焼付塗装 | | | マット二次電解着色/木 SOP塗装 | | | マット二次電解着色/StPL t=1.6 アクリル樹脂焼付塗装 | | | マット二次電解着色/StPL t=1.6 アクリル樹脂焼付塗装 | | | マット二次電解着色 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 見込・見付 | 100・45/100・20 | | | 70・25/85・20 | | | 100・30/210・20 | | | 100・45/100・20 | | | 70・25/- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ガラス | Low-E10+A12+FL10 | | | Low-E5+A6+FL5 | | | Low-強化ガラス8+A8+強化ガラス8 | | | Low-E8+A12+FL8 | | | Low-E5+A6+FL5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 金物 | 標準金物一式、方立、アルミ水切り、額縁 | | | 標準金物一式、アルミ水切り、クレセント | | | 標準金物一式、大型ハンドル、クレセント(法令第125条の2適合要) | | | 標準金物一式、方立、アルミ水切り、額縁 | | | 標準金物一式、アルミ水切り | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 備考 | 飛散防止フィルム | | | ブラインド、ブラインドボックス、飛散防止フィルム | | | ロールスクリーン(遮光タイプ)、ブラインドボックス | | | 衝突防止シール、飛散防止フィルム | | | ※1 UNION UL821-002 エコニエール ダーク同等 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 耐風圧性能 | 3220Pa、水密性能 1000Pa、気密性能 A-4 | | | 3220Pa、水密性能 1000Pa×3時間、気密性能 A-4 | | | 衝突防止シール、飛散防止フィルム | | | 3220Pa、水密性能 1000Pa、気密性能 A-4 | | | 3220Pa、水密性能 1000Pa×3時間、気密性能 A-4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 建具番号 | AW-12 カフェ | | | AW-13 カフェ | | | AW-14 カフェ | | | AW-15 カフェ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 姿図(外観図) | <p>※採光有効面積:1.995×2.235=4.46㎡</p> | | | <p>※採光有効面積:1.995×2.235=4.46㎡</p> | | | <p>※採光有効面積:6.5×2.25=14.62㎡</p> | | | <p>※採光有効面積:1.995×2.235=4.46㎡</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 形式 | アルミ製FIX連窓 | | | アルミ製FIX連窓 | | | アルミ製FIX連窓 | | | アルミ製FIX | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 建具 | 仕上 見込 | | | 仕上 見込 | | | 仕上 見込 | | | 仕上 見込 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 仕上 | マット二次電解着色 | | | マット二次電解着色 | | | マット二次電解着色 | | | マット二次電解着色 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 見込 | 42 | | | 42 | | | 42 | | | 42 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 枠/額縁 | 仕上 見込・見付 | | | 仕上 見込・見付 | | | 仕上 見込・見付 | | | 仕上 見込・見付 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 仕上 | マット二次電解着色 | | | マット二次電解着色 | | | マット二次電解着色 | | | マット二次電解着色 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 見込・見付 | 70・25/- | | | 70・25/- | | | 70・25/- | | | 70・25/- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ガラス | Low-E10+A6+FL10 | | | Low-E10+A6+FL10 | | | Low-E10+A6+FL10 | | | Low-E10+A6+FL10 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 金物 | 標準金物一式、連窓方立、アルミ水切り | | | 標準金物一式、連窓方立、アルミ水切り | | | 標準金物一式、連窓方立、アルミ水切り | | | 標準金物一式、連窓方立、アルミ水切り | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 備考 | 衝突防止シール、飛散防止フィルム | | | 衝突防止シール、飛散防止フィルム | | | 衝突防止シール、飛散防止フィルム | | | 衝突防止シール、飛散防止フィルム | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 耐風圧性能 | 3220Pa、水密性能 1000Pa×3時間、気密性能 A-4 | | | 3220Pa、水密性能 1000Pa×3時間、気密性能 A-4 | | | 3220Pa、水密性能 1000Pa×3時間、気密性能 A-4 | | | 3220Pa、水密性能 1000Pa×3時間、気密性能 A-4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|---|-----|---|-----------------------------------|----|---|-----------------------------------|--------------|---|-----------------------------------|------|---|-----------------------------------|---------|---|-----------------------------------|------|---|
| 建具番号 | AW-16 | カフェ | 1 | AW-17 | 廊下 | 1 | AW-18 | 展示室2・展示室4(東) | 3 | AW-19 | 展示室1 | 2 | AW-20 | 多目的スペース | 4 | AW-21 | 展示室3 | 1 |
| 姿図(外観図) | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 形式 | アルミ製FIX | | | アルミ製FIX | | | アルミ製突き出し窓(排煙窓・露出オペレーター仕様) | | | アルミ製FIX連窓 | | | アルミ製突き出し窓(排煙窓・隠蔽オペレーター仕様) | | | アルミ製突き出し連窓(排煙窓・隠蔽オペレーター仕様) | | |
| 建具 | 仕上 マット二次電解着色 | | | 仕上 マット二次電解着色 | | | 仕上 マット二次電解着色 | | | 仕上 マット二次電解着色 | | | 仕上 マット二次電解着色 | | | 仕上 マット二次電解着色 | | |
| 見込 | 42 | | | 38 | | | 18 | | | 35 | | | 18 | | | 18 | | |
| 枠/額縁 | 仕上 マット二次電解着色 | | | 仕上 マット二次電解着色 | | | 仕上 マット二次電解着色 | | | 仕上 マット二次電解着色 | | | 仕上 マット二次電解着色 | | | 仕上 マット二次電解着色 | | |
| 見込・見付 | 70・25/- | | | 70・25/- | | | 70・25/- | | | 70・25/- | | | 70・25/- | | | 70・25/- | | |
| ガラス | Low-E10+A6+FL10 | | | Low-E6+A12+FL6 | | | フラッシュパネル | | | Low-E5+A12+FL5 | | | Low-E5+A12+FL5 | | | フラッシュパネル | | |
| 金物 | 標準金物一式、連窓方立、アルミ水切り | | | 標準金物一式、アルミ水切り、額縁 | | | 標準金物一式、たて骨、アルミ水切り、額縁 | | | 標準金物一式、たて骨、アルミ水切り、額縁 | | | 標準金物一式、たて骨、水切り | | | 標準金物一式、たて骨、アルミ水切り | | |
| 備考 | 衝突防止シール、飛散防止フィルム | | | 衝突防止シール、飛散防止フィルム | | | ※パネル部は建築工事にて硬質塩ビタックシート貼り(室内側)とする。 | | | 飛散防止フィルム | | | 飛散防止フィルム | | | ※パネル部は建築工事にて硬質塩ビタックシート貼り(室内側)とする。 | | |
| 耐風圧性能 | 3220Pa、水密性能 1000Pa×3時間、気密性能 A-4 | | | 耐風圧性能 3220Pa、水密性能 1000Pa、気密性能 A-4 | | | 耐風圧性能 3220Pa、水密性能 1000Pa、気密性能 A-4 | | | 耐風圧性能 3220Pa、水密性能 1000Pa、気密性能 A-4 | | | 耐風圧性能 3220Pa、水密性能 1000Pa、気密性能 A-4 | | | 耐風圧性能 3220Pa、水密性能 1000Pa、気密性能 A-4 | | |
| 建具番号 | AW-22 展示室4(西) | | | AW-23 風除室 | | | AW-24 物販スペース | | | AD-1 風除室⇔展示室1 | | | TL-1 カフェ | | | TL-2 廊下 | | |
| 姿図(外観図) | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 形式 | アルミ製突き出し窓(排煙窓・露出オペレーター仕様) | | | アルミ製FIX連窓 | | | アルミ製FIX連窓 | | | アルミ製片引き自動扉ドア | | | アルミ製トップライト(排煙窓・露出オペレーター仕様) | | | アルミ製トップライトFIX | | |
| 建具 | 仕上 マット二次電解着色 | | | 仕上 マット二次電解着色 | | | 仕上 マット二次電解着色 | | | 仕上 マット二次電解着色 | | | 仕上 マット二次電解着色 | | | 仕上 マット二次電解着色 | | |
| 見込 | 18 | | | 48 | | | 48 | | | 48 | | | 18 | | | 18 | | |
| 枠/額縁 | 仕上 マット二次電解着色 | | | 仕上 マット二次電解着色 | | | 仕上 マット二次電解着色 | | | 仕上 マット二次電解着色 | | | 仕上 マット二次電解着色 | | | 仕上 マット二次電解着色 | | |
| 見込・見付 | 70・25/- | | | 70・45 | | | 100・45/160・20 | | | 100・45 | | | - | | | - | | |
| ガラス | フラッシュパネル | | | LOW-E強化8+A8+強化8 | | | LOW-E強化8+A8+強化8 | | | 強化ガラスt=12 FIX部:LOW-E強化8+A8+強化8 | | | ガラストウメイ合わせ FL5+FL5 | | | ガラストウメイ合わせ FL5+FL5 | | |
| 金物 | 標準金物一式、連窓方立、アルミ水切り | | | 標準金物一式、方立 | | | 標準金物一式、方立、アルミ水切り、額縁 | | | センサー、自動ドア用錠 | | | 標準金物一式、水切り | | | 標準金物一式、水切り | | |
| 備考 | ※パネル部は建築工事にて硬質塩ビタックシート貼り(室内側)とする。 | | | 衝突防止シール、飛散防止フィルム | | | 衝突防止シール、飛散防止フィルム | | | | | | 耐風圧性能 3220Pa、水密性能 W-5、気密性能 A-4 | | | 耐風圧性能 3220Pa、水密性能 W-5、気密性能 A-4 | | |
| 耐風圧性能 | 3220Pa、水密性能 1000Pa、気密性能 A-4 | | | 耐風圧性能 3220Pa、水密性能 1000Pa、気密性能 A-4 | | | 耐風圧性能 3220Pa、水密性能 1000Pa、気密性能 A-4 | | | 飛散防止フィルム、アルミ連窓コーナーカバー | | | 飛散防止フィルム | | | 飛散防止フィルム | | |
| 建具番号 | SSW-1 外部⇔風除室 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 姿図(外観図) | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 形式 | ステンレス片引き自動扉ドア(内部補強材までオールステン) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 建具 | 仕上 SUS:304 アクリル焼付塗装仕上げ 普通曲げ 面落ち納め | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 見込 | 75 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 枠/額縁 | 仕上 建具同材 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 見込・見付 | 枠見込み:210 枠見付け:25 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ガラス | 強化ガラスt=12 FIX部:LOW-E強化8+A8+強化8、飛散防止フィルム | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 金物 | NS-A01無目センサー、エンジン錠、V-150SL-Fエンジン装置 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 備考 | NP-01補助光線、サムターン錠(法令第125条の2適合要) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 備考 | 風止対策として:上框・縦框に相しゃくり 下框にアングル取付 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 備考 | 連窓方立、飛散防止フィルム | | | | | | | | | | | | | | | | | |

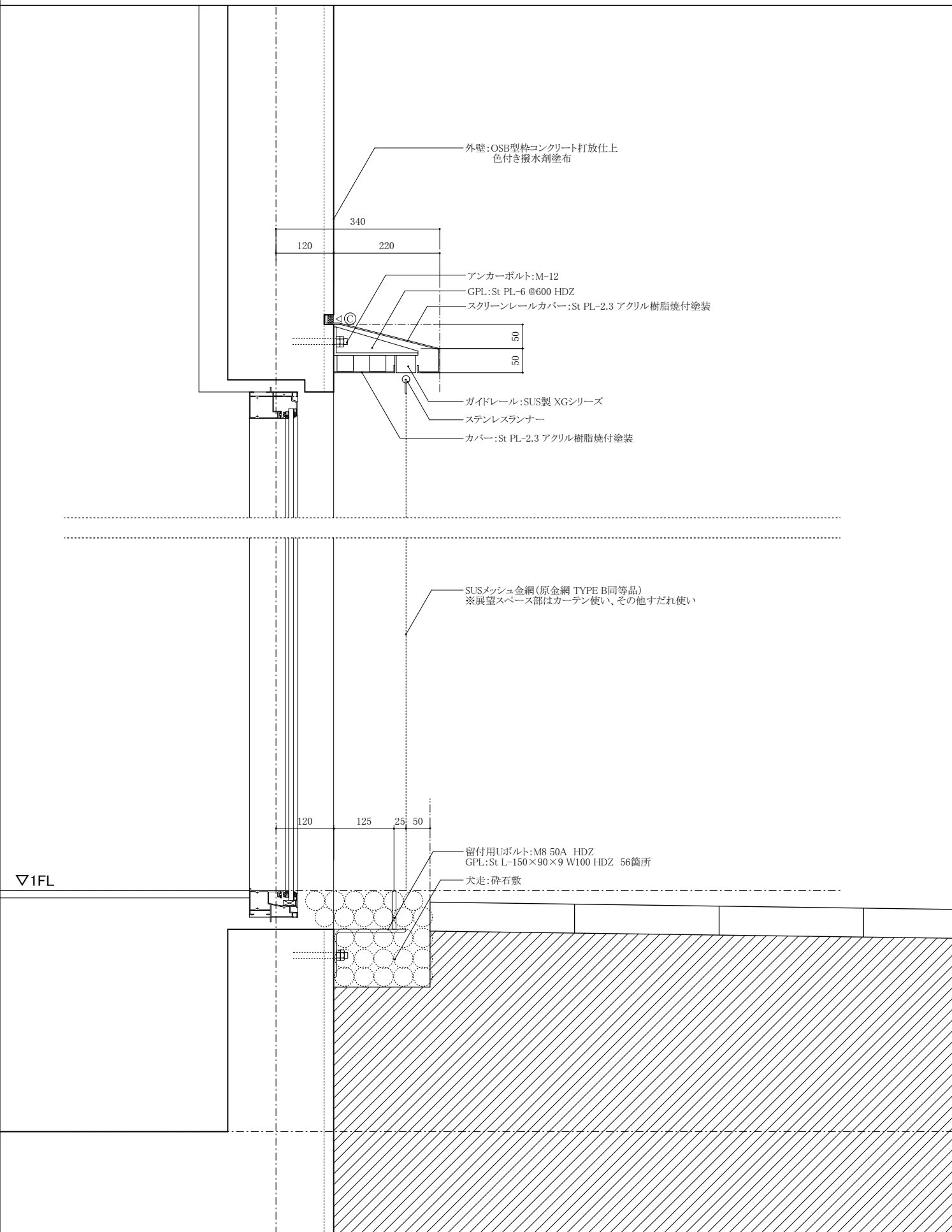
| | | | | | | | |
|--|---|---|------------|------|----------|----|------|
| TITLE | 建具表2 (AW・TL・SSW) | SCALE | 1/200 (A3) | DATE | 24.10.31 | NO | A-42 |
| PROJECT | 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | 福原 | | | | |
| 株式会社 ブレック研究所 | 福原信一 一級建築士事務所 | 株式会社 丹青社 | | | | | |
| 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福原 薫 | 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|------------------------------------|-------------|---|--|-------------------|-------------|-------------------------------------|---|-------|------------------------------------|---------|---|-------------------------------------|-----------------|---|-------------------------------------|------------|-----------------|-------------------------------------|------------|----------|------|
| 建具番号 | SD-1 | 倉庫1-展示室1 | 1 | SD-2 | 展示室4-外部 | 1 | SD-3 | 展示室5-外部 | 1 | SD-4 | 展示室5-中庭 | 1 | SD-5 | 展示室5-機械室 | 1 | SD-6 | 機械室-外部 | 1 | | | | |
| 姿図(外観図) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 形式 | スチールフラッシュ 親子扉 | | | スチールフラッシュ 片開戸 | | | スチールフラッシュ 親子扉 | | | スチールフラッシュ 片開戸 | | | スチールフラッシュ 片開戸 | | | スチールフラッシュ 両開き扉 | | | | | | |
| 建具 | 仕上 | St t=1.6 DP | | | 仕上 | St t=1.6 DP | | | 仕上 | St t=1.6 DP | | | 仕上 | St t=1.6 DP | | | 仕上 | St t=1.6 DP | | | | |
| | 見込 | 40 | | | 見込 | 40 | | | 見込 | 40 | | | 見込 | 40 | | | 見込 | 40 | | | | |
| 枠/額縁 | 仕上 | St t=1.6 DP | | | 仕上 | St t=1.6 DP | | | 仕上 | St t=1.6 DP | | | 仕上 | St t=1.6 DP | | | 仕上 | St t=1.6 DP | | | | |
| | 見込・見付 | 120・25 | | | 見込・見付 | 120・25 | | | 見込・見付 | 170・25 | | | 見込・見付 | 120・25 | | | 見込・見付 | 130・25 | | | | |
| ガラス | - | | | - | | | - | | | - | | | - | | | - | | | - | | | |
| 金物 | レバーハンドル※1、サムターン、シリンダー、SUS旗丁番、クローザー | | | レバーハンドル※1、サムターン、シリンダー、SUS旗丁番、クローザー | | | レバーハンドル※1、サムターン、シリンダー、SUS旗丁番、クローザー | | | レバーハンドル※1、サムターン、シリンダー、SUS旗丁番、クローザー | | | レバーハンドル※1、サムターン、シリンダー、SUS旗丁番、クローザー | | | レバーハンドル※1、サムターン、シリンダー、SUS旗丁番、クローザー | | | レバーハンドル※1、サムターン、シリンダー、SUS旗丁番、クローザー | | | |
| | 戸当り、靴摺りSUS t=1.5、その他一般金物一式 | | | 戸当り、靴摺りSUS t=1.5、その他一般金物一式 | | | 戸当り、靴摺りSUS t=1.5、その他一般金物一式 | | | 戸当り、靴摺りSUS t=1.5、その他一般金物一式 | | | 戸当り、靴摺りSUS t=1.5、その他一般金物一式 | | | 戸当り、靴摺りSUS t=1.5、その他一般金物一式 | | | 戸当り、靴摺りSUS t=1.5、その他一般金物一式 | | | |
| 備考 | 吊元手挟み防止措置 | | | 吊元手挟み防止措置、破壊錠(サムターン側)、SAT | | | 吊元手挟み防止措置、破壊錠(サムターン側)、SAT | | | 吊元手挟み防止措置 | | | 吊元手挟み防止措置 | | | 吊元手挟み防止措置 | | | 吊元手挟み防止措置、SAT | | | |
| | ※1 UNION UL821-002 ユニウェル ダーク同等 | | | ※1 UNION UL821-002 ユニウェル ダーク同等 | | | ※1 UNION UL821-002 ユニウェル ダーク同等 | | | ※1 UNION UL821-002 ユニウェル ダーク同等 | | | ※1 UNION UL821-002 ユニウェル ダーク同等 | | | ※1 UNION UL821-002 ユニウェル ダーク同等 | | | ※1 UNION UL821-002 ユニウェル ダーク同等 | | | |
| 建具番号 | SD-7 | 外部倉庫-外部 | 1 | SD-8 | 倉庫1-外部倉庫 | 1 | SD-9 | 事務室-倉庫1 | 1 | SD-10 | 事務室-外部 | 1 | SD-11 | 多目的スペース(北) | 1 | SD-12 | 多目的スペース(東) | 1 | | | | |
| 姿図(外観図) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 形式 | スチールフラッシュ 親子扉 | | | スチールフラッシュ 片開戸 | | | スチールフラッシュ 片開戸 | | | スチールフラッシュ 親子扉 | | | スチールフラッシュ 両開戸 | | | スチールフラッシュ 片開戸 | | | | | | |
| 建具 | 仕上 | St t=1.6 DP | | | 仕上 | St t=1.6 DP | | | 仕上 | St t=1.6 DP | | | 仕上 | St t=1.6 DP | | | 仕上 | St t=1.6 DP | | | | |
| | 見込 | 40 | | | 見込 | 40 | | | 見込 | 40 | | | 見込 | 40 | | | 見込 | 40 | | | | |
| 枠/額縁 | 仕上 | St t=1.6 DP | | | 仕上 | St t=1.6 DP | | | 仕上 | St t=1.6 DP | | | 仕上 | St t=1.6 DP | | | 仕上 | St t=1.6 DP | | | | |
| | 見込・見付 | 120・25 | | | 見込・見付 | 120・25 | | | 見込・見付 | 120・25 | | | 見込・見付 | 120・25 | | | 見込・見付 | 120・25 | | | | |
| ガラス | - | | | - | | | - | | | - | | | - | | | - | | | - | | | |
| 金物 | レバーハンドル※1、サムターン、シリンダー、SUS旗丁番、クローザー | | | レバーハンドル※1、サムターン、シリンダー、ピボットヒンジ、クローザー | | | レバーハンドル※1、サムターン、シリンダー、ピボットヒンジ、クローザー | | | レバーハンドル※1、サムターン、シリンダー、SUS旗丁番、クローザー | | | レバーハンドル※1、サムターン、シリンダー、ピボットヒンジ、クローザー | | | レバーハンドル※1、サムターン、シリンダー、ピボットヒンジ、クローザー | | | レバーハンドル※1、サムターン、シリンダー、ピボットヒンジ、クローザー | | | |
| | 戸当り、靴摺りSUS t=1.5、その他一般金物一式 | | | 戸当り、靴摺りSUS t=1.5、その他一般金物一式 | | | 戸当り、靴摺りSUS t=1.5、その他一般金物一式 | | | 戸当り、靴摺りSUS t=1.5、その他一般金物一式 | | | 戸当り、靴摺りSUS t=1.5、その他一般金物一式 | | | 戸当り、靴摺りSUS t=1.5、その他一般金物一式 | | | 戸当り、靴摺りSUS t=1.5、その他一般金物一式 | | | |
| 備考 | 吊元手挟み防止措置、SAT | | | 吊元手挟み防止措置 | | | 吊元手挟み防止措置 | | | 吊元手挟み防止措置、SAT | | | 吊元手挟み防止措置 | | | 吊元手挟み防止措置 | | | 吊元手挟み防止措置 | | | |
| | ※1 UNION UL821-002 ユニウェル ダーク同等 | | | ※1 UNION UL821-002 ユニウェル ダーク同等 | | | ※1 UNION UL821-002 ユニウェル ダーク同等 | | | ※1 UNION UL821-002 ユニウェル ダーク同等 | | | ※1 UNION G2750 ユニウェル ダーク同等 | | | ※1 UNION UL821-002 ユニウェル ダーク同等 | | | ※1 UNION UL821-002 ユニウェル ダーク同等 | | | |
| 建具番号 | SD-13 | カフェ-廊下 | 1 | SD-14 | カフェ⇄外部・カフェ⇄カフェテラス | 2 | SD-15 | 厨房⇄外部 | 1 | PCD-1 | 室外機置場 | 2 | PCD-2 | ガスボンベ庫 | 1 | | | | | | | |
| 姿図(外観図) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 形式 | スチールフラッシュ | | | スチールフラッシュ 片開戸 | | | スチールフラッシュ 片開戸 | | | PCフェンス 親子扉 | | | PCフェンス 親子扉 | | | | | | | | | |
| 建具 | 仕上 | St t=1.6 DP | | | 仕上 | St t=1.6 DP | | | 仕上 | St t=1.6 DP | | | 仕上 | 金網φ3.2×56mmめっき線 | | | 仕上 | 金網φ3.2×56mmめっき線 | | | | |
| | 見込 | 40 | | | 見込 | 40 | | | 見込 | 40 | | | 見込 | 40 | | | 見込 | 40 | | | | |
| 枠/額縁 | 仕上 | St t=1.6 DP | | | 仕上 | St t=1.6 DP | | | 仕上 | St t=1.6 DP | | | 仕上 | 枠無し(躯体付) | | | 仕上 | 枠無し(躯体付) | | | | |
| | 見込・見付 | 100・25 | | | 見込・見付 | 100・25 | | | 見込・見付 | 120・25 | | | 見込・見付 | - | | | 見込・見付 | - | | | | |
| ガラス | ファイアーライトライトネオ 5.0mm同等 | | | - | | | - | | | - | | | - | | | - | | | - | | | |
| 金物 | ピボットヒンジ | | | レバーハンドル※1、サムターン、シリンダー、SUS旗丁番、クローザー | | | レバーハンドル※1、サムターン、シリンダー、SUS旗丁番、クローザー | | | 南京錠、アンカー打ち丁番 | | | 南京錠、アンカー打ち丁番 | | | その他一般金物一式 | | | その他一般金物一式 | | | |
| | 戸当り、靴摺りSUS t=1.6、その他一般金物一式 | | | 戸当り、靴摺りSUS t=1.5、その他一般金物一式 | | | 戸当り、靴摺りSUS t=1.5、その他一般金物一式 | | | 戸当り、靴摺りSUS t=1.5、その他一般金物一式 | | | その他一般金物一式 | | | その他一般金物一式 | | | その他一般金物一式 | | | |
| 備考 | 飛散防止フィルム、SAT | | | 吊元手挟み防止措置、SAT | | | 吊元手挟み防止措置、SAT | | | - | | | - | | | - | | | - | | | |
| | ※1 UNION UL821-002 ユニウェル ダーク同等 | | | ※1 UNION UL821-002 ユニウェル ダーク同等 | | | ※1 UNION UL821-002 ユニウェル ダーク同等 | | | - | | | - | | | - | | | - | | | |
| | | | | 株式会社 ブレック研究所 | | | | 福原信一 一級建築士事務所 | | | | 株式会社 丹青社 | | | | TITLE | | | | SCALE | DATE | NO |
| | | | | 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | | | | 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | | | | 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | | | | 建具表3 (SD・SSD) | | | | 1/200 (A3) | 24.10.31 | A-43 |
| | | | | | | | | | | | | PROJECT | | | | 西表島世界遺産センター整備実施設計 | | | | CHECK | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | 福原 | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|--|---------------|---|---------------------------------|-------------|-------------|---|-------------|-------|----------------------------|--------------|---|-------------------------|---------------|---|-------------------------------|------------|---------------|--|--|
| 建具番号 | LSD-1 | 事務室⇄受付カウンター | 1 | LSD-2 | 事務室⇄会議室 | 1 | LSD-3 | 事務室⇄更衣室 | 1 | LSD-4 | 廊下⇄バリアフリートイレ | 1 | LSD-5 | 多目的スペース倉庫3 | 1 | LSD-6 | 多目的スペース倉庫2 | 1 | | |
| 姿図(外観図) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 形式 | スチールフラッシュ 親子扉 | | | スチールフラッシュ 片開き戸 | | | スチールフラッシュ 片開き戸 | | | スチールフラッシュ 片開き戸 | | | 収納スペース扉 EBV-110/union同等 | | | 収納スペース扉 EBV-110/union同等 | | | | |
| 建具 | 仕上 | St t=0.6 DP | | | 仕上 | St t=0.6 DP | | | 仕上 | St t=0.6 DP | | | 仕上 | St t=0.6 DP | | | 仕上 | St t=0.6 DP | | |
| | 見込 | 40 | | | 見込 | 40 | | | 見込 | 40 | | | 見込 | 40 | | | 見込 | 40 | | |
| 枠/額縁 | 仕上 | St t=0.6 DP | | | 仕上 | St t=0.6 DP | | | 仕上 | St t=0.6 DP | | | 仕上 | St t=0.6 DP | | | 仕上 | St t=0.6 DP | | |
| | 見込・見付 | 100・25 | | | 見込・見付 | 135・25 | | | 見込・見付 | 135・25 | | | 見込・見付 | 330・40/245・25 | | | 見込・見付 | 330・40/245・25 | | |
| ガラス | - | | | スリットガラス(型板強化ガラスt=4)+飛散防止フィルム | | | - | | | - | | | - | | | - | | | | |
| 金物 | レバーハンドル※1、サムターン、シリンダー、ピボットヒンジ、クローザー戸当り、その他一般金物一式 | | | レバーハンドル※1、ピボットヒンジ、戸当り、その他一般金物一式 | | | レバーハンドル※1、サムターン、シリンダー、ピボットヒンジ、戸当り、その他一般金物一式 | | | 押し棒※2、非常解錠、吊り戸金物一式 | | | - | | | - | | | | |
| 備考 | ※1 UNION UL821-002 ユニウェル ダーク同等 | | | ※1 UNION UL821-002 ユニウェル ダーク同等 | | | ※1 UNION UL821-002 ユニウェル ダーク同等 | | | ※2 UNION G2750 ユニウェル ダーク同等 | | | - | | | - | | | | |
| 建具番号 | LSD-7 | 授乳室 | 1 | WD-1 | 案内カウンター | 2 | WD-2 | 案内カウンター⇄事務室 | 1 | WD-3 | 厨房⇄カフェ | 1 | WD-4 | 倉庫3⇄展示室1 | 1 | WD-5 | 廊下⇄展示室1 | 1 | | |
| 姿図(外観図) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 形式 | スチールフラッシュ 片引き戸 | | | 木板 スイングドア | | | 木ガラス枠引き分け戸 | | | 木板 スイングドア | | | 木製フラッシュ扉縦格子・横見切付き | | | 木縦格子二連片引き戸 | | | | |
| 建具 | 仕上 | St t=0.6 DP | | | 仕上 | 木 SOP | | | 仕上 | 木 SOP | | | 仕上 | 木 SOP | | | 仕上 | 木 SOP | | |
| | 見込 | 40 | | | 見込 | 30 | | | 見込 | 30 | | | 見込 | 75 | | | 見込 | 45 | | |
| 枠/額縁 | 仕上 | St t=0.6 DP | | | 仕上 | - | | | 仕上 | - | | | 仕上 | - | | | 仕上 | - | | |
| | 見込・見付 | 330・40/245・25 | | | 見込・見付 | - | | | 見込・見付 | 90・20 | | | 見込・見付 | - | | | 見込・見付 | - | | |
| ガラス | - | | | - | | | 強化トウメイ t=5 | | | - | | | - | | | - | | | | |
| 金物 | 押し棒※2、非常解錠、吊り戸金物一式 | | | スイングドアヒンジ | | | 揺込み引手、戸先錠錠、Vレール、戸車 | | | スイングドアヒンジ | | | 隠し丁番、フランス落とし | | | 引戸用錠錠、シリンダー、サムターン、フランス落とし | | | | |
| 備考 | ※2 UNION G2750 ユニウェル ダーク同等 | | | 横手:木t=4 | | | - | | | 横手:木t=4 | | | シリンダー(展示室1側)サムターン(倉庫1側) | | | ※シリンダーは展示室側に設置 ※受座は躯体取付のこと | | | | |
| 建具番号 | SLW-1 | 多目的スペース(間仕切り) | 1 | SLW-2 | 多目的スペース(戸袋) | 1 | | | | | | | | | | | | | | |
| 姿図(外観図) | 別紙詳細図参照 | | | 別紙詳細図参照 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 形式 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 建具 | 仕上 | | | | 仕上 | | | | 仕上 | | | | 仕上 | | | | 仕上 | | | |
| | 見込 | | | | 見込 | | | | 見込 | | | | 見込 | | | | 見込 | | | |
| 枠/額縁 | 仕上 | | | | 仕上 | | | | 仕上 | | | | 仕上 | | | | 仕上 | | | |
| | 見込・見付 | | | | 見込・見付 | | | | 見込・見付 | | | | 見込・見付 | | | | 見込・見付 | | | |
| ガラス | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 金物 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

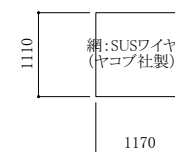


| | | | | | | | | | | |
|--|--|---|---------|-------------------|-------|----------|------|----------|----|------|
| 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | TITLE | 屋根・軒先詳細図 | SCALE | 1/10(A3) | DATE | 24.10.31 | NO | A-46 |
| | | | PROJECT | 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | 福原 | | | | |



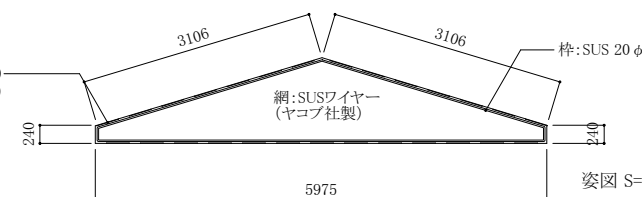
WH: 1130 × 1115: 5カ所

下記寸法: 6カ所

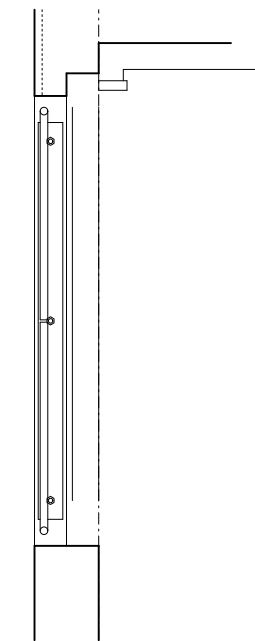
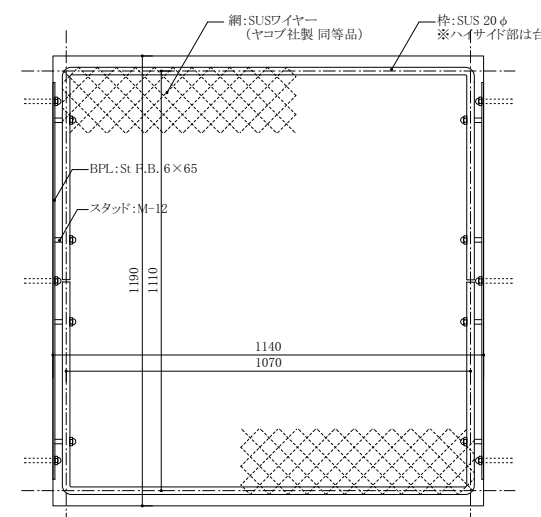


姿図 S=1/100(A3)

BPL: St F.B. 6 × 65 × 300
スタッド: M-12@300

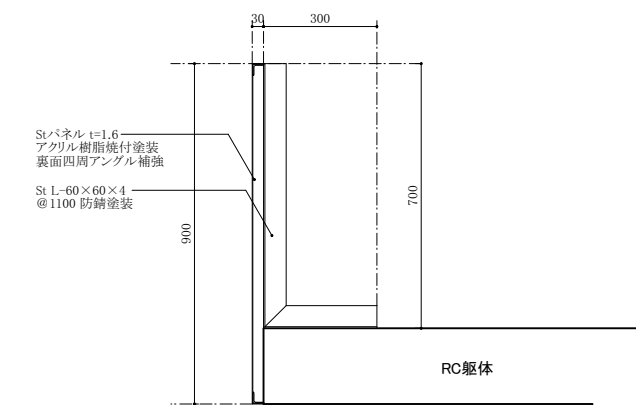
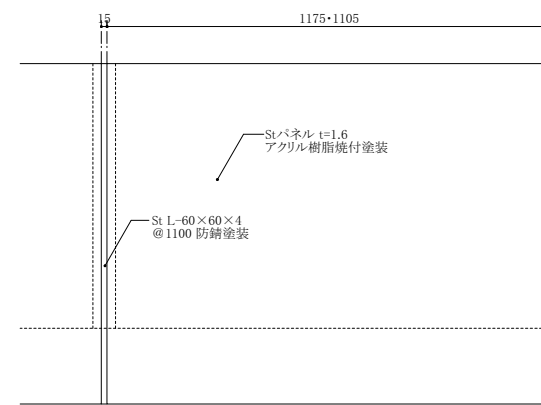


姿図 S=1/100(A3)



多目的スペース スチールパネル詳細図

寸法 W1175 × H900 : 10箇所
W1105 × H900 : 10箇所



▽1FL

| |
|--------------------------|
| 株式会社 ブレック研究所 |
| 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 |
| 一級建築士 233817号 福岡 薫 |

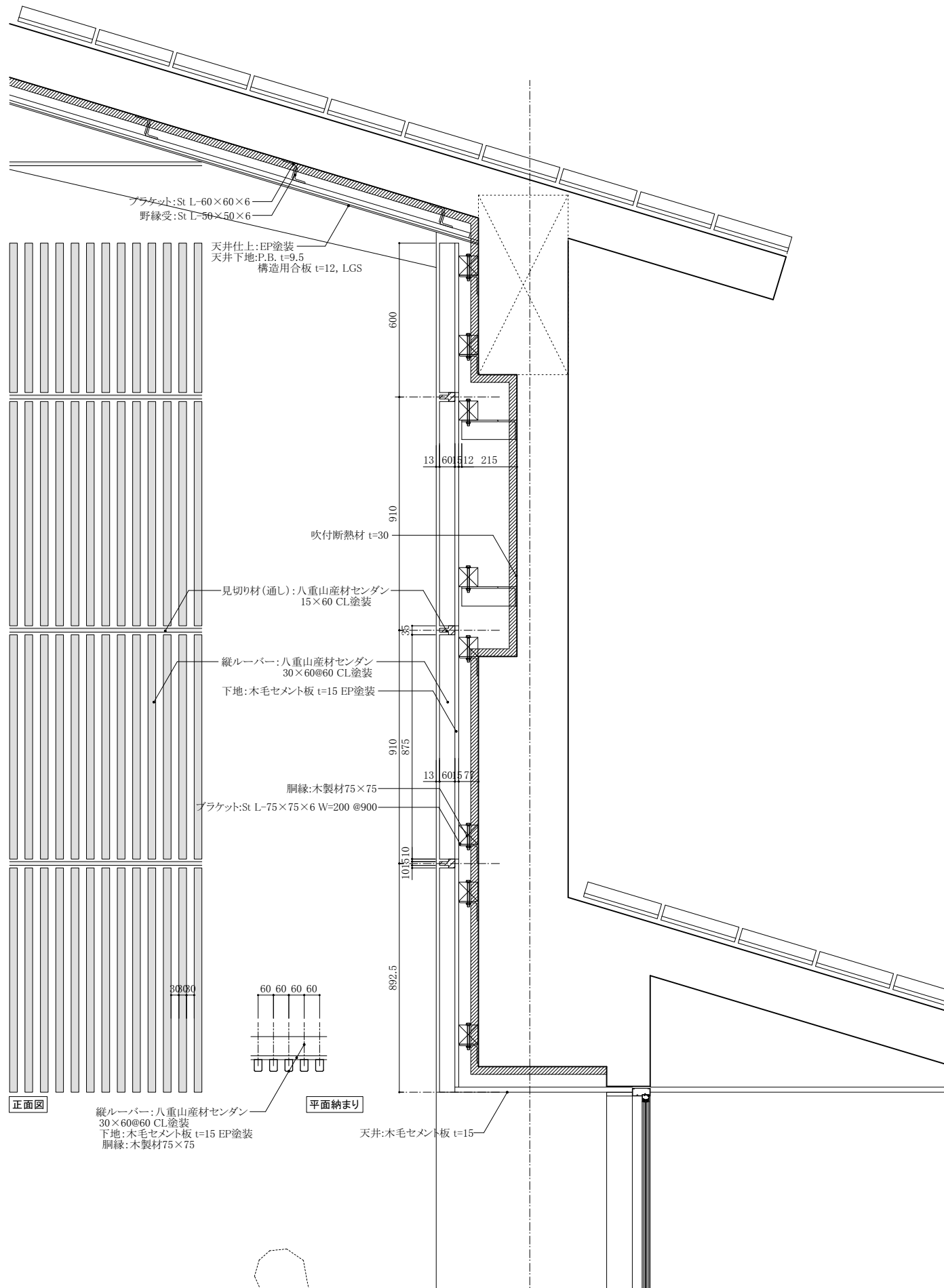
| |
|--------------------------|
| 福原信一 一級建築士事務所 |
| 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 |
| 一級建築士 364177号 福原 信一 |

| |
|--------------------------|
| 株式会社 丹青社 |
| 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 |
| 一級建築士 254337号 関根 雄二 |

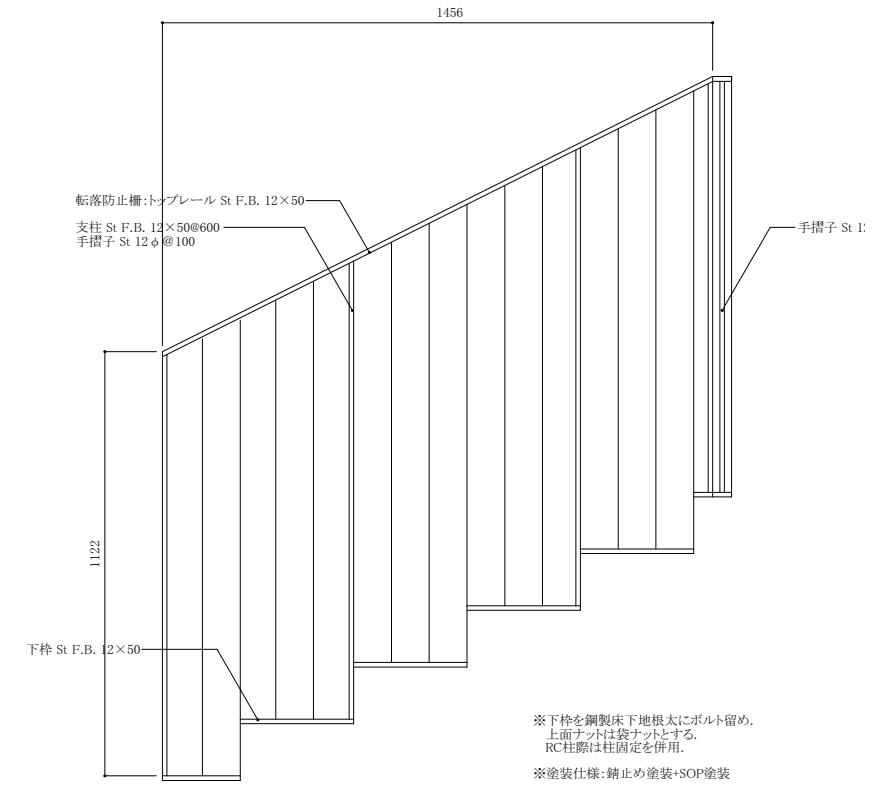
| | |
|---------|-------------------|
| TITLE | 金物詳細図 |
| PROJECT | 西表島世界遺産センター整備実施設計 |

| | |
|-------|----------------|
| SCALE | 1/10, 1/20(A3) |
| DATE | 24.10.31 |
| CHECK | 福原 |

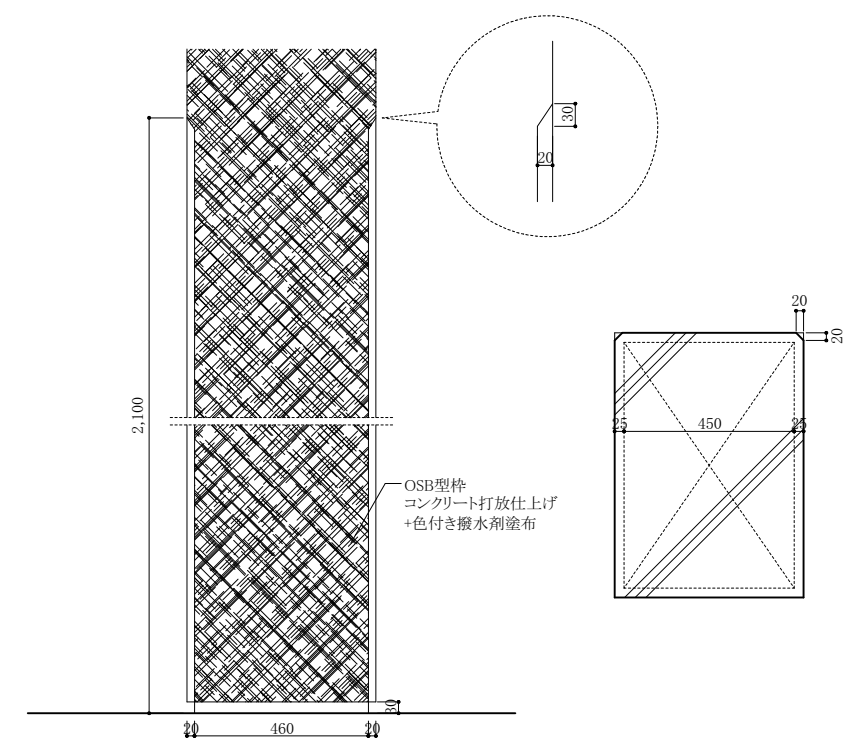
| | |
|----|------|
| NO | A-47 |
|----|------|



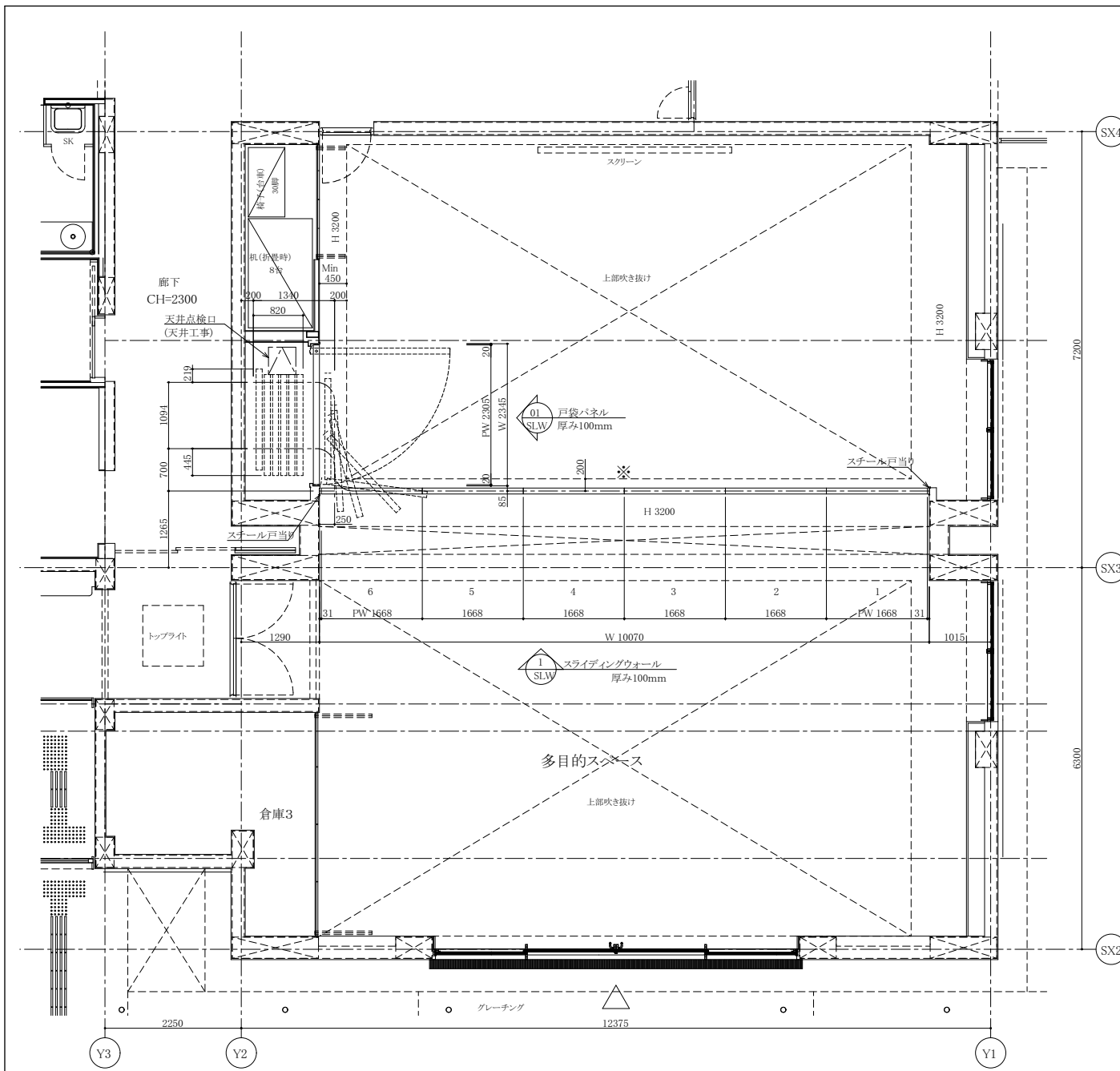
階段部手摺: H1122 x W1456
 スロープ部手摺: H1100 x W2660, W1470, W1525



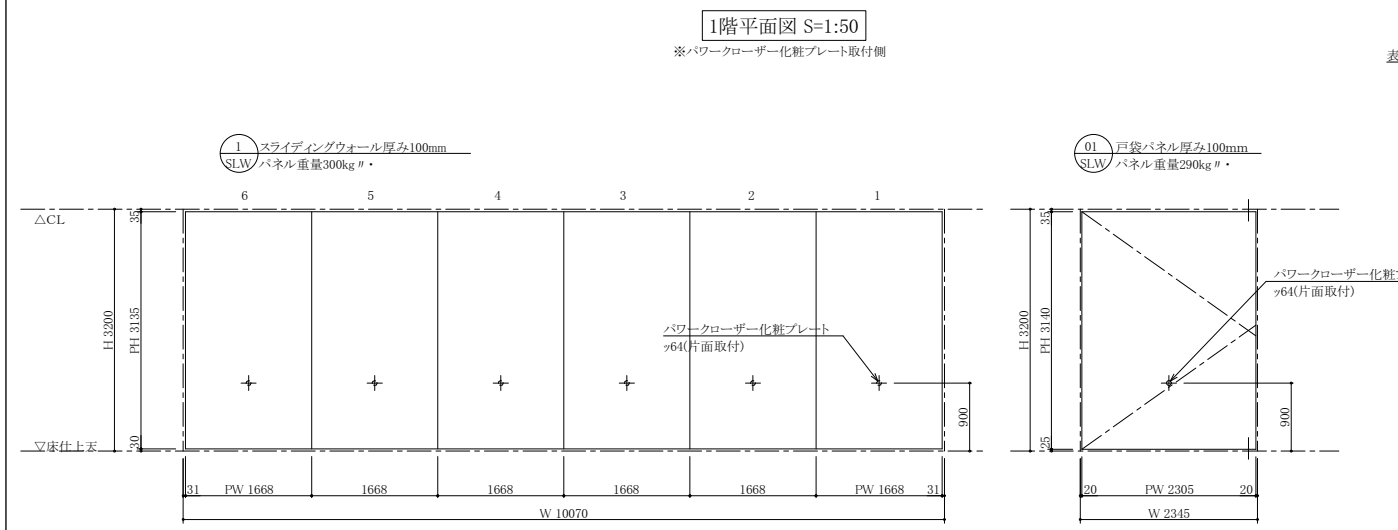
コンクリート出隅詳細図



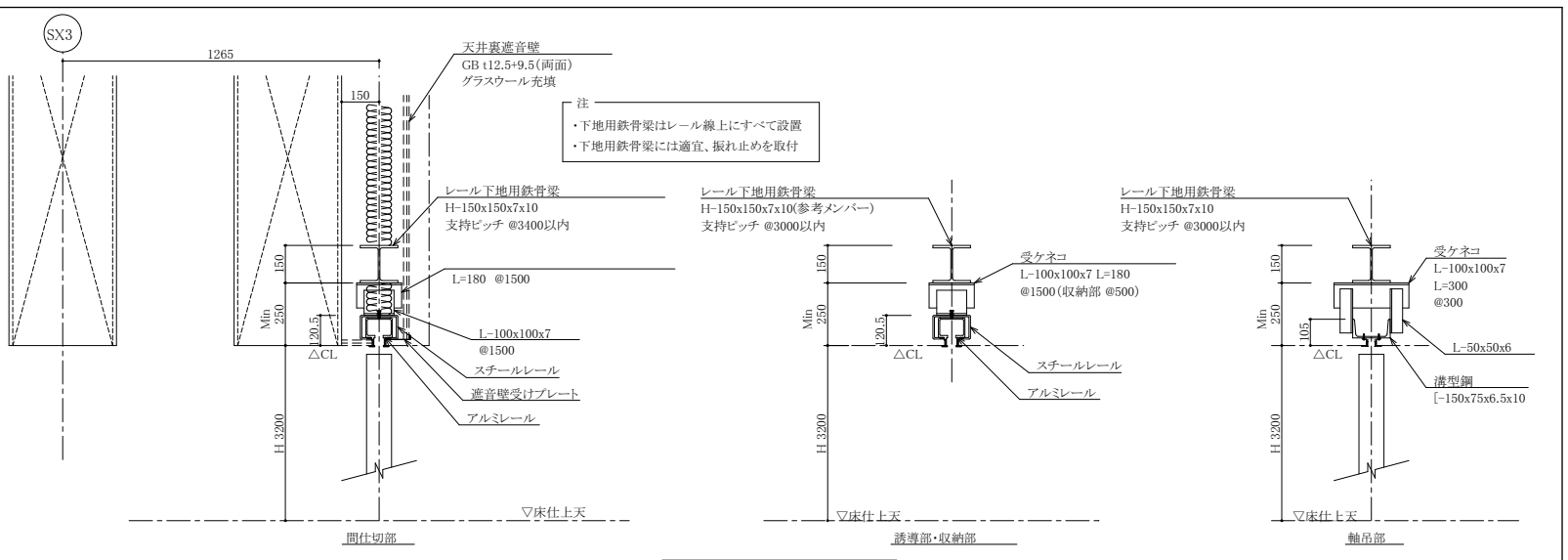
| | | | | | | | | | | |
|--|--|---|---------|-------------------|-------|-----------|------|----------|----|------|
| 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | TITLE | 内部詳細図 | SCALE | 1/20 (A3) | DATE | 24.10.31 | NO | A-48 |
| | | | PROJECT | 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | 福原 | | | | |



1階平面図 S=1:50
※パワーローラー化粧プレート取付側

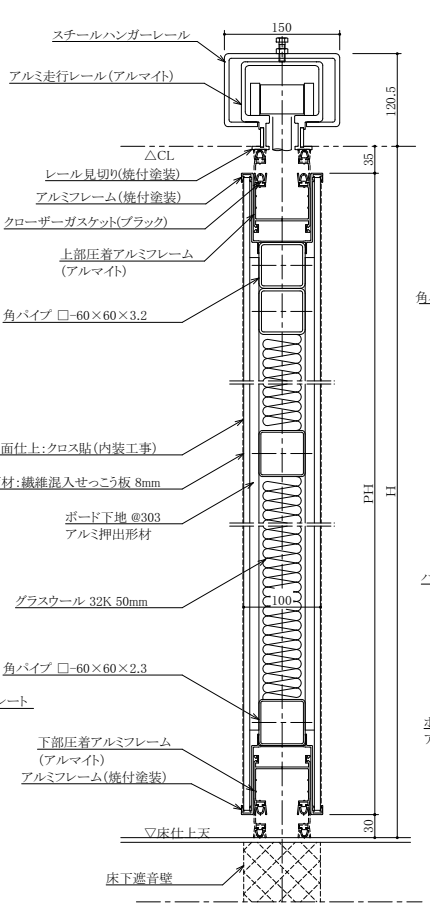


展開図 S=1:50

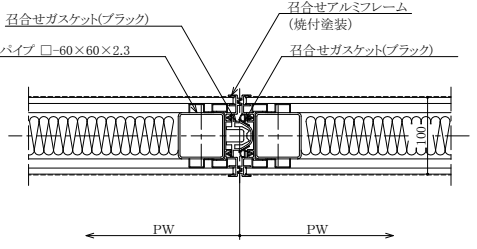


レール取付断面図 S=1:15

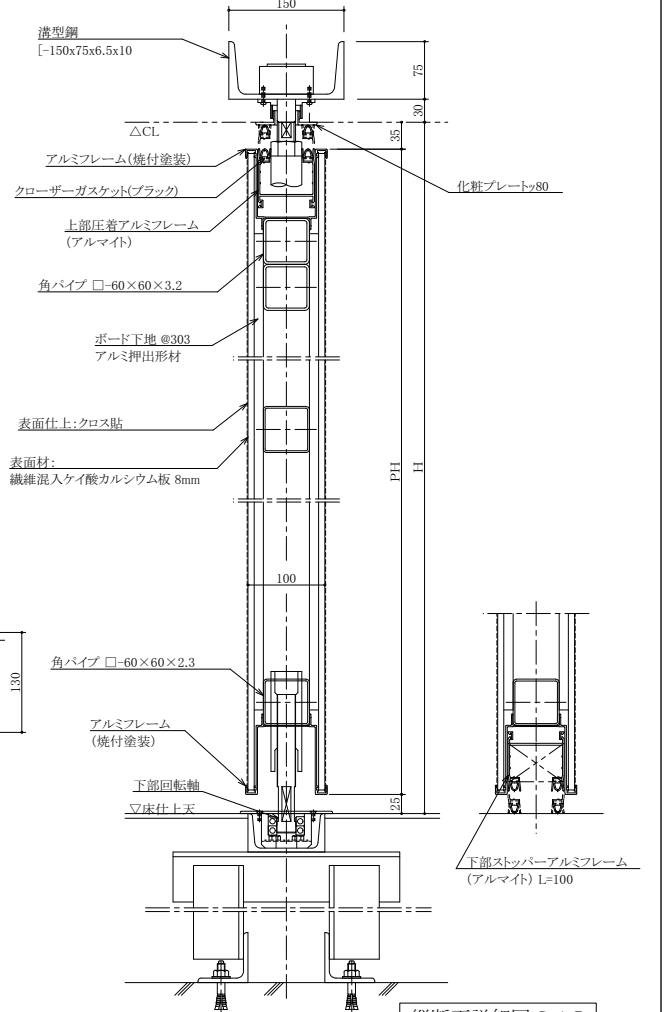
| 厚み100mm(RW-100D同等品) (遮音仕様) | |
|-------------------------------|--|
| レール仕様 | レール スチール、アルミ押出型材(アルマイト処理)合成ハンガーレール ※パネル断面詳細図の特記部分は指定色焼付塗装 コーナー部 Rレール |
| ランナー仕様 | 走行輪 多軸多輪(3軸6輪) 吊ボルト M 24 |
| パネル仕様 | 表面仕上 クロス貼 表面材 繊維混入せつこう板 8mm 充填材 グラスウール 32K 50mm 骨組 鉄骨造 フレーム アルミ押出型材(アルマイト処理) ※パネル断面詳細図の特記部分は指定色焼付塗装 召合せ 固定ゴム嵌合 壁面シールド 機械駆動式 上部シールド 機械駆動式 下部シールド 機械駆動式 |



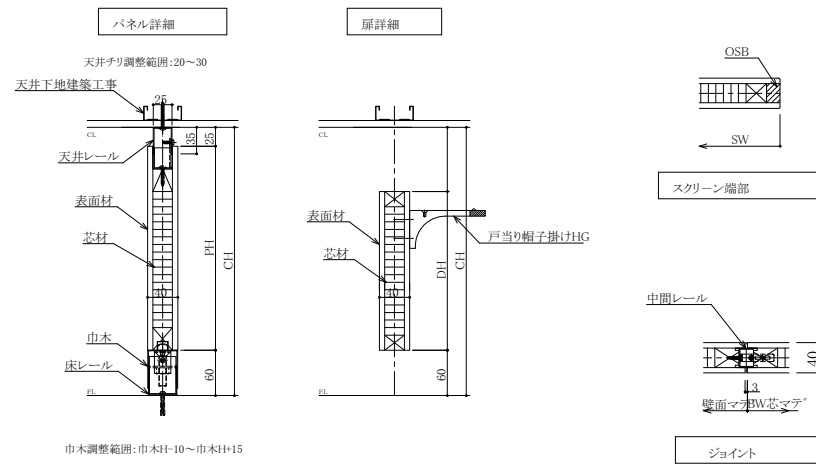
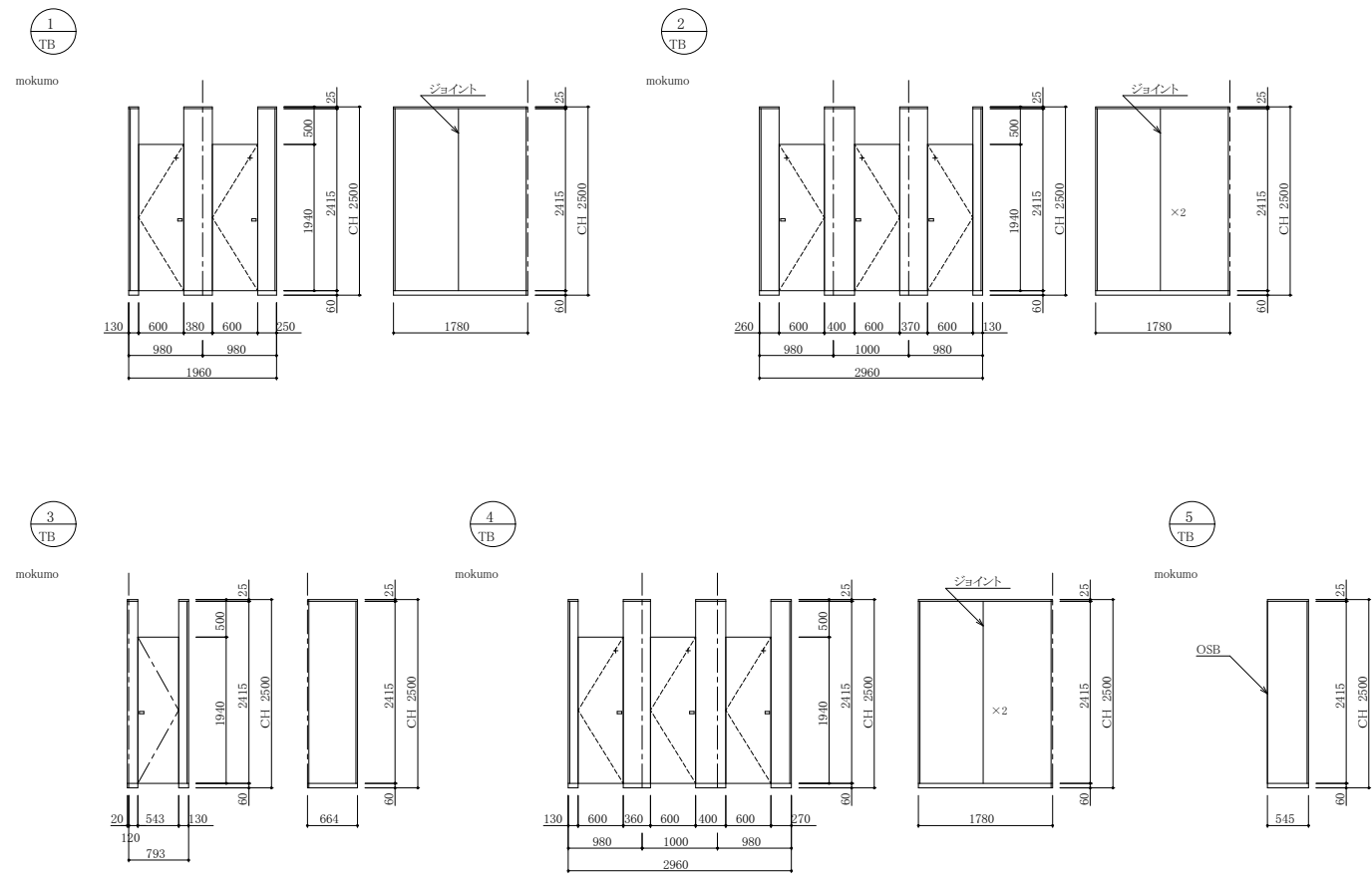
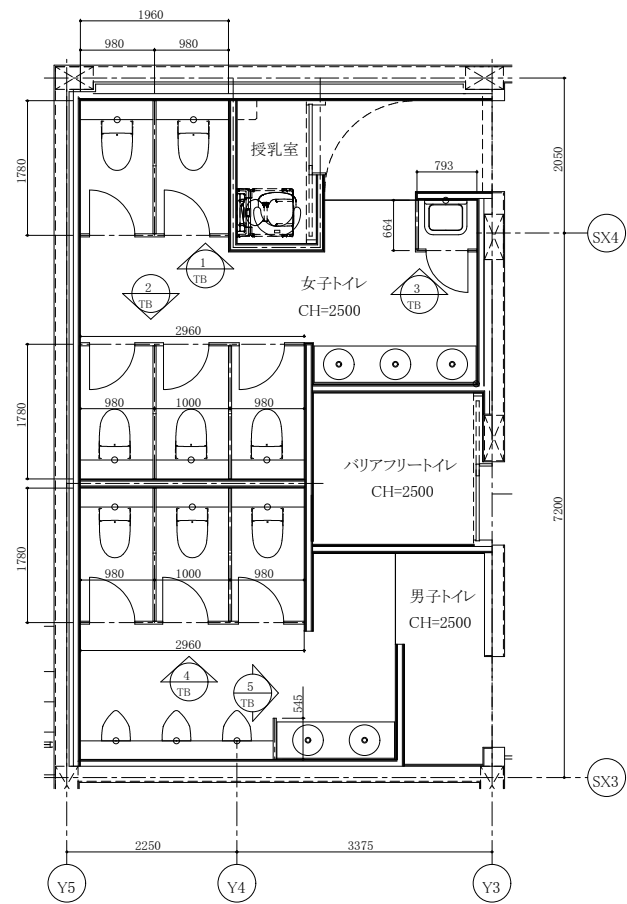
縦断面詳細図 S=1:5



横断面詳細図 S=1:5

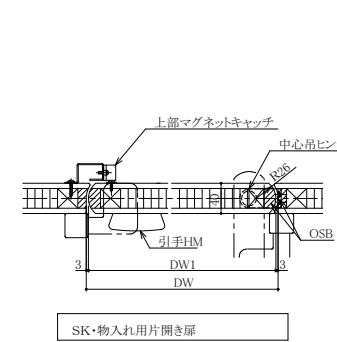
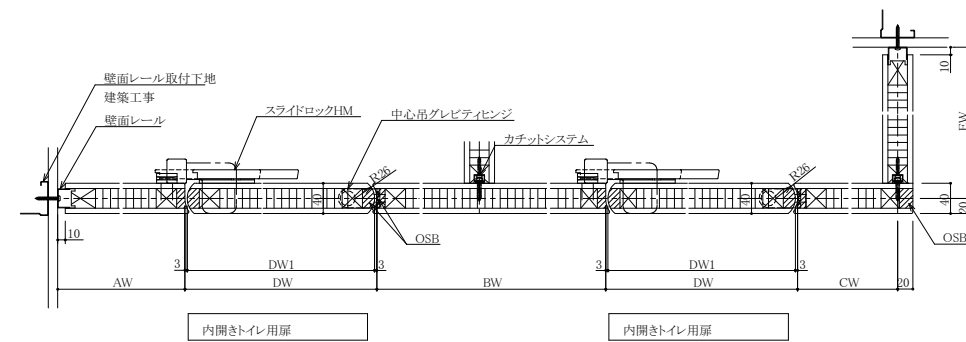


縦断面詳細図 S=1:5



◇仕様表 (小松ウオール サニティmokumo同等品)

| 項目 | 部材 | 材料(板厚mm) |
|-------|----------------|-----------------------|
| パネル | パネル表面材 | OSB 7mm <クレイターN/A塗装> |
| | 芯材 | ペーパーコア |
| | エッジ材 | OSB <クレタングリア塗装> |
| 付属品 | 巾木/床レール | ステンレス 0.8mm <ヘアライン仕上> |
| | 天井レール | ステンレス 1.2mm <ヘアライン仕上> |
| | 壁面レール | ステンレス 1.2mm <ヘアライン仕上> |
| | 中間レール | ステンレス 1.2mm <ヘアライン仕上> |
| | ヒンジ | 中心吊グレビティヒンジ |
| | SKヒンジ | 中心吊ヒンジ |
| | ロック | スライドロックHM |
| その他金物 | 戸当り帽子掛H/G/引手HM | |



株式会社 ブレック研究所

一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号
一級建築士 233817号 福岡 薫

福原信一 一級建築士事務所

一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号
一級建築士 364177号 福原 信一

株式会社 丹青社

一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号
一級建築士 254337号 関根 雄二

TITLE トイレブース詳細図

PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計

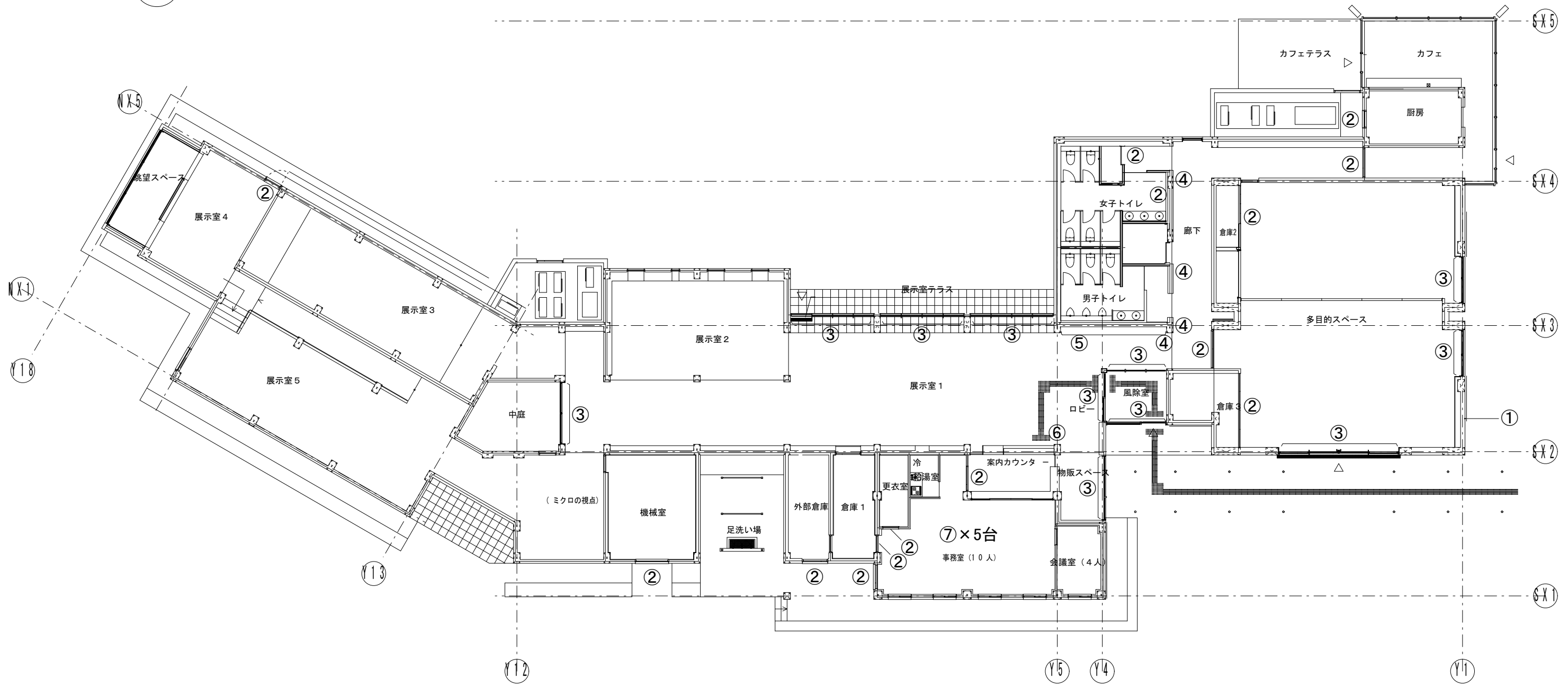
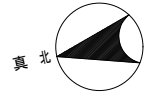
SCALE 1/10,1/100(A3)

DATE 24.10.31

CHECK 福原

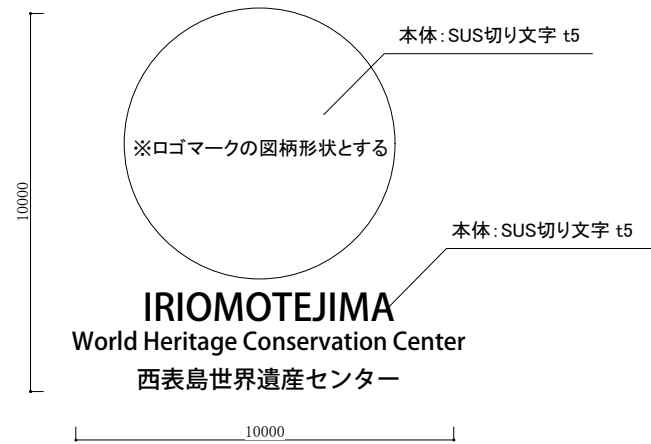
NO

A-50



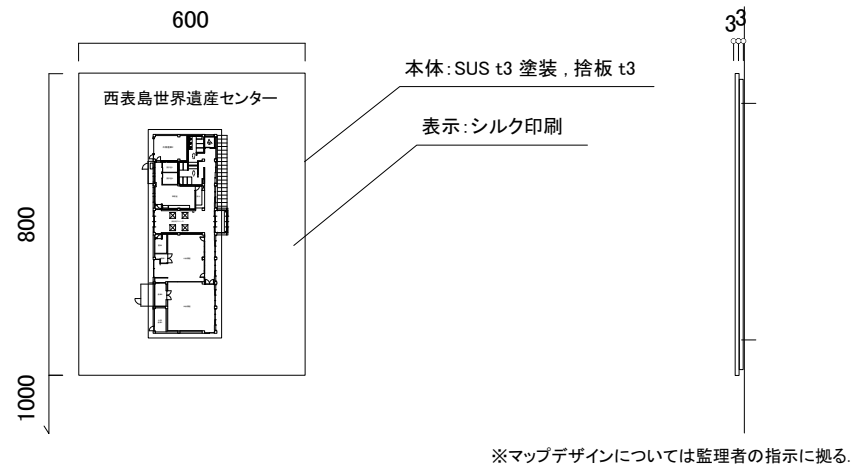
| | | | | | | | |
|--|--|--|---|-------------------|------------------------|------------------|------------|
| | 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | TITLE サインキープラン | SCALE 1/20.1/40(A3) | DATE 24.10.31 | NO A-51 |
| | PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | | | | CHECK 福原 | | |

① ロゴマーク+館名切文字 S=1/20 数量:1ヶ所

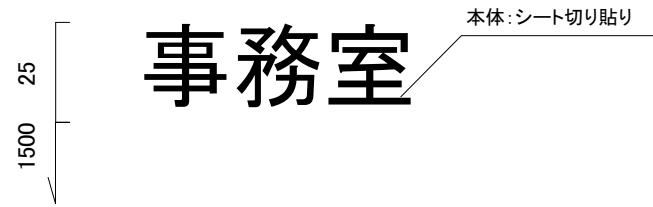


※ロゴマーク・名称・フォントデザインについては発注者及び監理者の指示に拠る。

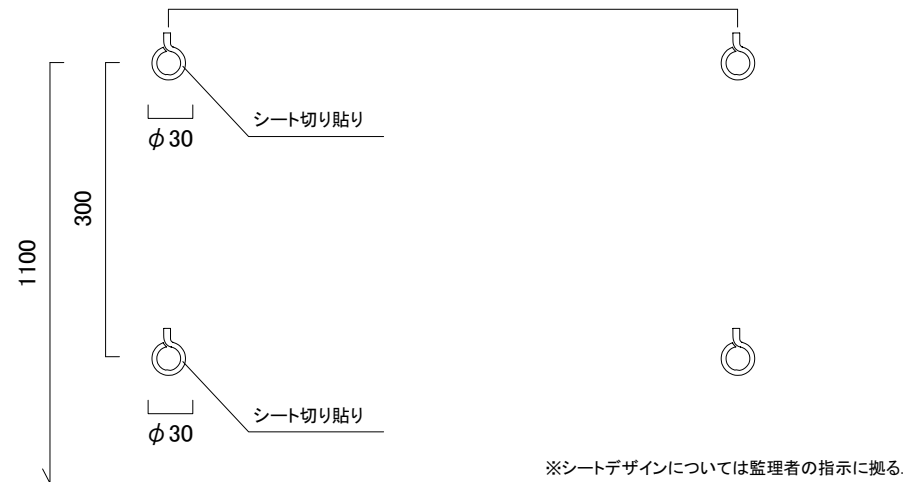
⑤ フロアマップ S=1/20 数量:1ヶ所



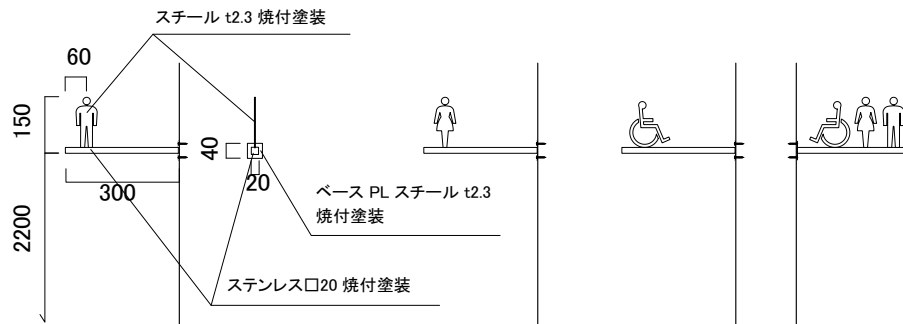
② 室名サイン S=1/2 数量:14ヶ所



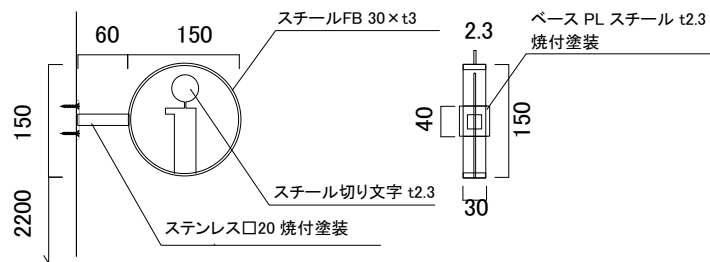
③ 衝突防止シール S=1/5 建具表参照 @300



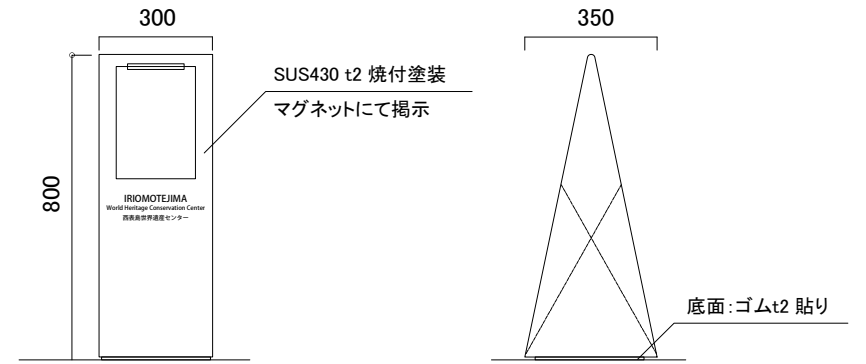
④ トイレ突出しサイン S=1/20 数量:4ヶ所



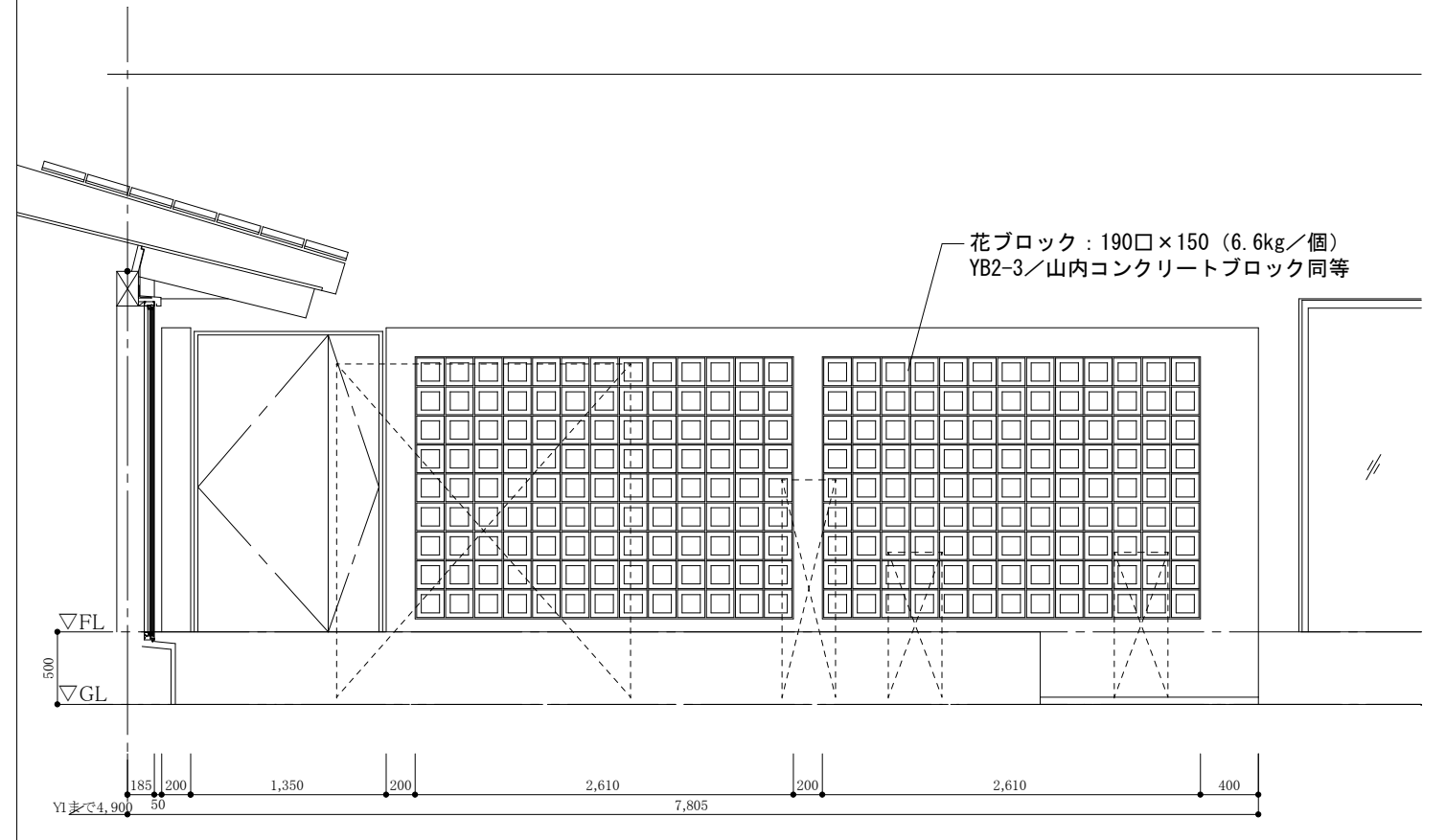
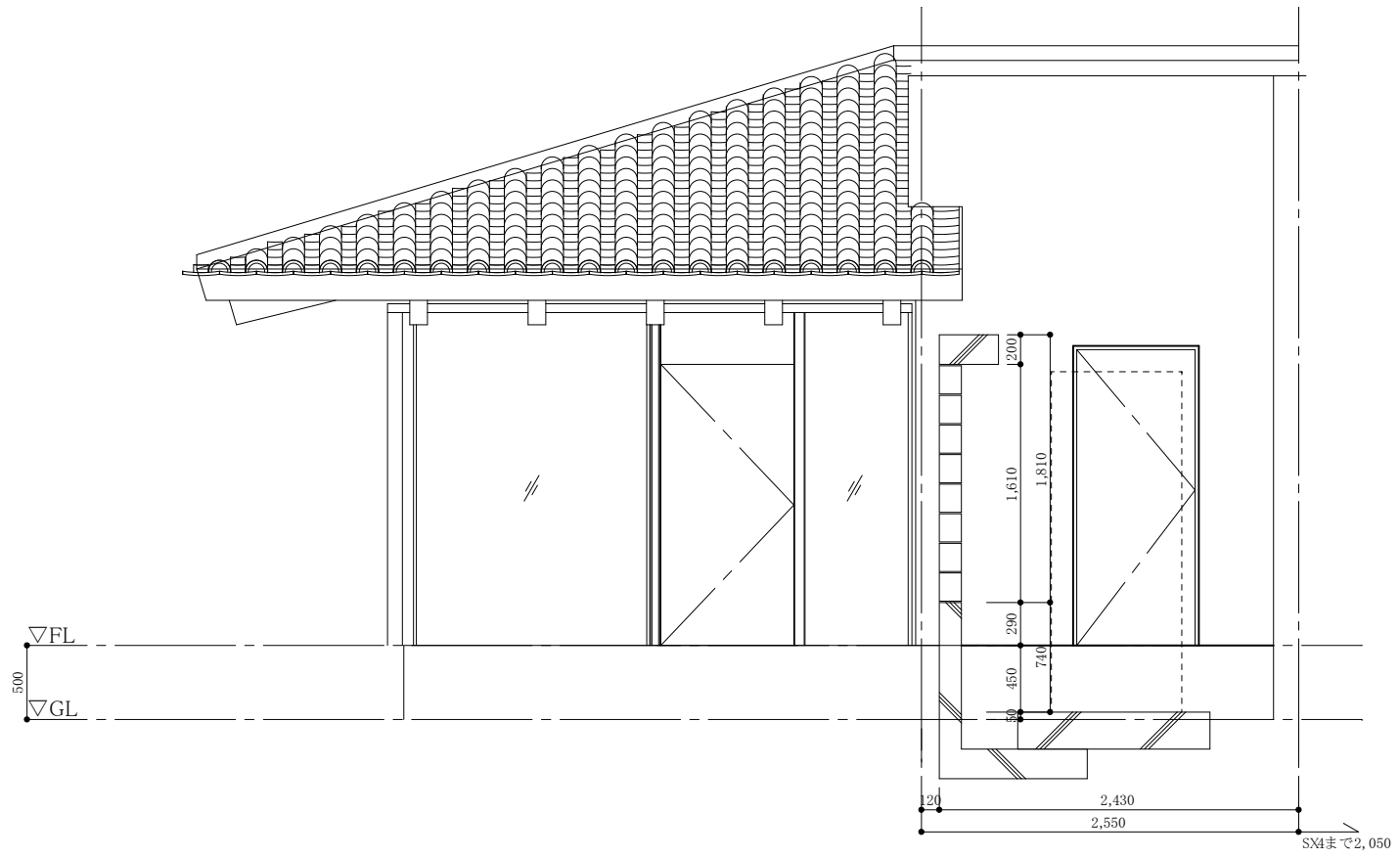
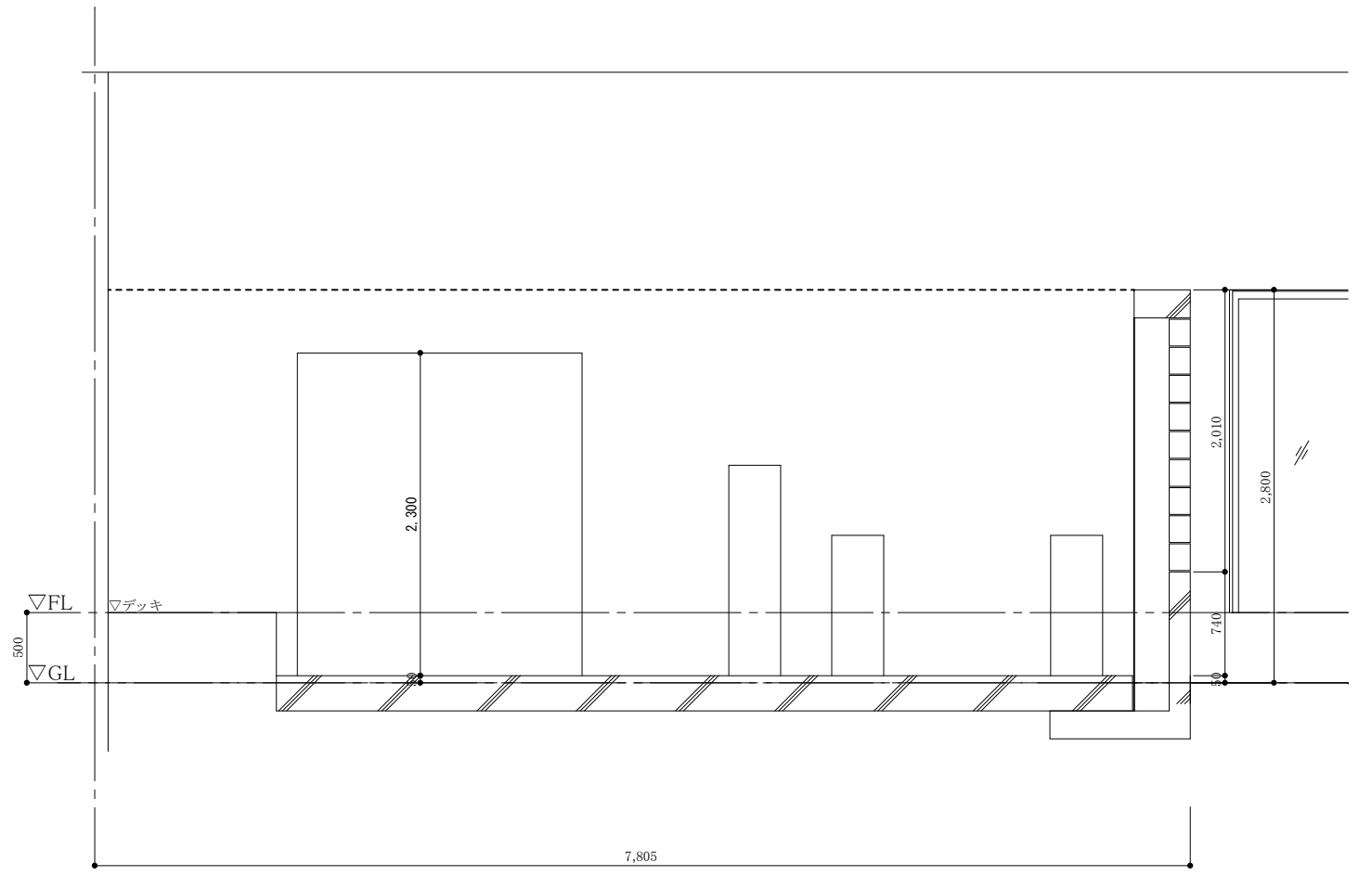
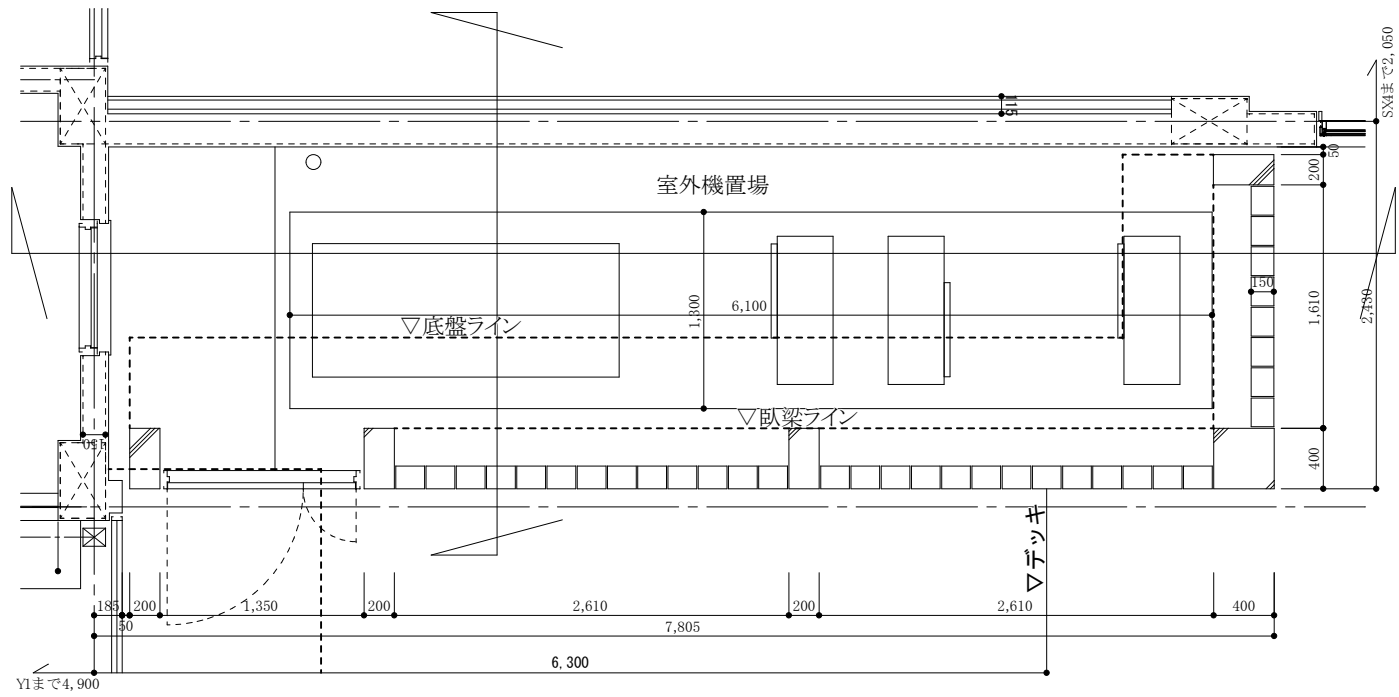
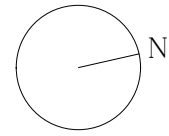
⑥ 受付突出しサイン S=1/10 数量:1ヶ所



⑦ サインスタンド S=1/20 5台



□ 室外機置場目隠し



花ブロック : 190口×150 (6.6kg/個)
YB2-3/山内コンクリートブロック同等

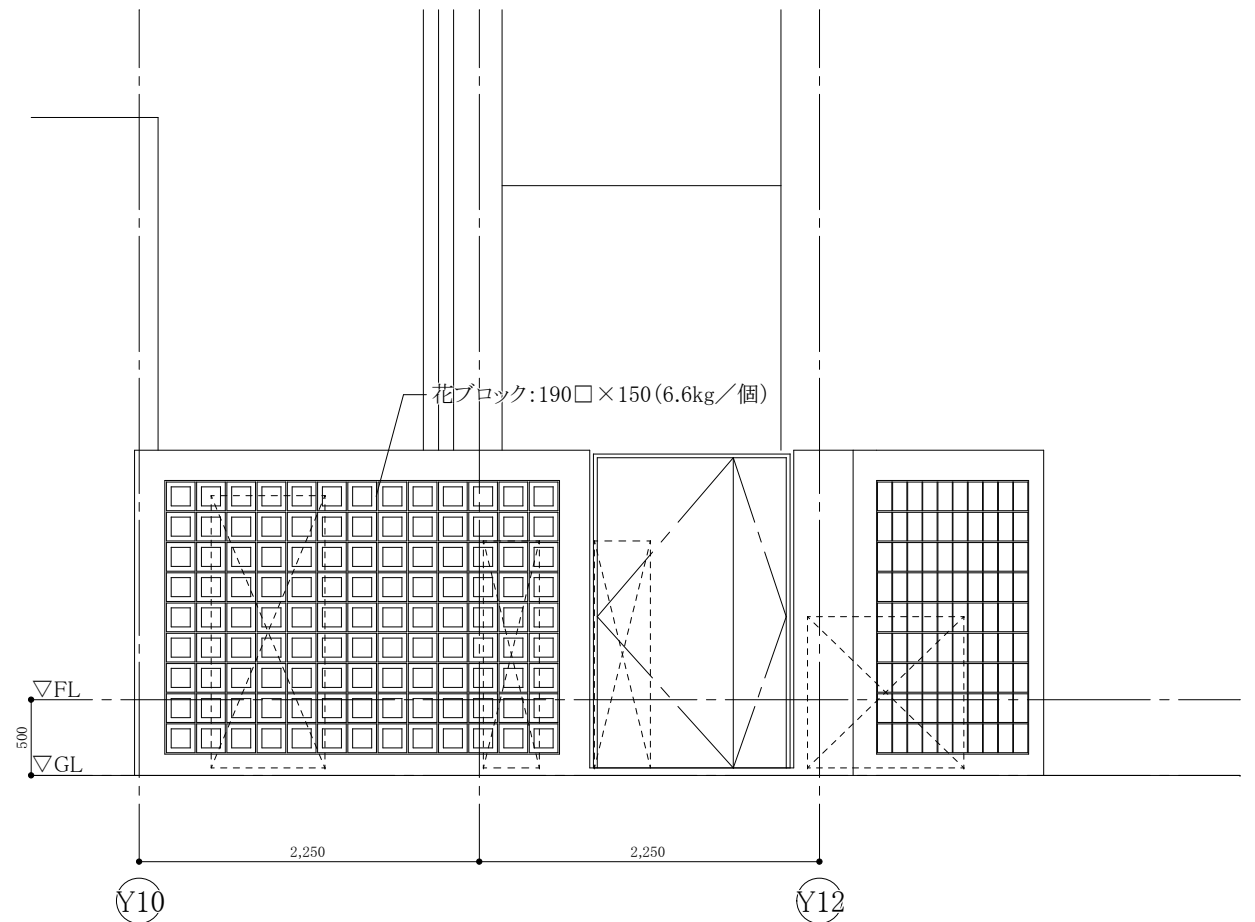
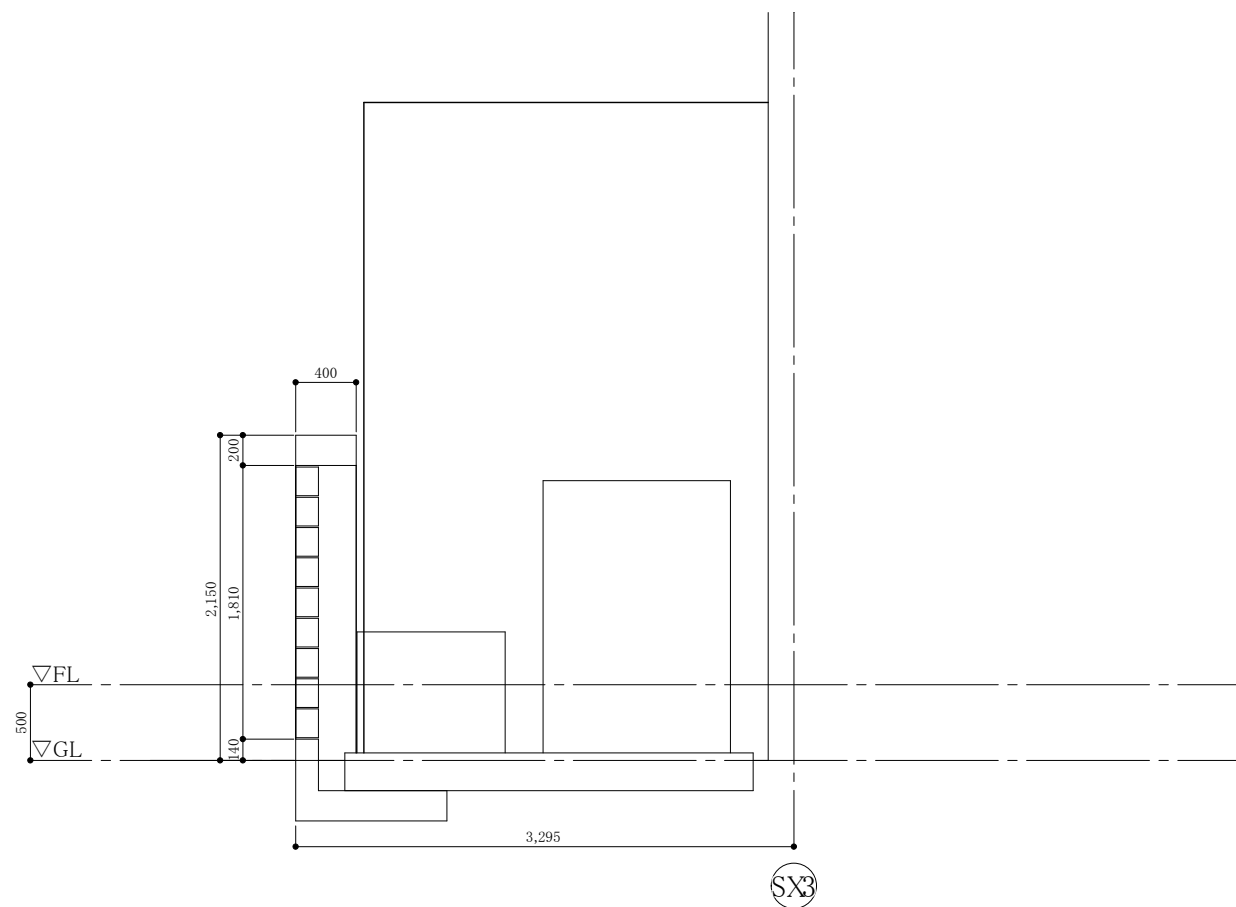
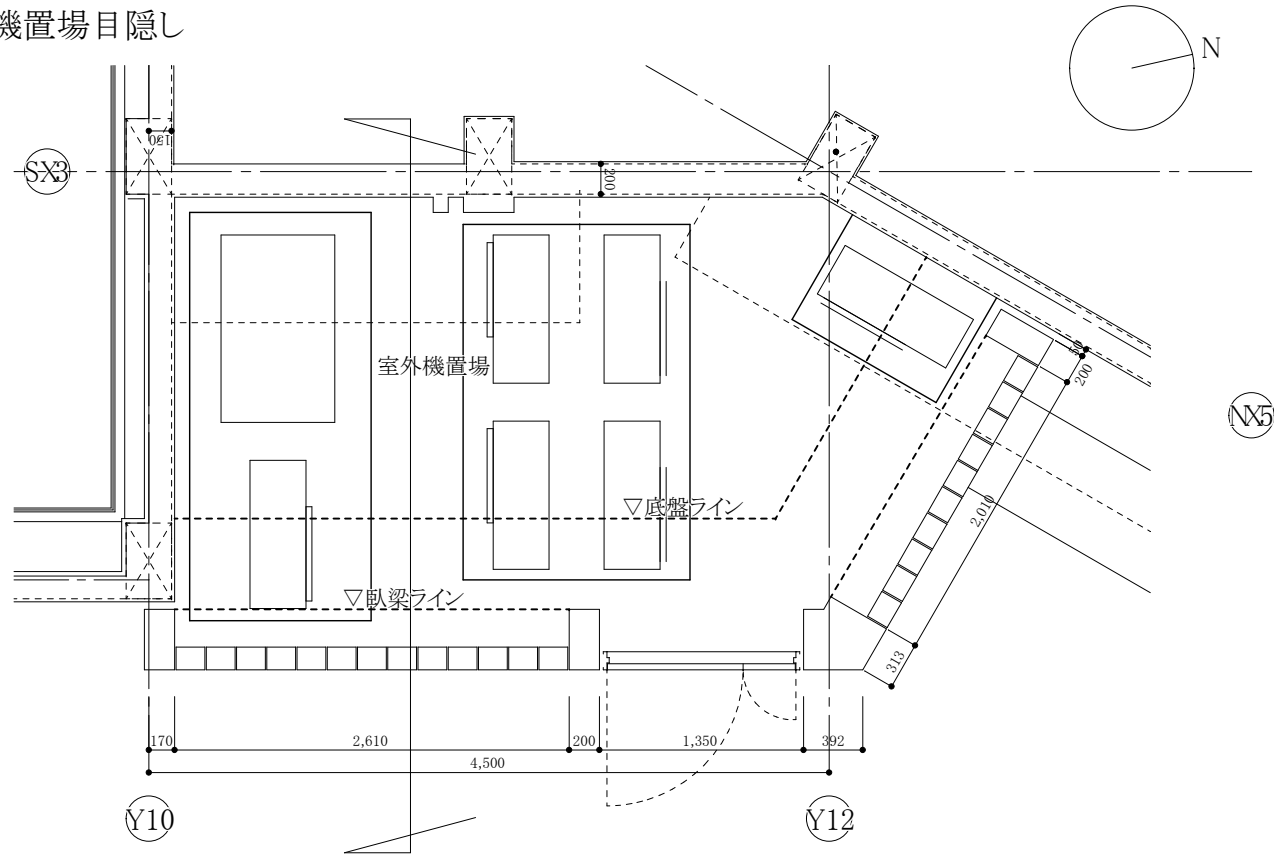
株式会社 ブレック研究所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号
一級建築士 233817号 福岡 薫

福原信一 一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号
一級建築士 364177号 福原 信一

株式会社 丹青社
一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号
一級建築士 254337号 関根 雄二

| | | | | |
|---------|--------------------|-------|----------|------|
| TITLE | 室外機置場目隠し (カフェテラス側) | SCALE | DATE | NO |
| PROJECT | 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | 24.10.31 | A-53 |
| | | | 福原 | |

□ 室外機置場目隠し



株式会社 ブレック研究所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号
一級建築士 233817号 福岡 薫

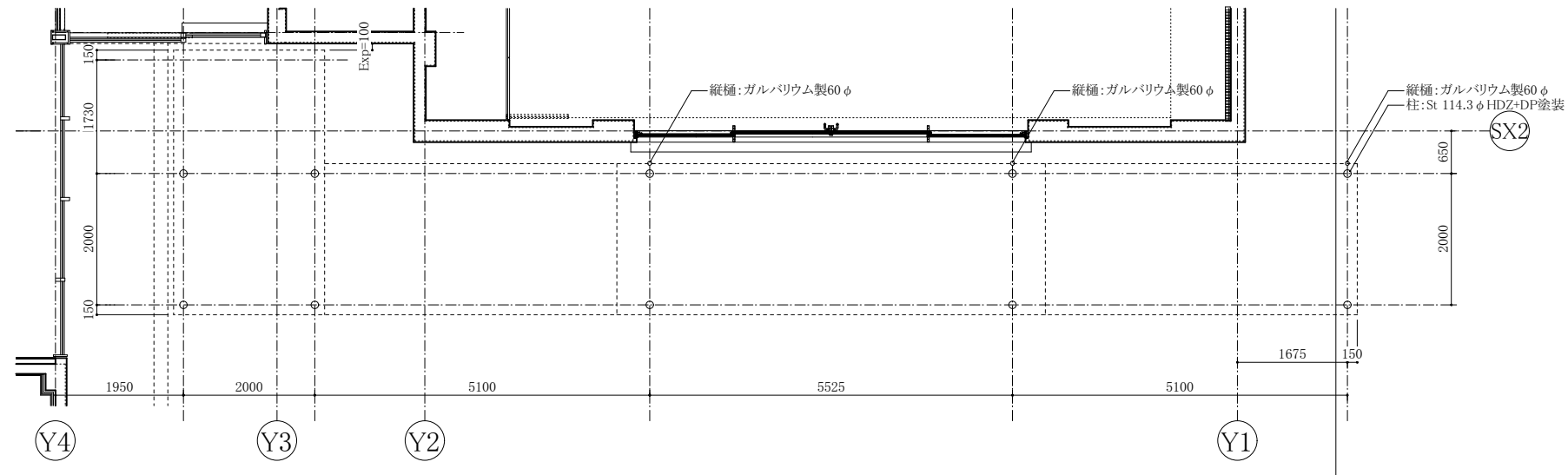
福原信一 一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号
一級建築士 364177号 福原 信一

株式会社 丹青社
一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号
一級建築士 254337号 関根 雄二

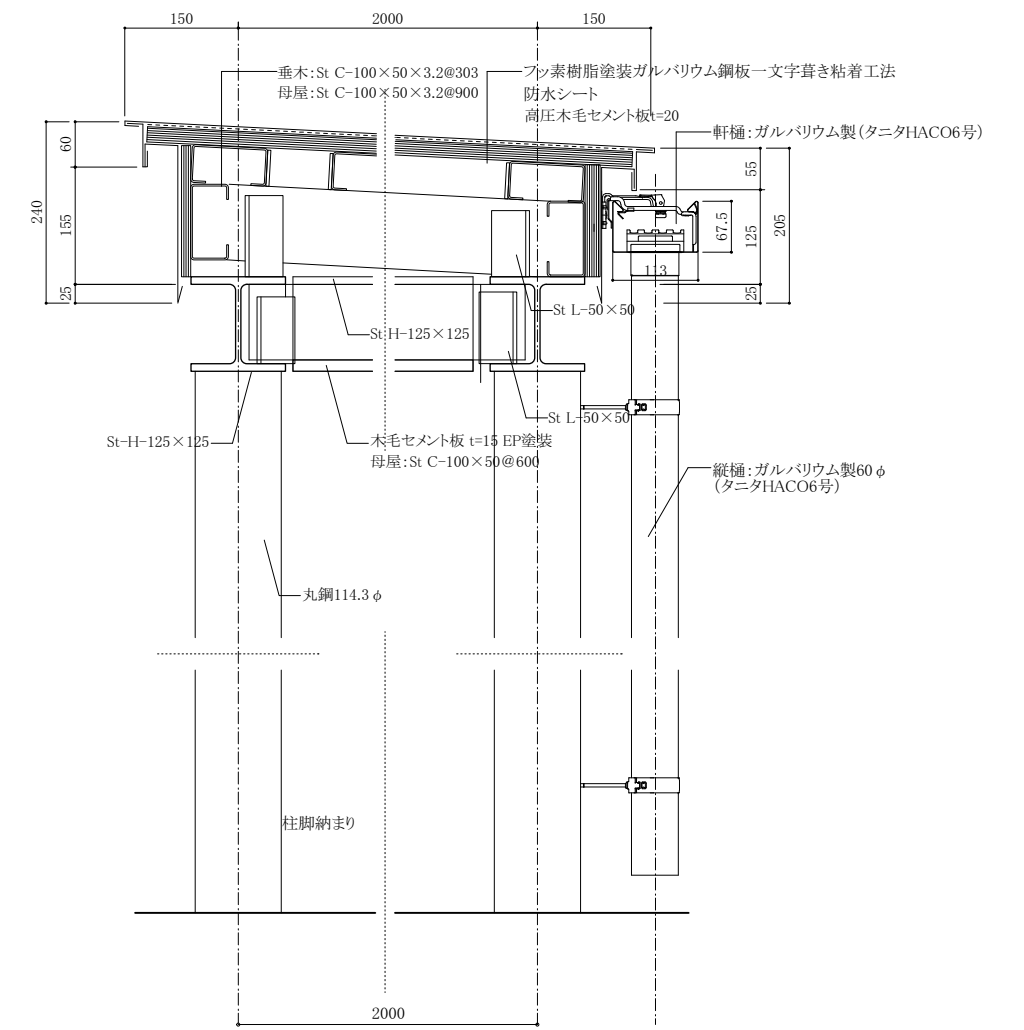
TITLE 室外機置場目隠し (展示室2側)
PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計

SCALE
DATE 24.10.31
CHECK 福原
NO A-54

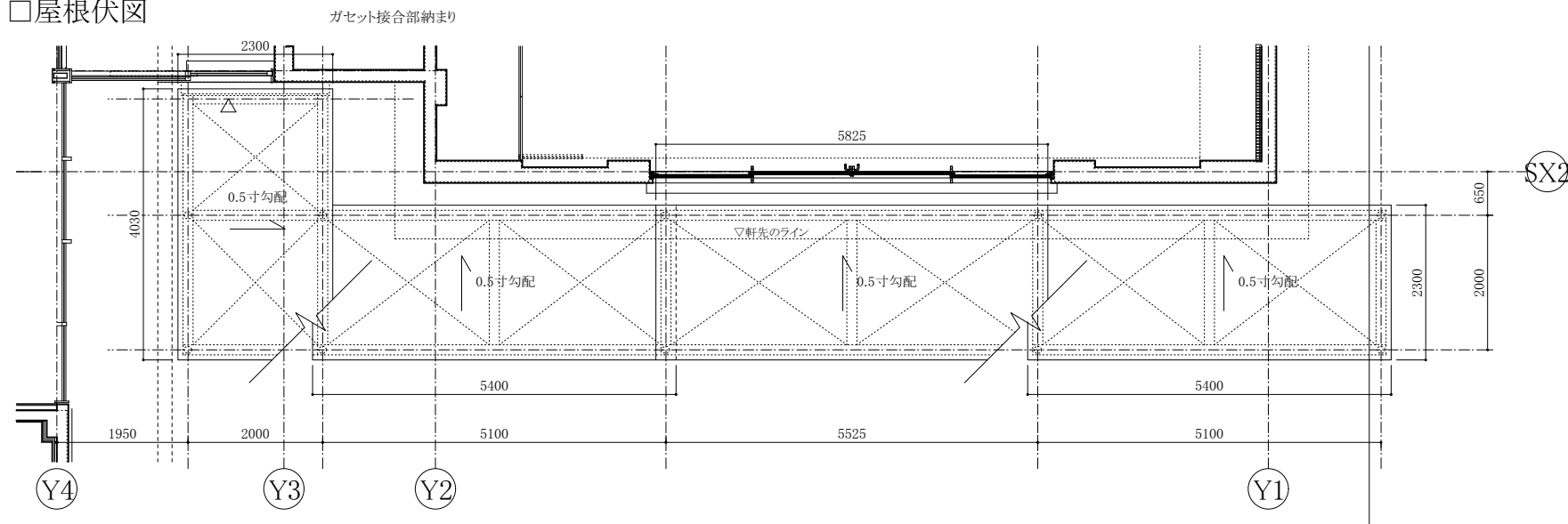
□平面図



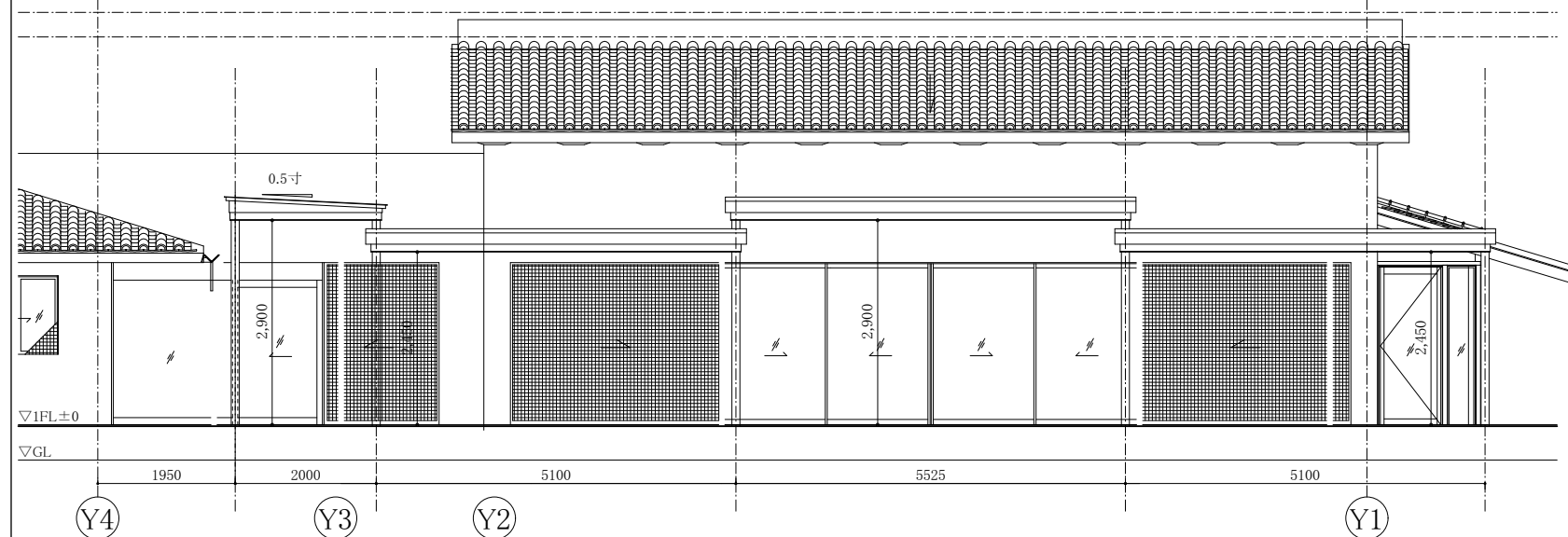
□断面詳細図1(1/10)



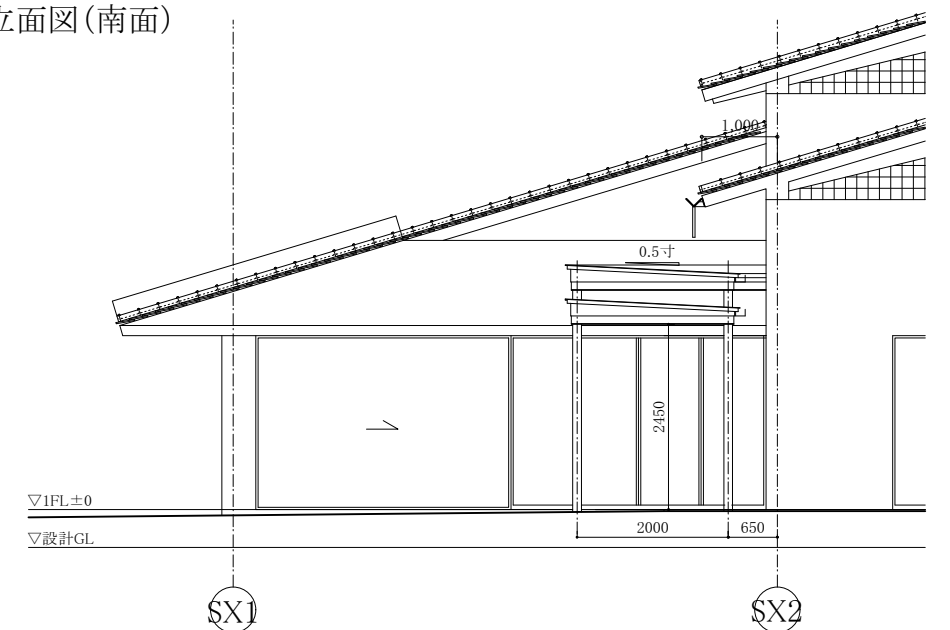
□屋根伏図



□立面図(西面)



□立面図(南面)

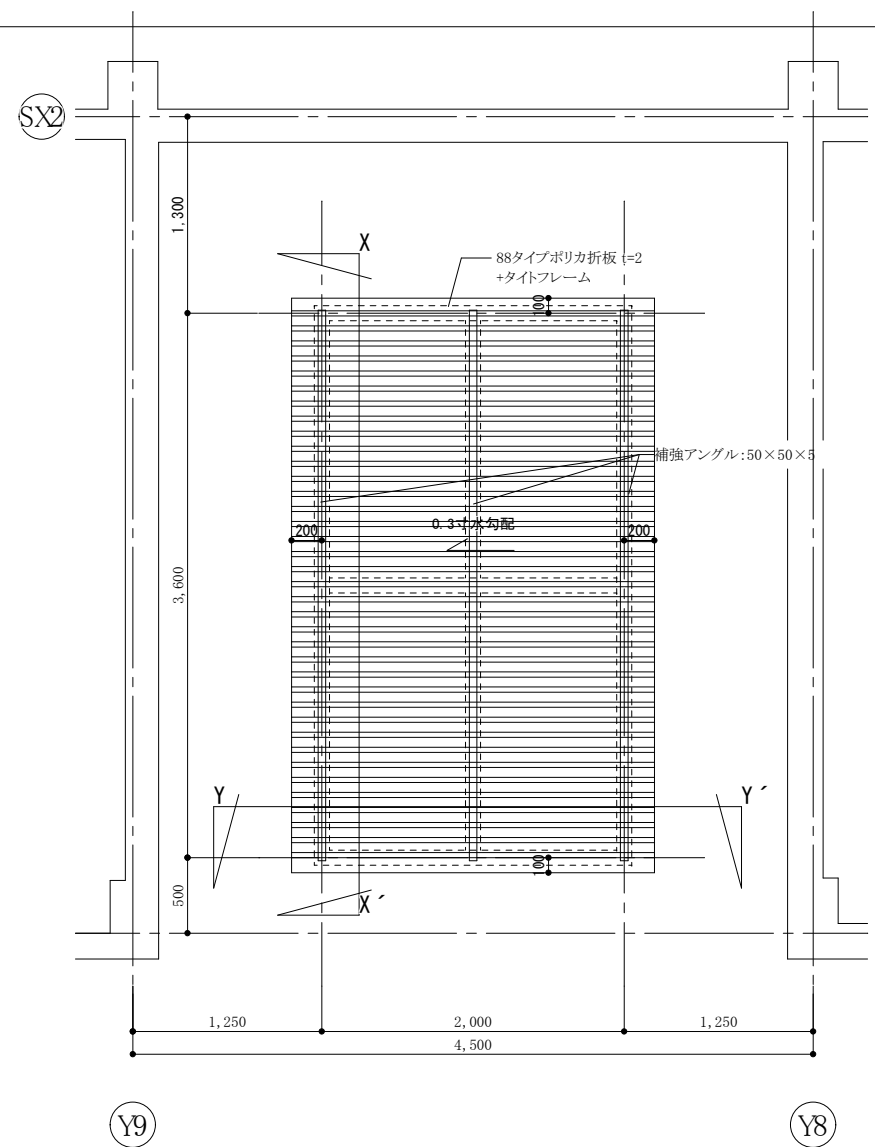


株式会社 ブレック研究所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号
一級建築士 233817号 福岡 薫

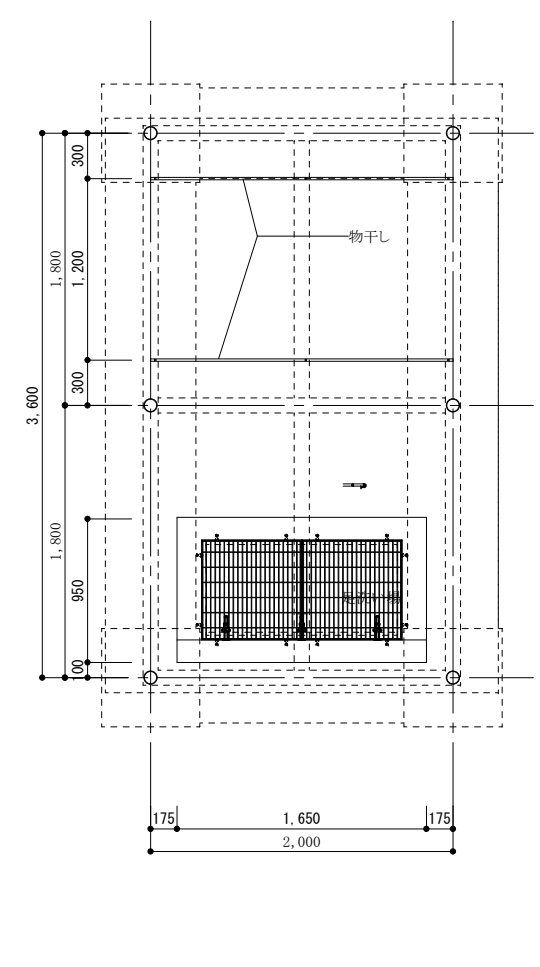
福原信一 一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号
一級建築士 364177号 福原 信一

株式会社 丹青社
一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号
一級建築士 254337号 関根 雄二

| | | | | | | | |
|---------|-------------------|-------|-----------------|------|----------|----|------|
| TITLE | キャンピー詳細図 | SCALE | 1/10, 1/100(A3) | DATE | 24.10.31 | NO | A-55 |
| PROJECT | 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | 福原 | | | | |

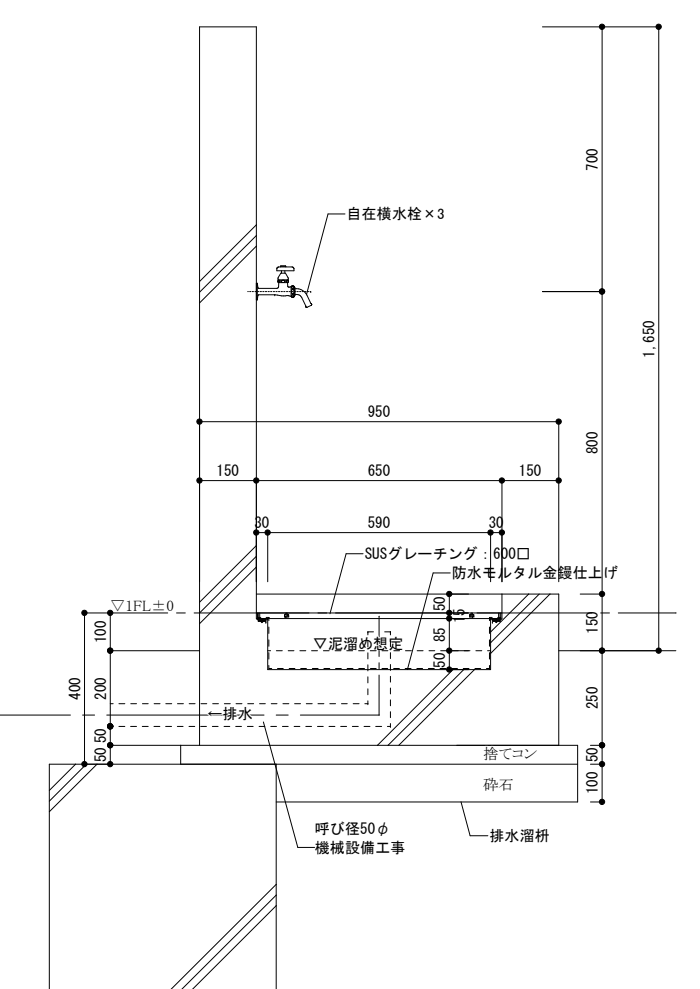


屋根伏せ図(1/50)

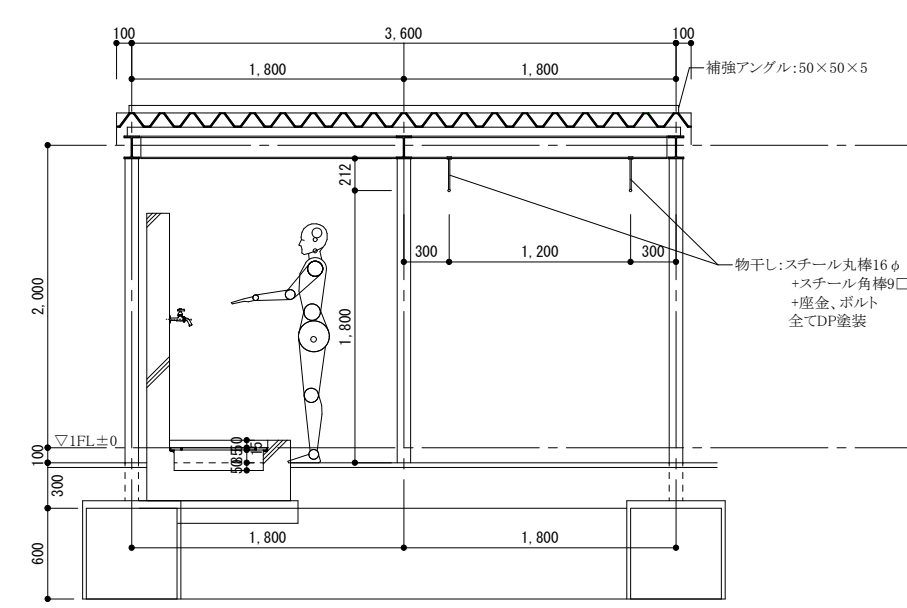


平面図(1/50)

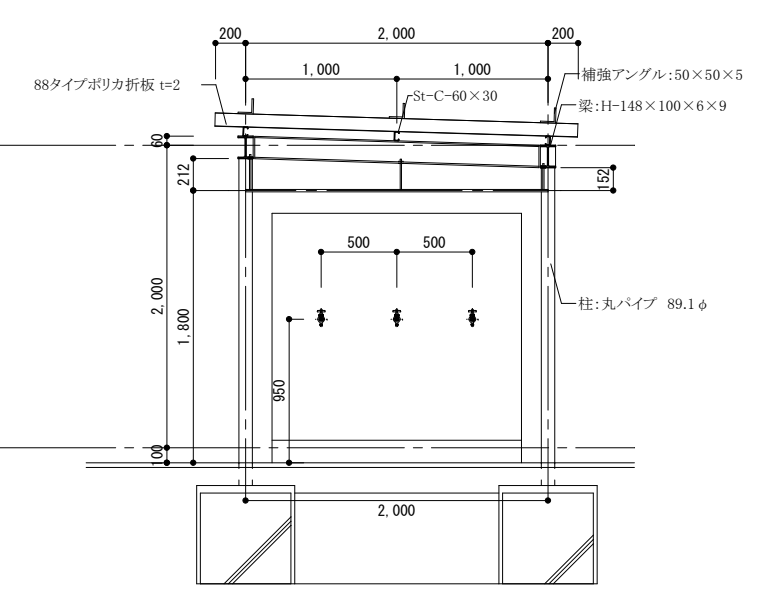
足洗い場詳細図



足洗い場詳細図(1/20)

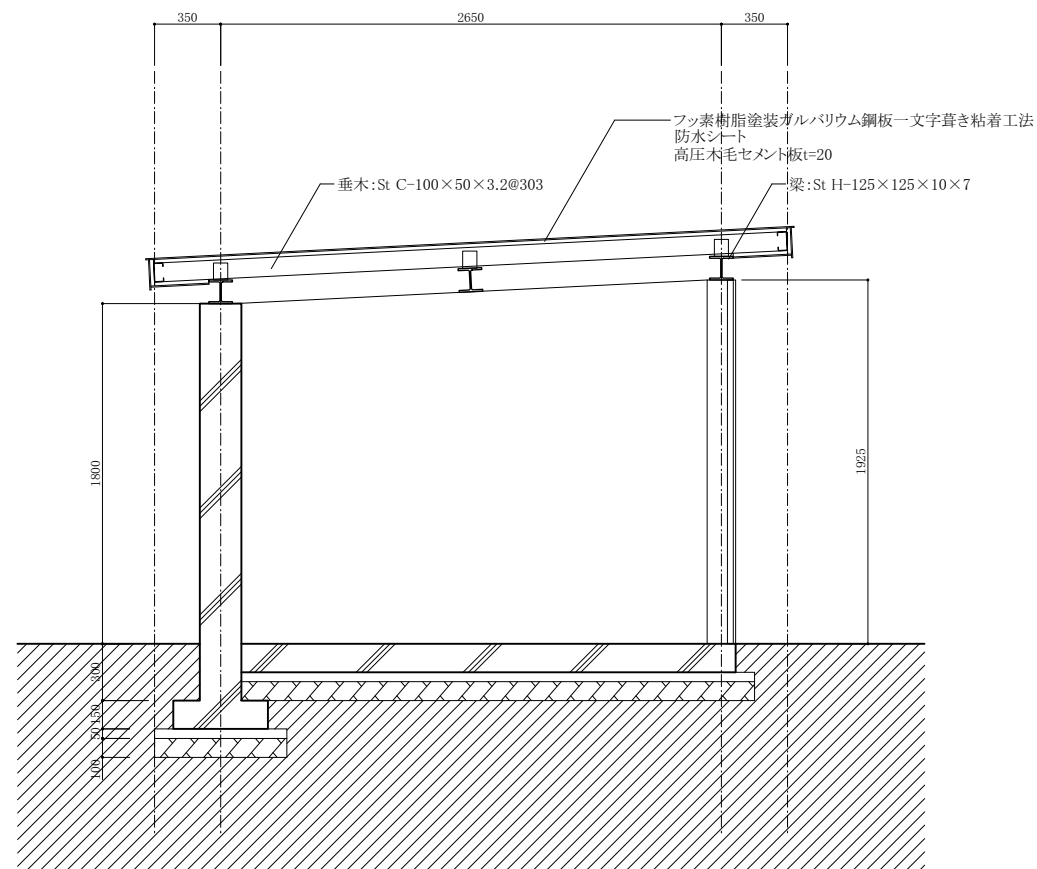
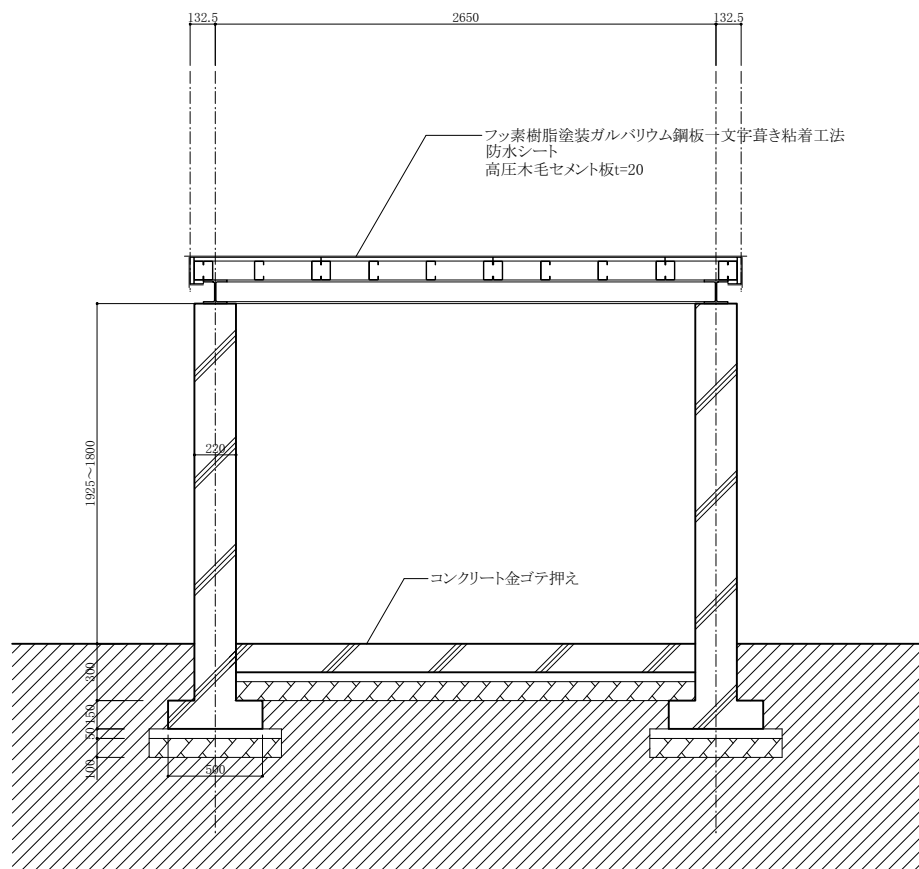
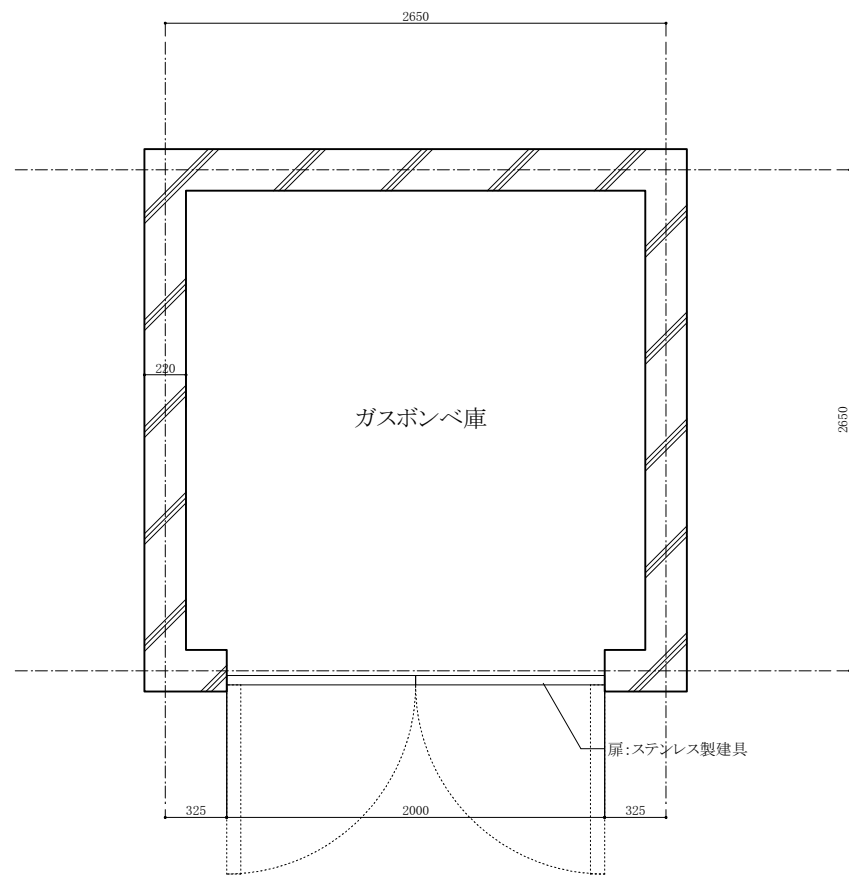


X-X'断面図(1/50)



Y-Y'断面図(1/50)

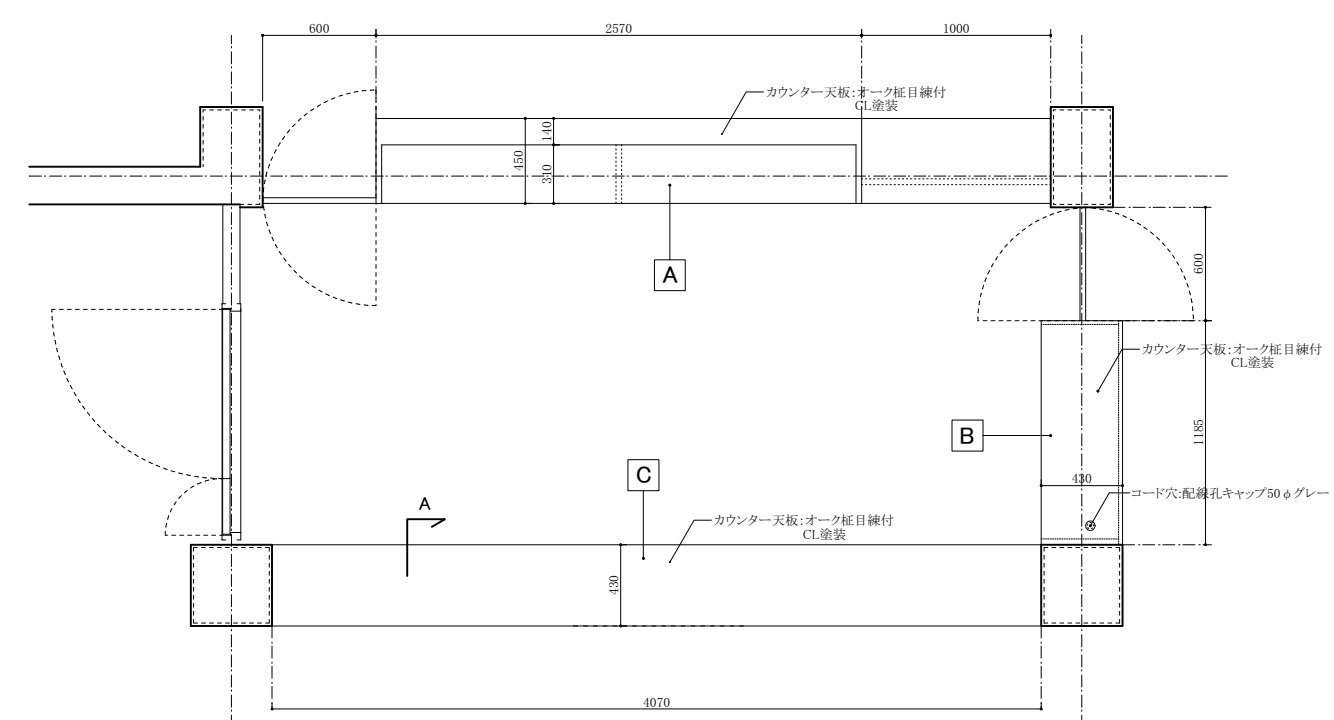
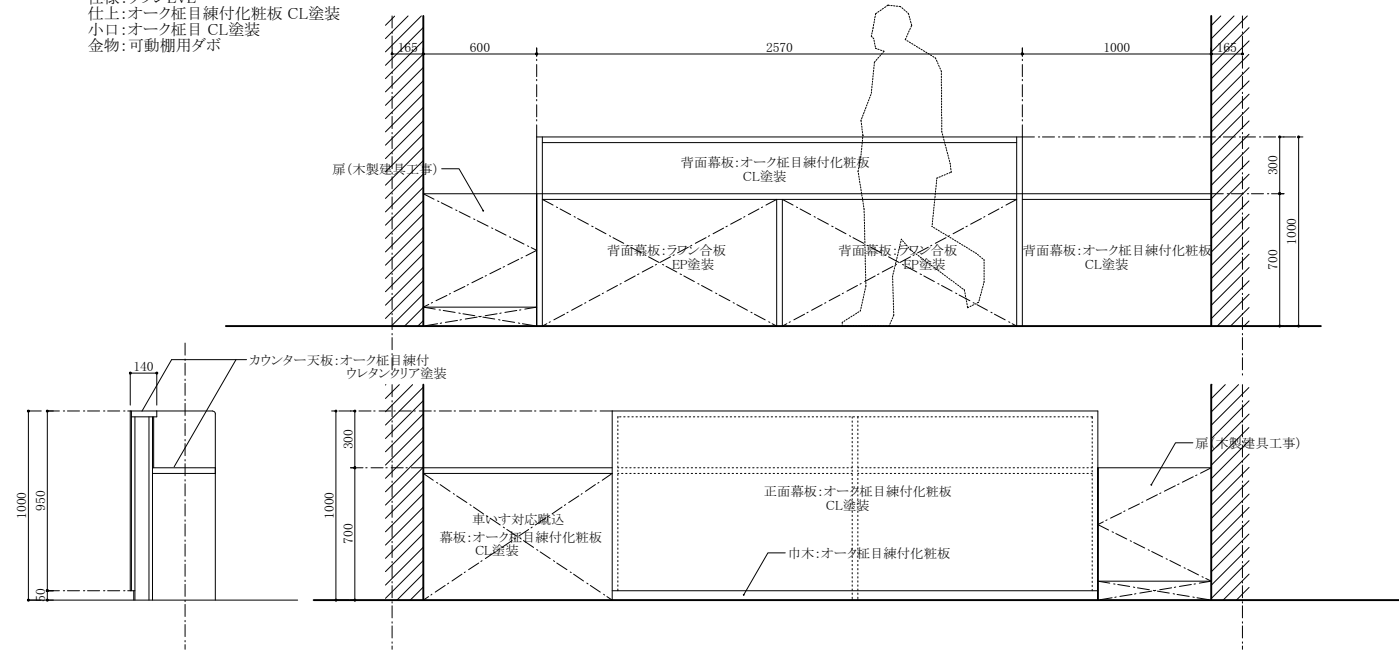
| | | | | | | | | | | |
|--|--|---|---------|-------------------|-------|---------------|------|----------|----|------|
| 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福田 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | TITLE | 足洗い場詳細図 | SCALE | 1/50, 20 (A3) | DATE | 24.10.31 | NO | A-56 |
| | | | PROJECT | 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | 福原 | | | | |



| | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|---|---------|-------------------|-------|-----------|------|----------|----|------|
| | 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | TITLE | ガスボンベ庫詳細図 | SCALE | 1/40 (A3) | DATE | 24.10.31 | NO | A-57 |
| | | | | PROJECT | 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | 福原 | | | | |

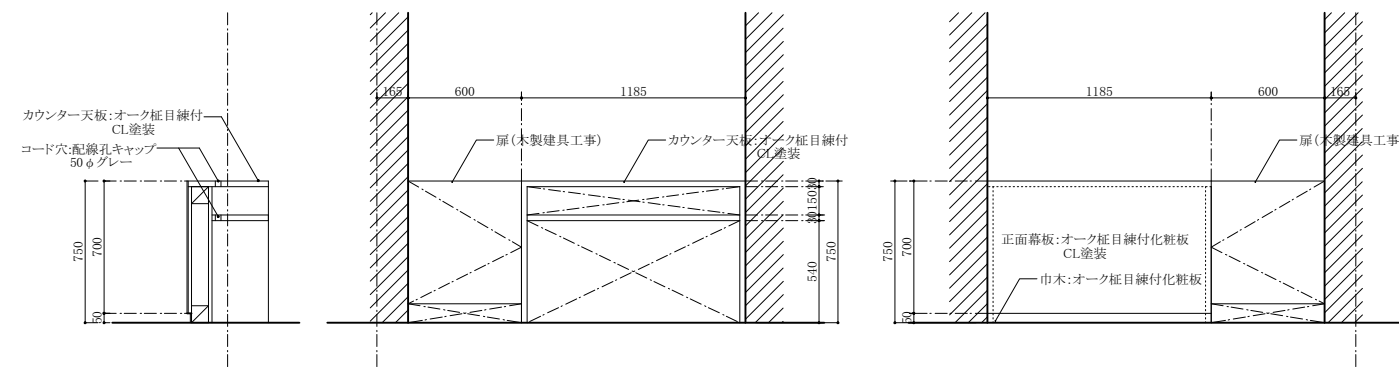
A 受付カウンター

仕様:ラワンLVL
仕上:オーク柎目練付化粧板 CL塗装
小口:オーク柎目 CL塗装
金物:可動棚用ダボ



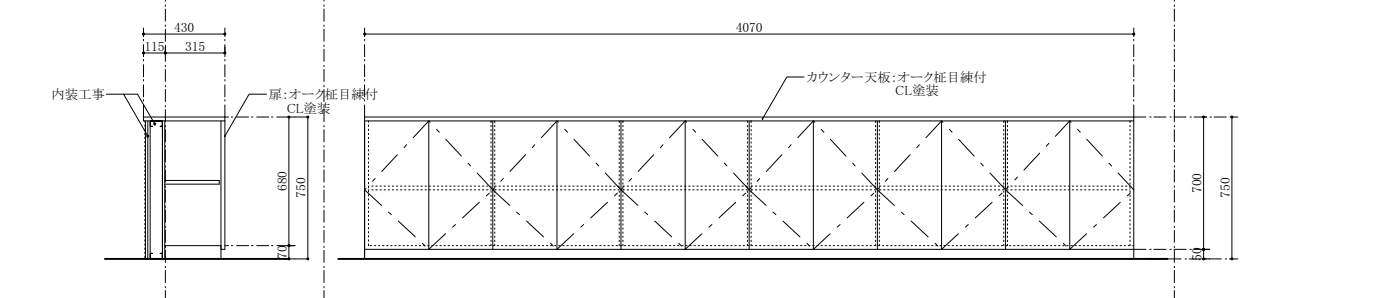
B 物販カウンター

仕様:ラワンLVL
仕上:オーク柎目練付化粧板 CL塗装
小口:オーク柎目 CL塗装
金物:可動棚用ダボ



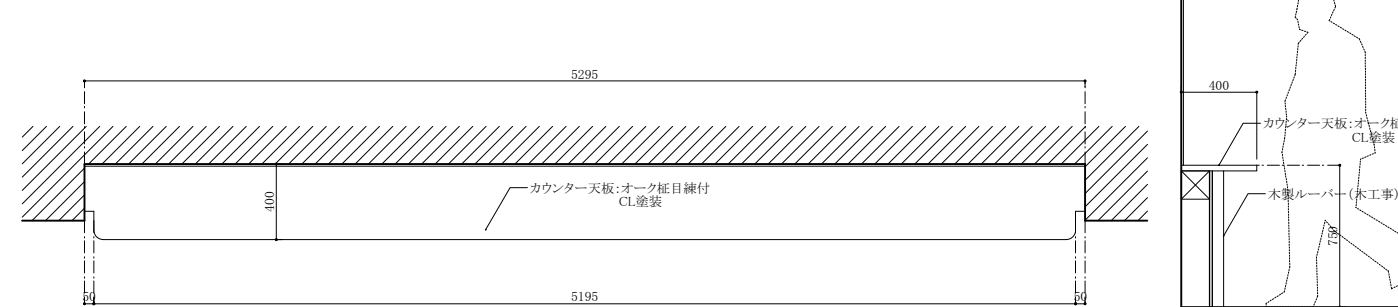
C 背面収納棚

仕様:ラワンLVL
仕上:オーク柎目練付化粧板 CL塗装
小口:オーク柎目 CL塗装
金物:スライド丁番
マグネットキャッチ
シリンドー錠
つまみ
可動棚用ダボ



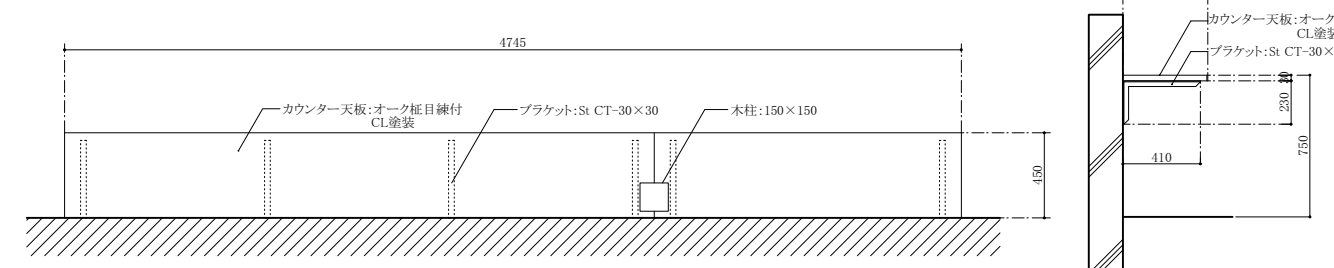
D ロビーカウンター

仕様:ラワンLVL
仕上:オーク柎目練付化粧板 CL塗装
小口:オーク柎目 CL塗装
金物:



E カフェカウンター

仕様:ラワンLVL
仕上:オーク柎目練付化粧板 CL塗装
小口:オーク柎目 CL塗装
金物:スチールブラケット



株式会社 ブレック研究所

一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号
一級建築士 233817号 福岡 薫

福原信一 一級建築士事務所

一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号
一級建築士 364177号 福原 信一

株式会社 丹青社

一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号
一級建築士 254337号 関根 雄二

TITLE 造作家具詳細図

PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計

SCALE 1/40(A3)

DATE 24.10.31

NO

A-58

CHECK 福原

構造関係特記仕様書

1章 土工事
1節 砂利、砂、捨コンクリート地業等
(1) 砂利地業
(2) 捨コンクリート地業
(3) 床下防湿層

2章 鉄筋工事
1節 一般事項
(1) 準拠図書
(2) 施工計画書
(3) 施工記録
(4) 配筋検査
(5) 鉄筋加工図、納まり図

2節 材料
(1) 鉄筋
(2) 溶接金網

3節 加工及び組立
(1) 鉄筋の継手

(2) 鉄筋の定着長さ
(3) 機械式定着、継手の有無
(4) 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔
(5) 各部配筋
4節 ガス圧接
(1) 圧接抜き取り試験

3章 コンクリート工事
1節 一般事項
(1) 準拠図書
(2) 施工計画書
(3) 施工記録

2節 コンクリートの種類、品質、材料及び調合
(1) コンクリートの材料

(2) コンクリートの類別
(3) セメント

(4) 骨材
(5) 調合管理強度
(6) 練り混ぜ水

3節 レディーミクストコンクリートの発注、製造及び運搬
(1) レディーミクストコンクリート

4節 コンクリートの打込み、締固め、養生及び補修
(1) ひび割れ誘発目地
(2) スペース
(3) 上面の仕上げ
(4) 構造体コンクリートの仕上り
(5) 養生
(6) 補修

5節 型枠
(1) 打増し厚さ
(2) 床型枠用鋼製デッキプレート
(3) 型枠
(4) 断熱材兼用型枠
(5) 型枠存置期間

6節 コンクリートの強度試験
(1) 試験の頻度
(2) 強度試験の方法

試験の目的
1 頻度
回数
供試体の作成方法
養生方法
材齢

(3) 調合管理強度の管理試験
(4) 構造体コンクリート強度の推定試験

(5) 検査機関
7節 各種コンクリート
(1) 寒中コンクリート
(2) 暑中コンクリート
(3) 無筋コンクリート

Table with 5 columns: Client (株式会社 ブレック研究所), Architect (福原信一 一級建築士事務所), Designer (株式会社 丹青社), Contractor (MOF合同会社), Title (構造特記・標準図01), Scale (DATE 24.10.31), Project (西表島世界遺産センター整備実施設計), Check (CHECK), No (S-01)

配筋標準図

認定品、メーカー品を使用する場合は各々の仕様に従うこととする。

1.1 鉄筋の断面表示記号

図中で使用する記号は表1.1を標準とする。

| D10 | D13 | D16 | D19 | D22 | D25 | D29 | D32 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| ● | × | ⊕ | ● | ○ | ⊙ | ⊗ | ⊚ |

1.2 鉄筋の加工

| 折曲げ角度 | 折曲げ図(余長) | 折曲げ内法直径(D) | | |
|-----------------|----------|-----------------------|---------|---------|
| | | SD295A, SD295B, SD345 | SD390 | |
| | | D16以下 | D19~D38 | D19~D38 |
| 180° | | | | |
| 135° | | | | |
| 90° | | 3d以上 | 4d以上 | 5d以上 |
| 135°及び90°(幅止め筋) | | | | |

- 片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90°フックまたは135°フックを用いる場合は、余長は4d以上とする。
- 90°未満の折曲げの内法直径は特記による。

図3.1 フックありの場合の重ね継手の長さ

(3) 隣り合う継手の位置は、表3.2による。ただし、壁の場合及びスラブ筋でD16以下の場合は除く。

| 重ね継手の場合 | フックありの場合 | フックなしの場合 |
|---------|----------|----------|
| | | |

ガス圧接継手・溶接継手

ガス圧接継手

カップラー

(b) 鉄筋の定着

(1) 鉄筋の定着の長さは、表3.3及び図3.2による。ただし、柱に取り付ける梁の引張鉄筋の定着長さは、特記なき場合、40d(軽量コンクリートの場合50d)と下表の定着長さのうち大きい値とする。

| 鉄筋の種類 | コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm ²) | 直線定着の長さ | | フックあり定着の長さ | |
|--------|---------------------------------------|---------|-----|------------|-----|
| | | L1 | L2 | L1h | L2h |
| SD295A | 18 | 45d | 40d | 35d | 30d |
| | 21 | 40d | 35d | 30d | 25d |
| SD295B | 24, 27 | 35d | 30d | 25d | 20d |
| | 30, 33, 36 | 35d | 30d | 25d | 20d |
| SD345 | 18 | 50d | 40d | 35d | 30d |
| | 21 | 45d | 35d | 30d | 25d |
| SD390 | 24, 27 | 45d | 40d | 35d | 30d |
| | 30, 33, 36 | 45d | 40d | 35d | 30d |

(注) 1. L1, L2h: 2. 以外の直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ。
 2. L2, L2h: 割裂破壊のおそれのない箇所への直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ。
 3. L3: 小梁及びスラブの下端筋の直線定着の長さ。ただし、基礎耐力スラブ及びこれを受ける小梁を除く。片持ち小梁及び片持ちスラブの場合は、20d及び10dを25d以上とする。
 4. L3h: 小梁及びスラブの下端筋のフックあり定着の長さ。
 5. フックあり定着の場合は、図3.2に示すようにフック部分Ωを含まない。また、中間部での折曲げは行わない。
 6. 打増し部分に、耐力壁、大梁筋がとりつく場合は、耐力壁、大梁筋の定着長さには、打増し厚さを含まない。
 7. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

表3.4 鉄筋の投影定着の長さ

| 鉄筋の種類 | コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm ²) | La | Lb |
|--------|---------------------------------------|-----|-----|
| SD295A | 18 | 20d | 15d |
| | 21 | 15d | 15d |
| SD295B | 24, 27 | 15d | 15d |
| | 30, 33, 36 | 15d | 15d |
| SD345 | 18 | 20d | 20d |
| | 21 | 20d | 20d |
| SD390 | 24, 27 | 20d | 20d |
| | 30, 33, 36 | 20d | 15d |

(注) 1. La: 梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ。(基礎梁、片持ち梁及び片持ちスラブを含む。)
 2. Lb: 小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ。(片持ち小梁及び片持ちスラブを除く。)
 3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

(3) 溶接金網の継手及び定着は、図3.4による。なお、L2及びL3は表3.3の(注)による。

(4) スパイラル筋の継手及び定着は、図3.5による。

5.1 基礎

(a) 独立基礎

(b) 連続基礎

(c) べた基礎

(d) 基礎梁幅が柱幅より大きい場合の補強

(e) 鉄骨鉄筋コンクリート造の場合、主筋と平行する鉄骨とのあきは、(d)による。
 (f) 貫通孔に接する鉄筋のかぶり厚さは、(c)による。

最終端の納まり: 鉄筋の余長部の逃げ寸法 a は150mm程度とする。連続端の納まり: 上端筋、下端筋ともに連続して通し配筋とするか、基礎梁面より定着長さをとる。

べた基礎でない場合の底盤の配筋はスラブ配筋による。ただし、水圧を受ける場合は構造図による。

(d) 杭基礎 構造図による。

(e) 基礎に段差がある場合の打増し

(b) 独立基礎、杭基礎で基礎梁にスラブが付かない場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.5による。

(c) 独立基礎、杭基礎で基礎梁にスラブが付く場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.6による。ただし、耐力スラブが付く場合は、(d)による。

(d) 連続基礎及びべた基礎の場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.7による。

(e) 基礎梁幅が柱幅より大きい場合の補強

(注) 1. 図示のない事項は、7.11による。
 2. ≡印は、継手及び余長を示す。
 3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
 4. 梁主筋のみ込み長さ(柱せいの3/4倍以上)

(注) 1. 基礎梁あばら筋の通し順は下記による。
 ・外端列を通す。
 ・外端列以外は梁幅の大きいほうを通す。梁幅が同じ場合は、監督職員との協議による。

2.1 異形鉄筋の末端部

次の部分に使用する異形鉄筋の末端部にはフックを付ける。
 (1) 柱及び梁(基礎梁を除く)の出隅部

図2.1 末端部にフックを必要とする出隅部の鉄筋(●印)

(2) 煙突の鉄筋(壁の一部となる場合を含む)
 (3) 杭基礎のベース筋
 (4) 帯筋、あばら筋及び幅止め筋
 (5) 末端部フックの適用除外 ○有 ・無

(注) 1. L1, L2h: 2. 以外の直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ。
 2. L2, L2h: 割裂破壊のおそれのない箇所への直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ。
 3. L3: 小梁及びスラブの下端筋の直線定着の長さ。ただし、基礎耐力スラブ及びこれを受ける小梁を除く。片持ち小梁及び片持ちスラブの場合は、20d及び10dを25d以上とする。
 4. L3h: 小梁及びスラブの下端筋のフックあり定着の長さ。
 5. フックあり定着の場合は、図3.2に示すようにフック部分Ωを含まない。また、中間部での折曲げは行わない。
 6. 打増し部分に、耐力壁、大梁筋がとりつく場合は、耐力壁、大梁筋の定着長さには、打増し厚さを含まない。
 7. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

直線定着の長さ

フックあり定着の長さ

図3.2 直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ

(2) 梁主筋の柱内定着の方法又は、小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の方法は、図3.3により、次の(i)、(ii)及び(iii)を全て満足するものとする。
 (i) 全長は表3.3に示す直線定着の長さ以上
 (ii) 余長は8d以上
 (iii) 仕口面から鉄筋面外までの投影定着長さは表3.4に示す長さとする。ただし、梁主筋の柱内定着においては、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。

全長

余長

梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ

小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ

図3.3 折曲げ定着の方法

4.1 最小かぶり厚さ

(a) 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、表4.1による。ただし、柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。

| 構造部分の種類 | 最小かぶり厚さ | | 設計かぶり厚さ | |
|-------------|-------------|---------|---------|--------|
| | スラブ | 耐力壁以外の壁 | 仕上がりあり | 仕上がりなし |
| 土に接しない部分 | 屋内 | 仕上がりあり | 30 | 40 |
| | 屋外 | 仕上がりあり | 30 | 40 |
| | 屋外 | 仕上がりなし | 50 | 70 |
| 土に接する部分 | 基礎、擁壁、耐力スラブ | 仕上がりなし | 50 | 70 |
| | 柱、梁、スラブ、壁 | | *50 | *70 |
| 煙突等高熱を受ける部分 | 基礎、擁壁、耐力スラブ | | *60 | *70 |
| | | | 60 | 70 |

(注) 1. *印のかぶり厚さは、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートの場合は特記による。
 2. 「仕上がりあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、鉄筋の耐久性上有効でない仕上げ(仕上塗材、塗装等)のものを除く。
 3. スラブ、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨コンクリートの厚さを含まない。
 4. 杭基礎の場合のかぶり厚さは、杭先端からとする。
 5. 塩害をうけるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所は、特記による。

(b) 柱、梁等の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、最小かぶり厚さに10mmを加えた数値を標準とする。

(c) 鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。

(d) 鉄筋相互のあきは図4.1により、次の値のうち最大のもの以上とする。
 (1) 粗骨材の最大寸法の1.25倍
 (2) 25mm
 (3) 隣り合う鉄筋の平均径(呼び名の数値)の1.5倍

間隔

あき

Dは、鉄筋の最大外径

図4.1 鉄筋相互のあき

最終端の納まり: 鉄筋の余長部の逃げ寸法 a は150mm程度とする。連続端の納まり: 上端筋、下端筋ともに連続して通し配筋とするか、基礎梁面より定着長さをとる。

べた基礎でない場合の底盤の配筋はスラブ配筋による。ただし、水圧を受ける場合は構造図による。

(d) 杭基礎 構造図による。

(e) 基礎に段差がある場合の打増し

最終端の納まり: 鉄筋の余長部の逃げ寸法 a は150mm程度とする。連続端の納まり: 上端筋、下端筋ともに連続して通し配筋とするか、基礎梁面より定着長さをとる。

べた基礎でない場合の底盤の配筋はスラブ配筋による。ただし、水圧を受ける場合は構造図による。

(d) 杭基礎 構造図による。

(e) 基礎に段差がある場合の打増し

(a) 一般事項

(1) あばら筋の径および間隔は、構造図による。
 (2) あばら筋組立の形及びフックの位置は、7.2 (b) による。ただし、梁の上下端にスラブが付く場合で、かつ、梁せいが1.5m以上の場合は、図5.8によることができる。

一般の場合

重ね継手とする場合

図5.8 あばら筋組立の形及びフックの位置

(b) 腹筋及び幅止め筋は、7.2 (d) による。

(c) あばら筋の割付けは、7.2 (c) による。

| 鉄筋の種類 | コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm ²) | L1 (フックなし) | L1h (フックあり) |
|--------|---------------------------------------|------------|-------------|
| SD295A | 18 | 45d | 35d |
| | 21 | 40d | 30d |
| SD295B | 24, 27 | 35d | 25d |
| | 30, 33, 36 | 35d | 25d |
| SD345 | 18 | 50d | 35d |
| | 21 | 45d | 30d |
| SD390 | 24, 27 | 40d | 30d |
| | 30, 33, 36 | 35d | 25d |

(注) 1. L1, L1h: フックなし重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ。
 2. フックありの場合のL1hは、図3.1に示すようにフック部分Ωを含まない。
 3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

(注) 1. L1, L1h: 2. 以外の直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ。
 2. L2, L2h: 割裂破壊のおそれのない箇所への直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ。
 3. L3: 小梁及びスラブの下端筋の直線定着の長さ。ただし、基礎耐力スラブ及びこれを受ける小梁を除く。片持ち小梁及び片持ちスラブの場合は、20d及び10dを25d以上とする。
 4. L3h: 小梁及びスラブの下端筋のフックあり定着の長さ。
 5. フックあり定着の場合は、図3.2に示すようにフック部分Ωを含まない。また、中間部での折曲げは行わない。
 6. 打増し部分に、耐力壁、大梁筋がとりつく場合は、耐力壁、大梁筋の定着長さには、打増し厚さを含まない。
 7. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

直線定着の長さ

フックあり定着の長さ

図3.2 直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ

(2) 梁主筋の柱内定着の方法又は、小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の方法は、図3.3により、次の(i)、(ii)及び(iii)を全て満足するものとする。
 (i) 全長は表3.3に示す直線定着の長さ以上
 (ii) 余長は8d以上
 (iii) 仕口面から鉄筋面外までの投影定着長さは表3.4に示す長さとする。ただし、梁主筋の柱内定着においては、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。

全長

余長

梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ

小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ

図3.3 折曲げ定着の方法

(注) 1. *印のかぶり厚さは、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートの場合は特記による。
 2. 「仕上がりあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、鉄筋の耐久性上有効でない仕上げ(仕上塗材、塗装等)のものを除く。
 3. スラブ、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨コンクリートの厚さを含まない。
 4. 杭基礎の場合のかぶり厚さは、杭先端からとする。
 5. 塩害をうけるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所は、特記による。

(b) 柱、梁等の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、最小かぶり厚さに10mmを加えた数値を標準とする。

(c) 鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。

(d) 鉄筋相互のあきは図4.1により、次の値のうち最大のもの以上とする。
 (1) 粗骨材の最大寸法の1.25倍
 (2) 25mm
 (3) 隣り合う鉄筋の平均径(呼び名の数値)の1.5倍

間隔

あき

Dは、鉄筋の最大外径

図4.1 鉄筋相互のあき

最終端の納まり: 鉄筋の余長部の逃げ寸法 a は150mm程度とする。連続端の納まり: 上端筋、下端筋ともに連続して通し配筋とするか、基礎梁面より定着長さをとる。

べた基礎でない場合の底盤の配筋はスラブ配筋による。ただし、水圧を受ける場合は構造図による。

(d) 杭基礎 構造図による。

(e) 基礎に段差がある場合の打増し

最終端の納まり: 鉄筋の余長部の逃げ寸法 a は150mm程度とする。連続端の納まり: 上端筋、下端筋ともに連続して通し配筋とするか、基礎梁面より定着長さをとる。

べた基礎でない場合の底盤の配筋はスラブ配筋による。ただし、水圧を受ける場合は構造図による。

(d) 杭基礎 構造図による。

(e) 基礎に段差がある場合の打増し

(a) 一般事項

(1) あばら筋の径および間隔は、構造図による。
 (2) あばら筋組立の形及びフックの位置は、7.2 (b) による。ただし、梁の上下端にスラブが付く場合で、かつ、梁せいが1.5m以上の場合は、図5.8によることができる。

一般の場合

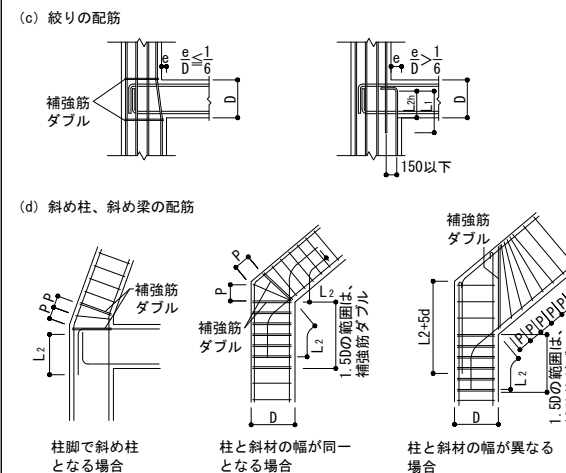
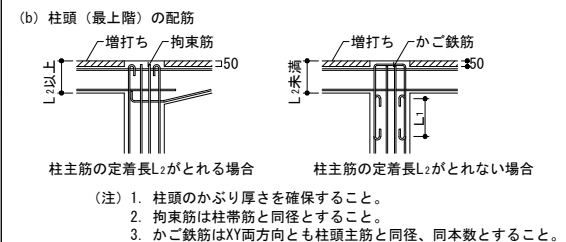
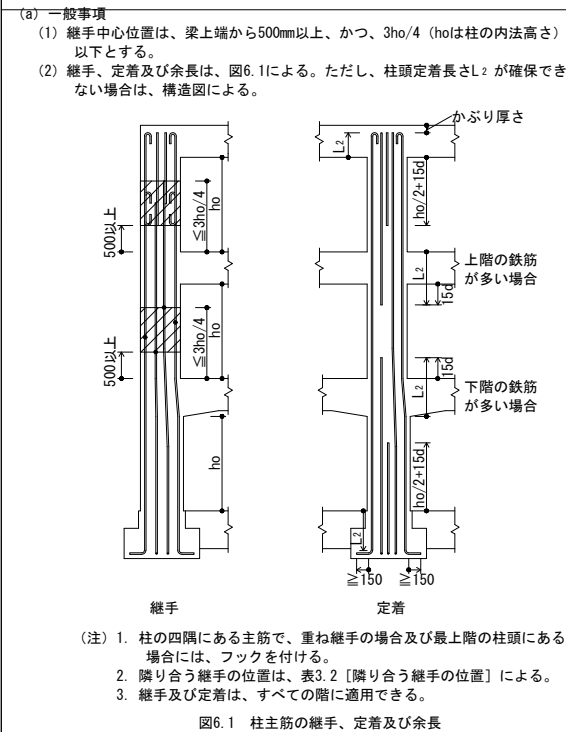
重ね継手とする場合

図5.8 あばら筋組立の形及びフックの位置

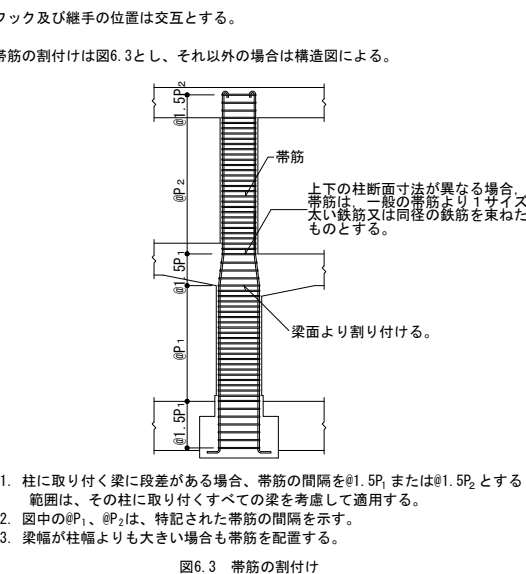
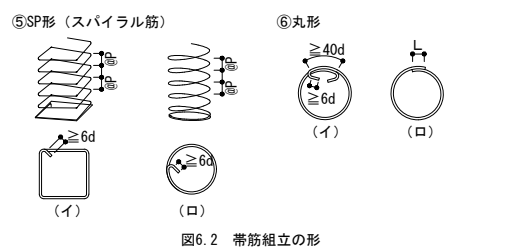
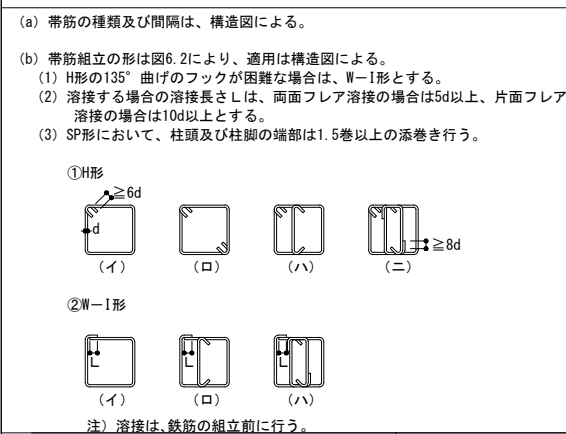
(b) 腹筋及び幅止め筋は、7.2 (d) による。

(c) あばら筋の割付けは、7.2 (c) による。

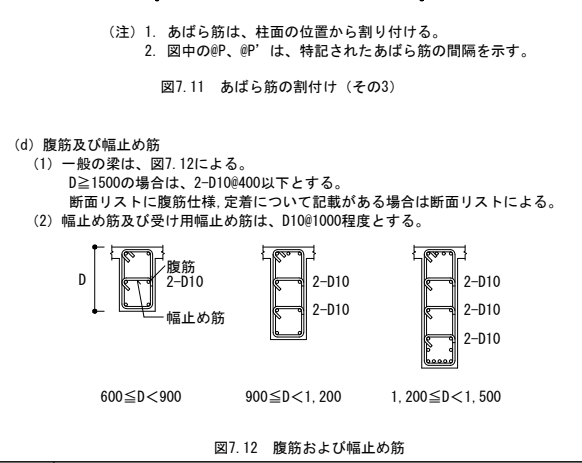
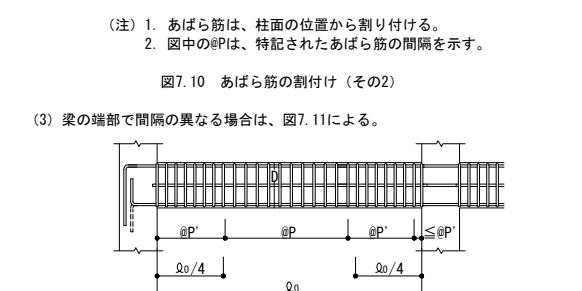
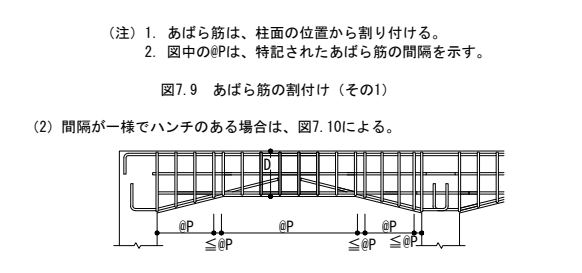
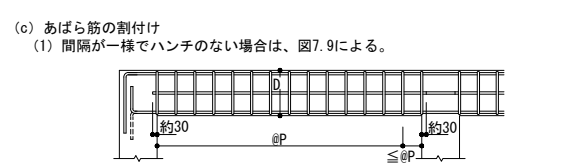
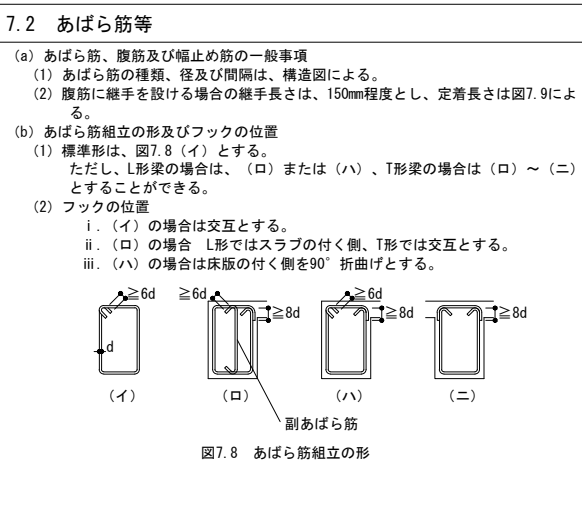
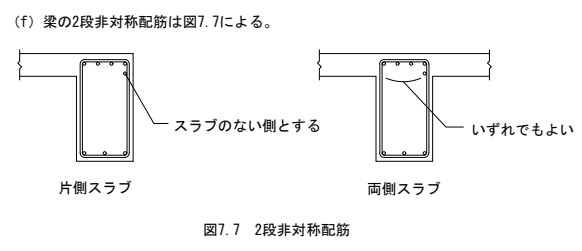
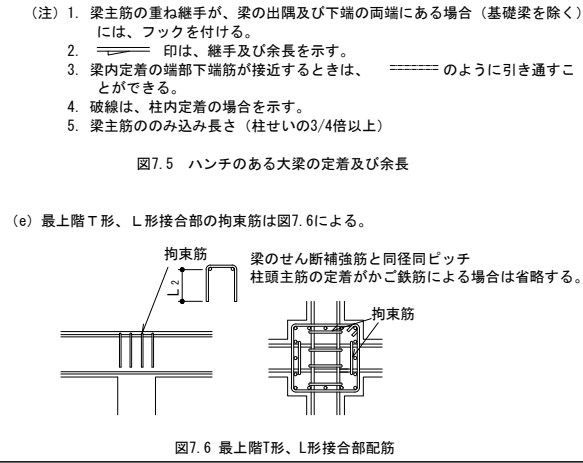
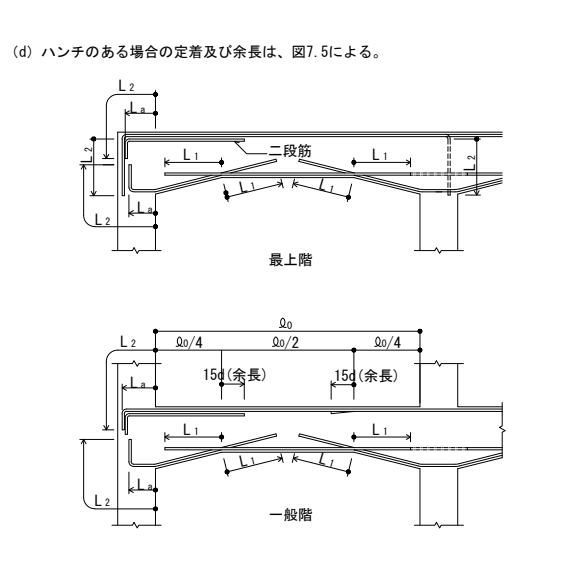
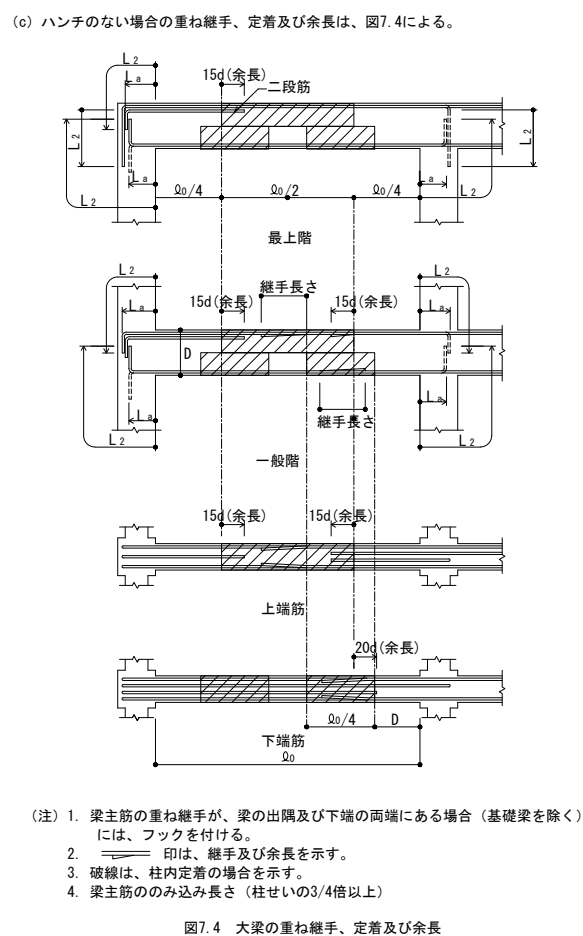
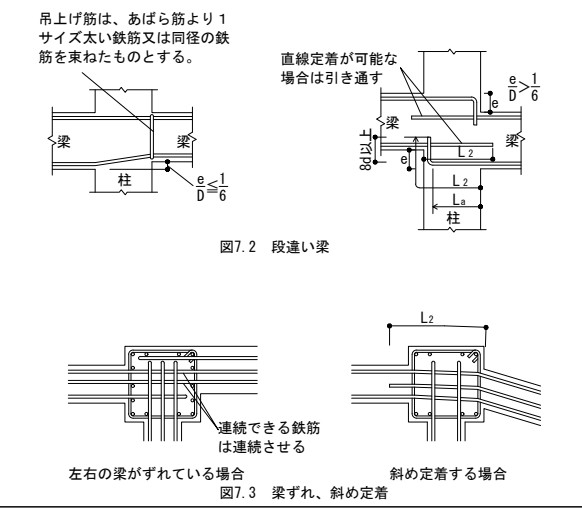
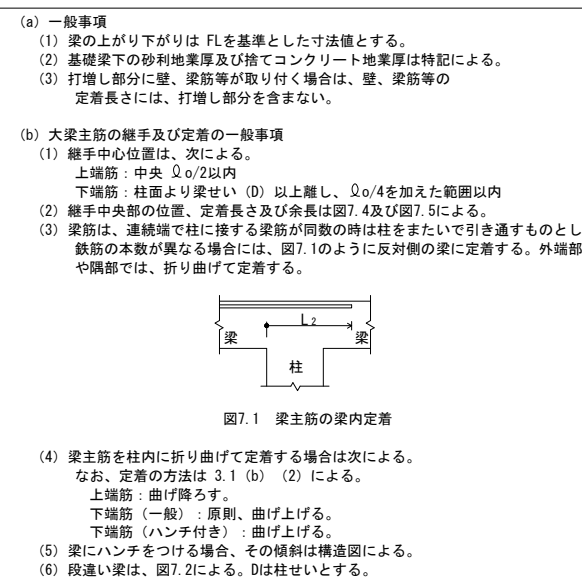
6.1 柱



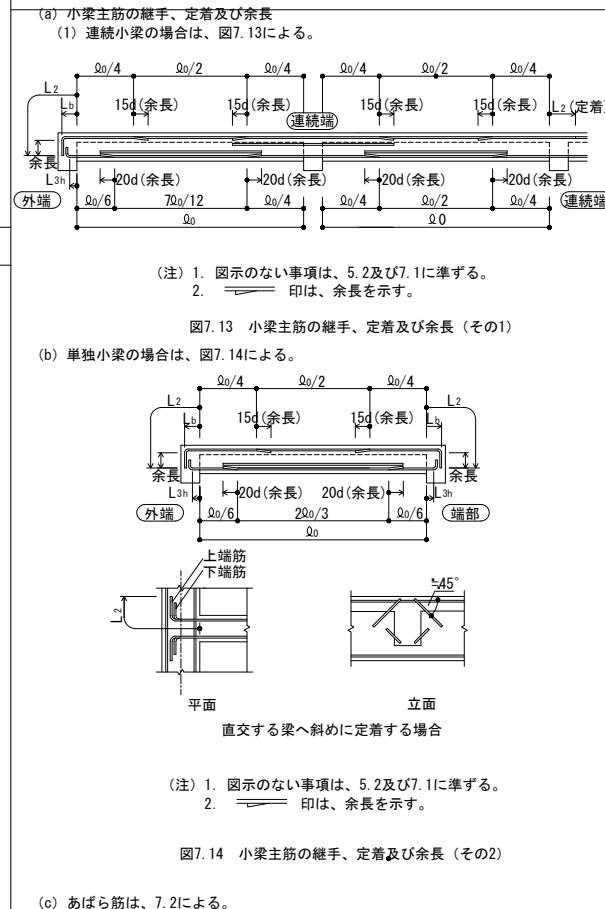
6.2 帯筋



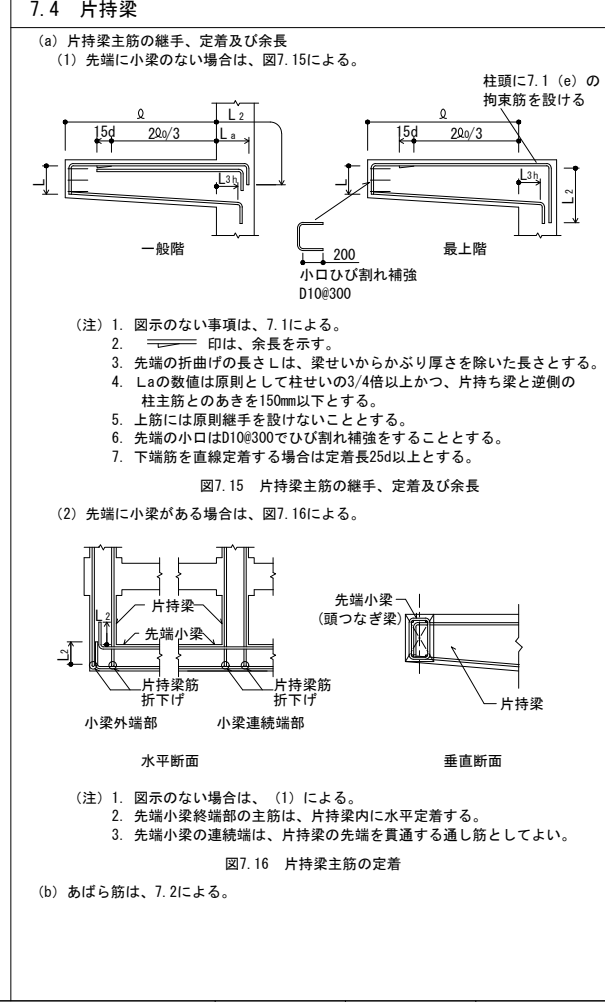
7.1 大梁



7.3 小梁



7.4 片持梁



8.1 壁

- (a) 一般事項
- 壁筋の重ね継手長さはL₁、定着長さはL₂とする。鉄筋の継手位置は、柱・梁部以外とする。
 - 幅止め筋は、縦横ともD10@1000程度とする。
 - 打増し部分に壁が取り付く場合は、鉄筋の定着長さに打増し部分を含まない。

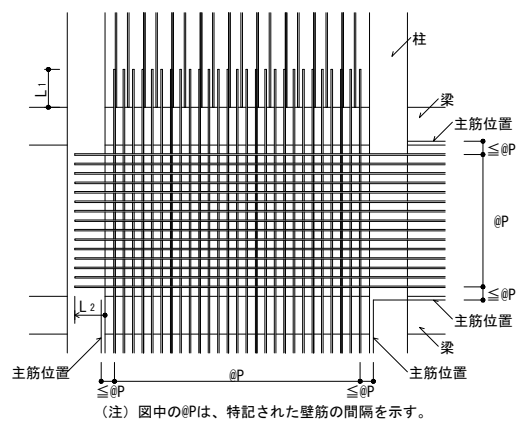


図8.1 壁の配筋

(b) 壁の標準配筋は表8.1により、種別は構造図による。

表8.1 壁の標準配筋

| 種別 | 縦筋及び横筋 | 水平断面図 (mm) |
|-------|-------------|------------|
| sW12 | D10@200シングル | 120 |
| sW15A | D10@150シングル | 150 |
| sW15B | D10@100シングル | 150 |
| sW18A | D10@200ダブル | 180 |
| sW18B | D10@150ダブル | 180 |
| sW20A | D13@200ダブル | 200 |
| sW20B | D13@150ダブル | 200 |

(注) 壁筋の配筋順序は、規定しない。

(c) 片持スラブ階段を受ける壁の標準配筋は表8.2により、種別は構造図による。

表8.2 片持スラブ階段を受ける壁の標準配筋

| 種別 | 縦筋及び横筋 | 水平断面図 (mm) | 階段の配筋種別(表11.1) |
|------|---------------|------------|----------------|
| sKW1 | 縦筋 D13@200ダブル | 180 | KA1 KA3 |
| | 横筋 D10@200ダブル | | |
| sKW2 | 縦筋 D13@150ダブル | 200 | KA2 KA4 |
| | 横筋 D10@200ダブル | | |

(注) 縦筋は、横筋の外側に配筋する。

(d) 土圧を受ける壁の配筋は、構造図及び8.4による。

(e) 壁の交差部及び端部の配筋は、図8.2による。

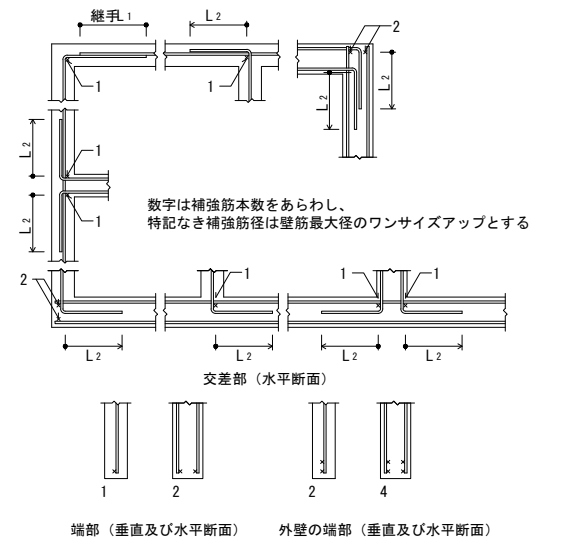
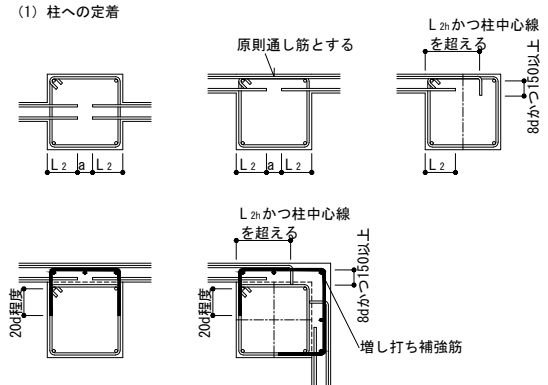


図8.2 壁の交差部及び端部の配筋

(f) 柱、梁への定着は、図8.3による。



(注) 1. a区間は通し配筋でもよい。
2. 増し打ち補強は11.6による。

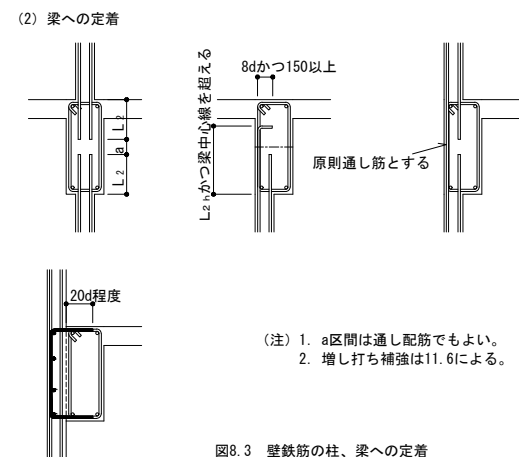


図8.3 壁鉄筋の柱、梁への定着

8.2 壁の補強

(a) 壁開口部の補強

- 耐震壁を除く壁開口部の補強筋は、A形は表8.3、B形は表8.4とし、適用は12.4による。なお、耐震壁の補強筋は、構造図による。

表8.3 壁開口部補強筋 (A形)

| 壁の種別 | 補強筋 | |
|----------|-------|-------|
| | 縦横 | 斜め |
| W12, W15 | 1-D13 | 1-D13 |
| W18, W20 | 2-D13 | 2-D13 |

表8.4 壁開口部補強筋 (B形)

| 壁の種別 | 補強筋 | |
|----------|-------|-------|
| | 縦横 | 斜め |
| W12, W15 | 2-D13 | 1-D13 |
| W18, W20 | 4-D13 | 2-D13 |

(2) 壁開口部補強の定着長さは、図8.4による。

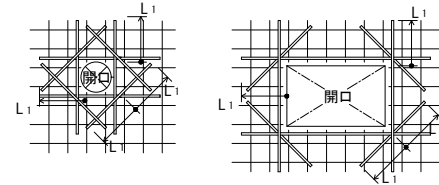


図8.4 壁開口部補強筋の定着長さ

(b) コンセントボックス等を壁に埋め込む場合の補強は、12.1(c)(8)による。

8.3 耐震スリット

- 耐震スリットの位置は構造図による。断面形状、補強筋は図8.5による。
- 補強筋は防錆加工を施す。外壁は防水仕様とし、耐火仕様は意匠図による。
- 補強筋は養生カバー、絶縁カバーなどと併用し付着性能を落とすこととする。

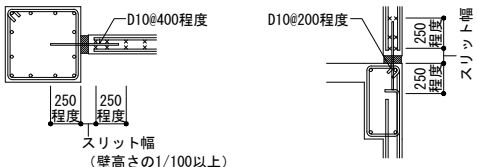


図8.5 耐震スリット形状、補強筋

8.4 地下外壁

(a) 地下外壁の配筋

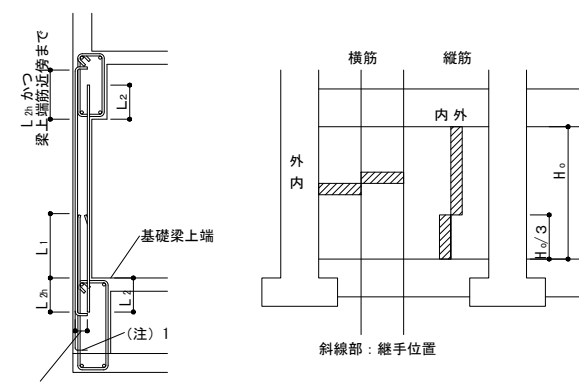


図8.6 地下外壁配筋

(注) 1. 1本おき程度に耐任スラブ上端まで鉄筋を下げる。

8.5 誘発目地

(a) 一般事項

- 誘発目地は外壁のほか、笠木天端や防水あごも同様に設ける。
- 誘発目地は幅20mm程度の台形形状とし、弾性シーリング材を設ける。
- 誘発目地は増打ちに設け、構造躯体は欠損させない。
- 欠損材を用いる場合は、断面欠損率25%を目標とする。
- 欠損材を用いる場合は、丸鋼/高強度モルタルを充填した塩ビパイプ/アングルなどとし、監督職員の承認を受ける。
- 誘発目地の有無及び位置は施工図に記載し、監督職員の承認を受ける。

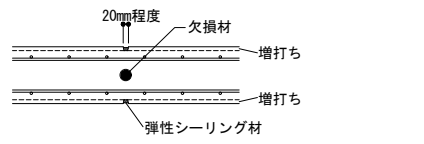


図8.7 耐震壁の誘発目地の詳細例

(b) 誘発目地の位置

- 目地間隔は3m以下を標準とする。
- 目地に囲まれる面積は25㎡以下、辺長比1.25以下とする。
- 柱と壁が連続し、開口がない一般の壁面部分の場合、柱の高さに設ける。
- 柱際から離して設ける場合でも、柱際から500mm以下の位置とする。
- 開口部がある場合、開口部のコーナーを通るように設ける。
- 開口長さがスパンの1/4以上の場合は原則両側に設ける。
- 開口間隔の最小寸法dが500mm以下は1つの開口として扱う。

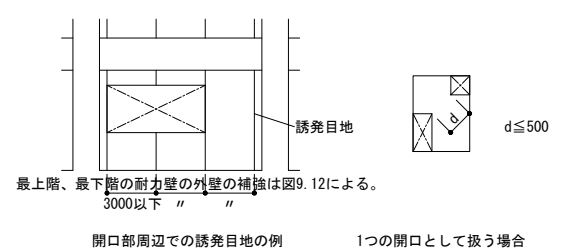


図8.8 誘発目地位置

9.1 スラブ

- スラブ及び土間コンクリートの上がり下がり、FLを基準とした寸法値とする。
- スラブの標準配筋 (S形標準配筋) は表9.1及び図9.1により、配筋種別及びスラブ厚さは、構造図による。

表9.1 S形標準配筋

| 配筋種別 | 短辺方向 (主筋) 全域 | | 長辺方向 (配力筋) 全域 | |
|------|--------------|---------------|---------------|---------------|
| | 短辺方向 (主筋) 全域 | 長辺方向 (配力筋) 全域 | 短辺方向 (主筋) 全域 | 長辺方向 (配力筋) 全域 |
| sS1 | D13@100 | D13@100 | sS8 | D10, D13@150 |
| sS2 | 同上 | D13@150 | sS9 | 同上 |
| sS3 | 同上 | D10, D13@150 | sS10 | D10, D13@200 |
| sS4 | D13@150 | D13@150 | sS11 | 同上 |
| sS5 | 同上 | D10, D13@150 | sS12 | 同上 |
| sS6 | 同上 | D10@150 | sS13 | D10@200 |
| sS7 | D10, D13@150 | D10, D13@150 | sS14 | 同上 |

(注) 上端筋、下端筋とも同一配筋とする。

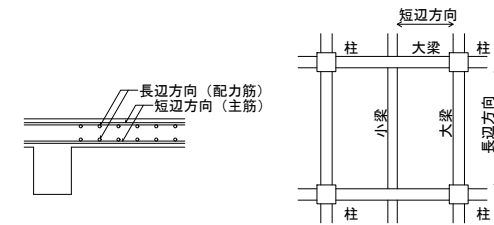


図9.1 スラブの配筋

- 配筋の割付けは、中央から行き、端部は定められた間隔以下とする。
- 鉄筋の重ね継手長さは、L₁とする。
- 定着長さ及び受け筋は、図9.2による。ただし、引き通すことができない場合は、図9.3により梁内に定着する。

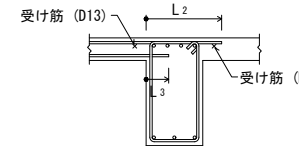


図9.2 スラブ筋の定着長さ及び受け筋 (その1)

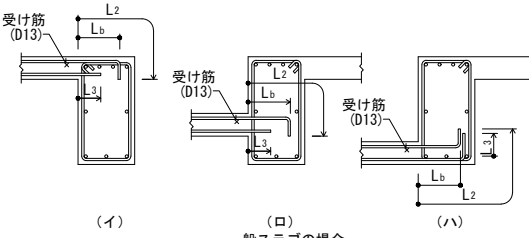


図9.3 スラブ筋の定着長さ及び受け筋 (その2)

(6) 継手位置は図9.4による。

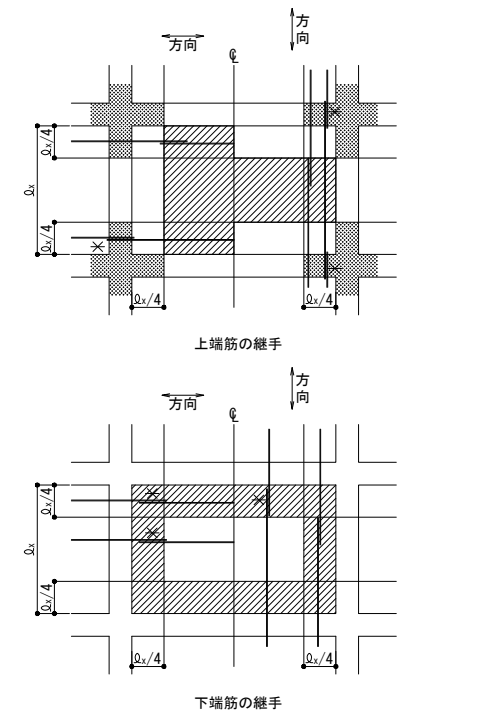


図9.4 スラブ筋の継手位置

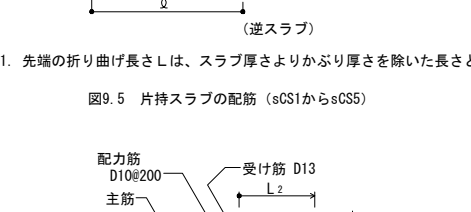
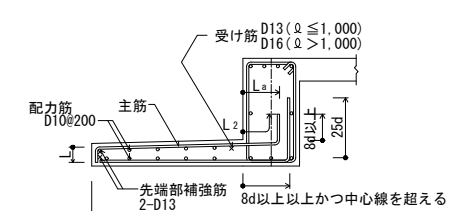
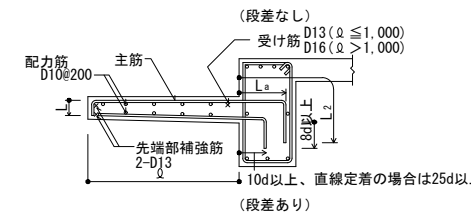
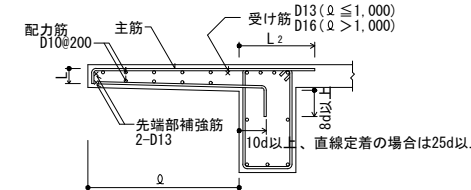
9.2 片持スラブ

- 片持スラブの配筋は、次による。
- 片持スラブの標準配筋 (CS形標準配筋) は、表9.2並びに図9.5及び図9.6により配筋種別及びスラブ厚さは、構造図による。

表9.2 sCS形標準配筋

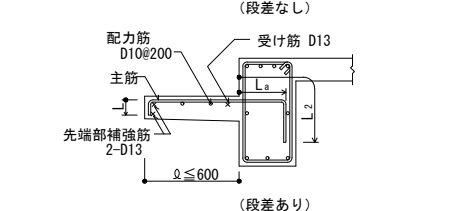
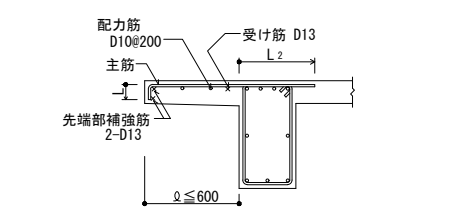
| 配筋種別 | 主筋 | | 配筋種別 | 主筋 | |
|------|--------------|--------------|------|---------|--------------|
| | 上 | 下 | | 上 | 下 |
| sCS1 | D13@100 | D13@200 | sCS5 | D10@200 | D10@400 |
| | D13@200 | D13@300 | | sCS6 | D10, D13@200 |
| sCS2 | D10, D13@150 | D10, D13@300 | sCS7 | | D10@200 |
| | D10, D13@200 | D10@200 | | | |

受け筋は梁面から100mm以内の位置とする。



(注) 1. 先端の折り曲げ長さは、スラブ厚よりかぶり厚さを除いた長さとする。

図9.5 片持スラブの配筋 (sCS1からsCS5)



(注) 1. 先端の折り曲げ長さは、スラブ厚よりかぶり厚さを除いた長さとする。

図9.6 片持スラブの配筋 (sCS6及びsCS7)

(2) 先端に壁が付く場合の配筋は、図9.7による。

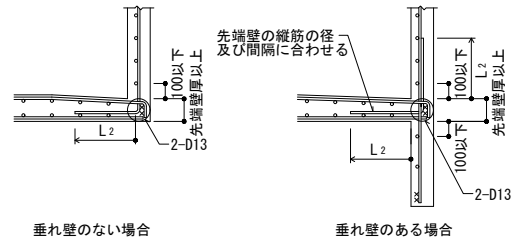


図9.7 先端に壁が付く場合の配筋

(3) 出隅部

- (i) 補強の配筋は構造図により、配筋方法は、図9.8による。
- (ii) 出隅受け部分(図9.8の斜線部分)の補強筋は構造図による。
- (iii) 特記なき補強筋は片持ちスラブの配筋と同径とし、ピッチが半以下となるようにする。

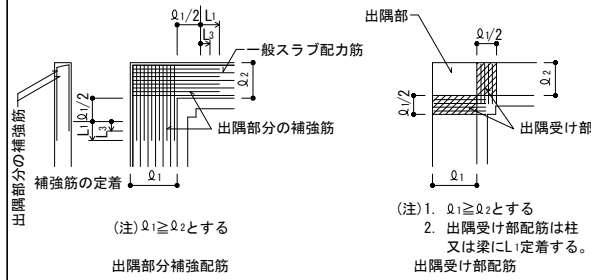
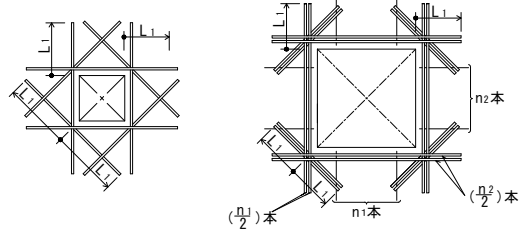


図9.8 片持ちスラブ出隅部の補強配筋

9.3 スラブ等の補強

(a) スラブ開口部の補強

スラブ開口部の補強は、構造図による。構造図になければ、(i)~(iii)による。
 (i) スラブ開口の最大径が700mm以下の場合、図9.9により開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋を補強し、隅角部に斜め方向に2-D13 (Q = 2L1, シングルを上下筋の内側に配筋する。だめ穴の場合は、打設後継手を設けられるだけ鉄筋を出しておく。



開口の最大径が300mm以下の場合 開口の最大径が700mm以下の場合

図9.9 スラブ開口部の補強配筋1

(ii) 小開口(≦最大径300mm程度)を連続して設けた場合
 開口によって切断される鉄筋と同量以上の鉄筋を開口を避けて補強する。開口の間に鉄筋を通す場合の開口のあきは、かぶり70mm以上確保する。

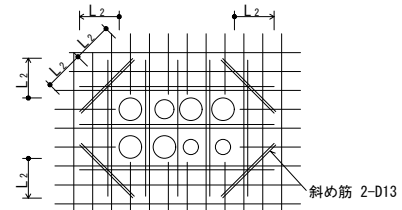


図9.10 スラブ開口部の補強配筋2

(iii) スラブ開口の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

(b) 屋根スラブの補強

屋根スラブの出隅部及び入隅部分には、図9.11により、補強筋を上端筋の下側に配置する。

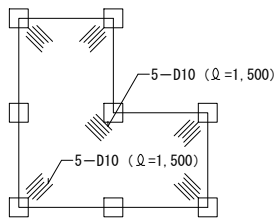


図9.11 出隅及び入隅部の補強配筋

(c) 外壁の補強

最上階、最下階の耐力壁の外壁の補強は図9.12による。

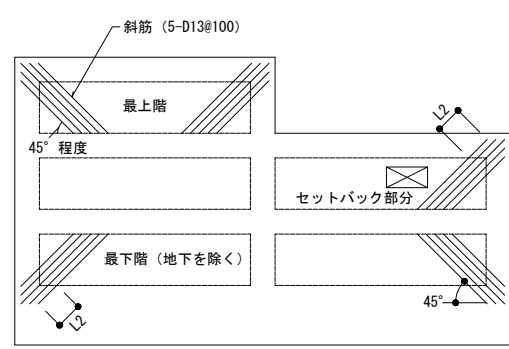


図9.12 耐力壁のひび割れ防止筋

(d) 土間スラブの打継ぎ補強

基礎梁とスラブを一体打ちとして、打継ぎを設ける場合の補強は図9.13による。ただし、土間スラブとは、土に接するスラブでS形の配筋によるものをいう。a>300の場合は特記による。

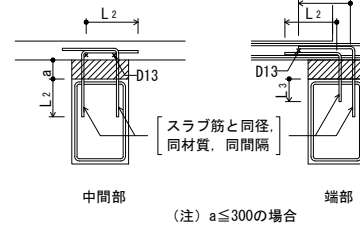


図9.13 打継ぎ補強配筋

(e) 土間コンクリートの補強

土間コンクリートの補強筋は、構造図による。なお、基礎梁との接合部は、図9.14による。a>300の場合は特記による。

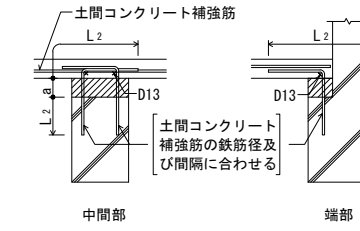


図9.14 土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋

(f) 段差スラブの補強

段差補強は、図9.15による。

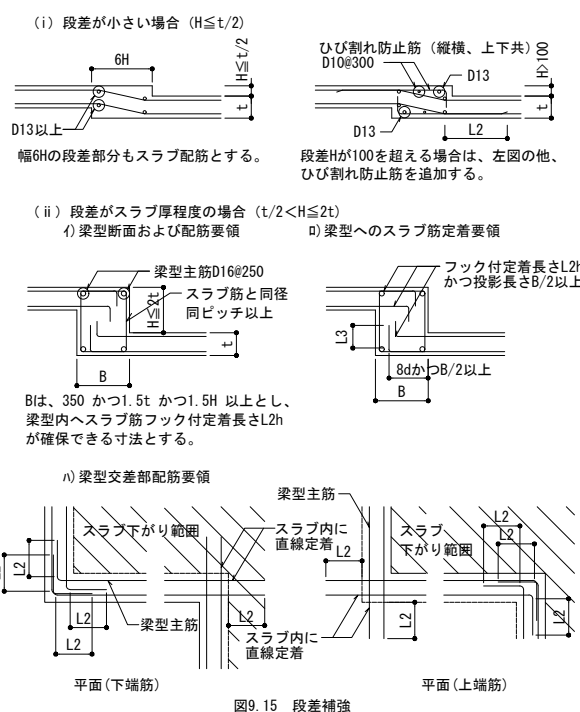


図9.15 段差補強

(ii) スラブにトラフの段差がある場合、11.3(c)(1)による。

10.1 片持ちスラブ階段

片持ちスラブ階段の基準配筋は、表10.1及び図10.1により、寸法及び配筋種別は、構造図による。

表10.1 片持ちスラブ階段の基準配筋

| 配筋種別 | KA1 | KA2 |
|------|-----|-----|
| 配筋図 | | |
| 配筋種別 | KA3 | KA4 |
| 配筋図 | | |

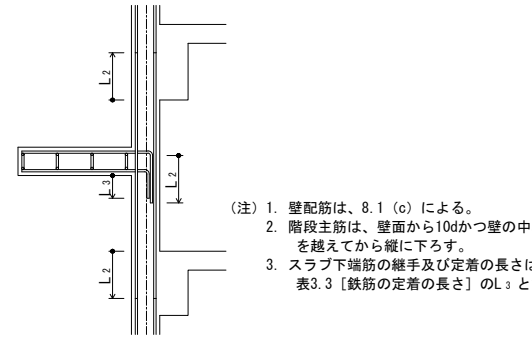


図10.1 片持ちスラブ階段配筋の定着

10.2 二辺固定スラブ階段

二辺固定スラブ階段の基準配筋は表10.2並びに図10.2及び図10.3により、寸法及び配筋種別は、構造図による。

表10.2 二辺固定スラブ階段の基準配筋

| 配筋種別 | 上端筋、下端筋とも(全域) |
|------|---------------|
| KB1 | D13@200 |
| KB2 | D13@150 |
| KB3 | D13@100 |
| KB4 | D13, D16@150 |
| KB5 | D16@150 |
| KB6 | D16@125 |
| KB7 | D16@100 |

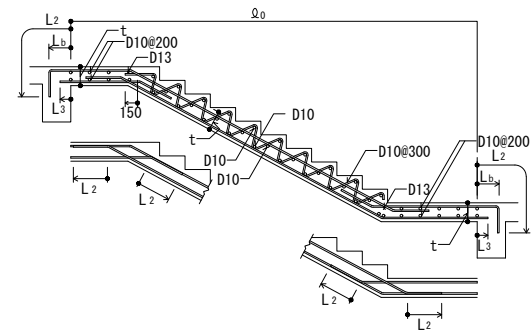


図10.2 二辺固定スラブ階段配筋(その1)

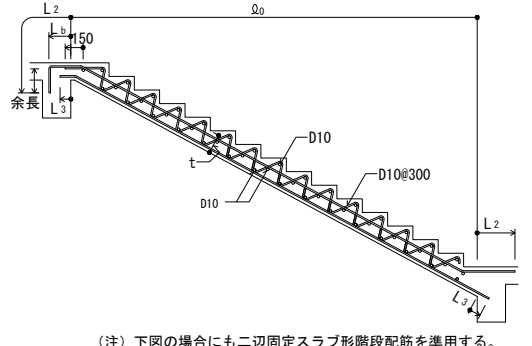


図10.3 二辺固定スラブ階段配筋(その2)

(注) 下図の場合にも二辺固定スラブ階段配筋を準用する。

11.1 バラベット

バラベットの先端補強筋は、図11.1による。バラベット配筋は厚さに応じて、表8.1のsW12, sW15A, sW18A, sW20Aとする。

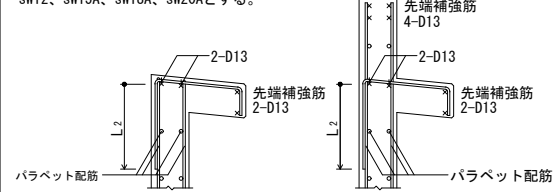


図11.1 バラベットの配筋

11.2 擁壁

宅地造成等規制区域外での高さ2m以下の擁壁の鉄筋の定着長さは、図11.2により、コンクリートの厚さ及び配筋は構造図による。

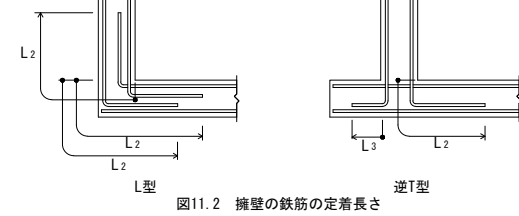
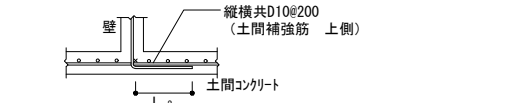


図11.2 擁壁の鉄筋の定着長さ

11.3 土間スラブ・土間コンクリートの配筋

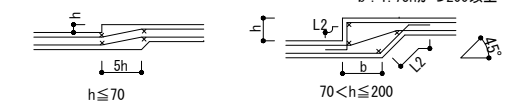
(a) 土間コンクリート

- (1) 土間コンクリート厚、補強筋は構造図による。
- (2) 土間コンクリートの上にRC壁が取り付け、その下に地中梁がない場合は、下図の補強を行う。

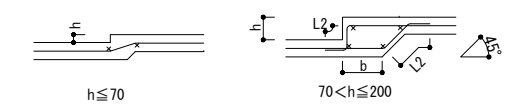


(b) 段差のある土間スラブ・土間コンクリートの補強

- (1) 同一土間スラブに段差がある場合、下図の補強を行う。ただし、h>200の場合は、特記による。 b: 1.75hかつ200以上

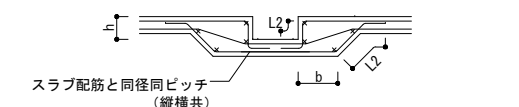


- (2) 同一土間コンクリートに段差がある場合、下図の補強を行う。ただし、h>200の場合は、特記による。 b: 1.75hかつ200以上

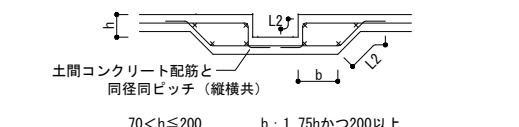


(c) トラフの補強

- (1) スラブにトラフの段差がある場合、下図の補強を行う。ただし、h>200の場合は、特記による。

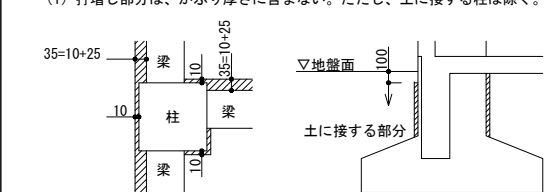


- (2) 土間コンクリートにトラフの段差がある場合、下図の補強を行う。ただし、h>200の場合は、特記による。



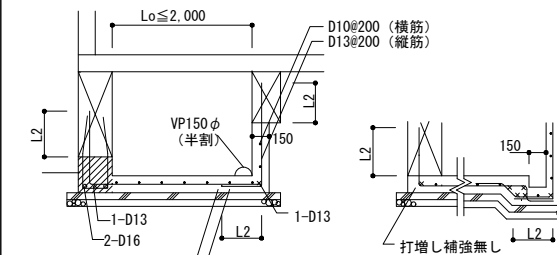
11.4 その他の配筋

(a) 土に接する部分の打増し
 (1) 打増し部分は、かぶり厚さに含まない。ただし、土に接する柱は除く。



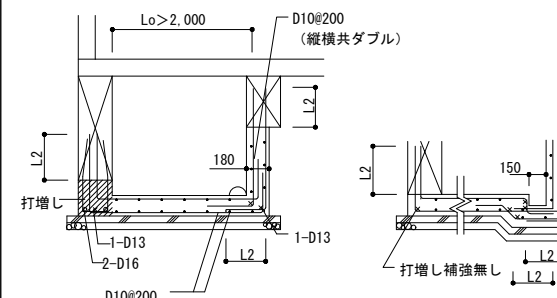
(b) ビット配筋図

- (1) 便所ビット及び配管ビットの配筋は下図による。



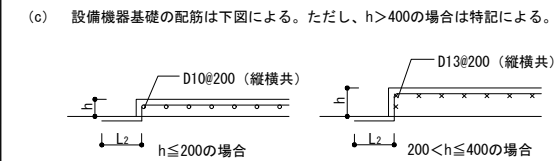
打増し Lo ≤ 2,000 Lo: 短辺方向の内法長さ

地中梁下端とビット底板上端が同じ場合



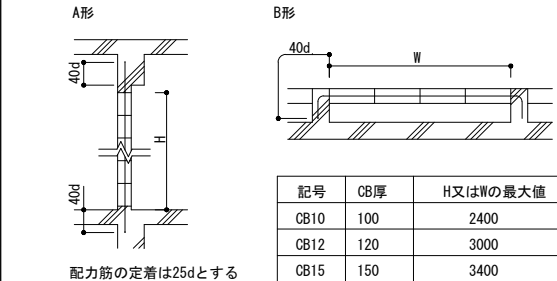
Lo > 2,000 Lo: 短辺方向の内法長さ

地中梁下端とビット底板上端が同じ場合



- (d) コンクリートブロック(CB)帳壁

- (1) 特記なきCBは厚さ120mmとする。
- (2) CBの積み高さ又は積み幅は下表の値とし、その上又は下に同じ厚さのRC壁若しくはその両端にRCリブ壁を設ける。
- (3) CBは垂れ壁・腰壁又は帳壁に定着する。特記がなければA型(垂れ壁・立ち上がり壁)とする。
- (4) 垂れ壁、立ち上がり壁の配筋は、タテ・ヨコD10@200シングルとする。
- (5) コンクリートブロックの腰壁・立ち上がり壁又は帳壁への配筋の定着は下図による。

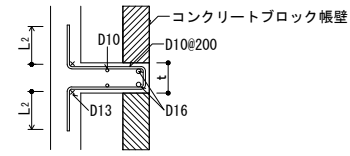


| 記号 | CB厚 | H又はWの最大値 |
|------|-----|----------|
| CB10 | 100 | 2400 |
| CB12 | 120 | 3000 |
| CB15 | 150 | 3400 |

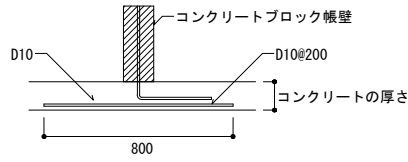
配筋の定着は25dとする

11.5 コンクリートブロック帳壁との取合い

- (a) 控壁は、次による。
 (1) 控壁の配置は、構造図による。
 (2) 配筋は、図11.3による。

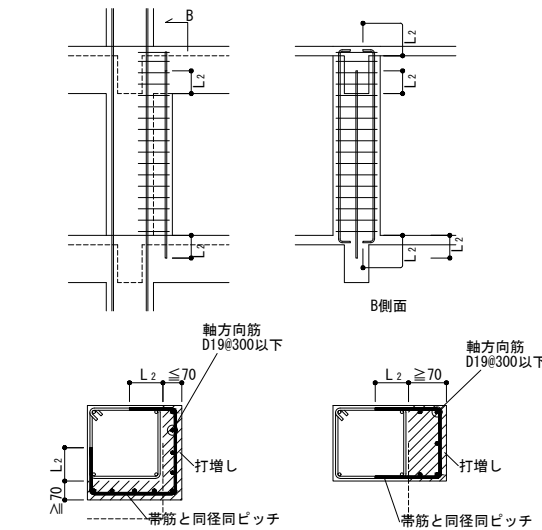


- (b) 帳壁が土間コンクリート上に設置される場合の補強は、図11.4による。

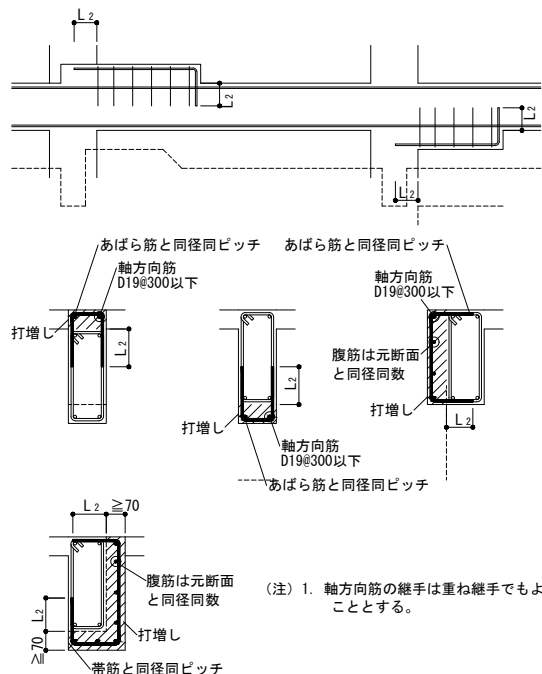


11.6 柱梁の打増しコンクリート

- (a) 柱の打増し補強



- (b) 梁の打増し補強



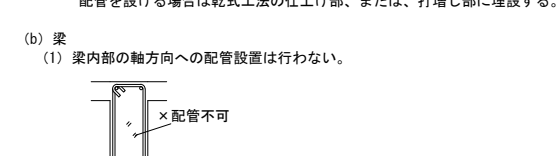
- (c) 壁の打増し補強

壁に打増し補強を入れる打増し厚さは監督職員との協議により決定する。

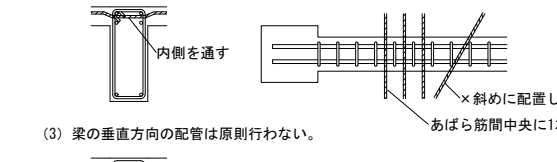
12.1 設備配管

本節の規定を満足するが困難な場合は、事前に監督職員と協議することとする。

- (a) 柱
 (1) 柱内への配管およびボックス類の埋込は行わない。
 配管を設ける場合は乾式工法の仕上げ部、または、打増し部に埋設する。



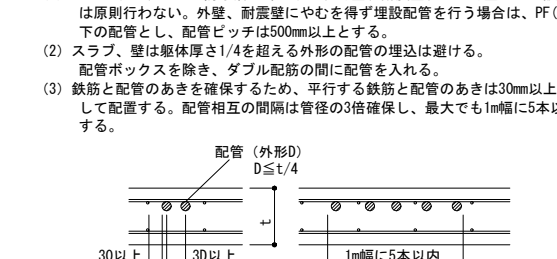
- (b) 梁
 (1) 梁内部の軸方向への配管設置は行わない。



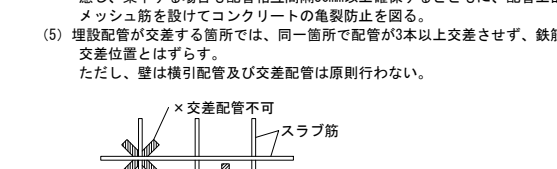
- (c) スラブ、壁
 (1) 屋上スラブ、屋内の防水層下部スラブ、外壁、耐震壁、地下外壁への埋設配管は原則行わない。外壁、耐震壁にやむを得ず埋設配管を行う場合は、PF(16)以下の配管とし、配管ピッチは500mm以上とする。
 (2) スラブ、壁は躯体厚さ1/4を超える外形の配管の埋込は避ける。配管ボックスを除き、ダブル配筋の間に配管を入れる。
 (3) 鉄筋と配管のあきを確保するため、平行する鉄筋と配管のあきは30mm以上確保して配置する。配管相互の間隔は管径の3倍確保し、最大でも1m幅に5本以内とする。



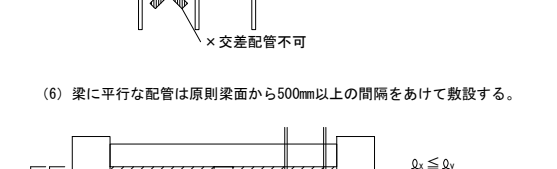
- (4) スラブから上下部の空間に配管を立ち上げる場合、配管が集中しないように配慮し、集中する場合は配管相互間隔30mm以上確保するとともに、配管上部にメッシュ筋を設けてコンクリートの亀裂防止を図る。
 (5) 埋設配管が交差する箇所では、同一箇所配管が3本以上交差させず、鉄筋の交差位置とはずらす。ただし、壁は横引配管及び交差配管は原則行わない。



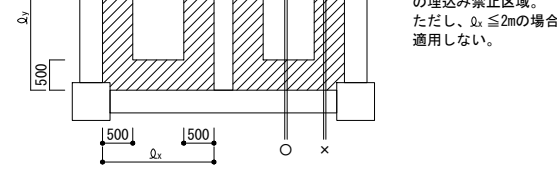
- (6) 梁に平行な配管は原則梁面から500mm以上の間隔をあけて敷設する。



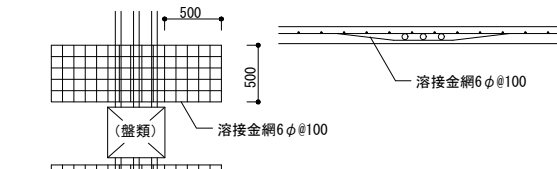
- (7) シングル配筋の壁で盤類が埋設される場合は、下配補強を行う。



- (8) 埋込ボックスの補強は下配による。ただし、最大径が300mm以下で鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。かぶり厚は40mm以上確保する。



- (9) 壁躯体開口の縁から埋込ボックスの縁まで100mm以上、かつ、開口補強筋より40mm以上離す。



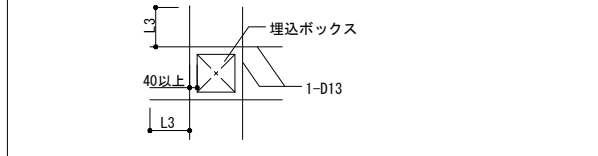
- (10) 埋込ボックスの補強は下配による。ただし、最大径が300mm以下で鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。かぶり厚は40mm以上確保する。



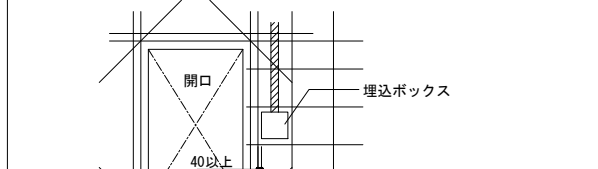
12.2 梁貫通孔

本節の規定を満足するが困難な場合は、事前に監督職員と協議することとする。

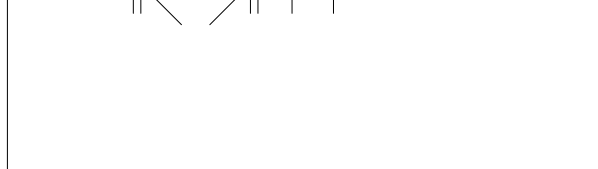
- (a) 梁貫通孔は、次による。
 (1) 梁貫通孔補強筋の名称等は、図12.11による。
 (2) 孔の径は、梁せいの1/3以下とする。
 (3) 孔の上下方向の位置は図12.2による。スリーブ補強不要の場合も同様とする。
 (4) 孔は、原則として、柱面から水平に1.5D(Dは梁せい)以上離す。ただし、基礎梁及び壁付帯梁は柱面から水平に3d(dはスリーブ径)以上離す。
 (5) 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。
 (6) 縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。
 (7) 補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは、図12.3による。
 (8) 孔の径が梁せいの1/10以下、かつ、150mm未満のものは、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋でき、かつ、構造図に特記された場合において、補強を省略することができる。
 (9) 溶接金網の余長は1格子以上とし、突出しは10mm以上とする。
 (10) 溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋1-13φのリング筋を取り付ける。なお、リング筋は、溶接金網に4箇所以上溶接する。
 (11) 溶接金網の割付け始点は、横筋ではあばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。
 (12) 貫通孔の位置は図12.4のように開口をはさむ±45度の領域(ハッチ部)には他の開口を設けないこととする。
 (13) 貫通孔の補強筋もかぶりを取ることとし、取れない場合は防錆処理をした鉄筋を用いることとする。かぶり厚さは4.1(f)による。



- (9) 壁躯体開口の縁から埋込ボックスの縁まで100mm以上、かつ、開口補強筋より40mm以上離す。



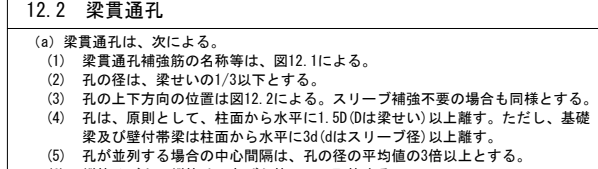
- (10) 埋込ボックスの補強は下配による。ただし、最大径が300mm以下で鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。かぶり厚は40mm以上確保する。



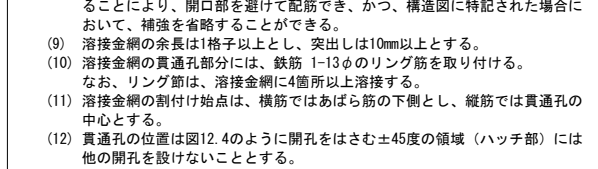
- (11) 溶接金網の割付け始点は、横筋ではあばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。



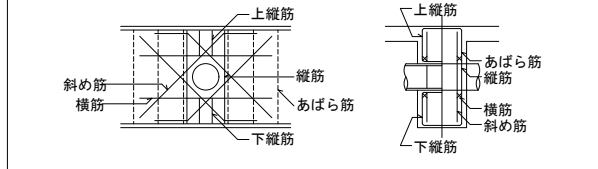
- (12) 貫通孔の位置は図12.4のように開口をはさむ±45度の領域(ハッチ部)には他の開口を設けないこととする。



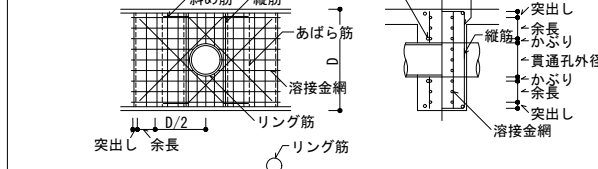
- (13) 貫通孔の補強筋もかぶりを取ることとし、取れない場合は防錆処理をした鉄筋を用いることとする。かぶり厚さは4.1(f)による。



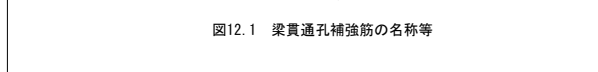
- (14) 貫通孔の補強筋もかぶりを取ることとし、取れない場合は防錆処理をした鉄筋を用いることとする。かぶり厚さは4.1(f)による。



- (15) 貫通孔の補強筋もかぶりを取ることとし、取れない場合は防錆処理をした鉄筋を用いることとする。かぶり厚さは4.1(f)による。

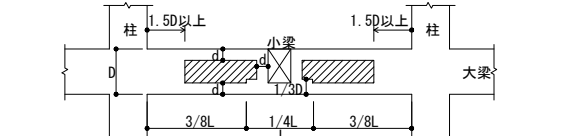
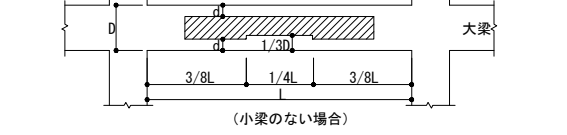


- (16) 貫通孔の補強筋もかぶりを取ることとし、取れない場合は防錆処理をした鉄筋を用いることとする。かぶり厚さは4.1(f)による。



12.3 梁貫通孔補強リスト

(a) 梁貫通孔補強 (図示以外)
 (1) 貫通孔の補強筋は下記による。補強筋は構造関係共通図 図12.1~図12.4及び表12.1~表12.3による。スリーブ材質は表12.1による。



(注) 1. 梁貫通孔のへりあき寸法dは下記による

| 梁が1段筋の場合 | 梁が2段筋の場合 |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 500 ≤ D < 700 d ≥ 175 | 500 ≤ D < 700 d ≥ 250 |
| 700 ≤ D < 900 d ≥ 200 | 700 ≤ D < 900 d ≥ 275 |
| 900 ≤ D d ≥ 250 | 900 ≤ D d ≥ 300 |

図12.2 梁貫通孔の設置範囲

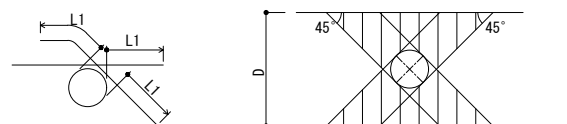


図12.3 補強筋の定着長さ

図12.4 他の開口を設けない範囲

- (b) 梁貫通孔の補強形式は表12.1~表12.3により、配筋種別は構造図による。

表12.1 H形配筋

| 配筋種別 | 斜め筋 | 縦筋 | 横筋 | 上下縦筋 | 配筋図 |
|------|---------|---------|---------|---------|-----|
| H1 | 2-2-D13 | なし | なし | なし | |
| H2 | 2-2-D13 | なし | なし | なし | |
| H3 | 4-2-D13 | 2-2-D13 | 2-2-D13 | 2-2-D13 | |
| H4 | 4-2-D16 | 2-2-D13 | 2-2-D13 | 2-2-D13 | |
| H5 | 4-2-D16 | 4-2-D13 | 2-2-D13 | 3-2-D13 | |
| H6 | 4-2-D19 | 4-2-D13 | 2-2-D13 | 3-2-D13 | |
| H7 | 4-2-D22 | 4-2-D13 | 2-2-D13 | 3-2-D13 | |

(注) ----- は、一般部分のあばら筋を示す。

表12.2 M形配筋

| 配筋種別 | 縦筋 | 溶接金網 | 配筋図 |
|------|---------|----------|-----|
| M1 | 2-2-D13 | なし | |
| M2 | 4-2-D13 | なし | |
| M3 | 4-2-D13 | 2-6φ@100 | |
| M4 | 6-2-D13 | 2-6φ@100 | |

(注) ----- は、一般部分のあばら筋を示す。

表12.3 MH形配筋

| 配筋種別 | 斜め筋 | 縦筋 | 溶接金網 | 配筋図 |
|------|---------|---------|----------|-----|
| MH1 | 2-2-D13 | なし | なし | |
| MH2 | 2-2-D13 | 2-2-D13 | なし | |
| MH3 | 2-2-D13 | 2-2-D13 | 2-6φ@100 | |
| MH4 | 4-2-D13 | 2-2-D13 | 2-6φ@100 | |
| MH5 | 4-2-D16 | 2-2-D13 | 2-6φ@100 | |
| MH6 | 4-2-D16 | 4-2-D13 | 2-6φ@100 | |
| MH7 | 4-2-D19 | 4-2-D13 | 2-6φ@100 | |

(注) ----- は、一般部分のあばら筋を示す。

12.4 壁開口補強リスト

(a) 壁開口補強 (図示以外)
 (1) 設備工事に伴う、壁の開口補強は下記による。補強筋は特記による。特記がなければ、構造関係共通図 表8.3、表8.4及び図8.4による。

| 階 | 壁記号 | 壁厚 | 数量 | 開口寸法 | 備考 |
|---|-----|----|----|------|----|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

表12.1 スリーブ材質の凡例

| 管名 | 銅管 | 溶融亜鉛めっき鋼板 | 硬質塩化ビニル管 (薄肉管) | つば付き鋼管 (黒管) |
|----------|---------|-----------|----------------|-------------|
| 記号 (建築用) | SP (白管) | GA | VU | RS |

既製品を使用する場合は、各メーカー仕様による。

12.5 床開口補強リスト

(a) スラブ開口補強 (図示以外)
 (1) 設備工事に伴う、スラブリング開口補強は下記による。補強筋は特記による。特記がなければ、構造関係共通図 図9.9による。

| 階 | スラブ記号 | スラブ厚 | 数量 | 開口寸法 | 備考 |
|---|-------|------|----|------|----|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

鉄骨標準図

認定品、メーカー品を使用する場合は各々の仕様に従うこととする。

1.1 高力ボルトの断面表示記号

図中で使用する記号は表1.1を標準とする。

表1.1 高力ボルトの断面表示記号

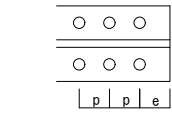
| M16 | M20 | M22 | M24 |
|-----|-----|-----|-----|
| ◆ | ◆ | ◆ | ◆ |

1.2 縁端距離及びボルト間隔

(a) 縁端距離及びボルト間隔
縁端距離及びボルト間隔は、表1.2による。ただし、引張材の接合部分において、せん断力を受けるボルトが応力方向に3本以上並ばない場合の縁端距離は、構造図による。構造図になければ、表1.2の縁端距離とボルト軸径の2.5倍以上のうち、大きい値とする。
また、アンカーボルトの縁端距離は構造図による。

表1.2 縁端距離及びボルト間隔

| ねじの呼び | 縁端距離 e | | ボルト間隔 p | |
|-------|--------|-----|---------|----|
| | 標準 | (1) | 標準 | 最小 |
| M12 | 22 | | 30 | |
| M16 | 28 | | 40 | |
| M20 | 34 | 60 | 50 | |
| M22 | 38 | | 55 | |
| M24 | 45 | 70 | 60 | |
| M27 | 70 | 49 | 100 | 70 |
| M30 | 75 | 54 | 110 | 75 |



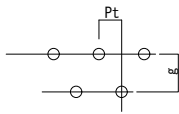
(1) : せん断線、手動ガス切断線の最小縁端距離

(b) 千鳥打ちのゲージ及びボルト間隔

千鳥打ちのゲージ及びボルト間隔は、表1.3による。

表1.3 千鳥のゲージ及びボルト間隔

| ゲージ g | 千鳥打ちのボルト間隔 Pt | |
|-------|--------------------|-----|
| | ねじの呼び | |
| | M12, M16, M20, M22 | M24 |
| 35 | 50 | 65 |
| 40 | 45 | 60 |
| 45 | 40 | 55 |
| 50 | 35 | 50 |
| 55 | 25 | 45 |
| 60 | - | 40 |



(c) 形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径

形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径は、表1.4による。

表1.4 形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径

| A又はB | g1 | | g2 | | 最大軸径 | | B | | g1 | | g2 | | 最大軸径 | | B | | g3 | | 最大軸径 | | |
|------|----|----|----|-----|------|----|----|-----|----|----|----|----|------|----|----|----|----|----|------|----|--|
| | g1 | g2 | g1 | g2 | g1 | g2 | g1 | g2 | g1 | g2 | g1 | g2 | g1 | g2 | g1 | g2 | g1 | g2 | g1 | g2 | |
| 45 | 25 | | 12 | 100 | 56 | 16 | 50 | 30 | 12 | | | | | | | | | | | | |
| 50 | 28 | | 16 | 125 | 75 | 16 | 65 | 35 | 20 | | | | | | | | | | | | |
| 60 | 35 | | 16 | 150 | 90 | 22 | 70 | 40 | 20 | | | | | | | | | | | | |
| 65 | 35 | | 20 | 175 | 105 | 22 | 75 | 40 | 22 | | | | | | | | | | | | |
| 70 | 40 | | 20 | 200 | 120 | 24 | 80 | 45 | 22 | | | | | | | | | | | | |
| 75 | 40 | | 22 | 250 | 150 | 24 | 90 | 50 | 24 | | | | | | | | | | | | |
| 80 | 45 | | 22 | 300 | 150 | 40 | 24 | 100 | 55 | 24 | | | | | | | | | | | |
| 90 | 50 | | 24 | 350 | 140 | 70 | 24 | | | | | | | | | | | | | | |
| 100 | 55 | | 24 | 400 | 140 | 90 | 24 | | | | | | | | | | | | | | |
| 125 | 50 | 35 | 24 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 130 | 50 | 40 | 24 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 150 | 55 | 55 | 24 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 175 | 60 | 70 | 24 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 200 | 60 | 90 | 24 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

※1 千鳥打ちとした場合

2.1 溶接記号

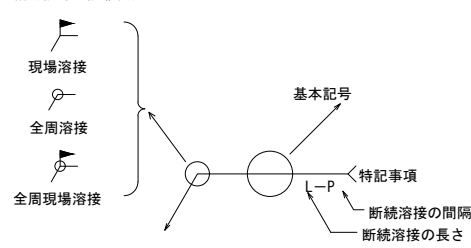
溶接記号は、表2.1、図2.1を標準とする。

表2.1 溶接方法、溶接継手及び溶接面の分類別記号

設計図中で使用する記号は、JIS Z 3021-2000による。

| 溶接部の形状 | 基本記号 | 備考 |
|-------------------------|------|--|
| I 形 | | アーク溶接、フラッシュ溶接、摩擦溶接などを含む。 |
| V 形 両面 V 形 (X 形) | ∨ | X形は説明線の基線 (以下、基線という) に対称にこの記号を記載する。アーク溶接、フラッシュ溶接、摩擦溶接などを含む。 |
| レ 形 両面 レ 形 (K 形) | ∟ | K形は基線に対称にこの記号を記載する。記号のたての線は左側に書く。アーク溶接、フラッシュ溶接、摩擦溶接などを含む。 |
| フレア V 形 フレア X 形 | ∨ | フレアX形は基線に対称にこの記号を記載する。 |
| フレア レ 形 フレア K 形 | ∟ | フレアK形は基線に対称にこの記号を記載する。記号のたての線は左側に書く。 |
| 隅肉 | △ | 並列溶接の場合は基線に対称にこの記号を記載する。ただし千鳥溶接の場合は、右の記号を用いることができる。 |
| スポット プロジェクション シーム | * | 重ね継手部の抵抗溶接、アーク溶接、電子ビーム溶接などによる溶接部を表す。ただし、すみ肉溶接を除く。シーム溶接の場合は、この記号を2つ並べて記載する。なお、特に表示に問題が無い場合には、スポット溶接の場合は○の記号を、シーム溶接の場合は、⊖の記号を記載する。 |

補助記号 (記載例)



※完全溶込み溶接の溶接方法・溶接面は適切な溶接方法等による。

図2.1 溶接記号の記載例

2.2 溶接継手の種類別開先標準

(a) 突合わせ継手の開先標準

| アーク手溶接、ガスシールドアーク半自動溶接及びセルフシールドアーク半自動溶接 | | サブマージアーク自動溶接 | |
|--|----------|--------------|----------|
| 1 (片面溶接) | 2 (両面溶接) | 1 (片面溶接) | 2 (両面溶接) |
| t ≤ 6 | | | |
| 基本記号 | 基本記号 | 基本記号 | 基本記号 |
| 6 < t ≤ 19 | | | |
| 基本記号 | 基本記号 | 基本記号 | 基本記号 |
| 12 < t ≤ 22 | | | |
| 基本記号 | 基本記号 | 基本記号 | 基本記号 |
| 19 < t ≤ 40 | | | |
| 基本記号 | 基本記号 | 基本記号 | 基本記号 |
| 22 < t ≤ 40 | | | |
| 基本記号 | 基本記号 | 基本記号 | 基本記号 |

(b) T型継手の開先標準

| アーク手溶接、ガスシールドアーク半自動溶接及びセルフシールドアーク半自動溶接 | | サブマージアーク自動溶接 | |
|--|----------|--------------|----------|
| 1 (片面溶接) | 2 (両面溶接) | 1 (片面溶接) | 2 (両面溶接) |
| t ≤ 6 | | | |
| 基本記号 | 基本記号 | 基本記号 | 基本記号 |
| 6 < t ≤ 19 | | | |
| 基本記号 | 基本記号 | 基本記号 | 基本記号 |
| 12 < t ≤ 22 | | | |
| 基本記号 | 基本記号 | 基本記号 | 基本記号 |
| 19 < t ≤ 40 | | | |
| 基本記号 | 基本記号 | 基本記号 | 基本記号 |
| 22 < t ≤ 40 | | | |
| 基本記号 | 基本記号 | 基本記号 | 基本記号 |

(c) 部材が直交しない場合の開先標準

| アーク手溶接、ガスシールドアーク半自動溶接及びセルフシールドアーク半自動溶接 | | |
|--|----------|------|
| 1 (片面溶接) | 2 (両面溶接) | |
| 6 < t ≤ 40 | | |
| 基本記号 | 基本記号 | 基本記号 |
| 19 < t ≤ 40 | | |
| 基本記号 | 基本記号 | 基本記号 |

(d) かど継手の開先標準

| アーク手溶接、ガスシールドアーク半自動溶接及びセルフシールドアーク半自動溶接 | | サブマージアーク自動溶接 | |
|--|----------|--------------|----------|
| 1 (片面溶接) | 2 (両面溶接) | 1 (片面溶接) | 2 (両面溶接) |
| t ≤ 6 | | | |
| 基本記号 | 基本記号 | 基本記号 | 基本記号 |
| 6 < t ≤ 19 | | | |
| 基本記号 | 基本記号 | 基本記号 | 基本記号 |
| 12 < t ≤ 19 | | | |
| 基本記号 | 基本記号 | 基本記号 | 基本記号 |
| 19 < t ≤ 40 | | | |
| 基本記号 | 基本記号 | 基本記号 | 基本記号 |
| 19 < t ≤ 40 | | | |
| 基本記号 | 基本記号 | 基本記号 | 基本記号 |

(e) 隅肉溶接の開先標準

| アーク手溶接、ガスシールドアーク半自動溶接及びセルフシールドアーク半自動溶接 | | |
|--|----------|------|
| 1 (片面溶接) | 2 (両面溶接) | |
| t ≤ 16 | | |
| 基本記号 | 基本記号 | 基本記号 |
| 16 < t ≤ 40 | | |
| 基本記号 | 基本記号 | 基本記号 |

(e) 部材が直交しない場合の隅肉溶接の開先標準

| アーク手溶接、ガスシールドアーク半自動溶接及びセルフシールドアーク半自動溶接 | |
|--|------|
| 2 (両面溶接) | |
| 基本記号 | 基本記号 |

(f) 隅肉溶接のサイズ

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| t | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 19 | 22 | 25 | 28 | 32 | 36 | 40 |
| s | 3 | 4 | 5 | 5 | 6 | 7 | 8 | 8 | 9 | 10 | 10 | 11 | 12 | 11 | 13 | 15 | 17 | 19 | 21 | 24 |

t : 板厚が異なる場合は薄い方の板厚に合わせる

(g) 部分溶込み溶接の開先標準

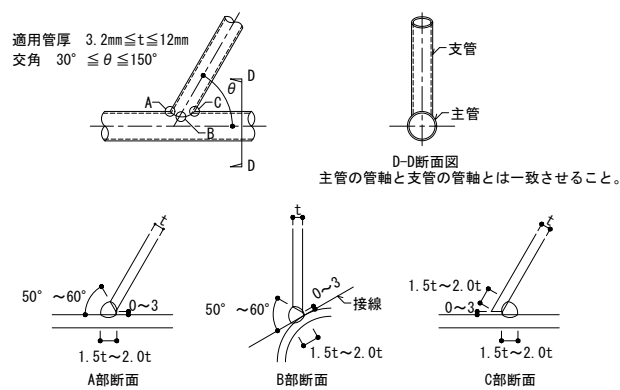
| アーク手溶接、ガスシールドアーク半自動溶接及びセルフシールドアーク半自動溶接 | | |
|--|----------|------|
| 1 (片面溶接) | 2 (両面溶接) | |
| 12 ≤ t ≤ 40 | | |
| 基本記号 | 基本記号 | 基本記号 |
| 16 ≤ t ≤ 40 | | |
| 基本記号 | 基本記号 | 基本記号 |

(h) フレア溶接の開先標準

| アーク手溶接、ガスシールドアーク半自動溶接及びセルフシールドアーク半自動溶接 | | | |
|--|-------------|--------------|--------------|
| 1 (丸鋼等片面溶接) | 2 (丸鋼等両面溶接) | 3 (軽量形鋼V形溶接) | 4 (軽量形鋼レ形溶接) |
| 基本記号 | 基本記号 | 基本記号 | 基本記号 |

3.1 鋼管分岐継手詳細

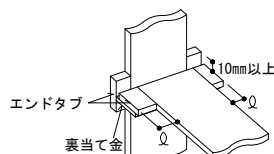
自動機械により開先加工を行う場合はこの限りではない。



3.2 鉄骨溶接施工

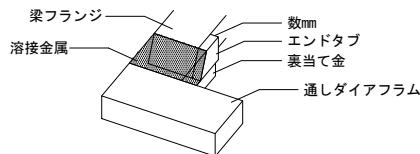
(a) エンドタブ

- エンドタブの形状は母材と同厚・同開先のものとする。
- エンドタブの鋼材の種類及び引張強さによる区分は、母材と同等とする。



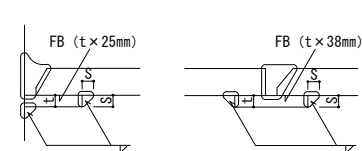
| 溶接方法 | Q |
|-------|------|
| 手溶接 | 35以上 |
| 半自動溶接 | 38以上 |
| 自動溶接 | 70以上 |

- エンドタブの切断は梁フランジの側面から数mm残して直線状に切断しグラインダーにより仕上げる。エンドタブを切断しない場合は、監督職員の承諾を受ける。



(b) 裏当て金

- 裏当て金の組み立て溶接は、接合部に影響を与えないように、エンドタブの位置又は梁フランジ幅の1/4の位置に行い、梁フランジ両端から10mm以内の位置には行ってはならない。
- 完全溶込み溶接の片面溶接に用いる裏当て金は原則としてフランジの内側に設置する。
- 裏当て金の鋼材の種類及び引張強さによる区分は、母材と同等とする。

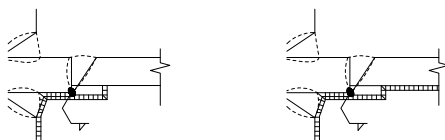


| 裏当て金の厚さ(単位: mm) | |
|-----------------|------|
| 溶接方法 | t |
| 手溶接 | 6以上 |
| 半自動溶接 | 9以上 |
| 自動溶接 | 12以上 |

| 溶接のサイズ(単位: mm) | |
|----------------|---|
| 裏当て金の厚さ | S |
| t ≤ 9 | 5 |
| t > 9 | 9 |

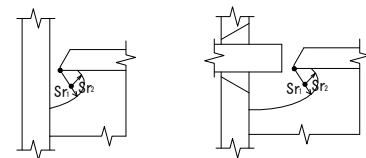
(c) スカラップ

- 原則ノンスカラップ工法とする。ノンスカラップ

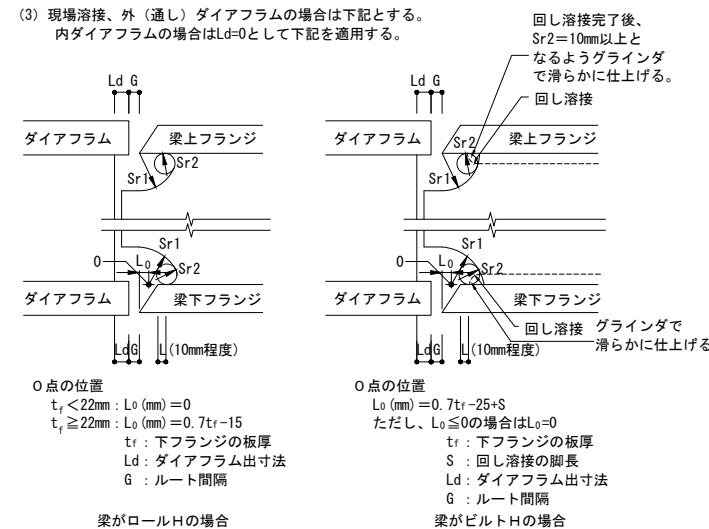


改良型スカラップ

- スカラップ半径Srは35mmとする。Sr2は10mmとする。
- スカラップ円弧の曲線は、フランジに滑らかに接するように加工し、複合円は滑らかに仕上げる。

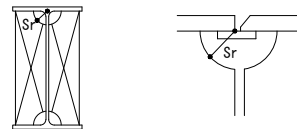


- 現場溶接、外(通し)ダイアフラムの場合は下記とする。内ダイアフラムの場合はLd=0として下記を適用する。



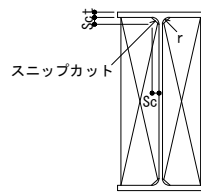
従来型スカラップ

- スカラップ半径Srは35mmとする。



(d) スニップカット

- スニップカット部は溶接により埋めるものとする。

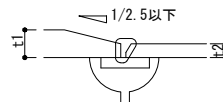


- スニップカットの寸法は下表による。ただし、既製形鋼のスニップカットについては、Sc=r+21により求めるものとする。

| t | 6 | 9 | 12 | 16以上 |
|----|----|----|----|------|
| Sc | 10 | 12 | 14 | 15 |

(e) 溶接部分の段差

- 完全溶込み溶接を行う部分の板厚の差による段差が10mmを超える場合



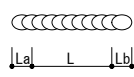
(f) 鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件

| 鋼材の種類 | 溶接材料 | 入熱 (KJ/cm) | パス間温度 (°C) |
|---------------------|------------------|------------|------------|
| 400N級鋼 | JIS Z 3211, 3212 | 40以下 | 350以下 |
| | YGW-11, 15 | | |
| | YGW-18, 19 | | |
| | JIS Z 3214 | | |
| 490N級鋼 | YGA-50W, 50P | 40以下 | 350以下 |
| | JIS Z 3212 | | |
| | YGW-11, 15 | | |
| | YGW-18, 19 | | |
| 520N級鋼 | JIS Z 3214 | 40以下 | 350以下 |
| | YGW-18, 19 | | |
| | YGW-11, 15 | | |
| | YGW-18, 19 | | |
| 400N級STKR, BCR及びBCP | YGW-18, 19 | 40以下 | 350以下 |
| 490N級STKR, 及びBCP | YGW-18, 19 | 30以下 | 250以下 |

3.3 フレア溶接を行う場合の溶接長さ

- 鉄筋又は軽量形鋼にフレア溶接を行う場合は下記による。
- 有効溶接長さ(L)は、ビードの始点(La)及びクレーター(Lb)を除いた部分の長さとする。

L: 片面フレア溶接の場合 10d
両面フレア溶接の場合 5d
La及びLb=1S (鉄筋については1d) 以上
d: 異形鉄筋の呼び名に用いた数値
S: 溶接のサイズ



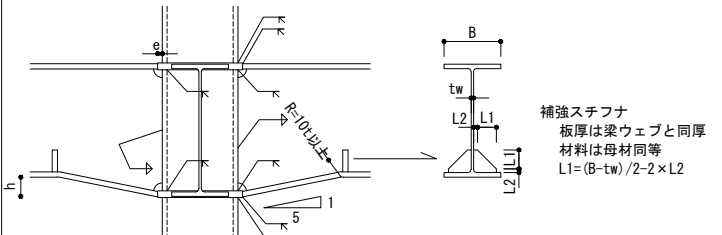
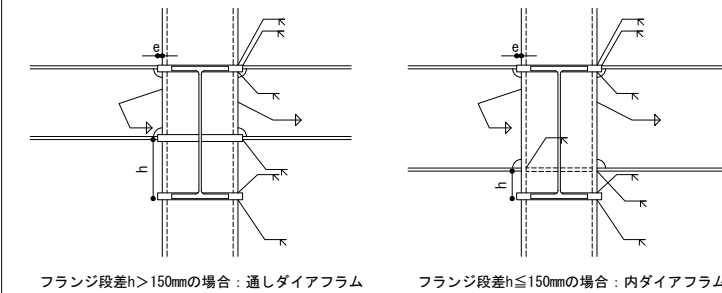
4.1 仕口基準

(a) 仕口基準の一般事項

- 通しダイアフラム厚さは接合する梁の最大厚さの+6mm以上かつ、柱最大厚さ以上とする。(下表) 材質はSM490Cとする。ただし、40mm以上はTMCP鋼とする。
- 内ダイアフラム厚さは接合する梁の厚さと同厚以上とし、材質はSM490Bとする。
- ダイアフラムの耳出し寸法 e は25mm以上とする。
- 仕口内に納まる梁の段差が115mm以下の場合は垂直ハンチを設ける。
- 垂直ハンチ勾配は1/5程度とする。
- 梁フランジ曲げ加工の外曲げ半径Rは板厚の10倍以上とする。
- 仕口部をビルト加工とする場合、板厚は元断面の同厚以上、材質は同等以上とし、継手部で1mmを超える肌つきが生じる場合はフィラープレートにて調整する。フィラープレートの材質は400級とし、母材と同厚摩擦面処理を行うこと。

| 接合する柱・梁の最大厚さ | 通しダイアフラム厚さ |
|--------------|------------|
| t = 6~10 | t = 16 |
| t = 11~13 | t = 19 |
| t = 14~16 | t = 22 |
| t = 19 | t = 25 |
| t = 22 | t = 28 |
| t = 25 | t = 32 |
| t = 28 | t = 36 |
| t = 32 | t = 40 |
| t = 36 | t = 45 |
| t = 40 | t = 45 |

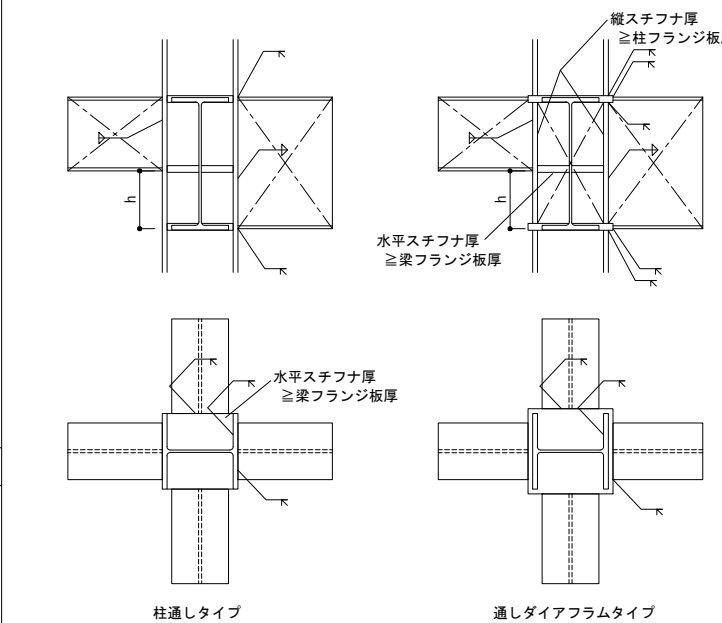
(b) 角型鋼管、鋼管の仕口基準は、次図による。



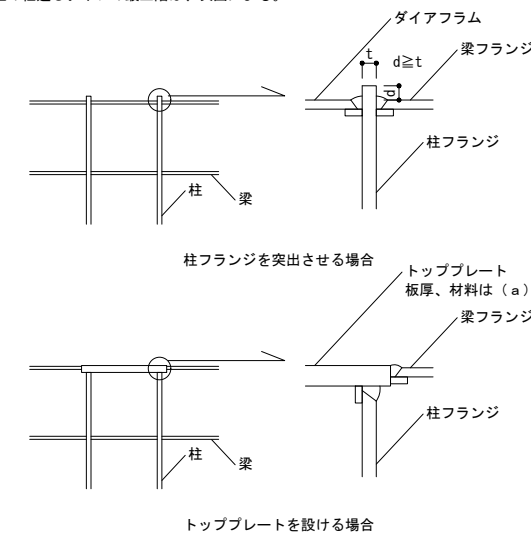
- フランジ段差h≤115mmの場合: 仕口部垂直ハンチハンチの勾配は1/5程度とする。(テーバー裏当て金使用)

(c) H形鋼の仕口基準は、次図による。

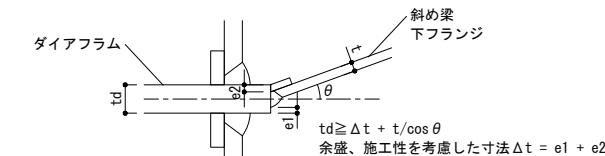
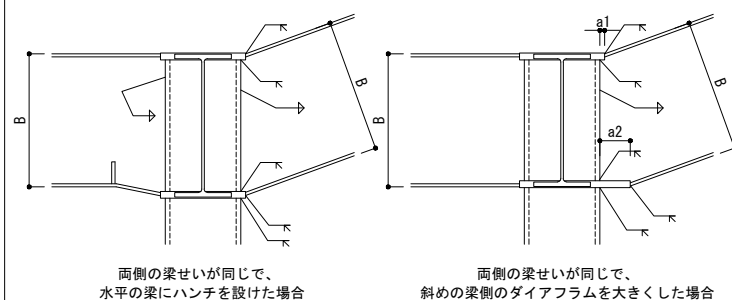
- h<150mmの場合は(b)に準じて梁にハンチを設ける納まりとする。



(d) H形鋼柱の柱通しタイプの最上階は、次図による。

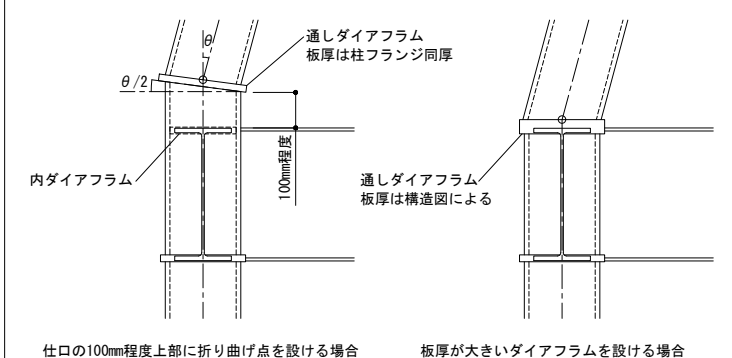


(e) 梁が鉛直方向に斜めに接合する場合は、次図による。



ダイアフラム板厚

(f) 柱が斜めに接合する場合は、次図による。



地盤改良仕様書（深層混合処理工法）

1. 工法概要

本地業は、深層混合処理工法による地盤改良地業である。深層混合処理工法は、スラリー状のセメント系固化材を地盤に注入しながら、共回り防止翼を装着した攪拌装置を用いて、原地盤土と機械的に攪拌混合し、固化材の固化反応により所要の強度を持つ改良柱体（以下、コラムと称す）を築造するものである。

2. 一般事項

本工法は本特記仕様書及び、「2018年版 建築物のための改良地盤の設計および品質管理指針―セメント系固化材を用いた深層・浅層混合処理工法―（日本建築センター・ベターリビング、2018. 11）」および「建築工事標準仕様書・同解説JASS4杭・地業および基礎工事」（日本建築学会）による。

3. 特記事項

- コラム径、改良長、空堀長、本数配置等は設計図書による。土質、地盤状況等により固化材配合量やコラム径、長さ、本数配置等について変更が必要と判断される場合は、監督職員と協議の上変更することができるものとする。
- コラムの設計基準強度は $F_c = 1000$ kN/m² とする。
- 設計の要求する性能を確保するため、適切な配合管理および品質検査を実施する。
- 本工法は、建築技術性能証明等取得工法とする。又、事前にその証明書を監督職員に提出し、承認を得ることとする。
- 設計で想定する固化材の添加量は、 400 kg/m³とする。施工に先立ち、室内配合試験計画書を作成し、監督職員に提出する。

4. 施工計画

- 本工事の施工業者は、公的な第三者機関の建築技術性能証明等を取得している業者とする。

2. 施工計画書

工事に先立ち、施工計画書を監督員に提出する。施工計画書は、次の事項を明記する。

- | | |
|------------------------------|---------------------------|
| ①工事概要（工事名、工事場所等） | ⑦施工管理（管理項目、管理基準、管理方法等） |
| ②施工管理体制（施工管理組織図等） | ⑧品質管理（管理方法、管理基準等） |
| ③地盤概要（地盤調査データ等） | ⑨安全衛生管理（施工環境による留意点、重点施策等） |
| ④施工数量（施工図面、施工仕様、数量表等） | ⑩技術審査証明等（写） |
| ⑤施工方法（施工手順、使用機械、使用機材、使用固化材等） | ⑪仮設設備とその配置 |
| ⑥固化材配合条件 | ⑫施工記録の方法 |

5. 施工機械

- 掘削攪拌機
 - 共回り現象を防止する機構を有し、固化材と原位置土を確実に攪拌混合できる攪拌装置を用いること。
- 施工機本体
 - 施工機本体は、深度、施工速度、回転数、トルク値、流量及びリーダの傾斜等を表示・管理・記録できる管理装置を装備したものとする。
- ミキシングプラント
 - 固化材スラリーを均一に練り混ぜられる構造のものとし、コラム打設中に連続して供給できる容量及び機能を備えたものとする。
- グラウトポンプ
 - 固化材吐出量を制御できる機能を備え、設計量以上吐出できる能力のものとする。

6. 施工

- 作業地盤は、施工機械が傾斜・転倒しないよう養生する。
- 基本的な施工手順は以下に示す。施工の障害になる事項が出現した場合は、別途検討する。
 - 攪拌混合装置をコラム心に合わせる
 - 固化材液を吐出せず、空堀部を所定の深度まで掘進する。
 - 固化材液を吐出しながら掘進・攪拌混合する。
 - 注入掘進工程が終了したら、固化材液の吐出を停止し先端部の繰り返しを行う。
 - 先端繰り返し工程が終了したら、攪拌軸を逆回転し引上げ攪拌混合する。
- 本工事により排出される発生残土は場外処分とする。
- 施工に対して不都合が生じた場合は、速やかに監督職員と協議し、その指示に従うものとする。

7. 配合管理

- セメントスラリーに使用する材料は、セメント系固化材とする。
- 配合強度
 - 変動係数を想定し、9項に規定する抜き取り箇所数N、合格確率80%とした下表を用いて設定する。

| 変動係数 | N | 1 | 2 | 3 | 4～6 | 7～8 | 9 |
|------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 25% | α | 2.163 | 1.918 | 1.815 | 1.719 | 1.651 | 1.594 |

$X_f = \alpha t \times F_c$ [αt : 割り増し係数、 X_f : 配合強度]

- 室内配合試験
 - 固化材液の配合（W/C）と使用量（添加量）は、室内配合試験結果に基づき、配合強度と現場/室内強度比より求められる室内配合強度を満足するように決定する。室内配合に共する土砂試料は、改良対象土砂の中の最弱層とする。但し、層厚が50cm以下の層は対象外とする。

8. 施工管理

- 本工事での施工管理の項目は以下の通りである。

| | | | | | |
|---------------|---------|------------------|---------------|------------|-----------------|
| 1. 掘削攪拌機： | 掘削翼、攪拌翼 | 掘削翼径および攪拌翼径を測定 | 6. 添加量： | 吐出量及び積算流量 | 速度計により確認 |
| 2. 固化材スラリー： | スラリー比重 | マッドバランス等により比重を測定 | 7. 支持層確認： | 深度 | 深度計により確認 |
| 3. 打設位置（打設前）： | オーガー芯ずれ | X、Yの2方向で測定 | | 予定深度における数値 | 電流計またはトルク計により確認 |
| 4. 鉛直性： | オーガ傾斜 | 傾斜計によりロッドの傾斜を確認 | 8. 先端処理： | 深度 | 深度計により確認 |
| 5. 攪拌： | 羽根切り回数 | 速度計、回転計により確認 | 9. 打設位置（打設後）： | コラム芯ずれ | X、Yの2方向で測定 |
| | 引上速度 | 流量計により確認 | 10. 頭部処理： | 改良天端 | レベルにより確認 |

- 施工の立会い
 - 建築工事の請負者は、本地業責任者（請負業者の中から選定）及び施工責任者を定め、両者は本地業の施行中は立会うものとする。

9. 品質管理

- 調査箇所数及び検査対象層

| | 設計対象層が天端部 | | 設計対象層が深部 |
|---------------|------------------------------|-------------------------|---------------------------------|
| | 改良長 L < 2m、かつ改良対象層が単一層 | 改良長 L > 2m、または改良対象層が複数層 | |
| 天端部コア | 50 コラムに1箇所以上、かつ、1検査対象群に1箇所以上 | | 50 コラムに1箇所以上、かつ 1検査対象群に1箇所以上 |
| ボーリングコア（全長コア） | 1検査対象群に1箇所以上 | | |

※頭部管理試験は1箇所あたり3個のコア採取を標準とする

※深度方向監理試験は、設計対象層毎に採取したコアを用いる。

- コア採取率による調査

コアボーリング調査のうち、検査箇所1箇所についてコア採取率を調査する。コア採取率は、全長コアについては、砂質土で95%以上、粘性土およびロームで90%以上、コア1mあたりについては、砂質土は90%以上、粘性土およびロームでは、85%以上であることを確認する。

- 可否の判定

- 設計対象層についての抜き箇所数をNとする。1箇所あたりは3個の供試体を採取し、その平均強度をその箇所の強度とする。
- 検査手法は品質のバラツキを事前に想定する場合の検査手法Aによる。
- 検査手法Aによる品質検査

可否の判定は検査対象層におけるN箇所（抜き箇所数）の一軸圧縮試験結果が、下式を満足する場合合格とする。

$$XN \geq XL = F_c + k_a \cdot \sigma$$

XN : N箇所の一軸圧強度の平均値 (kN/m²)

XL : 合格判定値 (kN/m²)

F_c : 設計基準強度 (kN/m²)

k_a : 合格判定係数

σ : 標準偏差 (kN/m²) = $F_c \cdot (V_d / (1 - 1.3V_d))$ v_d : 変動係数、品質確認書により想定する

| 抜き取りヶ所数N | 1 | 2 | 3 | 4～6 | 7～8 | 9 |
|--------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 合格判定係数 k_a | 1.9 | 1.7 | 1.6 | 1.5 | 1.4 | 1.3 |

10. 報告

工事完了後、次の項目について報告書をまとめて監督員に提出する。

- コラム伏図及び施工番号
- コラム施工日
- コラム径及び長さ
- 掘削深度
- 掘削速度及び引き上げ速度
- 固化材の配合と固化材の使用量
- コアの強度管理試験

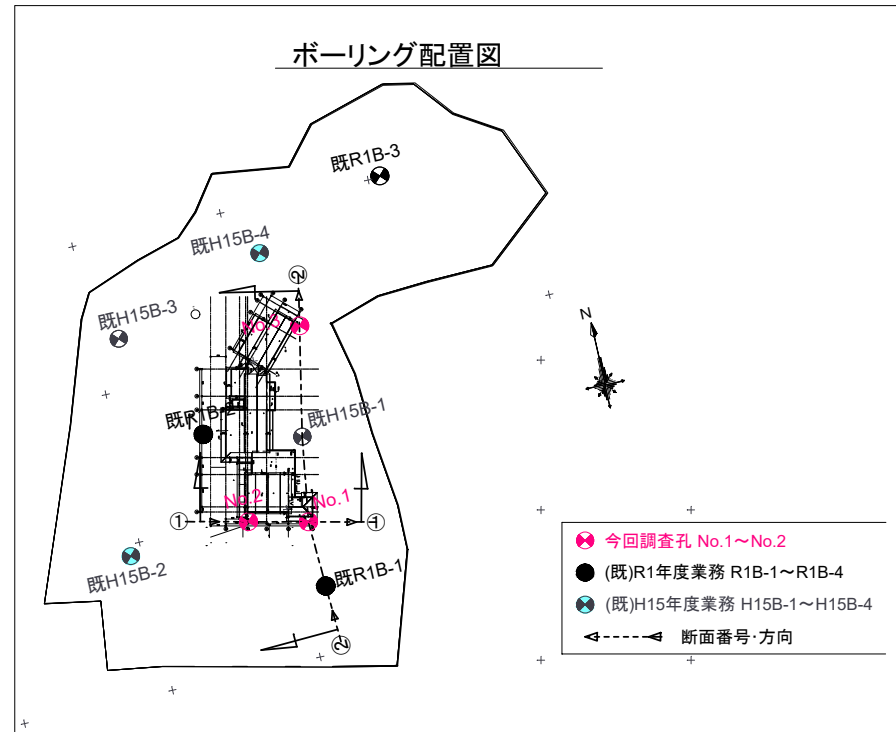
11. その他

施工に当たっては、セメント系固化材等から六価クロムの溶出試験を実施し、環境庁告示第46号の基準値を満足する様必要な措置を講じること。

試験方法・試験個数等に関しては、平成13年4月20日付国官技第16号国営建第1号「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム

溶出試験実施要領(案)の一部変更について」による。

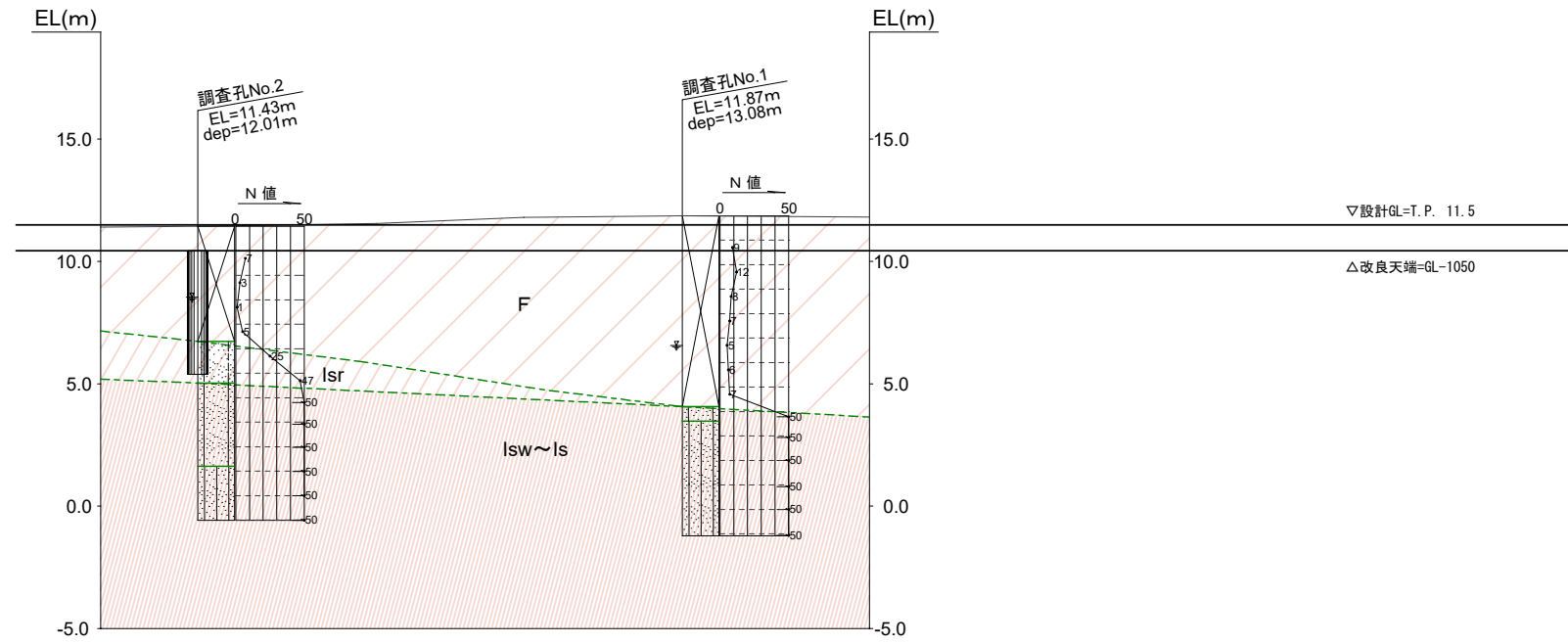
| | | | | | | | | |
|--|--|---|---|--|-------------------|-------|----------|------|
| | | | | | TITLE | SCALE | DATE | NO |
| | 株式会社 ブレック研究所 | 福原信一 一級建築士事務所 | 株式会社 丹青社 | MOF合同会社 | 構造特記・標準図09 | - | 24.10.31 | S-09 |
| | 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | 一級建築士事務所 京都府知事登録 05A第02947号 一級建築士 383080号 江田 拓也 | PROJECT | | CHECK | |
| | | | | | 西表島世界遺産センター整備実施設計 | | | |



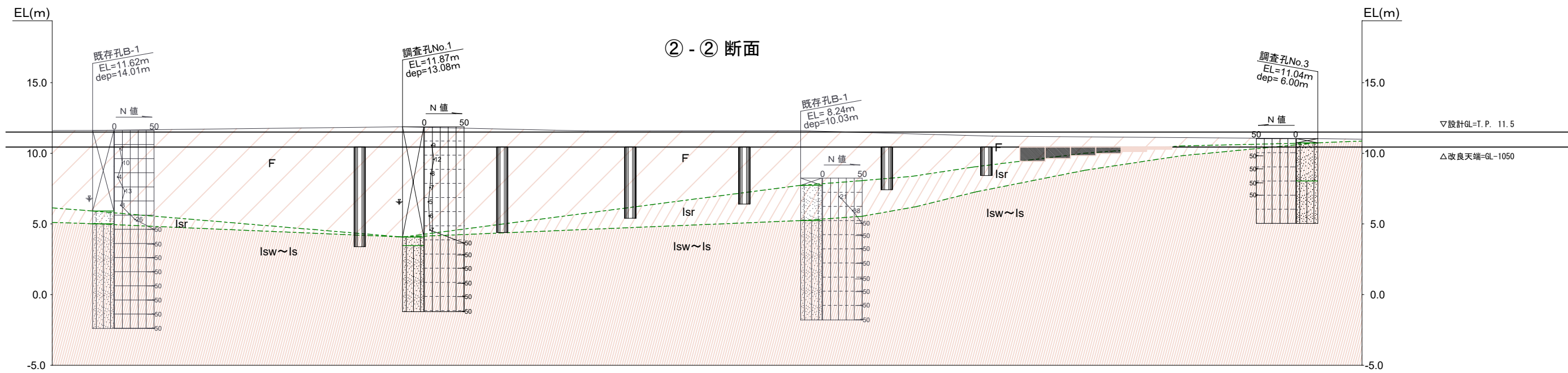
| 地質凡例 | | | |
|------------|-----|-------|--|
| 土質区分 | 記号 | N値の範囲 | |
| 埋土層(主に粘性土) | F | 1~13 | |
| 強風化砂岩 | Isr | 21~47 | |
| 風化砂岩 | Isw | 50以上 | |
| 砂岩 | Is | 50以上 | |

推定地質断面図

① - ① 断面



② - ② 断面



【図面特記】

1FL=設計GL+ 500

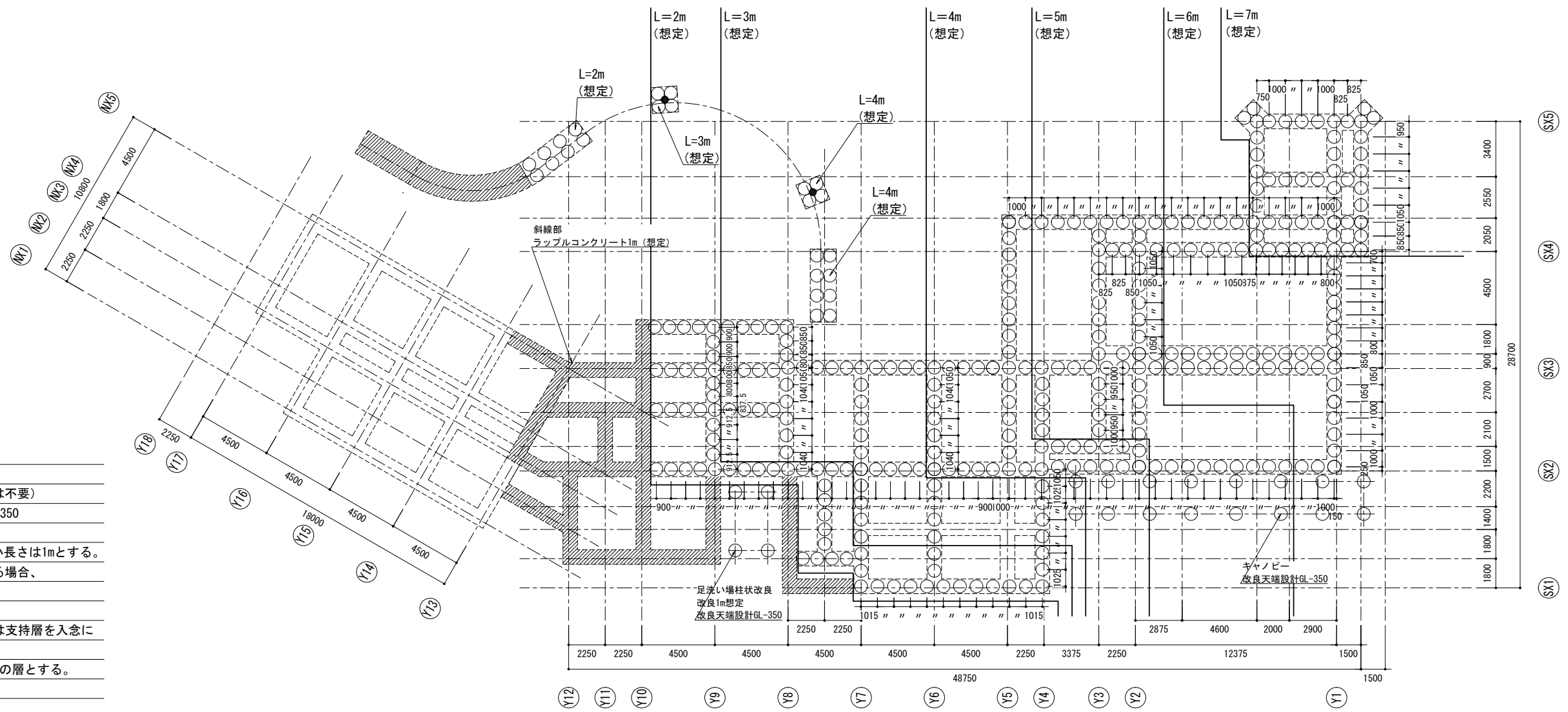
耐圧版 ・ 特記なき：FS17 (FG2, FG3の下部は不要)
 基準スラブ天端=GL-850=1FL- 1350

柱状改良 ・ 800Φ Fc:1000kN/m²
 支持層に応じて深さを設定。最小長さは1mとする。

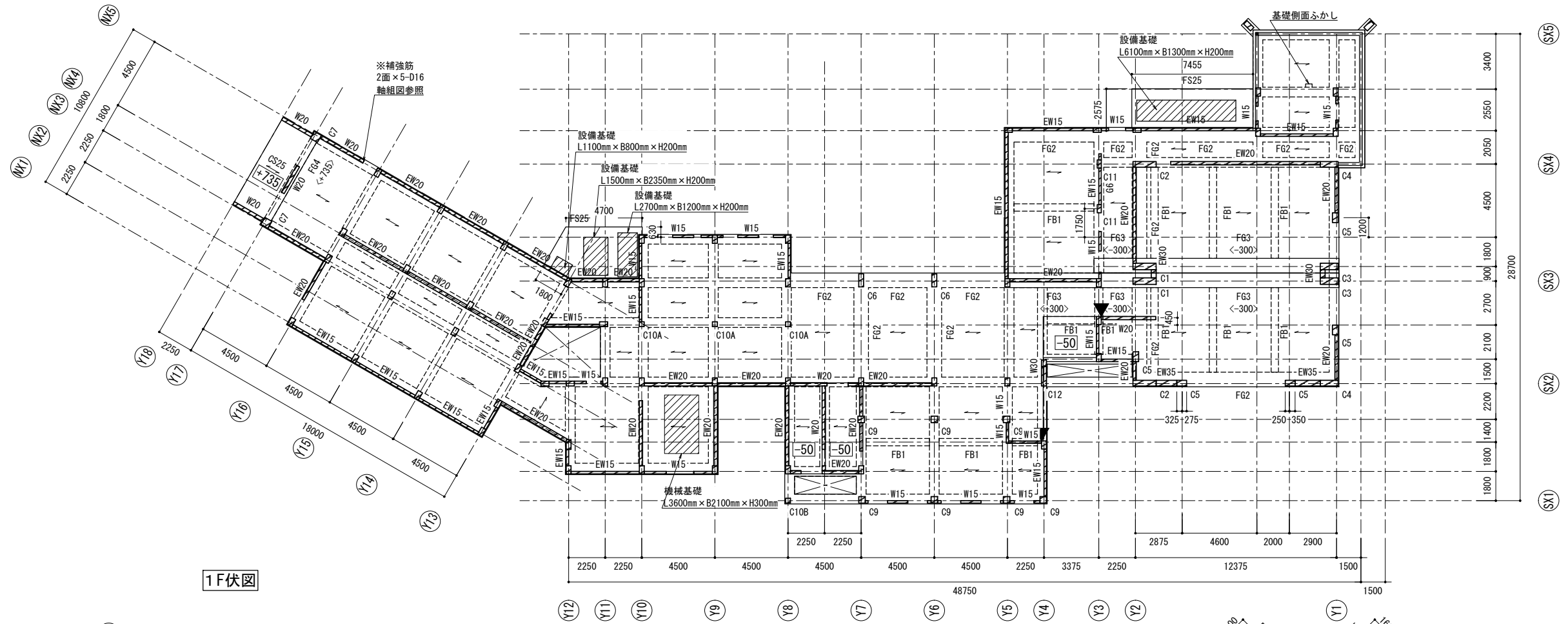
ラップル ・ GL-1m~GL-2m程度に支持層がある場合、
 コンクリート ラップルコンクリートとする。
 設計基準強度Fc18

※直接基礎、ラップルコンクリート、柱状改良は支持層を念に
 確認しながら範囲および長さを設定する。

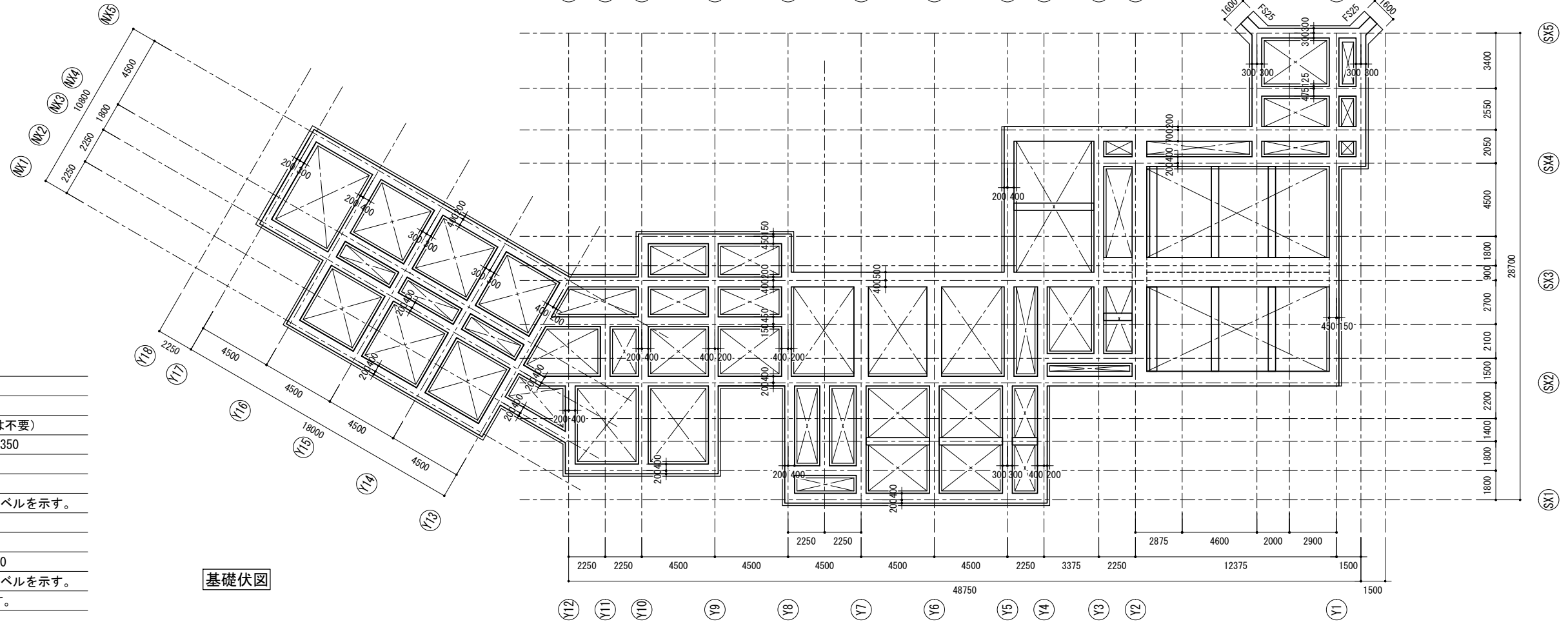
支持層は、強風化砂岩~砂岩として、N値20以上の層とする。
 設計用地耐力 長期:170KN/m²



| | | | | | | | |
|--|--|---|---|--------------------------------------|------------|----------|------|
| 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | MOF合同会社 一級建築士事務所 京都府知事登録 05A第02947号 一級建築士 383080号 江田 拓也 | TITLE | SCALE | DATE | NO |
| | | | | 伏図 1 PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | 1/300 (A3) | 24.10.31 | S-11 |



1F伏図

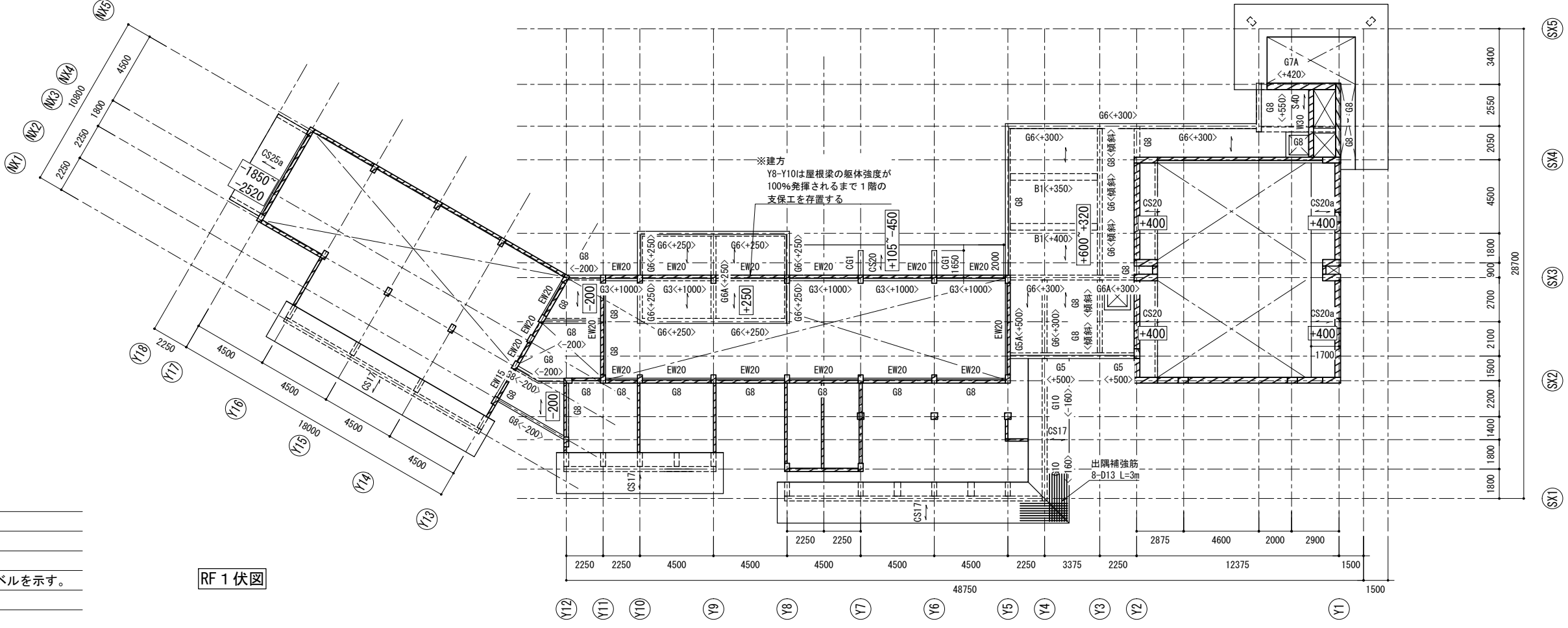
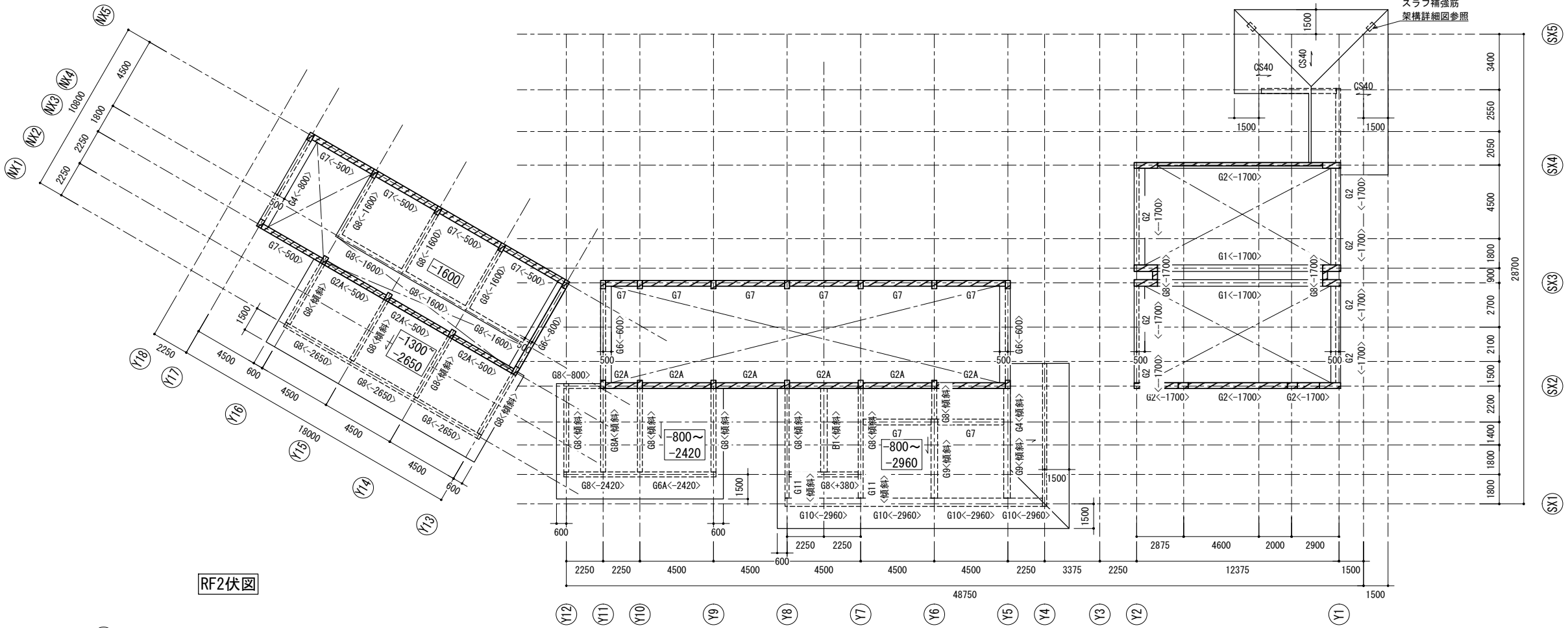


基礎伏図

[図面特記]

1FL=設計GL+ 500

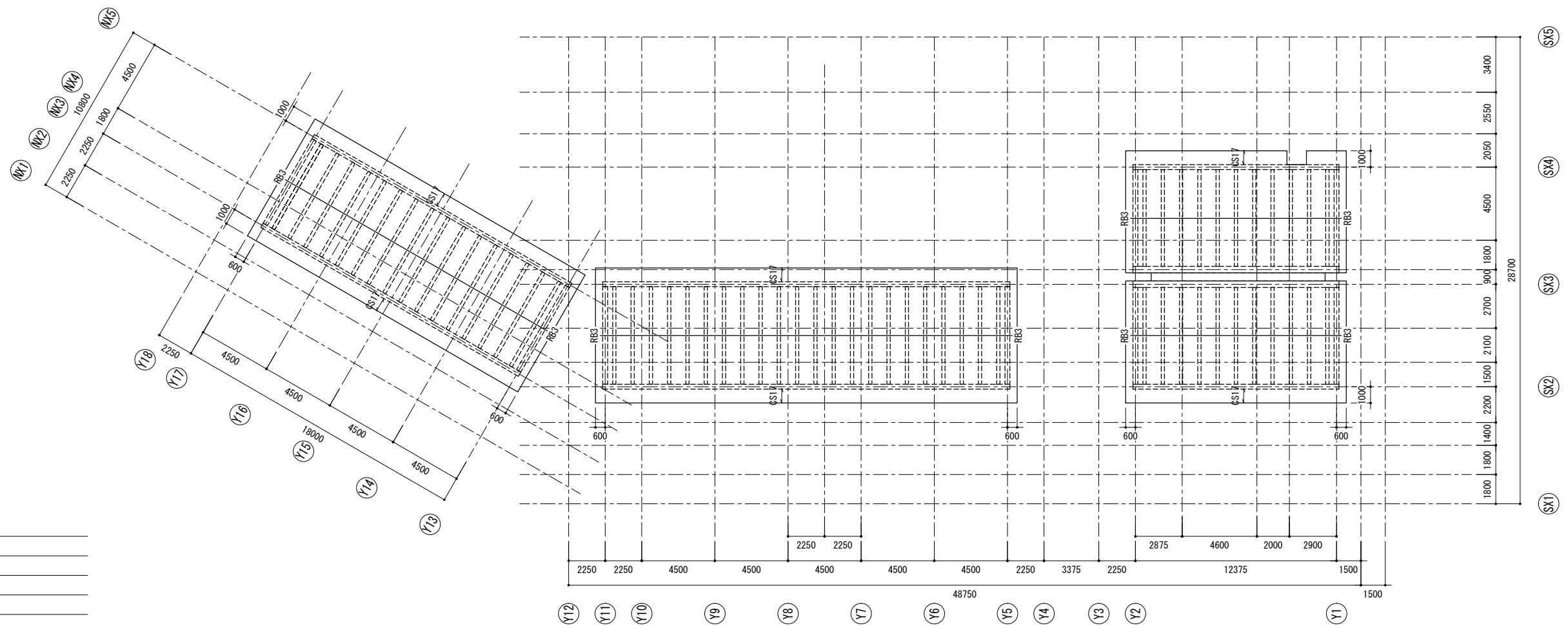
| | |
|-----|--|
| 耐圧版 | ・特記なき：FS17 (FG2, FG3の下部は不要) 基準スラブ天端=GL-850=1FL- 1350 |
| 地中梁 | ・特記なき：FG1 基準梁天端=GL-200=1FL-700 < * * > はFLからの部材天端レベルを示す。 |
| 柱 | ・特記なき：C8 |
| スラブ | ・特記なき：S20a 基準スラブ天端=GL±0=1FL- 500 < * * > はFLからの部材天端レベルを示す。 |
| 雑壁 | ▼ は耐震スリットを示す。 |



【図面特記】
RFL2=1FL+ 5800
RFL1=1FL+ 3500

梁 <*> はFLからの部材天端レベルを示す。
特記なきは<±0>とする
スラブ 特記なき：S20b

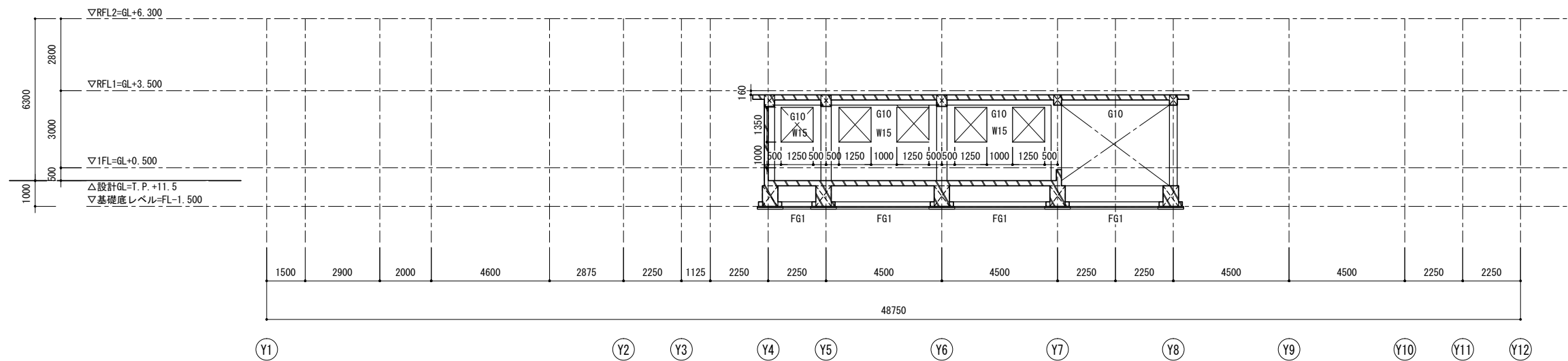
| | | | | | | | |
|--|--|---|---|---|---------------------|---------------------------|------------|
| 株式会社 ブラック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 384177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | MOF合同会社 一級建築士事務所 京都府知事登録 05A第02947号 一級建築士 383080号 江田 拓也 | TITLE 伏図 3 PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | SCALE 1/300 (A3) | DATE 24.10.31 CHECK | NO S-13 |
|--|--|---|---|---|---------------------|---------------------------|------------|



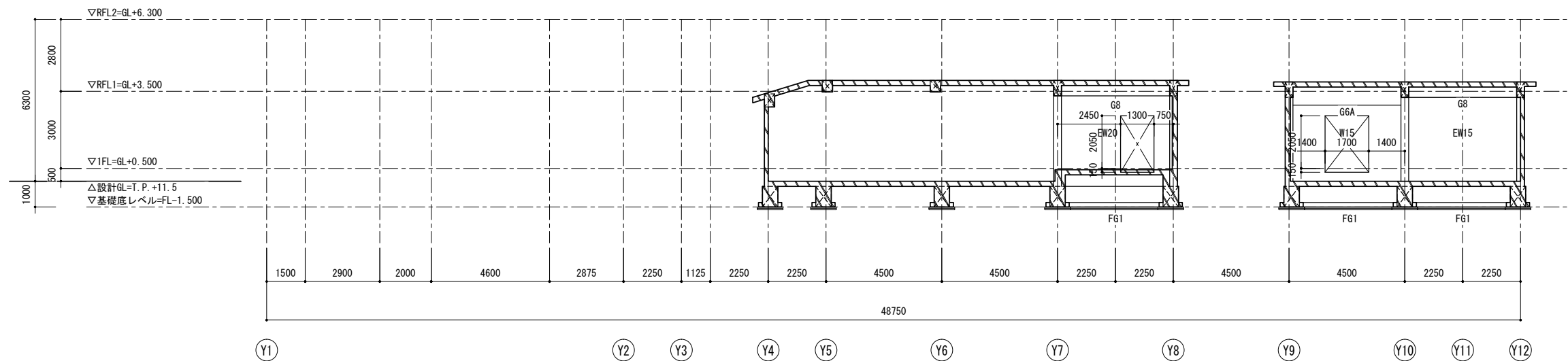
[図面特記]

小梁 ・特記なき：RB2
 スラブ ・特記なき：S20b

| | | | | | | | | |
|--|--|---|---|--|------------------------------|---------------------|------------------|------------|
| | 株式会社 ブレック研究所 | 福原信一 一級建築士事務所 | 株式会社 丹青社 | MOF合同会社 | TITLE 伏図 4 | SCALE 1/300 (A3) | DATE 24.10.31 | NO S-14 |
| | 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | 一級建築士事務所 京都府知事登録 05A第02947号 一級建築士 383080号 江田 拓也 | PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | | |

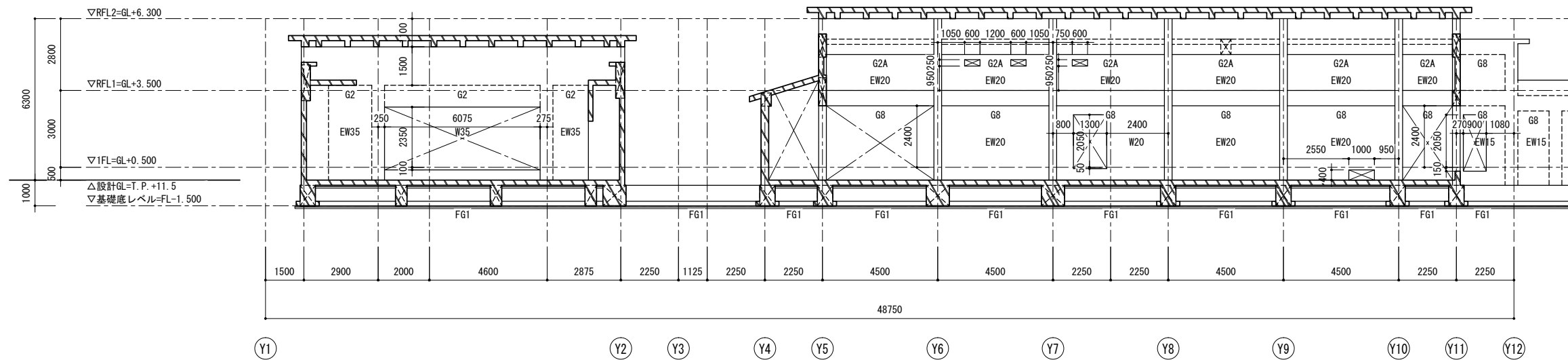


SX1 軸組図

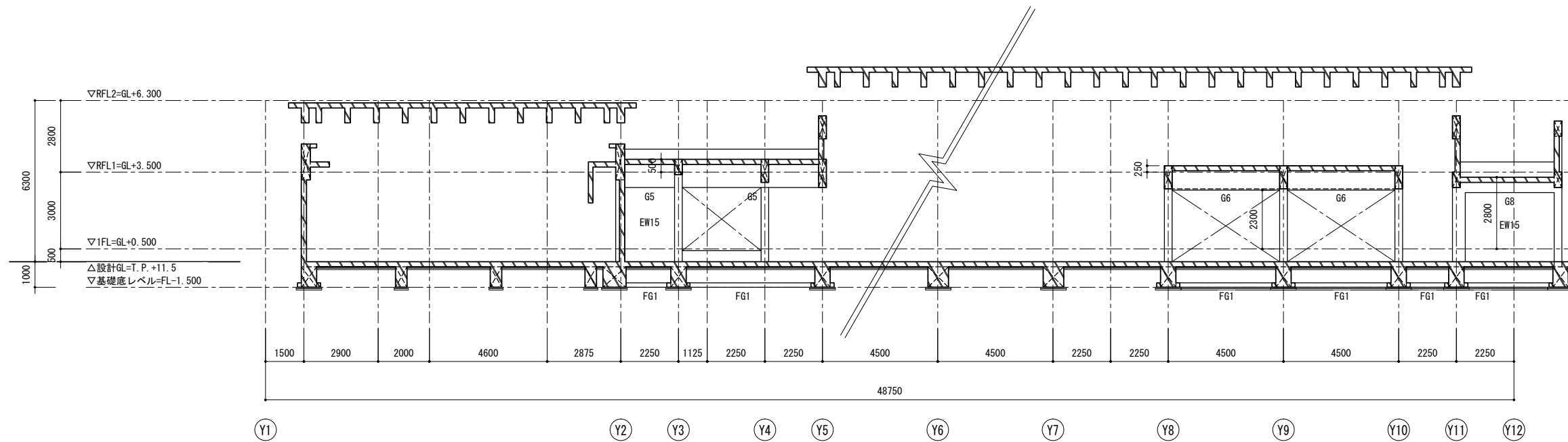


SX1+1800 軸組図

| | | | | | | | | |
|--|--|--|---|---|------------------------------|---------------------|------------------|----|
| | 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | MOF合同会社 一級建築士事務所 京都府知事登録 05A第02947号 一級建築士 383080号 江田 拓也 | TITLE 軸組図 1 | SCALE 1/200 (A3) | DATE 24.10.31 | NO |
| | | | | | PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | S-15 | |



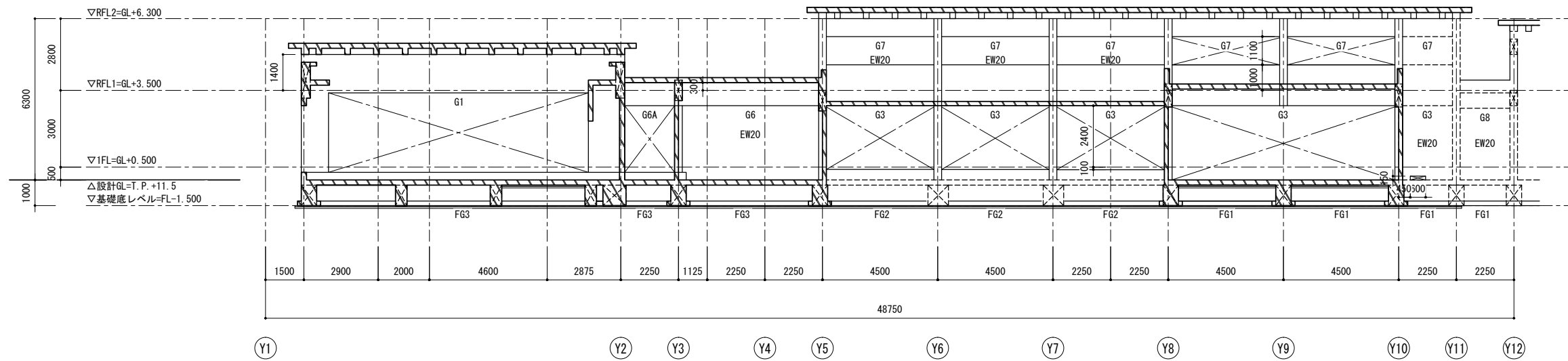
SX2軸組図



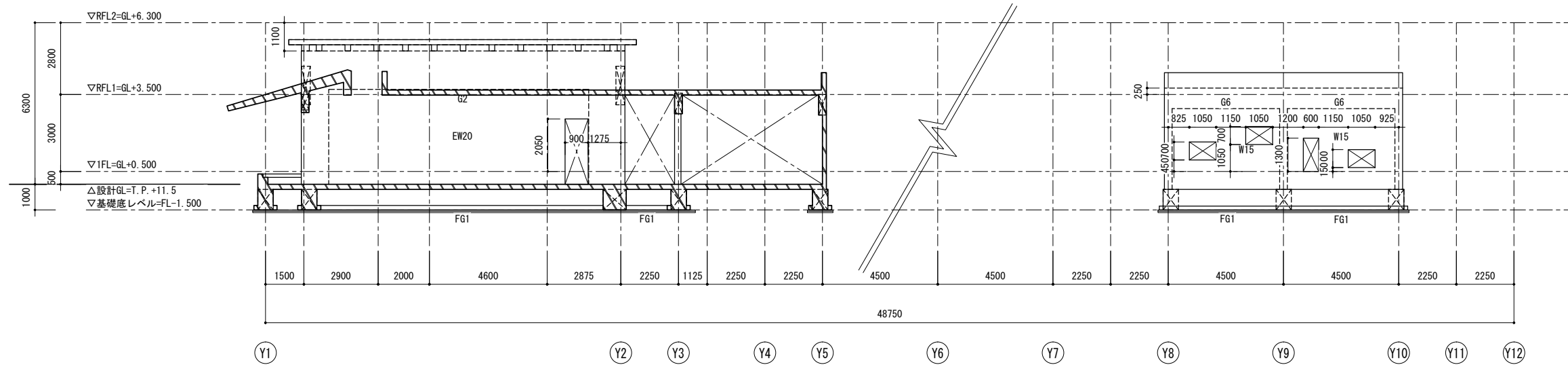
SX2+1500軸組図

SX2+3600軸組図

| | | | | | | | |
|--|--|---|--|------------------------------|---------------------|------------------|----|
| 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | MOF合同会社 一級建築士事務所 京都府知事登録 05A第0294号 一級建築士 383080号 江田 拓也 | TITLE 軸組図 2 | SCALE 1/200 (A3) | DATE 24.10.31 | NO |
| | | | | PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | S-16 | |



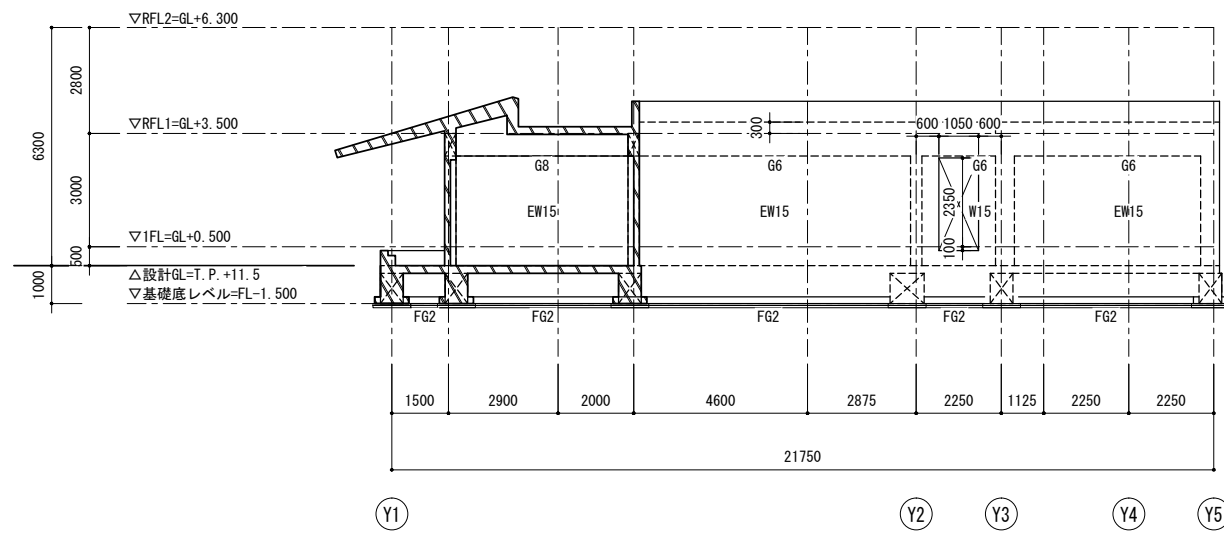
SX3軸組図



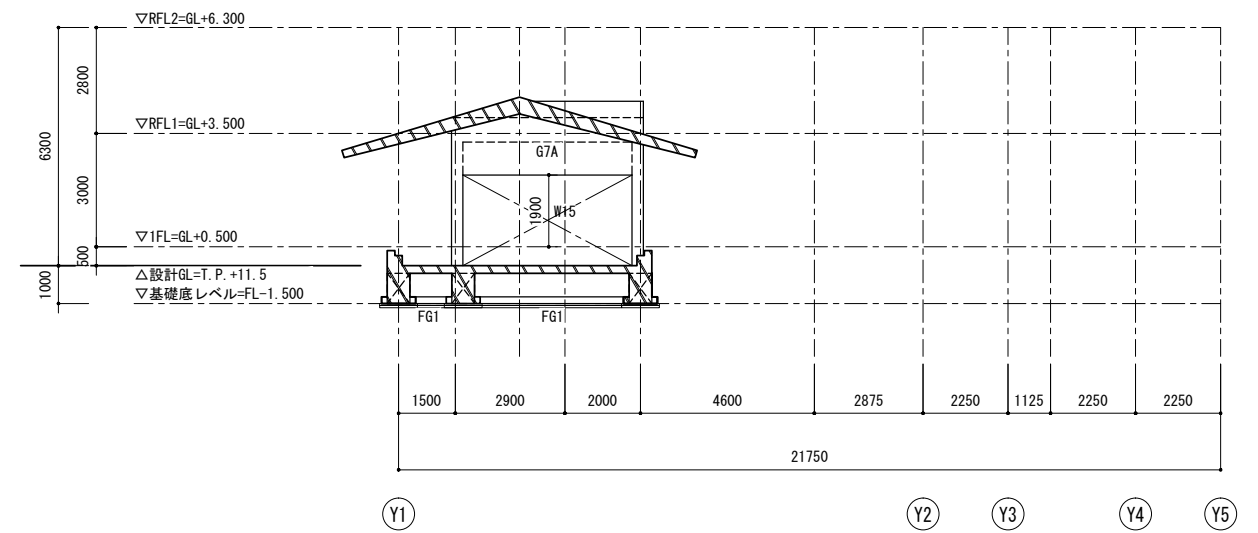
SX4軸組図

SX3+2700軸組図

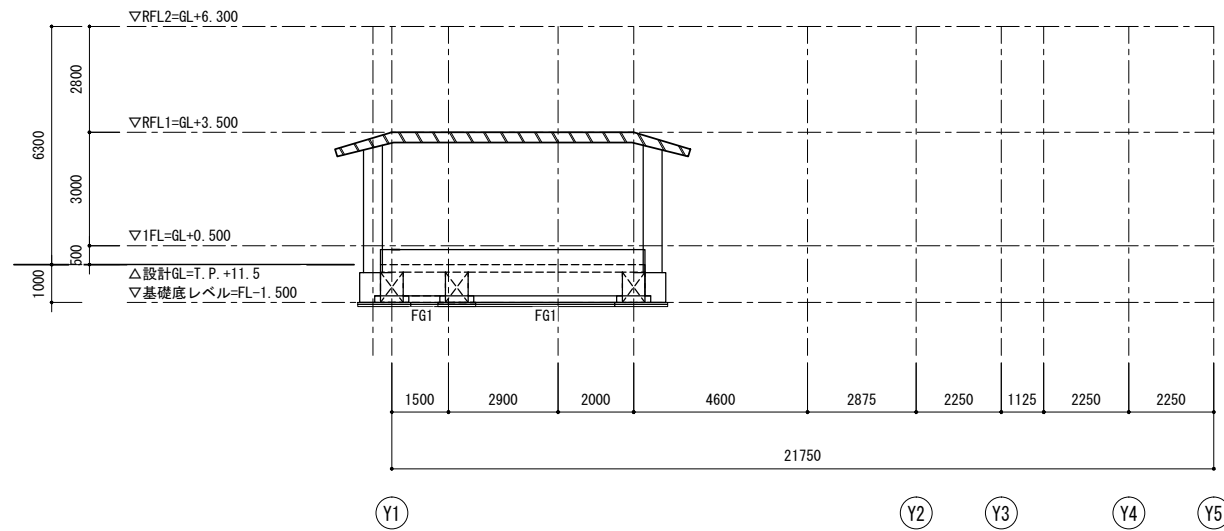
| | | | | | | | |
|--|--|---|---|------------------------------|---------------------|------------------|----|
| 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | MOF合同会社 一級建築士事務所 京都府知事登録 05A第02947号 一級建築士 383080号 江田 拓也 | TITLE 軸組図 3 | SCALE 1/200 (A3) | DATE 24.10.31 | NO |
| | | | | PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | S-17 | |



SX4+2050軸組図

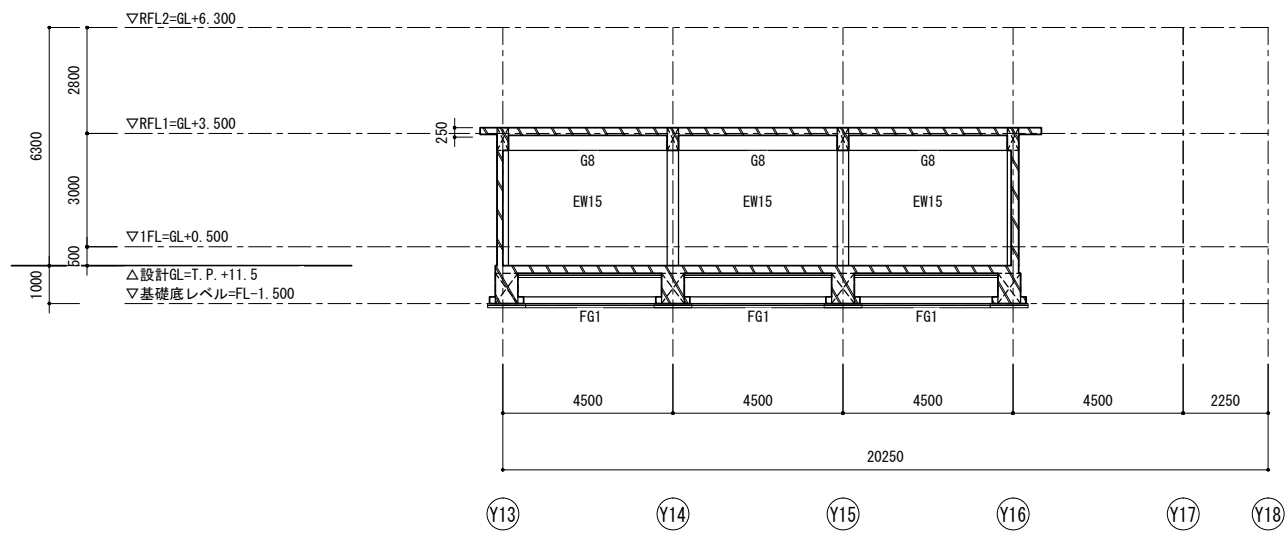


SX4+4600軸組図

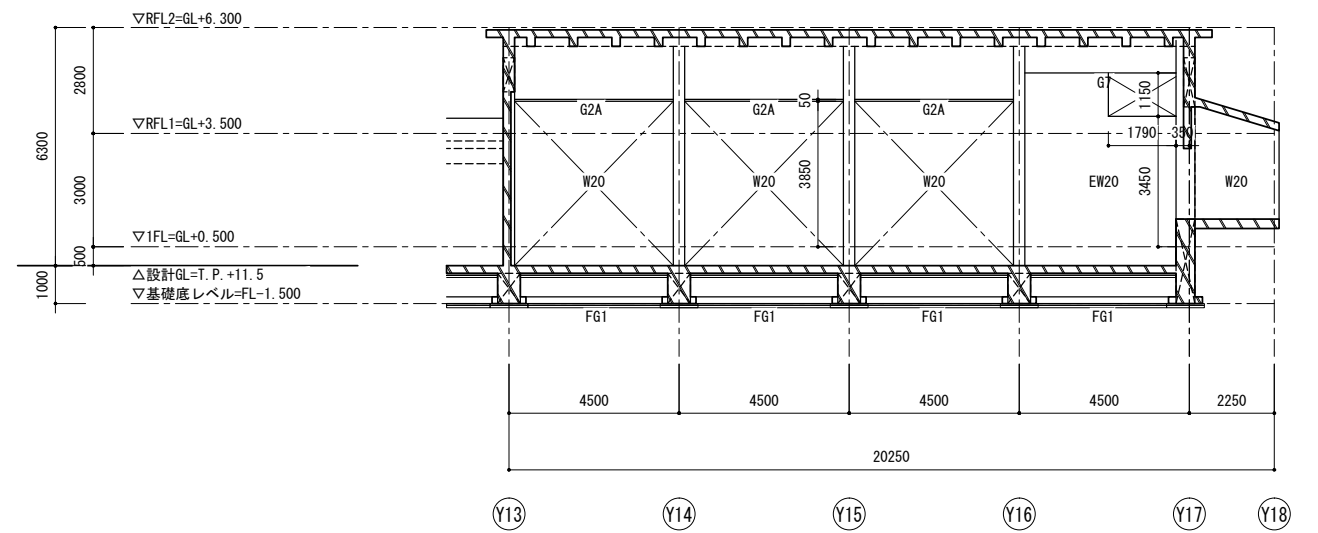


SX5軸組図

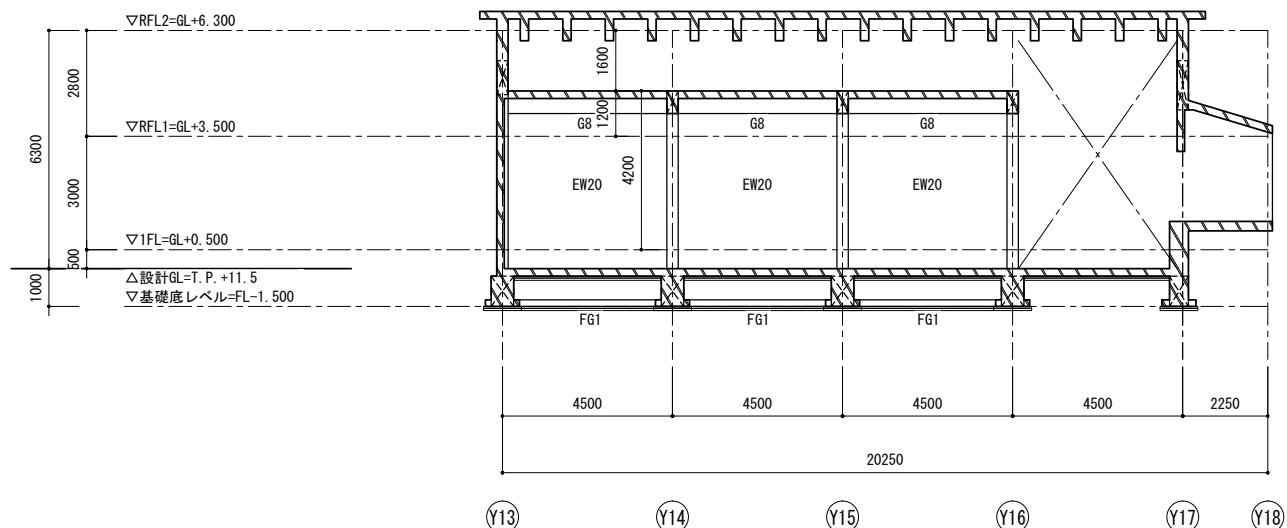
| | | | | | | | |
|--|--|---|---|------------------------------|---------------------|------------------|------------|
| 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | MOF合同会社 一級建築士事務所 京都府知事登録 05A第02947号 一級建築士 383080号 江田 拓也 | TITLE 軸組図 4 | SCALE 1/200 (A3) | DATE 24.10.31 | NO S-18 |
| | | | | PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | | |



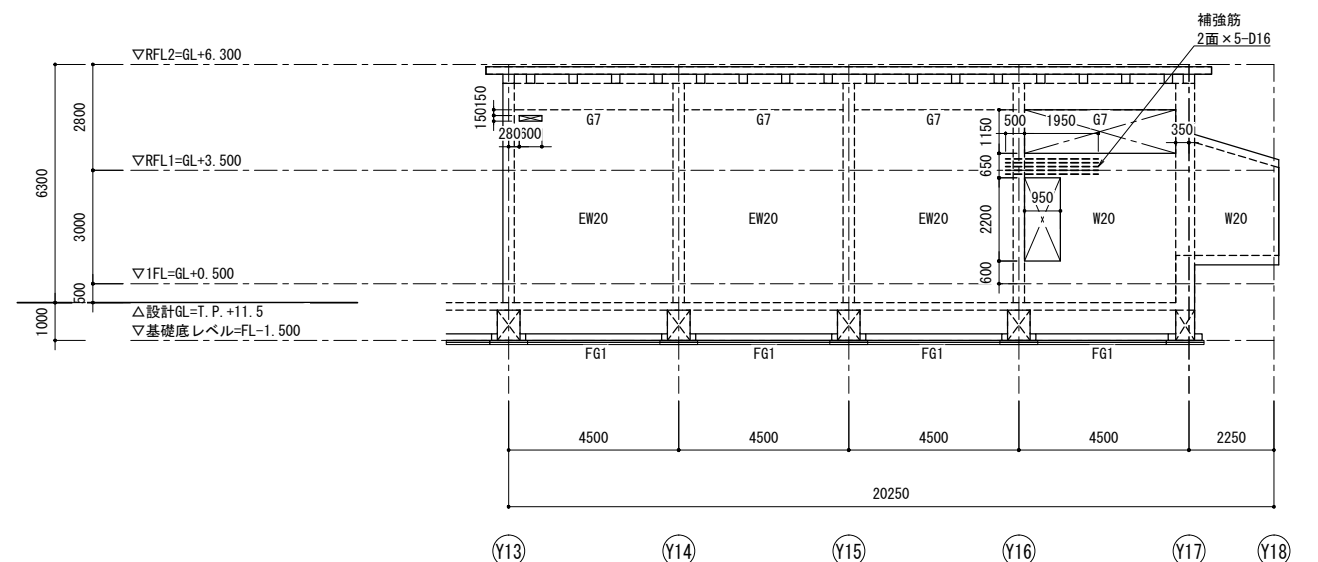
NX1軸組図



NX3軸組図

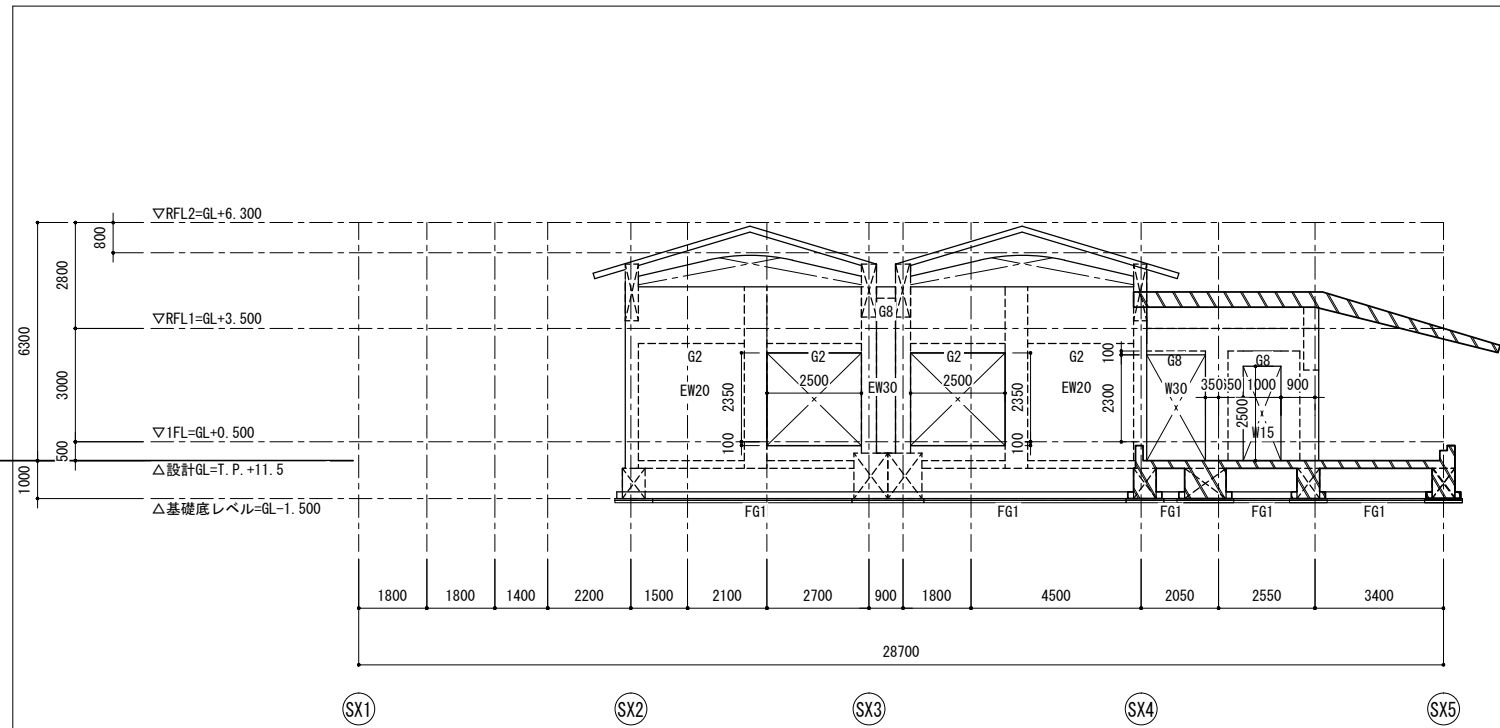


NX4軸組図

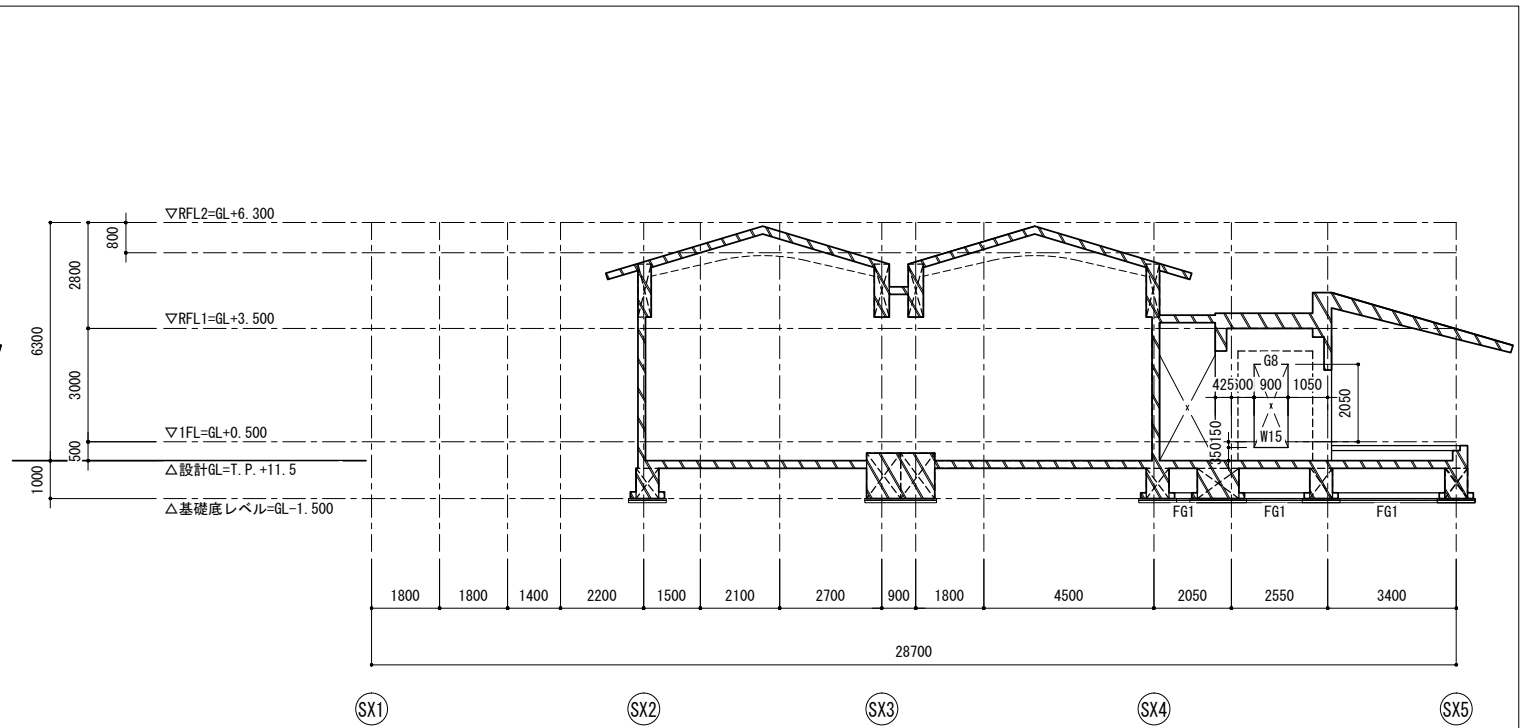


NX5軸組図

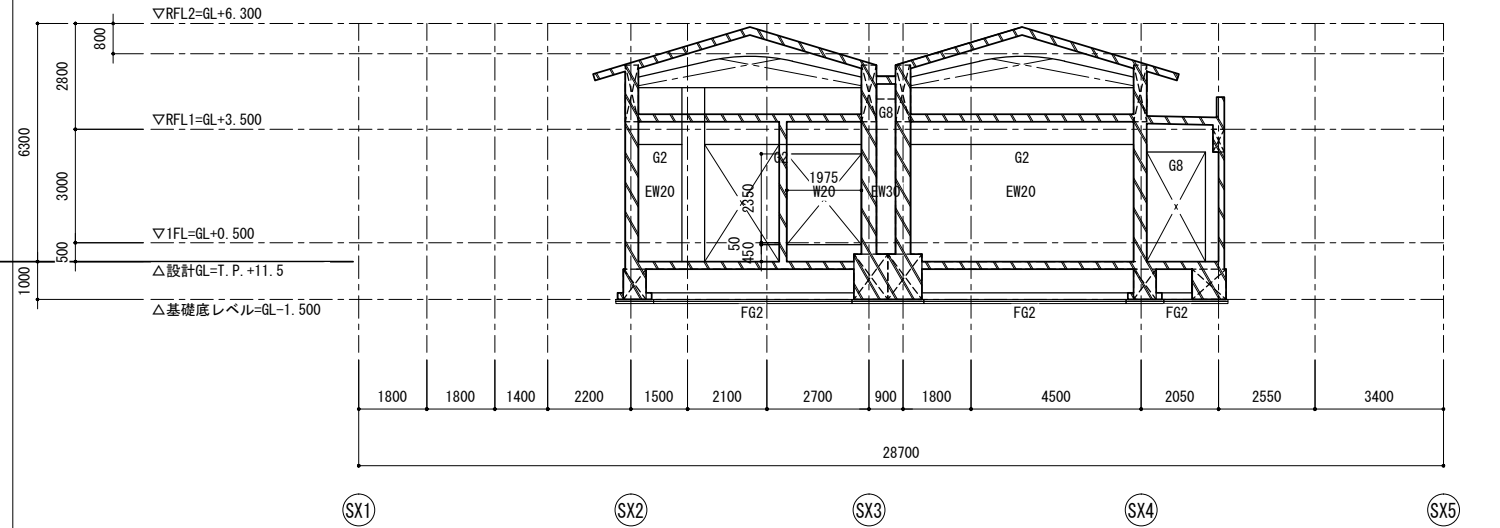
| | | | | | | | |
|--|--|---|---|------------------------------|---------------------|------------------|----|
| 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | MOF合同会社 一級建築士事務所 京都府知事登録 05A第02947号 一級建築士 383080号 江田 拓也 | TITLE 軸組図 5 | SCALE 1/200 (A3) | DATE 24.10.31 | NO |
| | | | | PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | S-19 | |



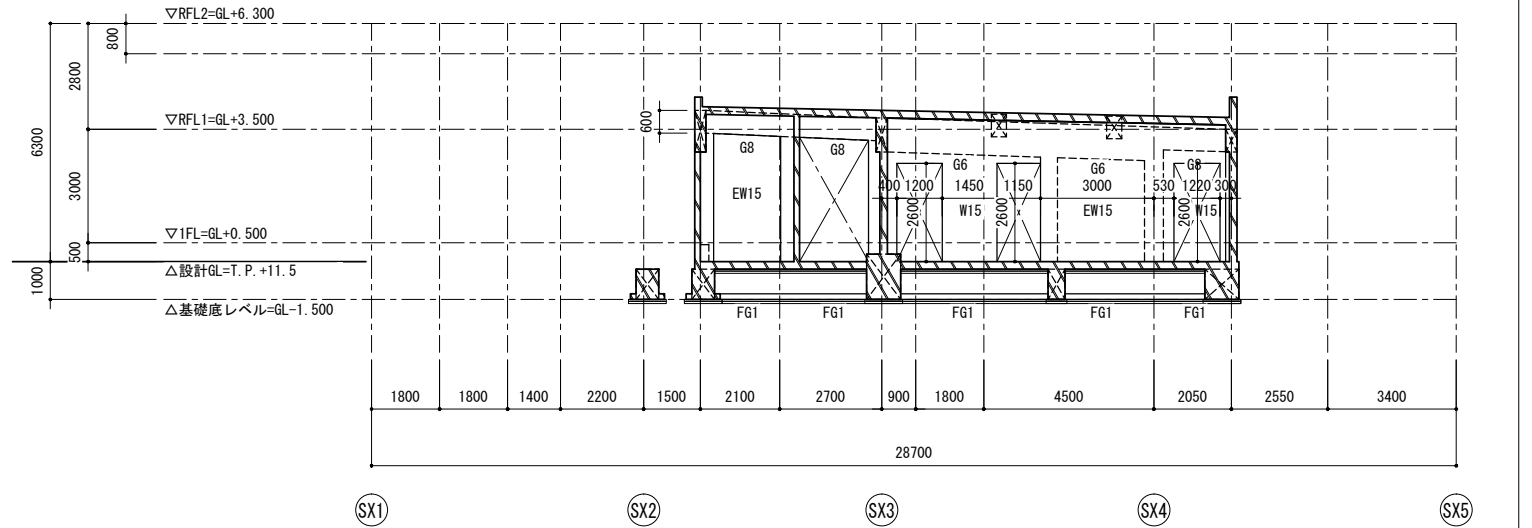
Y1軸組図



Y1+4900軸組図

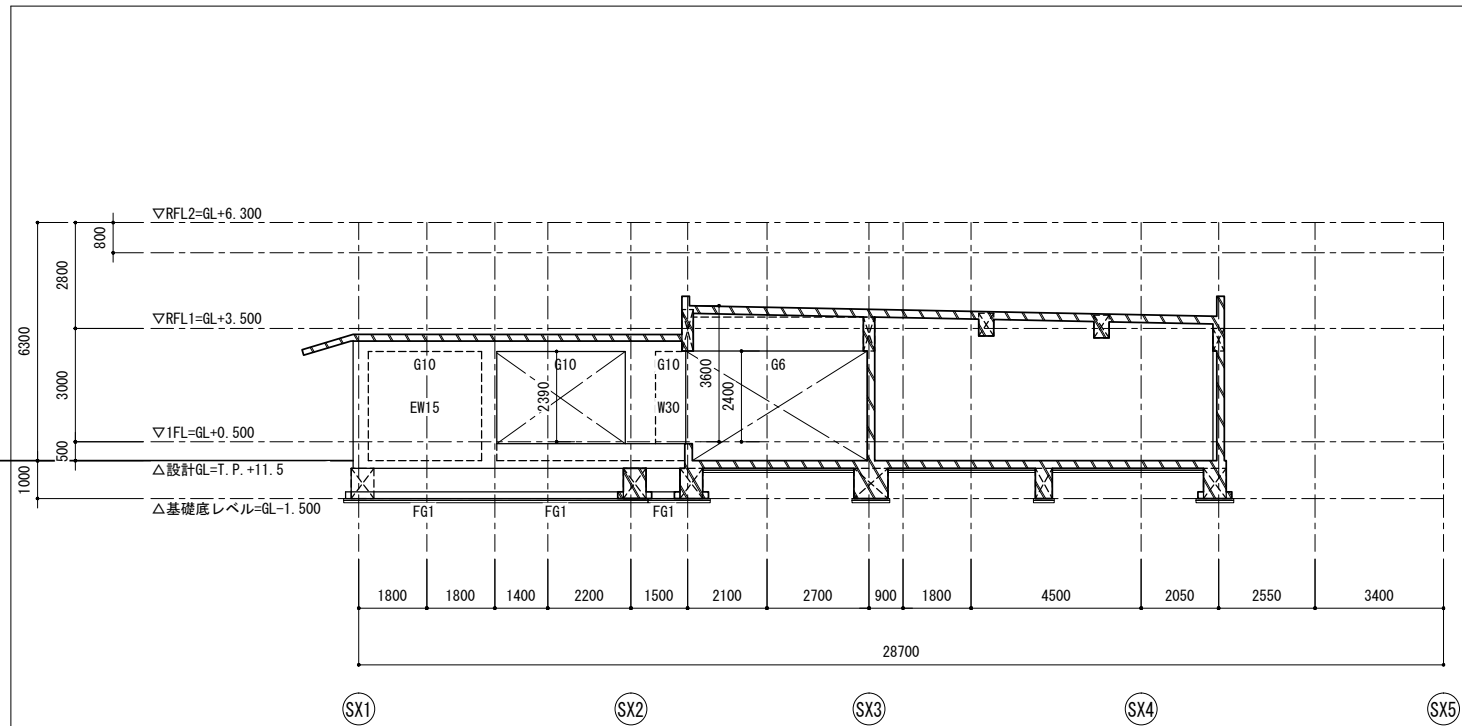


Y2軸組図

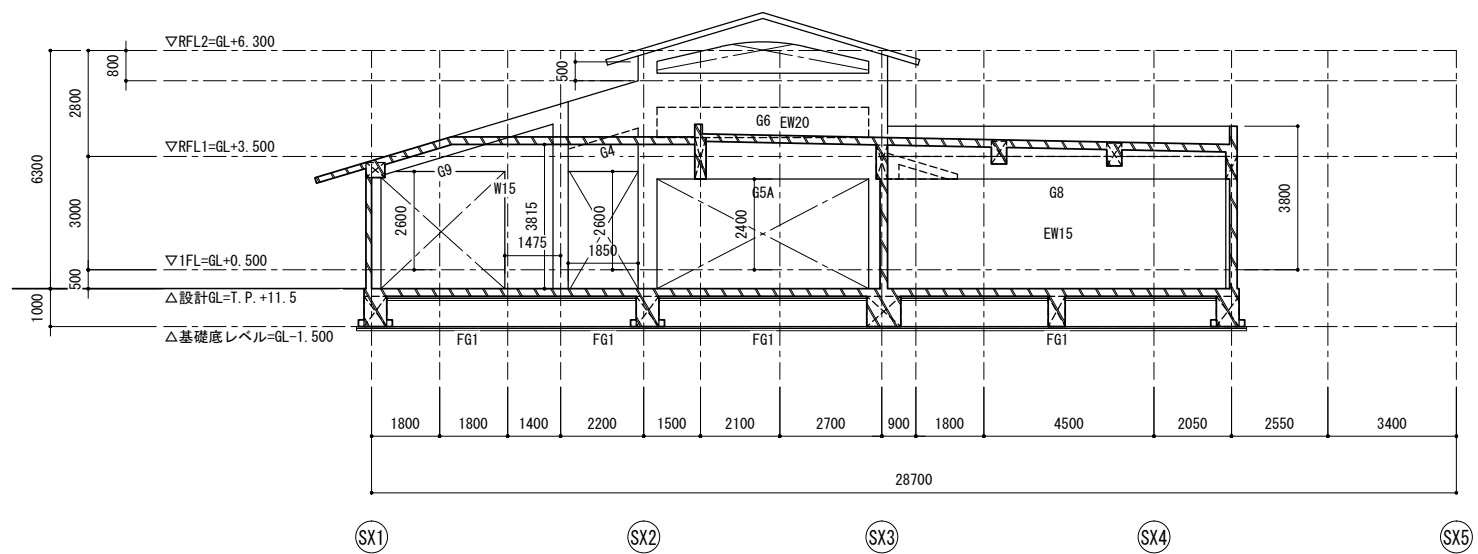


Y3軸組図

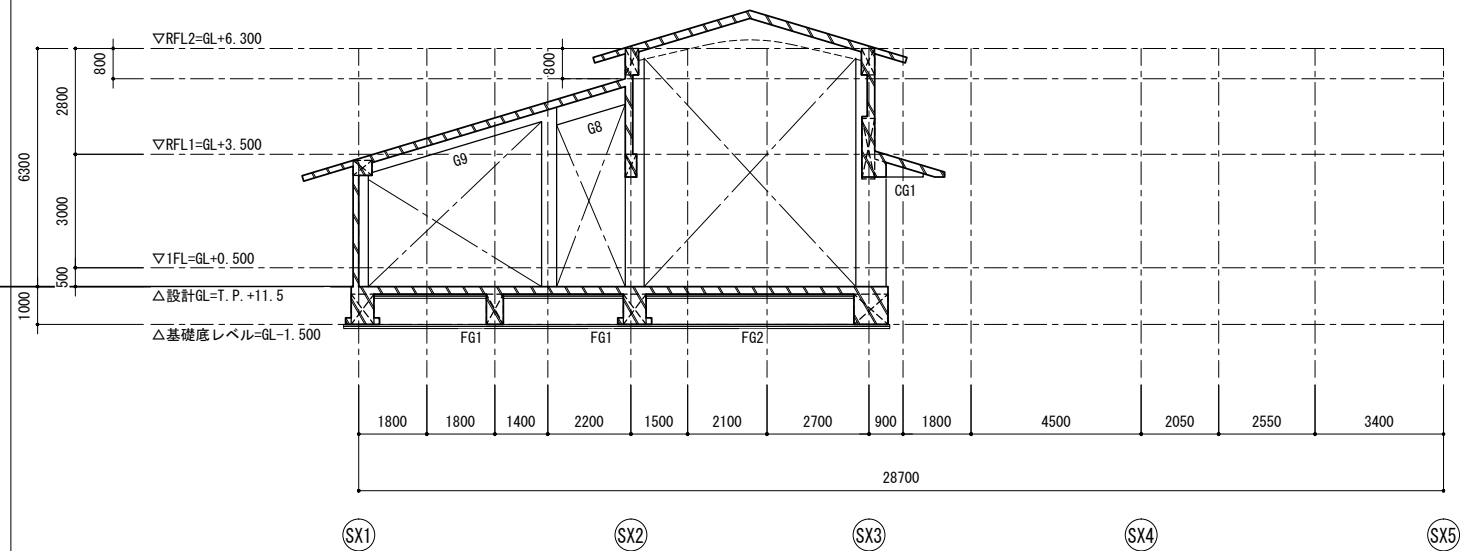
| | | | | | | | | |
|--|--|--|---|---|------------------------------|---------------------|------------------|----|
| | 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 364177号 福原 信一 | MOF合同会社 一級建築士事務所 京都府知事登録 05A第02947号 一級建築士 383080号 江田 拓也 | TITLE 軸組図 6 | SCALE 1/200 (A3) | DATE 24.10.31 | NO |
| | | | | | PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | S-20 | |



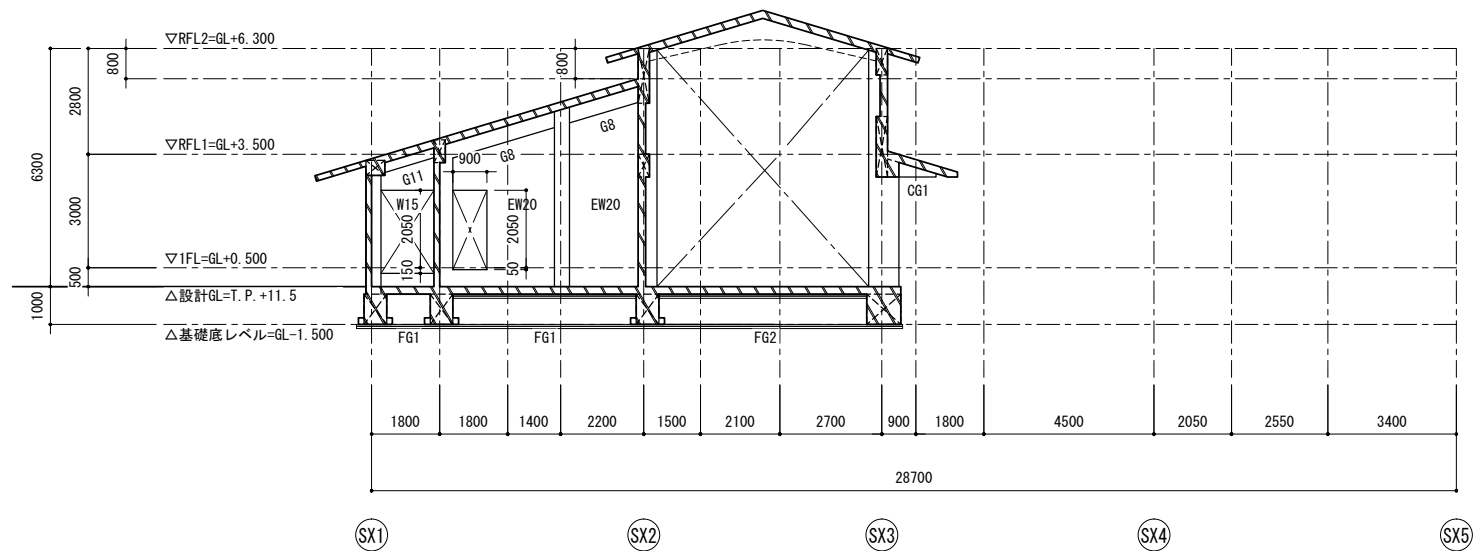
Y4軸組図



Y5軸組図

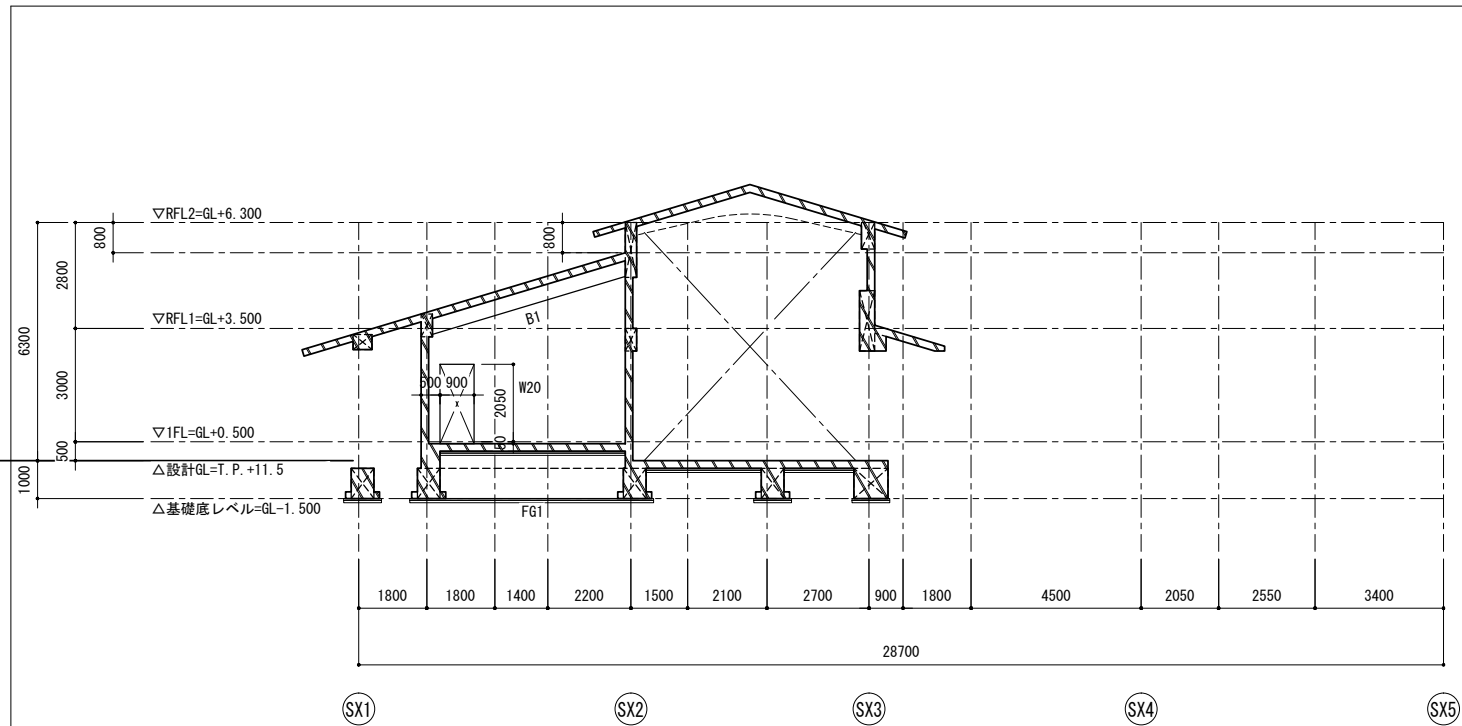


Y6軸組図

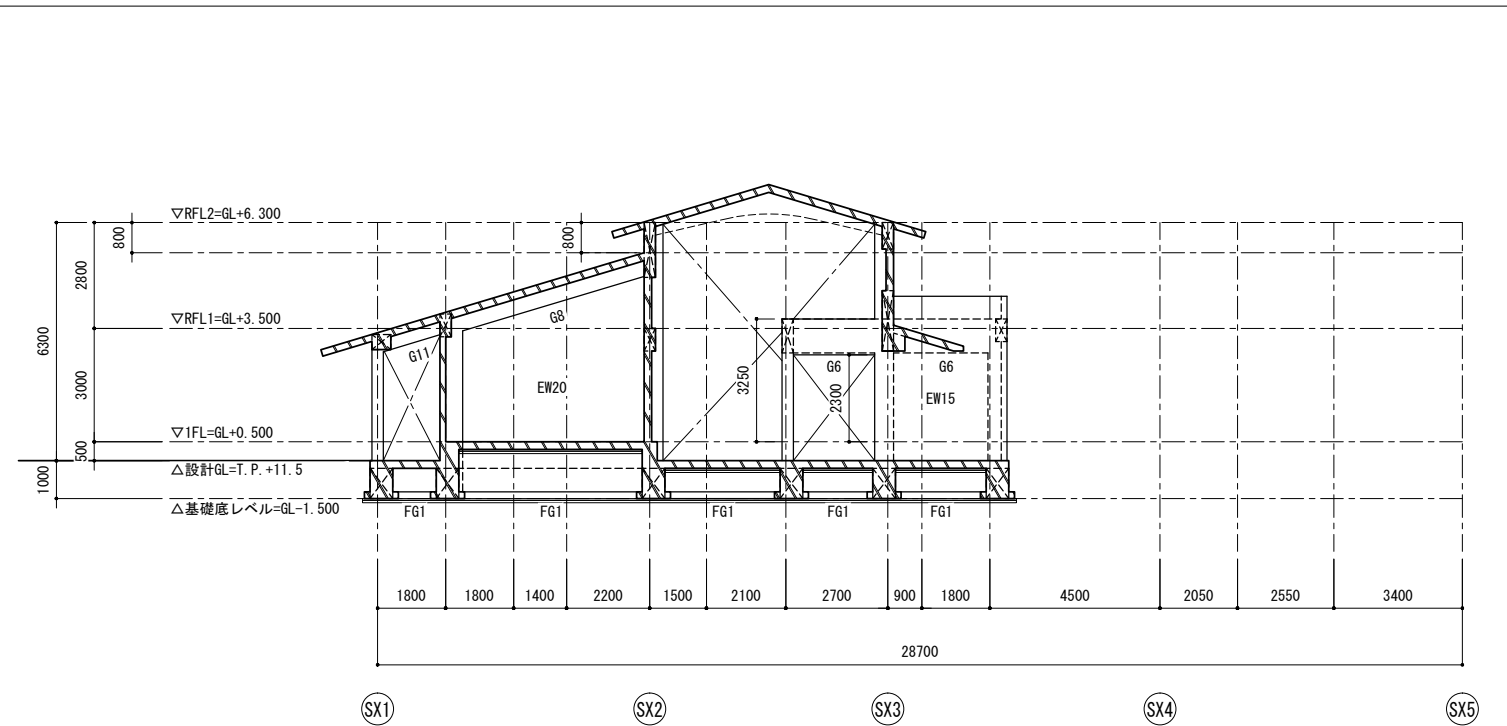


Y7軸組図

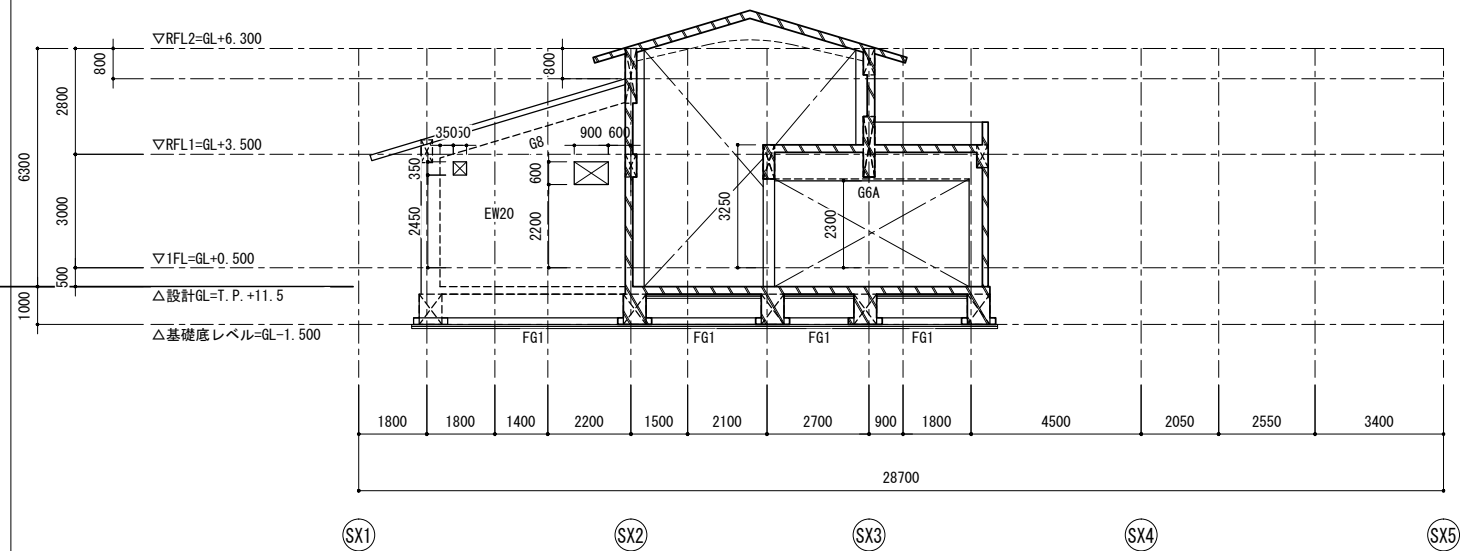
| | | | | | | | | |
|--|--|--|---|---|------------------------------|---------------------|------------------|------------|
| | 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | MOF合同会社 一級建築士事務所 京都府知事登録 05A第02947号 一級建築士 383080号 江田 拓也 | TITLE 軸組図 7 | SCALE 1/200 (A3) | DATE 24.10.31 | NO S-21 |
| | | | | | PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | | |



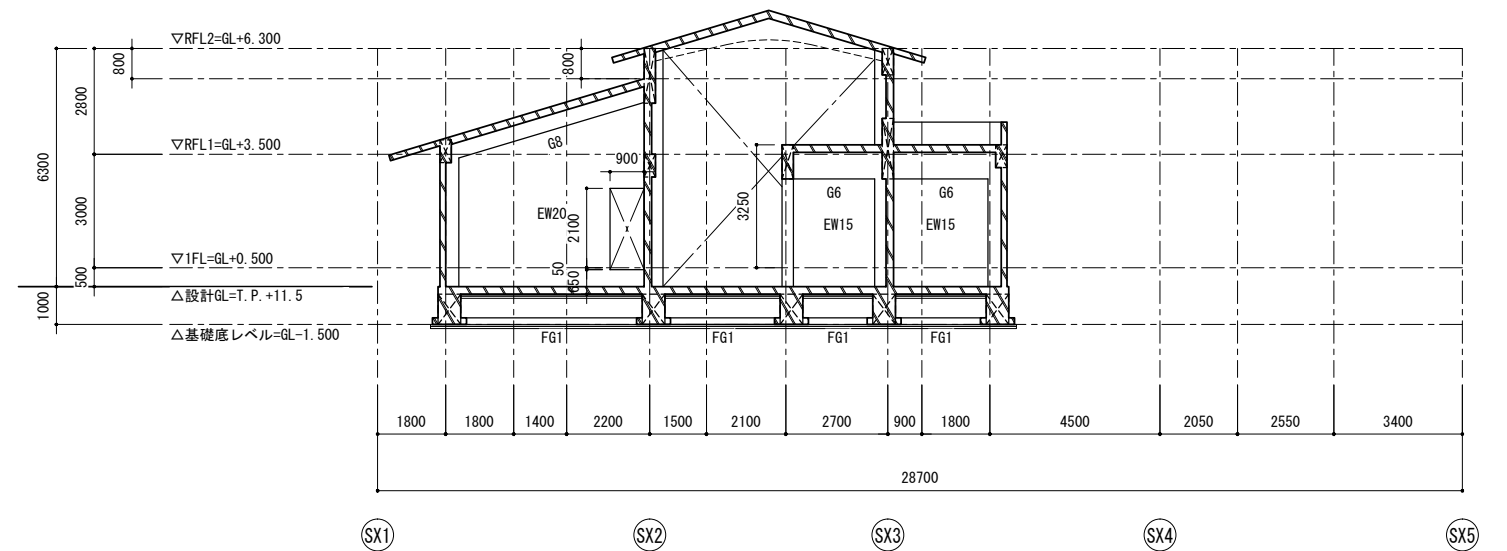
Y7+2250軸組図



Y8軸組図

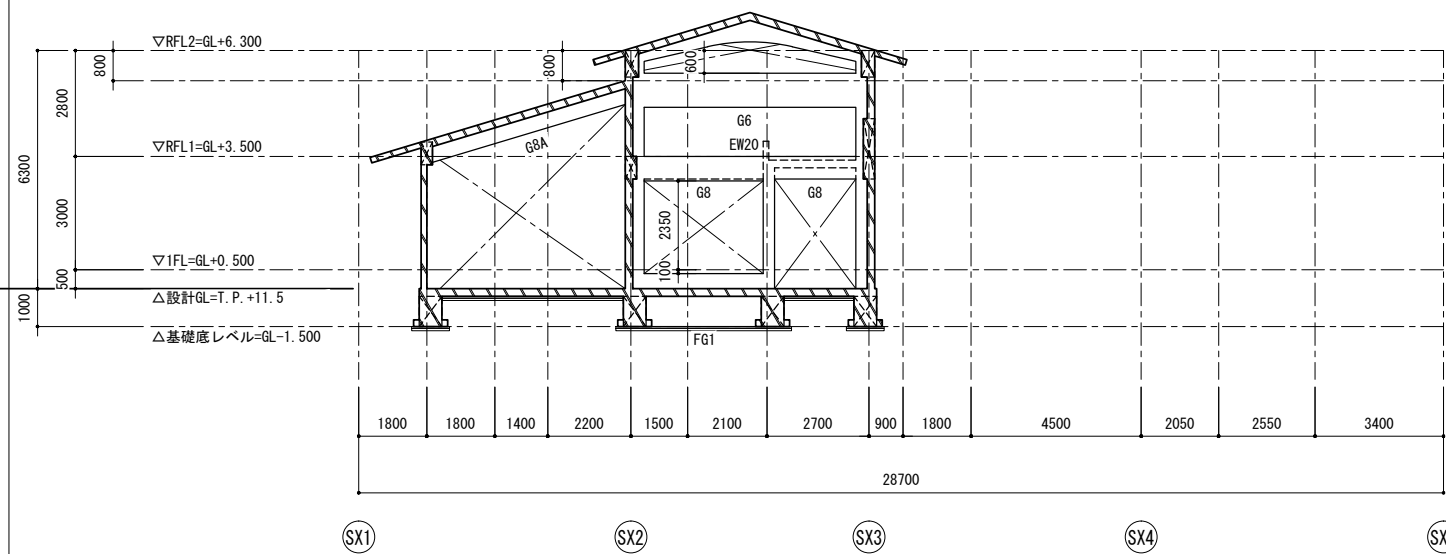


Y9軸組図

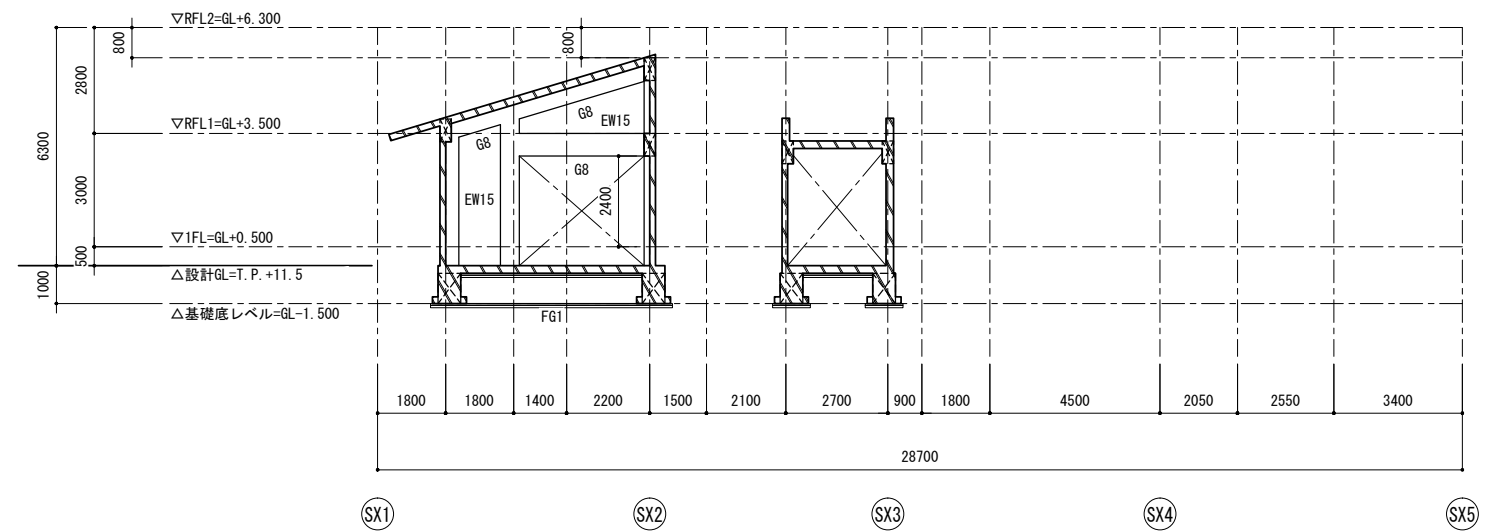


Y10軸組図

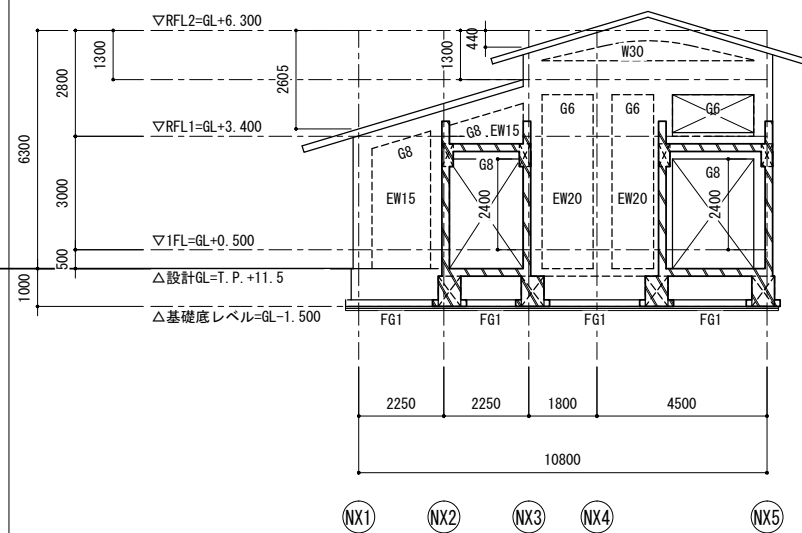
| | | | | | | | | |
|--|--|--|---|---|------------------------------|---------------------|------------------|------------|
| | 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | MOF合同会社 一級建築士事務所 京都府知事登録 05A第02947号 一級建築士 383080号 江田 拓也 | TITLE 軸組図 8 | SCALE 1/200 (A3) | DATE 24.10.31 | NO S-22 |
| | | | | | PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | | |



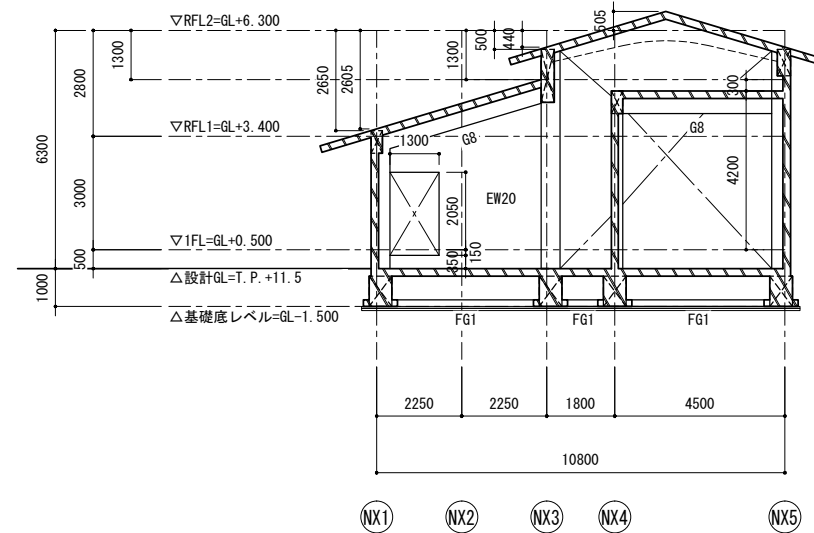
Y11軸組図



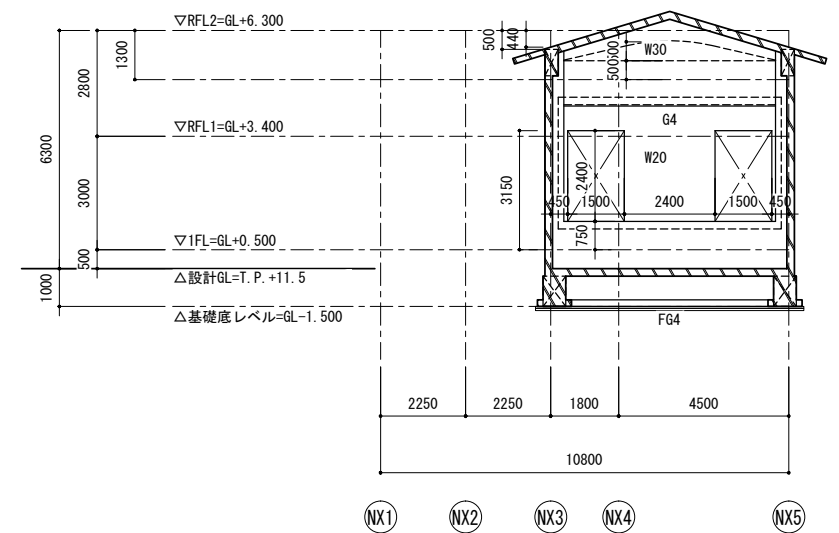
Y12軸組図



Y13軸組図



Y16軸組図



Y17軸組図

| | | | | | | | |
|--|--|---|---|-------------------|------------|----------|------|
| 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 建二 | MOF合同会社 一級建築士事務所 京都府知事登録 05A第02947号 一級建築士 383080号 江田 拓也 | TITLE | SCALE | DATE | NO |
| | | | | 軸組図 9 | 1/200 (A3) | 24.10.31 | S-23 |
| PROJECT | | | | 西表島世界遺産センター整備実施設計 | | CHECK | |

RC柱断面リスト 1:60 (A3)

| | C1 | C2 | C3 | C4 | C5 | C6 | C7 | C8 | C9 | C10A | C10B | C11 | C12 |
|-------|----------------|-------------|-------------|-------------|---------|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-------------|
| 全階 | 全断面 | 全断面 | 全断面 | 全断面 | 全断面 | 全断面 | 全断面 | 全断面 | 全断面 | 全断面 | 全断面 | 全断面 | 全断面 |
| 主筋全本数 | 32-D19 | 30-D19 | 26-D19 | 24-D19 | 10-D19 | 14-D19 | 20-D19 | 10-D19 | 12-D19 | 4-D19 | 4-D19 | 8-D16 | 18-D19 |
| X主筋 | 14-D19 | 14-D19 | 11-D19 | 11-D19 | 5-D19 | 7-D19 | 6-D19 | 5-D19 | 4-D19 | 2-D19 | 2-D19 | 4-D16 | 9-D19 |
| Y主筋 | 4-D19 | 3-D19 | 4-D19 | 3-D19 | 2-D19 | 2-D19 | 6-D19 | 2-D19 | 4-D19 | 2-D19 | 2-D19 | 2-D16 | 2-D19 |
| 帯筋 | D13@100 | D13@100 | D13@100 | D13@100 | D13@100 | D13@100 | D13@100 | D13@100 | D13@100 | D10@100 | D10@100 | D10@100 | D13@100 |
| 副帯筋 | X:4-D13@100 | X:4-D13@100 | X:2-D13@100 | X:2-D13@100 | - | X:2-D13@100 | - | - | - | - | - | - | X:2-D13@100 |
| 備考 | かぶり厚さは室内側が40mm | | | | | | | | | | | | |

RC梁断面リスト 1:60 (A3)

| | FG1 | FG2 | FG3 | FG4 | G1 | G2 | G2A | G3 | G4 | G5 | G5A | G6 | G6A | G7 | G7a |
|--------------|----------------|-----------|--------------|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---------|
| 幅止め筋 D10@800 | 全断面 | 全断面 | 全断面 | 全断面 | 全断面 | 全断面 | 全断面 | 全断面 | 全断面 | 全断面 | 全断面 | 全断面 | 全断面 | 全断面 | 全断面 |
| ※はかぶり寸法 | かぶり厚さは室内側が40mm | | | | | | | | | | | | | | |
| 上主筋 | 5-D22 | 8-D22 | 10-D22/8-D22 | 5-D22 | 3-D25/3-D25 | 3-D19/2-D19 | 3-D19/2-D19 | 3-D22/3-D22 | 2-D19/1-D19 | 3-D19/1-D19 | 2-D19/2-D19 | 2-D19/1-D19 | 2-D19/2-D19 | 3-D22/1-D22 | 6-D19 |
| 下主筋 | 5-D22 | 8-D22 | 10-D22/8-D22 | 5-D22 | 3-D25/3-D25 | 3-D19/2-D19 | 3-D19 | 3-D22/3-D22 | 2-D19/1-D19 | 3-D19/1-D19 | 2-D19/2-D19 | 2-D19/1-D19 | 2-D19/2-D19 | 3-D22 | 6-D19 |
| 肋筋 | D13@200 | 3-D13@200 | 3-D13@200 | D13@100 | D13@200 | D13@200 | D13@200 | D13@100 | D13@100 | D13@200 | D13@200 | D13@200 | D13@200 | D13@200 | D16@100 |
| 腹筋 | 4-D13 | 4-D13 | 8-D13 | 12-D13 | 8-D13 | 8-D13 | 8-D13 | 8-D13 | 6-D13 | 6-D13 | 4-D13 | 4-D13 | 4-D13 | 2-D13 | 2-D13 |
| 備考 | かぶり厚さは室内側が40mm | | | | | | | | | | | | | | |

RC梁断面リスト 1:60 (A3)

| | G8 | G8A | G9 | G10 | G11 |
|--------------|----------------|---------|---------|---------|---------|
| 幅止め筋 D10@800 | 全断面 | 全断面 | 全断面 | 全断面 | 全断面 |
| ※はかぶり寸法 | かぶり厚さは室内側が40mm | | | | |
| 上主筋 | 2-D19 | 3-D19 | 5-D19 | 6-D19 | 2-D19 |
| 下主筋 | 2-D19/1-D19 | 3-D19 | 5-D19 | 6-D19 | 2-D19 |
| 肋筋 | D13@200 | D13@200 | D13@200 | D13@200 | D10@200 |
| 腹筋 | 2-D13 | 2-D13 | 2-D13 | 2-D13 | 2-D13 |
| 備考 | かぶり厚さは室内側が40mm | | | | |

RC小梁断面リスト 1:60 (A3)

| | FB1 | B1 | RB2 | RB3 |
|--------------|-----------------------------------|---------|---------|---------|
| 全階 | 全断面 | 全断面 | 全断面 | 全断面 |
| 幅止め筋 D10@800 | かぶり厚さは室内側が40mm | | | |
| ※はかぶり寸法 | 補強筋 1-D25 (梁構詳細) 補強筋 1-D25 (梁構詳細) | | | |
| 上主筋 | 4-D22 | 5-D19 | 2-D19 | 2-D19 |
| 下主筋 | 4-D22 | 5-D19 | 2-D19 | 2-D19 |
| 肋筋 | D13@200 | D13@200 | D10@150 | D10@150 |
| 腹筋 | 4-D13 | 2-D13 | 2-D13 | 2-D13 |
| 備考 | かぶり厚さは室内側が40mm | | | |

RC片持ち梁断面リスト 1:60 (A3)

| | CG1 | |
|--------------|----------------|---------|
| | 元端 | 先端 |
| 幅止め筋 D10@800 | 全断面 | 全断面 |
| ※はかぶり寸法 | かぶり厚さは室内側が50mm | |
| 上主筋 | 2-D22 | 2-D22 |
| 下主筋 | 2-D22 | 2-D22 |
| 肋筋 | D13@150 | D13@150 |
| 腹筋 | 2-D13 | 2-D13 |
| 備考 | かぶり厚さは室内側が50mm | |

株式会社 ブレック研究所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号
一級建築士 233817号 福岡 薫

福原信一 一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号
一級建築士 364177号 福原 信一

株式会社 丹青社
一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号
一級建築士 254337号 関根 雄二

MOF合同会社
一級建築士事務所 京都府知事登録 05A第02947号
一級建築士 383080号 江田 拓也

TITLE 断面リスト1
PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計

SCALE 1/60 (A3)
DATE 24.10.31
CHECK

NO S-24

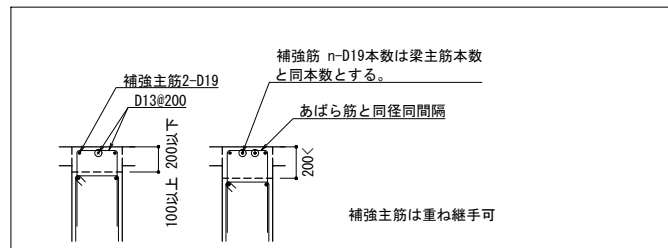
スラブ断面リスト 1:60 (A3)

| | |
|-------|--|
| FS17 | <p>主筋：D13@200ｼﾝｸﾞﾙ 配力筋：先端にD13</p> <p>※はかぶり寸法</p> |
| FS25 | <p>主筋：D13@100ﾀﾞﾌﾞﾙ 配力筋：D13@200ﾀﾞﾌﾞﾙ</p> <p>※はかぶり寸法</p> |
| CS25 | <p>主筋：D13@100ﾀﾞﾌﾞﾙ 配力筋：D13@100ﾀﾞﾌﾞﾙ</p> |
| CS25a | <p>主筋：D13@100ﾀﾞﾌﾞﾙ 配力筋：D13@150ﾀﾞﾌﾞﾙ</p> |
| CS20 | <p>主筋：D13@100ﾀﾞﾌﾞﾙ 配力筋：D13@150ﾀﾞﾌﾞﾙ(千鳥)</p> |
| CS20a | <p>主筋：D13@100ﾀﾞﾌﾞﾙ 配力筋：D13@100ﾀﾞﾌﾞﾙ</p> |
| CS17 | <p>主筋：D13@100ｼﾝｸﾞﾙ 配力筋：D13@150ｼﾝｸﾞﾙ</p> |
| S20a | <p>主筋：D13@200ﾀﾞﾌﾞﾙ 配力筋：D13@200ﾀﾞﾌﾞﾙ(千鳥)</p> |
| S20b | <p>主筋：D13@200ﾀﾞﾌﾞﾙ 配力筋：D13@200ﾀﾞﾌﾞﾙ(千鳥)</p> |
| S40 | <p>主筋：D13@100ﾀﾞﾌﾞﾙ 配力筋：D13@100ﾀﾞﾌﾞﾙ</p> |
| S40 | <p>主筋：D16@100ﾀﾞﾌﾞﾙ 配力筋：D16@100ﾀﾞﾌﾞﾙ</p> |

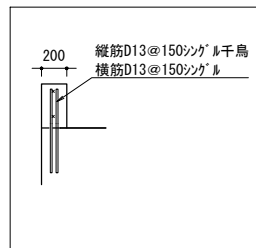
耐力壁断面リスト 1:60 (A3)

| | EW35/W35 | EW30/W30 | EW20/W20 | EW15/W15 |
|-----------------|----------------|----------------|--------------|--------------|
| 全階 | | | | |
| 幅止め筋 D10@800 | 350 | 300 | 200 | 150 |
| 縦筋 | D13@100ﾀﾞﾌﾞﾙ | D13@150ﾀﾞﾌﾞﾙ | D13@150ﾀﾞﾌﾞﾙ | D13@150ｼﾝｸﾞﾙ |
| 横筋 | D13@100ﾀﾞﾌﾞﾙ | D13@150ﾀﾞﾌﾞﾙ | D13@150ﾀﾞﾌﾞﾙ | D13@150ｼﾝｸﾞﾙ |
| 端部補強筋 | 2-D13 | 2-D13 | 2-D13 | 2-D13 |
| 開口補強 | 縦横 各面 斜め 各角 | 2-D13 2-D13 | 2-D13 - | 2-D13 - |
| 備考 | かぶり厚さは室内側が50mm | | | |

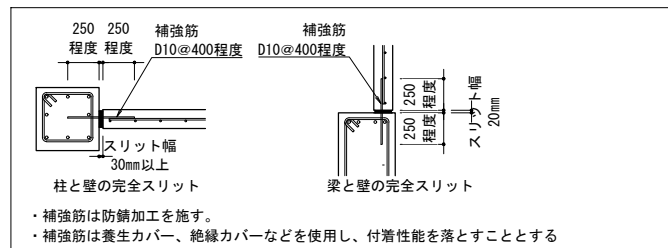
梁打増部補強筋



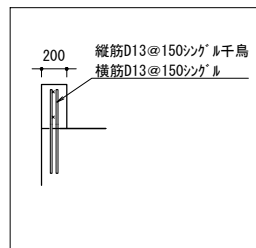
立ち上がり筋



耐震スリット配筋

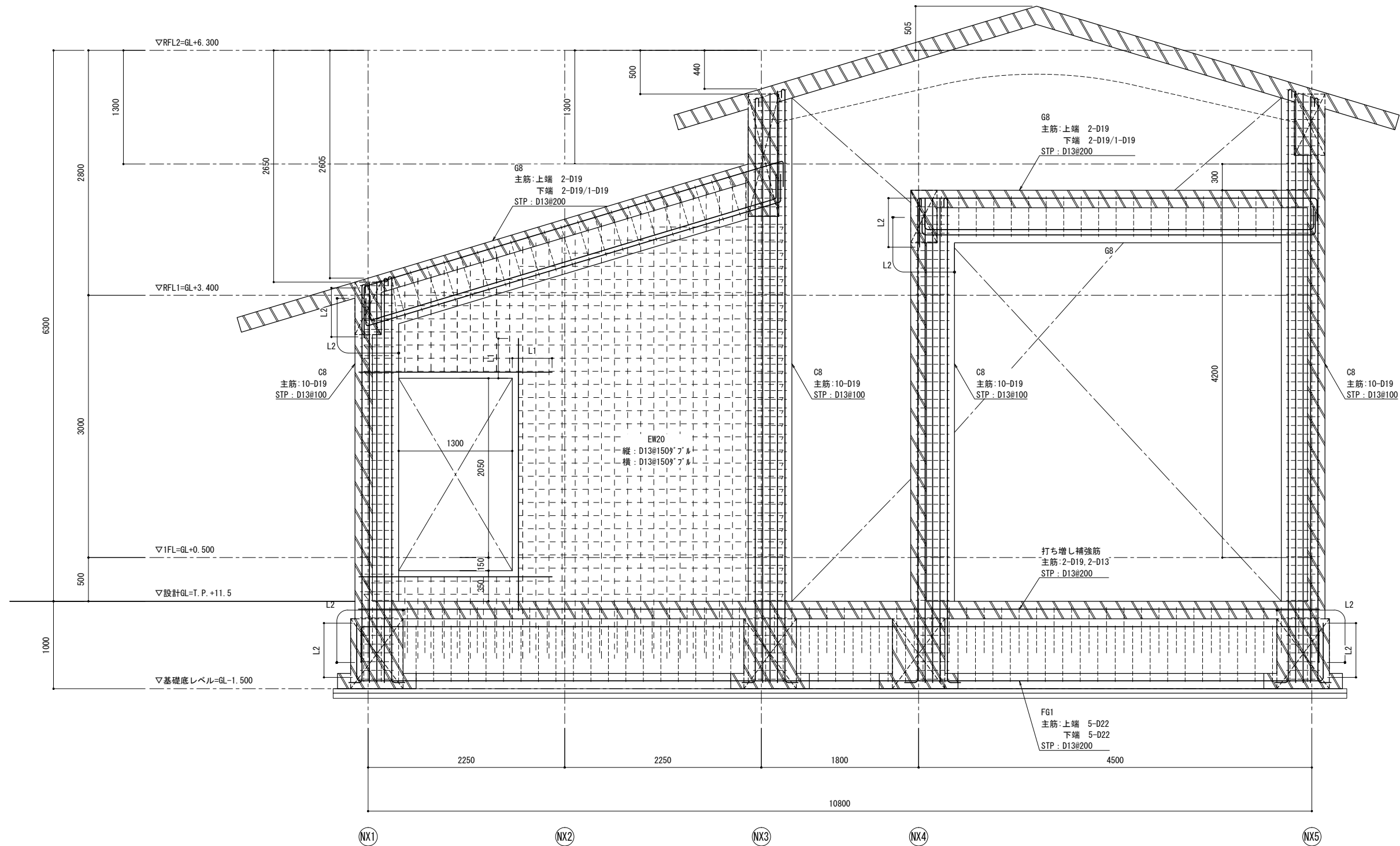


パラベット



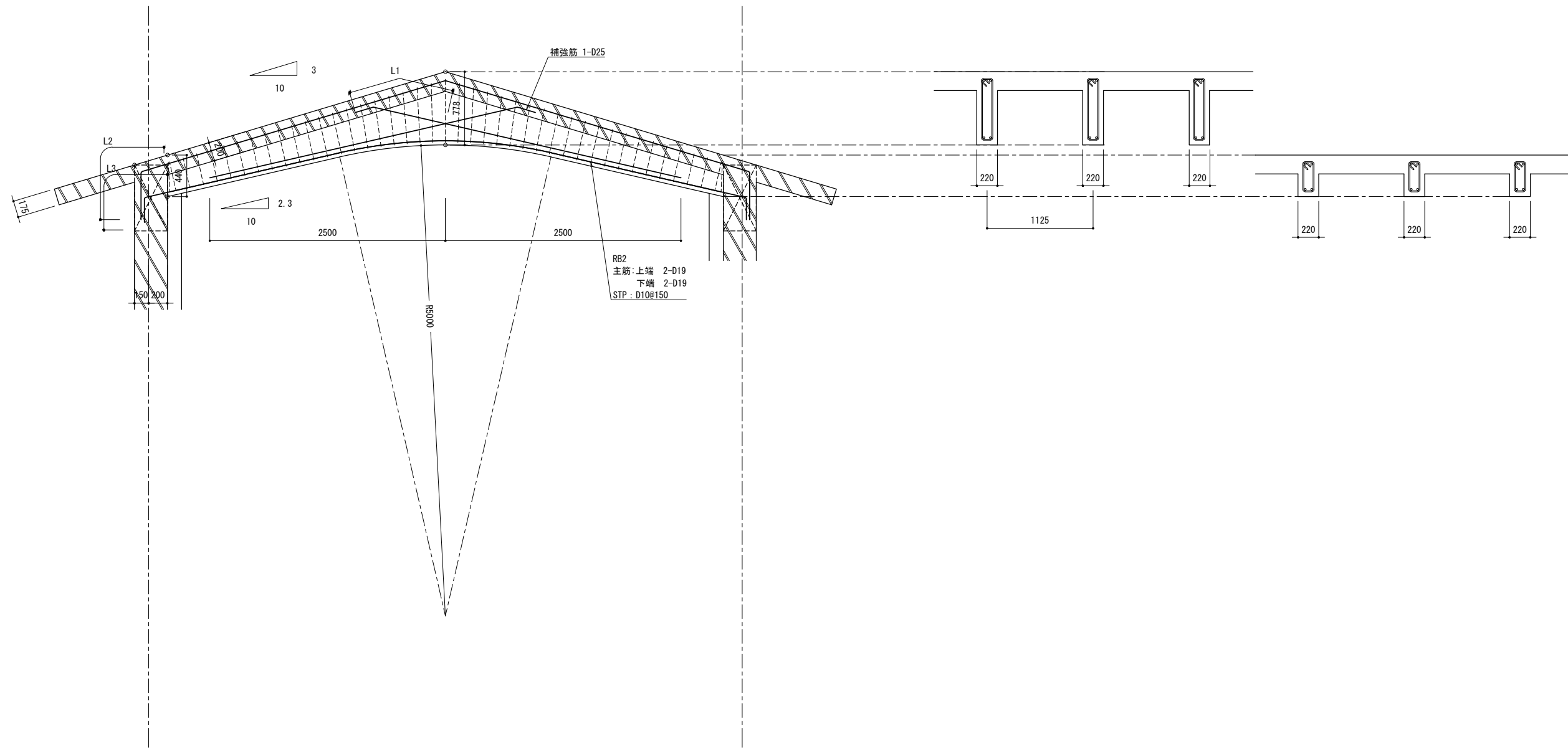
設備基礎スラブリスト 1:60 (A3)

| | |
|------|---|
| FS25 | <p>主筋：D13@200ｼﾝｸﾞﾙ 配力筋：D13@200ﾀﾞﾌﾞﾙ(千鳥)</p> |
|------|---|

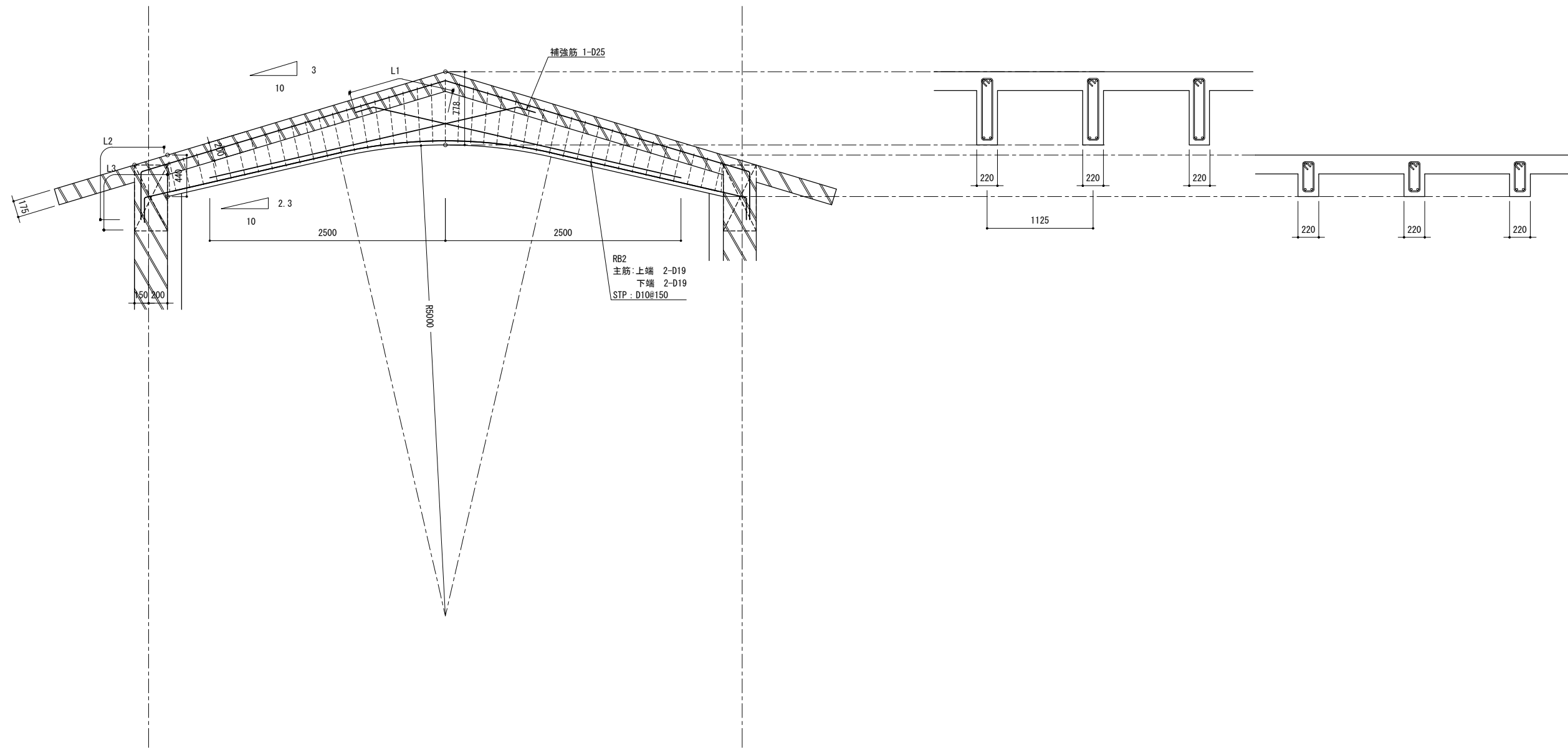


Y16軸組架構詳細図

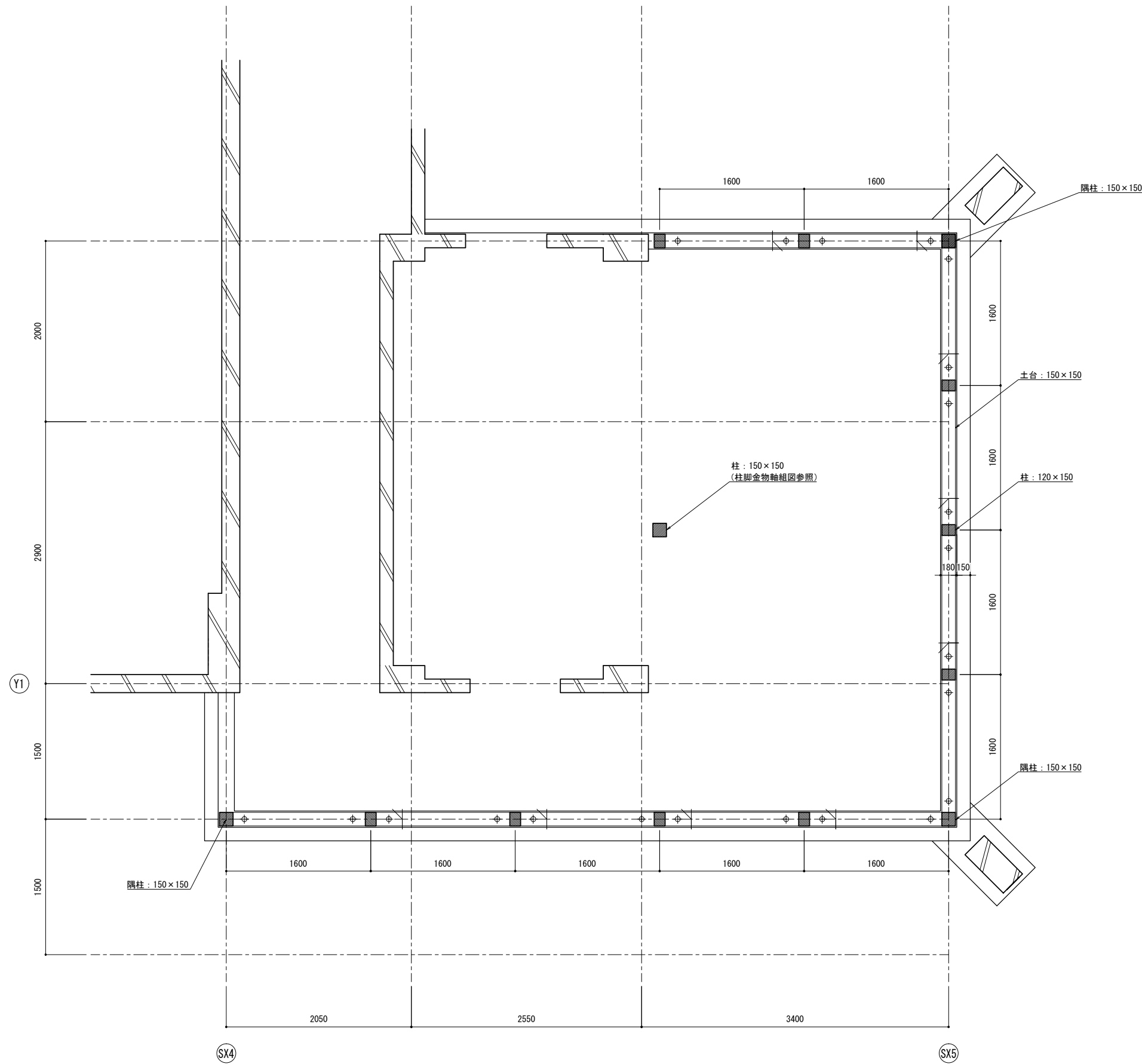
| | | | | | | | |
|--|--|---|---|------------------------------|--------------------|------------------|----|
| 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | MOF合同会社 一級建築士事務所 京都府知事登録 05A第02947号 一級建築士 383080号 江田 拓也 | TITLE 架構詳細図1 | SCALE 1/50 (A3) | DATE 24.10.31 | NO |
| | | | | PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | S-26 | |



| | | | | | | | | |
|--|--|--|---|---|------------------------------|--------------------|------------------|----|
| | 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | MOF合同会社 一級建築士事務所 京都府知事登録 05A第02947号 一級建築士 383080号 江田 拓也 | TITLE 架構詳細図2 | SCALE 1/50 (A3) | DATE 24.10.31 | NO |
| | | | | | PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | S-27 | |



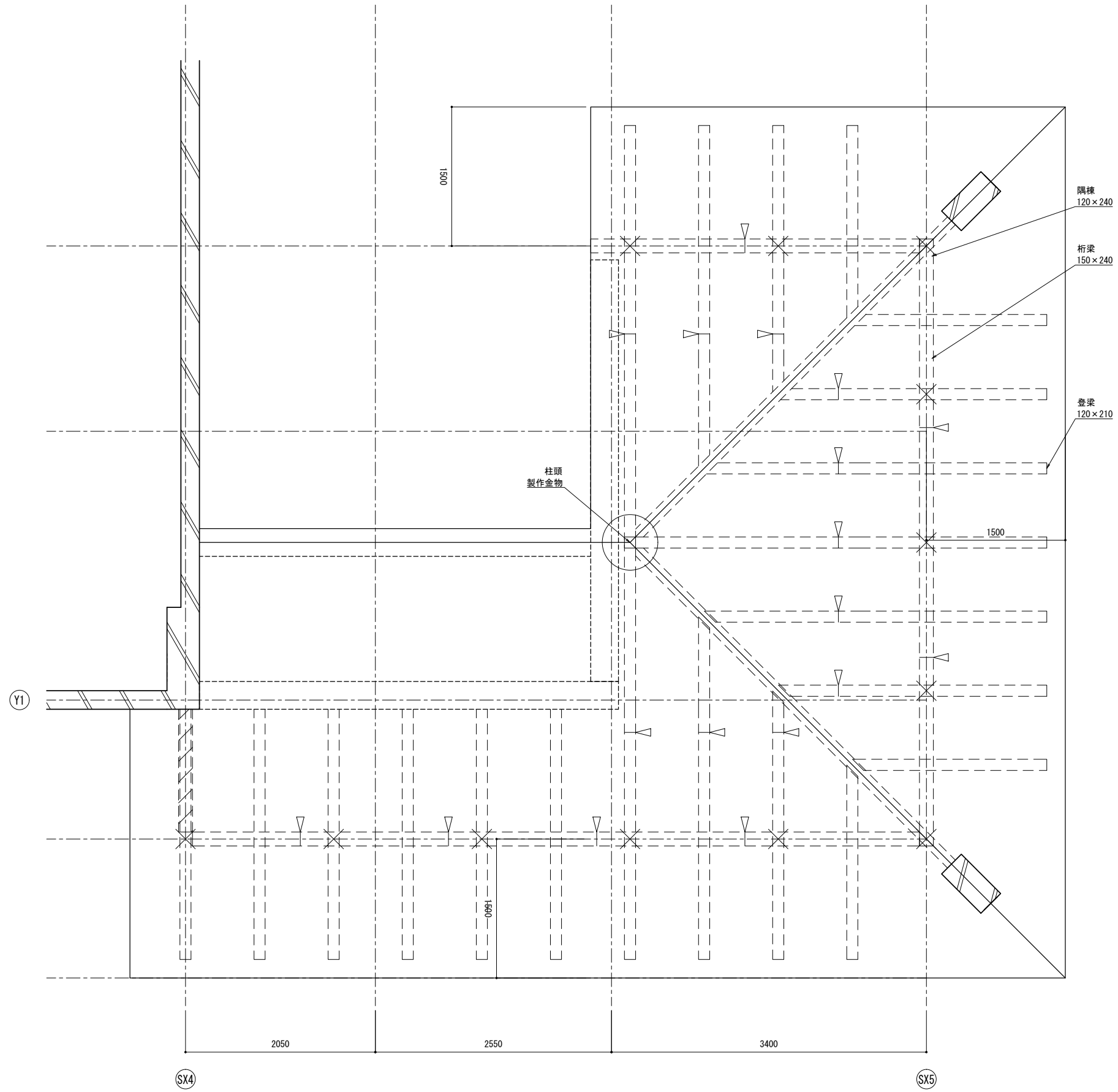
| | | | | | | | | |
|--|--|--|---|---|------------------------------|--------------------|------------------|----|
| | 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | MOF合同会社 一級建築士事務所 京都府知事登録 05A第02947号 一級建築士 383080号 江田 拓也 | TITLE 架構詳細図2 | SCALE 1/50 (A3) | DATE 24.10.31 | NO |
| | | | | | PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | S-27 | |



[図面特記]

- 柱脚・柱頭 ・特記なき：ホソパイプ (10kN)
- 土台 ・土台継手は腰掛継ぎとする。
- 施工 ・※RC屋根躯体を打設する時には、一般的なRC工事相当の
支保工が必要

| | | | | | | | | |
|--|--|--|---|---|---|--------------------|-------------------------------|------------|
| | 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | MOF合同会社 一級建築士事務所 京都府知事登録 05A第02947号 一級建築士 383080号 江田 拓也 | TITLE カフェ木架構詳細図1 PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | SCALE 1/50 (A3) | DATE 24.10.31 CHECK | NO S-29 |
|--|--|--|---|---|---|--------------------|-------------------------------|------------|



| |
|--|
| |
| |
| |
| |

株式会社 ブレック研究所
 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号
 一級建築士 233817号 福岡 薫

福原信一 一級建築士事務所
 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号
 一級建築士 364177号 福原 信一

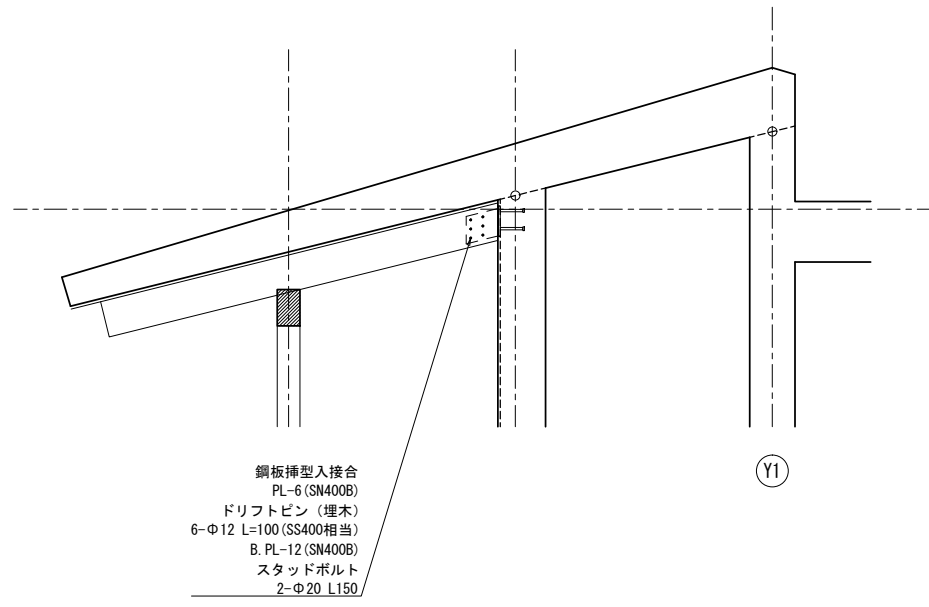
株式会社 丹青社
 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号
 一級建築士 254337号 関根 雄二

MOF合同会社
 一級建築士事務所 京都府知事登録 05A第02947号
 一級建築士 383080号 江田 拓也

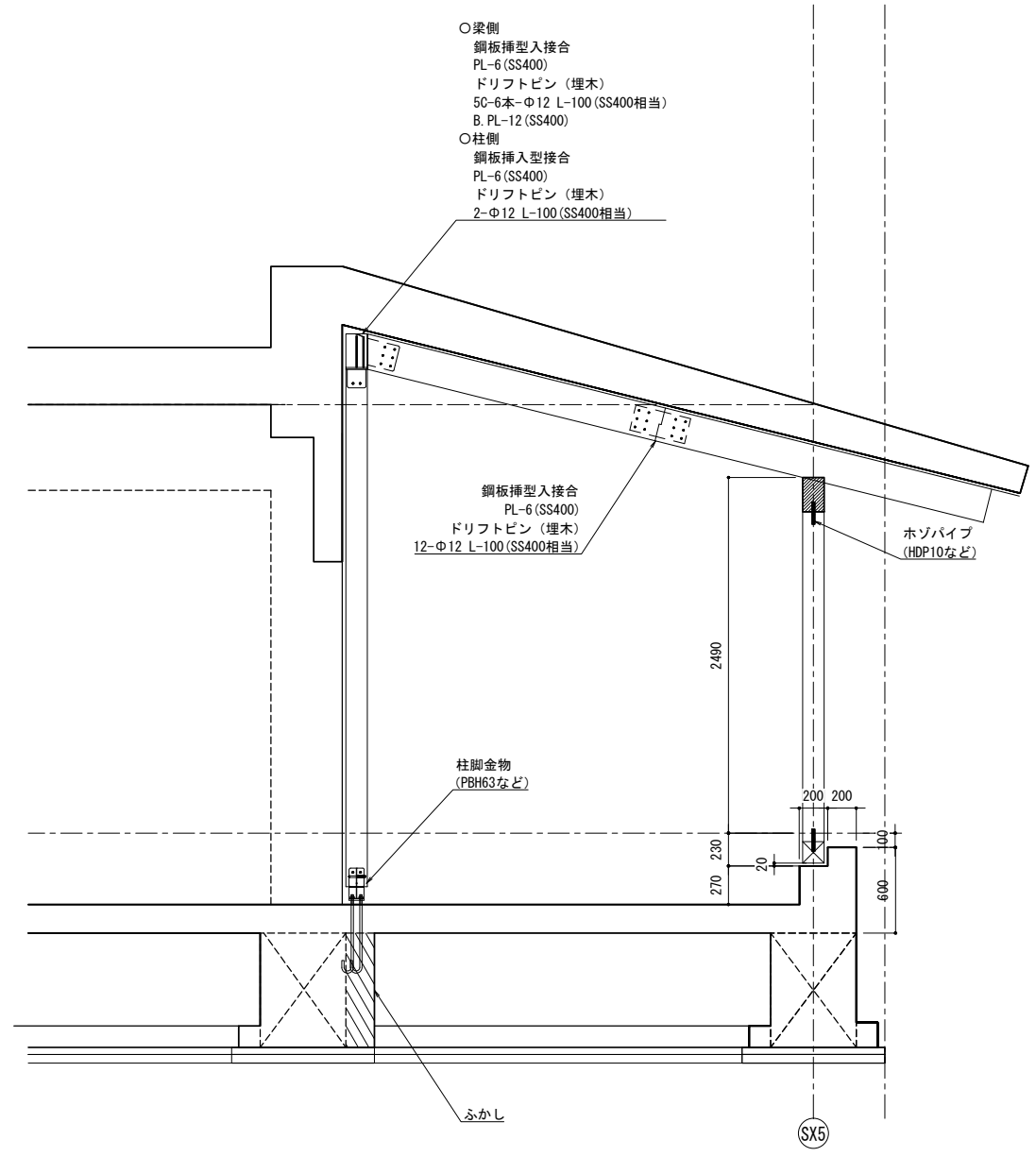
TITLE
 カフェ木架構詳細図2
 PROJECT
 西表島世界遺産センター整備実施設計

SCALE
 1/50 (A3)
 DATE
 24.10.31
 CHECK

NO
 S-30



鋼板挿入型接合
 PL-6 (SN400B)
 ドリフトピン (埋木)
 6-φ12 L=100 (SS400相当)
 B-PL-12 (SN400B)
 スタッドボルト
 2-φ20 L150



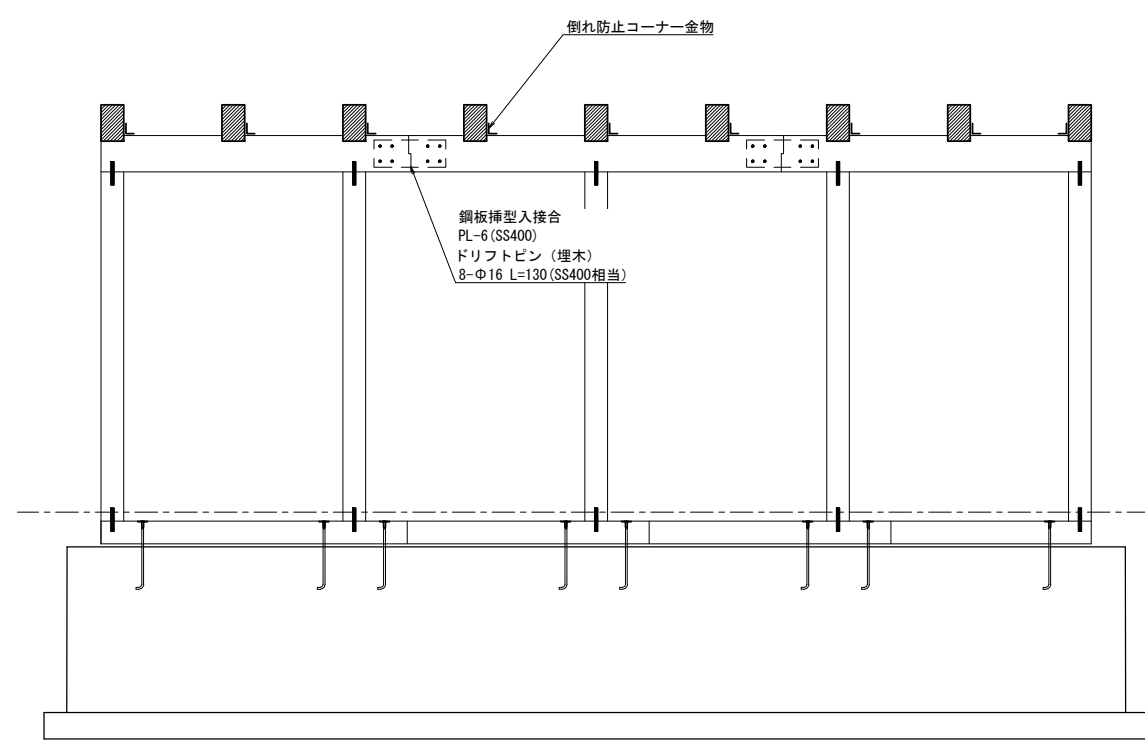
○梁側
 鋼板挿入型接合
 PL-6 (SS400)
 ドリフトピン (埋木)
 5φ-6本-φ12 L=100 (SS400相当)
 B-PL-12 (SS400)
 ○柱側
 鋼板挿入型接合
 PL-6 (SS400)
 ドリフトピン (埋木)
 2-φ12 L=100 (SS400相当)

鋼板挿入型接合
 PL-6 (SS400)
 ドリフトピン (埋木)
 12-φ12 L=100 (SS400相当)

柱脚金物
 (PBH63など)

ホソパイプ
 (HDP10など)

ふかし

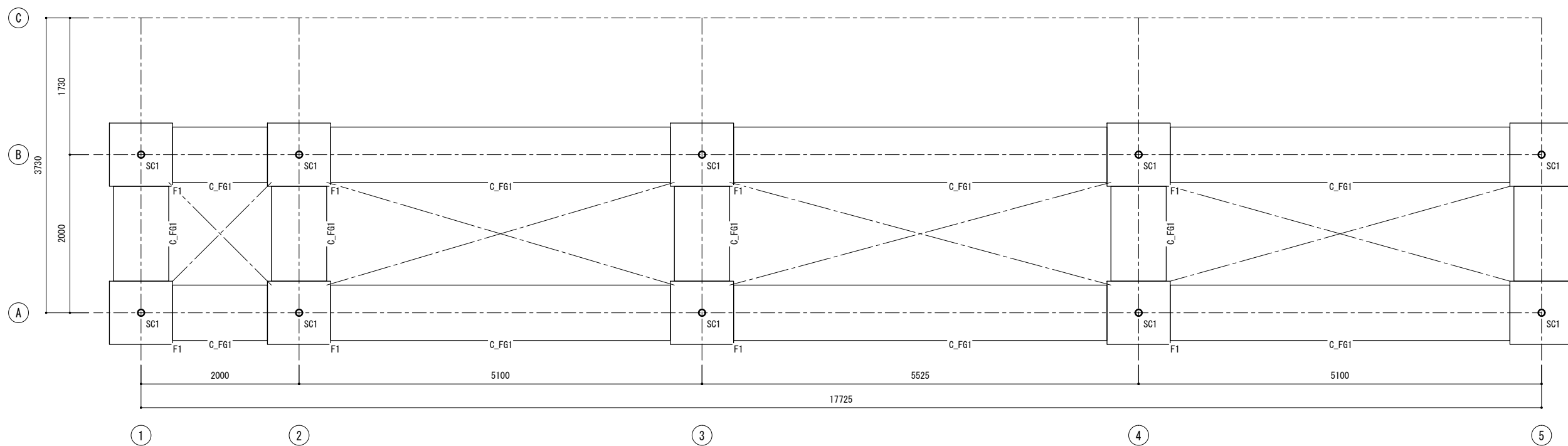
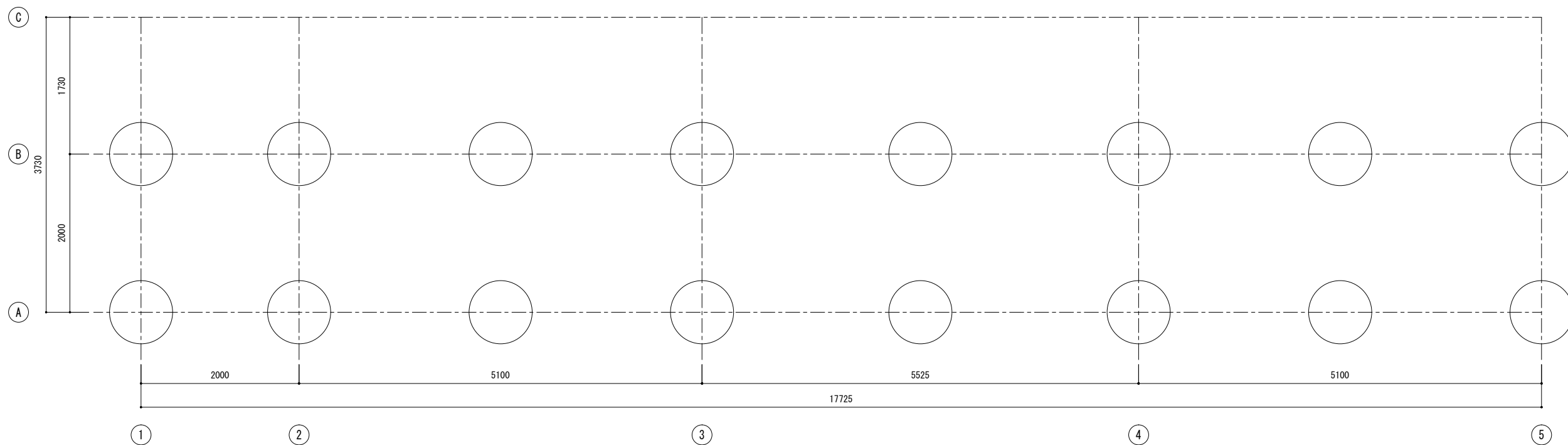


鋼板挿入型接合
 PL-6 (SS400)
 ドリフトピン (埋木)
 8-φ16 L=130 (SS400相当)

倒れ防止コーナー金物

RC隅柱と木隅棟の接合
 鋼板挿入型接合
 PL-6 (SN400B)
 ドリフトピン (埋木)
 6-φ12 L=100 (SS400相当)
 B-PL-12 (SN400B)
 スタッドボルト
 2-φ20 L150

| | | | | | | | |
|--|--|---|---|------------------------------|--------------------|------------------|------------|
| 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | MOF合同会社 一級建築士事務所 京都府知事登録 05A第02947号 一級建築士 383080号 江田 拓也 | TITLE カフェ木架構詳細軸組図 | SCALE 1/50 (A3) | DATE 24.10.31 | NO S-31 |
| | | | | PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | | |

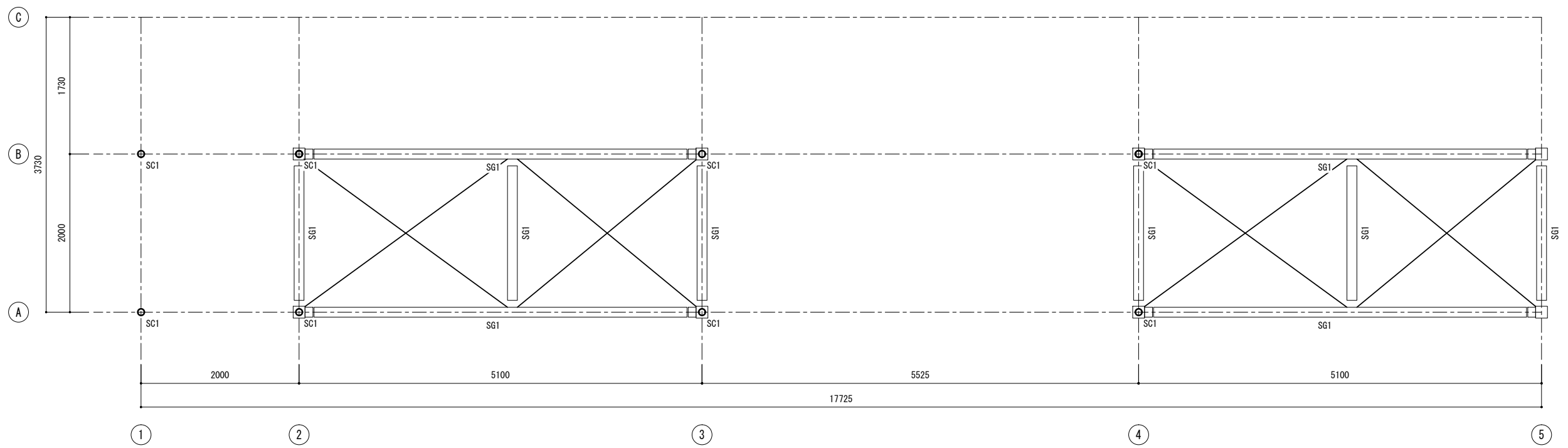


基礎伏図

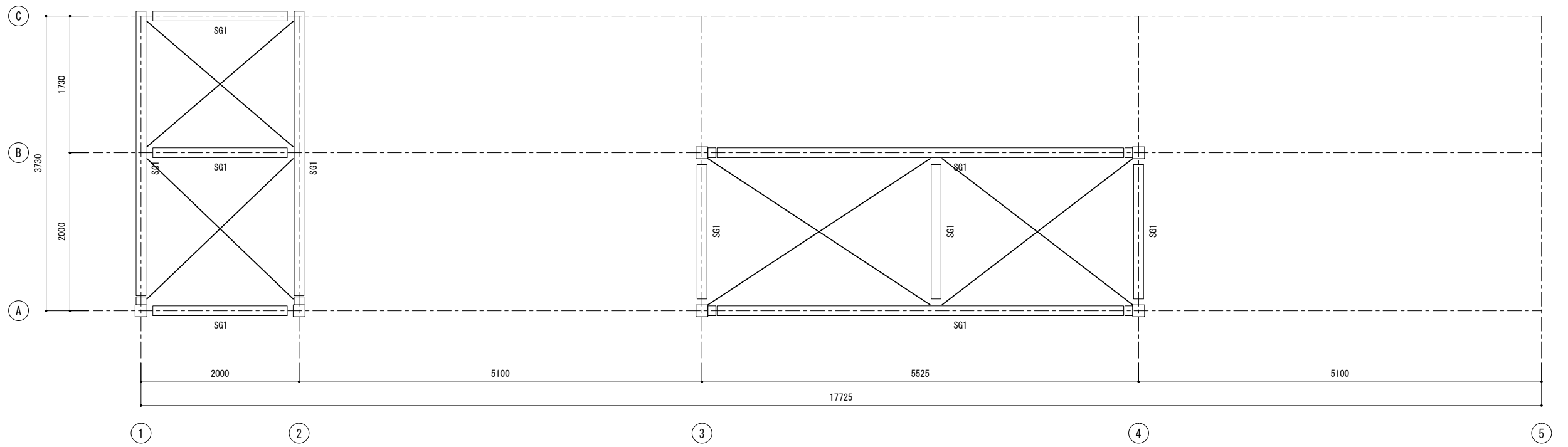
[図面特記]

| | |
|------------------|--------------------------------|
| 1FL=設計GL+500 | SC1 : φ-114.3 t-8.6 (STK400) |
| 柱状改良 ※※※※ | SG1 : H-125×125×6.5×9 (SN400B) |
| 基礎 基準天端=1FL-150 | |
| 地中梁 基準天端=1FL-200 | |
| 鉄骨部材はすべて溶融重鉛メッキ | |

| | | | | | | | |
|--|--|---|---|------------------------------|--------------------|------------------|------------|
| 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | MOF合同会社 一級建築士事務所 京都府知事登録 05A第02947号 一級建築士 383080号 江田 拓也 | TITLE キャノピー伏図1 | SCALE 1/60 (A3) | DATE 24.10.31 | NO S-32 |
| | | | | PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | | |



RF1 伏図

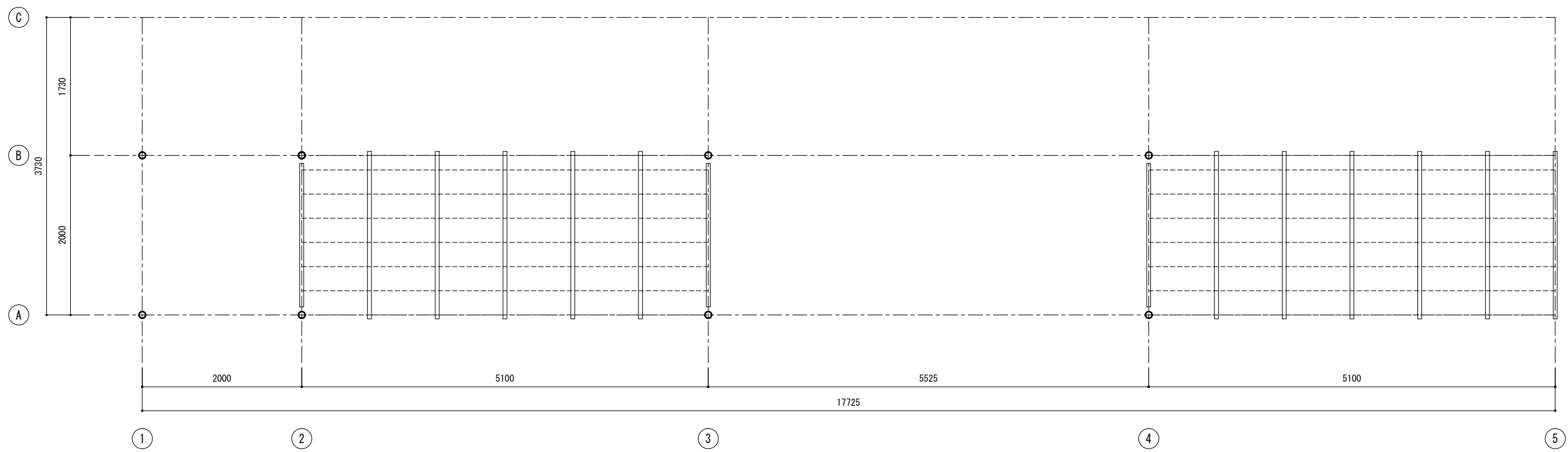


RF2 伏図

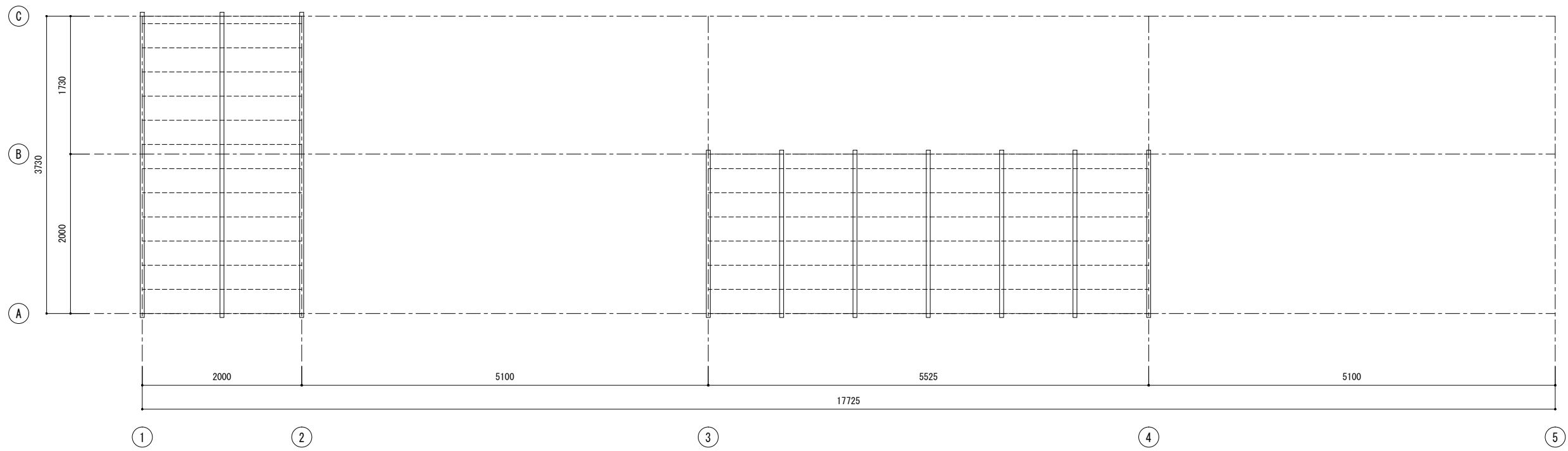
[図面特記]

| | |
|-----------------|--------------------------------|
| RF1=設計GL+3075 | SC1 : φ-114.3 t-8.6 (STK400) |
| RF2=設計GL+3550 | SG1 : H-125×125×6.5×9 (SN400B) |
| 鉄骨部材はすべて溶融亜鉛メッキ | 水平ブレース : M12 (JISブレース) |
| | |
| | |

| | | | | | | | |
|--|--|---|---|------------------------------|--------------------|------------------|------------|
| 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | MOF合同会社 一級建築士事務所 京都府知事登録 05A第02947号 一級建築士 383080号 江田 拓也 | TITLE キャノピー伏図2 | SCALE 1/60 (A3) | DATE 24.10.31 | NO S-33 |
| | | | | PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | | |



RF1伏図



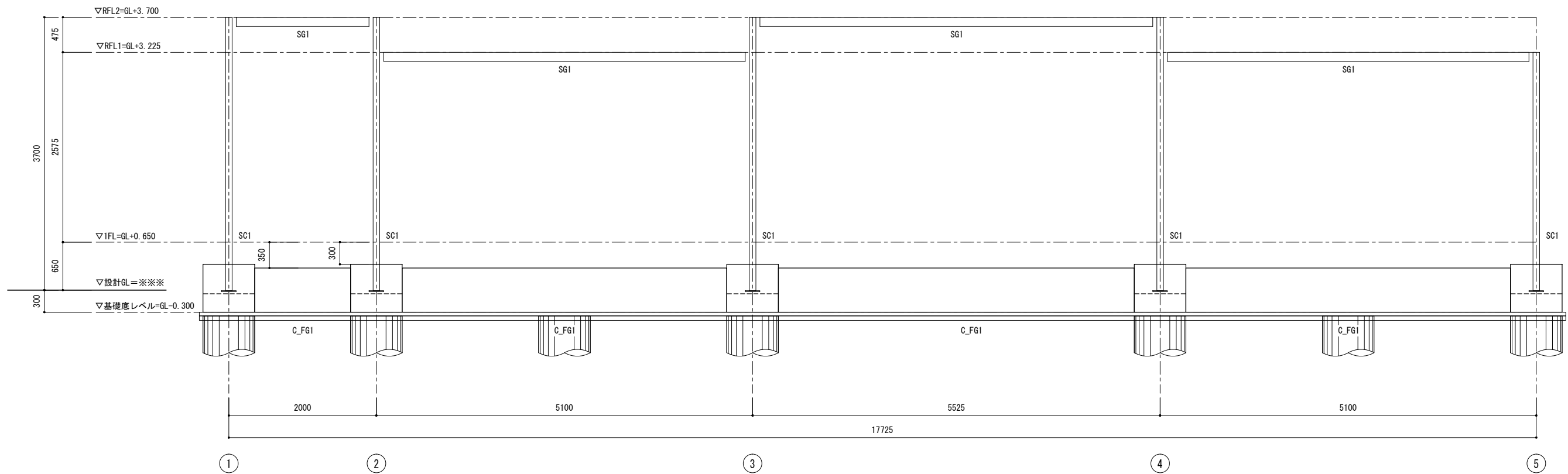
[図面特記]

鉄骨部材はすべて溶融亜鉛メッキ

母屋 : C-100×50×20×3.2 (SSC400)

垂木 : C-100×50×20×3.2 (SSC400) 弱使い@303

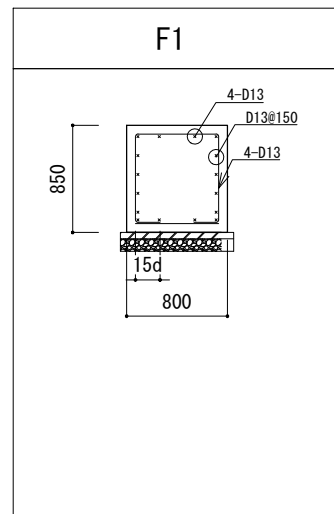
| | | | | | | | | |
|--|--|--|---|---|------------------------------|--------------------|------------------|----|
| | 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | MOF合同会社 一級建築士事務所 京都府知事登録 05A第02947号 一級建築士 383080号 江田 拓也 | TITLE キャノピー伏図3 | SCALE 1/60 (A3) | DATE 24.10.31 | NO |
| | | | | | PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | S-34 | |

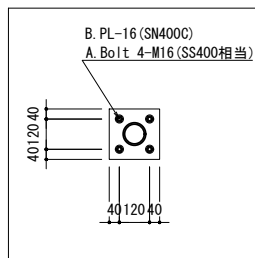
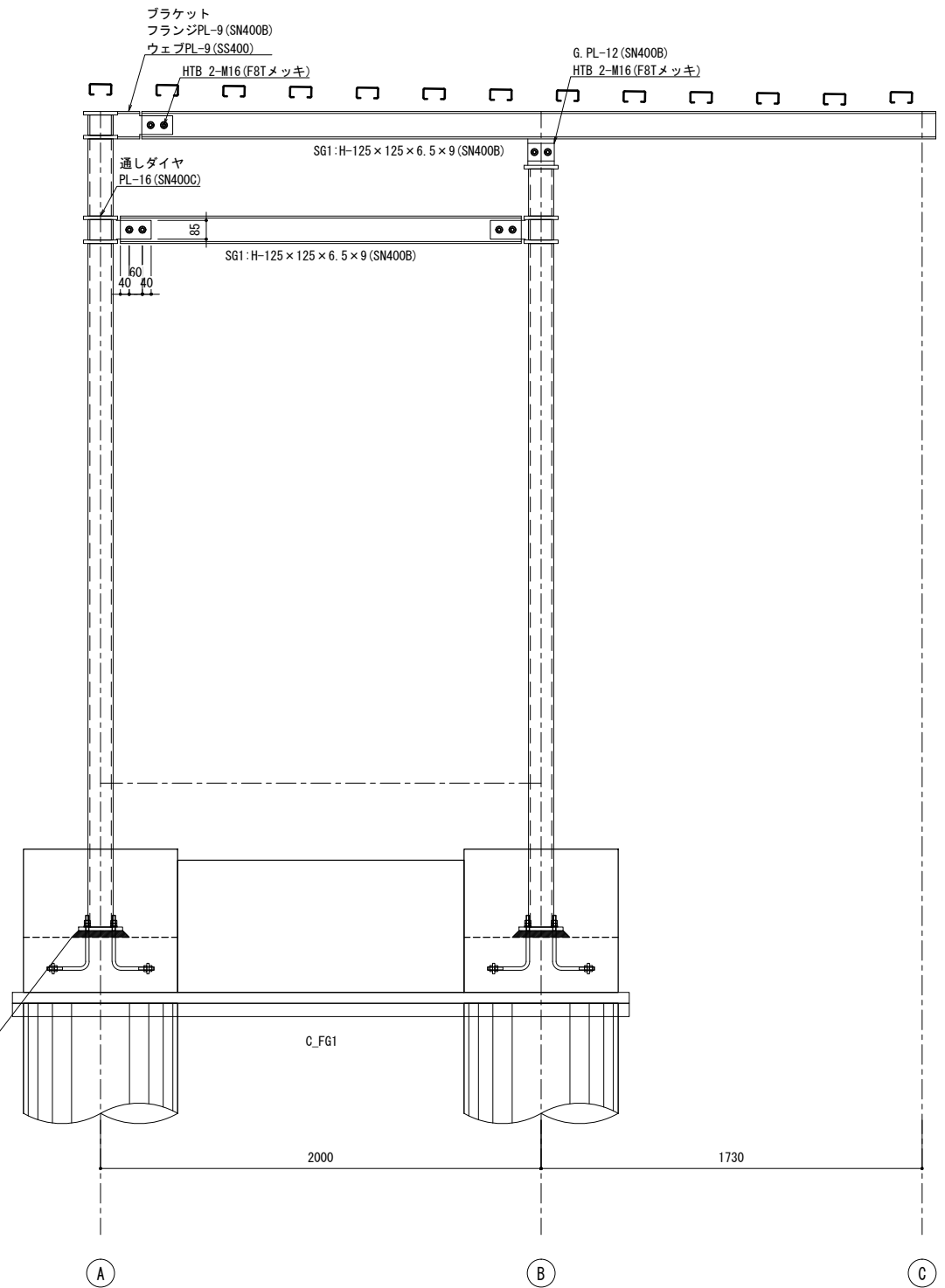
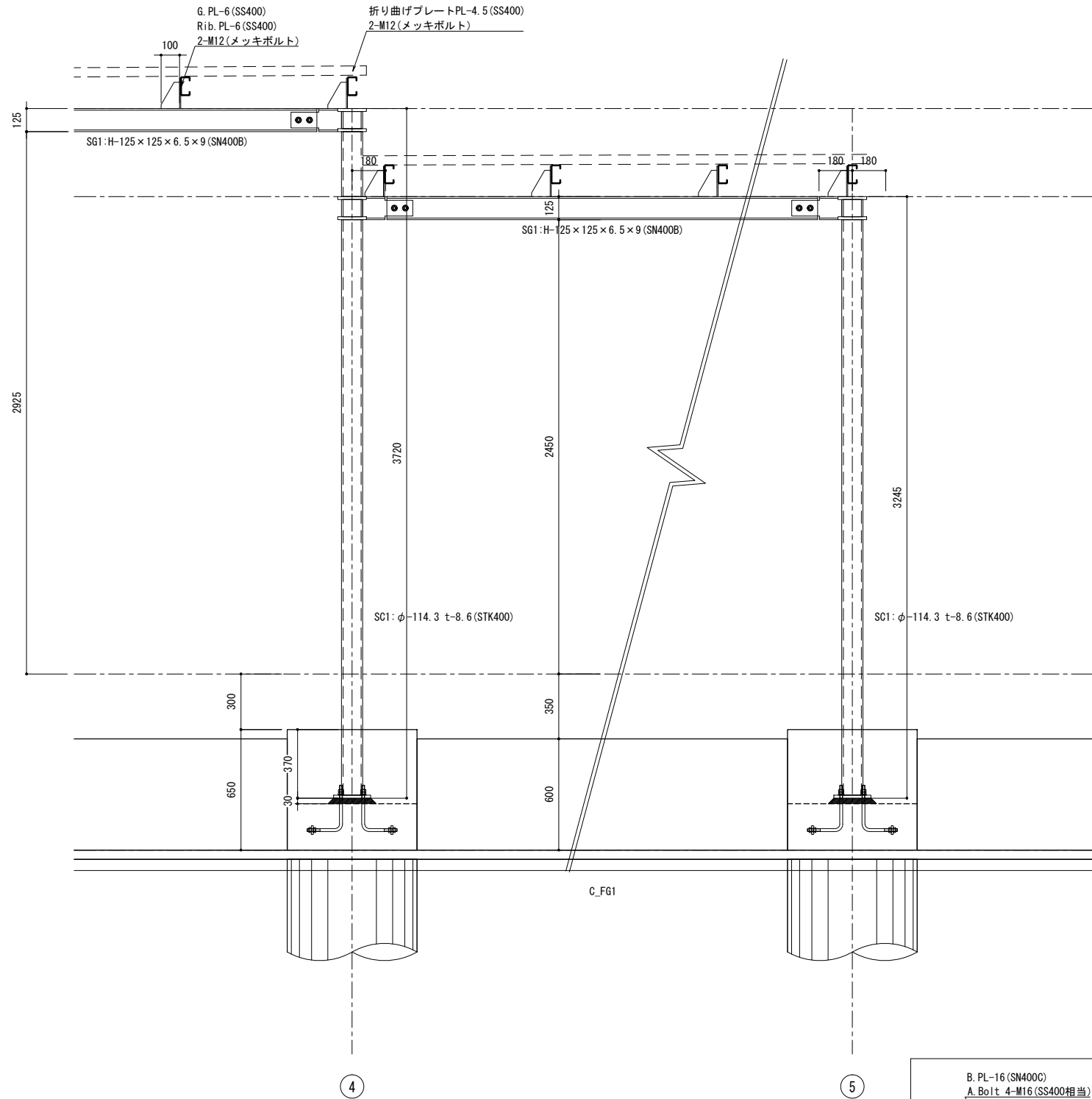


地中梁断面リスト 1:60 (A3)

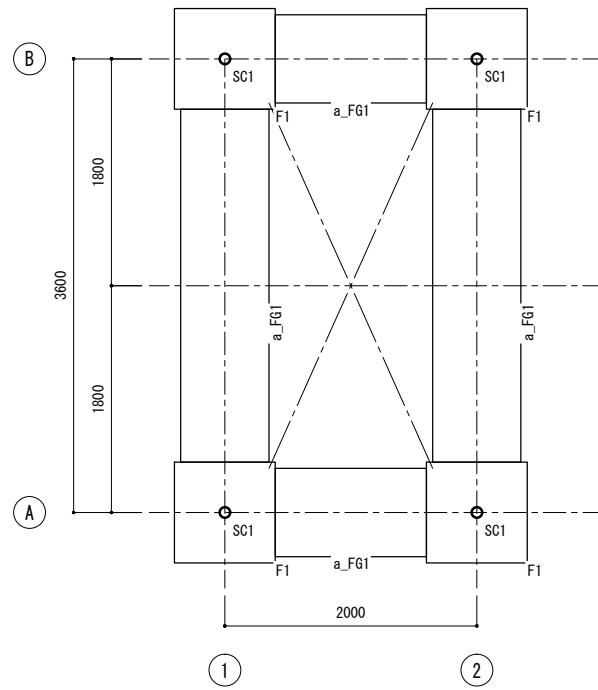
| cFG1 | |
|---------|---------|
| 全断面 | |
| | |
| 幅止め筋 | D10@800 |
| ※はかぶり寸法 | |
| 上主筋 | 4-D19 |
| 下主筋 | 4-D19 |
| 肋筋 | D13@150 |
| 腹筋 | 2-D13 |
| 備考 | |

フーチングリスト 1:60 (A3)

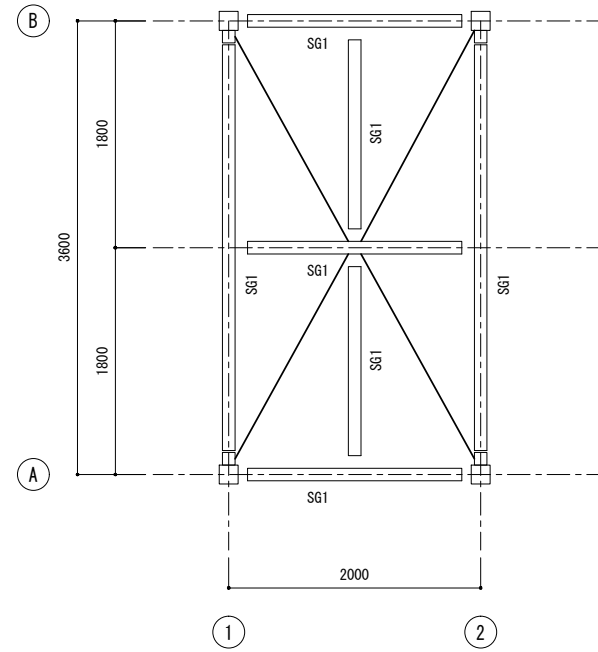




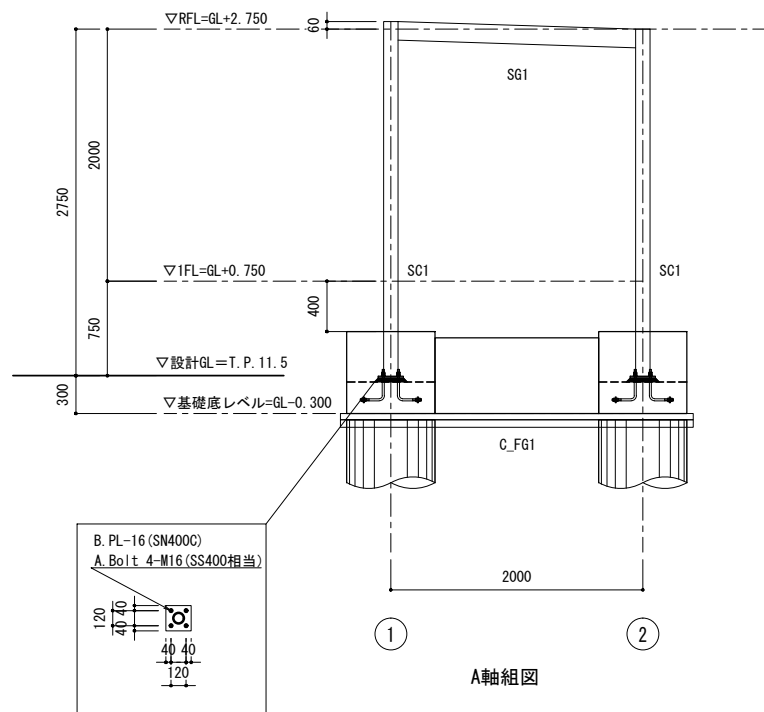
| | | | | | | | |
|--|--|---|---|----------|-----------|----------|------|
| 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | MOF合同会社 一級建築士事務所 京都府知事登録 05A第02947号 一級建築士 383080号 江田 拓也 | TITLE | SCALE | DATE | NO |
| | | | | キャノピー詳細図 | 1/30 (A3) | 24.10.31 | S-36 |
| PROJECT | | | | CHECK | | | |
| 西表島世界遺産センター整備実施設計 | | | | | | | |



基礎伏図



RF伏図



A軸組図

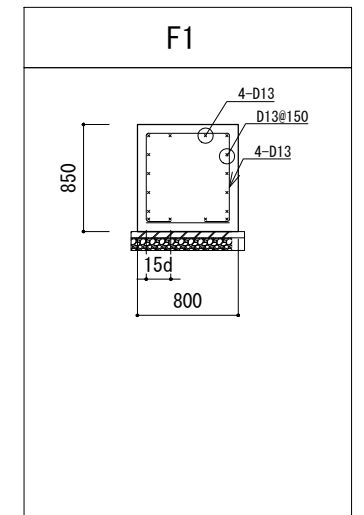
[図面特記]

| | |
|-----------------|-----------------------------|
| RFL=設計GL+2000 | SC1 : φ-89.1 t-5.5 (STK400) |
| 鉄骨部材はすべて溶融亜鉛メッキ | SG1 : H-148×100×6×9 (SS400) |
| | |
| | |

地中梁断面リスト 1:60 (A3)

| | aFG1 |
|---------|--------------|
| | 全断面 |
| | 幅止め筋 D10@800 |
| ※はかぶり寸法 | |
| 上主筋 | 4-D19 |
| 下主筋 | 4-D19 |
| 肋筋 | D13@150 |
| 腹筋 | 2-D13 |
| 備考 | |

フーチングリスト 1:60 (A3)



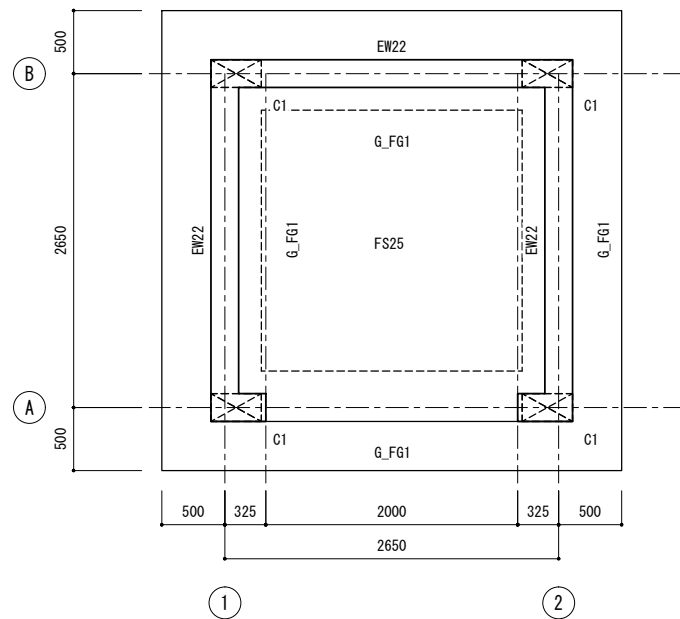
| | | | | | | | |
|---------|-------------------|-------|-----------|------|----------|----|------|
| TITLE | 足洗い場伏図・軸組図 | SCALE | 1/60 (A3) | DATE | 24.10.31 | NO | S-37 |
| PROJECT | 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | | | | | |

株式会社 ブレック研究所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号
一級建築士 233817号 福岡 薫

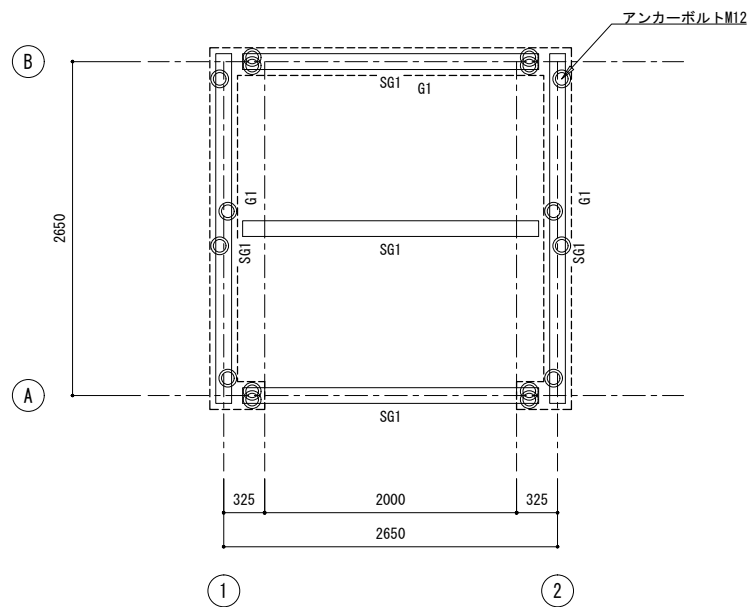
福原信一 一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号
一級建築士 364177号 福原 信一

株式会社 丹青社
一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号
一級建築士 254337号 関根 雄二

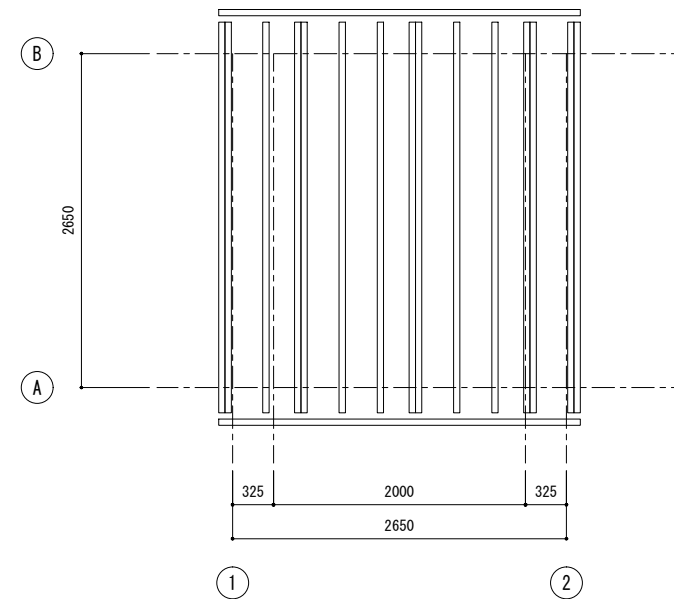
MOF合同会社
一級建築士事務所 京都府知事登録 05A第02947号
一級建築士 383080号 江田 拓也



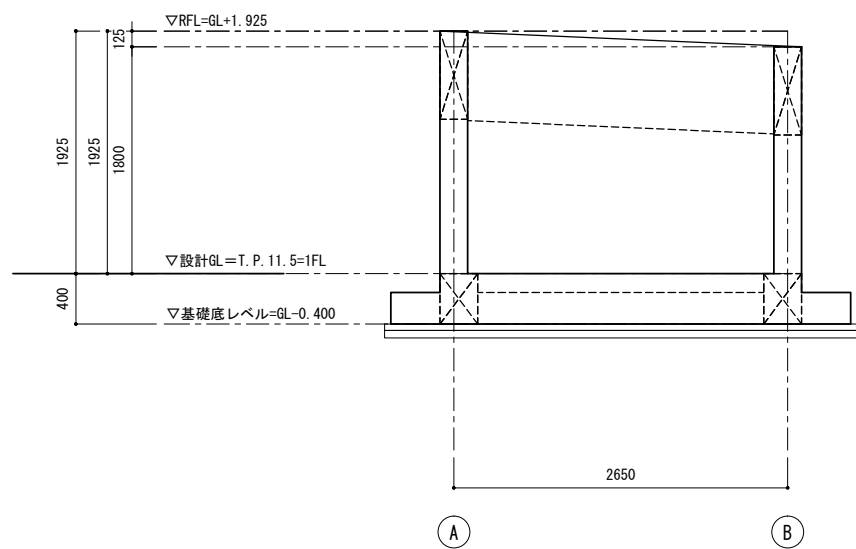
基礎伏図



屋根伏図



垂木伏図



【図面特記】

| | |
|-----------------|-------------------------------|
| 鉄骨部材はすべて溶融亜鉛メッキ | SG1 : H-125×125×6.5×9 (SS400) |
| | 垂木 : C-100×50×20×3.2 (SSC400) |

地中梁断面リスト 1:60 (A3)

| | GFG1 | G0 |
|-----------------|---------|---------|
| | 全断面 | 全断面 |
| 幅止め筋 D10@800 | | |
| ※はかぶり寸法 | | |
| 上主筋 | 2-D19 | 2-D13 |
| 下主筋 | 2-D19 | 2-D13 |
| 肋筋 | D13@200 | D10@100 |
| 腹筋 | - | 4-D13 |
| 備考 | - | - |

耐力壁断面リスト 1:60 (A3)

| | EW22 |
|-----------------|----------------------------|
| 全階 | |
| 幅止め筋 D10@800 | 50* 50* |
| ※はかぶり寸法 | |
| 縦筋 | D13@200ダブル |
| 横筋 | D13@200ダブル |
| 端部補強筋 | 2-D13 |
| 開口補強 | 縦横 各面 2-D13 斜め 各角 2-D13 |
| 備考 | - |

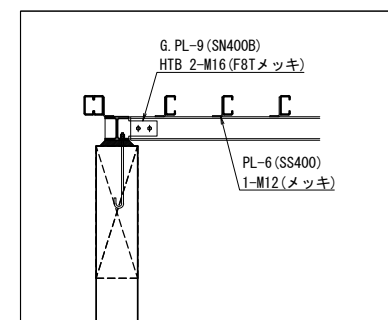
RC柱断面リスト 1:60 (A3)

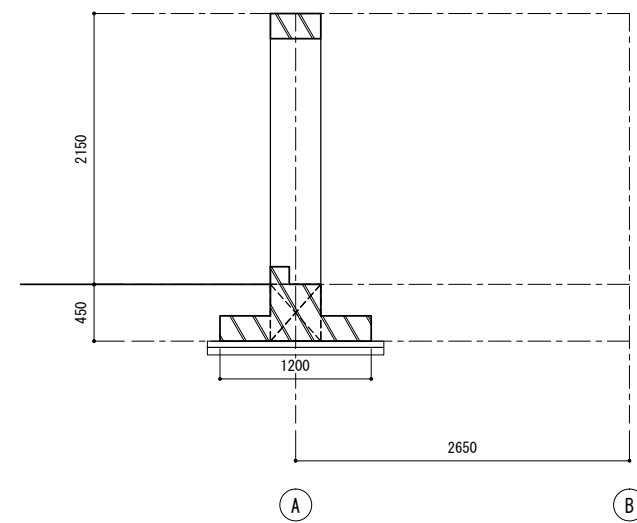
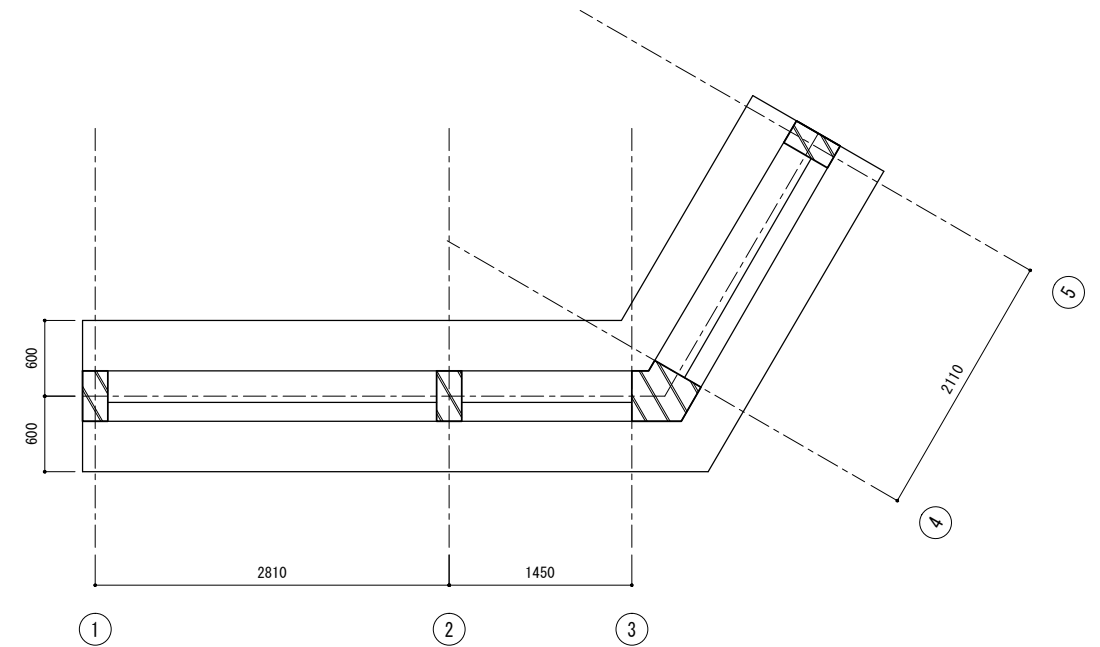
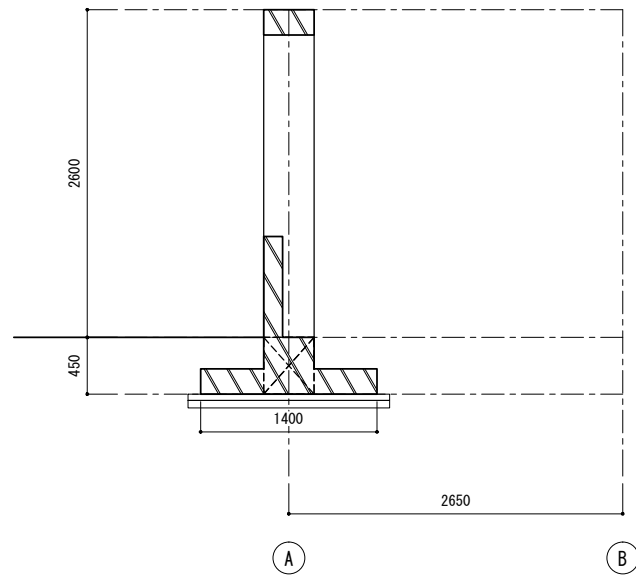
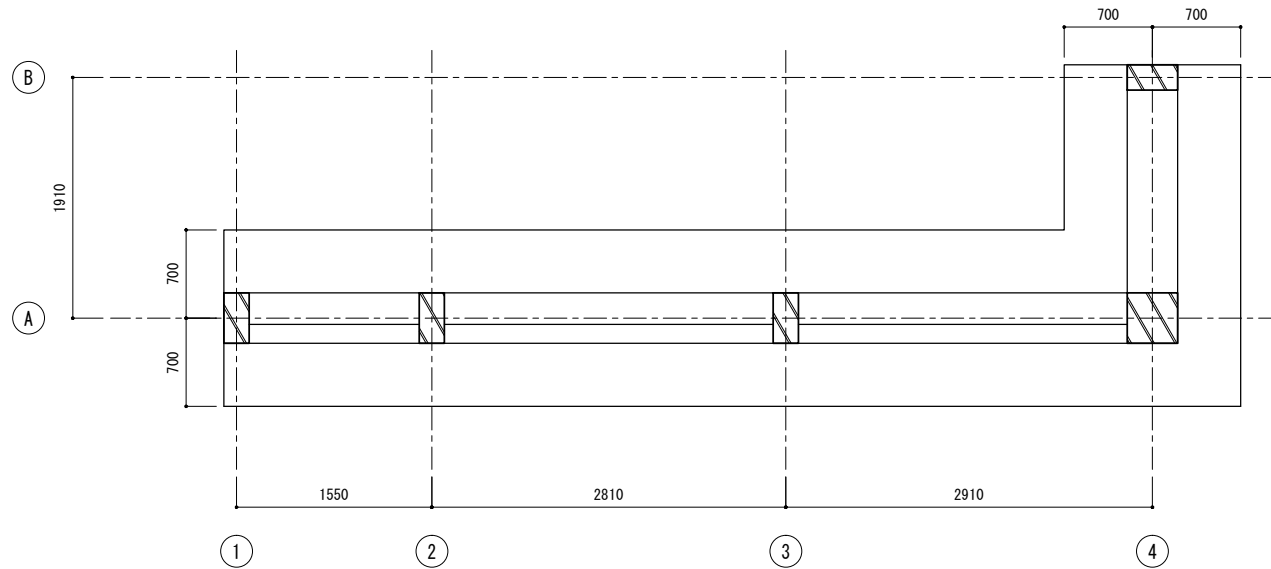
| | C1 |
|-------|---------|
| 全階 | |
| 主筋全本数 | 6 - D16 |
| X主筋 | 3 - D16 |
| Y主筋 | 2 - D16 |
| 帯筋 | D10@100 |
| 副帯筋 | |
| 備考 | |

スラブ断面リスト 1:60 (A3)

| | FS25 |
|-----|-------------|
| 全断面 | |
| 主筋 | D13@200*ダブル |
| 配力筋 | D13@200*ダブル |

S梁接合部 1:40 (A3)





梁断面リスト 1:60 (A3)

| | 地中梁 | 梁 |
|-----------------|---------|---------|
| | 全断面 | 全断面 |
| | | |
| 幅止め筋 D10@800 | | |
| ※はかぶり寸法 | | |
| 上主筋 | 4-D16 | 3-D16 |
| 下主筋 | 4-D16 | 3-D16 |
| 肋筋 | D10@100 | D10@100 |
| 腹筋 | 2-D13 | - |
| 備考 | - | - |

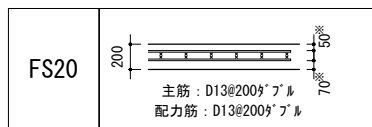
RC柱断面リスト 1:60 (A3)

| | C1 | C2 |
|-------|---------|---------|
| | 全断面 | 全断面 |
| | | |
| 全階 | | |
| 主筋全本数 | 6 - D16 | 8 - D16 |
| X主筋 | 3 - D16 | 3 - D16 |
| Y主筋 | 2 - D16 | 3 - D16 |
| 帯筋 | D10@100 | D10@100 |
| 副帯筋 | - | - |
| 備考 | - | - |

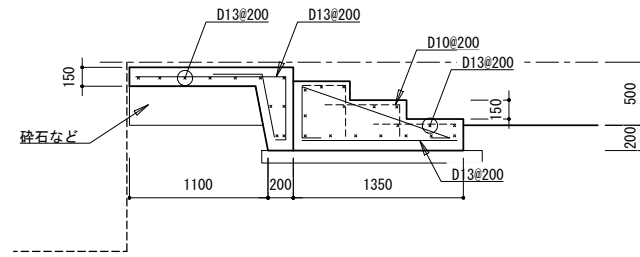
立ち上がり 1:60 (A3)

| | W15 |
|-----------------|--------------------|
| 全階 | |
| 幅止め筋 D10@800 | |
| ※はかぶり寸法 | |
| 縦筋 | D13@150シングル |
| 横筋 | D13@150シングル |
| 端部補強筋 | - |
| 開口補強 | 縦横 各面 - 斜め 各角 - |
| 備考 | - |

スラブ断面リスト 1:60 (A3)

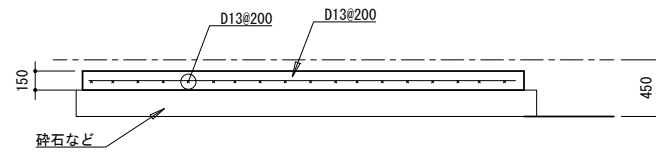


展示テラス



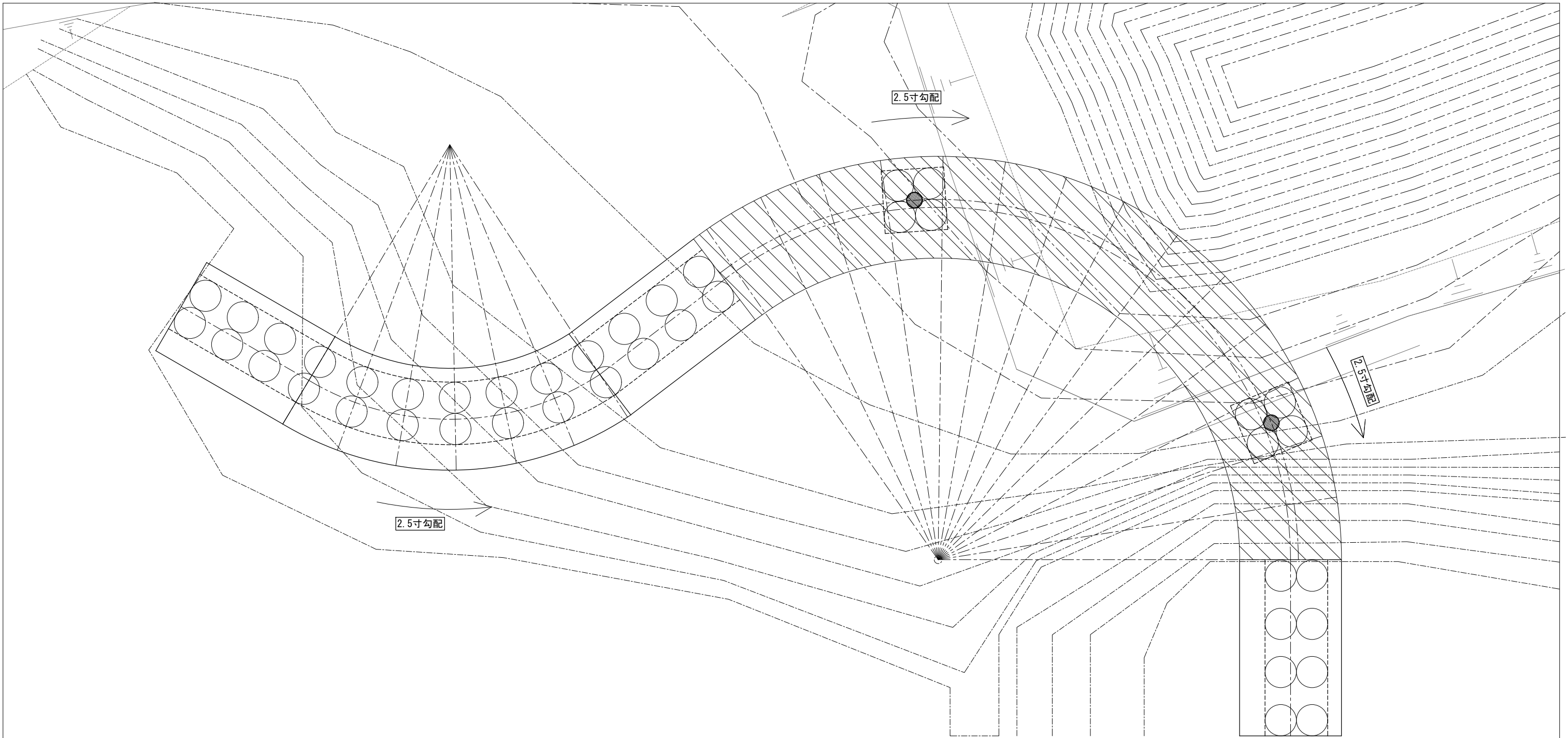
※平面形状は外構図による
 ※現状地盤面より上は、砕石などの材料を用いて入念に締め固め、沈下しないようにする。

カフェテラス

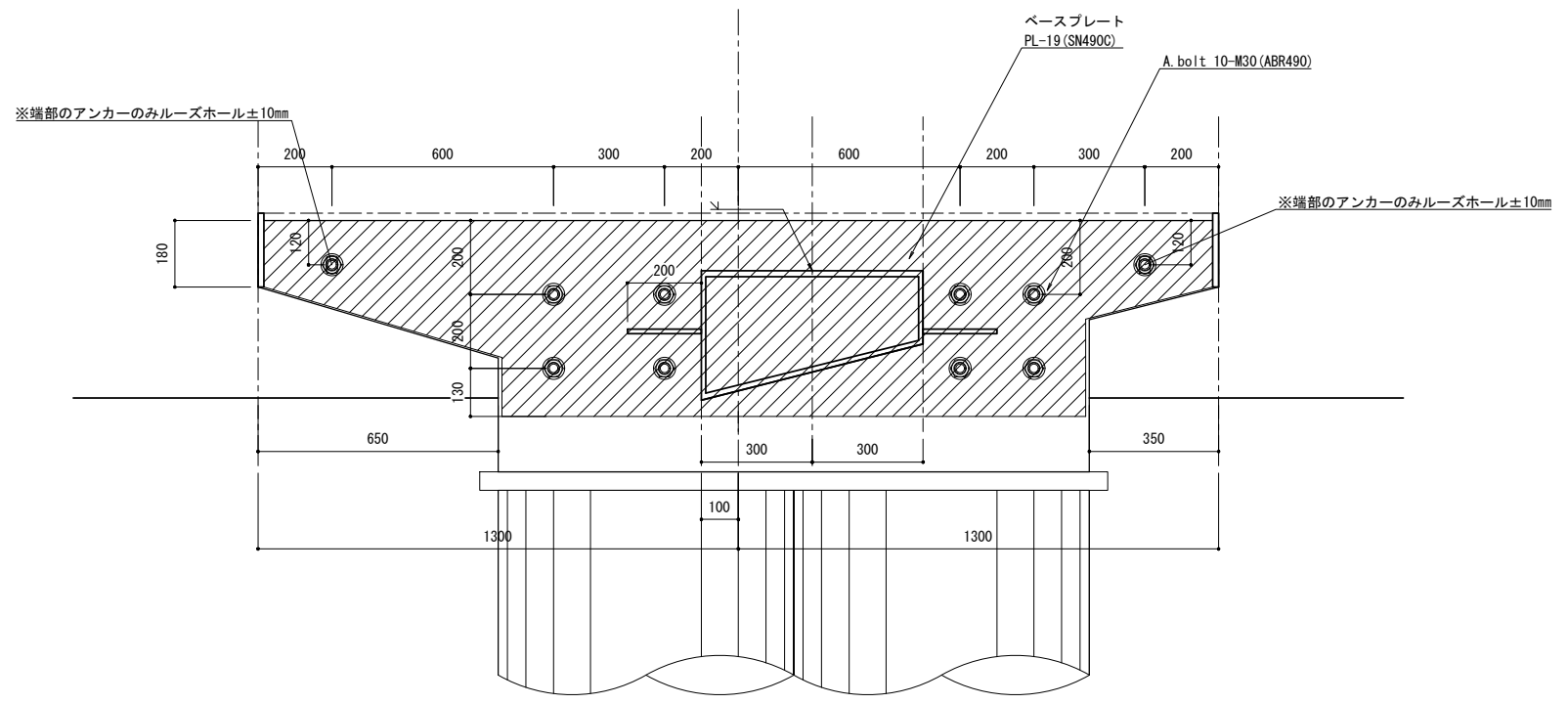
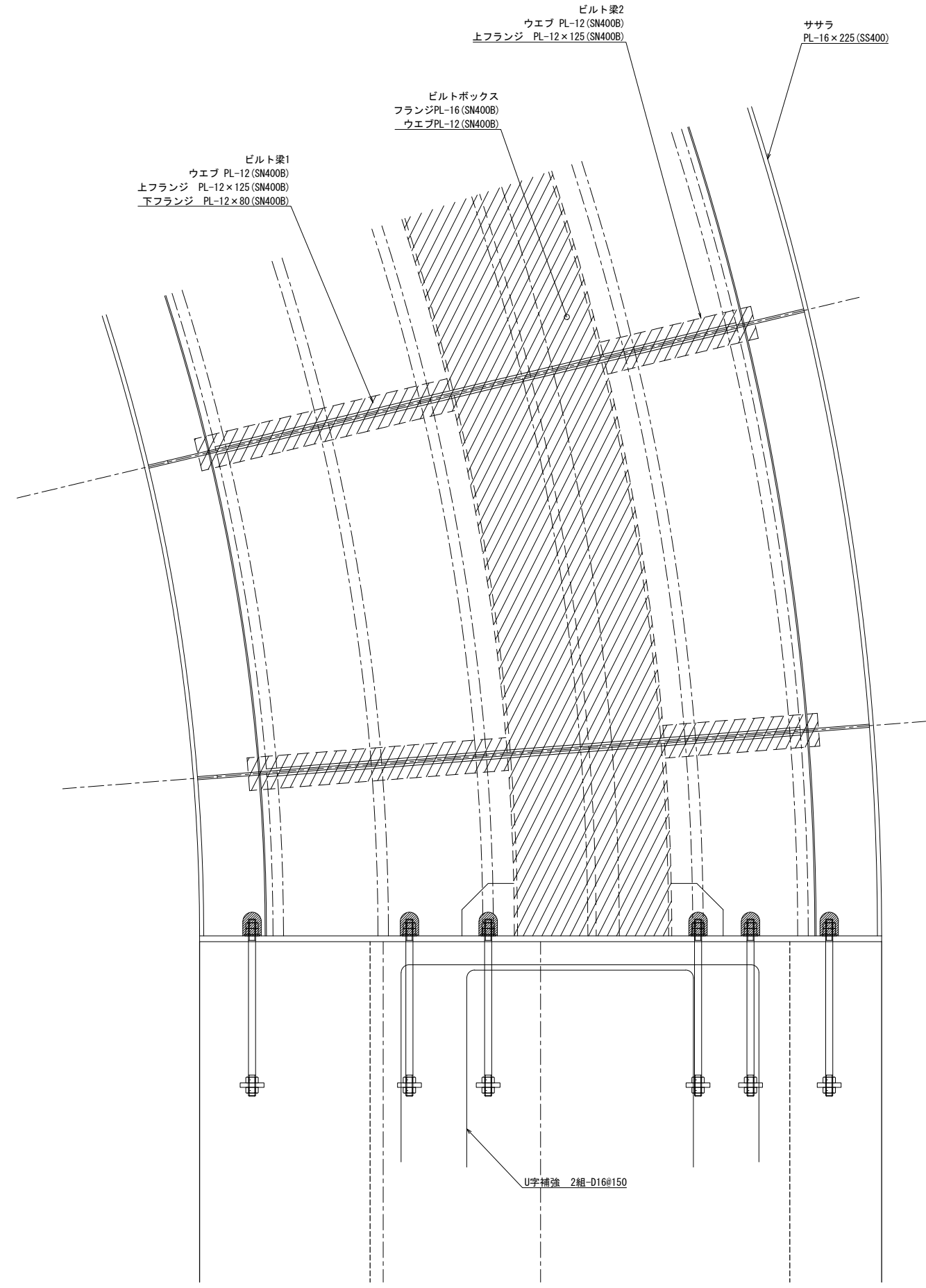
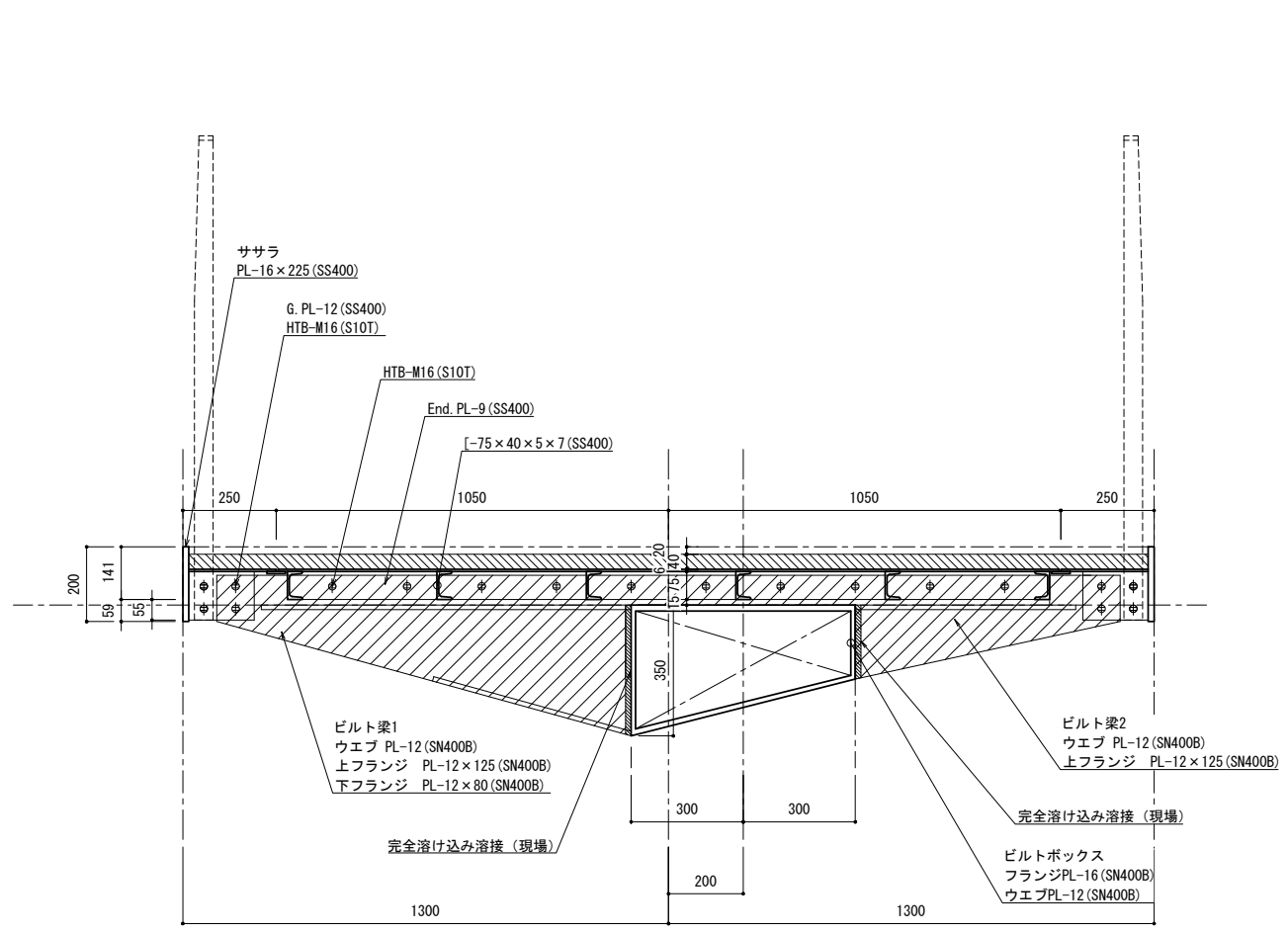


※平面形状は外構図による
 ※現状地盤面より上は、砕石などの材料を用いて入念に締め固め、沈下しないようにする。

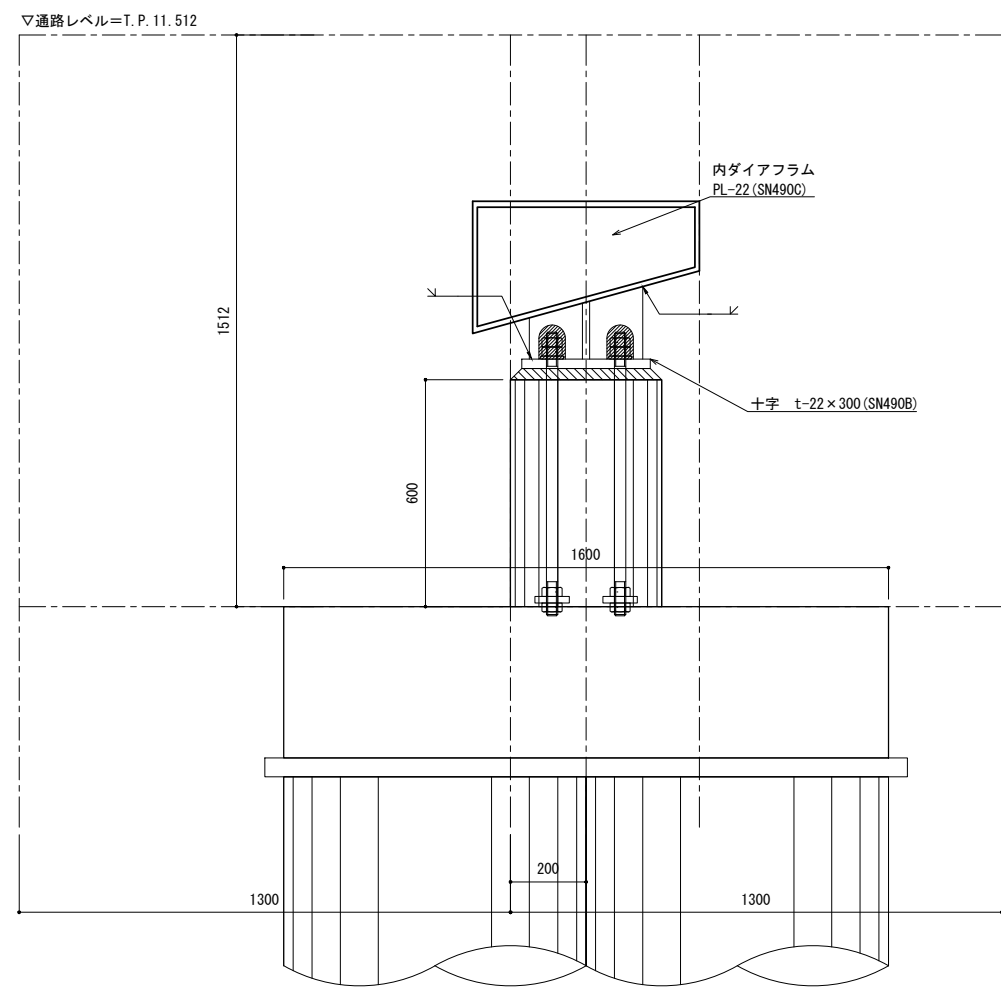
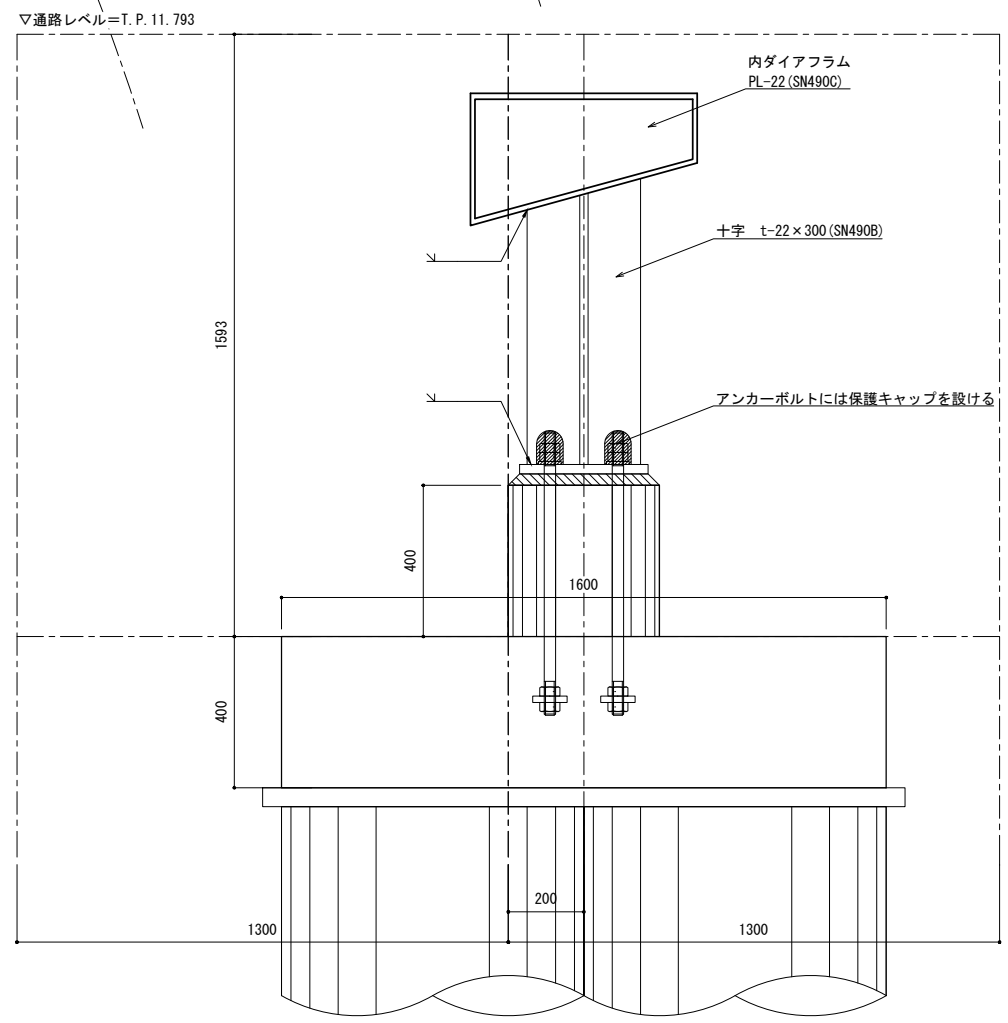
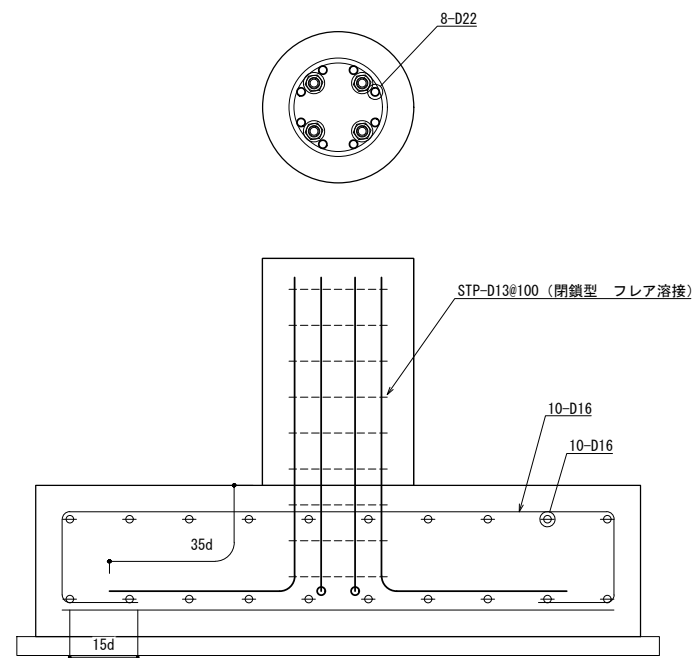
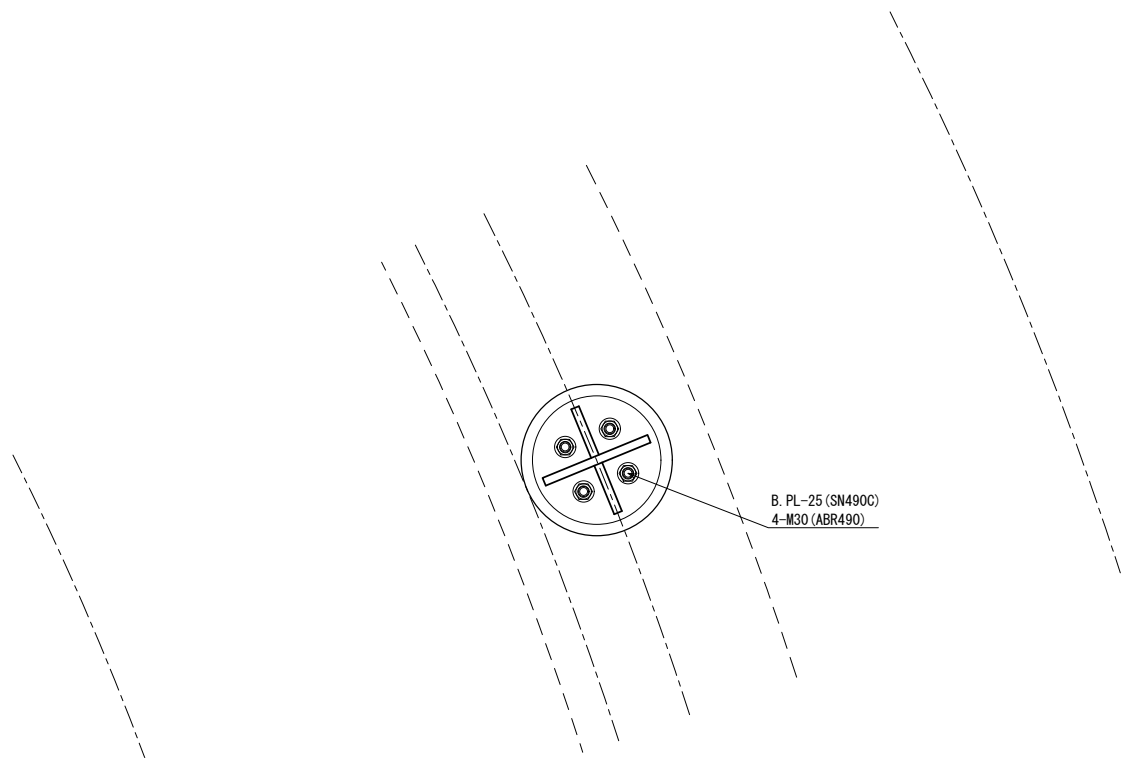
| | | | | | | | | |
|--|--|--|---|---|--|--------------------|---------------------------|------------|
| | 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | MOF合同会社 一級建築士事務所 京都府知事登録 05A第02947号 一級建築士 383080号 江田 拓也 | TITLE 外構基礎図 PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | SCALE 1/60 (A3) | DATE 24.10.31 CHECK | NO S-40 |
|--|--|--|---|---|--|--------------------|---------------------------|------------|



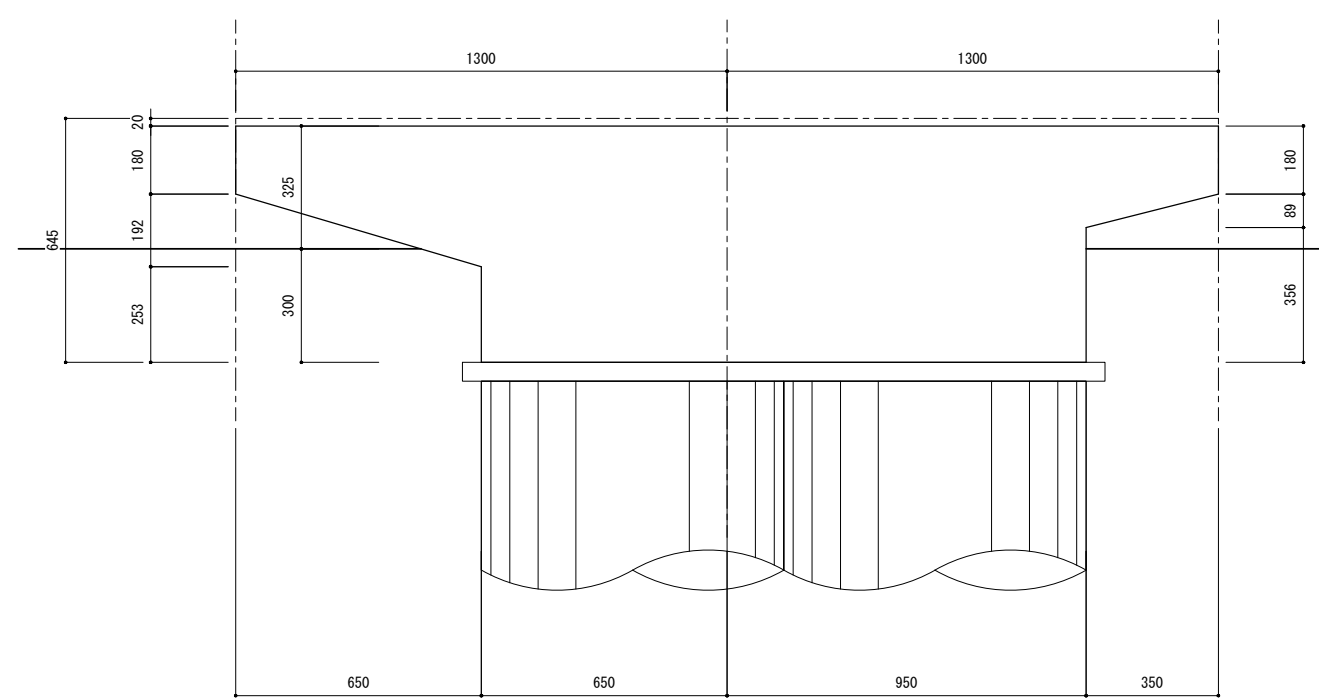
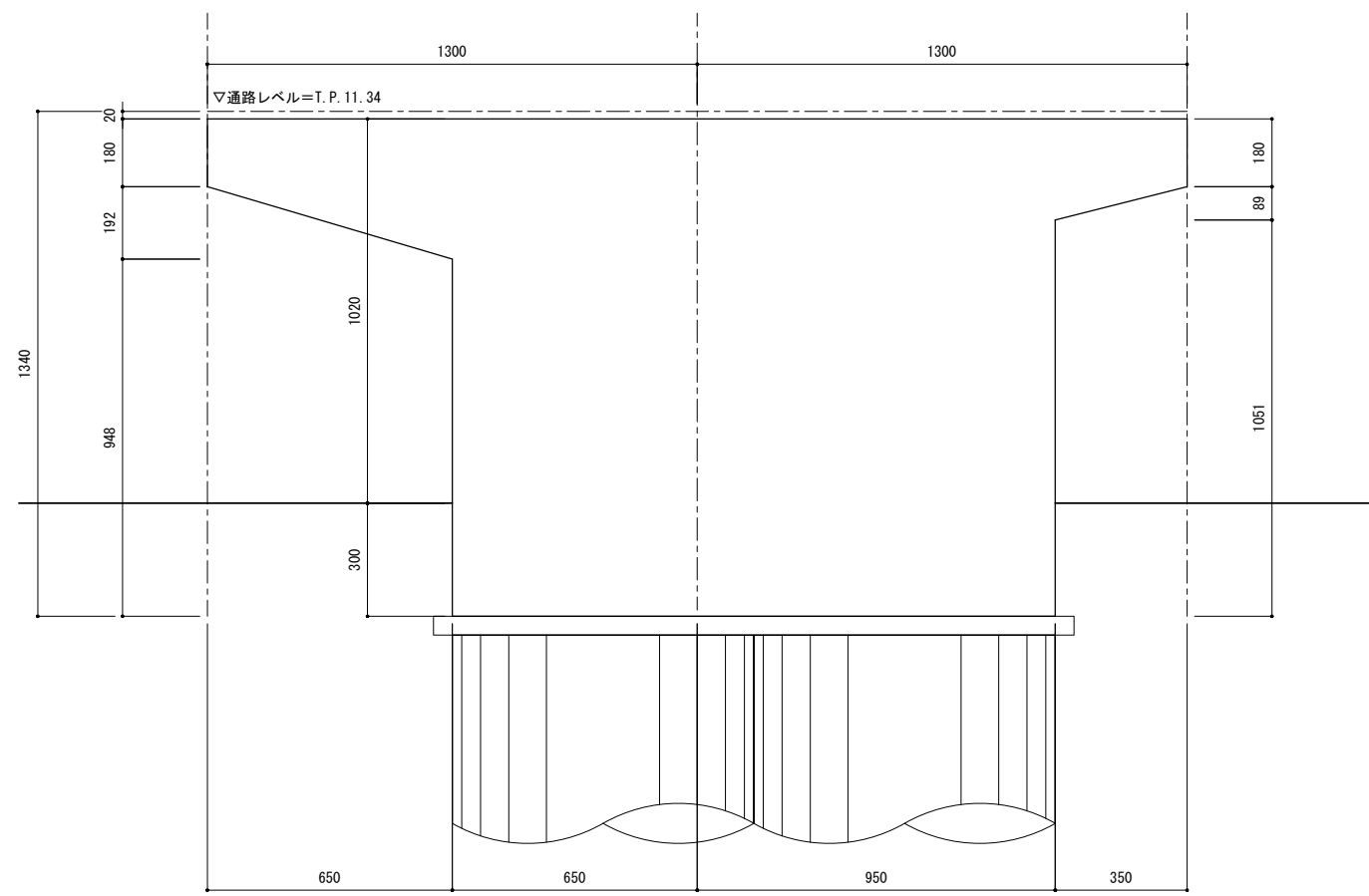
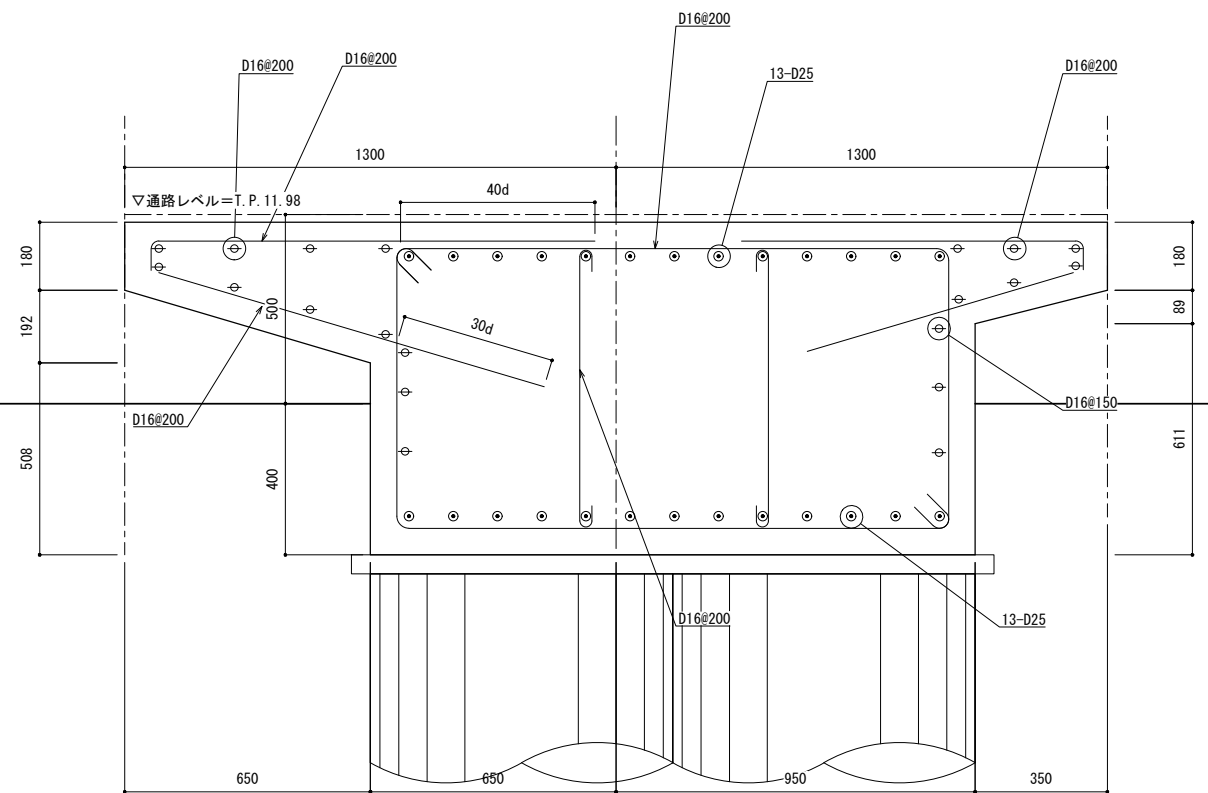
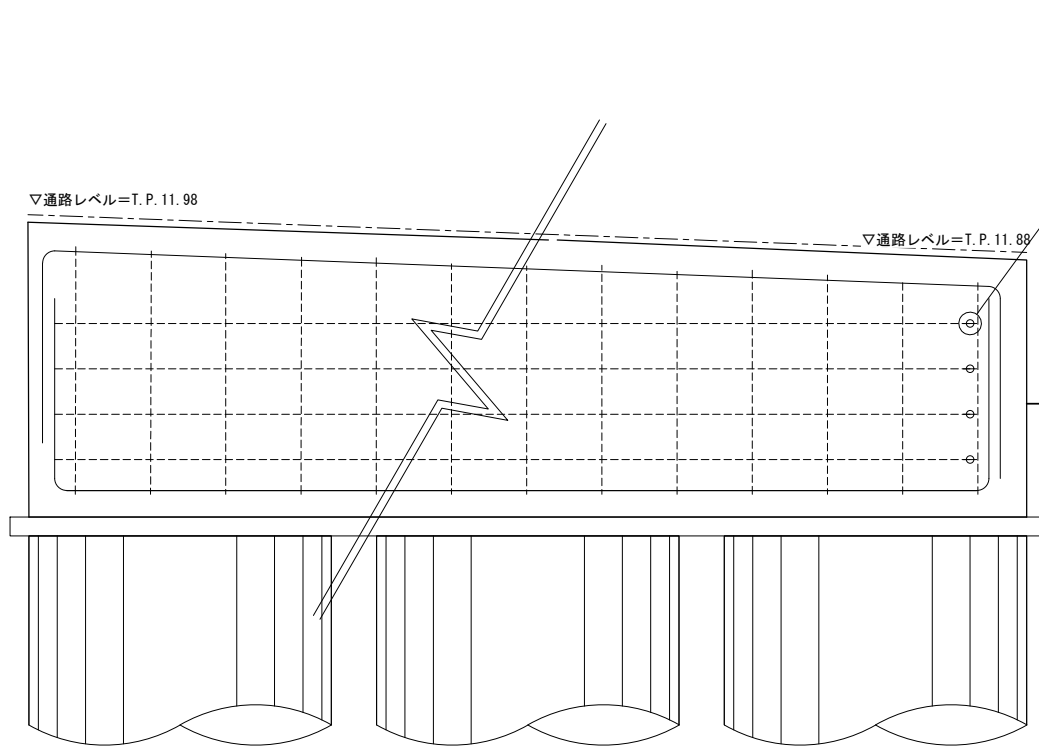
| | | | | | | | | |
|--|--|--|---|---|---|--------------------|---------------------------|------------|
| | 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | MOF合同会社 一級建築士事務所 京都府知事登録 05A第02947号 一級建築士 383080号 江田 拓也 | TITLE ブリッジ伏図 PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | SCALE 1/20 (A3) | DATE 24.10.31 CHECK | NO S-50 |
|--|--|--|---|---|---|--------------------|---------------------------|------------|



| | | | | | | | |
|--|--|---|---|--|-----------|-------------------|------|
| 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 364177号 関根 雄二 | MOF合同会社 一級建築士事務所 京都府知事登録 05A第02947号 一級建築士 383080号 江田 拓也 | TITLE | SCALE | DATE | NO |
| | | | | ブリッジ詳細図1 PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | 1/20 (A3) | 24.10.31 CHECK | S-51 |



| | | | | | | | |
|--|--|---|---|------------------------------|--------------------|------------------|----|
| 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | MOF合同会社 一級建築士事務所 京都府知事登録 05A第02947号 一級建築士 383080号 江田 拓也 | TITLE ブリッジ詳細図2 | SCALE 1/20 (A3) | DATE 24.10.31 | NO |
| | | | | PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | S-52 | |



| | | | | | | | | |
|--|--|--|---|---|------------------------------|--------------------|------------------|------------|
| | 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | MOF合同会社 一級建築士事務所 京都府知事登録 05A第02947号 一級建築士 383080号 江田 拓也 | TITLE ブリッジ詳細図3 | SCALE 1/20 (A3) | DATE 24.10.31 | NO S-53 |
| | | | | | PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | | |

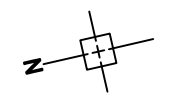


KBM1 (金属杭)
 X=19121.603
 Y=12122.922
 EL=10.021

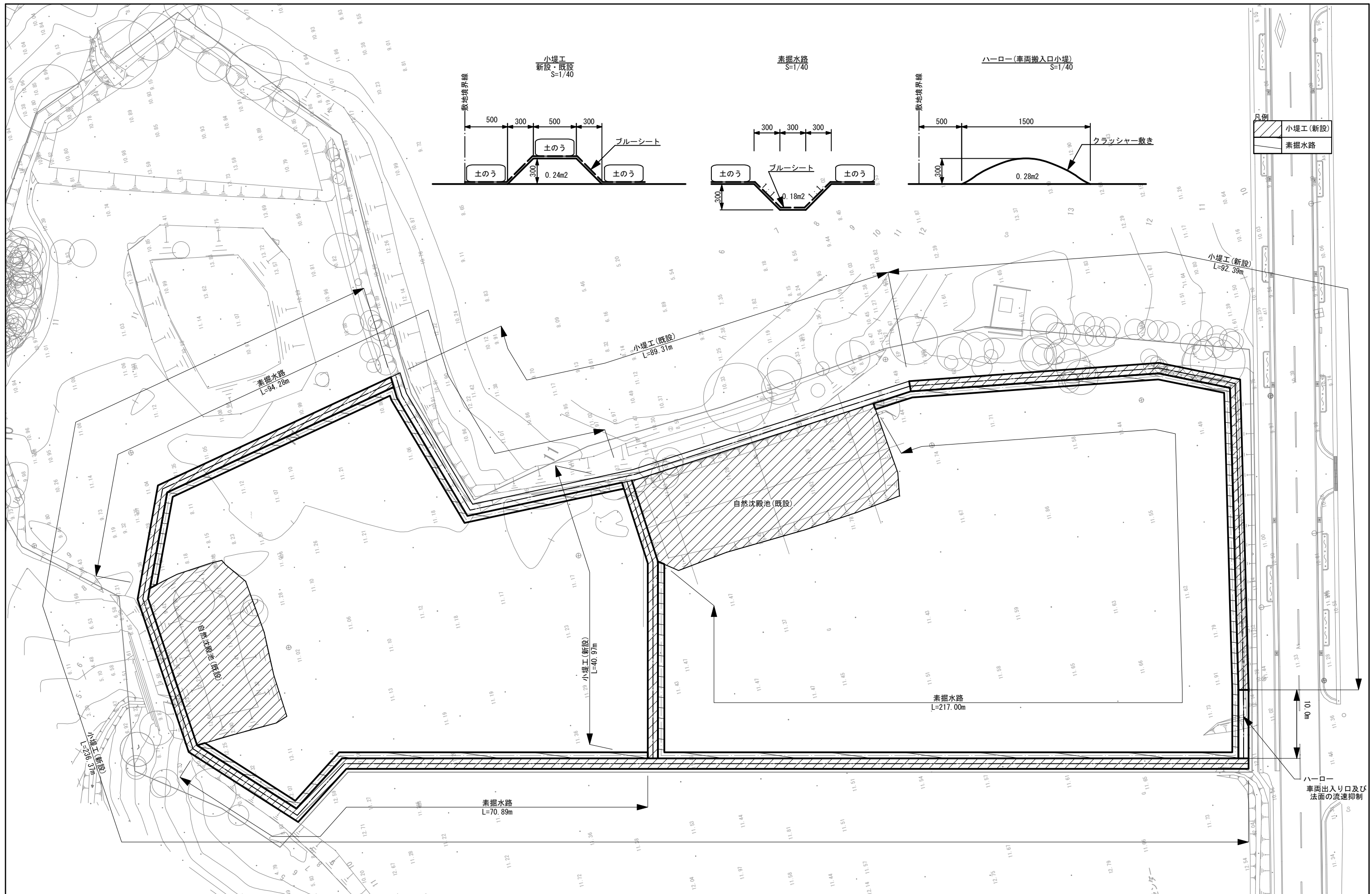
b点 (木杭)
 X=191066.702
 Y=12156.629

a点 (木杭)
 X=191195.191
 Y=12185.984

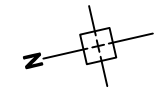
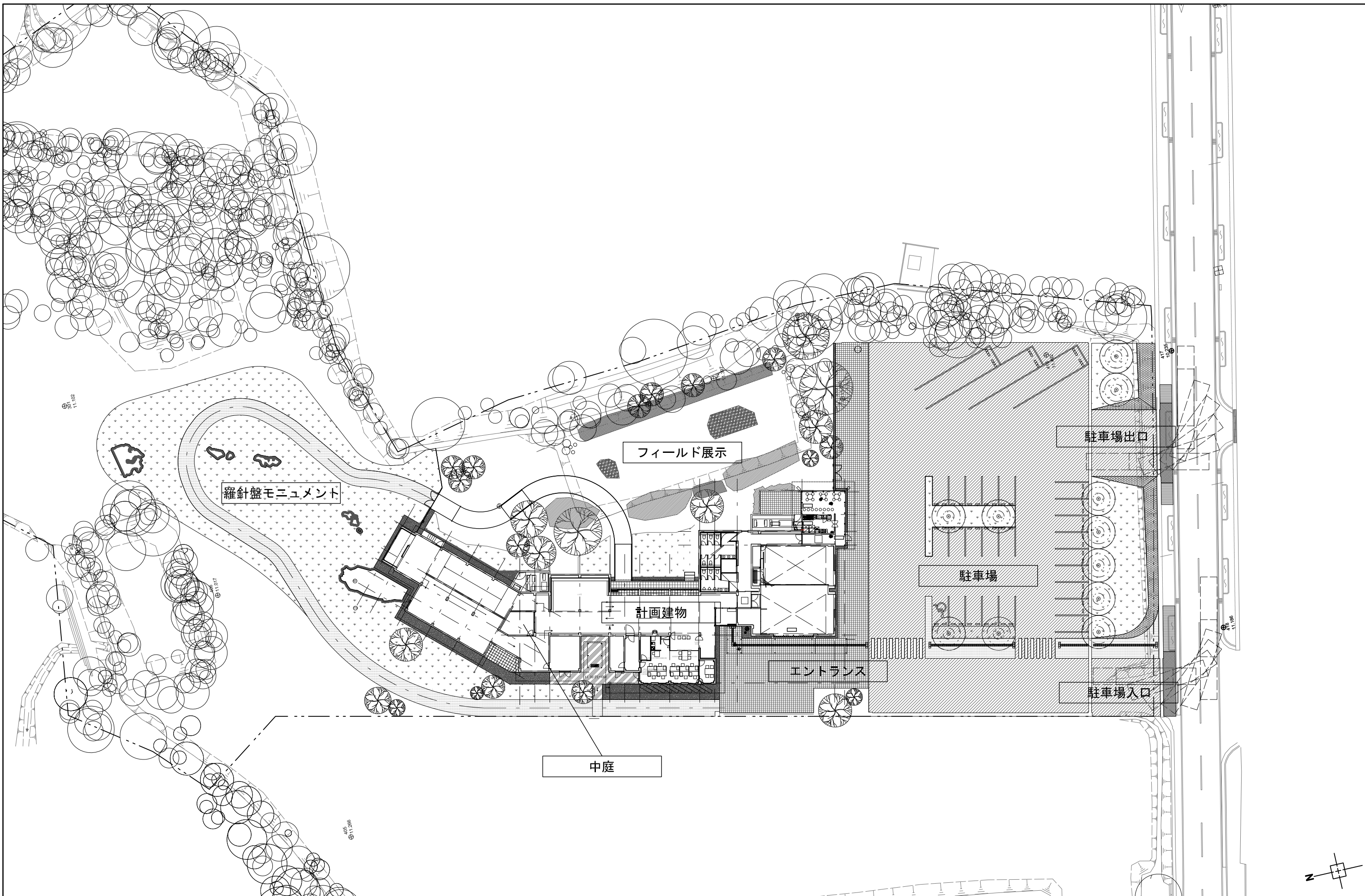
△敷地境界線



| | | | | | | | |
|--|--|--|---|--------------|-----------------------|-------|------------|
| | 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 健二 | TITLE 現況図 | SCALE S=1/800 (A3) | DATE | NO L-01 |
| | PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | | | | | CHECK | |



| | | | | | | | | | | |
|--|--|---|---------|-------------------|-------|---------|------|--|----|-----|
| 株式会社 ブラック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | TITLE | 赤土流出防止対策計画図 | SCALE | S=1/500 | DATE | | NO | |
| | | | PROJECT | 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | | | | | L-2 |



| |
|--|
| |
| |
| |

株式会社 ブレック研究所
 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号
 一級建築士 233817号 福岡 薫

福原信一 一級建築士事務所
 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号
 一級建築士 364177号 福原 信一

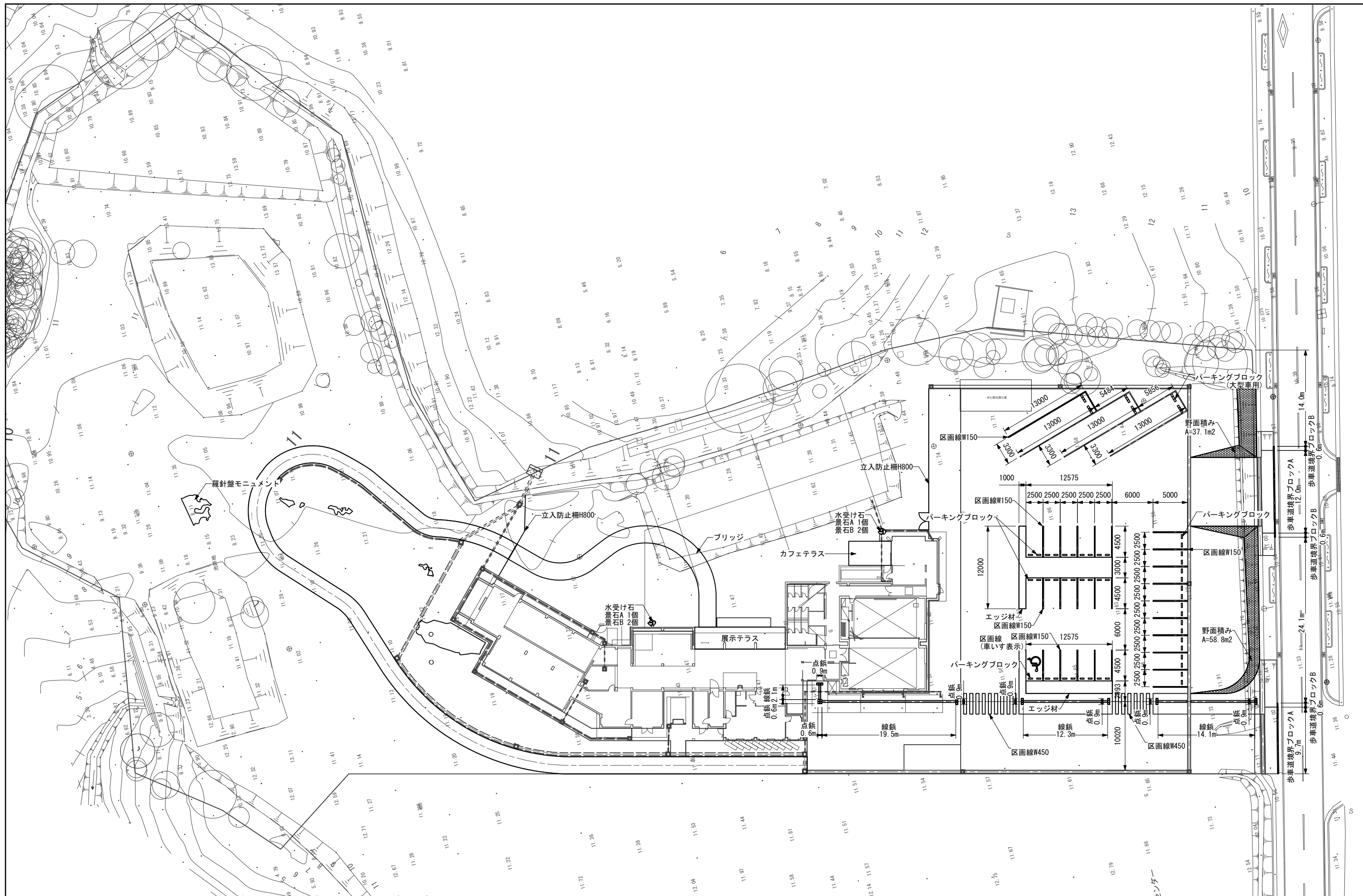
株式会社 丹青社
 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号
 一級建築士 254337号 関根 雄二

TITLE 外構全体配置図
 PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計

SCALE S=1/500 (A3)






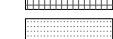


DATE
 CHECK

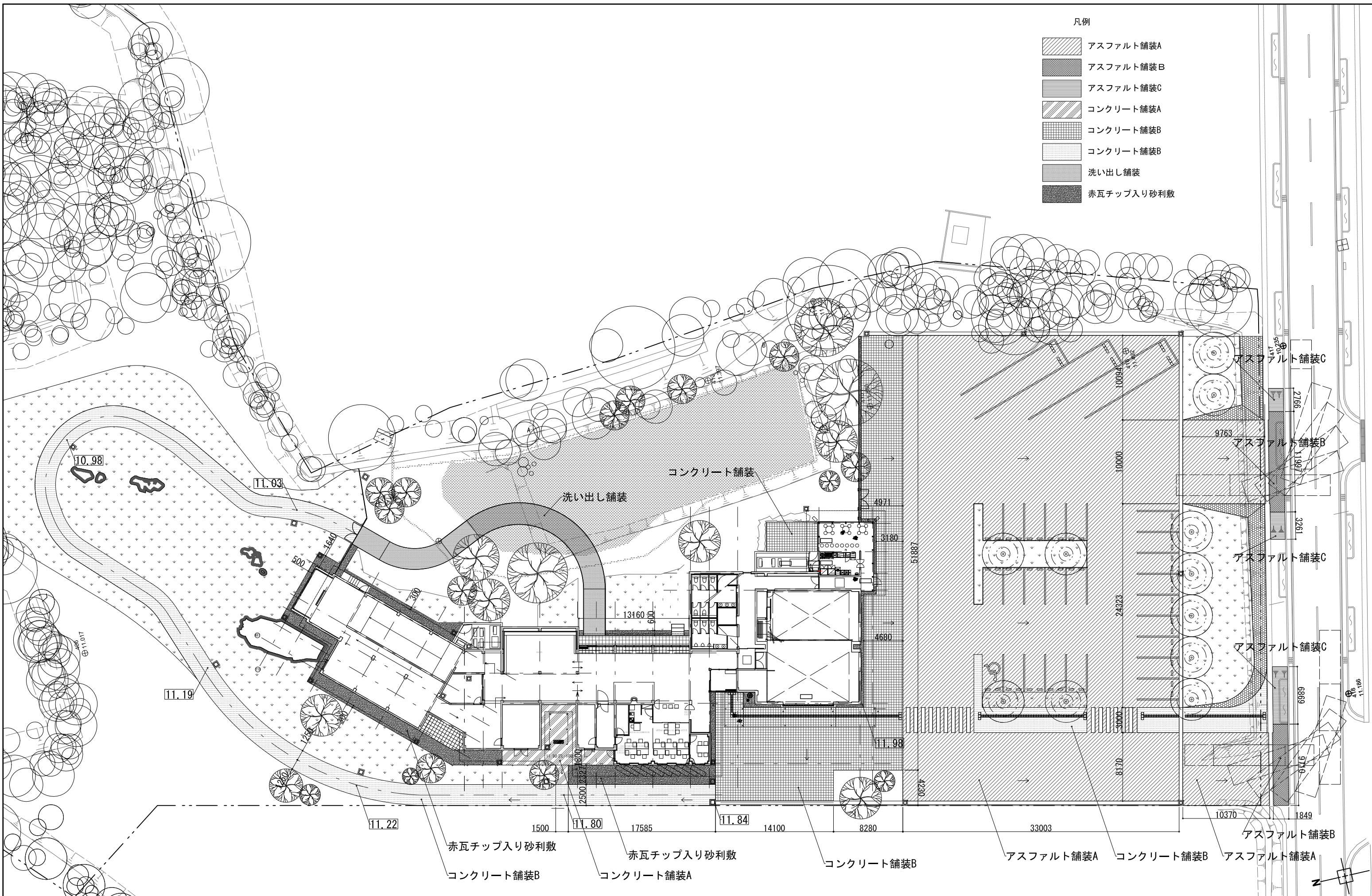
NO L-03



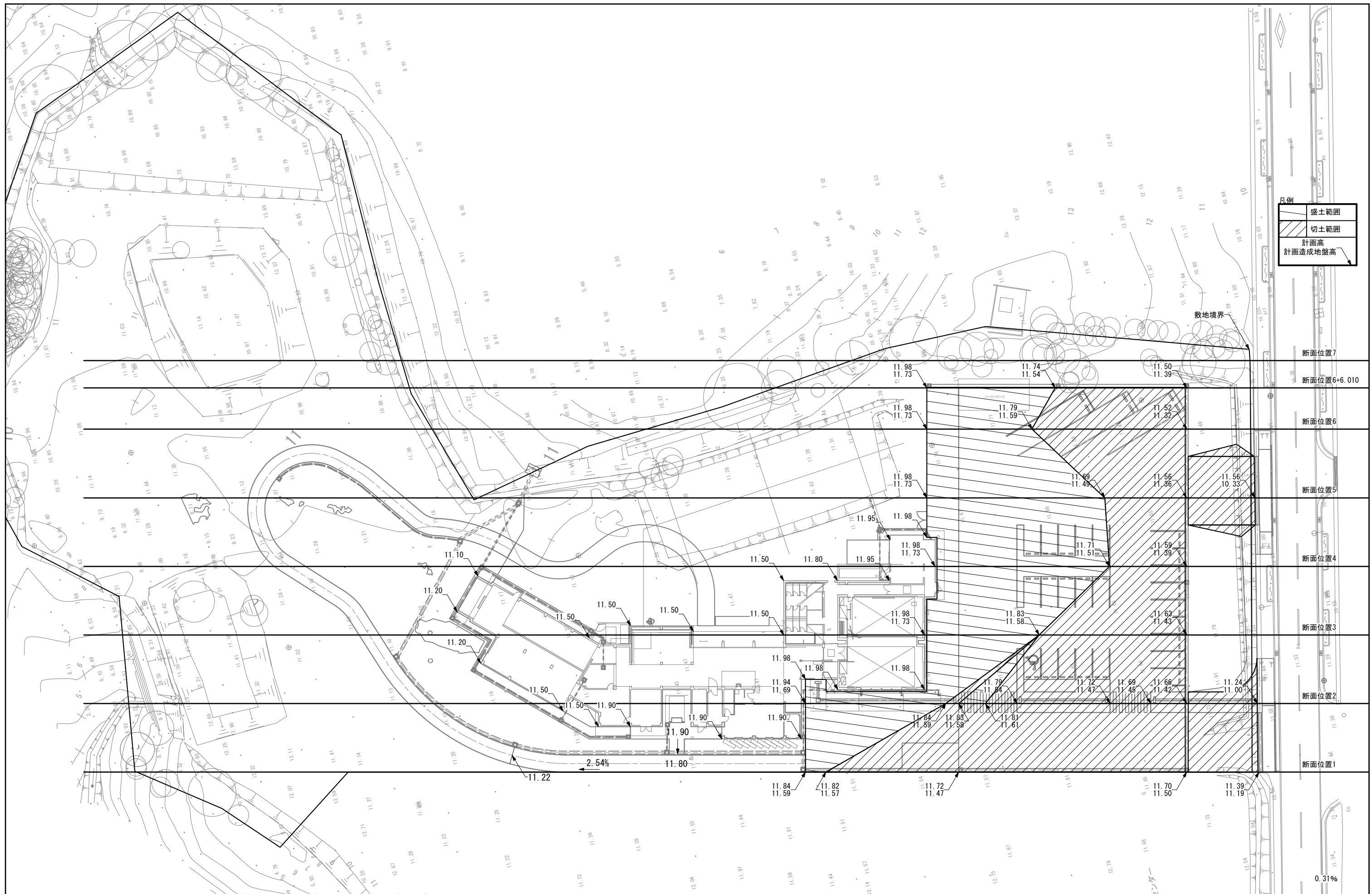
| | | | | | |
|---|---|--|--|---|-------------------|
| <p>株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫</p> | <p>福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一</p> | <p>株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二</p> | <p>TITLE 屋外施設平面図 PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計</p> | <p>SCALE S=1/500 DATE CHECK</p> | <p>NO L-4</p> |
|---|---|--|--|---|-------------------|

凡例

-  アスファルト舗装A
-  アスファルト舗装B
-  アスファルト舗装C
-  コンクリート舗装A
-  コンクリート舗装B
-  コンクリート舗装B
-  洗い出し舗装
-  赤瓦チップ入り砂利敷



| | | | | | | | |
|--|---|---|--|--|---------------------------|-----------------------|----------------|
| | <p>株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫</p> | <p>福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一</p> | <p>株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二</p> | <p>TITLE 舗装平面図 PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計</p> | <p>SCALE S=1/400 (A3)</p> | <p>DATE CHECK</p> | <p>NO L-05</p> |
|--|---|---|--|--|---------------------------|-----------------------|----------------|



| | |
|--|---------|
| | 盛土範囲 |
| | 切土範囲 |
| | 計画高 |
| | 計画造成地盤高 |

断面位置7
断面位置6+6.010

断面位置6

断面位置5

断面位置4

断面位置3

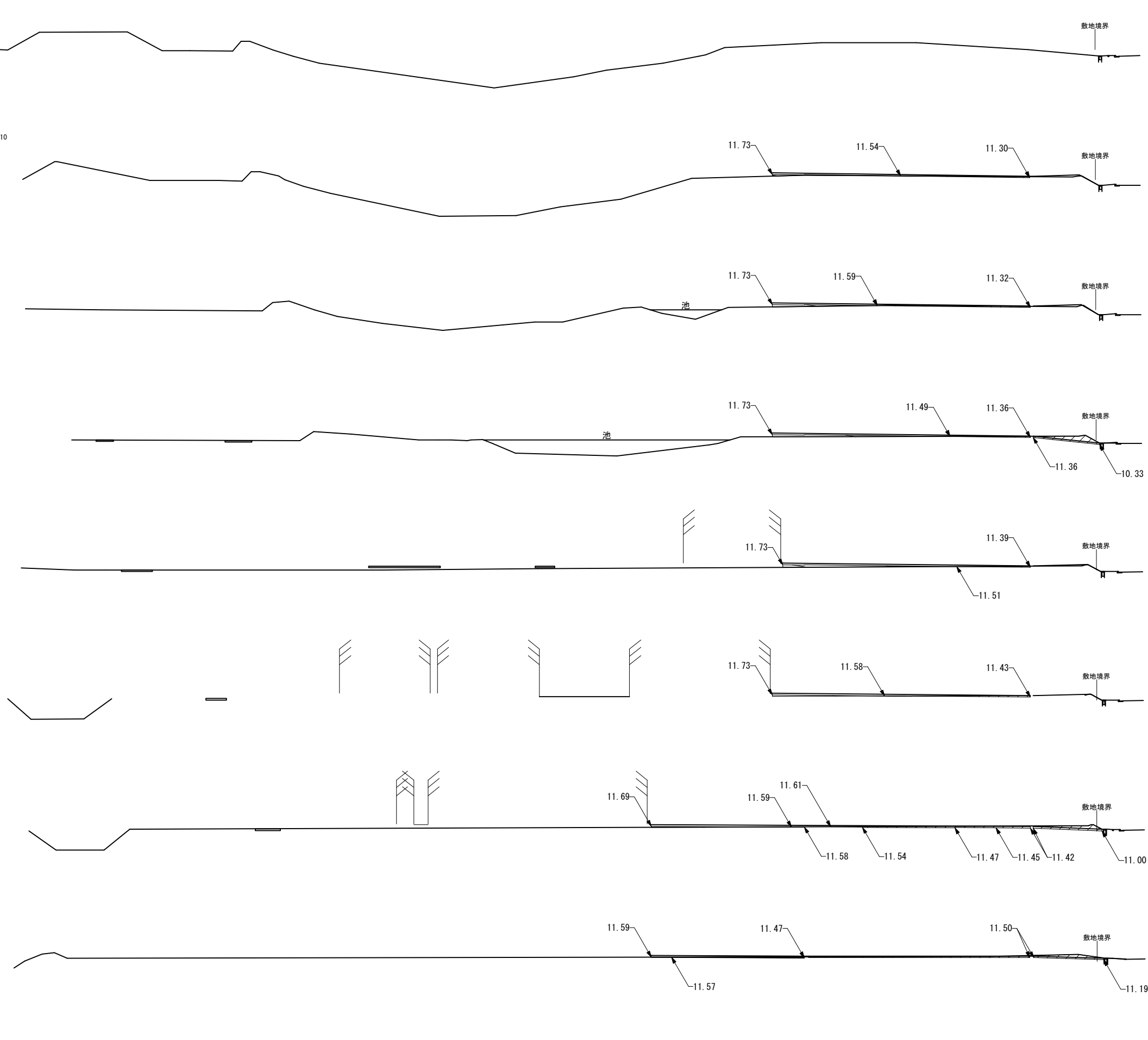
断面位置2

断面位置1

0.31%

| | | | | | | | |
|--|--|--|---|------------------------------|------------------|------|-----|
| | 株式会社 ブラック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | TITLE 造成平面図 | SCALE S=1/500 | DATE | NO |
| | | | | PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | | L-6 |

断面位置7
15.00
10.00
5.00
0.00
断面位置6+6.010
15.00
10.00
5.00
0.00
断面位置6
15.00
10.00
5.00
0.00
断面位置5
15.00
10.00
5.00
0.00
断面位置4
15.00
10.00
5.00
0.00
断面位置3
15.00
10.00
5.00
0.00
断面位置2
15.00
10.00
5.00
0.00
断面位置1
15.00
10.00
5.00
0.00



断面位置7

| | |
|----|---------------------|
| 盛土 | 0.000m ² |
| 切土 | 0.000m ² |

断面位置6+6.010

| | |
|----|---------------------|
| 盛土 | 1.350m ² |
| 切土 | 1.260m ² |

断面位置6

| | |
|----|---------------------|
| 盛土 | 2.701m ² |
| 切土 | 2.339m ² |

断面位置5

| | |
|----|---------------------|
| 盛土 | 4.131m ² |
| 切土 | 6.654m ² |

断面位置4

| | |
|----|---------------------|
| 盛土 | 4.955m ² |
| 切土 | 0.913m ² |

断面位置3

| | |
|----|---------------------|
| 盛土 | 1.705m ² |
| 切土 | 2.001m ² |

断面位置2

| | |
|----|---------------------|
| 盛土 | 1.882m ² |
| 切土 | 9.761m ² |

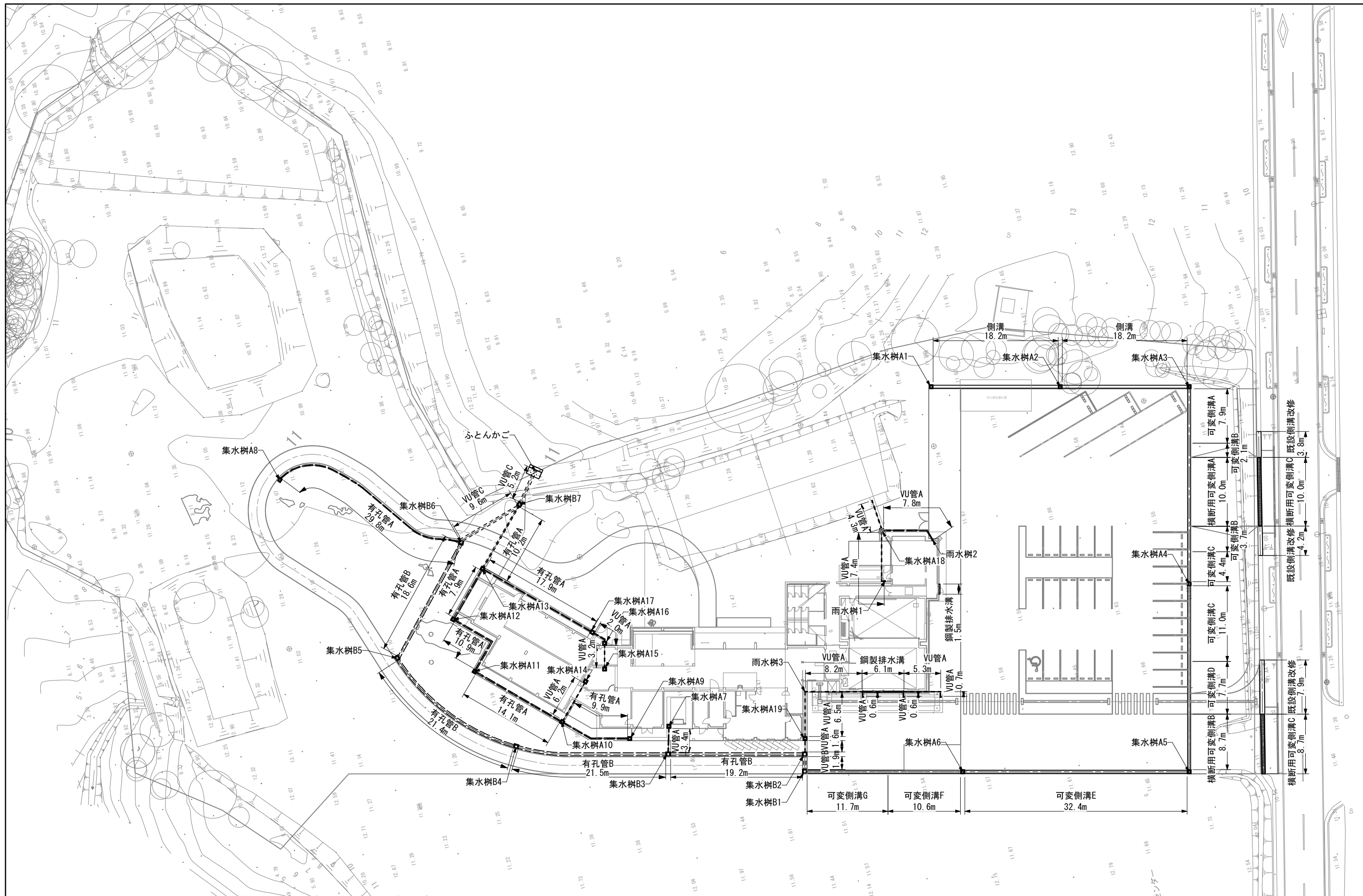
断面位置1

| | |
|----|----------------------|
| 盛土 | 0.032m ² |
| 切土 | 10.731m ² |

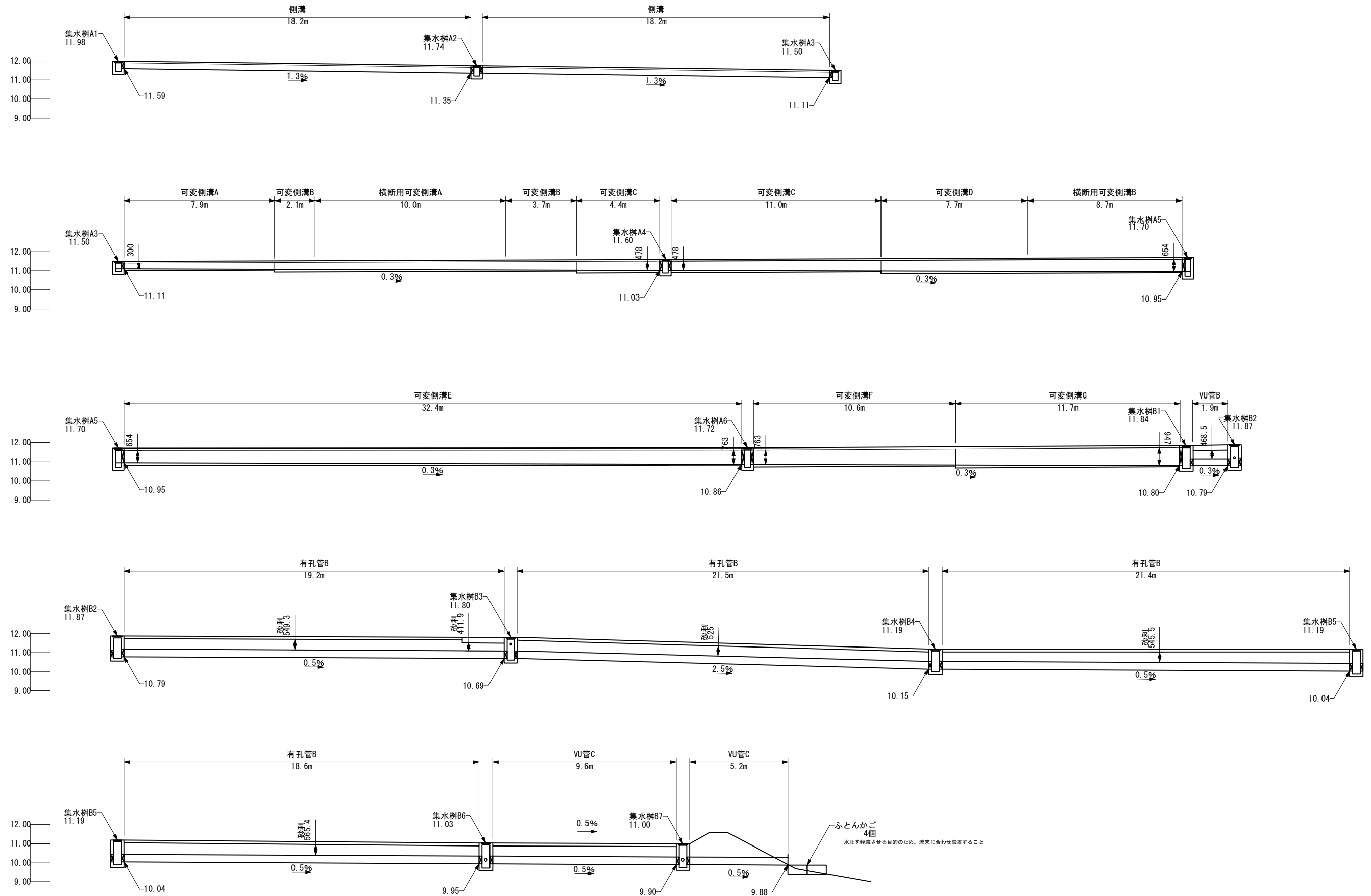
凡例

| | |
|--|---------|
| | 盛土範囲 |
| | 切土範囲 |
| | 計画造成地盤高 |

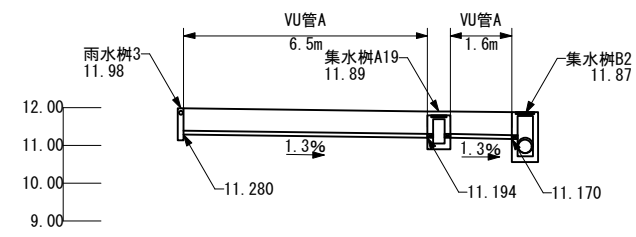
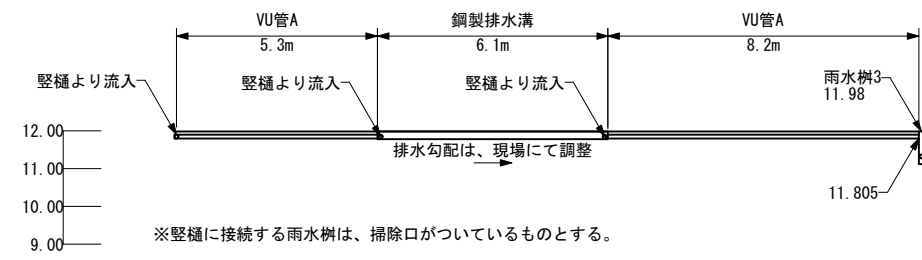
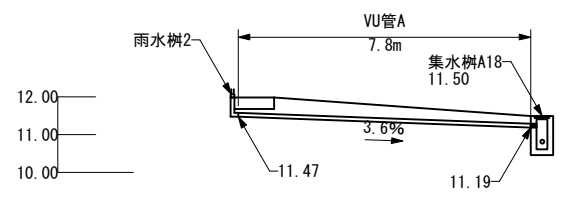
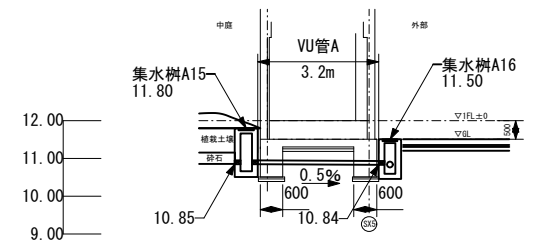
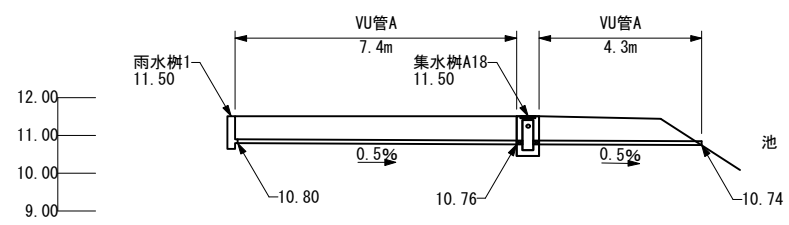
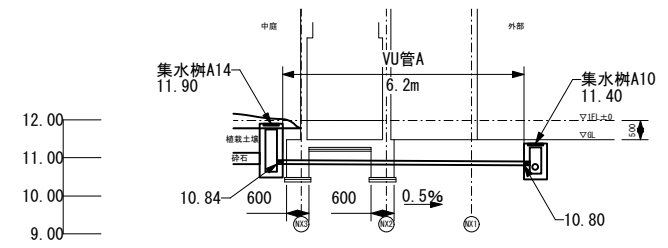
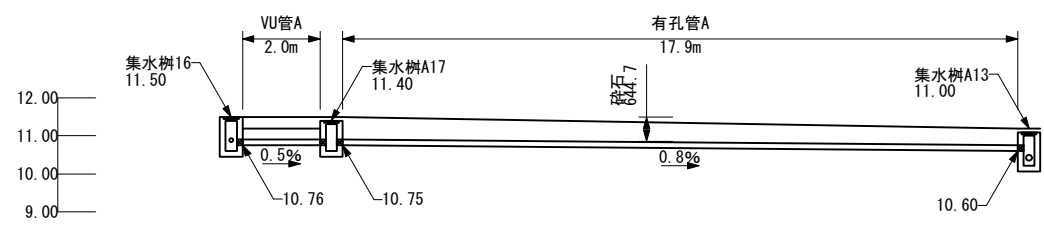
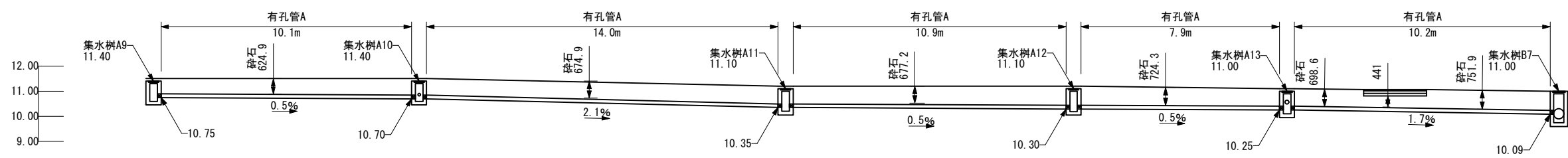
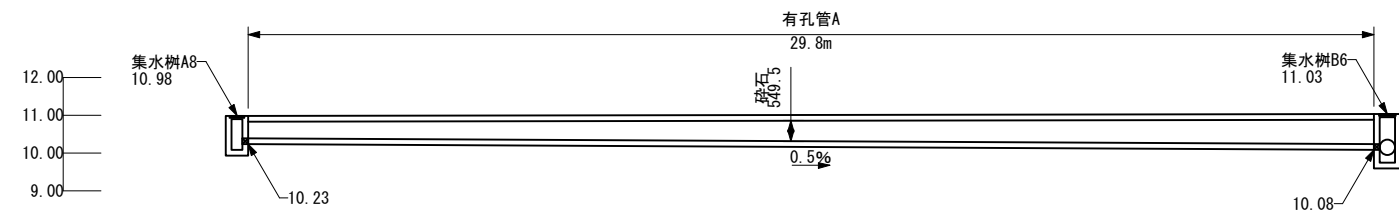
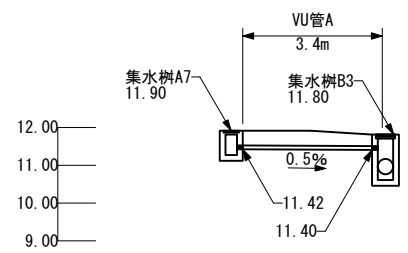
| | | | | | | | |
|--|--|---|---|------------------------------|------------------|------|-----|
| | 株式会社 ブラック研究所 | 福原信一 一級建築士事務所 | 株式会社 丹青社 | TITLE 造成断面図 | SCALE S=1/600 | DATE | NO |
| | 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | | L-7 |



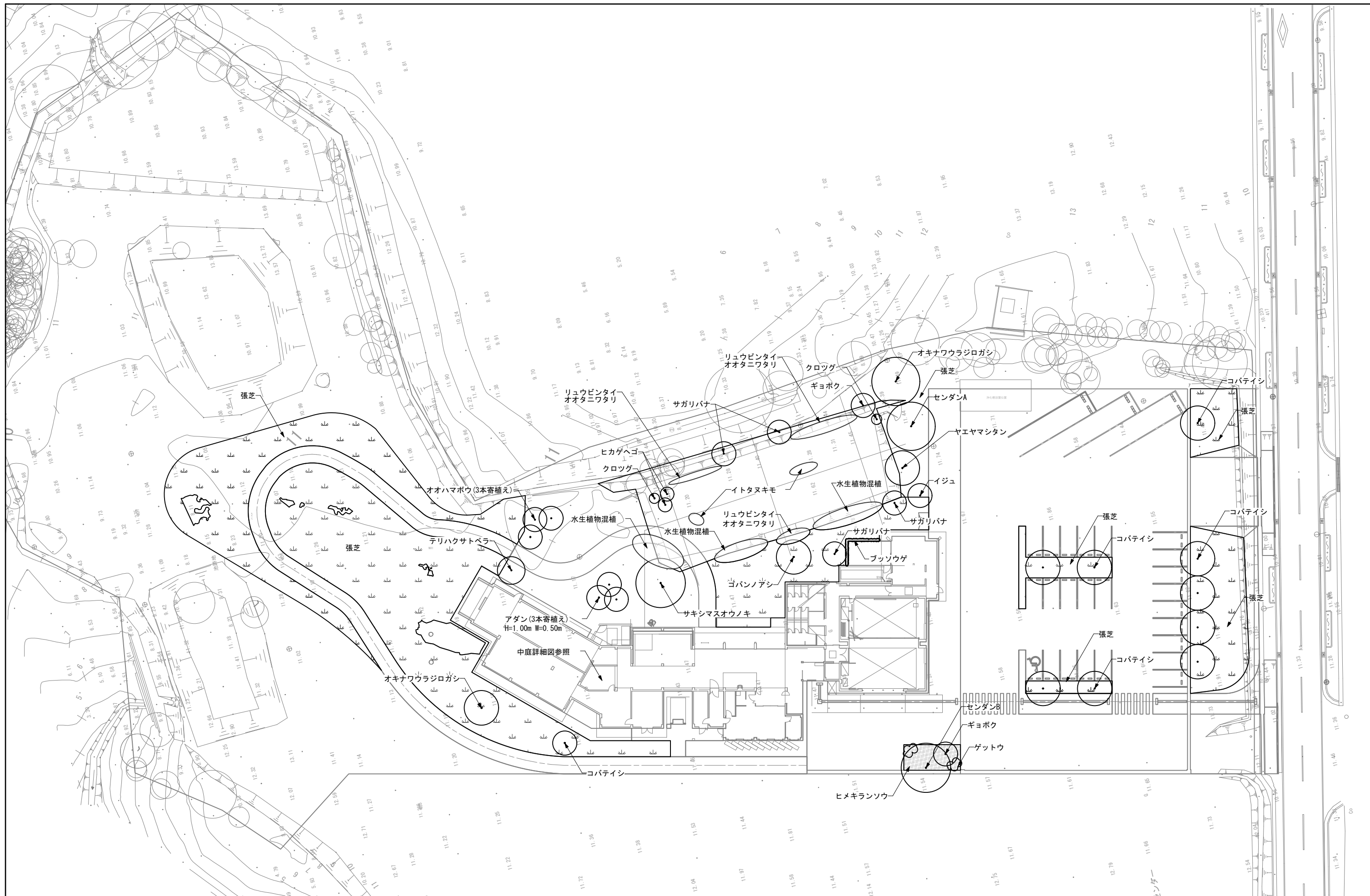
| | | | | | |
|---|---|--|--|---|-------------------|
| <p>株式会社 ブラック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫</p> | <p>福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一</p> | <p>株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二</p> | <p>TITLE 雨水排水計画図 PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計</p> | <p>SCALE S=1/500 DATE CHECK</p> | <p>NO L-8</p> |
|---|---|--|--|---|-------------------|



| | | | | | | | |
|--|--|--|---|------------------------------|------------------|-------|-----|
| | 株式会社 ブラック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | TITLE 雨水排水縦断図1 | SCALE S=1/200 | DATE | NO |
| | | | | PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | | CHECK | L-9 |

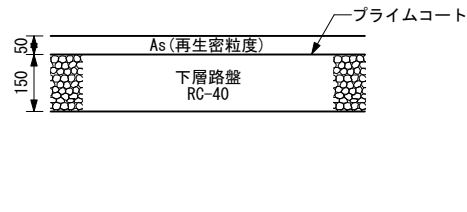


| | | | | | | | |
|--|--|--|---|--|------------------|------|------------|
| | 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | TITLE 雨水排水縦断面図2 PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | SCALE S=1/200 | DATE | NO L-10 |
| | | | | | CHECK | | |

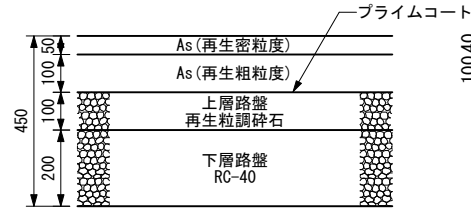


| | | | | | | | |
|--|---|---|--|-----------------------|-------------------------------------|-------|-------------|
| | 株式会社 ブレック研究所 <small>一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫</small> | 福原信一 一級建築士事務所 <small>一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一</small> | 株式会社 丹青社 <small>一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二</small> | TITLE 植栽平面図 | SCALE S=1/500 | DATE | NO |
| | | | | | PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | L-11 |
| | | | | | | | |

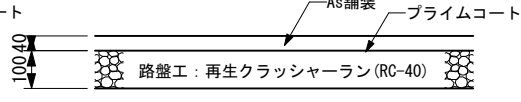
アスファルト舗装A
駐車場 S=1/20



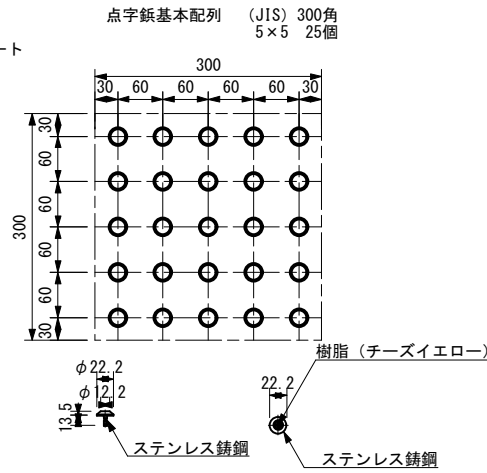
アスファルト舗装B
出入口部 S=1/20



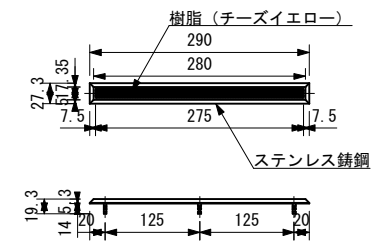
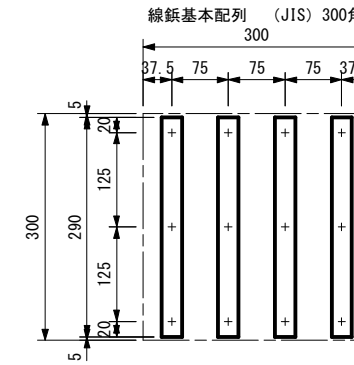
アスファルト舗装C
歩道 S=1/20



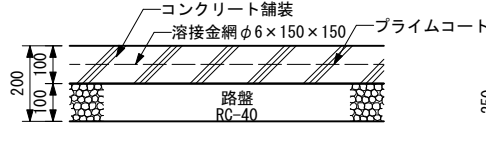
点 鋏
S=1/10



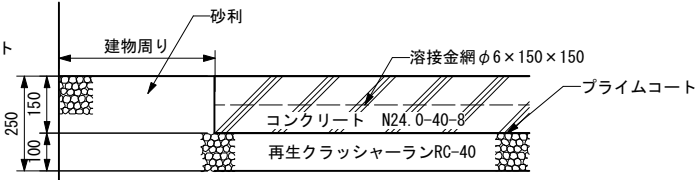
線 鋏
S=1/10



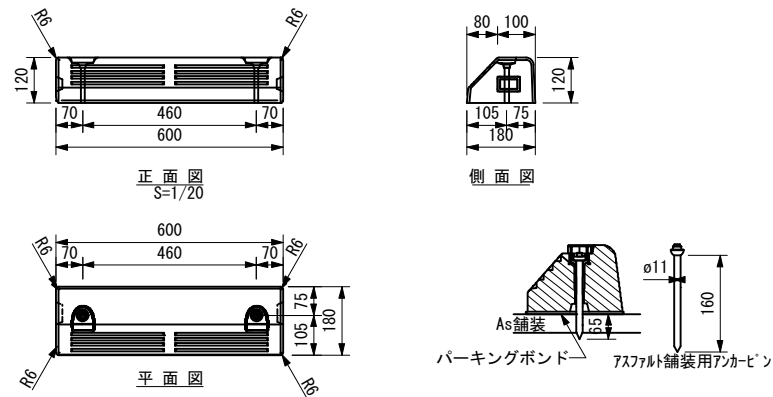
コンクリート舗装A
足洗い場 S=1/20



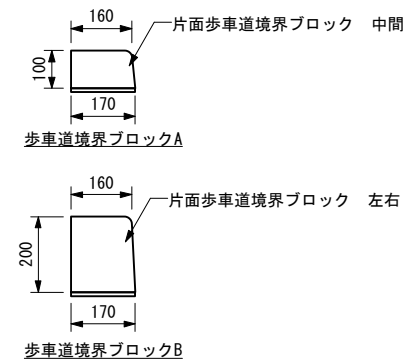
コンクリート舗装B
エントランス S=1/20



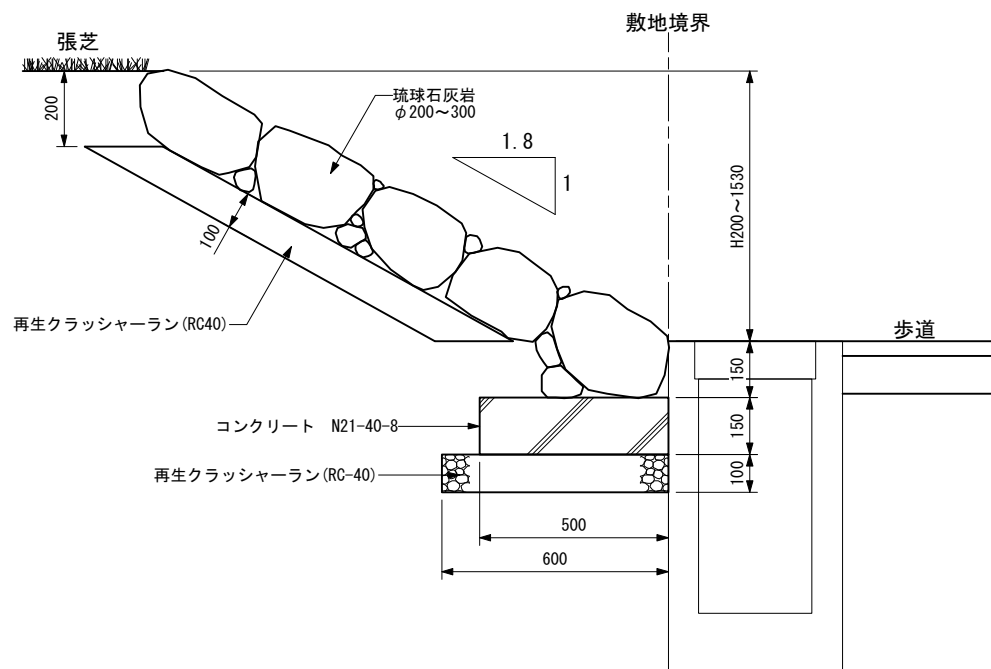
パーキングブロック
S=1/20



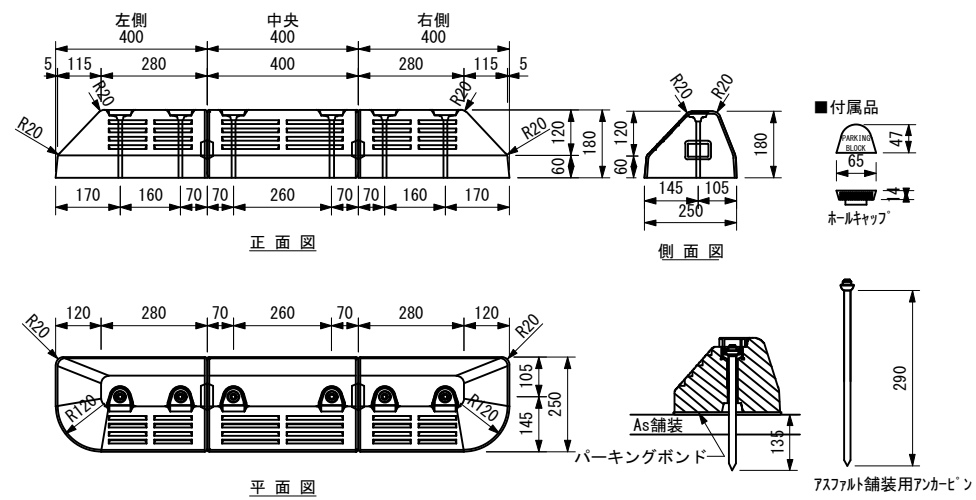
歩車道境界ブロック(フラット型)
S=1/20



野面積み
S=1/20



パーキングブロック(大型車用)
S=1/20



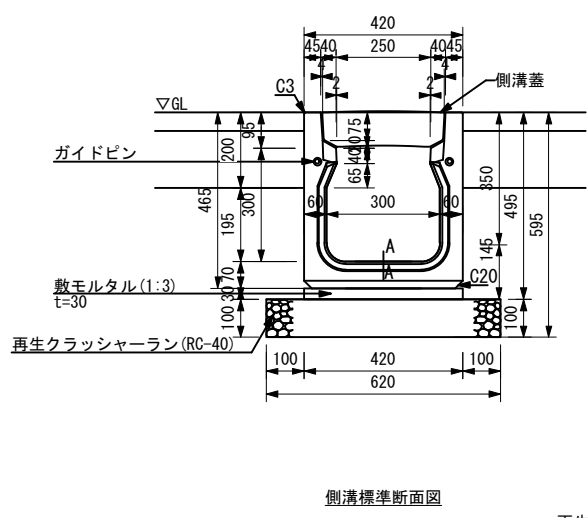
株式会社 ブレック研究所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号
一級建築士 233817号 福岡 薫

福原信一 一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号
一級建築士 364177号 福原 信一

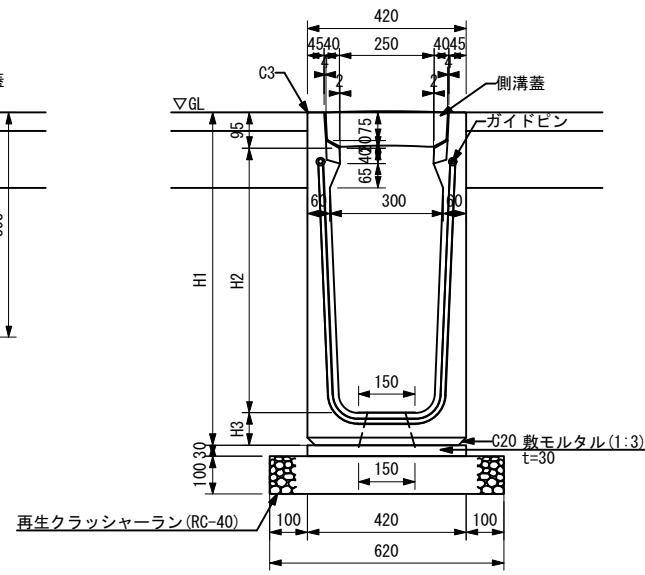
株式会社 丹青社
一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号
一級建築士 254337号 関根 雄二

| | | | | | | | |
|---------|-------------------|-------|---|------|--|------|--|
| TITLE | 舗装、屋外施設詳細図 | SCALE | - | DATE | | NO | |
| PROJECT | 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | | | | L-12 | |

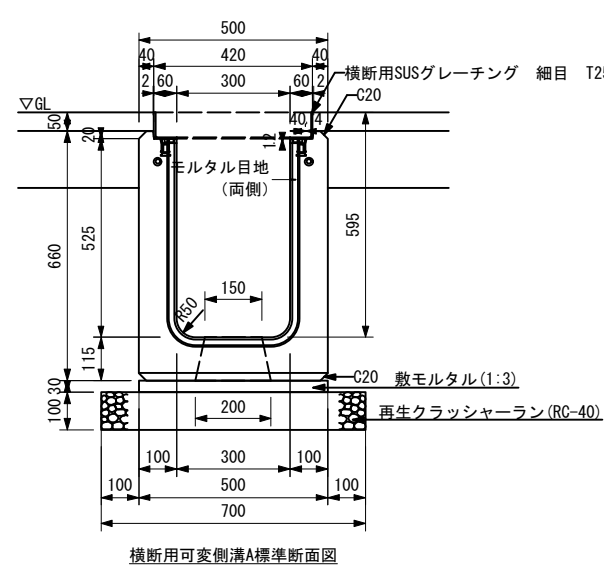
側溝詳細図
S=1/20



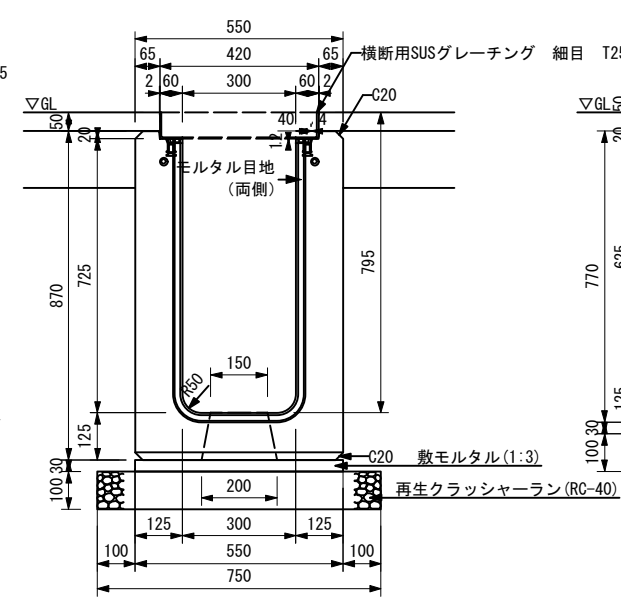
側溝標準断面図



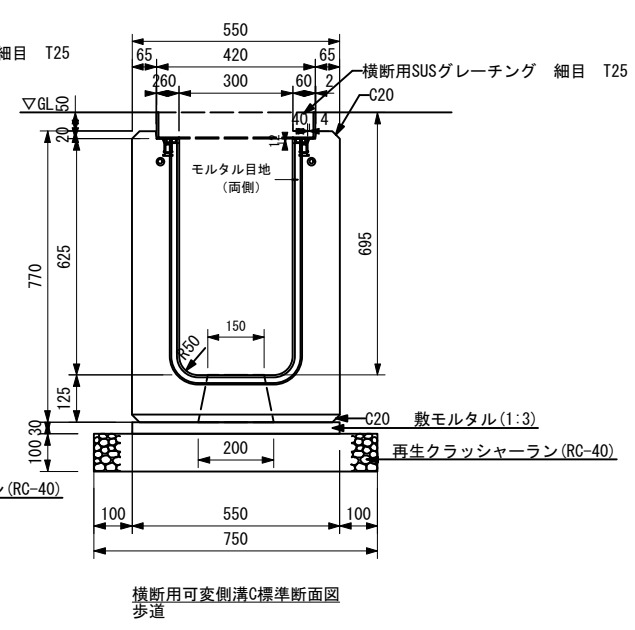
可変側溝A~G標準断面図



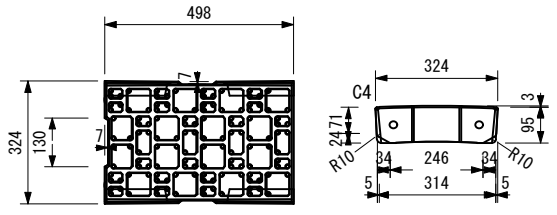
横断用可変側溝A標準断面図



横断用可変側溝B標準断面図



横断用可変側溝C標準断面図歩道

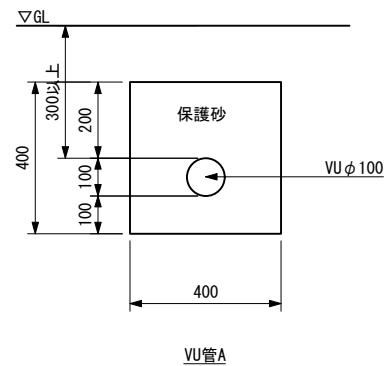


側溝蓋標準断面図
S=1/20

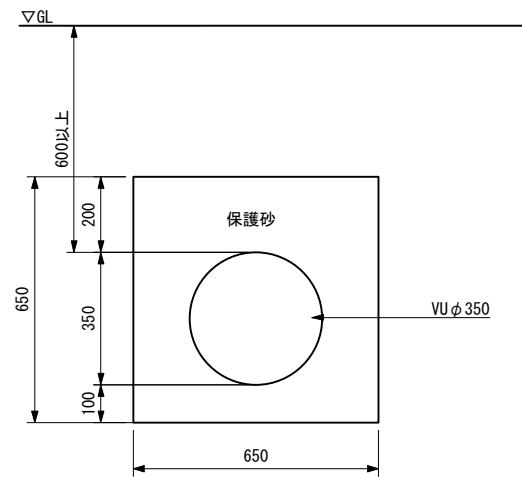
可変側溝規格一覧表

| 名称 | H1 | H2 | H3 | 備考 |
|----|------|------|-----|----|
| A | 570 | 400 | 75 | |
| B | 675 | 500 | 80 | |
| C | 775 | 600 | 80 | |
| D | 880 | 700 | 85 | |
| E | 985 | 800 | 90 | |
| F | 1095 | 900 | 100 | |
| G | 1205 | 1000 | 110 | |

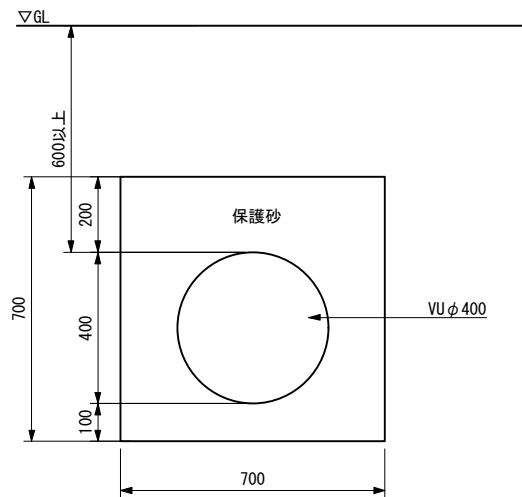
VU管標準断面図
S=1/20



VU管A

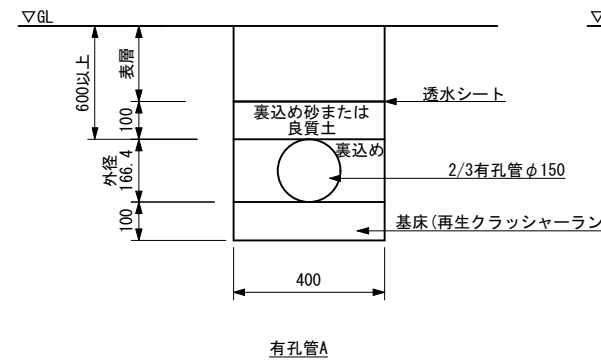


VU管B

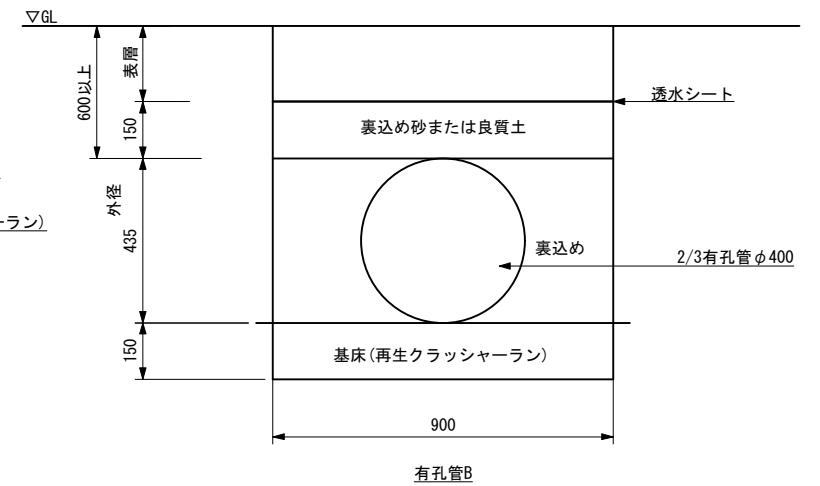


VU管C

有孔管標準断面図
S=1/20



有孔管A



有孔管B

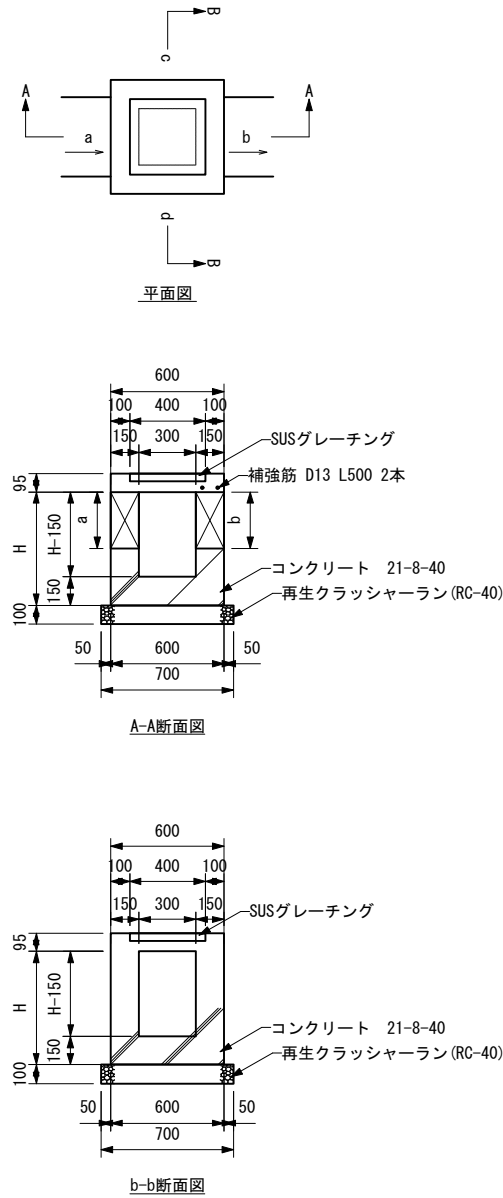
株式会社 ブレック研究所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号
一級建築士 233817号 福岡 薫

福原信一 一級建築士事務所
一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号
一級建築士 364177号 福原 信一

株式会社 丹青社
一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号
一級建築士 254337号 関根 雄二

| | | | | | | | |
|---------|-------------------|-------|---|------|--|----|------|
| TITLE | 雨水排水詳細図1 | SCALE | - | DATE | | NO | |
| PROJECT | 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | | | | | L-13 |

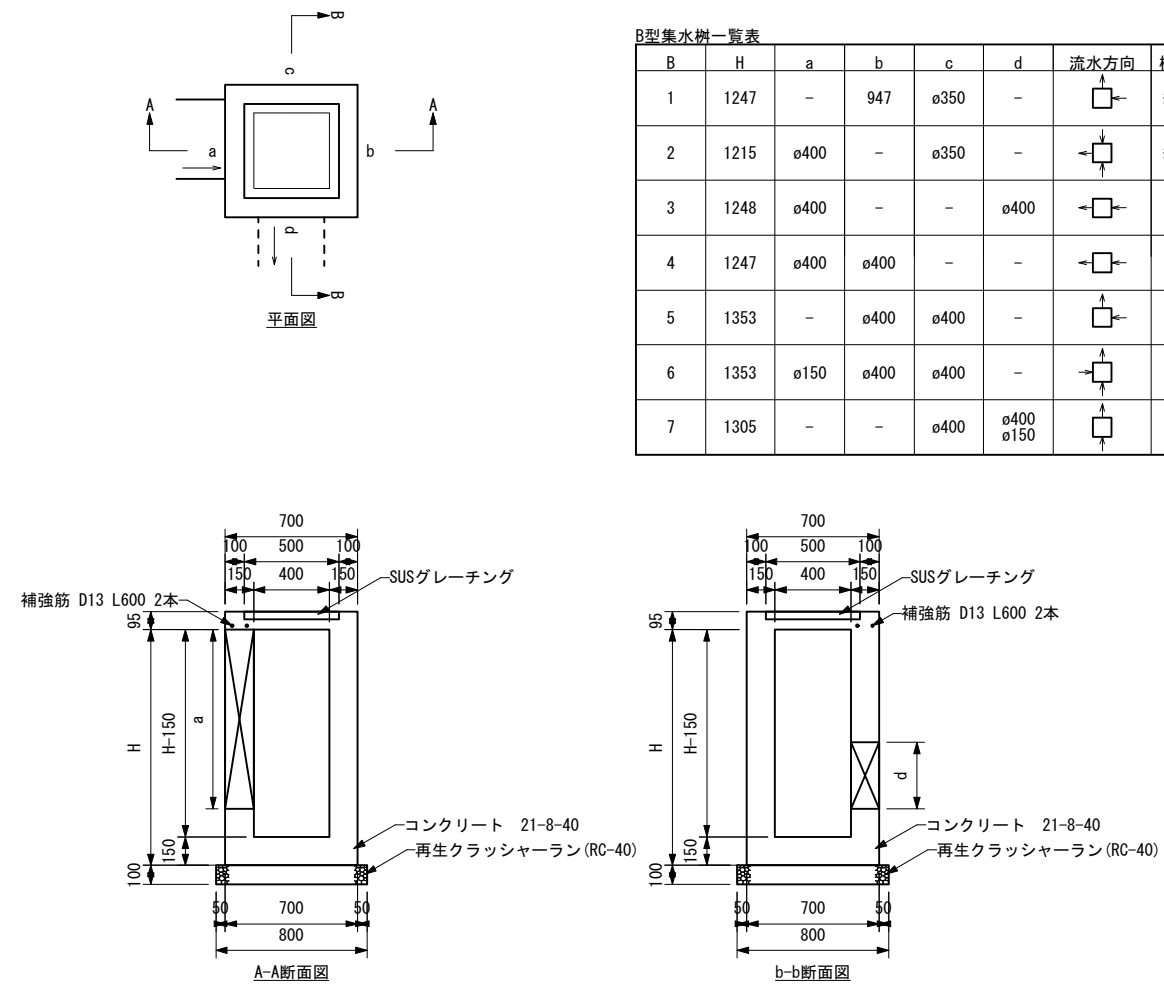
A型集水樹
S=1/40



A型集水樹一覧表

| A | H | a | b | c | d | 流水方向 | 樹蓋タイプ | 備考 | |
|----|------|------|------|------|------|------|--------|--------|--|
| 1 | 600 | - | 300 | - | - | → | 細目 T2 | | |
| 2 | 600 | 300 | 300 | - | - | → | 細目 T2 | | |
| 3 | 600 | 300 | - | - | 300 | → | 細目 T2 | | |
| 4 | 778 | - | - | 478 | 478 | ↓ | 細目 T2 | | |
| 5 | 1049 | 654 | - | 654 | - | ← | 細目 T25 | | |
| 6 | 1063 | 763 | 763 | - | - | ← | 細目 T25 | | |
| 7 | 688 | - | - | - | ø100 | ↓ | 細目 T2 | | |
| 8 | 955 | - | - | - | ø150 | ↓ | 細目 T2 | | |
| 9 | 855 | ø150 | - | - | - | ← | 細目 T2 | | |
| 10 | 855 | ø150 | ø150 | - | - | ← | 細目 T2 | | |
| 11 | 955 | - | ø150 | ø150 | - | ↑ | 細目 T2 | | |
| 12 | 959 | - | ø150 | ø150 | - | ↑ | 細目 T2 | | |
| 13 | 949 | - | ø150 | ø150 | ø150 | ↑ | 細目 T2 | | |
| 14 | 1269 | - | - | - | ø100 | ↓ | 化粧蓋 T2 | | |
| 15 | 1152 | - | - | - | ø100 | ↓ | 細目 T2 | | |
| 16 | 955 | - | - | - | ø150 | ø150 | ↑ | 細目 T2 | |
| 17 | 855 | ø150 | ø150 | - | - | ← | 細目 T2 | | |
| 18 | 942 | - | - | - | ø100 | ø100 | ↑ | 細目 T25 | |
| 19 | 805 | - | - | - | ø100 | ø100 | ↑ | 細目 T2 | |

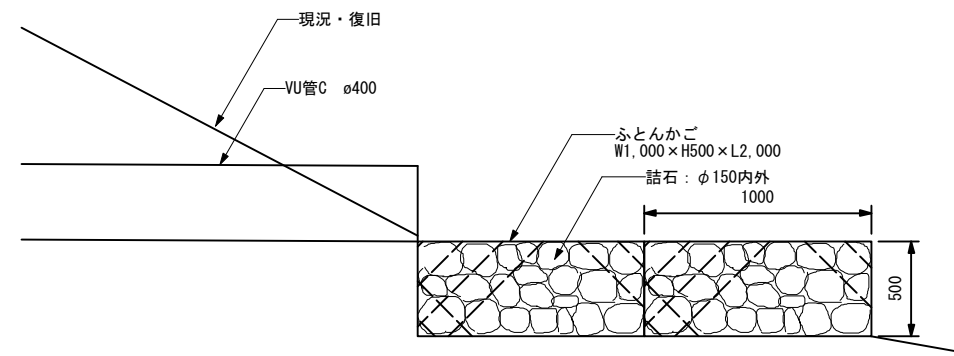
B型集水樹
S=1/40



B型集水樹一覧表

| B | H | a | b | c | d | 流水方向 | 樹蓋タイプ | 備考 |
|---|------|------|------|------|--------------|------|--------|----|
| 1 | 1247 | - | 947 | ø350 | - | ↓ | 細目 T25 | |
| 2 | 1215 | ø400 | - | ø350 | - | ↓ | 細目 T25 | |
| 3 | 1248 | ø400 | - | - | ø400 | ↓ | 細目 T2 | |
| 4 | 1247 | ø400 | ø400 | - | - | ↓ | 細目 T2 | |
| 5 | 1353 | - | ø400 | ø400 | - | ↑ | 細目 T2 | |
| 6 | 1353 | ø150 | ø400 | ø400 | - | ↑ | 細目 T2 | |
| 7 | 1305 | - | - | ø400 | ø400 ø150 | ↑ | 細目 T2 | |

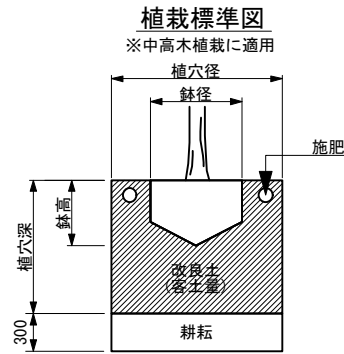
ふとんかご設置参考図
S=1/40



※ふとんかご：GS7・垂鉛アルミ合金、線径4.0mm
 ※ふとんかごは、水力を抑制し、洗掘を防止する目的で設置する。

※集水樹A9～A13・A14・15・17は、地表面にグレーチングが露出しないよう透水シートを敷設したうえで、碎石をt100程度敷き均すこと。

植栽パターン図
S=1/60



植樹用改良土(1m3当り)

| 原土 | 土壌改良材 | | |
|--------|---------|---------|------|
| | 無機質系改良材 | 有機質系改良材 | 県産材 |
| 赤土・現地土 | 砂 | その他無機質系 | 県産材 |
| 0.7m3 | 0.15m3 | 0.15m3 | 80kg |

沖縄道路緑化技術指針P-146参照

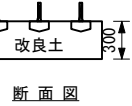
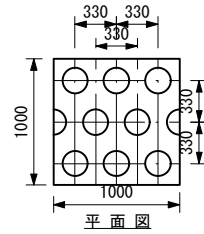
施肥標準量

| 種別 | N | P | K | (1本当り) | 化成換算値 |
|-------------|----|----|----|--------|-----------|
| 高木 (g/本) | 40 | 20 | 20 | | 0.33kg/本 |
| 中木 (g/本) | 20 | 10 | 10 | | 0.17kg/本 |
| 低木寄植 (g/m2) | 50 | 25 | 25 | | 0.42kg/m2 |
| 低木 (g/本) | 10 | 5 | 5 | | 0.08kg/本 |

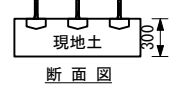
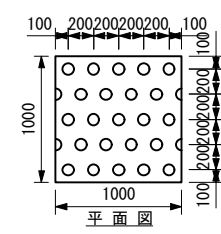
沖縄道路緑化技術指針P-150参照

※施肥は固形肥料とする。
 草本類はCDU肥料(15:15:15)とする。
 芝類はCDU肥料(15:15:15)、0.17kg/m2とする。
 ※固形肥料は表面施肥とし、直接根鉢に触れないようにすること。
 ※樹木の特性によって現地土の利用が可能な場合は、現地土を改良すること。
 ※排水層を確保するため、植栽基礎の下は耕転すること。
 ※樹木は、原則西表島内で確保するものとし、樹種や規格の変更がある場合は協議すること。

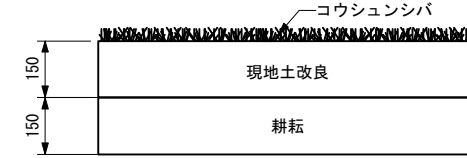
植栽間隔 33cm
 植栽本数 9本/m2
 適用樹種 ケットウ・ブッソウゲ



植栽間隔 20cm
 植栽本数 25本/m2
 適用樹種 イトタスキモ・水生植物混植
 水生植物 オキナワミズムシソウ・コウトウシラン・コウトウシュウカイドウ・コダチスズムシソウ・ナリヤラン・マルヤマシュウカイドウ

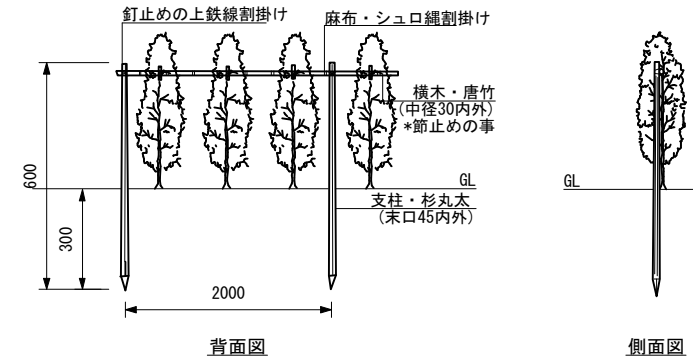
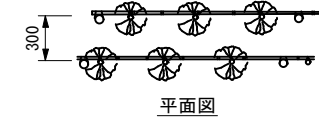


張芝
S=1/20



低木用生垣支柱

*1m当り2本植付 S=1/20

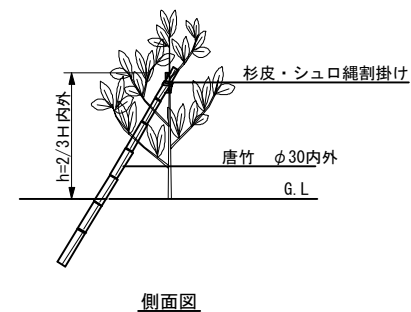


(植樹100本/50m当り)

| 支柱材 | 摘要 | | | 単位 | 数量 | 備考 |
|-----|----------------|-------|------|----|------|-----|
| | L | φ | l | | | |
| 支柱材 | 支柱 | 600 | 45内外 | 本 | 25 | 杉丸太 |
| | 横木 | 4,500 | 30内外 | 本 | 12.5 | 唐竹 |
| 結束材 | 釘、鉄線、杉皮、シュロ縄など | | | 式 | 1 | |

唐竹一本支柱

S=1/20
H=1~2m前後の中木に適用



(一組当り)

| 支柱材 | 摘要 | | | 単位 | 数量 | 備考 |
|-----|-----------|-----|------|----|-----|----|
| | 名称 | L | φ | | | |
| 支柱材 | 唐竹支柱 | 900 | 30内外 | 本 | 1.0 | |
| 結束材 | 杉皮、シュロ縄など | | | 式 | 1.0 | |

高木類鉢容量及び鉢穴容量

| 幹周 (cm) | 鉢径 (cm) | 鉢高 (cm) | 植穴径 (cm) | 植穴深 (cm) | 鉢容量 (m3) | 鉢穴容量 (m3) | 客土量 (m3) | 備考 |
|-----------|---------|---------|----------|----------|----------|-----------|----------|---|
| 10未満 | 33 | 25 | 69 | 37 | 0.017 | 0.090 | 0.073 | |
| 10以上15 " | 38 | 28 | 75 | 40 | 0.028 | 0.140 | 0.112 | |
| 15 " 20 " | 47 | 33 | 87 | 46 | 0.061 | 0.270 | 0.209 | オキナワウラジロガシ・コバテイシ・ゴバンノアシ・サガリバナ・センダンA・ヤエヤマシタン |
| 20 " 25 " | 57 | 39 | 99 | 53 | 0.110 | 0.440 | 0.330 | サキシマスオウノキ |
| 25 " 30 " | 66 | 45 | 111 | 59 | 0.170 | 0.650 | 0.480 | |
| 30 " 35 " | 71 | 48 | 117 | 62 | 0.210 | 0.760 | 0.550 | |
| 35 " 45 " | 90 | 59 | 141 | 75 | 0.400 | 1.340 | 0.940 | センダンB |
| 45 " 60 " | 113 | 74 | 171 | 90 | 0.740 | 2.280 | 1.540 | |
| 60 " 75 " | 141 | 91 | 207 | 109 | 1.320 | 3.700 | 2.380 | |
| 75 " 90 " | 170 | 108 | 243 | 128 | 2.080 | 5.450 | 3.370 | |

※客土量=鉢穴容量-鉢容量
令和3年度版 国土交通省土木工事積算基準 P901

中低木類鉢容量及び鉢穴容量

| 樹高 (cm) | 鉢径 (cm) | 鉢高 (cm) | 植穴径 (cm) | 植穴深 (cm) | 鉢容量 (m3) | 鉢穴容量 (m3) | 客土量 (m3) | 備考 |
|-------------|---------|---------|----------|----------|----------|-----------|----------|---------------|
| 30未満 | 15 | 8 | 29 | 23 | 0.001 | 0.015 | 0.014 | |
| 30以上50未満 | 17 | 10 | 33 | 26 | 0.002 | 0.022 | 0.020 | ブッソウゲ |
| 50 " 80 " | 20 | 12 | 37 | 28 | 0.004 | 0.030 | 0.026 | リュウビンタイ |
| 80 " 100 " | 22 | 13 | 41 | 31 | 0.005 | 0.040 | 0.035 | テリハクサトベラ |
| 100 " 150 " | 26 | 16 | 46 | 35 | 0.008 | 0.057 | 0.049 | アダン |
| 150 " 200 " | 30 | 19 | 54 | 40 | 0.013 | 0.090 | 0.077 | オオハマボウ |
| 200 " 250 " | 35 | 23 | 61 | 46 | 0.022 | 0.133 | 0.111 | イジュ・クロツグ・ギョボク |
| 250 " 300 " | 40 | 26 | 69 | 51 | 0.032 | 0.188 | 0.156 | |

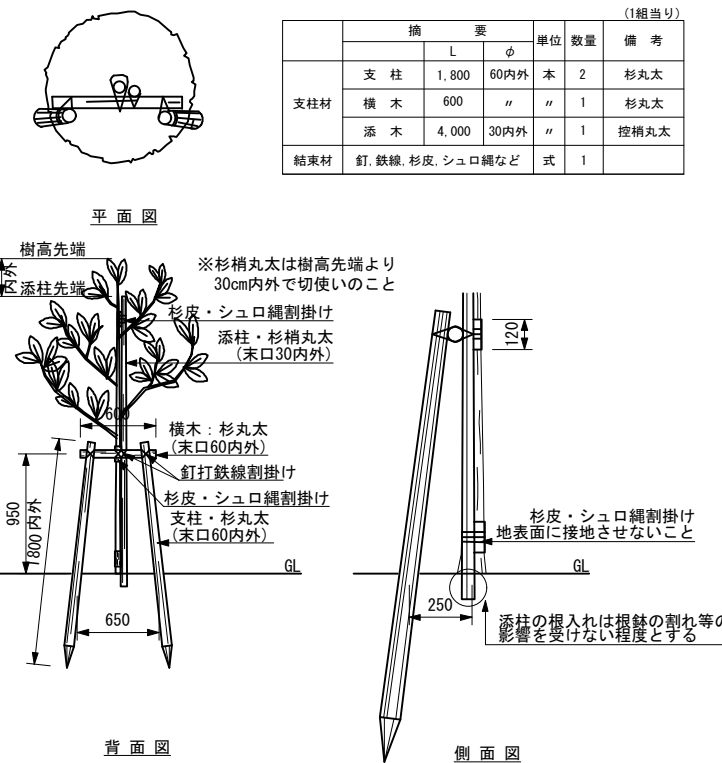
※客土量=鉢穴容量-鉢容量
令和3年度版 国土交通省土木工事積算基準 P901

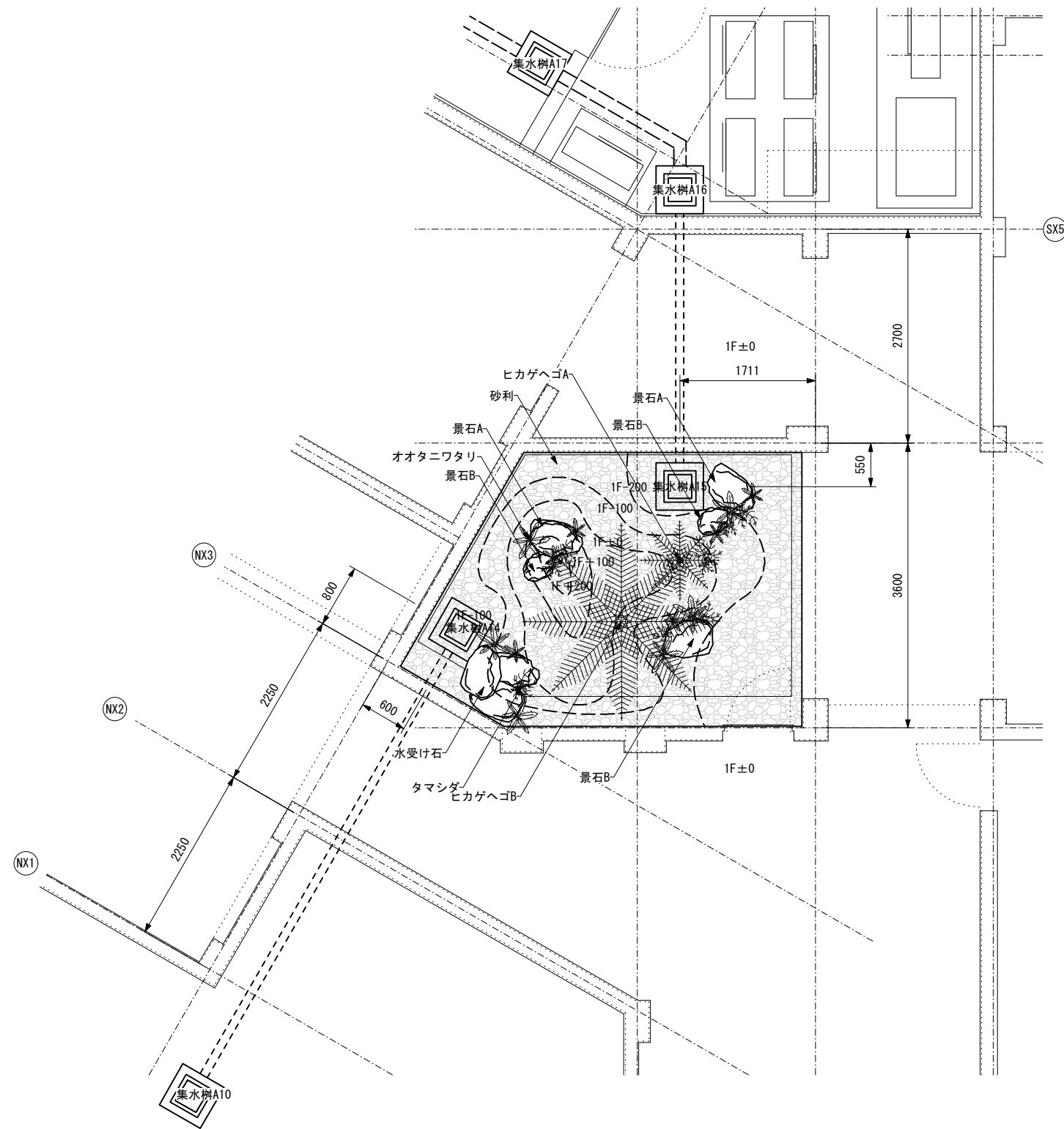
ヤシ類鉢容量及び鉢穴容量

| 根元周 (cm) | 鉢径 (cm) | 鉢高 (cm) | 植穴径 (cm) | 植穴深 (cm) | 鉢容量 (m3) | 鉢穴容量 (m3) | 客土量 (m3) | 備考 |
|-------------|---------|---------|----------|----------|----------|-----------|----------|----------|
| 30未満 | 30 | 35 | 70 | 60 | 0.024 | 0.228 | 0.204 | |
| 30以上40未満 | 40 | 40 | 80 | 60 | 0.050 | 0.301 | 0.251 | |
| 40 " 50 " | 50 | 50 | 100 | 60 | 0.098 | 0.471 | 0.373 | |
| 50 " 70 " | 70 | 65 | 120 | 80 | 0.250 | 0.904 | 0.654 | ヒカゲヘゴA・B |
| 70 " 90 " | 90 | 70 | 150 | 90 | 0.445 | 1.590 | 1.145 | |
| 90 " 120 " | 100 | 70 | 160 | 90 | 0.550 | 1.809 | 1.259 | |
| 120 " 150 " | 110 | 70 | 170 | 90 | 0.665 | 2.042 | 1.377 | |
| 150 " 180未満 | 120 | 70 | 180 | 90 | 0.791 | 2.289 | 1.498 | |

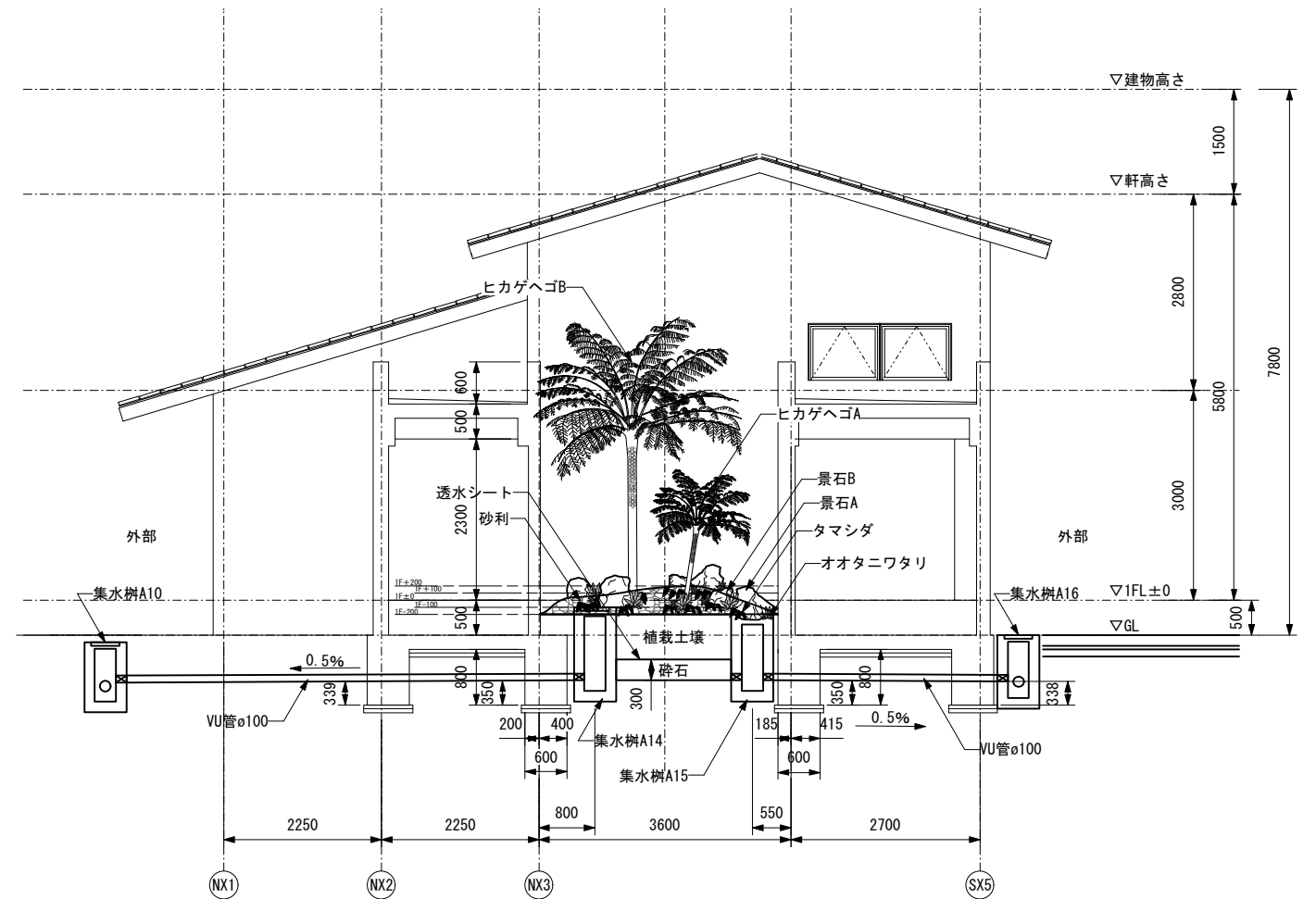
※客土量=鉢穴容量-鉢容量
 ※幹周90cm未満：沖縄県道路緑化基本マニュアル(平成24年) II-208P
 ※幹周90cm以上：造園用樹木・資材価格調査表(2024年) 79P

二脚鳥居支柱(添木有)
S=1/60





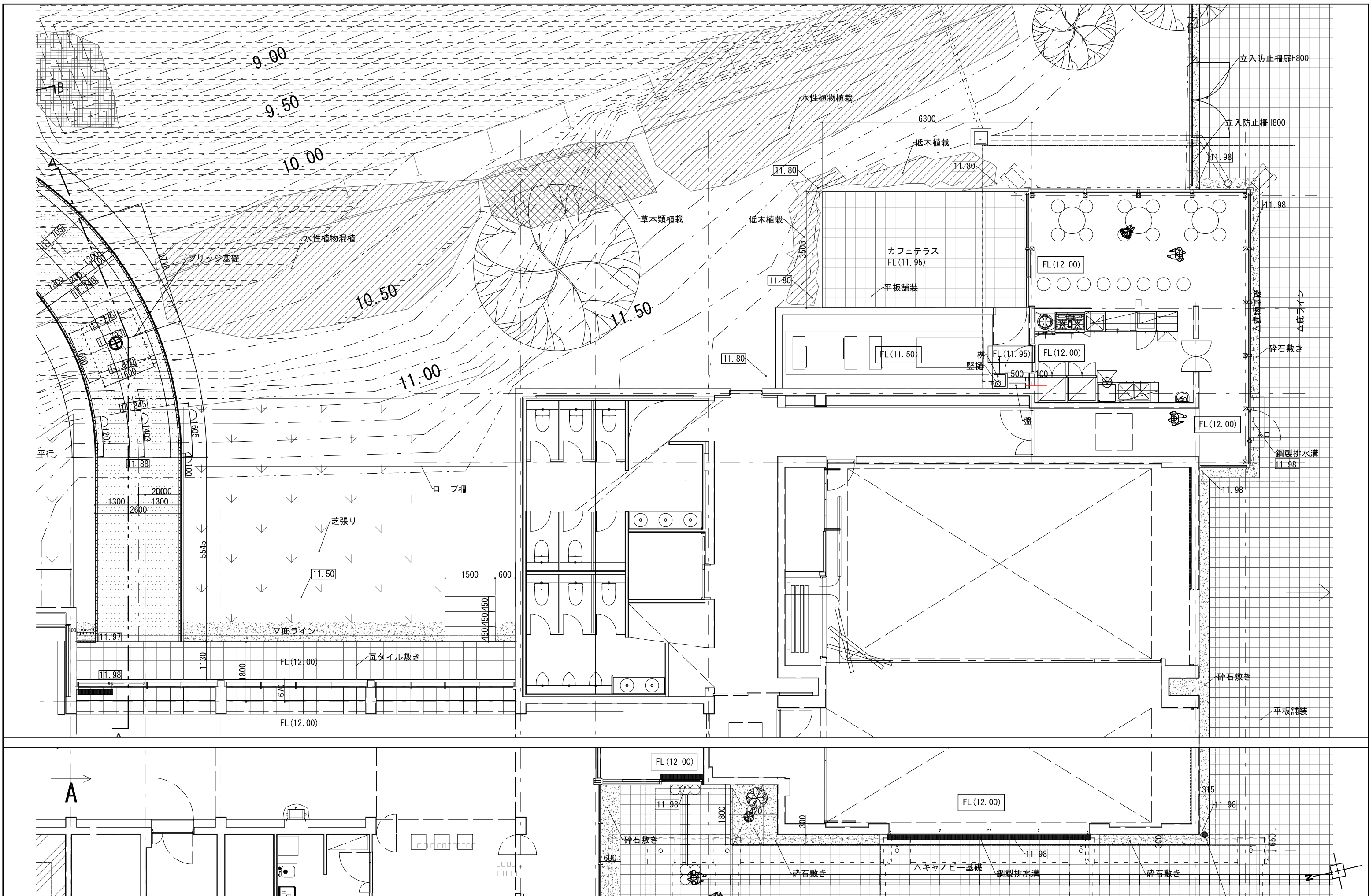
平面図
S=1/70



断面図
S=1/100

特記事項
 ・ヒカゲヘゴは、生長点の高さであり、目安とする。
 ・規格の変更がある場合は、協議すること。
 ・ヒカゲヘゴA H1.0m ヒカゲヘゴB H3.0m
 ・砂利は、3~4号とし、全体に敷設する。
 ・景石A 1.0t内外、景石B 0.5t内外の琉球石灰岩とする。
 ・水受け石は、景石A1個・景石B2個とし、雨水の落下位置に配置すること。
 ・中庭の排水は、基本的に集水樹A15に集水するよう水勾配を設けること。
 ・集水樹A14は、予備の集水樹である。

| | | | | | | |
|--|--|---|------------------------------|------------|------|----|
| 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | TITLE 中庭詳細図 | SCALE - | DATE | NO |
| | | | PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | L-16 | |



| | |
|--|--|
| | |
| | |
| | |

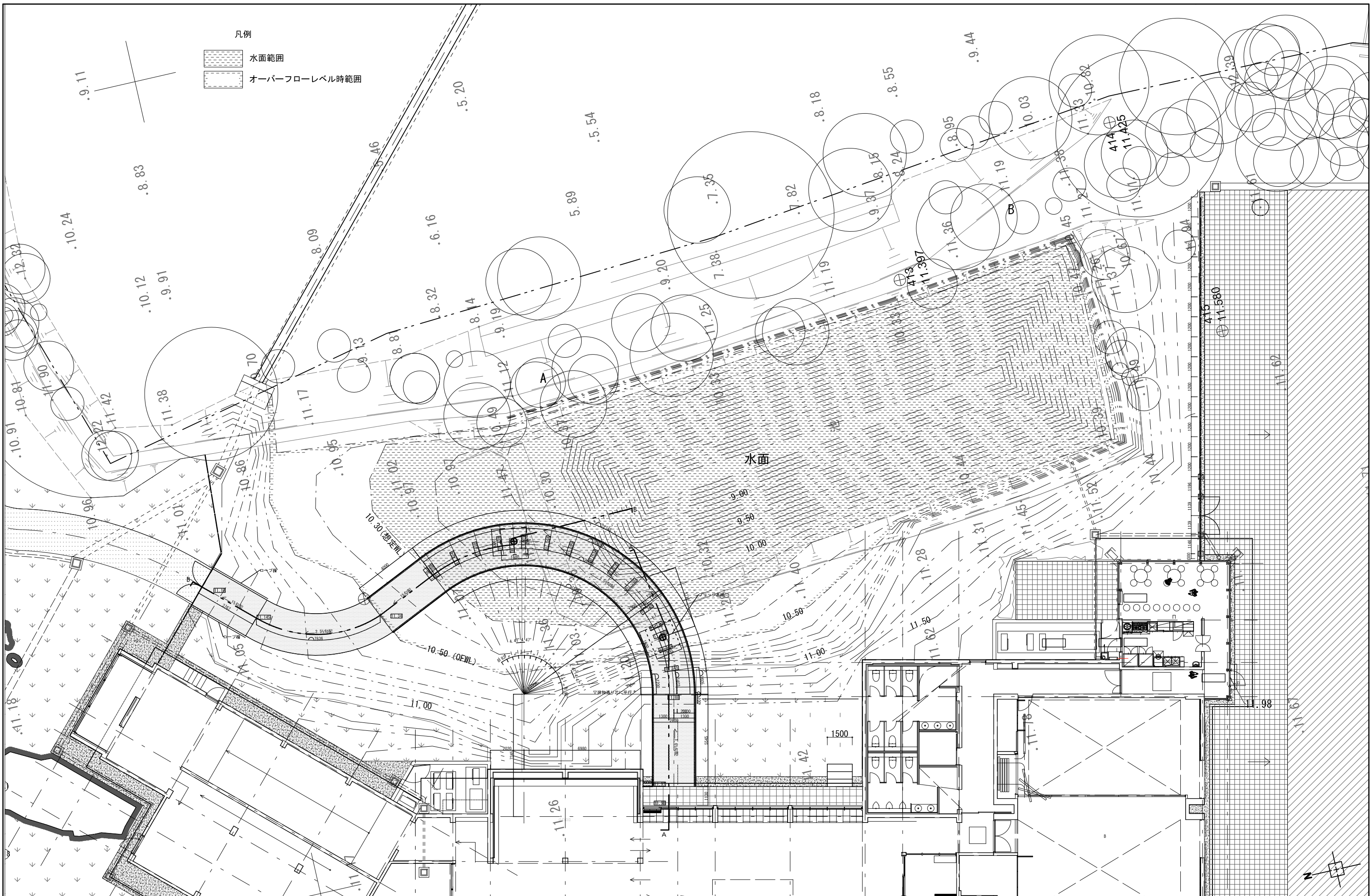
株式会社 ブレック研究所
 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号
 一級建築士 233817号 福岡 薫

福原信一 一級建築士事務所
 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号
 一級建築士 364177号 福原 信一

株式会社 丹青社
 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号
 一級建築士 254337号 関根 雄二

TITLE 外構平面詳細図1
 PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計

SCALE S=1/100 (A3)
 DATE
 NO L-17
 CHECK



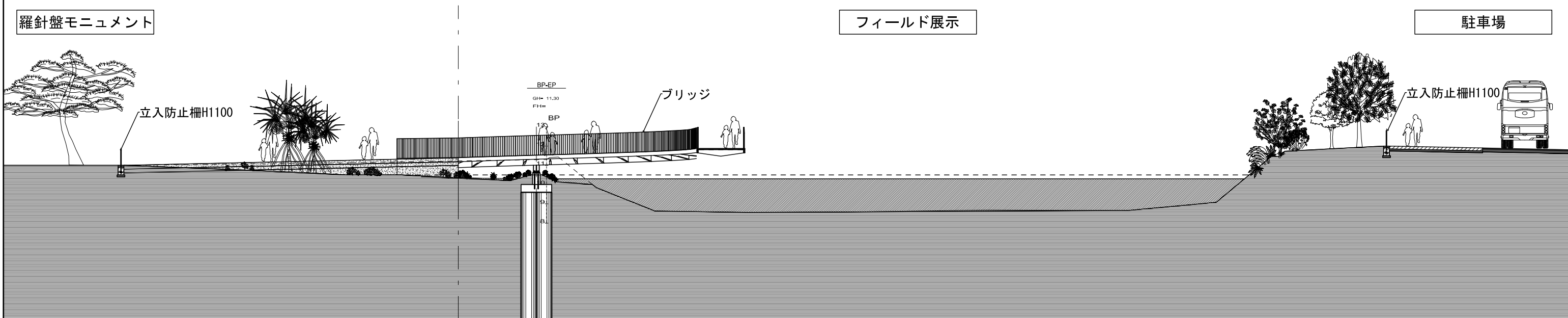
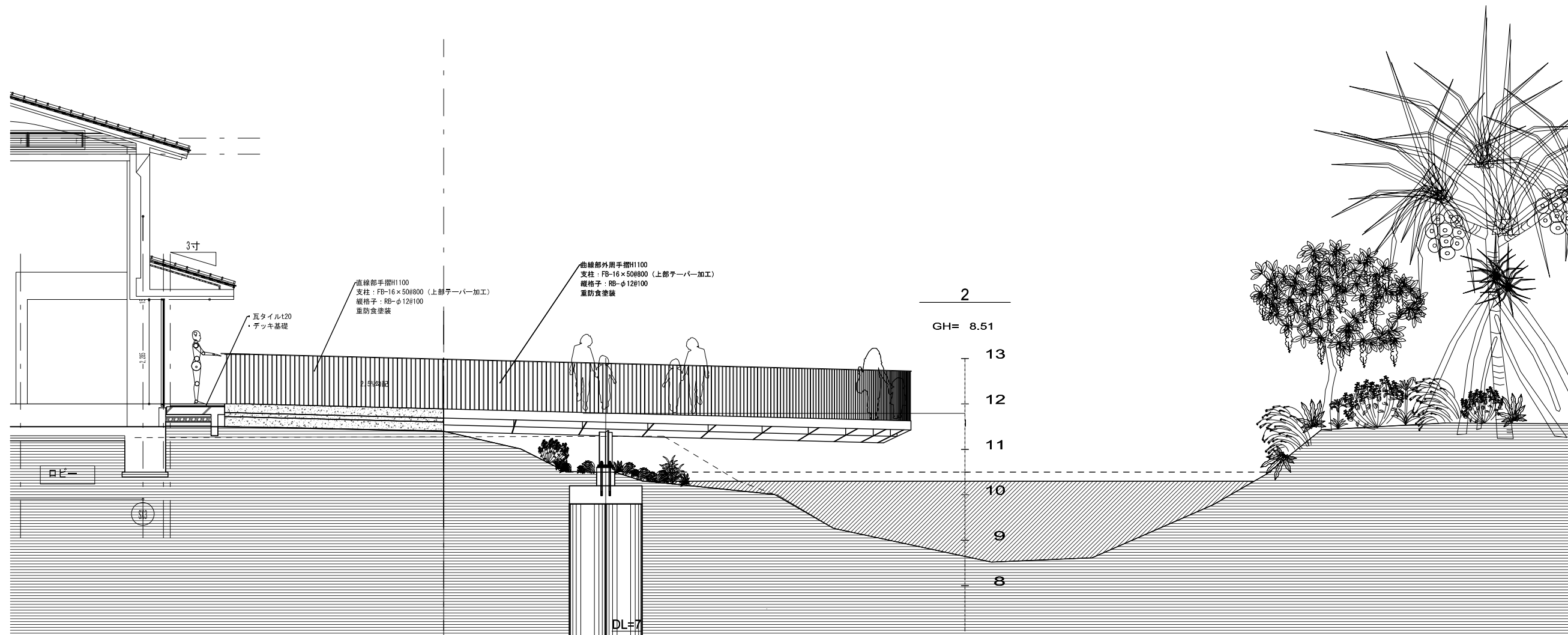
凡例
 水面範囲
 オーバーフローレベル時範囲

株式会社 ブレック研究所
 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号
 一級建築士 233817号 福岡 薫

福原信一 一級建築士事務所
 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号
 一級建築士 364177号 福原 信一

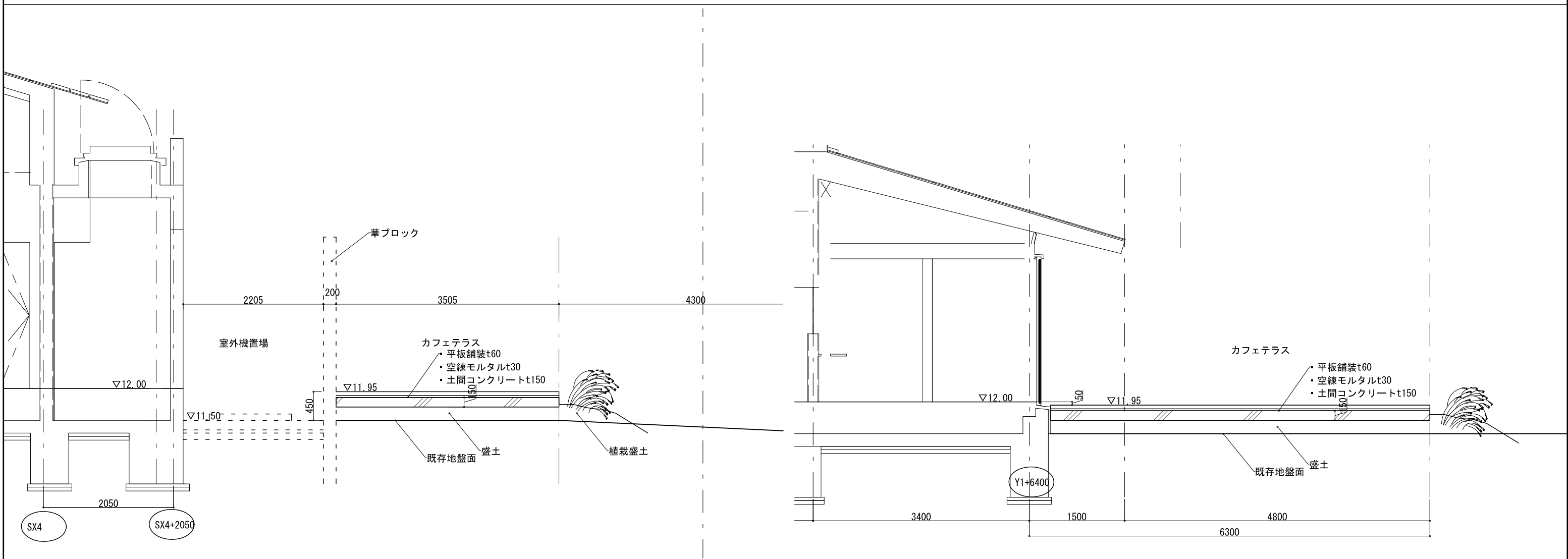
株式会社 丹青社
 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号
 一級建築士 254337号 関根 雄二

| | | | |
|------------------------------|-----------------------|------|----|
| TITLE 外構平面詳細図2 | SCALE S=1/200 (A3) | DATE | NO |
| PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | L-18 | |

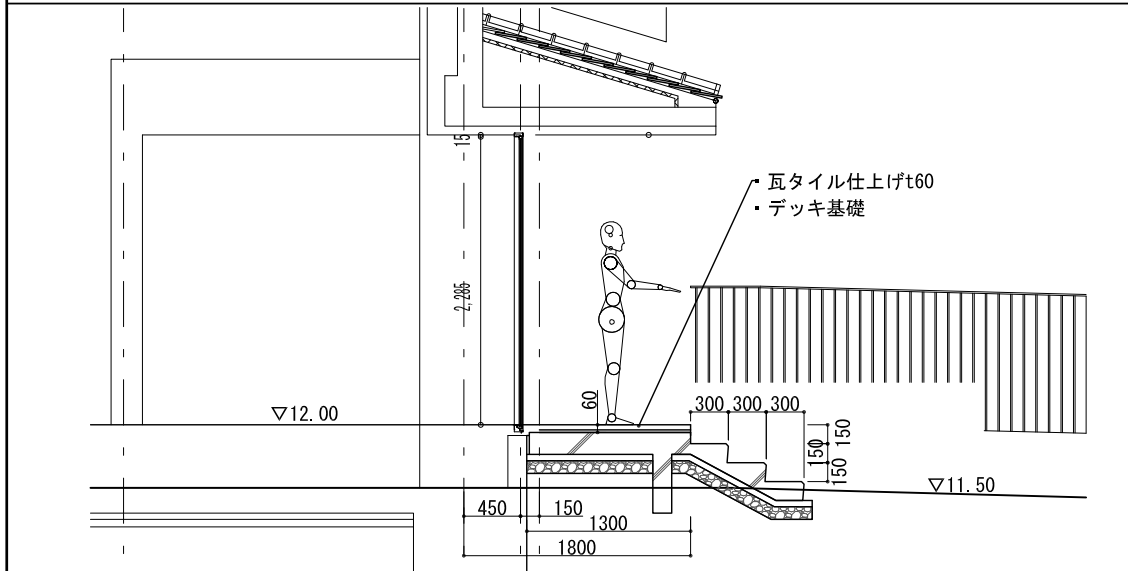


| | | | | | | | |
|--|---|---|--|---|---------------------|-----------------------|--------------------|
| | <p>株式会社 ブラック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫</p> | <p>福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一</p> | <p>株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二</p> | <p>TITLE 外構断面詳細図1 PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計</p> | <p>SCALE 図示</p> | <p>DATE CHECK</p> | <p>NO L-19</p> |
|--|---|---|--|---|---------------------|-----------------------|--------------------|

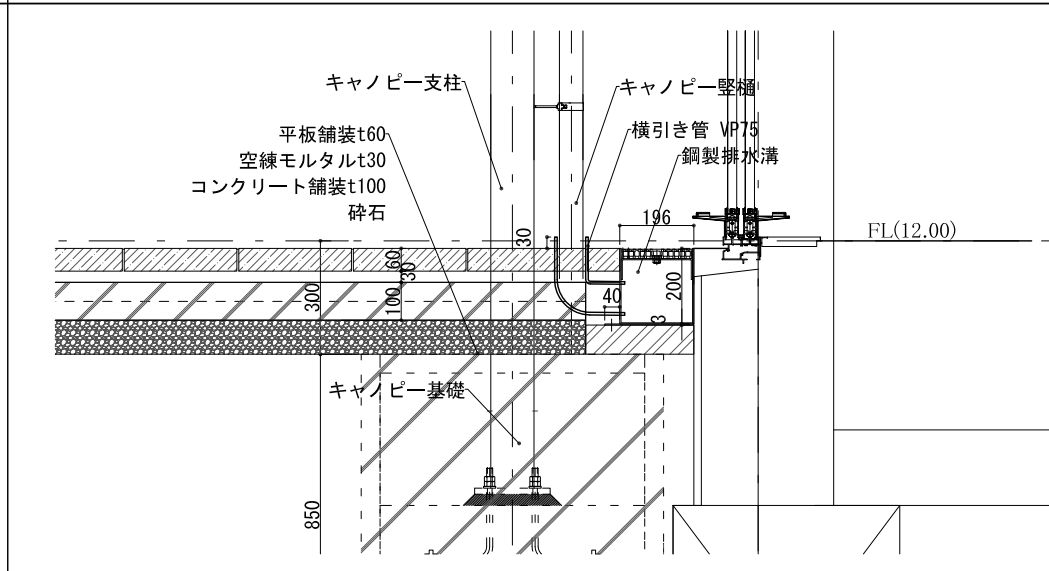
展示テラス断面図



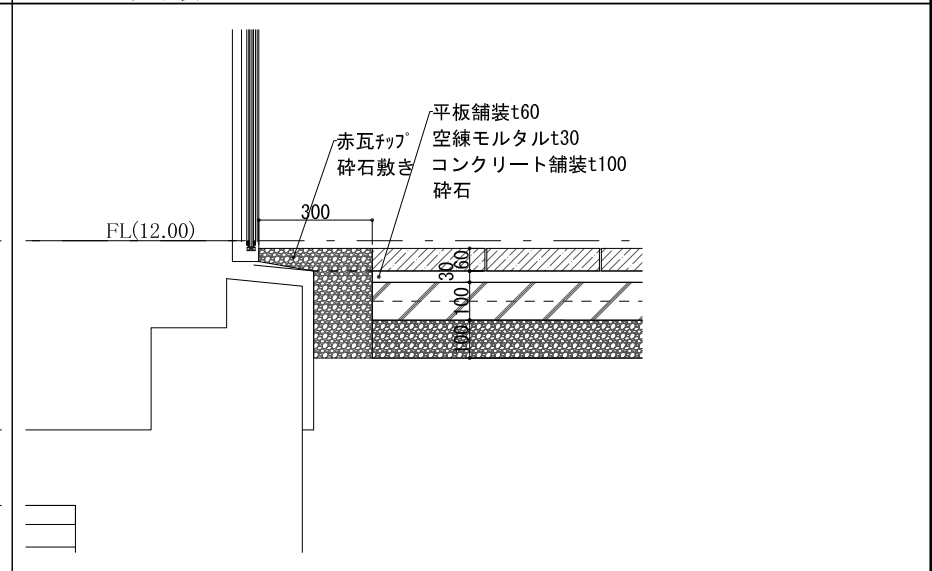
展示テラス階段断面図 1/60



鋼製排水溝 1/20

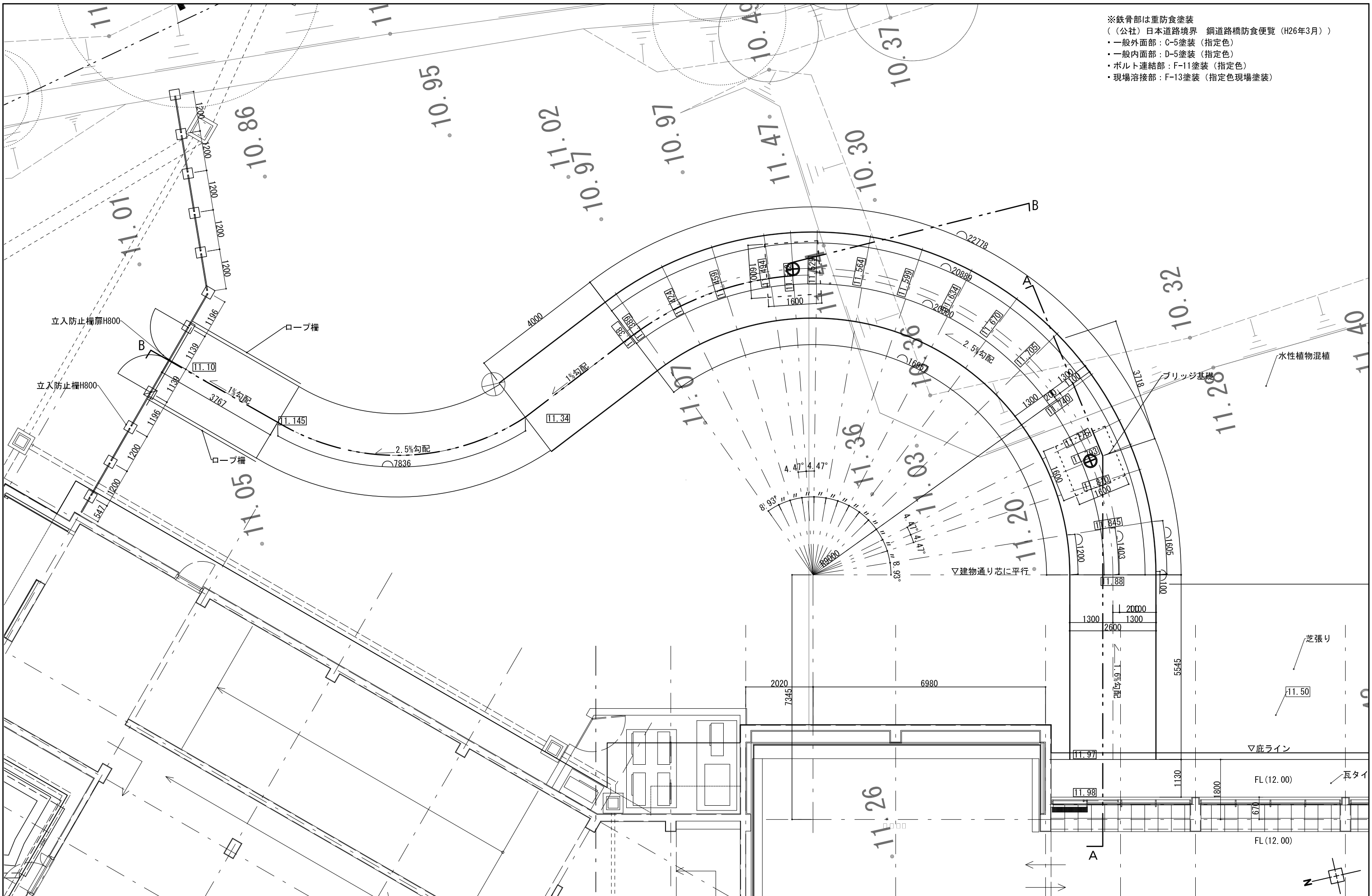


サッシ-平板舗装取り合い

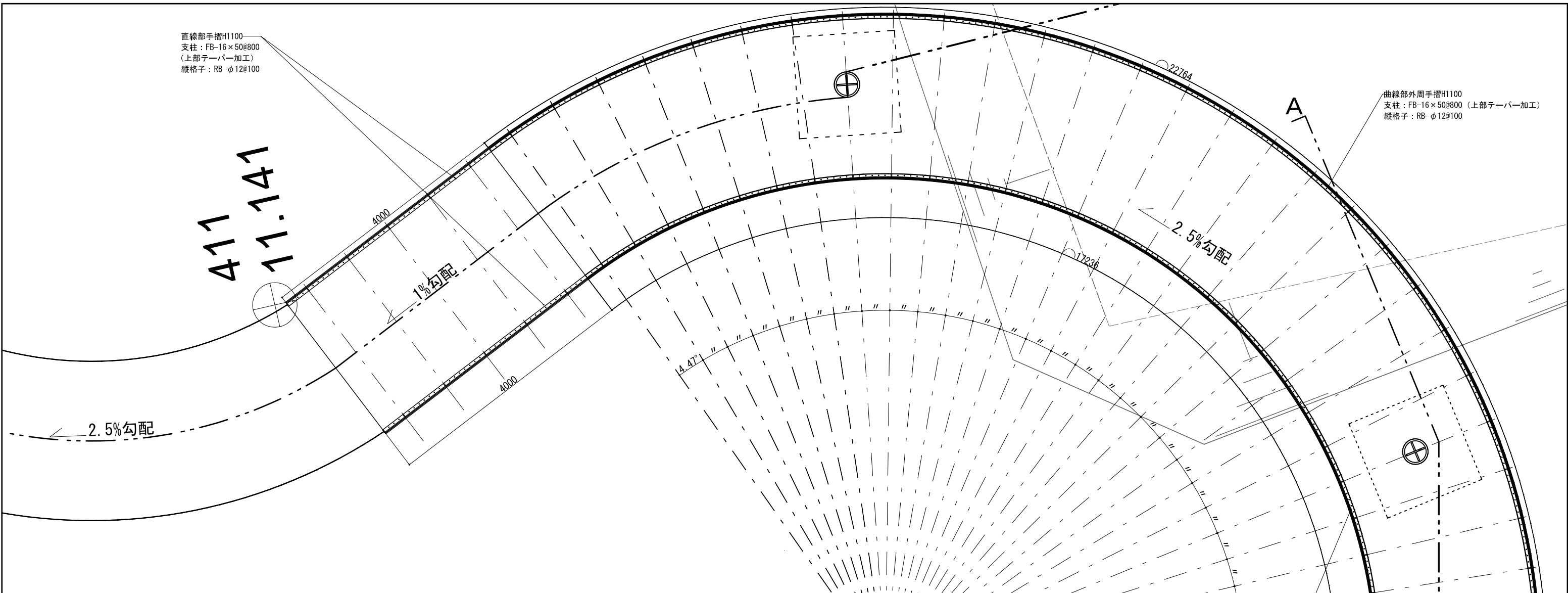


| | | | | | | |
|--|--|---|---|----------------------|-------|------------|
| 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | TITLE 外構断面詳細図2 PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | SCALE S=1/60 (A3) | DATE | NO L-20 |
| | | | | | CHECK | |

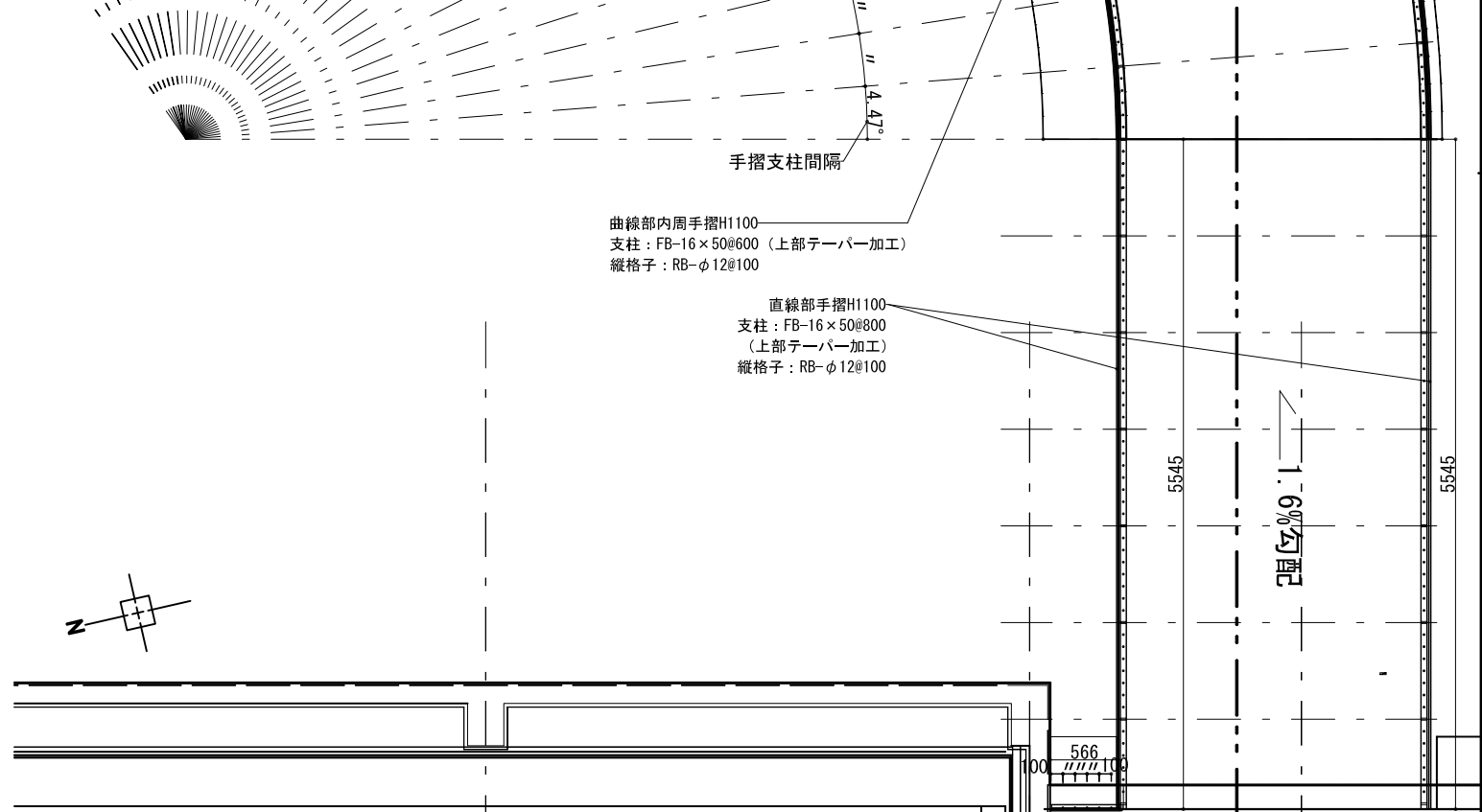
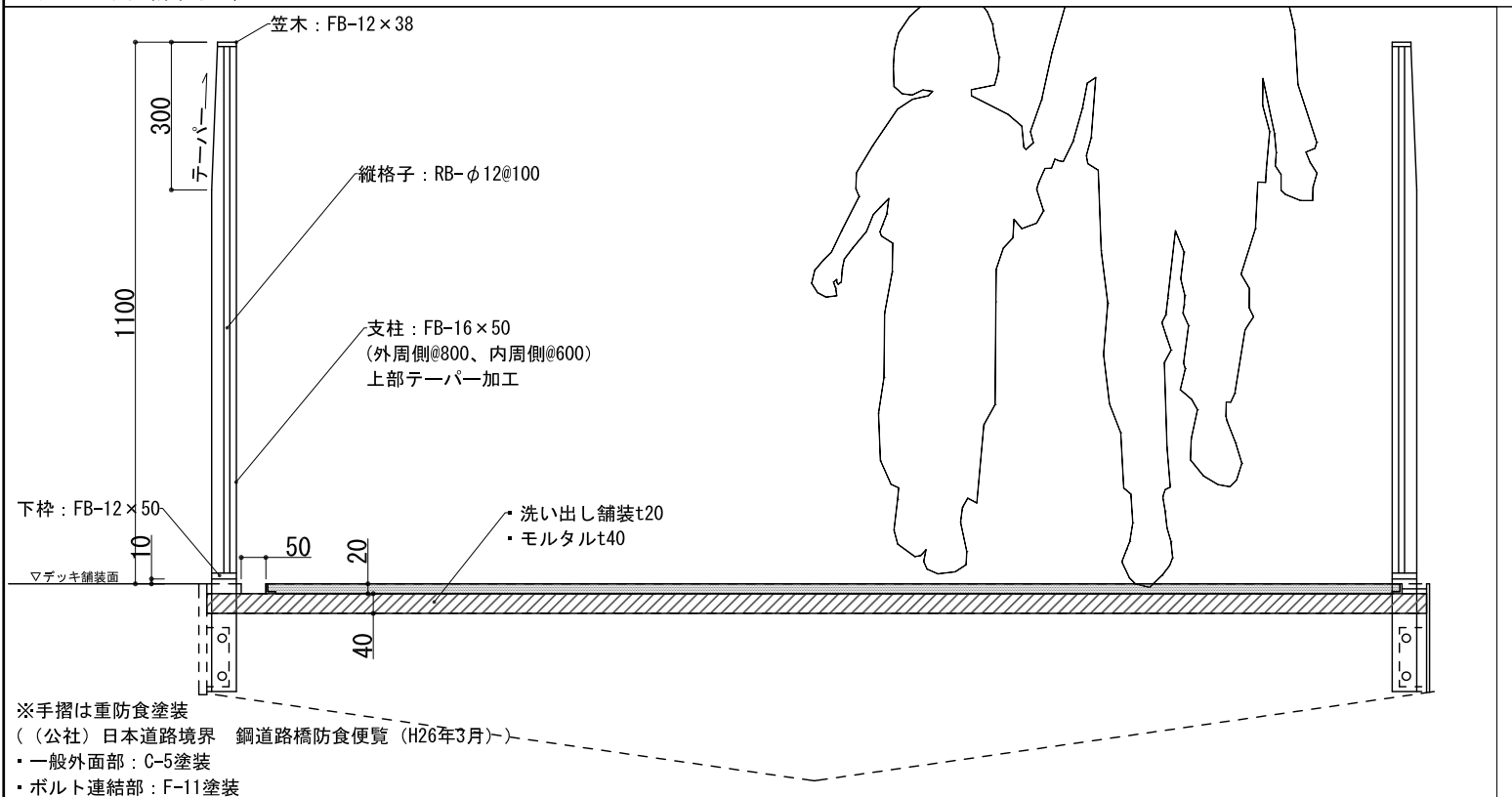
- ※鉄骨部は重防食塗装
((公社) 日本道路境界 鋼道路橋防食便覧 (H26年3月))
- ・一般外面部 : C-5塗装 (指定色)
- ・一般内面部 : D-5塗装 (指定色)
- ・ボルト連結部 : F-11塗装 (指定色)
- ・現場溶接部 : F-13塗装 (指定色現場塗装)



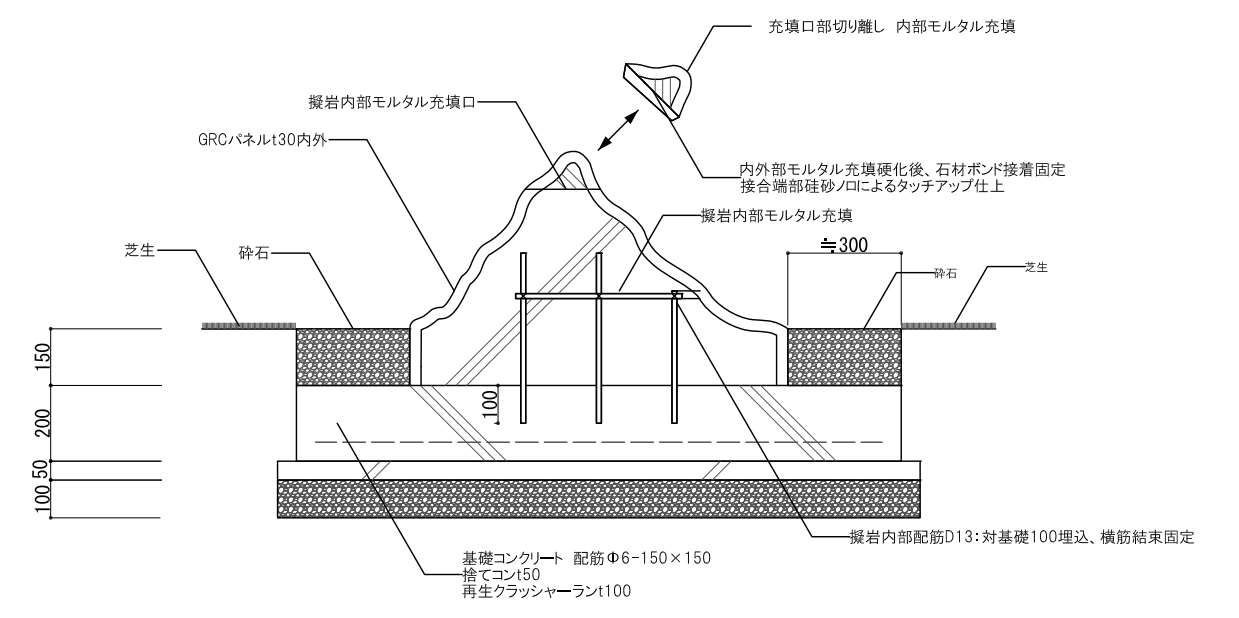
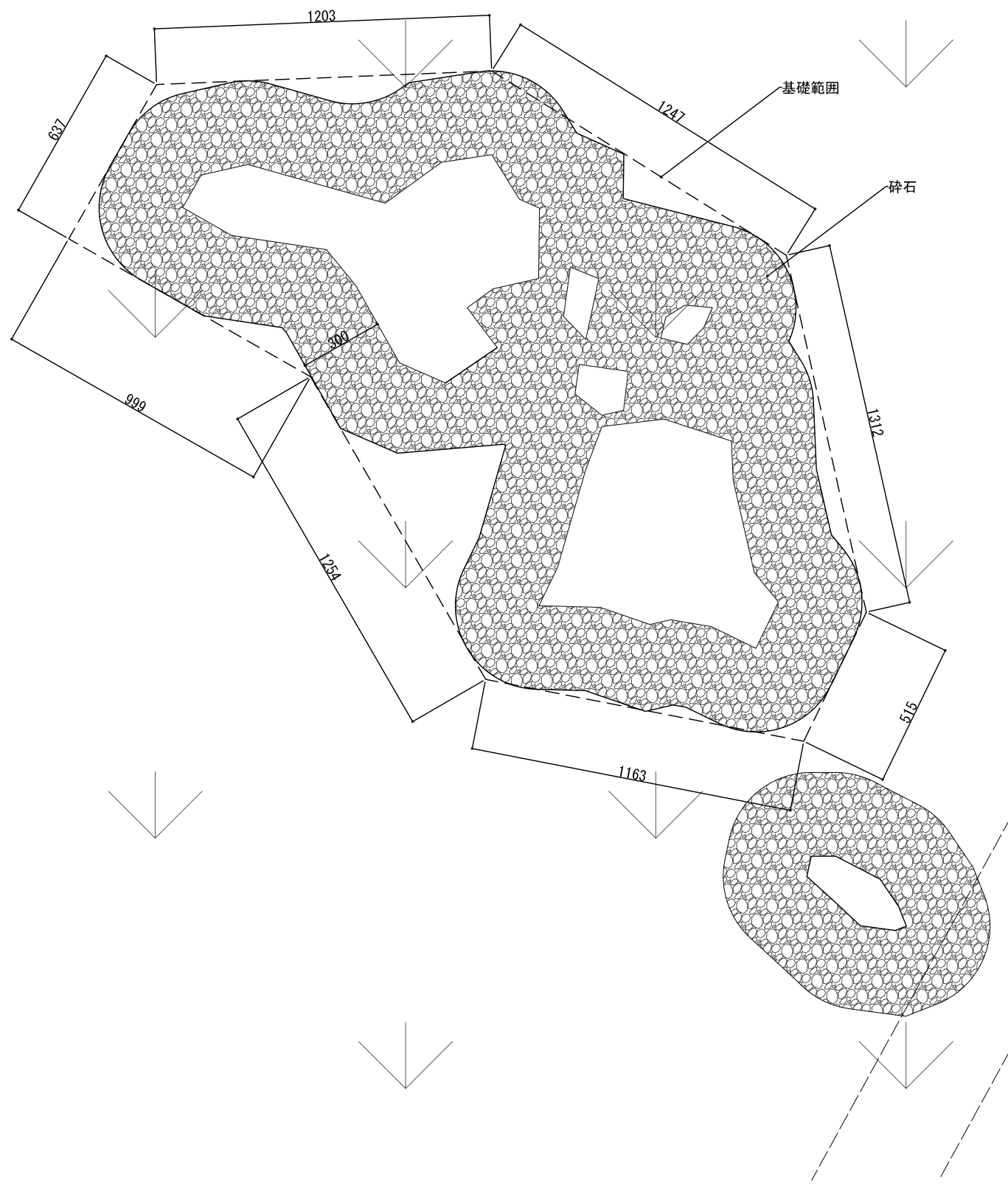
| | | | | | | |
|--|--|---|------------------------------|-----------------------|------|----|
| 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | TITLE ブリッジ平面詳細図 | SCALE S=1/100 (A3) | DATE | NO |
| | | | PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | L-21 | |



ブリッジ断面詳細図1/15



| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|---|--|--------------------|----------------------|------|------------|
| 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | | TITLE ブリッジ手摺詳細図 | SCALE S=1/60 (A3) | DATE | NO L-22 |
| PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | | | | | | CHECK | | | |



- 特記事項
- 立体造形は、平面上は1/30, 000の縮尺のものとし、平面：立面=1：1.5の縮尺比とする。
 - 立体造形においては、八重山諸島地形図（参考）を基に形状検討すること。
 - モックアップ（1/10程度）を作成し、監督員の確認を得ること。
 - 立体造形において、鋭利な部分や水たまり部分が無いようにすること。

| | |
|--|--|
| | |
| | |
| | |
| | |

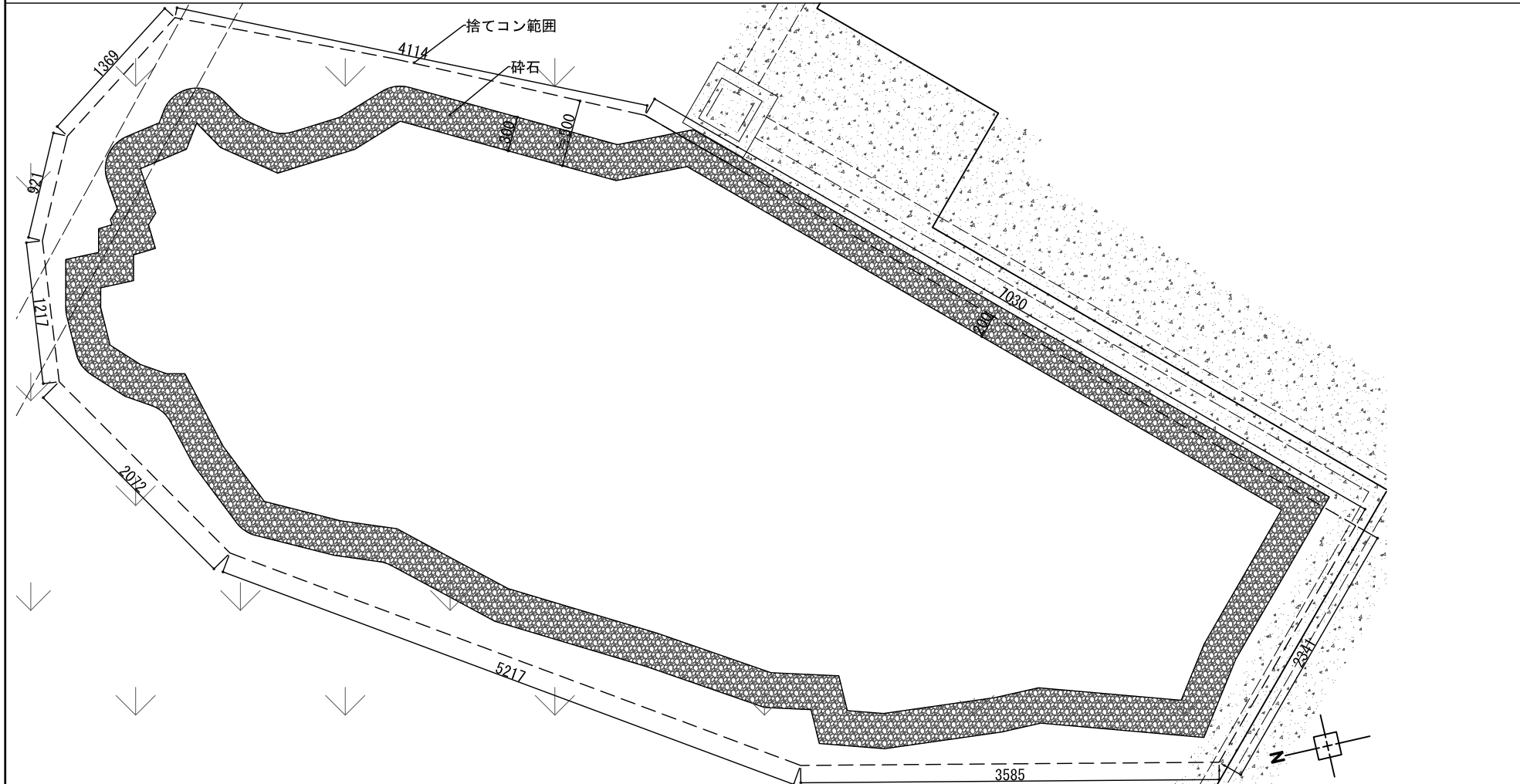
株式会社 ブレック研究所
 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号
 一級建築士 233817号 福岡 薫

福原信一 一級建築士事務所
 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号
 一級建築士 364177号 福原 信一

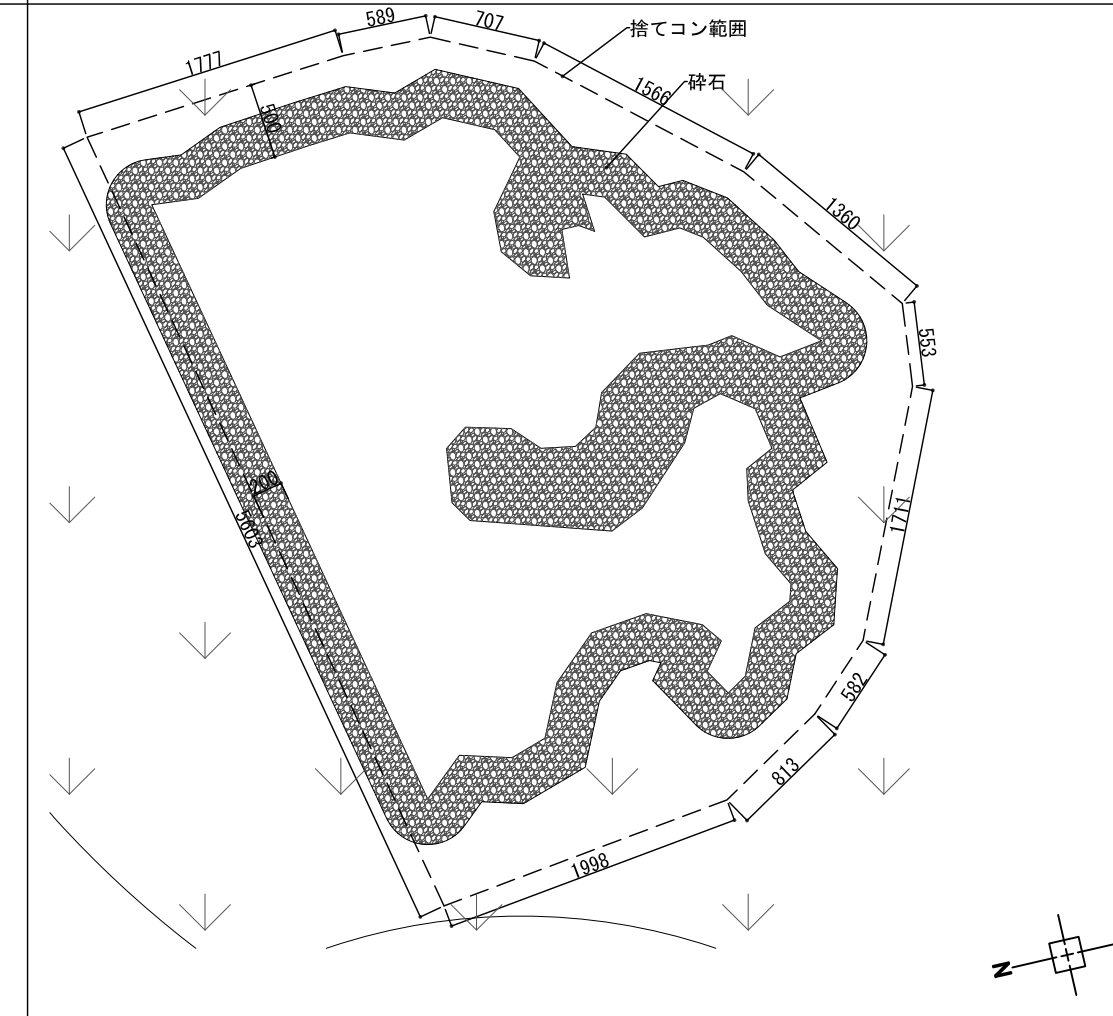
株式会社 丹青社
 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号
 一級建築士 254337号 関根 雄二

| | | | | | | | |
|---------|-------------------|-------|--------|------|--|----|------|
| TITLE | 羅針盤モニュメント詳細図1 | SCALE | S=1/20 | DATE | | NO | |
| PROJECT | 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | | | | | L-24 |

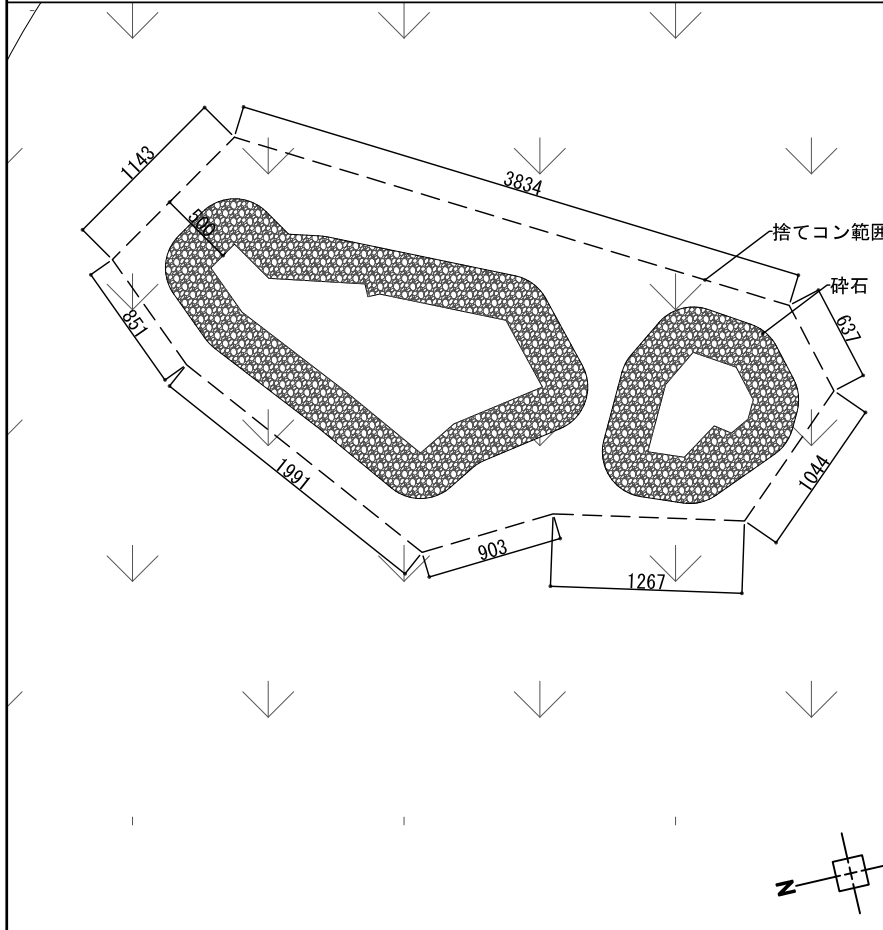
平面図：台湾



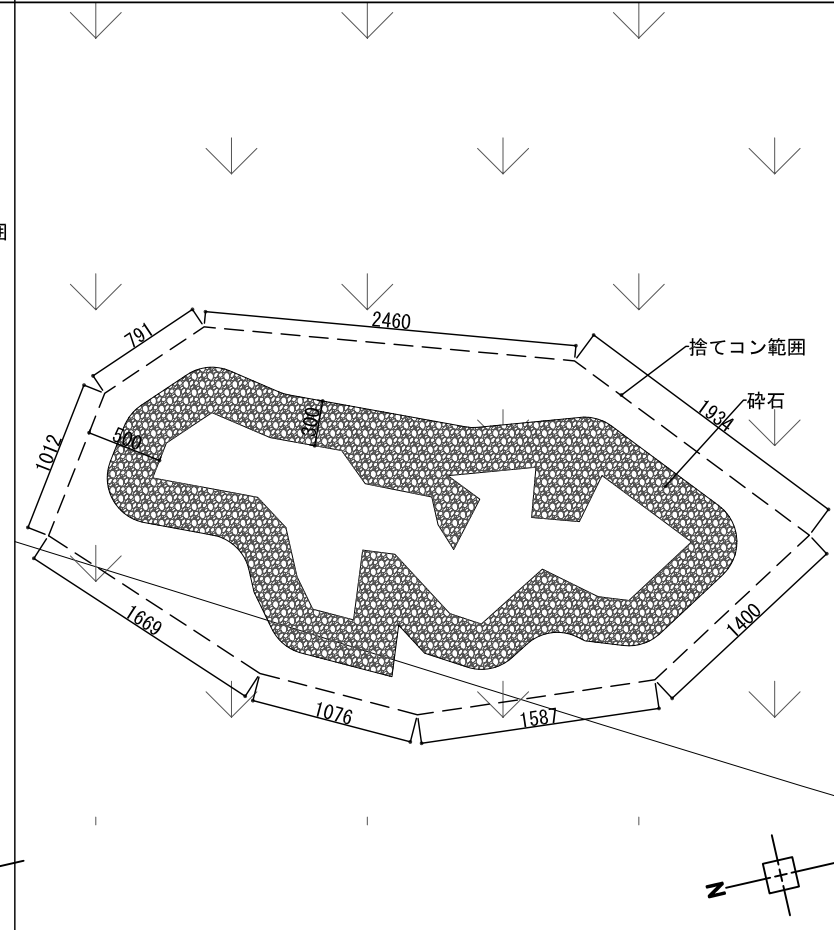
平面図：九州南部



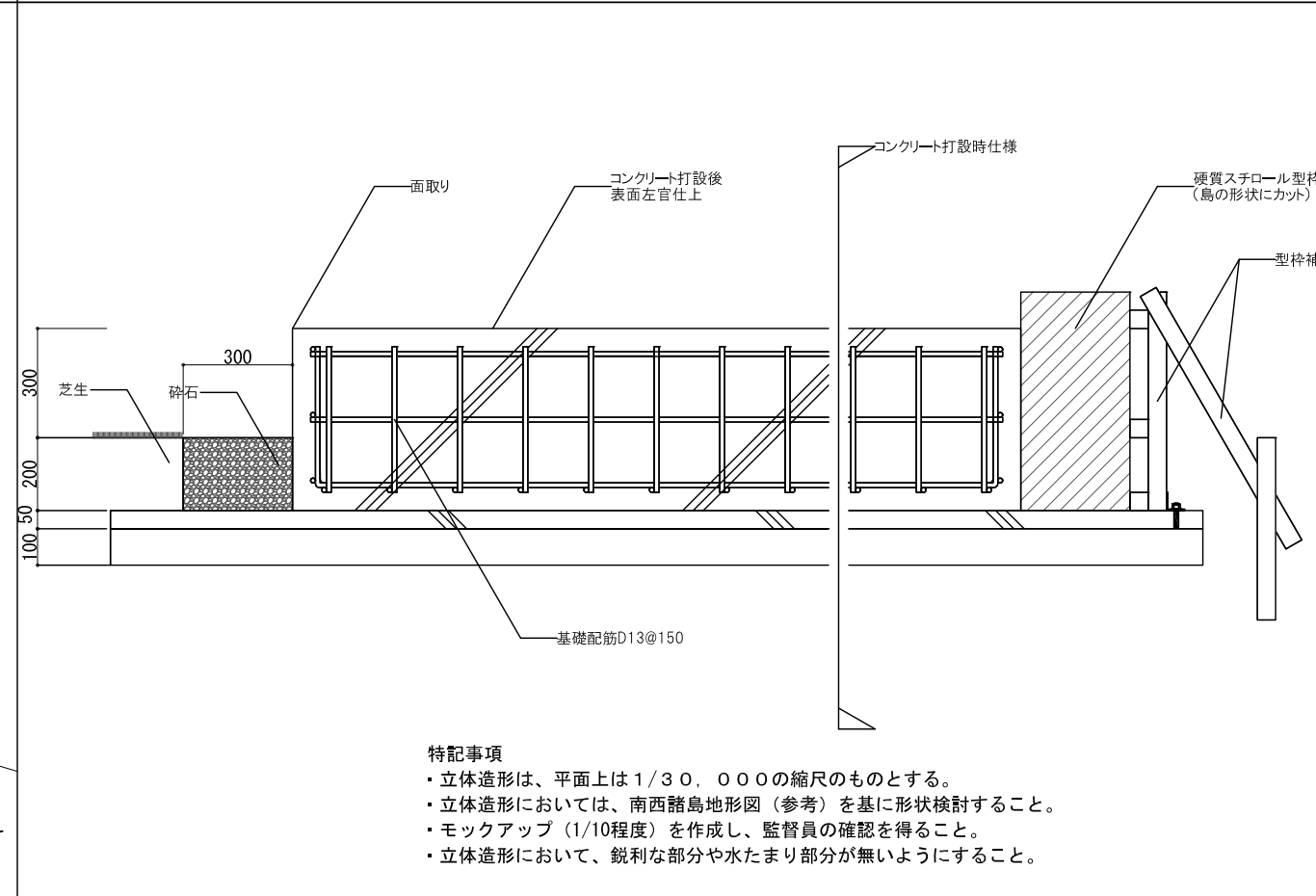
平面図：奄美大島、徳之島



平面図：沖縄本島



断面図 S=1:20



- 特記事項
- 立体造形は、平面上は1/30, 000の縮尺のものとする。
 - 立体造形においては、南西諸島地形図(参考)を基に形状検討すること。
 - モックアップ(1/10程度)を作成し、監督員の確認を得ること。
 - 立体造形において、鋭利な部分や水たまり部分が無いようにすること。

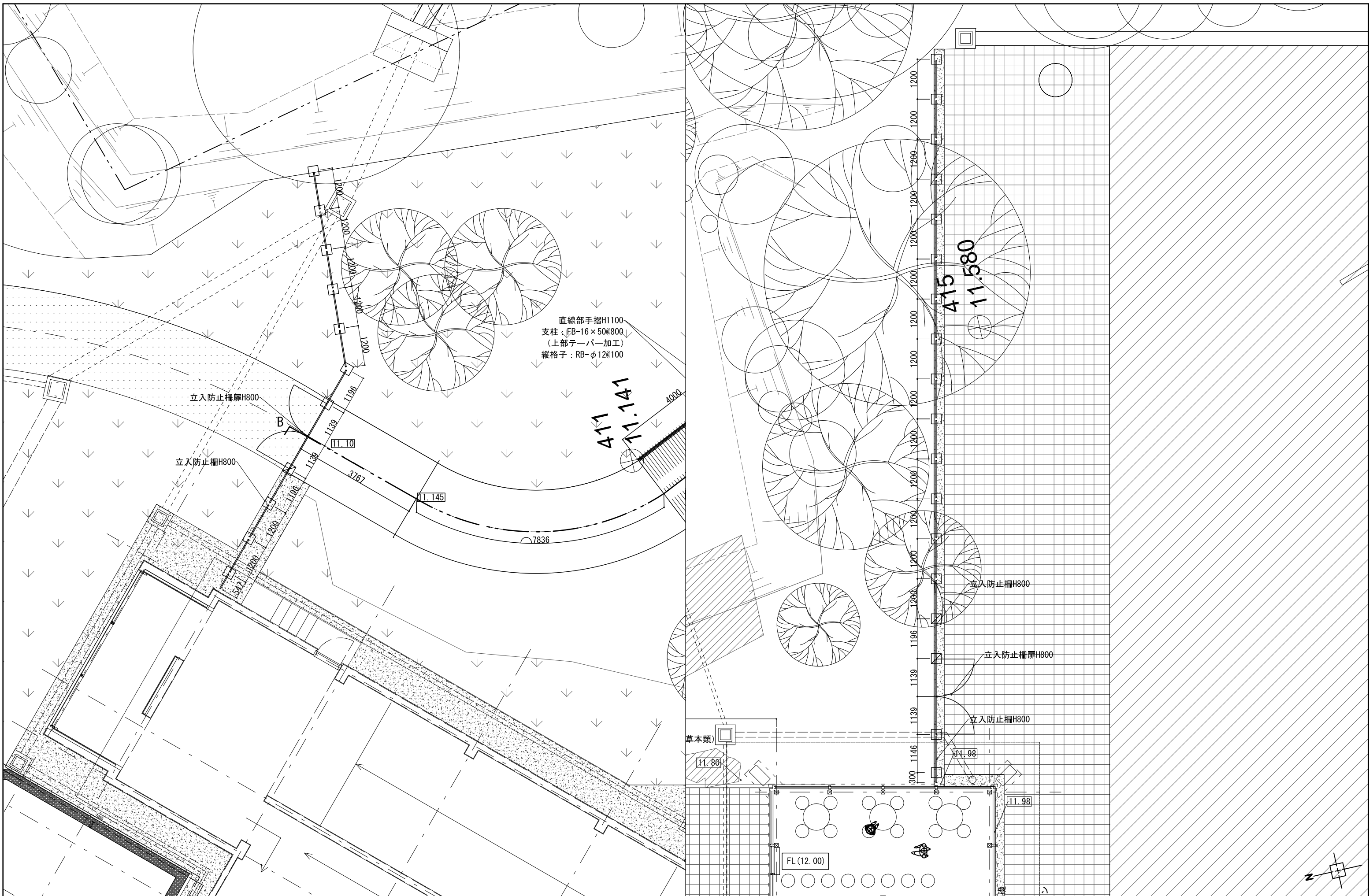
| | | | |
|--|--|--|--|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

株式会社 ブレック研究所
 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号
 一級建築士 233817号 福岡 薫

福原信一 一級建築士事務所
 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号
 一級建築士 364177号 福原 信一

株式会社 丹青社
 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号
 一級建築士 254337号 関根 雄二

| | | | | | | | |
|---------|-------------------|-------|--------|------|--|----|------|
| TITLE | 羅針盤モニュメント詳細図2 | SCALE | S=1/20 | DATE | | NO | |
| PROJECT | 西表島世界遺産センター整備実施設計 | CHECK | | | | | L-25 |



直線部手摺H1100
 支柱：FB-16×50@800
 (上部テーバー加工)
 縦格子：RB-φ12@100

立入防止柵H800

立入防止柵H800

立入防止柵H800

立入防止柵H800

立入防止柵H800

草本類

FL(12.00)

| |
|--|
| |
| |
| |

株式会社 ブラック研究所
 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号
 一級建築士 233817号 福岡 薫

福原信一 一級建築士事務所
 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号
 一級建築士 364177号 福原 信一

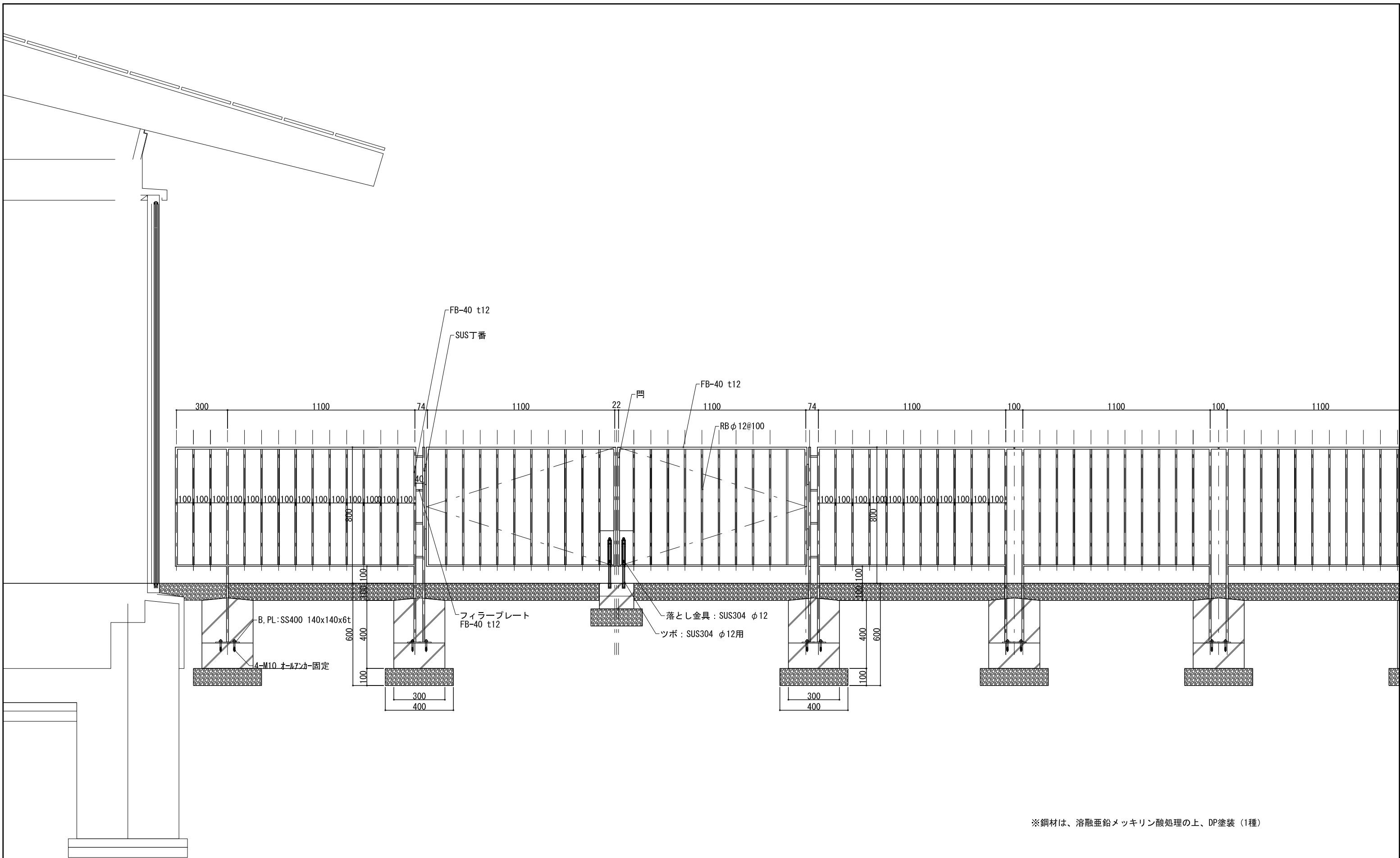
株式会社 丹青社
 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号
 一級建築士 254337号 関根 雄二

TITLE
立入防止柵配置図
 PROJECT
西表島世界遺産センター整備実施設計

SCALE
S=1/100 (A3)

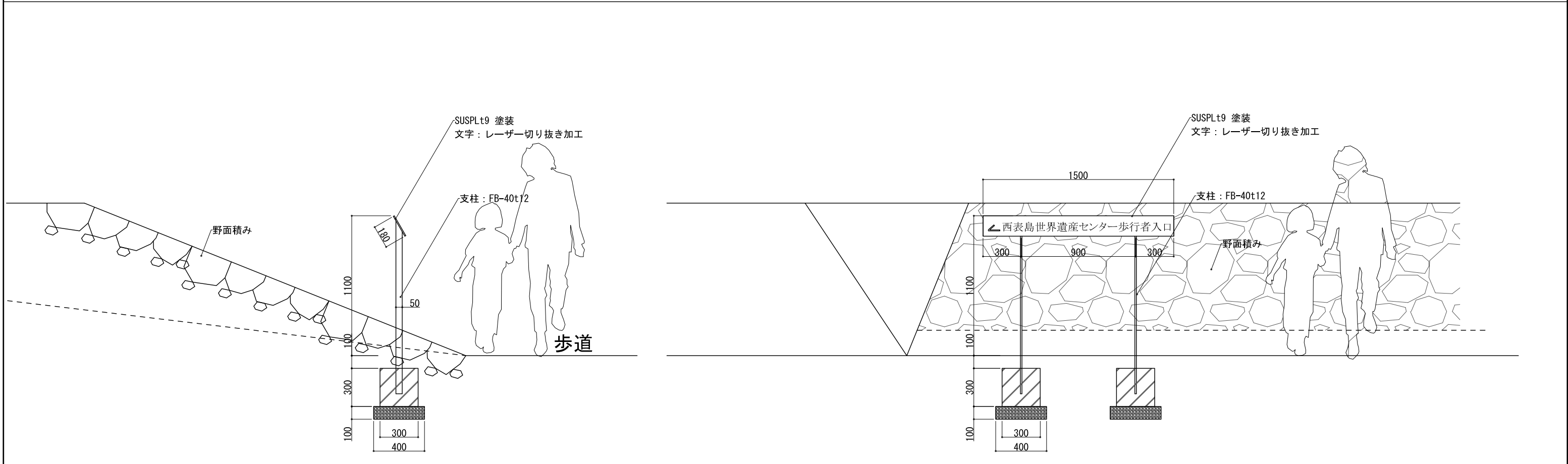
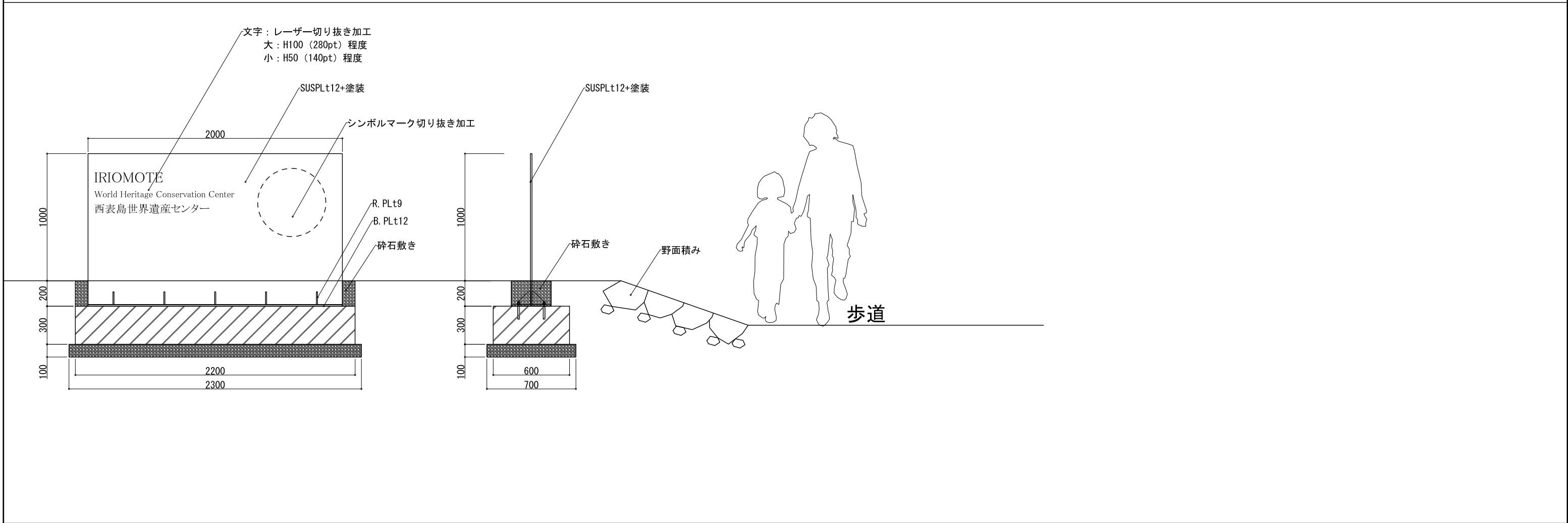
DATE
CHECK

NO
L-26

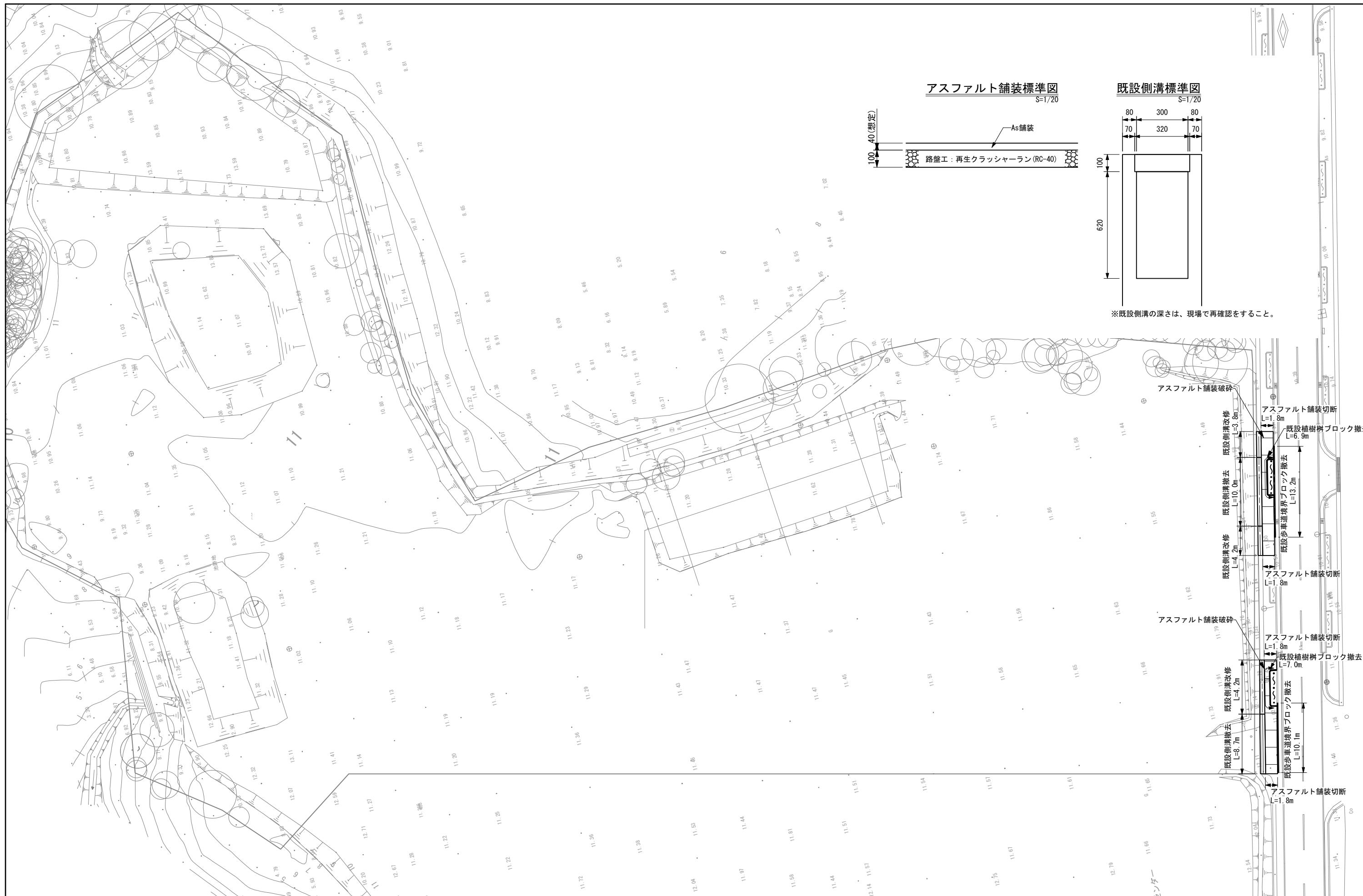


※鋼材は、溶融亜鉛メッキリン酸処理の上、DP塗装（1種）

| | | | | | | | |
|--|---|---|--|---|------------------------------|-----------------------|--------------------|
| | <p>株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫</p> | <p>福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一</p> | <p>株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二</p> | <p>TITLE 立入防止柵詳細図 PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計</p> | <p>SCALE S=1/20 (A3)</p> | <p>DATE CHECK</p> | <p>NO L-27</p> |
|--|---|---|--|---|------------------------------|-----------------------|--------------------|



| | | | | | | | |
|--|--|--|---|---|----------------------|---------------|------------|
| | 株式会社 ブレック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫 | 福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一 | 株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二 | TITLE サイン詳細図 PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | SCALE S=1/30 (A3) | DATE CHECK | NO L-28 |
|--|--|--|---|---|----------------------|---------------|------------|

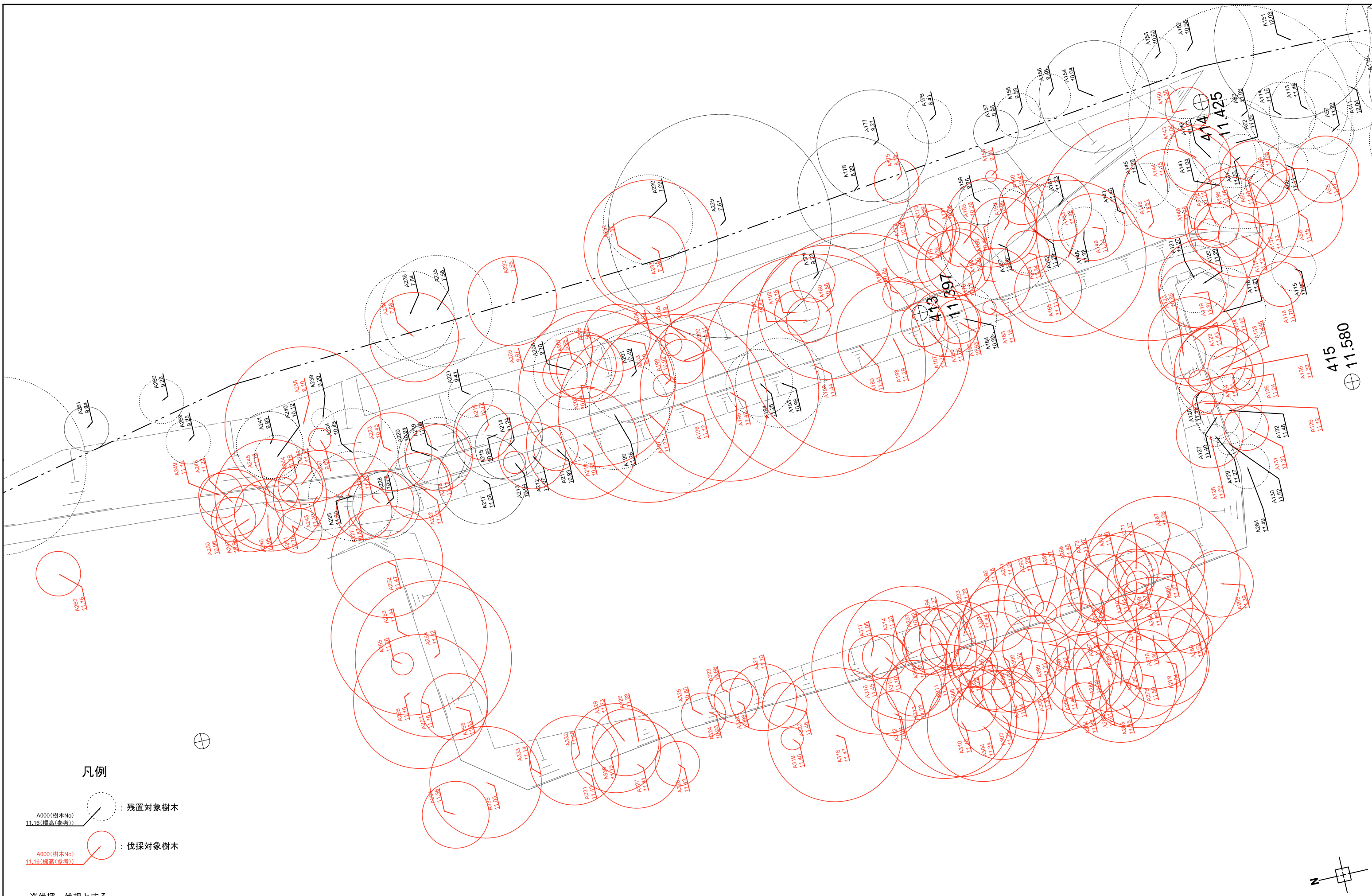


アスファルト舗装標準図
S=1/20

既設側溝標準図
S=1/20

※既設側溝の深さは、現場で再確認をすること。

| | | | | | | | |
|--|---|---|--|---|--------------------------|-----------------------|--------------------|
| | <p>株式会社 ブラック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫</p> | <p>福原信一 一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一</p> | <p>株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二</p> | <p>TITLE 道路側撤去平面図 PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計</p> | <p>SCALE S=1/500</p> | <p>DATE CHECK</p> | <p>NO L-29</p> |
|--|---|---|--|---|--------------------------|-----------------------|--------------------|



凡例

- A000 (樹木No)
11.16 (標高(参考)) : 残置対象樹木
- A000 (樹木No)
11.16 (標高(参考)) : 伐採対象樹木

※伐採、伐根とする。

| | | | | | | | |
|--|--|--|---|--|-----------------------|-------------------|------------|
| | 株式会社 ブレック研究所 <small>一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫</small> | 福原信一 一級建築士事務所 <small>一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一</small> | 株式会社 丹青社 <small>一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二</small> | TITLE 伐採樹木図 PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計 | SCALE S=1/150 (A3) | DATE CHECK | NO L-30 |
|--|--|--|---|--|-----------------------|-------------------|------------|

| No | 樹種 | 樹高 | 葉張り | 幹直径 |
|------|-------|-------|-------|------|
| A55 | ギンネム | 6.00 | 3.00 | 0.13 |
| A58 | ギンネム | 6.00 | 4.00 | 0.13 |
| A59 | ギンネム | 5.00 | 2.00 | 0.06 |
| A60 | ギンネム | 5.00 | 3.00 | 0.05 |
| A116 | モクマオウ | 3.00 | 2.00 | 0.10 |
| A117 | モクマオウ | 8.00 | 2.00 | 0.15 |
| A119 | モクマオウ | 7.00 | 3.00 | 0.10 |
| A122 | モクマオウ | 10.00 | 4.00 | 0.15 |
| A123 | モクマオウ | 6.00 | 2.00 | 0.15 |
| A124 | モクマオウ | 5.00 | 1.00 | 0.12 |
| A126 | モクマオウ | 2.00 | 1.00 | 0.10 |
| A128 | モクマオウ | 8.00 | 3.00 | 0.15 |
| A131 | モクマオウ | 7.00 | 2.00 | 0.15 |
| A133 | ソウシジュ | 4.00 | 4.00 | 0.10 |
| A134 | モクマオウ | 8.00 | 3.00 | 0.10 |
| A135 | モクマオウ | 8.00 | 2.00 | 0.12 |
| A136 | モクマオウ | 3.00 | 1.00 | 0.08 |
| A137 | モクマオウ | 10.00 | 5.00 | 0.20 |
| A138 | モクマオウ | 5.00 | 4.00 | 0.10 |
| A139 | モクマオウ | 5.00 | 2.00 | 0.10 |
| A140 | モクマオウ | 3.00 | 1.00 | 0.16 |
| A143 | ギンネム | 6.00 | 3.00 | 0.10 |
| A144 | ギンネム | 5.00 | 4.00 | 0.08 |
| A146 | ソウシジュ | 15.00 | 10.00 | 0.40 |
| A149 | ギンネム | 4.00 | 3.00 | 0.04 |
| A150 | ギンネム | 4.00 | 2.00 | 0.06 |
| A158 | ギンネム | 2.00 | 0.50 | 0.50 |
| A160 | ギンネム | 4.00 | 2.00 | 0.10 |
| A163 | ソウシジュ | 10.00 | 7.00 | 0.35 |
| A164 | ギンネム | 5.00 | 2.00 | 0.05 |
| A165 | ソウシジュ | 3.00 | 3.00 | 0.15 |
| A166 | ソウシジュ | 5.00 | 3.00 | 0.20 |
| A168 | ギンネム | 4.00 | 3.00 | 0.08 |
| A169 | ギンネム | 4.00 | 2.00 | 0.08 |
| A170 | ギンネム | 4.00 | 3.00 | 0.08 |
| A171 | ギンネム | 4.00 | 3.00 | 0.07 |
| A172 | ギンネム | 5.00 | 3.00 | 0.07 |
| A173 | ギンネム | 5.00 | 2.00 | 0.06 |
| A174 | ギンネム | 6.00 | 2.50 | 0.07 |
| A175 | ギンネム | 6.00 | 2.00 | 0.06 |
| A180 | ソウシジュ | 10.00 | 6.00 | 0.30 |
| A181 | ギンネム | 6.00 | 1.50 | 0.05 |
| A182 | ギンネム | 5.00 | 3.00 | 0.06 |
| A183 | ソウシジュ | 6.00 | 0.60 | 0.20 |
| A185 | モクマオウ | 4.00 | 2.00 | 0.05 |
| A186 | モクマオウ | 7.00 | 3.00 | 0.09 |

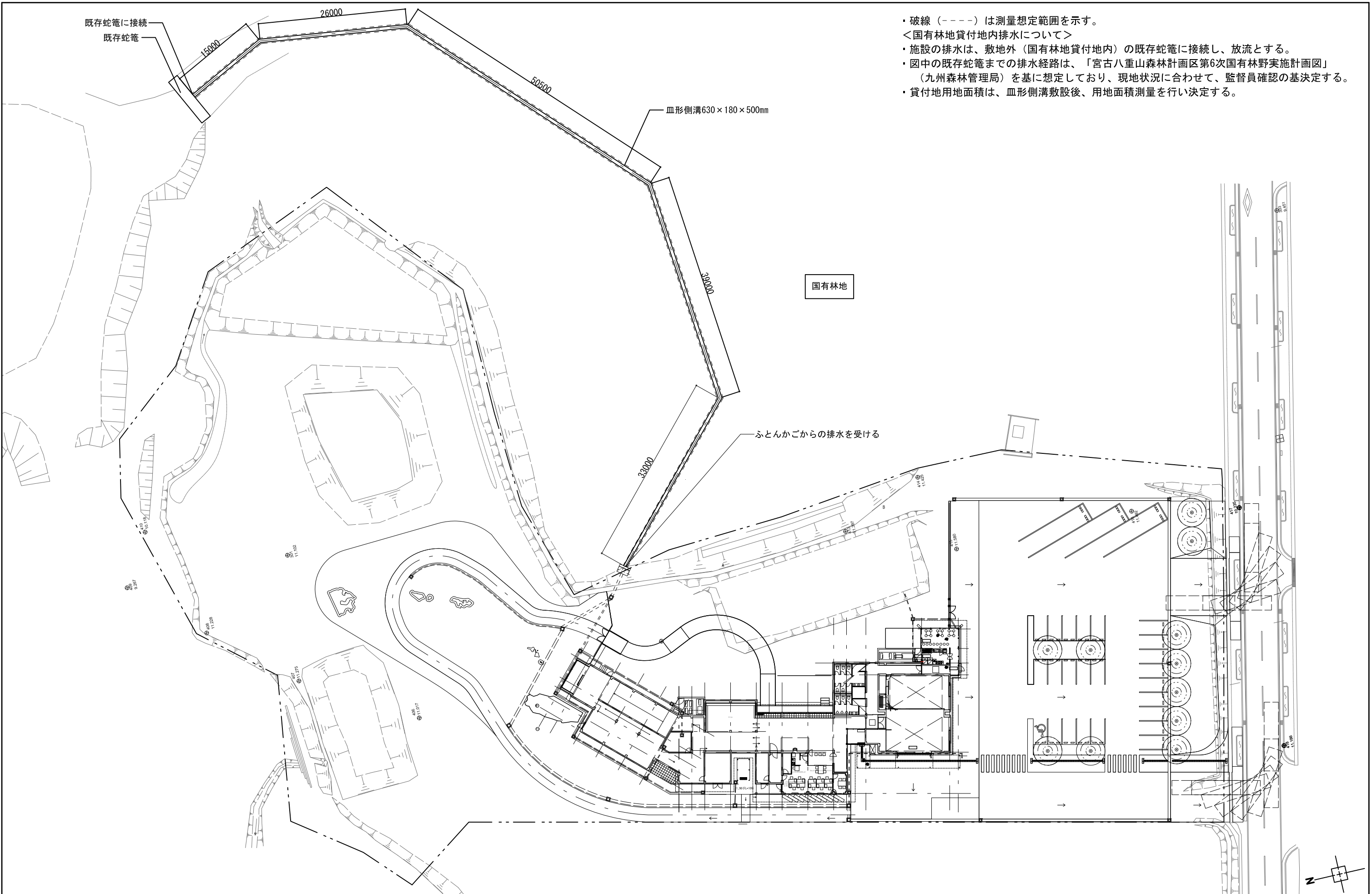
| No | 樹種 | 樹高 | 葉張り | 幹直径 |
|------|-------|-------|-------|------|
| A187 | ギンネム | 2.00 | 2.00 | 0.10 |
| A188 | モクマオウ | 10.00 | 5.00 | 0.25 |
| A189 | ソウシジュ | 10.00 | 10.00 | 0.40 |
| A190 | モクマオウ | 15.00 | 10.00 | 0.40 |
| A191 | ギンネム | 3.50 | 2.00 | 0.06 |
| A192 | ギンネム | 3.50 | 2.00 | 0.06 |
| A195 | モクマオウ | 13.00 | 8.00 | 0.52 |
| A196 | ソウシジュ | 3.00 | 8.00 | 0.15 |
| A197 | ソウシジュ | 8.00 | 8.00 | 0.40 |
| A199 | ギンネム | 3.00 | 1.00 | 0.05 |
| A200 | ギンネム | 5.00 | 2.00 | 0.08 |
| A202 | ソウシジュ | 8.00 | 7.00 | 0.20 |
| A203 | ギンネム | 5.00 | 3.00 | 0.10 |
| A204 | ギンネム | 3.00 | 1.00 | 0.06 |
| A205 | モクマオウ | 3.00 | 2.00 | 0.12 |
| A206 | ギンネム | 4.00 | 3.00 | 0.05 |
| A207 | ギンネム | 4.00 | 3.00 | 0.06 |
| A209 | ソウシジュ | 3.00 | 2.00 | 0.10 |
| A210 | モクマオウ | 10.00 | 5.00 | 0.20 |
| A216 | ギンネム | 3.50 | 2.50 | 0.08 |
| A218 | ギンネム | 7.00 | 3.00 | 0.07 |
| A222 | ギンネム | 5.00 | 3.00 | 0.05 |
| A223 | ギンネム | 5.00 | 3.50 | 0.05 |
| A226 | モクマオウ | 6.00 | 3.00 | 0.12 |
| A227 | モクマオウ | 4.00 | 2.50 | 0.10 |
| A231 | ギンネム | 3.00 | 6.00 | 0.10 |
| A232 | ギンネム | 5.00 | 4.00 | 0.06 |
| A233 | ギンネム | 7.00 | 4.00 | 0.12 |
| A234 | ギンネム | 6.00 | 4.00 | 0.12 |
| A237 | ギンネム | 3.00 | 1.00 | 0.08 |
| A238 | ギンネム | 3.00 | 7.00 | 0.06 |
| A242 | ギンネム | 3.00 | 2.00 | 0.04 |
| A243 | ギンネム | 5.00 | 4.00 | 0.05 |
| A244 | ギンネム | 3.00 | 1.50 | 0.05 |
| A245 | モクマオウ | 15.00 | 5.00 | 0.30 |
| A246 | ギンネム | 4.00 | 3.00 | 0.05 |
| A247 | モクマオウ | 5.00 | 3.00 | 0.20 |
| A248 | ギンネム | 4.00 | 3.00 | 0.07 |
| A249 | ギンネム | 3.00 | 2.00 | 0.09 |
| A250 | ギンネム | 3.00 | 2.00 | 0.07 |
| A251 | モクマオウ | 3.00 | 2.00 | 0.08 |
| A252 | モクマオウ | 10.00 | 5.00 | 0.25 |
| A253 | モクマオウ | 12.00 | 7.00 | 0.25 |
| A254 | ソウシジュ | 10.00 | 7.00 | 0.40 |
| A255 | モクマオウ | 2.00 | 1.00 | 0.04 |
| A256 | オオバギ | 3.00 | 2.50 | 0.08 |

| No | 樹種 | 樹高 | 葉張り | 幹直径 |
|------|----------|-------|------|------|
| A257 | モクマオウ | 10.00 | 6.00 | 0.18 |
| A258 | モクマオウ | 5.00 | 3.00 | 0.12 |
| A263 | モクマオウ | 4.00 | 2.00 | 0.08 |
| A265 | アカメガシワ | 2.00 | 3.00 | 0.06 |
| A266 | モクマオウ | 10.00 | 7.00 | 0.25 |
| A267 | モクマオウ | 3.00 | 4.00 | 0.07 |
| A268 | リュウキュウマツ | 6.00 | 4.00 | 0.10 |
| A269 | リュウキュウマツ | 2.00 | 1.00 | 0.09 |
| A270 | ギンネム | 5.00 | 2.00 | 0.04 |
| A271 | モクマオウ | 5.00 | 2.00 | 0.11 |
| A272 | モクマオウ | 2.00 | 4.00 | 0.08 |
| A273 | モクマオウ | 8.00 | 4.00 | 0.15 |
| A274 | モクマオウ | 9.00 | 3.00 | 0.08 |
| A275 | モクマオウ | 10.00 | 5.00 | 0.22 |
| A276 | ソウシジュ | 3.00 | 5.00 | 0.15 |
| A277 | モクマオウ | 10.00 | 6.00 | 0.20 |
| A278 | ソウシジュ | 3.00 | 4.00 | 0.12 |
| A279 | ソウシジュ | 2.00 | 4.00 | 0.12 |
| A280 | アカメガシワ | 2.00 | 2.00 | 0.03 |
| A281 | リュウキュウマツ | 10.00 | 5.00 | 0.18 |
| A282 | モクマオウ | 5.00 | 3.00 | 0.08 |
| A283 | モクマオウ | 2.00 | 2.00 | 0.03 |
| A284 | アカメガシワ | 2.00 | 2.00 | 0.04 |
| A285 | モクマオウ | 10.00 | 3.00 | 0.16 |
| A286 | モクマオウ | 10.00 | 3.00 | 0.10 |
| A287 | モクマオウ | 10.00 | 3.00 | 0.17 |
| A288 | オオバギ | 3.00 | 2.00 | 0.03 |
| A289 | リュウキュウマツ | 2.00 | 1.00 | 0.05 |
| A290 | モクマオウ | 5.00 | 3.50 | 0.08 |
| A291 | モクマオウ | 3.00 | 1.00 | 0.03 |
| A292 | モクマオウ | 8.00 | 3.00 | 0.15 |
| A293 | モクマオウ | 8.00 | 3.00 | 0.15 |
| A294 | モクマオウ | 2.00 | 3.00 | 0.10 |
| A295 | モクマオウ | 10.00 | 3.00 | 0.16 |
| A296 | モクマオウ | 4.00 | 2.00 | 0.07 |
| A297 | モクマオウ | 2.00 | 3.00 | 0.03 |
| A298 | モクマオウ | 13.00 | 8.00 | 0.20 |
| A299 | モクマオウ | 5.00 | 3.00 | 0.08 |
| A300 | シマトネリコ | 3.00 | 2.00 | 0.04 |
| A301 | モクマオウ | 10.00 | 5.00 | 0.20 |
| A302 | モクマオウ | 5.00 | 2.00 | 0.10 |
| A303 | ギンネム | 4.00 | 4.00 | 0.09 |
| A304 | モクマオウ | 6.00 | 5.00 | 0.10 |
| A305 | モクマオウ | 10.00 | 2.00 | 0.10 |
| A306 | モクマオウ | 12.00 | 5.00 | 0.20 |
| A307 | ギンネム | 5.00 | 3.50 | 0.07 |
| A308 | モクマオウ | 5.00 | 2.00 | 0.07 |

| No | 樹種 | 樹高 | 葉張り | 幹直径 |
|------|----------|-------|------|------|
| A309 | モクマオウ | 3.00 | 2.00 | 0.05 |
| A310 | モクマオウ | 11.00 | 5.00 | 0.20 |
| A311 | モクマオウ | 12.00 | 6.00 | 0.20 |
| A312 | モクマオウ | 3.00 | 2.00 | 0.10 |
| A313 | モクマオウ | 4.00 | 2.50 | 0.10 |
| A314 | モクマオウ | 6.00 | 6.00 | 0.15 |
| A315 | モクマオウ | 2.00 | 2.00 | 0.10 |
| A316 | ソウシジュ | 10.00 | 6.00 | 0.20 |
| A317 | モクマオウ | 10.00 | 2.00 | 0.10 |
| A318 | ソウシジュ | 8.00 | 6.00 | 0.16 |
| A319 | ハマイヌビワ | 2.00 | 1.00 | 0.03 |
| A320 | アカメガシワ | 3.00 | 2.00 | 0.10 |
| A321 | リュウキュウマツ | 7.00 | 3.00 | 0.12 |
| A322 | モクマオウ | 3.00 | 2.00 | 0.07 |
| A323 | モクマオウ | 6.00 | 2.00 | 0.09 |
| A324 | リュウキュウマツ | 3.00 | 2.00 | 0.06 |
| A325 | モクマオウ | 3.00 | 2.00 | 0.06 |
| A326 | ギンネム | 3.00 | 2.00 | 0.04 |
| A327 | モクマオウ | 10.00 | 4.00 | 0.15 |
| A328 | リュウキュウマツ | 3.00 | 3.00 | 0.09 |
| A329 | ギンネム | 3.00 | 3.00 | 0.06 |
| A330 | モクマオウ | 3.00 | 4.00 | 0.15 |
| A331 | アカメガシワ | 2.50 | 3.00 | 0.06 |
| A332 | モクマオウ | 3.00 | 4.00 | 0.06 |
| A333 | アカメガシワ | 3.00 | 4.00 | 0.05 |
| A334 | ソウシジュ | 2.00 | 3.00 | 0.08 |
| A335 | モクマオウ | 8.00 | 5.00 | 0.20 |

| 樹種別 | 本数 |
|----------|-----|
| ギンネム | 52 |
| モクマオウ | 78 |
| ソウシジュ | 19 |
| アカメガシワ | 6 |
| リュウキュウマツ | 7 |
| ハマイヌビワ | 1 |
| シマトネリコ | 1 |
| オオバギ | 2 |
| 合計 | 166 |

| 幹周別 | 本数 |
|--------------|-----|
| 15cm未満 | 116 |
| 15cm以上25cm未満 | 36 |
| 25cm以上40cm未満 | 12 |
| 40cm以上60cm未満 | 2 |
| 合計 | 166 |



- ・破線 (----) は測量想定範囲を示す。
- ＜国有林地貸付地内排水について＞
- ・施設の排水は、敷地外（国有林地貸付地内）の既存蛇管に接続し、放流とする。
- ・図中の既存蛇管までの排水経路は、「宮古八重山森林計画区第6次国有林野実施計画図」（九州森林管理局）を基に想定しており、現地状況に合わせて、監督員確認の基決定する。
- ・貸付地用地面積は、皿形側溝敷設後、用地面積測量を行い決定する。

| | | | | | | | |
|--|---|---|--|---|-------------------------------|--------------------------|--------------------|
| | <p>株式会社 ブラック研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第17618号 一級建築士 233817号 福岡 薫</p> | <p>福原信一級建築士事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第63080号 一級建築士 364177号 福原 信一</p> | <p>株式会社 丹青社 一級建築士事務所 東京都知事登録 第18257号 一級建築士 254337号 関根 雄二</p> | <p>TITLE 国有林地貸付地内排水計画図</p> <p>PROJECT 西表島世界遺産センター整備実施設計</p> | <p>SCALE S=1/600 (A3)</p> | <p>DATE</p> <p>CHECK</p> | <p>NO L-32</p> |
|--|---|---|--|---|-------------------------------|--------------------------|--------------------|